取扱説明書

FOMA® N703iμ ’07.2

ドコモ
W-CDMA方式

このたびは、「FOMA N703iμ」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA N703iμはあなたの有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう➡P.44
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう➡P.48
3. 本体のボタンなど役割を確認しましょう➡P.26
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう➡P.28
5. メニューの操作方法を確認しましょう➡P.34
6. 電話のかけかた、受けかたを確認しましょう➡P.51

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、次のような検索方法で、お客様の用途に応じて、機能やサービスの説明ページを探すことができます。

索引から P.402

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称や、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから 表紙

表紙のインデックスを使用して、章の最初のページの目次から探します。

次ページで詳しく説明しています。

目次から P.6

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から P.8

新機能や便利な機能など、FOMA N703iμの主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー機能一覧から P.358

FOMA端末に表示されるメニュー機能を一覧表でまとめています。

クイックマニュアルから P.412

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

- この『FOMA N703iμ取扱説明書』の本文中においては、『FOMA N703iμ』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードについて→P.275
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた（つづき）

「索引」、「かんたん検索」、「表紙インデックス」からの引きかたを、アラームを例として説明します。

索引から

P.402

FOMA端末のディスプレイに表示されている機能の名称をはじめ、調べたい事項のキーワードから探します。

かんたん検索から

P.4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。章扉には詳しい目次を記載しています。

●その他の便利な機能

※本文中のページとは内容が異なります。

本書ではFOMA端末を正しくお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

機能名称などを記載しています。

機能やサービスにより、お買い上げ時の設定、ご契約時の設定、お申し込みの必要の有無などを記載しています。

各手順での操作を表しています。

各手順を操作する際のポイントとなる画面を表します。ご使用のFOMA端末と照らし合わせてご覧ください。

画面に表示される項目名を記載しています（選択した操作によっては実行できない項目もあります）。

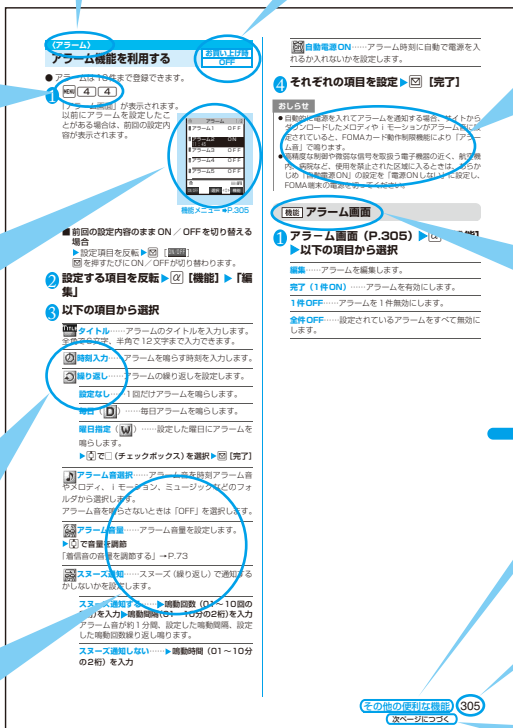
各項目の説明や操作手順を記載しています。

各機能を利用するときに必要な内容、注意事項や参考になる内容を記載しています。

機能メニュータイトルは、機能メニューのアイコンとその機能メニューが表示される画面名で記載しています。

インデックスから章ごとに検索できます。

ページ番号

次のページに説明がつづくことを示します。

※本文中のページとは内容が異なります。

・本書では、画面を見やすくするために「待受画面」の設定を「OFF」にした状態で記載しています。また、操作説明の画面は説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。
・お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示が本書での記載と異なる場合があります。
・本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なります。
・本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

・相手に電話番号を知らせたい／知られたくない P.50 発信者番号通知

・通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えたい P.56

・着もじを使いたい P.60 着もじ

・受話音量を変えたい P.73 受話音量

出られない電話にこうしたい

・着信中や通話中の電話を保留にしたい P.74 応答保留／通話中保留

・通話を控える必要があることを伝えたい

P.75 公共モード（ドライブモード） P.76 公共モード（電源OFF）

・伝言を残してもらいたい P.78 伝言メモ

メロディやイルミネーションを変えたい

・着信相手にあわせて着信音などを変えたい P.100 発着信識別機能／グループ識別機能

・着信メロディを変えたい P.108 着信音選択

・ボタン音を消したい P.111 ボタン確認音

・マナーモードにしたい P.113 マナーモード

・マイシグナル／着信イルミネーションの表示を変えたい

P.122 マイシグナル設定 P.122 着信イルミネーション

画面表示を変えたい・知りたい

・メニューの表示を切り替えたい P.36 シンプルメニュー

・待受画面を変えたい P.116 画面表示設定

・待受画面にカレンダーを表示したい P.117

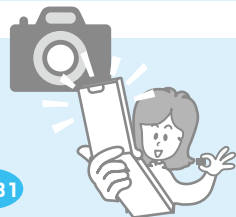
・文字を大きくしたい P.124 フォント設定※

※：文字の大きさは、「電話帳」や「マイプロフィール」の機能メニュー（P.97、98、313）、「待受時計表示」（P.125）、「ｉモード設定」（P.189）、「メール設定」（P.230）、「入力サイズ切替」（P.345）でも設定できます。

メールを使いこなしたい

- ・デコメールを送りたい P.207 デコメール
- ・画像やメロディを送りたい P.212 添付ファイル
- ・感情お知らせメールについて知りたい P.216

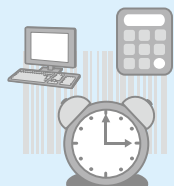
カメラを使いこなしたい

- ・撮影する画像サイズを変えたい P.161
- ・ズームを使いたい P.170
- ・撮影した画像を表示したい P.255 マイピクチャ
- ・microSDメモリーカードに画像を保存したい P.281

安心して電話を使いたい

- ・紛失したときなど、離れた場所からFOMA端末をロックしたい P.137 おまかせロック
- ・電話帳の内容を知られたくない P.139 シークレットモード／シークレット専用モード
- ・非通知の電話を受けたくない P.151 非通知着信設定
- ・電話帳未登録の人からの電話を受けたくない P.153 登録外着信拒否
- ・万が一のデータ消失にそなえ電話帳などを保存しておきたい P.154 電話帳お預かりサービス※

※：電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、iモード契約が必要です）。

こんなこともできます

- ・電池を節約したい P.118 照明設定（省電力モード）
- ・QRコードやバーコードを取り込みたい P.171 バーコードリーダー
- ・microSDメモリーカードを使いたい P.275
- ・パソコンやほかのFOMA端末と情報をやりとりしたい P.289 赤外線通信／OBEX
- ・音楽を聴きたい P.295 ミュージックプレイヤー
- ・アラーム機能を使いたい P.305 アラーム
- ・電卓として使いたい P.318 電卓
- ・最新のソフトウェアにしたい P.390 ソフトウェア更新
- ・セキュリティを最新の状態にしたい P.394 スキャン機能

その他の操作の引き方については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P.1
また、よく使う機能などの操作手順を「クイックマニュアル」としてご案内しています。→P.412

目次

FOMA N703iμの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードはiモード端末のディスプレイを利用して、iモードメニューサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。
※ iモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。

iモードメール／デコメール／デコメ絵文字 P.202

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトもしくは10個までファイル（JPEGなど）を添付することができます。また、デコメール／デコメ絵文字にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたりすることができ、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

iアプリ／iアプリDX P.242

iアプリをサイトから取り込むことにより、ゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりすることができます。
さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどiモード端末内の情報と連動することで、よりiアプリの楽しみかたが広がります。

あんしん設定

●おまかせロック→P.137
電話機を紛失した際に携帯電話にロックがかけられ、お申し出により解除ができます。お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
※おまかせロックは、ご契約者の方からのお申し出により、ロックがかかるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末をご利用されているお客様が異なる場合、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかることがありますのでご了承ください。

●電話帳お預かりサービス→P.104
携帯電話の電話帳・静止画・メールを、お預かりセンターに保存し、紛失時などにお預かりセンターに保存したデータを携帯電話に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンを利用して編集や管理ができ、編集したデータを携帯電話に反映することも可能です。
・「電話帳お預かりサービス」のご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』、お問い合わせ先については取扱説明書裏面をご覧ください。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

豊富なネットワークサービス P.326

・留守番電話サービス（有料）※
・キャッチホン（有料）※
・転送でんわサービス（無料）※
・迷惑電話ストップサービス（無料）※
・番号通知お願いサービス（無料）
・デュアルネットワークサービス（有料）※
・英語ガイダンス（無料）
・マルチナンバー（有料）※
※：お申し込みが必要です。

直デン P.102

よく使う電話帳を直デンに登録しておくと、すばやく電話をかけたり、メールを送信できます。
・最大5件まで登録でき、メールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたｉモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。

スタイルモード P.130

待受画面、メインメニューのアイコン、着信音などの各種コンテンツを一括設定することができます。また、現在の設定内容を「お気に入り」に保存しておき、あとでその設定に戻すこともできます。

カメラ機能 P.158

内側と外側の2つのカメラで静止画、連続撮影、動画を撮影できます。有効画素数130万画素（記録画素数120万画素）の外側カメラで1,280×960ドットの大画像も撮影可能です。大切な場面をのがさずに撮影できる「チャンスキャプチャ」機能や、撮影した静止画に音声を録音する「ピクチャボイス」機能を搭載しています。撮影、作成した動画は、ｉモーションに保存され、ｉモードメールに添付して送信することができます。

バーコードリーダー P.171

カメラ機能を利用してバーコードおよびQRコードを読み取り、読み取った情報を電話帳に登録したり、Mail To機能などが利用できます。

赤外線通信 P.287

赤外線を利用してほかのFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。赤外線リモコンとして利用することもできます。

プライバシーアングル P.118

斜めの角度からディスプレイを見えにくくすることができます。周囲の視線を気にせずにご利用いただけます。

マイシグナル P.122

・電話着信やメール受信、アラーム通知などをアニメーションで表示します。また、FOMA端末を閉じたまま時計を表示して時刻を確認したり、不在着信や新着メールの確認などもできます。
・ミュージックプレイヤーの再生中は、楽曲のトラック番号や一時停止、音量レベルなどが表示されます。
・マイシグナルのアニメーションデータを「みんなNらんど」からダウンロードして、通話中などに表示するアニメーションに設定することもできます。

オリジナルロック／キー操作ロック P.143

オリジナルロック……電話帳やメールなどの個人情報を利用する機能にロックをかけたり、電話の発着信やメールの送信を制限できます。
キー操作ロック……FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけることができます。

microSDメモリーカード対応 P.275

microSDメモリーカードを外部メモリとして利用できるので、電話帳やブックマーク、メール、画像などのデータをmicroSDメモリーカードに保存できます。
・ダウンロードした楽曲、ｉモーションなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存できます（データの提供者が許可していない場合は保存できません）。

ワード予測 P.345

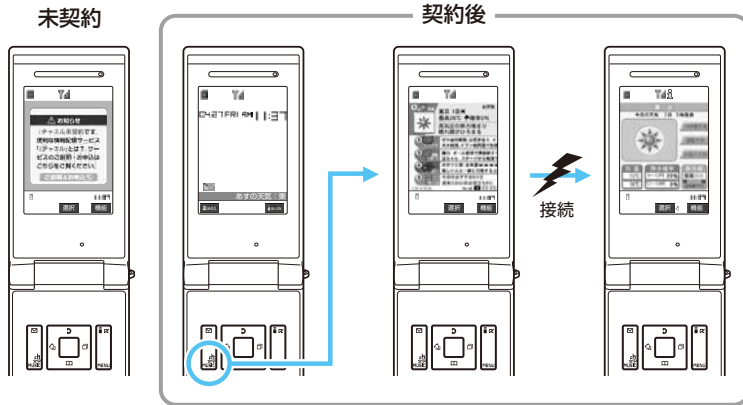
入力した「読み」または確定した文字列に対する予測候補を表示するとき、文字列の関係を「つながり」として学習します。お使いになっているうち自然に、少ないボタン操作で目的の文を入力できるようになります。

FOMA N703iμを使いこなす！

■FOMA N703iμの多彩な機能

最新情報が配信されると待受画面にテロップ表示される

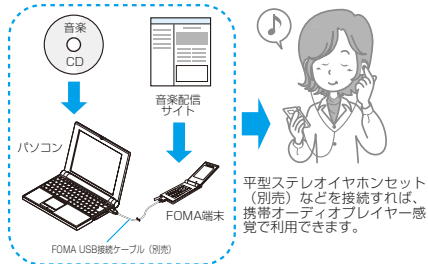
ｉチャネル→P.197

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、ｉチャネルに対応しているchボタンを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

※各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

「着うたフル®」に対応した

ミュージックプレイヤー→P.294

「着うたフル®」対応で、音楽配信サイトから楽曲を1曲まるごと取得して再生できます。また、音楽CDの楽曲をパソコンなどでmicroSDメモリーカードに登録し、FOMA端末で再生することもできます。
ほかの機能を操作しながら音楽を聞けるBGM再生や楽曲のジャケット写真や歌詞カードの表示、FOMA端末でのプレイリスト作成にも対応しています。

平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続すれば、携帯オーディオプレイヤー感覚で利用できます。

会話をしながらリアルタイムで映像を送受信できる

テレビ電話→P.52

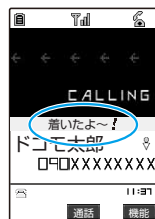
お互いの顔を見ながら会話ができます。

外側カメラに切り替えて周囲の景色を映すこともできます。

遠隔監視機能を利用して、外出先から室内のペットの様子を確認することもできます。

会話の前に気持ちを伝える

着もじ→P.60

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信中画面にメッセージを表示させることができます。
着信側はメッセージを見て相手の用件、気持ちを事前に知ることができます。

安全上のご注意　必ずお守りください。

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック N17
FOMA ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01
データ通信アダプタ N01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01
FOMA充電機能付 USB接続ケーブル 01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節をしてください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因になります。

2. FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

microSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

指示

microSDメモリーカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

禁止

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
ヒンジ側面（キャップおよびストラップ取付穴）	すず蒸着	UVコーティング
フロントケースの一部（表示面）	マグネシウム合金MD1D（JIS）相当品	塗装仕上げ

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

長時間画面を見るときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を開けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

3. 電池パックの取扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

4. アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01を使用してください。
ACアダプタ：
　AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ：
　AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：
　DC12V・24V（マイナスアース車専用）

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。
指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

5. FOMAカードの取扱いについて

⚠注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMAカードを火の中に投下しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
・自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●**水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●**端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●**FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。**
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●**電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

●**極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

●**使用中や充電中にFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

●**お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●**ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。**
故障の原因となります。

●**ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。**
故障、破損の原因となります。

●**通常はイヤホンマイク端子キャップ、microSDメモリーカードスロットのキャップ、外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●**カメラを直射日光に向けて放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●**ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。**
FOMA端末を閉じたときにキーが押されるなどして誤動作したり、それにより使用時間が短くなることがあります。また、FOMA端末の損傷の原因となります。

●**ストラップに手を通してお持ちください。**
落下し、故障の原因となることがあります。

●**ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあります。

●**強い磁力を近づけないでください。**
故障の原因となります。

●**本端末を静かな場所で使用すると、ディスプレイの構造上若干の駆動音が聞こえる場合がありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。**
- **電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。**
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
  長時間放置される場合はFOMA端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- **直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。**
  長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。**
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- **ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**
- **使用中、充電中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **極端な高温・低温は避けてください。**
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**

microSDメモリーカードについてのお願い

● microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

車内ホルダについてのお願い

車内ホルダを利用する場合は、アームレストなどに確実に取り付けてください。また、車内ホルダにFOMA端末をしっかりと固定してください。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

> カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉチャネル」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉメロディ」「ｉエリア」「ｉモーション」「mopera」「mopera U」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール」「キャラ電」「ｉショット」「sigmarion」「musea」「DoPa」「パケ・ホーダイ」「ショートメール」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「Vライブ」「ビジュアルネット」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「My DoCoMo」「マルチナンバー」「着もじ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「ドコモテレビ電話ソフト」「ファミリーワイドリミット」「IMCS」「OFFICEED」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- LCフォント/LC FONT®、エルシーフォント®、LCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。
- T9®およびT9ロゴマークはTegic Communications, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- Dialog Clarity、WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
- Dialog Clarity、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- AdobeおよびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標です。
- NetFront、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Apple、AppleロゴおよびQuickTimeは、米国およびその他の国々で登録されたApple Computer Inc.の商標です。
- QuickTimeロゴは、Apple Computer Inc.の商標です。
- フリーダイヤルサービス名称及びフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation.
  All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
  Powered by JBlend™ Technology.
  JBlendおよびJBlendロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、OBEX機能および赤外線通信機能としてIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は、株式会社ACCESSの製品です。
- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL・LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 本製品は抗菌加工を施しております。
  SIAAマークはJIS Z 2801に適合し、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

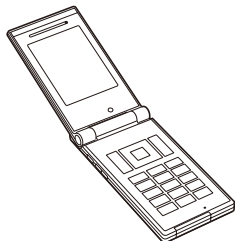
  抗菌対象箇所：携帯電話ボディー（ディスプレイ、各種ボタン、端子部を除く）
- © 2007 INDEX IMAGINAC, Inc.
- © 2006 Gameloft.

Windowsの表記について

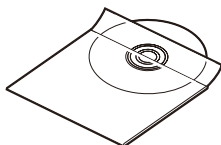
- Windows® 2000 Professionalは、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本書では、Windows® 2000 ProfessionalをWindows 2000と記載しています。
- 本書では、Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home EditionをWindows XPと記載しています。

本体付属品および主なオプション品について

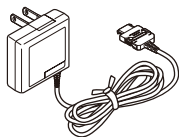
＜本体付属品＞

FOMA N703iμ
（保証書、リアカバーN18含む）

FOMA N703iμ取扱説明書
（本書）

※P.412にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA N703iμ用CD-ROM

※「データ通信マニュアル」（PDF形式）、「区点コード一覧」（PDF形式）を収録しています。

＜主なオプション品＞

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

電池パック N17
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.378

ご使用前の確認

各部の名称と機能

※： アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

■ 各部の主な機能

❶受話口

❷ディスプレイ

❸内側カメラ
・カメラ機能で自分を撮影
・テレビ電話中に自分の映像を写す

❹ファンクションボタン1
・ソフトキー（画面左下）の表示内容を実行→P.35
・メールメニューを表示
・テレビ電話をかける→P.52

❺ファンクションボタン2
・ソフトキー（画面右下）の表示内容を実行（主に機能メニュー）→P.35
・ｉモードメニューを表示

❻マルチファンクションボタン
／
・カーソルや表示内容などを上下方向へ移動（押し続けると連続スクロール）
・：直デンを表示→P.102
・：電話帳検索メニュー画面を表示
／
・カーソルを左右方向へ移動
・表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へスクロール→P.36
・：着信履歴を表示→P.58
・：リダイヤルを表示→P.58

・ソフトキー（画面中央下）の表示内容を実行（主に選択／確定）→P.35

❼ch チャネルボタン
・チャネル一覧を表示→P.199
・文字入力での文字種切り替え→P.344

❽メニューボタン
・メインメニュー／シンプルメニューを表示→P.34、36

❾開始ボタン
・音声電話をかける→P.52
・音声電話／テレビ電話を受ける→P.69

❿CLR 戻る（クリア）ボタン
・操作を1つ前の状態に戻す→P.38
・通話を保留→P.74
・入力した電話番号や文字を削除→P.52、349

⓫電源／終了／応答保留ボタン
・電源を入れる（1秒以上）／切る（2秒以上）→P.48
・各機能の終了→P.38
・通話の終了→P.53
・応答を保留→P.74

⓬0～9 ダイヤルボタン
・電話番号や文字、数字を入力

⓭＊ ＊／公共モード（ドライブモード）ボタン
・公共モード（ドライブモード）の設定（1秒以上）→P.75
・「＊」や「http://」などの文字列を入力→P.368

⓮＃ ＃／マナーボタン
・マナーモードの設定（1秒以上）→P.113
・「#」や記号を入力→P.368

⓯送話口／マイク

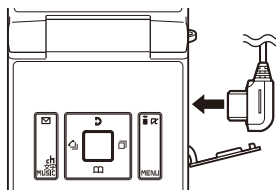
⓰外部接続端子
・ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA USB接続ケーブル（別売）などを接続

⓱※音楽再生／一時停止キー
・ミュージックプレイヤーの操作→P.299

⓲※音量大ボタン／
・通話中に受話音量を上げる→P.73
・表示内容を画面単位で前の画面へスクロール→P.36
・かな方式の文字入力で、1つ前の読みに戻す→P.344
・「ホームURL設定」で設定したサイトへ接続→P.189

⓳※音量小ボタン／／MEMO／CHECK
・通話中に受話音量を下げる→P.73
・表示内容を画面単位で次の画面へスクロール→P.36
・伝言メモを再生→P.80
・FOMA端末を折り畳んだまま、不在着信・新着メールを音などで確認→P.77
・カメラを起動（1秒以上）

⑳ストラップ取付穴

㉑イヤホンマイク端子
・平型ステレオイヤホンセット（別売）や平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続（イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使用すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイク（別売）も接続可能）

㉒赤外線ポート→P.289

㉓着信イルミネーション／充電ランプ
・電話／メール着信時に点滅
・充電時は赤色で点灯

㉔照度センサー→P.118

㉕スピーカ

㉖マイシグナル
・FOMA端末の各種状態や時計を表示→P.32

㉗外側カメラ
・静止画や動画を撮影
・テレビ電話中に風景などを写す

㉘レンズ切替スイッチ
・外側カメラの ●（標準）／（マクロ）の切り替え→P.158

㉙microSDメモリーカードスロット
・microSDメモリーカードを挿入→P.275

㉚リアカバー

※： 本書ではを合わせて外部ボタンと呼びます。

ボタンの長押し操作について

ボタンを１秒以上押すことによって使える機能は以下のとおりです。

ボタン	機能	参照ページ	ボタン	機能	参照ページ
	受信アドレス一覧の表示	P.229	[MEMO／CHECK]	音声メモの録音（通話中）	P.314
	送信アドレス一覧の表示	P.229		静止画の撮影画面を表示（待受画面表示中）	P.158
5	バックライトの点灯／消灯の切替（文字編集中、ｉアプリ実行中以外）	P.118		マイシグナルの電池残量	P.33
8	プライバシーアングルの切替（文字編集中、ｉアプリ実行中以外）	P.118	[ ]	マイクをミュート（消音）（テレビ電話中）	P.52
0	「+」の入力（待受画面、電話番号を入力する画面）	P.65		マイシグナルの電池残量	P.33
#	マナーモードの設定／解除（待受画面表示中、通話中）	P.113		ｉモード問い合わせ（待受画面表示中）	P.192 P.217
*	外部ボタンの無効／有効（メインメニュー表示中）	P.148	α	ｉアプリのソフト一覧表示（待受画面表示中）	P.244
	公共モード（ドライブモード）の設定／解除（待受画面表示中）	P.75		親画面の表示切替（テレビ電話中）	P.52
	「p（ポーズ）」の入力（ポーズダイヤル編集中）	P.63		ミュージックプレイヤーの起動／終了	P.299
	受話音量の調節（待受画面表示中、通話中）	P.73	ch	ミュージックプレイヤーの起動 ミュージックプレイヤー再生画面／待受画面切替（BGM再生中）	P.298

ディスプレイの見かた

- ディスプレイに表示されるマーク（ 、 、 など）をアイコンといいます。
- ディスプレイにはカレンダーなどを設定することができます。→P.117

■ディスプレイ

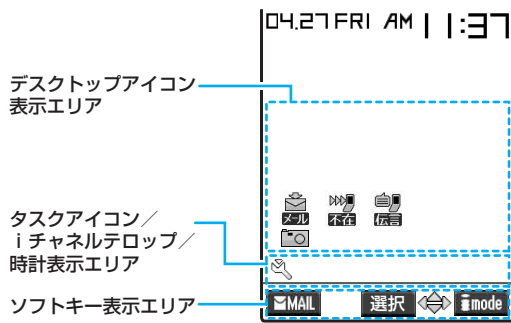
■アイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
❶	
	電池残量→P.47
❷	
	ダイヤルロック→P.137
	シークレットモード／シークレット専用モード→P.139
	オリジナルロック→P.143
	オリジナルロック一時解除中→P.143
	オリジナルロックとシークレットモード／シークレット専用モード→P.143、139
	オリジナルロック一時解除中で、シークレットモード／シークレット専用モード→P.143、139
❸	
	未読メールあり→P.215
（赤色）	受信BOX満杯→P.215
	FOMAカードのSMS満杯→P.287
	未読メールあり／FOMAカードのSMS満杯→P.215、287
（赤色）	受信BOX満杯／FOMAカードのSMS満杯→P.215、287
❹	
	未読メッセージRあり→P.190
（赤色）	メッセージR満杯→P.191
	未読メッセージFあり→P.190
（赤色）	メッセージF満杯→P.191
	未読メッセージRあり／未読メッセージFあり→P.190
（赤色）	メッセージR満杯／メッセージF満杯→P.191
（R:赤色）	メッセージR満杯／未読メッセージFあり→P.190、191
（F:赤色）	未読メッセージRあり／メッセージF満杯→P.190、191
❺	
	ｉモードセンターにメールあり→P.217
（赤色）	ｉモードセンターのメール満杯→P.217
	「メール選択受信設定」が「ON」／ｉモードセンターにメールあり→P.216
	ｉモードセンターにメッセージRあり→P.192
（赤色）	ｉモードセンターのメッセージR満杯→P.192
	ｉモードセンターにメッセージFあり→P.192
（赤色）	ｉモードセンターのメッセージF満杯→P.192

アイコン	アイコンの内容
❻	
	電波の受信レベル→P.48
	サービスエリア外／電波が届かない場所→P.48
self	セルフモード→P.153
❼	
	ｉモード中→P.176
	ｉモード通信中→P.176
	パケット通信中（データ送受信なし）※
	パケット通信中（発信）※
	パケット通信中（着信）※
	パケット通信中（データ送信中）※
	パケット通信中（データ受信中）※
❽	
	SSL対応ページを表示中→P.179
❾	
	通信モード中（USBケーブル接続時）→P.284
	通信モード中（USBケーブル、ハンズフリー対応機器接続時）→P.284、68
	通信モード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.284、68
	microSDモード中（USBケーブル接続時）→P.284
	microSDモード中（USBケーブル、ハンズフリー対応機器接続時）→P.284、68
	microSDモード中（ハンズフリー対応機器接続時）→P.284、68
❿	
	赤外線通信中→P.289
	赤外線リモコン操作中→P.291
⓫	
	microSDメモリーカード取り付け時→P.275
	microSDメモリーカード（不正）取り付け時→P.275
	microSDリーダー／ライター使用中→P.283
	microSDアクセス中→P.279
⓬	
	音声通話中→P.53
	64Kデータ通信中→P.340
	テレビ電話中（通信速度64K／32K）→P.53
	音声電話・テレビ電話切替中→P.56、71

アイコン	アイコンの内容
⑬	
	プライバシーアングル→P.118
⑭	
	バイブレータ→P.110
⑮	
	着信音量が「SILENT」→P.73 メール／メッセージ鳴動が「OFF」→P.112
⑯	
	マナーモード→P.113
	遠隔監視→P.87
⑰	
	公共モード（ドライブモード）→P.75
⑱	
	アラーム通知機能→P.310
⑲	
～	留守番電話の伝言メッセージあり→P.326

アイコン	アイコンの内容
⑳	
～	伝言メモ→P.79
㉑	
～	テレビ電話伝言メモ→P.79
㉒	
	バックライトが「OFF」→P.118
㉓	
	キー操作ロック中／待機中 →P.147
㉔	
	外部ボタン操作が「閉じた時無効」 →P.148
㉕	
	キー操作ロック中→P.147

※： アイコンの詳細については、付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

■デスクトップアイコン表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	情報を通知するデスクトップアイコン→P.127
など	貼り付けたデスクトップアイコン→P.126

■ｉチャネルテロップ／時計表示エリア

アイコン	アイコンの内容
など	起動している機能のアイコンを表示
ｉチャネルテロップ	待受画面のテロップ表示→P.198
時計表示	待受画面の時計表示→P.125 （待受画面以外の場合は時計表示の設定に関係なく時刻を表示）

■ソフトキー表示エリア

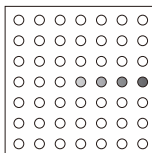
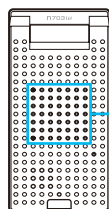
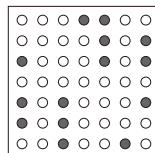
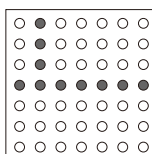
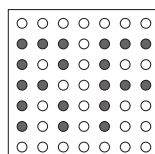
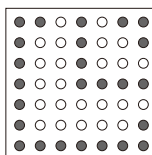
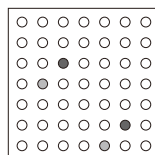
アイコン	アイコンの内容	アイコン	アイコンの内容
MAIL	ファンクションボタン1に対応するソフトキーの内容を表示→P.35		マルチファンクションボタンのそれぞれの方向ボタンが使えるときに表示
選択	マルチファンクションボタンに対応するソフトキーの内容を表示→P.35	imode	ファンクションボタン2に対応するソフトキーの内容を表示→P.35

おしらせ

- 本端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、その特性上、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末を静かな場所で使用すると、ディスプレイの構造上若干の駆動音が聞こえる場合がありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 表示アイコンの名称は、MENU 3 6 を押して確認できます。

マイシグナルの見かた

マイシグナルは、以下のようなときにアニメーション表示を行います。また、不在着信／新着メールの確認や時計、電池残量も表示できます。

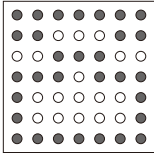
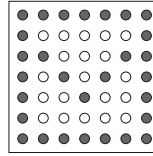
表示例

おしらせ

- マイシグナルのアニメーションデータは、「みんなＮらんど」からダウンロードできます。→P.177
- 「クローズ表示」「通話中表示」「時計表示」は、「マイシグナル設定」（P.122）でアニメーションを設定できます。
- 「発着信識別機能／グループ識別機能」で、誰からの電話／メールかをアニメーションで区別できます。→P.100

不在着信／新着メールを確認する

FOMA端末を折り畳んでいるときに、[MEMO／CHECK]を押して不在着信や新着メール（iモードメール、SMS）、新着チャットメールがあるかどうかを確認できます。

●「確認機能設定」に従って、音や声でお知らせすると同時に、不在着信があることをお知らせするアニメーションを表示します。

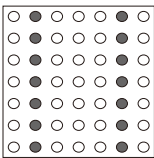
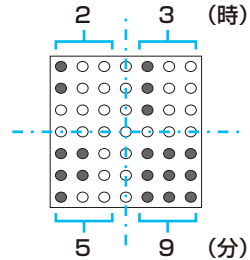
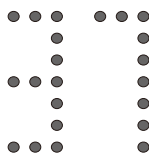
■不在着信があるとき

不在着信あり

新着メール／新着チャットメールあり

おしらせ

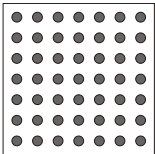
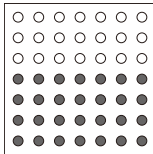
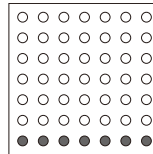
- 不在着信と新着メールの両方がある場合は、不在着信ありと新着メールありのアニメーションが交互に表示されます。
- 不在着信／新着メールがない場合は時計を表示します。

時計を表示する

FOMA端末を折り畳んでいるときに、［ ］を押します。

●「マイシグナル設定」（P.122）で時計の種類（4種類）を変更できます。

時計表示パターン1の例（11時37分）

時計表示パターン４の例（23時59分）

電池残量を確認する

FOMA端末を折り畳んでいるときに、［ ］または[MEMO／CHECK]を1秒以上押します。

十分残っています。

まだ大丈夫です。

電池残量がほとんどありません。
充電してください。

メニューの選択方法

FOMA端末の各種機能を実行、設定、確認する方法は1つだけではありません。主に、メインメニューから機能を選択する方法と、メニュー番号に対応するボタンを押して機能を呼び出す方法があります。
そのほか、以下のような方法があります。

・ソフトキーや特別に割り当てられたボタンを押す方法
・メインメニューの中から使用頻度の高い機能だけを集め、メニュー数を減らした「シンプルメニュー」を利用する方法
・自分がよく使う機能をカスタマイズできる「オリジナルメニュー」を利用する方法

メインメニューから機能を選択する

FOMA端末の各種機能は、機能ごとに分類されていて（P.358）、待受画面でMENUを押して表示されるメインメニューから選択することができます。

<例：「通話中イルミネーション」の機能を設定する場合>

1 待受画面でMENUを押し、メインメニューを表示する

待受画面

メインメニュー

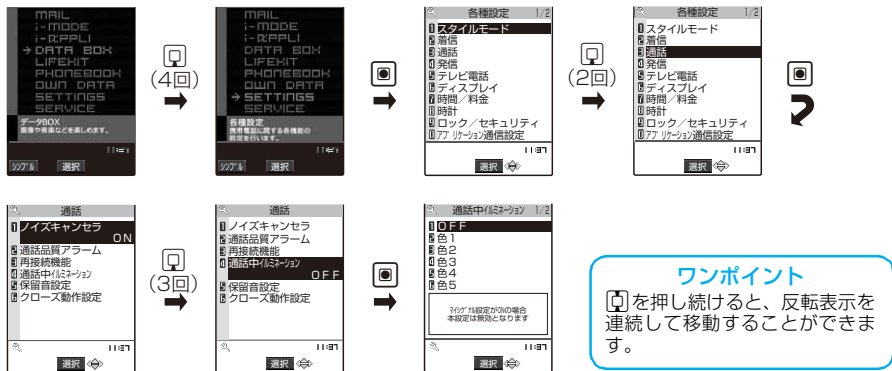
反転表示中のメニュー説明が表示されます。

ワンポイント
メインメニュー表示中に15秒以上ボタンを押さなかった場合、メインメニューを終了して、元の画面に戻ります。

2 で反転表示を移動して[選択]を押し、表示されるメニューを順次選択する

（4回）

（2回）

（3回）

反転した項目が2行表示になり、現在の設定値が表示されます。

ワンポイント
を押し続けると、反転表示を連続して移動することができます。

■ **メインメニューの記載について**

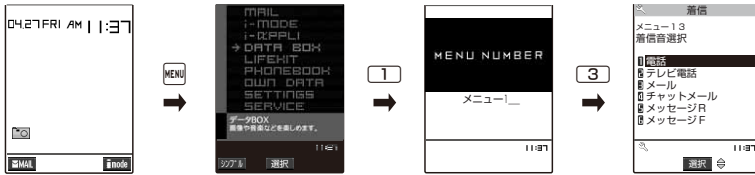
操作手順ではメニュー名どおりに英字で記載していますが、解説文ではメニュー説明に従って（ ）内のように記載しています。

MAIL（メール）	i-MODE（ｉモード）	i-αPPLI（ｉアプリ）
DATA BOX（データBOX）	LIFEKIT（LifeKit）	PHONEBOOK（電話帳）
OWN DATA（ユーザデータ）	SETTINGS（各種設定）	SERVICE（サービス）

メニュー番号を押して機能を呼び出す

あらかじめ機能に割り当てられているメニュー番号（P.358）に対応するボタンを押すと、その機能を素早く呼び出すことができます。

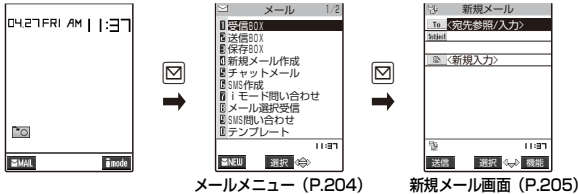
＜例：「着信音選択」を呼び出す場合＞

待受画面でMENUを押し、続けて1 3を押す

ソフトキー機能から呼び出す

画面ごとに、あらかじめ機能に割り当てられているボタンを押すと、その機能を素早く呼び出すことができます。

＜例：新規メール画面を呼び出す場合＞

待受画面で✉［✉MAIL］を押し、さらに✉［✉NEW］を押す

メールメニュー（P.204）　新規メール画面（P.205）

ワンポイント

待受画面でα［imode］を押すと、ｉモードメニュー（P.176）が素早く呼び出せます。

おしらせ

●シンプルメニュー（P.36）を利用しているときは、待受画面で✉［✉MAIL］、α［imode］を押すと、シンプルメニューが表示されます。

● ソフトキーの使いかた

画面下に表示されたソフトキーを実行するには、対応するファンクションボタンを押します。

①のソフトキーを実行する場合、✉を押します。

①には［絵記］、［編集］、［登録］、［完了］、［デモ］、［🔈→ON］などが表示されます。

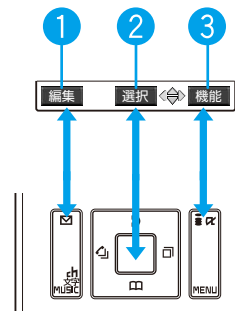
②のソフトキーを実行する場合、◉を押します。

②には［選択］、［確定］、［再生］、［切替］などが表示されます。

③のソフトキーを実行する場合、αを押します。

③には［機能］、［閉］などが表示されます。

［機能］が表示されているときにαを押すと、機能メニューが表示されます。→P.39

※本書の操作説明では、ファンクションボタンを押すときは原則として、✉［編集］、◉［選択］、α［機能］のように、［ ］内にソフトキーの表示を記載しています。

シンプルメニューから機能を選択する

シンプルメニューを利用すると（P.364）、少ないメニュー選択操作で目的の機能を表示できます。

待受画面でMENUを押してメインメニューを表示し、✉［シンプル］を押す

✉［シンプル／アイコン］を押すごとにメインメニューとシンプルメニューが切り替わります。

おしらせ

- シンプルメニューからメニュー項目を選択した場合、次にMENU、✉［MAIL］、α［imode］を押したときにはシンプルメニューが表示されます。

オリジナルメニューから機能を選択する

自分がよく使う機能をあらかじめ登録しておくと（P.121）、その機能を簡単に呼び出せます。

待受画面でMENUを押してメインメニューを表示し、続けてMENUを押す

MENUを押すごとにメインメニューとオリジナルメニューが切り替わります。

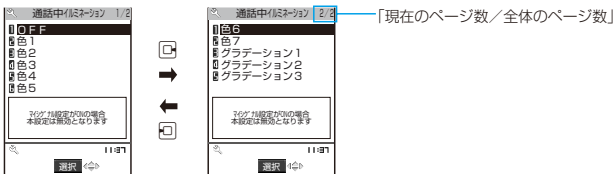
おしらせ

- 待受画面でMENUを押したときにシンプルメニューが表示された場合は、✉［アイコン］を押してメインメニューを表示してからMENUを押します。

各種画面の基本操作

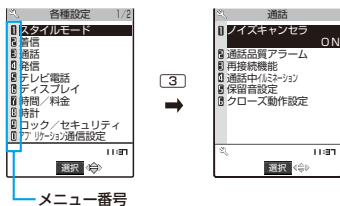
● 選択する項目が複数ページにわたる場合

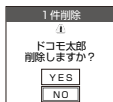
▷でページを切り替える

◁（または△［↩］）を押すと前のページに、▷（または▽［MEMO／CHECK］）を押すと次のページに切り替わります。

■ ⬍で切り替える場合

反転表示が一番上にあるときに△を押すと前のページに、一番下にあるときに▽を押すと次のページに切り替わります。

● ダイヤルボタンで項目を選択する方法

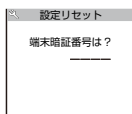
メニュー番号に対応している[0]～[9]を押す

●「YES／NO」や「ON／OFF」を選択する場合

[↕]で囲み枠を移動し[●]［選択］を押す

● ピクチャ一覧で画像を表示する場合

[✥]で囲み枠を移動し[●]［表示］を押す

● 端末暗証番号の入力

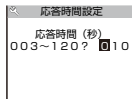
機能によっては端末暗証番号（P.134）の入力画面が表示される場合があります。機能を実行するには、端末暗証番号を入力してください。

4～8桁の端末暗証番号を入力し[●]［確定］を押す

入力した端末暗証番号は「＿」で表示されます。
正しい端末暗証番号を入力すると機能の詳細画面が表示されます。

■ 端末暗証番号を間違えた場合

番号が違うことを通知するメッセージが表示されます。もう一度操作をやり直してください。

● 数値を入力する場合

[0]～[9]を押して数値を入力する

3桁の数値入力画面で1桁または2桁の数値を入力する場合は最初に[0]を2回または1回押します。

■「3」を入力する場合

▶[0][0][3]

■「12」を入力する場合

▶[0][1][2]

● 操作の取り消しかた、待受画面への戻りかた

■ CLR について

間違ってメニュー項目を選択した場合など、直前の操作を取り消したいときには CLR を押します。原則として１つ前の画面に戻りますが、機能によっては、戻り先が異なることもあります。

■ ☎ について

設定などの各種操作を終了し、待受画面に戻りたいときは ☎ を押します。その機能を終了し、原則として待受画面に戻りますが、表示されている画面状況や機能によっては、戻り先が異なることもあります。設定の途中などに ☎ を押した場合、設定中の内容を破棄して待受画面に戻ります。

操作手順の表記／機能メニューについて

操作手順の表記について

本書では、原則として操作手順を次のように簡略に記載しています。

操作手順の記載例と実際の操作

①：待受画面で MENU ボタンを押します。
②：✥で反転表示を「 」内のメニューに移動し ◉［選択］を押します。
③：✥で反転表示を「 」内の項目に移動し ◉［選択］を押します。
　　または「 」内の項目のメニュー番号に対応する 1 ～ 0 を押します。
④：✥で反転表示を移動します。
⑤：［ ］内に示したソフトキーに対応するファンクションボタンを押します。

表記ルール

■「選択」「確定」操作における ◉ の省略

・上記記載例②、③のようにメインメニューや一覧から目的の機能を選択するときは ◉［選択］を省略して記載しています。

・同様に「項目を選択」、「端末暗証番号を入力」などと記載している場合も ◉［選択］または ◉［確定］を省略して記載しています。

・◉［選択］を押さずに次の操作に移る場合は、上記記載例④のように「～を反転」と記載しています。

■ 素早い操作を優先記載

・操作の方法は１つだけでない場合があります。複数の操作があるときは、ソフトキー機能による操作（P.35）やメニュー番号による操作（P.35）を優先記載しています。

・メインメニューやシンプルメニューから機能を選択する場合は、「メニュー機能一覧」（P.358）／「シンプルメニュー機能一覧」（P.364）をご覧になって操作してください。

■ 操作終了後の記載の省略

・目的の機能操作を終了した後の操作説明は省略しています。待受画面に戻る場合は ☎ を、１つ前の画面に戻る場合は CLR を押してください。

■ ボタン表記について

・本書の操作説明では、ボタンを押す操作を上記記載例①、⑤のようにイラストで表現しています。なお、ボタンイラストは、次のように簡略に表現しています。

実際のボタン	本書での表記
1 あ	1

・上記の記載例①、⑤のほかに、以下のように記載しているものもあります。

ボタン表記	実際の操作
# （1秒以上）	# を１秒以上押し続けます。
MENU 4 4	待受画面で MENU を押し、続けて 4 4 を押します。

■メニュー項目の合併記載について

複数のメニュー項目を合併して記載する場合は、以下の例のように項目を「･」でつないで記載しています。

<直デン一覧画面の機能メニューの記載例>

1件削除・全削除……直デンを1件または全削除します。

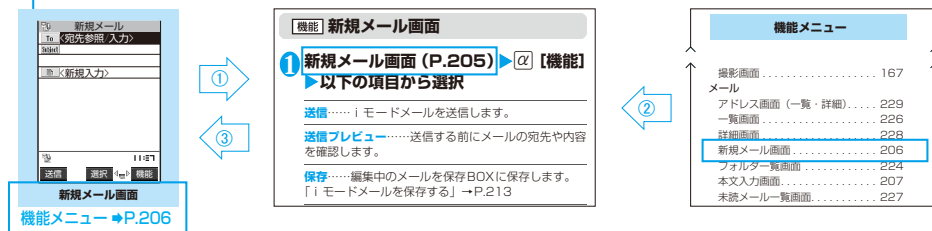
機能メニューについて

FOMA端末のメニューの1つに、ソフトキー機能から呼び出す「機能メニュー」があります。機能メニューは各種画面での補助的な機能を実行するもので、たとえばメールを読んだ後にそのメールを削除する機能や、カメラで撮影した画像の保存先フォルダを選択する機能などを実行するときに使います。

● 機能メニューの利用のしかた

機能メニューには主に、3とおりの利用方法があります。状況に応じてご利用ください。

① 操作画面に記載している参照ページから、機能メニュー項目の説明を見る
② 機能メニュー索引のページから、機能メニュー項目の説明を見る
③ 機能メニューの参照ページから、操作画面を表示するまでの手順を調べる

機能メニューの参照ページを記載している操作画面は、色アミで囲って、他の画面と区別しています。

※上記の「機能メニュー」および「機能メニュー索引」は一部を抜粋したものです。

● 一覧画面の操作対象と記載について

一覧画面の機能メニューは、一覧で反転表示したデータが操作対象になる場合と、一覧中のすべてのデータが操作対象になる場合があります。たとえば、「タイトル編集」や「1件削除」は反転表示したタイトルやデータが操作対象となり、「全削除」はすべてのデータが操作対象になります。

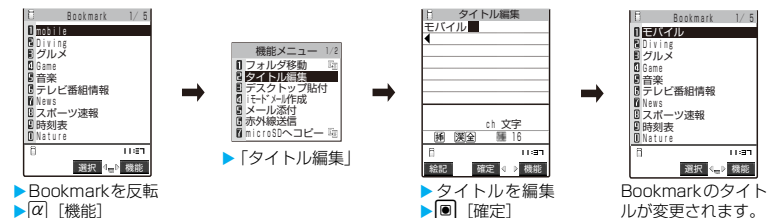
「タイトル編集」や「1件削除」のように、一覧中の1つのデータを対象とする機能メニューを選択する場合は、あらかじめそのデータを反転表示させてからα［機能］を押してください。

<例：一覧画面のBookmarkタイトルを編集する場合>

▶Bookmarkを反転
▶α［機能］

▶「タイトル編集」

▶タイトルを編集
▶●［確定］

Bookmarkのタイトルが変更されます。

● 複数選択について

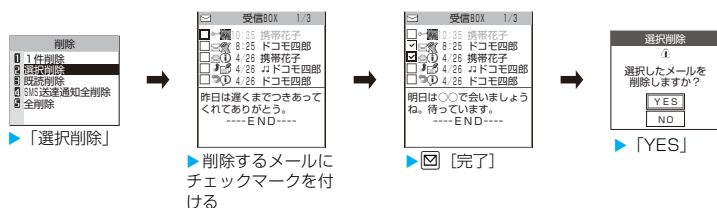
不要になったデータを削除したり、大切なデータを保護したり、ほかの人に見られたくないデータをシークレットフォルダに保管するときなどには、1件のデータやすべてのデータを操作対象とするだけではなく、複数のデータを操作対象にすることもできます。このような場合、次のように操作します。

＜例：受信メール一覧画面で複数のメールを削除する場合＞

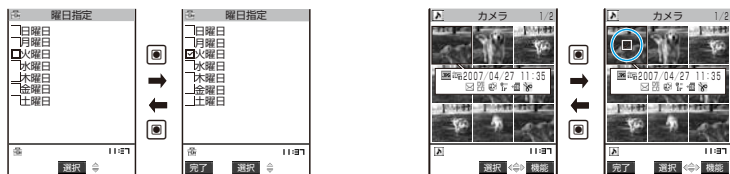
▶「選択削除」

▶削除するメールにチェックマークを付ける

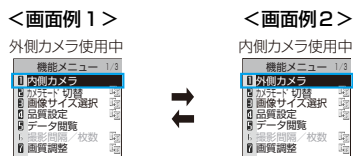
▶[完了]

▶「YES」

チェックマークの付けかた

で囲み枠を選択する項目に移動し［選択］を押すと、チェックボックスが□から☑になります。これが選択された状態です。［選択］を押すたびに、□と☑が切り替わります。

ピクチャ一覧では選択された状態になると、☑が表示されます。未選択状態では何も表示されません。

・ソフトキーに「機能」が表示されている場合は、［機能］を押すと「全選択」や「全選択解除」などの機能を選択することができます。

● 表示が交互に切り替わるメニューについて

メニューによっては、メニュー名が以下のように交互に切り替わるものがあります。

※FOMA端末で撮影画面を表示しているとき、「外側カメラ」を使用しているときは、＜画面例１＞のように「内側カメラ」と表示されます。この状態で「内側カメラ」を選択すると、「内側カメラ」が使用できる状態になり、次に機能メニューを表示したときには、メニュー名が「外側カメラ」に切り替わります。

■表示が交互に切り替わるメニューの記載について

このようなメニューは「内側カメラ⇔外側カメラ」と記載しています。

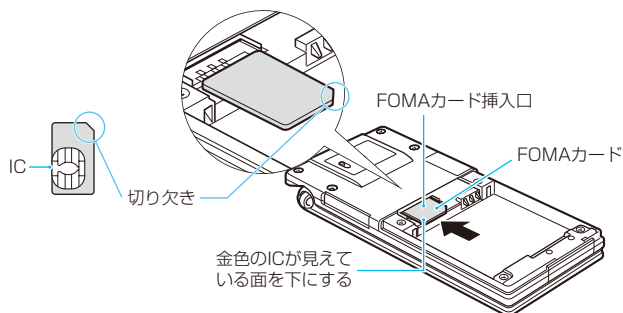
おしらせ

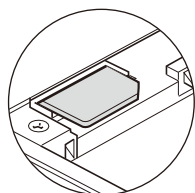
- 表示されている機能メニューの下にメニューがある場合は右側に「」が表示されます。
- 操作中の機能や設定状態などによって、表示される機能メニューの内容が異なったり、機能メニューの項目を選択できない場合があります。選択できない機能メニューの項目はグレーで表示されます。

FOMAカードを使う

FOMAカードはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
FOMAカードの付け外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください。→P.44
また、FOMA端末を閉じた状態で手で持ったまま行ってください。

● FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

1 FOMAカードのIC面を下にして、図のような向きでFOMA カード挿入口に差し込む

2 FOMAカードが固定されるように奥まで差し込む

FOMAカードを取り外す場合は、以下の状態からまっすぐ静かに引き抜いてください。

正しく取り付けられた状態

おしらせ

- 無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。→P.134

FOMAカード動作制限機能について

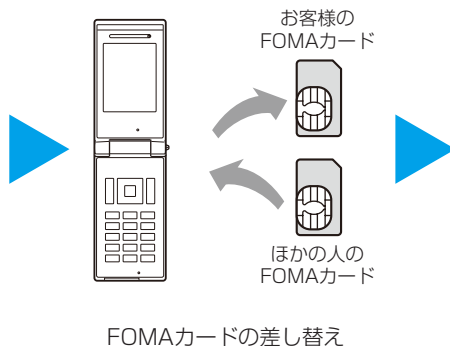
FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

● サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータなどを取得すると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時と同じFOMAカードが挿入されているときのみ操作することができます。
● FOMAカード動作制限機能の対象となるデータやファイルは以下のとおりです。
  ・ｉモードのサイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉアプリ／メロディ／画像／ｉモーション／着うたフル®／キャラ電／ダウンロード辞書／画像が含まれているテンプレート／マイシグナルのアニメーションデータ
  ・画面メモ（メロディ／画像／ｉモーション／着うたフル®／キャラ電／ダウンロード辞書／テンプレートが含まれているもの）
  ・お預かりセンターからダウンロードした画像
  ・受信BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（メロディ／画像／ｉモーション／電話帳・マイプロフィール・スケジュール・To Doリスト・Bookmarkの登録データ）、または貼り付けられているメロディ
  ・送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル※（メロディ／画像／ｉモーション／電話帳・マイプロフィール・スケジュール・To Doリスト・Bookmarkの登録データ）
  ※：ネットワーク経由で取得したファイルのみ。
  ・ファイル（メロディ／画像）が添付されているメッセージR／F
  ・デコメール本文中に挿入されている画像
  ・テレビ電話伝言メモ

このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「ほかの人のFOMAカード」として説明しています。

データをダウンロードしたり、メールを受信したときのFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

FOMAカードの差し替え

データをダウンロードしたり、メールを受信したときとは別のFOMAカードが挿入されている場合は、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータの閲覧や再生ができません。

おしらせ

● ほかの人のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは「[アイコン]」が付いて表示され、「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定することができなくなります。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定しているときに、FOMAカードを抜いたり、ほかの人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
● FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、ほかの人のFOMAカードを挿入した状態でも移動したり削除することはできます。
● ｉチャネルで受信したニュースなどの情報は、ほかの人のFOMAカードに差し替えると消去されます。
● 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX）機能、microSDメモリーカード、バーコードリーダーを使って登録したデータ、編集された画像、カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
● お買い上げ時に登録されているｉアプリでも、一度削除して再度サイトからダウンロードしたりバージョンアップすると、本機能の対象になります。
● FOMAカード動作制限機能が設定されていると、ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動することはできません。
● ほかのｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、その端末のテロップは表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信するには、ch を押してチャネル一覧を表示してください。その場合は、テロップも自動的に表示されるようになります。

FOMAカード差し替え時の設定について

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えた場合、以下の設定は差し替え前の設定から変更されます。

設定	別のFOMAカードに差し替えた場合
「バイリンガル」	差し替えたFOMAカードの設定となります。
「SMS center設定」	
「SMS有効期間設定」	
「PIN設定」	
「アプリケーション通信設定」の「接続先選択」	
「ｉチャネル設定」	お買い上げ時の設定に戻ります。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカード（青色）は、FOMAカード（緑色／白色）とは次のように異なります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
FirstPass　を利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

● 電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。

●取り付けかた

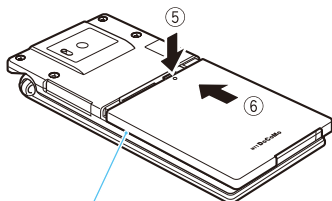
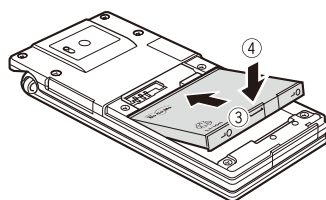
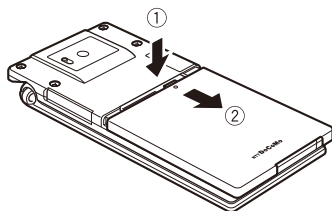
1 リアカバーを取り外す

リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、取り外します。

2 電池パックを取り付ける

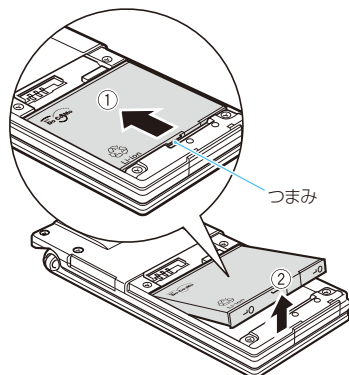
電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックのツメをFOMA端末（本体）の溝に確実に合わせ③の方向に取り付けてから、④の方向へはめ込みます。

3 リアカバーを取り付ける

リアカバーを約3mm開けた状態でFOMA端末（本体）の溝に合わせ、⑤の方向へ押し付けながら⑥の方向へスライドさせ「カチッ」と音がするまで押し込みます。

●取り外しかた

1 リアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出す

電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げ、取り外します。

おしらせ

- 無理に取り付けようとするとFOMA端末側の電池パックとつながる充電端子が壊れることがありますのでご注意ください。
- リアカバーの先端部を本体に差し込んだ状態で、無理に押さえ込まないでください。リアカバーのツメが壊れることがあります。
- 詳しくは電池パック N17の取扱説明書をご覧ください。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末専用の電池パック N17をご利用ください。

■電池パックの寿命

- ・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- ・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- ・電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、短時間の充電/放電を繰り返したり高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

■充電について

- ・詳しくはFOMA ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ・充電は、電池パックをFOMA端末に付けた状態で行ってください。
- ・充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。
- ・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- ・高温環境下で充電中に、電話をかけたりパケット通信などを行ったときに、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。この場合、使用している機能があるときは終了し、FOMA端末の温度が下がるのを待ってから充電を行ってください。

■電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください

- ・充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度取り付けし直してください。

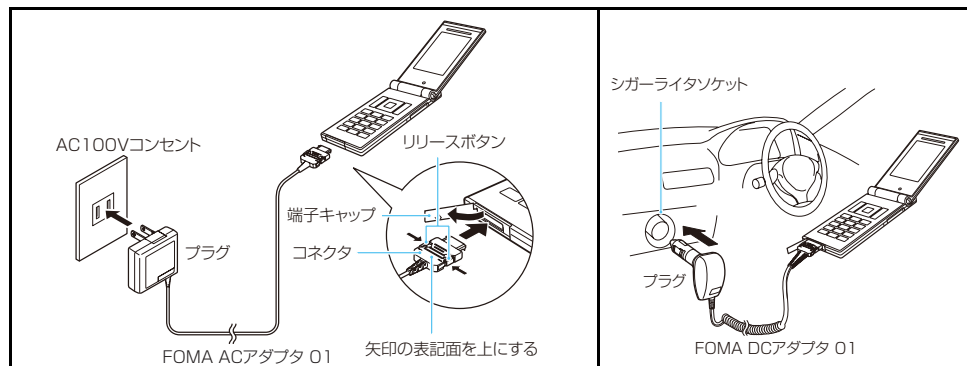
■電池の使用時間の目安（電池の使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります）

連続通話時間	連続待受時間
音声電話：約200分 テレビ電話：約135分	静止時：約690時間 移動時：約500時間

- ・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ・連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動したり、音楽を再生したりすると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ・静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ・移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- ・microSDメモリーカードを取り付けているとき、データ通信やマルチアクセスを実行したとき、カメラを使用したときも、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

携帯電話を充電する

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

■ ACアダプタ（別売）の場合　　■ DCアダプタ（別売）の場合

1. **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**
2. **ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む**
3. **ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む**
   DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む
   充電がはじまります。

充電時間の目安
約120分

4. **充電が終わったら､リリースボタンを押しながらACアダプタ／DCアダプタのコネクタを FOMA端末から水平に引き抜く**
   無理に引っ張ろうとすると故障の原因になります。
5. **ACアダプタのプラグをコンセントから抜く**
   DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜く
6. **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる**

おしらせ

- 電池パック単体の充電はできません。必ずFOMA端末に電池パックを付けた状態で充電を行ってください。
- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電ランプが消灯すれば充電は終了です（フル充電）。電源が入っている場合、充電中は「」が点滅し、充電が終了すると、「」が点灯します。
- 電池が切れた状態などでは、充電をはじめても充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。
- 電源を入れておくと、充電の開始、終了時に「充電確認音」が鳴ります。

＜ACアダプタ／DCアダプタ＞
- FOMA端末（本体）の充電ランプおよびディスプレイの「」が消灯し、「充電器異常　充電を中止してください」などと表示された場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタと電池パックを外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合は、ACアダプタやDCアダプタの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。
- DCアダプタは12V／24Vマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

残量の確認は目安としてご利用ください。

電池残量表示で確認する

FOMA端末の電源を入れると、電池残量を示すアイコンが自動的に表示されます。

：十分残っています。
：まだ大丈夫です。
：電池残量がほとんどありません。充電してください。

音と表示で確認する

電池残量を音と表示でお知らせします。

MENU 7 1

確認画面が表示され、電池残量に合わせて音が鳴ります。約3秒後に電池残量の表示は消えます。
「ピッピッピッ」：十分残っています。
「ピッピッ」　　：まだ大丈夫です。
「ピッ」　　　　：電池残量がほとんどありません。充電してください。

おしらせ

- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合やマナーモード設定中は音が鳴りません。
- マイシグナルでも電池残量の確認ができます。→P.33

電池が切れたときは？

電池切れアラームとともに左のような画面が表示されます。電池切れアラームは約10秒間鳴り、約1分後に電源が切れます。電池切れアラームを止める場合はいずれかのボタン（外部ボタンを除く）を押してください。

おしらせ

- 音声電話中は電池切れ画面と「ピッピッピッ」音、テレビ電話中は電池切れ画面（相手側には「カメラオフ Camera Off」というメッセージ）によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れますのでご注意ください。
- マナーモード設定中（「低電圧アラーム」が「OFF」）は、電池切れアラームは鳴りません。

電源を入れる／切る

● お買い上げ後はじめてお使いになる場合や長時間お使いにならなかった場合は、必ず充電してからお使いください。

電源を入れる

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

（1秒以上）

待受画面または初期設定画面が表示されます。電池パックを取り付けたときや、電源を切ってからすぐに電源を入れ直したときなどは、しばらくの間「WAIT A MINUTE」と画面に表示される場合があります。

待受画面

■「圏外」の表示が出ている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。受信レベルは以下のように表示されます。

■ PIN1コード入力を「ON」に設定している場合

PIN1コード入力画面が表示されます。→P.134

■ 積算料金自動リセットを「ON」に設定している場合

PIN2コード入力画面が表示されます。

■ 初期設定画面が表示された場合

初期設定を行います。→ P.49

おしらせ

● FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。正しい端末暗証番号が入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます（ただし、再度電源を入れることは可能です）。

電源を切る

（2秒以上）

終了画面が表示され、電源が切れます。

おしらせ

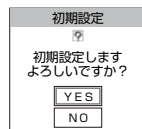
● 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。急に通話が切れることがあります。できるだけ「」が表示されている状態で使用することをおすすめします。

初期設定を行う

電源を入れた後に初期設定として「時計設定」、「端末暗証番号の変更」、「文字サイズ」、「ボタン確認音」を設定します。

初期設定
初期設定します
よろしいですか？
YES
NO

初期設定画面

初期設定画面▶「YES」

時計を設定

時計設定について→P.49

端末暗証番号を変更

端末暗証番号はお買い上げ時は「0000」に設定されています。
端末暗証番号を変更する→P.135

文字サイズを設定

文字サイズの設定について→P.124

ボタン確認音を設定

ボタン確認音について→P.111

ソフトウェアを更新

ソフトウェアの更新について→P.390

おしらせ

- 設定中に電話がかかってくるなどして初期設定が途中で終了しても、設定が完了した機能については有効になります。
- 一部の機能だけを設定した場合、次回電源を入れたとき、その機能の設定画面は表示されません。すべての機能を設定すると、以後電源を入れたときに初期設定の画面は表示されなくなります。
- PIN1コード入力を「ON」に設定している場合は、電源を入れた後、PIN1コード入力画面が表示されます。→P.134
- 初期設定を中止した場合もソフトウェアの更新をするかどうかの確認画面が表示されます。

〈時計設定〉

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時
自動時刻補正する

日付と時刻を自動で補正するか、手動で行うかを設定します。

MENU 3 1 ▶以下の項目から選択

自動時刻補正する……日付・時刻を自動で設定します。
時刻情報を取得して自動的に日付と時刻を設定します。

自動時刻補正しない……日付・時刻を手動で設定します。

■「自動時刻補正しない」を選択した場合

年（西暦）、月、日、時刻を入力します。

<例：2007年4月27日、午前11時37分に設定する場合>

時計設定
(西暦) 2007
(月日) 04／27
(時刻) 11：37

を押して反転表示を移動させ、ダイヤルボタンで入力します。時刻は「待受時計表示」の表示形式（12時間形式／24時間形式）の設定にかかわらず、24時間形式で入力します。
ここでは 2 、 0 、 0 、 7 、 0 、 4 、 2 、 7 、 1 、 1 、 3 、 7 と押します。

おしらせ

- 設定した日付・時刻は、内蔵のバックアップ電池を用いて保持していますので、電池パックを交換するときでも保持されます。ただし約2週間以上電池パックを外していると保持されない場合があります。そのような場合で、「自動補正しない」に設定するときは、電池パックを充電してから、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。また、バックアップ電池は電池パックを充電すると、同時に充電されます。
- 日付・時刻を設定すると、待受画面やマイシグナルなどに表示されるようになり、「アラーム」や「スケジュール」など、日付・時刻を管理する機能が使えるようになります。
- 設定できる日付・時刻は、2004年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

おしらせ

＜自動時刻補正＞

- 次の場合にドコモのネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正します（ただし、電波状況によっては自動補正を行わない場合もあります）。
  - ・電源を入れたとき
  - ・待受画面表示中で、「圏外」から「電波」など電波受信レベル表示に変わったとき
  - ・待受画面表示中で、充電を開始したとき
  - ・「自動時刻補正する」を設定したとき
- FOMAカードが取り付けられていない場合や「圏外」が表示されているところでは補正が行われません。
- 「ｉアプリ待受画面」を設定している場合、設定したｉアプリによっては補正が行えないことがあります。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈発信者番号通知〉

相手に自分の電話番号を通知する

ご契約時：通知しない	お申し込み：不要	月額使用料：無料

FOMA端末は電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。

●「圏外」が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。

MENU 1 7 ▶以下の項目から選択

発信者番号通知設定……ネットワーク暗証番号について→P.134

通知する……▶ネットワーク暗証番号を入力

通知しない……▶ネットワーク暗証番号を入力

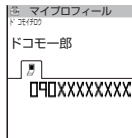
発信者番号通知設定確認……▶発信者番号の通知設定を確認▶「OK」

おしらせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.62
- 本機能は相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は、発信者番号通知を「通知する」に設定してかけ直してください。

〈マイプロフィール〉

自分の電話番号を確認する

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局番号）を表示して確認します。

おしらせ

- お客様のマイプロフィール（名前、自宅などの電話番号や住所、メールアドレスなど）を登録することもできます。→P.313
- 「マイプロフィール」に登録した情報は、サイトなどで所有者情報（名前、メールアドレスなど）を入力するとき、簡単に引用できます。→P.349
- ｉモードのメールアドレスは、ｉモードメニュー▶Menu▶料金＆お申込･設定▶メール設定▶アドレス確認の順に操作すると確認できます。

●電話／テレビ電話

■電話／テレビ電話のかけかた

■電話／テレビ電話の受けかた

■電話／テレビ電話に出られないとき、出られなかったとき

■テレビ電話の設定

音声電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番からダイヤル

「電話番号入力画面」が表示されます。
同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

市外局番 － 市内局番 － 電話番号

26桁を超えて入力すると、下26桁が表示されます。80桁まで発信できます。

■ 携帯電話にかける場合
090－××××－××××
または
080－××××－××××

■ PHSにかける場合
070－××××－××××

電話番号入力画面

機能メニュー ➡P.54

<電話番号の入力を間違えたとき>

■ 番号を挿入する場合
[◎]で挿入したい位置の1つ左の番号にカーソルを移動し、番号を入力します。

■ 番号を削除する場合
[◎]で削除したい番号にカーソルを合わせ、[CLR]を押します。
[CLR]を1秒以上押すと、カーソルのあたっている番号とその左側にあるすべての番号が削除されます。

■ 入力し直す場合
カーソルを番号の先頭か最後に合わせて[CLR]を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

<テレビ電話>

■ キャラ電画像でかける場合
▶[α][機能]▶「テレビ電話画像選択」▶「キャラ電」▶キャラ電を選択

2 [☎](音声電話)／[✉][テレビ電話](テレビ電話)

<音声電話>

「通話中画面」が表示されます。

■「ツーツー」という話中音が聞こえる場合
相手が話し中です。しばらくたってからおかけ直しください。

■ 電話がかからないことを通知するガイダンスが聞こえる場合
相手の携帯電話、PHSの電源が入っていない、または相手が電波の届かない場所にいます。
しばらくたってからおかけ直しください。

通話中画面

■ 電話番号の通知をお願いするガイダンスが聞こえる場合
相手が番号通知お願いサービスを「開始」に設定しています。電話番号を通知しておかけ直しください。

<テレビ電話>

「テレビ電話中画面」が表示されます。
相手の音声がスピーカから流れて通話できます。

■ テレビ電話がかからなかった場合→P.55

■ カメラ映像と代替画像を切り替える場合
▶[α][機能]▶「代替画像切替」または「自画像切替」

■ 外側カメラの映像を送信する場合
▶[◉][切替]
[◉][切替]を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

■ 親画面表示を切り替える場合
▶[◉](1秒以上)
[◉](1秒以上)を押すたびに画面が以下の順に切り替わります。
親画面に相手側映像を表示 → 親画面に自分側映像を表示 → 相手側映像のみを表示 → 自分側映像のみを表示

テレビ電話中画面

機能メニュー ➡P.54

■ 送信する音声をミュート(消音)する場合(マイクミュート)
▶[◁][⏎](1秒以上)
ミュート中「MUTE」が表示されます。映像はそのまま送信されます。
再度[◁][⏎]を1秒以上押すと、ミュートが解除されます。

■ 通話中に音声電話／テレビ電話の通話を切り替える場合
「通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える」→P.56

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合
「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.74

3 通話が終了したら [☎]

おしらせ

- 音声電話／テレビ電話をかける際に、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字までのメッセージ（着もじ）を付けることができます。相手側の着信中画面に着もじが表示されます。→P.60
- ハンズフリーを利用して通話することができます。→P.57
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。→P.321
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際電話を利用することができます。→P.65

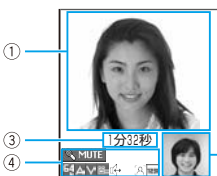
<音声電話>
- 発信中は「[icon]」が点滅し、通話中は点灯します。

<テレビ電話>
- テレビ電話発信中は「[icon]」が点滅し、通話中は点灯します。「32K」の通信速度で発信した場合は「[icon]」が点滅し、通話中は点灯します。
- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。
- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけたときは、自動的に音声電話での発信になります。
- テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。iモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「iモード問い合わせ」を行って受信してください。
- テレビ電話中に「電池充電してください」という電池切れアラームが表示されたときは、相手側に「カメラオフ Camera Off」というメッセージが表示され、約20秒後に切断されます。切断される前に充電を開始した場合は、電池切れアラームが発生する前の画像でテレビ電話通話が継続されます。
- 充電中に外側カメラを使用してテレビ電話を利用している場合、FOMA端末の温度状態によっては、まれに、カメラオフになることを通知するメッセージが表示され、自動的にカメラオフへ切り替わることがあります。

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしでご利用いただけます。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。
  ※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  　　第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
  ※2：3G-324M
  　　第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- テレビ電話の通信速度について
  ・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  ・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

■ テレビ電話画面の見かた

①親画面（お買い上げ時は相手側のカメラ映像を表示）
②子画面（お買い上げ時は自分側のカメラ映像を表示）
③通話時間
④各種機能の設定内容

[icon] [icon]：64K／32Kテレビ電話通信中
[icon] [icon]：音声送受信中／送受信失敗
[icon] [icon]：映像送受信中／送受信失敗
[icon] [icon]：カメラ映像／代替画像送信中
[icon] [icon]：ハンズフリー ON／OFF
[MUTE]：マイクミュート中（消音中）
[icon]：ビジュアルチェック中
[icon] [icon] [icon]：撮影モード（ポートレート／風景／接写）
[icon] [icon] [icon]：キー操作モード（DTMFモード※1／全体アクションモード※2／パーツアクションモード※2）
[icon]：キャラ電送信中
※1：「DTMF送信／DTMF送信解除」→P.55
※2：「キャラ電を利用する」→P.81

電話番号入力画面

1 電話番号入力画面（P.52）▶α［機能］▶以下の項目から選択

発番号設定……「電話をかけるときに通知／非通知を選択する」→P.62

プレフィックス……「プレフィックス番号を付加して電話をかける」→P.64

着もじ……「着もじを付けて電話をかける」→P.60

国際電話発信……「国際電話発信機能を利用して国際電話をかける」→P.66

マルチナンバー……「マルチナンバー」→P.335

電話帳登録……「電話帳に登録する」→P.91

ｉモードメール作成……「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

通信速度設定……テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K／32K」から選択します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

おしらせ

- 「通信速度設定」が変更されるのは１回の通話（発信）のみです。リダイヤル、発信履歴にも通信速度は記憶されません。また、「通信速度設定」を設定した後に音声電話をかけると、設定は無効になります。

テレビ電話中画面

1 テレビ電話中画面（P.52）▶α［機能］▶以下の項目から選択

代替画像切替⇔自画像切替……自画像と代替画像を切り替えます。

外側カメラ⇔内側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。
通話中のみ設定が保持されます。

親画面表示切替……親画面の表示を切り替えます。
切り替えるたびに「親画面に相手側のカメラ映像を表示」→「親画面に自分側のカメラ映像を表示」→「相手側のカメラ映像のみを表示」→「自分側のカメラ映像のみを表示」の順で画面が切り替わります。

ビジュアルチェック⇔ビジュアルチェック終了……「テレビ電話中に自分の顔を確認する」→P.83

テレビ電話設定……テレビ電話の画面について設定します。

- **送信画質設定**……相手に送信する映像と相手から受信する映像について設定します。
通話中のみ設定が保持されます。
  - **標準**（お買い上げ時）……画質、動きともに標準の設定です。
  - **画質優先**……きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
  - **動き優先**……動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。
- **明るさ調節**……画像の明るさを「－２～０～＋２」の５段階で調節します。
- **ホワイトバランス設定**……画像の色合いを設定します。
設定項目の詳細については「ホワイトバランス設定」をご覧ください。
設定内容はカメラの同機能にも反映されます。
- **色調切替**……画像の効果を「通常／セピア／白黒」から選択します。
通話中のみ設定が保持されます。
- **撮影モード選択**……撮影する場面に合ったモードを設定します。
設定項目の詳細については「撮影モード選択」をご覧ください。
内側カメラのときは設定できません。

キャラ電設定……キャラ電を利用している場合は以下の設定ができます。カメラ画像のときは設定できません。

- **キャラ電切替**……表示するキャラクタの種類を選択します。

アクション一覧……操作できるアクションとそのアクションに割り当てられているボタンを確認できます。[＊]を押してもアクション一覧を表示できます。

アクション切替……アクションモードを切り替えます。

静止画切替……相手側の画面に自作の画像を表示します。→P.82

照明設定……バックライトの点灯を設定します。

常時点灯（お買い上げ時）……常時バックライトを点灯します。

15秒点灯……15秒間のみバックライトを点灯します。

内側カメラ反転表示……通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

通話中時間表示（お買い上げ時：ON）……通話中に通話時間を表示するかどうか設定します。

自局番号……テレビ電話中にお客様の電話番号を表示します。

DTMF送信⇔DTMF解除……キャラ電中にプッシュ信号の送信モードを設定／解除します。
キャラ電以外のテレビ電話中は常にプッシュ信号モードになります。

音声電話切替……「通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える」→P.56

● テレビ電話がかからなかった場合

テレビ電話がかからなかったときは、接続できなかった理由が表示されます。

- 状況によっては接続できなかった理由が表示されない場合があります。
- 接続する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手がお話し中の場合 ・相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。
パケット通信中です	相手がパケット通信中の場合
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源が入っていない場合
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合（ビジュアルネットへの発信時）
転送致しますのでお待ち下さい	転送中の場合（転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末であればテレビ電話にかかります）
音声電話でおかけ直しください	転送先がテレビ電話非対応の場合
電話番号を通知しておかけ直しください	相手が番号通知お願いサービスを設定している場合
お客様のご要望によりおつなぎできません	相手が迷惑電話ストップサービスを設定している場合
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超えている場合
接続できませんでした	発信者番号非通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 ・上記以外の場合にも表示されることがあります。
ｉモードから接続してください	ｉモード公式サイトを閲覧しないでテレビ電話をかけてＶライブを視聴しようとした場合

■音声自動再発信について

● テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、「音声自動再発信」を「ON」に設定していると、自動的に音声電話に切り替えて発信します。「音声自動再発信」の動作は以下のようになります。

通信速度	音声自動再発信「ON」	音声自動再発信「OFF」
通信速度「64K」で発信してつながらなかった場合	通信速度「32K」で再発信します。	通信速度「32K」で再発信します。
通信速度「32K」で発信してつながらなかった場合	音声電話で再発信します。	再発信しません。

ただし、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2007年１月現在）にかけたときや間違い電話をしたときなどは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

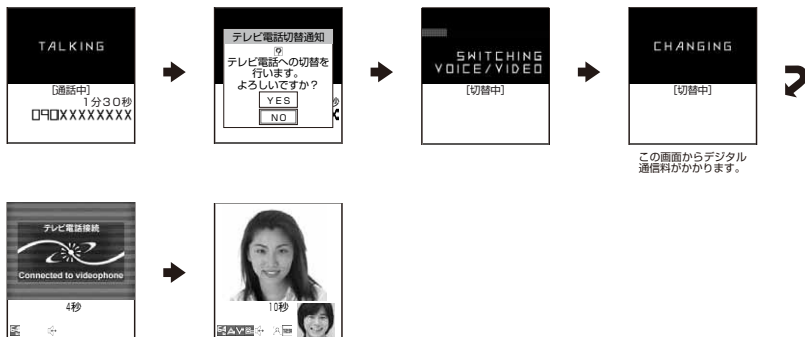
●「32K」の通信速度は、ネットワーク状況によって「64K」で通信できないPHSなどの機器とテレビ電話を利用するためのものです。「64K」でテレビ電話をかけても、相手が「32K」エリアなどの通信環境であった場合は、自動的に「32K」に切り替えて再発信します。「32K」でテレビ電話をかけた場合でも、「64K」でテレビ電話をかけたときと同じデジタル通信料になります。

通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

● 相手側が切り替え可能なFOMA端末の場合、音声電話とテレビ電話の切り替えができます（音声⇔テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます）。
● 切り替え操作は、発信側からのみ行うことができます。
● 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。
● 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行うことができます。

＜例：音声電話からテレビ電話に切り替える場合＞

通話中画面▶◉［テレビ電話］▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替える場合

▶テレビ電話中画面（P.52）▶α［機能］▶「音声電話切替」

おしらせ

● 切り替えには、５秒程度の時間がかかります。なお、電波の状態などにより、切り替えるまでに時間がかかることがあります。
● 以下の場合は、通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えることができません。
　・相手側が通話を保留にしているとき
　・相手側が伝言メモを起動したとき
● 表示されている通話時間は、通話を切り替えるたびに０秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話が終了した場合、通話終了後に表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。通話時間からは切り替えにかかった時間は除かれて表示されます。
● 相手側の利用状態や電波の状態などにより、切り替えることができず、通話が切断されることがあります。
● 切り替え操作を行った場合でも、リダイヤル／発信履歴には、最初に発信した電話の履歴が記憶されます。また、着信履歴には最初に着信した電話の履歴が記憶されます。
●「SWITCHING VOICE/VIDEO」が表示されている間は通話料はかかりません。
● 切り替えを行った際に、「通話時間／料金」に表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。

おしらせ

＜音声電話⇒テレビ電話切り替え時＞
- 切り替え操作を行うと、テレビ電話中に送信する画像についてのメッセージが相手側のテレビ電話画面に表示されて、相手側でカメラ映像を送信するか代替画像を送信するかを選択できます。→P.71
- 発信側がｉモード中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中（ｉモード含む）の場合は、「切替できません」というメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声通話を継続します。
- 切り替え後のハンズフリーの設定は、「ハンズフリー切替」に従います。
- 「キャッチホン」が動作しているときは、切り替えることができません。

＜テレビ電話⇒音声電話切り替え時＞
- ハンズフリーの設定は解除されます。

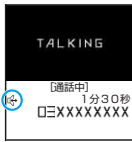
〈ハンズフリー〉

通話中にハンズフリーに切り替える

通話中の相手の音声をスピーカから流して通話します。

通話中画面（P.52）▶✉［On］

ハンズフリー通話中は「 」が表示され、相手の音声がスピーカから流れます 。

呼出中に✉［On／Off］を押してハンズフリーを切り替えることもできます。

音声電話の場合

テレビ電話の場合

■ ハンズフリーを解除する場合

▶ハンズフリー通話中に✉［Off］

ハンズフリーはOFFになり、音声電話の場合は「 」が消えます。テレビ電話の場合は「 」が「 」に変わります 。

● ハンズフリーを利用するときは

ハンズフリー通話では、FOMA端末から約30cm程度離して使用することを推奨します。これより離れたり近づき過ぎたりすると、相手側で聞き取り難い場合や、音声の聞こえ方が変わることがあります。

おしらせ

- ハンズフリーに設定すると相手の音声が周囲にもれますので、ほかの人の迷惑にならないような場所へ移動してからハンズフリーに切り替えてください。
- 通話が終了すると、ハンズフリーの設定は解除されます。

リダイヤル／発信履歴／着信履歴を利用する

かけたり、かかってきた相手の電話番号や日付・時刻などの情報は、リダイヤル／発信履歴／着信履歴として記憶されます。これらを利用すると、かけたり、かかってきた相手に簡単に電話をかけられます。

- 同じ電話番号に繰り返し発信すると、リダイヤルには最新の1件が、発信履歴には別の1件として情報が記憶されます。
- リダイヤルは音声電話とテレビ電話の電話番号を30件まで記憶できます。
- 発信履歴／着信履歴は音声電話とテレビ電話の履歴を30件、パケット通信と64Kデータ通信の履歴を30件まで記憶できます。
- 履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

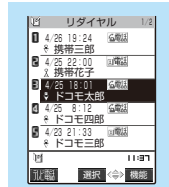
<例：リダイヤル／着信履歴の一覧画面から電話をかける場合>

1 待受画面表示中▶(リダイヤル)／(着信履歴)

「リダイヤル画面（一覧）」／「着信履歴画面（一覧）」が表示されます。

■ 発信履歴を確認する場合

▶MENU▶「OWN DATA」▶「発信履歴」

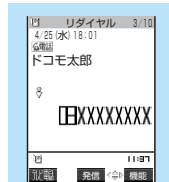
「発信履歴画面（一覧）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（一覧）

機能メニュー ➡P.59

2 リダイヤル／着信履歴を反転

■ リダイヤル／着信履歴の詳細を確認してから電話をかける場合

▶リダイヤル／着信履歴を選択

「リダイヤル画面（詳細）」／「着信履歴画面（詳細）」が表示されます。

例：リダイヤル画面（詳細）

機能メニュー ➡P.59

3 (音声電話)／[テレビ電話]（テレビ電話）

● 不在着信の件数を確認する

■ 着信履歴から不在着信だけを確認する場合

▶MENU 2 4

全着信の件数、不在着信の件数、および不在着信のうち未確認の件数が表示されます。
「不在着信」を選択すると、不在着信のみ表示されます。

■ 表示されるリダイヤル／発信履歴／着信履歴のアイコンについて

アイコン	説明
電話／不在／不在	音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在（INT'L）	国際音声電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在	テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
電話／不在／不在（INT'L）	国際テレビ電話の発着信／不在着信／未確認不在着信
伝言／伝言	音声伝言メモ／テレビ電話伝言メモに用件が録音／録画されているもの
	着もじの付いた着信
パケット／不在／不在	パケット通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
64k／不在／不在	64Kデータ通信の発着信／不在着信／未確認不在着信
遠隔	遠隔監視の着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けたパケット通信や64Kデータ通信の着信

おしらせ

- 電源を切っても、リダイヤル／発信履歴／着信履歴は削除されません。発着信した電話番号をほかの人に見られたくないときは、リダイヤル／発信履歴／着信履歴を削除するか、「オリジナルロック」でロックしてください。

おしらせ

<リダイヤル／発信履歴>
- ●「指定発信制限」を設定すると、それまでのリダイヤル／発信履歴はすべて削除されます。ただし、設定後にかけた電話はリダイヤル／発信履歴に記憶されます。
- ●マルチナンバーを機能メニューから選択して発信した場合、リダイヤル画面（詳細）／発信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名と番号が表示されます。機能メニューを利用せずに発信した場合は、「通常発信番号設定」を付加番号に設定していても、何も表示されません。

<着信履歴>
- ●「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、着信履歴に表示されません。
- ●相手がダイヤルインを利用している場合、ダイヤルイン番号とは異なった番号が表示されることがあります。
- ●電話番号を通知してこなかった場合、着信履歴に非通知理由が表示されます。
- ●同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録している場合、着信履歴には、電話帳のフリガナの検索順に従って電話帳の名前が表示されます。→P.96
- ●マルチナンバーの契約をしている場合、着信履歴画面から発信すると「通常発信番号設定」の設定にかかわらず、着信を受けた番号で発信します。
- ●マルチナンバーの付加番号に着信した場合、着信履歴画面（詳細）の電話番号の下に、付加番号の登録名が表示されます。

機能 リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面

リダイヤル画面／発信履歴画面／着信履歴画面（P.58）▶α［機能］▶以下の項目から選択

発番号設定※1……「電話をかけるときに通知／非通知を選択する」→P.62

プレフィックス※1……「プレフィックス番号を付加して電話をかける」→P.64

着もじ※1……「着もじを付けて電話をかける」→P.60

国際電話発信※1……「国際電話発信機能を利用して国際電話をかける」→P.66

マルチナンバー※1……「マルチナンバー」→P.335

呼出時間表示※2……不在着信履歴が表示され、呼出時間が表示されます。着信履歴画面（一覧）表示中のみ有効です。

電話帳登録……「リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する」→P.93

電話帳参照……「リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す」→P.96

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

ｉモードメール作成……「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

SMS作成……「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.237

送信アドレス一覧※3……送信アドレス一覧を表示します。

受信アドレス一覧※2……受信アドレス一覧を表示します。

通信速度設定※1……テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K／32K」から選択します。

テレビ電話画像選択……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。
設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

※1：詳細表示画面でのみ利用できる機能です。
※2：着信履歴画面でのみ利用できる機能です。
※3：リダイヤル画面／発信履歴画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

- ●「ｉモードメール作成」は電話番号が電話帳に登録されていて、その電話帳にメールアドレスが登録されている場合、メールアドレスを宛先としたメールを作成します。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。
- ●リダイヤル画面／発信履歴画面から「全削除」を行うと、リダイヤルと発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、また発信履歴を「1件削除」、「選択削除」してもリダイヤルからは削除されずに履歴が残りますのでご注意ください。発信履歴を削除するときは発信履歴画面の機能メニューから、リダイヤルを削除するときはリダイヤル画面の機能メニューから、それぞれ削除してください。

〈着もじ〉

着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかける際、呼び出し中に相手側へメッセージ（着もじ）を送り、あらかじめ用件などを伝えます。

- お買い上げ時には５件登録されており、お買い上げ時に登録されている着もじの内容は変更できます。
- 着もじには絵文字や顔文字を含めることができ、絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで送れます。
- 対応機種は、以下のとおりです。
  902iSシリーズ、SH902iSL、N902iX HIGH-SPEED、N902iL、903iシリーズ、702iSシリーズ（N702iS、M702iS、M702iGを除く）、703iシリーズ、601iシリーズ（L601iを除く）、D800iDS

着もじを付けて電話をかける

「電話番号入力画面」や「電話帳」、「リダイヤル／発信履歴／着信履歴」の詳細画面から音声電話やテレビ電話をかける際に、着もじを付けることができます。

<例：電話番号入力画面から着もじを付けて電話をかける場合>

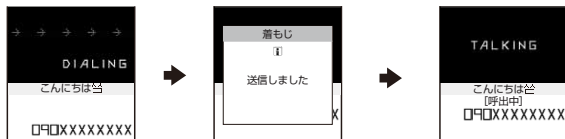
1 電話番号入力画面（P.52）▶α［機能］▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成……着もじを入力します。10文字まで入力できます。

メッセージ選択……登録済みの着もじから選択します。
メッセージ選択画面で✉［編集］を押して、着もじの内容を編集することもできます。

送信メッセージ履歴……過去に送信した着もじから選択します。送信メッセージ履歴画面で✉［編集］を押して、着もじを編集することもできます。

■ 入力した着もじを消去（着もじなしで発信）する場合
▶α［機能］▶「着もじ」▶「メッセージ作成」▶入力されている着もじをすべて消去

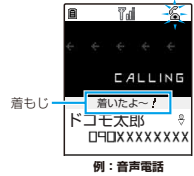
2 （音声電話）／✉［テレビ電話］（テレビ電話）

着もじが相手側の端末に届いた場合、「送信しました」という送信結果が表示されます。

おしらせ

- 着もじの送信には送信料金がかかります。なお、受信側は料金はかかりません。
- 送信メッセージ履歴には送信した着もじを30件まで記憶できます。同じ着もじを繰り返し送信した場合、最新の１件だけが記憶されます。また、最大件数を超えた場合、古いものから順に上書きされます。
- 着信側が以下の場合などは、着もじを送信できません。このとき送信料金はかかりません。
  - 着もじ対応端末でない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 着信側の「メッセージ表示設定」により、発信側の着もじが着信側に表示されない場合（「送信できませんでした」と表示されます）
  - 公共モード（ドライブモード）設定中の場合
  - 伝言メモの呼出時間を０秒に設定している場合
  - 「圏外」または電源が入っていない場合
- 電波状態によっては、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 「メッセージ選択」で登録済みの着もじの内容を編集して送信しても、登録内容は変更されません。
- 着もじは、海外に送信することはできません。

● 着もじが付いた音声電話やテレビ電話を受けると

着もじが着信中画面に表示されます。なお、通話を開始すると着もじは消えます。

例：音声電話

おしらせ

- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信であっても、着もじは表示され、着信履歴にも着もじは残ります。

● 着信履歴から着もじを表示する

着もじを受信すると、着信履歴に「✎」のアイコンが表示されます。

1 待受画面表示中▶▶「✎」が表示されている着信履歴を選択

「着信履歴画面（詳細）」が表示され、着もじの内容を確認できます。

おしらせ

- 着信履歴を利用して電話をかけた場合でも、履歴に残されている着もじは送信されません。

着もじの編集や設定をする

1 MENU▶「SERVICE」▶「着もじ」▶以下の項目から選択

メッセージ作成……「よく使う着もじを登録する」→P.61

メッセージ表示設定……着もじが付いた着信があったときの着もじの表示条件を設定します。

- **すべて表示**……すべての着もじを表示します。
- **電話帳登録番号のみ**……電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
- **番号通知ありのみ**（お買い上げ時）……番号通知のある相手からの着もじのみを表示します。
- **表示しない**……すべての着もじを表示しません。

● よく使う着もじを登録する

- 着もじは、最大30件（お買い上げ時に登録されている5件を含む）まで登録できます。

1 MENU▶「SERVICE」▶「着もじ」▶「メッセージ作成」

「メッセージ作成一覧画面」が表示されます。

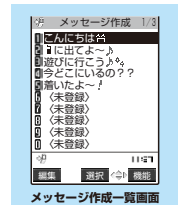
2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］

■ すでに登録されている着もじの内容を変更する場合

▶変更する項目を反転▶✉［編集］

3 着もじを入力

メッセージ作成一覧画面

機能メニュー➡P.62

メッセージ作成一覧画面

1 メッセージ作成一覧画面（P.61）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……着もじを編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- お買い上げ時に登録されている着もじは削除できません。お買い上げ時に登録されている着もじを変更し、その着もじを削除しても、お買い上げ時の内容に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声電話やテレビ電話をかけたときにお客様の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

機能名	機能内容	参照ページ
発信者番号通知	電話をかけたときに、お客様の電話番号を通知するかどうかを一括して設定します。	P.50
「186」／「184」ダイヤル	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを「186」／「184」をダイヤルして設定します。	P.62
発番号設定	電話をかけるたびに、お客様の電話番号を通知するかどうかを機能メニューから設定します。	P.62

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けてダイヤルする

電話をかけるたびに、電話番号を通知する場合は相手の電話番号の前に「186」を、通知しない場合は相手の電話番号の前に「184」をダイヤルします。

■電話番号を通知する場合

186－［相手先の電話番号］－☎（音声電話）／✉［TV電話］（テレビ電話）

■電話番号を通知しない場合

184－［相手先の電話番号］－☎（音声電話）／✉［TV電話］（テレビ電話）

おしらせ

- 国際電話では、「186」／「184」を付けてダイヤルしても無効になりますので、機能メニューから「発番号設定」を選択してください。
- 電話番号の通知をお願いするガイダンスが流れた場合は、「186」を付けてダイヤルし直すと通話できます。
- 「186」または「184」を付けて電話をかけたときは、リダイヤルや発信履歴に「186」または「184」を付けた電話番号で記憶されます。

電話をかけるときに通知／非通知を選択する<発番号設定>

相手に電話番号を通知するかどうかを「通知しない／通知する」から選択します。

- 発番号設定機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面から音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 α［機能］▶「発番号設定」▶「通知しない」または「通知する」

■「発番号設定」の「通知しない」／「通知する」を解除する場合

▶「発番号設定消去」

「発番号設定消去」を選択すると「発信者番号通知設定」で設定した内容になります。

3 ☎

〈ポーズダイヤル〉

プッシュ信号を手早く送り出す

FOMA端末からプッシュ信号を送って、ポケットベルへのメッセージ送信やチケットの予約、銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ダイヤルデータをポーズダイヤルに登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。p（ポーズ）を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

● 登録できるダイヤルデータは1件、最大128文字まで入力できます。
● ダイヤルデータに登録できる文字は0～9、#、＊、p（ポーズ）です。
● p（ポーズ）をダイヤルデータの先頭に入力したり、連続して入力することはできません。

ポーズダイヤル画面

機能メニュー ➡P.63

1 MENU 8 4

「ポーズダイヤル画面」が表示されます。

■ すでにダイヤルデータが登録されている場合
登録されているダイヤルデータが表示されます。

2 ✉［編集］▶ダイヤルデータを入力

0～9、#、＊を押してダイヤルデータを入力してください。

■ p（ポーズ）を入力する場合
▶＊（1秒以上）

機能 ポーズダイヤル画面

1 ポーズダイヤル画面（P.63）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……ダイヤルデータを編集します。

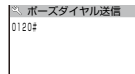
ポーズダイヤル送信……▶送信先の電話番号を入力▶☎
☎を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。

削除……登録されているダイヤルデータを削除します。

ダイヤルデータをポーズダイヤルとして送信する

1 MENU 8 4 ▶●［送信］

2 送信先の電話番号をダイヤル▶☎

ポーズダイヤル送信
0120#

入力した電話番号に電話がかかり、呼出中になると最初のp（ポーズ）までのダイヤルデータが表示されます。p（ポーズ）は表示されません。

3 ☎

☎を押すたびに、p（ポーズ）までのダイヤルデータが送出されます。最後の番号を送り終えると通話中画面になります。

■ ダイヤルデータをまとめて送出する場合
▶📹（1秒以上）▶「一括送出」
相手によっては一括送出できない場合があります。

おしらせ

● 受信側の機器によっては、プッシュ信号を受信できない場合があります。
● 音声通話中にポーズダイヤル画面を表示すると、通話中の相手にダイヤルデータを送信できます。
● テレビ電話中は、ポーズダイヤルを送信できません。

プレフィックス機能を利用する

国際アクセス番号（WORLD CALL＝009130-010）や発信者番号の通知／非通知（186／184）など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号をあらかじめ登録しておき、電話をかけるときに付加します。

プレフィックス番号を登録する<プレフィックス設定>

お買い上げ時 WORLD CALL（009130010）

● プレフィックスは7件まで登録できます。
● 番号に登録できる文字は0～9、＃、＊、＋です。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「発信」▶「プレフィックス設定」

「プレフィックス設定画面」が表示されます。

プレフィックス設定画面

機能メニュー ➡P.64

2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］

■ すでに登録されている項目の内容を変更する場合
▶変更したい項目を反転▶✉［編集］

■ すでに登録されている項目の内容を確認する場合
▶確認したい項目を選択

3 登録名を入力

全角8文字、半角16文字まで入力できます。

4 番号（プレフィックス）を入力

番号は10桁まで入力できます。

機能 プレフィックス設定画面／国際プレフィックス設定画面

1 プレフィックス設定画面（P.64）／国際プレフィックス設定画面（P.67）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……プレフィックス、国際アクセス番号を編集します。

1件削除・全削除……プレフィックス、国際アクセス番号を1件または全削除します。

おしらせ

●「自動変換機能設定」で設定されている国際アクセス番号は削除できません。また、「自動変換機能設定」が「ON」（自動付加）に設定されている場合は、全削除も行えません。

プレフィックス番号を付加して電話をかける<プレフィックス>

● プレフィックス番号を付加できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面でプレフィックス番号を付加して音声電話をかける場合>

1 相手の電話番号を入力

2 α［機能］▶「プレフィックス」▶登録名を選択▶☎

国際電話を利用する

お申し込み：不要
月額使用料：無料

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様はご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 国際電話をかけるには電話番号を直接ダイヤルしてかける方法以外に、「+」を利用してかけたり、電話番号入力画面、リダイヤル／発信履歴画面、着信履歴画面、電話帳詳細画面の各機能メニューから「国際電話発信」や「プレフィックス」を選択してかけることができます。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧になりお問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後に[✉]［テレビ電話］で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号をダイヤルして国際電話をかける

1 009130→010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [発信]

国際電話がかかります。

3 通話が終了したら[終話]

「+」を利用して国際電話をかける

「+」を利用すれば、009130-010などの国際アクセス番号をダイヤルすることなく、国際電話をかけることができます。
- お買い上げ時は「国際ダイヤルアシスト」の「自動変換機能設定」が「ON」（自動付加）に設定されているため、国際アクセス番号が自動的にダイヤルされます。

1 待受画面表示中に、+（[0]（1秒以上））→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順にダイヤル

地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [発信]▶「発信」

国際電話がかかります。

■「+」を国際アクセス番号に変換しないでかける場合

▶「元の番号で発信」
※本端末ではご利用になれません。

■ 電話をかけるのをやめる場合

▶「中止」

国際電話発信機能を利用して国際電話をかける<国際電話発信>

電話番号に、国番号や国際アクセス番号を付加し、国際電話をかけます。

● 国番号や国際アクセス番号は「国際ダイヤルアシスト」で登録できます。
● 国際電話発信機能が利用できるのは「電話番号入力画面」および「電話帳／着信履歴／発信履歴／リダイヤル」の各詳細画面です。

<例：電話番号入力画面で国際電話発信機能を利用する場合>

1 **相手の電話番号を入力**

2 **α［機能］▶「国際電話発信」▶国番号を選択▶国際アクセス番号を選択**

選択した国番号と国際アクセス番号が付加されます。地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます（ただし、国番号で「イタリア」を選択した場合を除く）。

3 **☎**

国際電話の発信を簡単な操作でできるようにする<国際ダイヤルアシスト>

お買い上げ時	自動変換機能設定：ON（自動付加） 国番号設定：22件登録済み 国際プレフィックス設定：「WORLD CALL」(009130010)

国際電話を発信するときの設定内容を変更したり、国番号を編集することができます。設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
自動変換機能設定	国内から国際電話をかけるときには、入力した「＋」を本機能で設定した国際アクセス番号に自動的に置き換えます。
国番号設定	国際電話をかけるときに使用する国名と国番号を編集します。お買い上げ時にはあらかじめ22件登録されています。
国際プレフィックス設定	国際電話をかけるときに使用する国際アクセス名と国際アクセス番号を登録します。

●「＋」の自動変換について設定する

国際電話をかけるときの「＋」の自動変換について設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「自動変換機能設定」▶「ON」**

■ 自動変換しない場合
▶「OFF」

2 **国際アクセス番号を選択**

● 国番号を編集する

国番号についてはドコモのホームページをご覧ください。

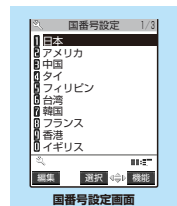
1 **MENU▶「SETTINGS」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「国番号設定」**

「国番号設定画面」が表示されます。

2 **項目を反転▶✉［編集］**

3 **国名称を入力▶国番号を入力**

国名称は全角8文字、半角16文字まで、国番号は5桁まで入力できます。

国番号設定画面

機能メニュー ➡P.67

機能 国番号設定画面

1 国番号設定画面（P.66）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……国番号を編集します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

● 国際アクセス番号を登録する

3件まで登録できます。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「発信」▶「国際ダイヤルアシスト」▶「国際プレフィックス設定」

「国際プレフィックス設定画面」が表示されます。

国際プレフィックス設定画面

機能メニュー ➡P.64

2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］

■ すでに登録されている項目を変更する場合
▶変更したい項目を反転▶✉［編集］

3 国際アクセス名を入力▶国際アクセス番号を入力

国際アクセス名は全角8文字、半角16文字まで、国際アクセス番号は10桁まで入力できます。

〈サブアドレス設定〉

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時 ON

電話番号に含まれる「＊」を区切り文字とし、「＊」以降をサブアドレスとして認識するように設定します。サブアドレスはISDNで特定の通信機器へ指定着信するときや「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「発信」▶「サブアドレス設定」▶「ON」

■ 無効にする場合
▶「OFF」

おしらせ

- 以下のような場合、「＊」はサブアドレスの区切り文字にはなりません。「＊」も含めて普通の電話番号として認識されます。
  - ・電話番号の先頭に「＊」がある場合
  - ・電話番号の先頭に「186／184」があり、その直後に「＊」がある場合
  - ・「プレフィックス」で入力した番号の直後に「＊」がある場合
  - ・電話番号内に「＊590#／＊591#／＊592#」がある場合

〈再接続機能〉

再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時 アラーム高音

FOMA端末は音声通話中やテレビ電話中に電波の状態が悪くなって通話が途切れても、すぐに電波の状態がよくなった場合には自動的に通話を再接続します。本機能では通話を再接続しているときのアラームの鳴りかたを設定します。

● ご利用状態や電波の状態により、再接続が可能な時間は異なります。約10秒間が目安です。

MENU 7 7 ▶ アラーム音を選択

■ アラーム音を鳴らさない場合

▶「アラームなし」

おしらせ

- 再接続されるまでの間（最長約10秒間）も通話料金がかかります。
- 電波が途切れている間、相手は無音状態となります。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

〈ノイズキャンセラ〉

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時 ON

周囲の騒音を抑え、音声通話やテレビ電話の声を相手に聞きやすくします。

MENU 7 6 ▶「ON」

■ 無効にする場合

▶「OFF」

〈車載ハンズフリー〉

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

おしらせ

- ハンズフリー対応機器から操作する場合は、USBモード設定を「通信モード」にしてください。
- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でマナーモード設定中や着信音量を「SILENT」に設定中でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、通信速度はハンズフリー対応機器の設定に従います。設定されていない場合、通信速度は「64K」になります。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定にかかわらず、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変わりません。

音声電話／テレビ電話を受ける

音声電話／テレビ電話がかかってくると

着信音が鳴り、マイシグナルに着信中のアニメーションが表示されます。また「着信中画面」／「テレビ電話着信中画面」が表示されます。

■ 着もじが付いた着信の場合

着信中画面／テレビ電話着信中画面に着もじが表示されます。あらかじめ用件などを確認することができます。
→P.60

着信中画面

機能メニュー ➡P.70

着信中画面（着もじ付き）

テレビ電話着信中画面

機能メニュー ➡P.70

テレビ電話着信中画面（着もじ付き）

■ 着信中に音声電話／テレビ電話を応答保留にする場合

「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.74

[☎]

「通話中画面」／「テレビ電話中画面」が表示されます。
テレビ電話では、相手の音声がスピーカから流れて通話できます。

■ テレビ電話で代替画像で出る場合

▶[●]［代替画像］

■ テレビ電話中の操作について

テレビ電話では、カメラ映像を代替画像に切り替えたり、外側カメラに切り替えたり、送信する音声をミュート（消音）するなど、テレビ電話中にさまざまな操作が行えます。→P.52

■ 通話中に相手が音声電話／テレビ電話の通話を切り替えた場合

「相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき」→P.71

■ 通話中の音声電話／テレビ電話を保留にする場合

「着信中や通話中の電話を保留にする」→P.74

通話が終了したら[☎]

着信中の表示

■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が画面に表示されます。電話帳に登録されている相手からの着信の場合、電話帳に登録した名前が画面に表示されます。→P.90

- 同じ電話番号を異なる名前で複数の電話帳に登録していると、電話帳のフリガナの検索順による最初の名前が表示されます。→P.96
- シークレットデータとして登録されている場合は名前などは表示されず、電話番号のみが表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、着信中画面に付加番号の登録名が表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者の非通知理由が表示されます。

着信中画面／テレビ電話着信中画面

1 着信中画面／テレビ電話着信中画面（P.69）▶α［機能］▶以下の項目から選択

着信拒否……電話を受けないで着信をそのまま切ります。

転送でんわ……電話を転送します。
「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

留守番電話……電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。
「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターへ接続します。

表示切替……付加番号１または付加番号２から転送元番号に表示を切り替えます。マルチナンバー（付加番号１または付加番号２）着信で、かつ転送でんわ着信のときに選択できます。

おしらせ

- ハンズフリーを利用して通話することができます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話を受けることができます。→P.321
- 着信中に▽［MEMO／CHECK］（または#）を押すと「クイック伝言メモ」へ移ります。
- キャッチホン、留守番電話サービス、転送でんわサービスのいずれかをご契約されていれば、「通話中着信設定」を有効にし、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が鳴ります。
  - ・留守番電話サービス、転送でんわサービスの場合、現在の通話を終了して着信に応答することができます。
  - ・キャッチホンの場合、音声電話は、現在の通話を保留にして着信に応答することができ、テレビ電話は現在の通話を終了して着信に応答することができます。

<音声電話>

- ●［通話］でも電話に出られます。また、☎、●以外のボタンを押しても電話を受けるように設定したり（エニーキーアンサー）、ボタンを押すと着信音だけが止まるように設定することもできます（クイックサイレント）。
- 電話帳に登録されていない相手からの電話の着信動作を設定することができます。→P.152、153
- 電話帳に登録されている電話番号ごとに、電話の着信を制限することができます。→P.149

<テレビ電話>

- ✉［ﾃﾚﾋﾞ電話］でも電話に出られます。
- テレビ電話中に代替画像を表示しているときも、テレビ電話をかけてきた相手にはデジタル通信料がかかります。
- 「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（P.53）に準拠したテレビ電話対応端末に設定していない場合は接続されません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- テレビ電話中にメールやメッセージR／Fは受信できません（SMSは受信できます）。ｉモードセンターに保管されますので、テレビ電話終了後に「ｉモード問い合わせ」を行って受信してください。
- カメラ映像から代替画像（キャラ電）に切り替える場合、キャラ電によっては切り替えに数秒程度の時間がかかることがあります。
- ｉモード通信中に、テレビ電話がかかってきた場合の着信動作は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。

相手が音声電話／テレビ電話を切り替えたとき

相手からかかってきた音声通話中／テレビ電話中に、相手が操作を行うことにより音声電話とテレビ電話が切り替わります。

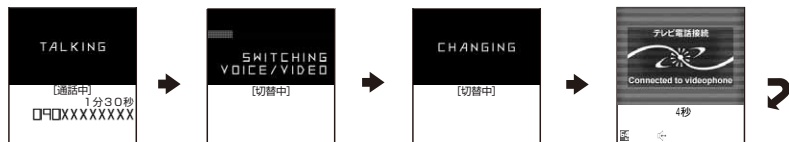
● 着信側からは切り替え操作を行うことができません。
● 切り替え操作を行うには、あらかじめ着信側が「テレビ電話切替通知」を通知するように設定しておく必要があります。
● 音声電話⇔TV電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

＜例：相手が音声電話からテレビ電話に切り替えた場合＞

通話中画面（P.52）▶相手がテレビ電話切り替えを行う▶「YES」

切り替え中は、切り替え中であることを示す画面が表示され、音声ガイダンスが流れます。
テレビ電話に切り替わると、自画像が相手側に送信されます。

■ 相手側に代替画像を送信する場合

▶「NO」
設定している代替画像が送信されます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替えた場合

▶テレビ電話中画面（P.52）▶相手が音声電話切り替えを行う
音声電話に切り替わります。

おしらせ

＜音声電話⇒テレビ電話切り替え時＞
● 切り替え後のハンズフリーの設定は、「ハンズフリー切替」に従います。

＜テレビ電話⇒音声電話切り替え時＞
● ハンズフリーの設定は解除されます。

〈着信アンサー設定〉

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時 エニーキーアンサー

電話がかかってきたとき、すぐに着信音を止めたり、電話に出られるように設定します。周囲に迷惑がかかるような場所で電話がかかってきた場合などに便利です。

MENU 5 8 ▶以下の項目から選択

エニーキーアンサー……音声電話に対して有効な機能で、以下のボタンで通話を開始できます。
、［通話］、0～9、＊、CLR、、、［ ］、
※ テレビ電話の場合、通常のボタン操作（、［代替画像］、［テレビ電話］）でのみ通話を開始できます。

クイックサイレント……以下のボタンを押すかFOMA端末を開くと、相手には呼び出し音を鳴らしたまま、着信動作のみを止めることができます。
0～9、＊、CLR、、［ ］、または（音声電話の場合のみ）
電話に出るときは、、［通話／代替画像］、［テレビ電話］（テレビ電話のみ）を押します。

OFF……通常のボタンでのみ通話を開始できます。
、［通話／代替画像］、［テレビ電話］（テレビ電話のみ）

おしらせ

- 「クイックサイレント」に設定していても、マナーモード設定中は「エニーキーアンサー」として機能します。
- 「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」に設定中でも、5（バックライトのON／OFF）や8（プライバシーアングルのON／OFF）を1秒以上押すと、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は動作しません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、「着信アンサー設定」にかかわらず、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押しても電話を受けることができます。
- 「エニーキーアンサー」に設定しているとき、FOMA端末を閉じた状態で［ ］、を押すと通話中保留になります。その際、「クローズ動作設定」を「保留」に設定していると保留音が流れますが、「ミュート」または「終話」に設定していると保留音は流れません。
- 「外部ボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合、FOMA端末を閉じている状態では［ ］、を押しても、「エニーキーアンサー」や「クイックサイレント」は動作しません。

〈クローズ動作設定〉

FOMA端末を折り畳んで通話を終了／保留する

お買い上げ時 終話

音声通話中やテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作を設定します。

MENU 1 8 ▶以下の項目から選択

ミュート……音声をミュート（消音）します。テレビ電話の場合、相手側に「代替画像」が送信されます。保留音は流れません。

保留……通話を保留（通話中保留）にします。折り畳んでいる間、相手に「保留音設定」で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合、相手側に通話中保留画像が送信されます。

スピーカ鳴動する……相手に保留音が流れ、スピーカからも保留音が流れます。

スピーカ鳴動しない（お買い上げ時）……相手にのみ保留音が流れます。

終話……通話を終了します。を押す操作と同じです。

おしらせ

- マナーモード設定中は「スピーカ鳴動する」を選択していてもスピーカから音は鳴りません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合、本機能は無効になり、FOMA端末を折り畳んでも通話状態は変化しません。ただし、カメラ映像でテレビ電話を使用している場合は、FOMA端末を折り畳むと代替画像に切り替わります。
- 「保留」に設定していても、「キャッチホン」で切り替え通話しているときにFOMA端末を折り畳むと「ミュート」の動作になります。

〈受話音量〉

相手の声の音量を調節する

お買い上げ時 LEVEL4

待受画面表示中▶[上下]（1秒以上）▶[上下]で音量を調節

[上下]（1秒以上）で受話音量画面が表示されます。受話音量画面の表示中に2秒以上操作がなければ、受話音量調節を終了します。
「LEVEL1」（最小）～「LEVEL6」（最大）の6段階で調節します。

■ 音声通話中に調節する場合
▶[上]［↩］／[下]［MEMO／CHECK］

■ テレビ電話中に調節する場合
▶[上下]

おしらせ

- 音声通話中に待受中と同様、[上下]（1秒以上）で調節することもできます。
- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。

〈着信音量〉

着信音の音量を調節する

お買い上げ時 すべてLEVEL4

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メールやチャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信音の大きさをそれぞれ6段階で調節します。また、着信音を消したり、次第に音量を大きくすることもできます。

[MENU][5][0]▶音量を調節する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話、64Kデータ通信などの着信音量が調節されます。
「メール」を選択すると、iモードメールやSMS、パケット通信の着信音量が調節されます。

[上下]で音量を調節▶[●]［確定］

■ 次第に音量を大きくする場合
▶「LEVEL6」のときに[上]
「STEP」に設定すると、3秒ごとに無音、「LEVEL1」～「LEVEL6」の順に着信音量が大きくなります。

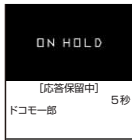
■ 着信音を消す場合
▶「LEVEL1」のときに[下]
待受画面のアイコンで、「SILENT」に設定されている項目が確認できます。
[アイコン]:「電話」、「テレビ電話」を1つ以上「SILENT」に設定
[アイコン]:「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」を1つ以上「SILENT」に設定
[アイコン]:「[アイコン]」と「[アイコン]」の両方を設定

おしらせ

- 本機能で設定した「電話」の着信音量は、音声電話の「着信音選択」、「スケジュール」や「To Doリスト」のアラーム音などに反映されます。

着信中や通話中の電話を保留にする

<例：着信中の電話を保留にする場合>

着信中▶[☎]

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留の状態になります。
相手には現在応答できないとのガイダンスが流れ、電話がつながった状態のまま保留されます。

■ 通話中の電話を保留にする場合
▶通話中▶[CLR]

■ 応答保留中／通話保留中に電話を切る場合
▶[☎]

■ 応答保留中／通話保留中に相手が電話を切った場合
通話が切れます。

電話に出られるようになったら[☎]

通話保留中の場合は[CLR]を押しても保留を解除できます。

おしらせ

- 応答保留中や通話保留中でも、通話料金がかかります。

<応答保留>
- 「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」を「SILENT」に設定している場合や、マナーモード設定中（「電話着信音量」が「SILENT」）は、応答保留にしたときの「ピッピッピッ」という音は鳴りません。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご契約されている場合は、着信中に機能メニューから「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話サービスセンターへの接続や転送先への転送ができます。

<通話保留>
- 通話保留中は、自分のFOMA端末も保留音が鳴ります。ただし、「着信音量」の「電話」を「SILENT」に設定している場合や、マナーモード設定中（「電話着信音量」が「SILENT」）は、保留音は鳴りません。

保留音を設定する<保留音設定>

お買い上げ時	応答保留音：応答保留音１　通話中保留音：エリーゼのために

応答保留中／通話保留中に、相手に流れるガイダンスを設定します。

[MENU]▶「SETTINGS」▶「通話」▶「保留音設定」▶以下の項目から選択

応答保留音……応答を保留にするときのガイダンスを設定します。

- **応答保留音１**……「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるかしばらくたってからおかけ直しください」というガイダンスが流れます。
- **応答保留音２**……「ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください」というガイダンスが流れます。
- **おしゃべり１・おしゃべり２**※……「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。

通話中保留音……通話中の保留音を設定します。

- **エリーゼのために**……「エリーゼのために」が流れます。
- **メリーさんのヒツジ**……「メリーさんのヒツジ」が流れます。
- **交響曲第25番ト短調**……「交響曲第25番ト短調」が流れます。
- **おしゃべり１・おしゃべり２**※……「おしゃべり機能」で録音した内容が流れます。

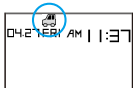
※：おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

■ ガイダンスの内容を確認する場合
▶[✉]［デモ］

〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れて通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受画面表示中のみできます（画面に「圏外」が表示されているときも可能です）。
- 公共モードを設定中でも電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モードに設定され、「」が表示されます。

電話をかけてきた相手に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■公共モード（ドライブモード）を解除する場合

▶待受画面表示中▶[＊]（1秒以上）

公共モードが解除され、「」の表示が消えます。

おしらせ

- 「伝言メモ」を「ON」に設定していても公共モードが優先され、「伝言メモ」は無効となります。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。
- 公共モード設定中に緊急通報番号（110番、119番、118番）へ音声電話をかけると、公共モードが解除されます。
- 公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。
  - ・音声電話／テレビ電話着信音
  - ・メッセージR／F着信音
  - ・アラームのアラーム音
  - ・To Doリストのアラーム音
  - ・電池切れアラーム音
  - ・ｉアプリのソフトの鳴動
  - ・メール着信音
  - ・チャットメール着信音
  - ・スケジュールのアラーム音
  - ・通話料金通知のアラーム音
  - ・充電確認音
  - ・パケット通信／64Kデータ通信着信音

●公共モード（ドライブモード）を設定すると

FOMA端末に音声電話、テレビ電話の着信があっても着信音は鳴りません。「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

- 音声電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
- メールを受信したときには着信音は鳴らずに「新着メールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。

おしらせ

- 公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や画面に「圏外」が表示されている場合は、公共モードの通知はされずに「圏外」が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

● 各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

公共モードと各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	・相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	・相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	・相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ ・相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	・相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。 ・転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
キャッチホン	・相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録している電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 待受画面表示中▶[*][2][5][2][5][1]▶[☎]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除する場合

▶待受画面表示中▶[*][2][5][2][5][0]▶[☎]

公共モード（電源OFF）が解除されます。

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

▶待受画面表示中▶[*][2][5][2][5][9]▶[☎]

公共モード（電源OFF）の設定状況を確認できます。

● 公共モード（電源OFF）を設定すると

「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

- 音声電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

●各ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

公共モード（電源OFF）と各ネットワークサービスを同時に設定しているときに音声電話およびテレビ電話がかかってくると、以下のように動作します。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	・相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	・相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	・相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ ・相手に流れる公共モード（電源OFF）のガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	・相手には公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスは表示されず、かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。 ・転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していないと接続されません。
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知する映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスを流した後、通話を終了します。	・相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また、「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

〈確認機能設定〉

不在着信のお知らせのしかたを設定する

お買い上げ時 ボイス

FOMA端末を折り畳んでいるときに、不在着信や新着メールがあるかどうかを [MEMO／CHECK] で確認するときのお知らせのしかたを設定します。

●「マイシグナル設定」（P.122）を「ON」に設定すると、本機能の着信イルミネーションは動作しません。ただし、不在着信や新着メールなどがない場合、「電子音」に設定していると着信イルミネーションは動作します。
● 設定項目と [MEMO／CHECK] での確認動作の関係は以下のとおりです。

設定項目	不在着信や新着メールなどがある場合		不在着信や新着メールなどがない場合	
	音と振動※1	着信イルミネーション※2	音と振動※1	着信イルミネーション
電子音	「ピピ、ピピ」という音でお知らせします。	「着信イルミネーション」の設定色で、約5秒間点灯します。電話やメールなど、異なる種類の着信がある場合は、それぞれの色が1秒ずつ切り替わります。	「ピピピ」という音が鳴ります。	「色12」で約5秒間点滅します。
ボイス	「ピピ」という音と、「新着チャットメールあり」「新着メールあり」「不在着信あり」「伝言メモあり」「留守番電話あり」の順に声（ボイスモニター）でお知らせします。		「ピピ」という音の後、現在の時刻を声（ボイスクロック）でお知らせします。	

※1：振動でお知らせするのは、「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合です。
※2：「着信イルミネーション」の点滅色が「グラデーション」に設定されている場合は、不在着信は「色5」、新着メールは「色1」、新着チャットメールは「色3」で点滅します。

1 MENU 6 5 ▶「電子音」または「ボイス」

■ 確認音を鳴らさない場合
▶「OFF」

おしらせ

●本機能は待受画面に「不在着信あり」や「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」などのデスクトップアイコンが表示されているときに「あり」としてお知らせします。→P.127
●以下のような場合、 [MEMO／CHECK] で不在着信や新着メールを確認できません。
・外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定している場合
・確認機能設定を「OFF」に設定している場合
・ミュージックプレイヤーで音楽再生中の場合

おしらせ

- 音量は「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「SILENT」「STEP」に設定されている場合は「LEVEL2」の音量になります）。
- マナーモード設定中（「電話着信音量」が「SILENT」、「バイブレータ」が「OFF」以外）は、音が鳴らず振動でお知らせします。
- ｉモードセンターに保管されている新着メールを本機能で確認することはできません。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

〈伝言メモ〉

電話に出られないときに用件を録音／録画する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答メッセージ：標準　呼出時間：13秒

音声電話やテレビ電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音／録画します。

● 本機能と留守番電話サービスとの違いは以下のとおりです。

項目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音／録画時間と件数	・音声電話：最大20秒、5件まで ・テレビ電話：最大20秒、2件まで	・音声電話：最大3分、20件まで ・テレビ電話：最大3分、20件まで
保存期間	制限なし	最大72時間
保存場所	FOMA端末内	留守番電話サービスセンター
再生可能な条件	圏内、圏外の制限なく再生可	圏内のみで再生可
録音／録画可能な条件	・電話を受ける側が、圏内で電源が入っている場合に録音／録画可 ・伝言メモを「ON」に設定	・電話を受ける側が、圏内または圏外で、電源を切っていても録音／録画可 ・「留守番電話サービス開始」を設定（P.327）

伝言メモを設定する

1 MENU 5 5 ▶ **以下の項目から選択**

ON……応答メッセージの種類を選択します。

標準……「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に20秒以内でお名前とご用件をお話しください。」と流れます。

プライベート……「せっかく電話をもらったけど、いま出られません。ピーッという発信音の後にメッセージを入れてね。」と流れます。

英語……「I can't take your call now. Please leave the message. Thank you.」と流れます。

おしゃべり１・おしゃべり２※……「おしゃべり機能」で録音した音声が流れます。

OFF……伝言メモの設定を解除します。

※：おしゃべりが録音されていないときは表示されません。

2 **呼出時間（000～120秒の３桁）を入力**

自動的に伝言メモが設定され、待受画面に「」と「」が表示されます。

おしらせ

- 録音／録画件数がいっぱいのとき（音声電話５件、テレビ電話２件）は、伝言メモを「ON」に設定できません。
- 応答メッセージの選択画面で ✉［デモ］を押すと、反転表示している応答メッセージの内容を確認することができます。
- 応答メッセージを「おしゃべり１」「おしゃべり２」に設定しているときに、「おしゃべり１」「おしゃべり２」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。
- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間が伝言メモの呼出時間よりも長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
- 「発着信識別機能」で電話番号ごと、「グループ識別機能」でグループごとに応答メッセージを設定することもできます。

伝言メモを「ON」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

- 音声電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。
- テレビ電話をかけてきた相手には、「伝言メモ準備中 Preparing」画像を送信し応答メッセージを再生、「伝言メモ録画中 Recording」画像を送信し録画を開始します。

■伝言メモの録音／録画がはじまると

- 録音／録画中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

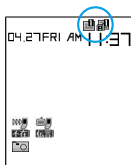
例：音声電話

■録音中に音声電話に出る場合

▶

■録画中にテレビ電話に出る場合

▶カメラ映像で出るときは 、代替画像で出るときは ［代替画像］

■伝言メモの録音／録画が終了すると

- 元の画面に戻り、待受画面には「不在着信あり」と「伝言メモあり」または「テレビ電話伝言メモあり」のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンを選択すると、それぞれの内容を確認できます。→P.80
- ディスプレイ上部のアイコン表示エリアには、それぞれの録音／録画件数を示すアイコンが表示されます。

  ～ ：音声電話伝言メモ（１件～５件）

  ／ ：テレビ電話伝言メモ（１件／２件）

おしらせ

- 録音／録画件数がいっぱいのとき（音声電話５件、テレビ電話２件）は、伝言メモを録音／録画できません。
- マナーモードを設定している場合、録音中の相手の声は聞こえません。
- 伝言メモの録音／録画中はほかの電話がかかってきても受けることができません。ほかの電話には話中音が流れます。

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音（録画）した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音（録画）した内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

〈クイック伝言メモ〉

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを「ON」に設定していなくても、着信中にボタン１つで用件を録音／録画します。

着信中▶ ［MEMO／CHECK］

伝言メモの録音／録画が開始されます。

■伝言メモの録音／録画開始と同時にマナーモードに設定する場合

▶着信中▶#

おしらせ

- この操作で「伝言メモ」を「ON」にすることはできません。
- 録音／録画件数がいっぱいのとき（音声電話５件、テレビ電話２件）に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、伝言メモは起動せず着信し続けます（#を押したときは、「マナーモード選択」で設定された動作条件で着信し続けます）。

伝言メモや音声メモを再生／消去する

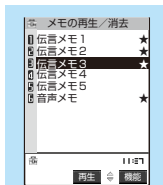
● 未再生の伝言メモがある場合は待受画面に「 」（伝言メモあり）または「 」（テレビ電話伝言メモあり）が表示されます。

<例：未再生の伝言メモを確認する場合>

1 待受画面表示中▶[●]▶「 」（伝言メモあり）または「 」（テレビ電話伝言メモあり）を選択

「メモの再生／消去画面」（音声）または「動画メモの再生／消去画面」が表示されます。
「メモの再生／消去画面」（音声／動画）では録音／録画されている項目に「★」が付きます。

■ メニュー操作で伝言メモを再生する場合

▶[MENU]▶「LIFEKIT」▶「メモの再生／消去」（音声）または「動画メモの再生／消去」

例：メモの再生／消去画面

機能メニュー ➡P.81

2 再生する項目を選択

<伝言メモ／音声メモ>

「ピッ」という音が鳴って再生がはじまります。再生が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「メモの再生／消去画面」に戻ります。
待受画面表示中に[MEMO／CHECK]を押しても、メモを再生できます。

■ 再生中に次のメモを再生する場合

▶[MEMO／CHECK]

[MEMO／CHECK]を押すごとに、新しい順で伝言メモが再生されます。
音声メモは最後に再生されます。

■ 停止する場合

▶[●][停止]または[CLR]

「メモの再生／消去画面」に戻ります。

<テレビ電話伝言メモ>

再生がはじまります。再生が終了すると、「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に別のメモを再生する場合

▶[◀▶]

■ 再生中に音量を調節する場合

▶[▲▼]

■ 再生中にスピーカのON／OFFを切り替える場合

▶[α][機能]▶「スピーカー ON」または「スピーカー OFF」

■ 再生を一時停止する場合

▶[●][停止]

再生を再開するときは[●][再生]

■ 停止する場合

▶[CLR]

「動画メモの再生／消去画面」に戻ります。

■ 再生中に表示されている電話番号に音声電話、テレビ電話を発信する場合

▶[発信]（音声電話）／[✉][TV電話]（テレビ電話）

■ 再生中のメモを消去する場合

▶[α][機能]▶「消去」▶「YES」

機能 メモの再生／消去画面（音声／動画）

1 メモの再生／消去画面（P.80）▶α［機能］▶以下の項目から選択

再生……再生します。

１件消去……伝言メモ、音声メモを１件消去します。

伝言メモ全消去※……伝言メモをすべて消去します。音声メモは消去されません。

全消去……伝言メモ、音声メモをすべて消去します。

※：メモの再生／消去画面（音声）でのみ利用できます。

■お願い
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、メモ機能で録音（動画）した内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万一に備えメモ機能で録音（動画）した内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

キャラ電を利用する

テレビ電話で自分の映像の代わりにキャラクタを送信します。「キャラ電とは」→P.269

- 「画像選択」の「代替画像選択」から「キャラ電」を設定しておくと、お気に入りのキャラ電を表示できます。また、電話帳や発着信識別機能にキャラ電を設定しておいてもキャラ電を利用できます。
- テレビ電話中にカメラ映像からキャラ電に切り替えるには、機能メニューから「代替画像切替」を選択します。

1 テレビ電話がかかってきたら◉［代替画像］

2 ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

キャラ電

ダイヤルボタンを押して、そのボタンに割り当てられているアクションを表現します。

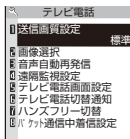
■ アクション一覧を確認する場合
▶＊
✥でアクションを選択してそのアクションを実行することもできます。

■ アクションモードを切り替える場合
▶α［機能］▶「キャラ電設定」▶「アクション切替」
「全体アクション」と「パーツアクション」が切り替わります。

「キャラ電を操作する」→P.270

相手側に送信する映像について設定する

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「テレビ電話」

「テレビ電話設定画面」が表示されます。

テレビ電話設定画面

2 以下の項目から選択

送信画質設定……テレビ電話中の画質を設定します。

- **標準**（お買い上げ時）……画質、動きともに標準の設定です。
- **画質優先**……きめ細やかな映像で送信します。動きが少ない場合に有効です。
- **動き優先**……動きが滑らかな映像で送信します。動きが多い場合に有効です。

画像選択……「テレビ電話中に送信する画像を設定する」→P.82

音声自動再発信……テレビ電話に接続できなかった場合の動作を設定します。

- **ON**……テレビ電話に接続できなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて電話をかけます。
- **OFF**（お買い上げ時）……テレビ電話に接続できなかったメッセージが表示され、待受画面に戻ります。

遠隔監視設定……「外出先から室内の様子などを確認する」→P.87

テレビ電話画面設定……「テレビ電話中に表示される映像について設定する」→P.84

テレビ電話切替通知……「音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する」→P.85

ハンズフリー切替……「テレビ電話のハンズフリーについて設定する」→P.84

パケット通信中着信設定……「ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する」→P.85

● テレビ電話中に送信する画像を設定する<画像選択>

お買い上げ時	応答保留選択、通話保留選択：内蔵　代替画像選択：キャラ電（Dimo） 伝言メモ選択、伝言メモ準備選択、音声メモ選択：内蔵

カメラ映像の代わりに送信する画像を設定します。

- 設定できる画像は、ファイルサイズが100Kバイト以下で、横690×縦690ドット以下のJPEG画像、横690×縦480、横480×縦690ドット以下のGIF画像です（ただし、ファイル制限が設定されている画像は除く）。
- テレビ電話を終了しても、本機能の設定は保持されます。

1 テレビ電話設定画面（P.82）▶「画像選択」▶以下の項目から選択

応答保留選択……応答保留のときに送信する画像を設定します。

通話保留選択……通話中保留のときに送信する画像を設定します。

代替画像選択……代替画像のときに送信する画像を設定します。

伝言メモ選択……テレビ電話伝言メモ録画中に送信する画像を設定します。

伝言メモ準備選択……テレビ電話伝言メモ準備中に送信する画像を設定します。

音声メモ選択……音声メモ録音中に送信する画像を設定します。

2 送信する画像を選択

内蔵……メッセージのみを送信します。

自作……画像とメッセージを送信します。

■ **設定内容を変更する場合**

▶α［機能］▶「設定内容変更」▶フォルダを選択▶画像を選択

キャラ電※……「代替画像設定」で設定されているキャラ電を送信します。
キャラ電一覧画面の機能メニュー→P.270
キャラ電の優先順位→P.92

■ **設定内容を変更する場合**

▶α［機能］▶「設定内容変更」▶画像を選択

※：「代替画像選択」を選択したときのみ表示されます。

■ 送信されるメッセージについて

応答保留の場合　　　　：「応答保留中　On Hold」
通話中保留の場合　　　：「保留　Holding」
代替画像を送信の場合：「カメラオフ　Camera Off」
テレビ電話伝言メモ録画中の場合：「伝言メモ録画中　Recording」
テレビ電話伝言メモ準備中の場合：「伝言メモ準備中　Preparing」
音声メモ録音中の場合：「音声メモ録音中　Recording Voice only」

おしらせ

<送信画質設定>
- テレビ電話中に機能メニューから設定することもできます。ただし、テレビ電話を終了すると、本機能の設定に戻ります。
- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、「送信画質設定」の設定内容にかかわらず、画像がモザイク表示になるときがあります。

<画像選択>
- GIF画像の種類によっては「自作」に設定できない場合があります。
- 画像を確認するときは、確認したい項目を反転し、✉［デモ］を押します。
- 設定した静止画は自分のFOMA端末と相手の電話機の双方に表示されます。ただし、伝言メモの応答メッセージは相手側にのみ送信されます。
- 貼り付け元の静止画を削除すると、相手には「内蔵」の静止画が表示（送信）されます。
- 代替画像に設定したキャラ電を削除したときなど、「キャラ電」の代替画像が表示できない場合は、内蔵されているキャラ電「Dimo」を送信します。内蔵されているキャラ電「Dimo」が削除されている場合は「内蔵」の静止画の代替画像を送信します。

<音声自動再発信>
- 音声電話に切り替えて再発信したときの通話料金は、デジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- 再発信が行われたとき、「リダイヤル／発信履歴」には音声電話の履歴だけが記憶されます。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手が話し中など、ネットワークや相手の状況によって再発信が行われない場合があります。

テレビ電話中に自分の顔を確認する<ビジュアルチェック>

1 テレビ電話中画面（P.52）▶α［機能］▶「ビジュアルチェック」

内側カメラの映像で確認することができます。
ビジュアルチェック中は「▨」が表示されます。
相手には代替画像が送信されます。

2 α［機能］▶「ビジュアルチェック終了」

ビジュアルチェックを終了し、ビジュアルチェック前の状態に戻ります。

送信する画像を拡大する

テレビ電話中に自分側の映像を拡大して相手側に送信します。

● ズームは、外側カメラのときに1倍～3.56倍までを16段階に調節できます。内側カメラのときは1倍、約2倍の2段階に調節できます。
● テレビ電話中は内側カメラと外側カメラの切り替えなどを行っても、それぞれのズームの倍率を保持します。テレビ電話を終了すると、ズームは標準に戻ります。
● 代替画像を送信中のときは画像を拡大できません。

テレビ電話中▶▶倍率を調節

〈ハンズフリー切替〉

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時 ON

テレビ電話での通話開始時に、自動的にハンズフリーに切り替わるように設定します。

テレビ電話設定画面（P.82）▶「ハンズフリー切替」▶「ON」

■ 切り替えない場合
▶「OFF」

おしらせ

● ハンズフリー切替を「ON」に設定していても、通話中に「」を押してハンズフリーを解除できます。
● 以下の場合はハンズフリー切替を「ON」に設定していても、自動的にハンズフリーに切り替わりません。
・ マナーモード設定中の場合
・ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続中（ただし、マイクは「イヤホン接続時マイク切替」の設定に従います）
・ 着信時に応答保留または伝言メモが起動した場合

〈テレビ電話画面設定〉

テレビ電話中に表示される映像について設定する

お買い上げ時	親画面表示：親画面相手画像表示　内側カメラ反転表示：ON

親画面に表示される映像や自画像の表示方法について設定します。

テレビ電話設定画面（P.82）▶「テレビ電話画面設定」▶以下の項目から選択

親画面表示……テレビ電話の親画面表示について「親画面相手画像表示／親画面自画像表示」から選択します。「親画面相手画像表示」は相手側のカメラ映像を、「親画面自画像表示」は自分側のカメラ映像を親画面に表示します。

内側カメラ反転表示……通話中に自分側のFOMA端末に表示される自画像を鏡像表示にするか（ON）、正像表示にするか（OFF）を設定します。

〈テレビ電話切替通知〉

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

お買い上げ時
切替機能通知開始

自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを、相手側のFOMA端末に通知するかしないかを設定します。

● 「切替機能通知開始」に設定すると、相手側のFOMA端末はテレビ電話と音声電話を切り替えることができますが、「切替機能通知停止」に設定すると、切り替えることができなくなります。
● 通話中または「 」が表示されているときは、本機能の設定を行うことはできません。

テレビ電話設定画面（P.82）▶「テレビ電話切替通知」▶以下の項目から選択

切替機能通知開始……相手側のFOMA端末に、自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知します。

切替機能通知停止……相手側のFOMA端末に、自分のFOMA端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを通知しません。

切替機能通知設定確認……「テレビ電話切替通知」の設定状態を確認します。

〈パケット通信中着信設定〉

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定する

お買い上げ時	テレビ電話優先

● テレビ電話はマルチアクセスを使用できないため、iモード通信中やメールの送受信中のテレビ電話の着信に対しては、本機能の設定に従って動作します。→P.304

テレビ電話設定画面（P.82）▶「パケット通信中着信設定」▶以下の項目から選択

テレビ電話優先……テレビ電話の着信中画面に移ります。テレビ電話の着信に応答するとiモード通信が切断されます。

パケット通信優先……テレビ電話の着信を拒否します。

留守番電話……留守番電話サービスをご契約されている場合、テレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。「留守番電話サービス」の「開始／停止」にかかわらず留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ……転送でんわサービスをご契約されている場合、テレビ電話を転送でんわサービスで設定した転送先へ転送します。「転送でんわサービス」の「開始／停止」にかかわらず転送先に接続します。

おしらせ

- 「テレビ電話優先」に設定していても、音声通話中にiモード通信を行っているときなど、マルチアクセスを使用している場合はテレビ電話の着信に応答することはできません。
- 「パケット通信優先」、「留守番電話」、「転送でんわ」に設定した場合、テレビ電話の着信は「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶されます。
- 「留守番電話」または「転送でんわ」に設定していても、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が未契約の場合、転送先が未設定の場合は、「パケット通信優先」の動作になります。
- 「テレビ電話優先」または「パケット通信優先」に設定していても、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。

ｉモード通信中にテレビ電話を受ける

あらかじめ「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定しておくと、ｉモード通信中やメールの送受信中にテレビ電話を受けることができます。

1 **ｉモード通信中にテレビ電話の着信を受けたら** [電話キー]

■ 代替画像で出る場合

▶[●]［代替画像］

ｉモード通信が切断され、テレビ電話通信中画面に切り替わります。

2 **通話が終了したら** [終話キー]

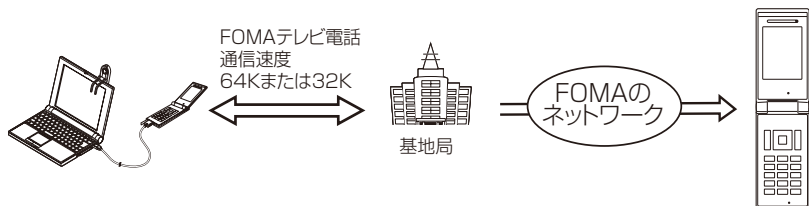
■ ｉモード通信を継続して利用するには

「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合でも、テレビ電話着信中画面の機能メニューから「着信拒否」、「転送でんわ」または「留守番電話」を選択することで、ｉモード通信を継続して利用することが可能です。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- USBモード設定を「通信モード」にしてください。なお、外部機器との接続に関する設定は不要です。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトは、ホームページからダウンロードしてご利用ください。
  （パソコンでのご利用環境などの詳細についてはサポートホームページでご確認ください）

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

おしらせ

- 音声通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、現在の通話を終了してから着信に応答することができます。外部機器からテレビ電話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

外出先から室内の様子などを確認する

お買い上げ時	対局番号登録：未登録　応答時間設定：５秒　設定：OFF

遠隔監視できるのは3G-324Mに準拠したテレビ機能を持つ電話機とFOMA端末間、およびFOMA端末どうしです。FOMA N703iμは、遠隔監視の発信側としても着信側としても利用できます。

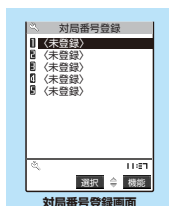
着信側の準備をする

遠隔監視を受ける側（着信側）で、発信側の電話番号（対局番号）や遠隔監視を開始するまでの時間（応答時間）を設定します。

● 対局番号は５件まで登録できます。

1 **テレビ電話設定画面（P.82）▶「遠隔監視設定」▶端末暗証番号を入力▶「対局番号登録」**

「対局番号登録画面」が表示されます。

対局番号登録
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉
5 〈未登録〉
11:37
選択　機能

対局番号登録画面

機能メニュー ➡P.87

2 **「＜未登録＞」▶対局の電話番号を入力**

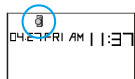
■ すでに登録されている対局番号を変更する場合
▶変更したい対局番号を選択

3 **CLR で遠隔監視設定画面に戻る**

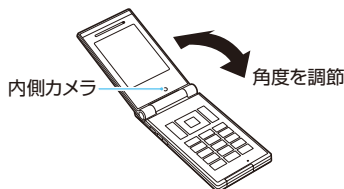
4 **「応答時間設定」▶応答時間（003～120秒の３桁）を入力**

応答時間が設定されます。

5 **「設定」▶「ON」**

待受画面に「 」が表示されます。

■ 遠隔監視を受けない場合
▶「OFF」

6 **FOMA端末を設置**

遠隔監視は内側カメラの映像を発信側に送信します。
着信側のFOMA端末は電源を入れて開いた状態にしたまま設置してください。
閉じたまま設置した場合は、音声のみを送信しカメラ画像は送信せず、代替画像に「カメラオフ　Camera Off」の文字を重ねて送信します。

おしらせ

● FOMA端末を設置するときは、着信時の振動で動いてしまうことを防ぐため、「バイブレータ」のテレビ電話を「OFF」に設定してください。
● 着信側の「転送でんわサービス」の応答時間が、遠隔監視設定の応答時間より短く設定されていると「転送でんわ」が優先されます。

機能 対局番号登録画面

1 **対局番号登録画面（P.87）▶ α ［機能］▶以下の項目から選択**

宛先参照入力……電話帳や発信履歴、着信履歴を参照して宛先を入力します。

１件削除・全削除……対局番号を１件または全削除します。全削除すると、「設定」は「OFF」になります。

遠隔監視を行う／終了する

● 遠隔監視を行うには、必ず着信側が対局番号として登録したFOMA端末から電話番号を通知してテレビ電話をかけてください。
● FOMA端末を着信側に使用した場合、発信側の映像が表示され、音声も流れます。

着信側へテレビ電話をかける

発信側

着信側で設定した応答時間経過後、遠隔監視がはじまります。
発信側では着信側の映像が表示され、スピーカから音声が流れます。

■ 着信側で遠隔監視を受けずにテレビ電話（カメラ映像）に出る場合

▶応答時間が経過する前に[✉]［テレビ電話］または[☎]
代替画像で出る場合は[◉]［代替画像］を押します。

2 終了したら[☎]

通信時間が表示された後、遠隔監視が終了します。
着信側で[☎]を押しても遠隔監視が終了します。

おしらせ

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中でも、遠隔監視設定で登録した電話番号からの遠隔監視による着信は受けられます。
● 電話番号を通知しない場合は、遠隔監視にならずテレビ電話着信となります。
● 遠隔監視設定と以下の機能を同時に設定した場合は、遠隔監視ができなくなります。
  ・公共モード（ドライブモード）　・マナーモード　・指定着信拒否／許可※　・登録外着信拒否※
  ※：対局番号以外の電話番号に「指定着信許可」が設定されている場合、対局番号の電話番号に「指定着信拒否」が設定されている場合、対局番号が電話帳未登録時に「登録外着信拒否」が設定されている場合
● 遠隔監視設定と伝言メモ、オート着信を同時に設定した場合、遠隔監視が優先されます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、「通知音出力切替」の設定にかかわらず着信音はイヤホンとスピーカから鳴ります。
● 着信音は遠隔監視専用の着信音となり、変更できません。
● 着信音は「着信音量」の「テレビ電話」で設定した音量で鳴ります（「SILENT」や「LEVEL1」、「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」の音量で鳴ります）。
● 遠隔監視の着信時は、マイシグナルに着信中のアニメーションが表示され、遠隔監視中は「通話中表示」の設定に従ってアニメーションを表示します。「マイシグナル設定」（P.122）が「OFF」に設定されている場合は，着信イルミネーションが「着信イルミネーション」の設定にかかわらず、点滅色は「グラデーション」、点滅パターンは「固定パターン」で点滅します。
● 遠隔監視の着信中に応答保留にすることはできません。[☎]を押すと電話は切れます。
● 着信側で遠隔監視設定を「ON」に設定している場合、対局番号に登録された電話番号からのテレビ電話の着信は、遠隔監視の着信履歴として記憶されます。遠隔監視が実行されなかった場合、「着信履歴」にはテレビ電話の「不在着信履歴」として記憶されます。
● 遠隔監視中に着信側で音声電話やテレビ電話を受けることはできません。遠隔監視中に音声電話やテレビ電話の着信があると、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● 遠隔監視中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。ただし、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときは「クローズ動作設定」は無効になり、FOMA端末を閉じると相手には代替画像が送信されます。
● 遠隔監視中に着信側でカメラを切り替えることはできません。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の電話帳とほかのFOMA端末でも使うことのできるFOMAカードの電話帳の２種類の電話帳があります。お客様の用途に合わせて使い分けてください。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

■ 登録内容

登録内容	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	最大700件まで登録可能	最大50件まで登録可能
グループ	グループ00～19に分類可能	グループ00～10に分類可能
電話番号の登録	1つの電話帳につき4番号まで、電話帳全体で2,800番号まで登録可能	1つの電話帳に1番号登録可能
	24種類のアイコンから選択して登録可能	「」が自動的に登録
メールアドレスの登録	1つの電話帳につき3アドレスまで、電話帳全体で2,100アドレスまで登録可能	1つの電話帳に1アドレス登録可能
	5種類のアイコンから選択して登録可能	「」が自動的に登録
画像の登録	1つの電話帳につき静止画、キャラ電それぞれ1件ずつ、電話帳全体で100件まで登録可能	−
その他のデータの登録	1つの電話帳につき名前、フリガナ、郵便番号、住所、誕生日、メモをそれぞれ1件登録可能	名前とフリガナが登録可能

■ FOMA端末（本体）の電話帳の特徴

FOMA端末（本体）の電話帳に登録すると、以下のような便利な機能が使えます。

・「直デン」→P.102
・「ツータッチダイヤル」→P.103
・「発信者識別機能」、「グループ識別機能」→P.100
・「電話帳指定設定」→P.149
・シークレットデータとして登録→P.139
・シークレットコードの設定→P.99

■ FOMAカードの電話帳の特徴

電話帳のデータがFOMAカードに登録されるので、FOMAカードを差し替えることにより、ほかのFOMA端末でも同じ電話帳を利用できます。複数のFOMA端末を使い分けるときに便利です。

名前の表示について

■ 音声電話、テレビ電話

電話番号を電話帳に登録した相手から電話番号を通知してかかってくると、電話番号と名前が表示されます。

電話帳に静止画を登録していると、その画像が表示されます。ただし、登録した画像のサイズやデータ量によっては、表示が遅れることがあります。
「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」にも相手の名前が表示されます。

おしらせ

● 静止画を登録した電話帳の電話番号から着信があったとき、登録した静止画が「画面表示設定」の「電話着信」の画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示されます。小さい場合は画面中央に表示されます。

■ ｉモードメール、SMS

電話帳に登録した相手からのｉモードメールまたはSMSは、受信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。その相手にｉモードメールまたはSMSを送信した場合も、送信メールの一覧画面、詳細画面で相手の名前が表示されます。
「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」にも相手の名前が表示されます。

〈電話帳登録〉

電話帳に登録する

FOMA端末（本体）またはFOMAカードの電話帳に登録します。

●「名前」を入力しないと電話帳の登録ができません。

●FOMAカード電話帳に登録できるのは「名前」と「フリガナ」以外では「グループ」「電話番号」「メールアドレス」の3項目のみです。

1 MENU▶「PHONEBOOK」▶α［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」▶名前を入力

漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字（本体のみ）で入力します。
登録できる文字数は、本体で全角16文字、半角32文字、FOMAカードで全角10文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで21文字までです。

2 フリガナを確認▶◉［確定］

■ フリガナが間違っていた場合

カタカナ（本体は半角、FOMAカードは全角）、および半角の英字、数字、記号で修正します。
登録できる文字数は、本体で半角32文字、FOMAカードで全角12文字、半角英数字（一部の半角記号を含む）のみで25文字までです。

3 以下の項目から選択

グループ……登録するグループを本体では「グループ00～19」から、FOMAカードでは「グループ00～10」から選択します。グループを選択しないと、自動的に「グループ00」に登録されます。

電話番号……電話番号を入力します。本体ではさらにアイコンを選択します。電話番号は、本体の場合は26桁まで、青色のFOMAカードの場合は20桁まで、緑色／白色のFOMAカードの場合は26桁まで入力できます。
本体では1件目の電話番号を登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス……メールアドレスを入力します。本体ではさらにアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
本体では1件目のメールアドレスを登録すると、電話帳の編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所……郵便番号と住所を入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

誕生日……誕生日（西暦・月日）を入力します。
設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画……着信時に表示される静止画を撮影または選択します。

キャラ電……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

メモリ番号……メモリ番号は電話帳の登録時に自動的※に割り当てられますが、000～699の範囲でお好きな番号を入力することもできます。

※：010～699の空き番号に、若い順に割り当てられます。ただし、010～699に空き番号がないときは、000～009の空き番号に割り当てられます。

次ページにつづく

それぞれの項目を設定▶✉［完了］

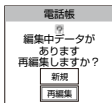
おしらせ

- 本体の名前に「ｧ、ｩ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ｱ（半角大文字）」と表示されます。記号（一部を除く）や絵文字を入力した場合は、フリガナに反映されません。
- FOMAカードの名前に「ｧ、ｩ（全角小文字）」を入力した場合、フリガナは「ア（全角大文字）」と表示されます。ただし、フリガナ入力で「ｩ（全角小文字）」を入力することはできます。記号（一部を除く）を入力した場合は、フリガナに反映されません。
- 記号、絵文字を使って登録された電話帳は、赤外線通信などでデータ転送を行うと正しく表示されない場合があります。
- メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
  ただし、相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレスに電話番号のみを登録してください。
- 電話帳に登録した静止画やキャラ電の元のデータが変更されたり、削除された場合は、電話帳の静止画やキャラ電も同じように変更、削除されます。
- 登録した静止画を着信時に表示させるには、「電話帳画像着信設定」を「ON」に設定してください。
- 電話番号／メールアドレスを複数登録した場合、機能メニューから「先頭へ移動」を選択すると、反転している電話番号／メールアドレスを1番目の電話番号／メールアドレスとして登録できます。
- 受信したｉモードメールに添付された電話帳データをFOMA端末（本体）、FOMAカードおよびmicroSDメモリーカードに保存できます。→P.221

<キャラ電設定の優先順位>

- キャラ電の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①発着信識別機能のキャラ電設定　②グループ識別機能のキャラ電設定
  ③電話帳登録のキャラ電　④画像選択の代替画像選択

編集を中断した電話帳があるとき

MENU▶「PHONEBOOK」▶α［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」または「FOMAカード(UIM)」▶「再編集」

編集中に電池切れアラームが鳴った場合など中断した電話帳の編集を再開できます。
編集を再開しているときに、登録しないで編集を中止すると編集中のデータは消えます。

■ 新規に登録する場合

▶「新規」

おしらせ

- 編集中データとして一時保存されるのは最新の1件のみです。
- 電話帳の編集中に音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、編集中の電話帳のデータはそのままで電話に出ることができます。音声電話やテレビ電話が終了すると、元の編集画面に戻ります。

■ お願い

- 「電話帳」に登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。電話帳の内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290
- FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合があります。また、ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もあります。あらかじめご了承ください。
  万一、電話帳などに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳に登録する

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」または電話番号入力画面などから電話帳に登録します。

<例：「着信履歴」からFOMA端末（本体）電話帳に追加登録する場合>

1 着信履歴画面（P.58）▶α［機能］▶「電話帳登録」▶「本体」

■ FOMAカードに登録する場合

▶「FOMAカード(UIM)」

2 「追加登録」▶登録する電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.95

■ 新規に登録する場合

▶「新規登録」

■ FOMAカードの場合

▶「新規登録」または「上書き登録」

3 電話帳の詳細画面を表示▶◉［選択］

電話番号が自動的に入力され、電話帳の編集画面が表示されます。

電話帳の修正のしかた→P.99

4 修正が終わったら✉［完了］

■ 上書きするかどうかのメッセージが表示された場合

▶「YES」

おしらせ

- 「発信履歴」、「リダイヤル」に表示される発番号設定の情報（「通知」／「非通知」）は、電話帳には登録されません。
- 返信不可の受信アドレスは電話帳に登録できません。
- 電話帳に登録できる文字数を超えた文字は削除されます。また、登録できない文字はスペースに変換されることがあります。

〈グループ設定〉

グループ名を変更する

お買い上げ時	FOMA端末（本体）：グループ01～19　FOMAカード：グループ01～10

電話帳を「会社」や「友達」のようなお付き合いごとに、「野球」や「サッカー」のような趣味ごとにグループ分けすることによって、用途別に分けられた数冊の電話帳のように活用できます。

- 変更できるグループと登録できる文字数は以下のとおりです。

電話帳登録先	変更できるグループ	登録できる文字数
FOMA端末（本体）	グループ01～グループ19	全角10文字、半角21文字
FOMAカード	グループ01～グループ10	全角10文字、半角21文字

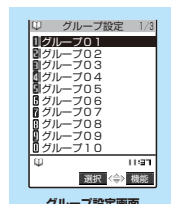
- 「グループ00」のグループ名は変更できません。

1 MENU 2 6

「グループ設定画面」が表示されます。

2 グループを選択▶グループ名を入力

「　」が表示されているグループは、FOMAカードのグループを示します。

FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名を付けた場合でも、別々のグループとして表示されます。

グループ設定画面

機能メニュー ➡P.94

機能 グループ設定画面

グループ設定画面（P.93）▶α［機能］▶以下の項目から選択

グループ名編集……グループ名を編集します。

グループ識別機能……「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.100

グループ名初期化……変更したグループ名を初期化して、お買い上げ時のグループ名に戻します。

おしらせ

- グループ名を初期化しても、「グループ識別機能」の設定は解除されません。

〈電話帳検索〉

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳から呼び出します。

● 電話帳一覧画面で、タブが表示されている場合は、以下のように表示を切り替えられます。
　＜例：50音タブ表示のときに、「か行」から「た行」にタブを切り替える場合＞

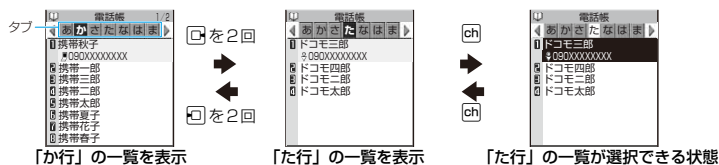
タブ

「か行」の一覧を表示

を2回

を2回

「た行」の一覧を表示

「た行」の一覧が選択できる状態

おしらせ

- で同一タブ内におけるページの切り替えが可能です。ただし、タブを選択時には［ ］、［MEMO／CHECK］で行います。
- 50音タブ表示の場合、タブを選択時には、行に対応するボタンを押すことでタブを切り替えることが可能です。行に対応するボタンについては、電話帳検索方法の「行検索」（P.96）をご覧ください。
- メモリ番号タブ表示の場合、タブを選択時には、メモリ番号を直接ダイヤルボタンで押して該当のメモリ番号の電話帳を表示することが可能です。
- グループタブ表示の場合、タブを選択時には、グループ番号を直接ダイヤルボタンで押して該当のグループのタブを選択することが可能です（FOMAカードに登録されているグループの場合は頭に「＊」を付けて指定します）。

電話をかける相手の電話帳を呼び出して電話をかける

MENU▶「PHONEBOOK」

「電話帳一覧画面」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.97

■ 一覧画面から電話をかける場合

▶電話をかける電話帳を反転▶または［TV電話］

を押すと音声電話が、［TV電話］を押すとテレビ電話がかかります。

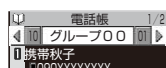
電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目に登録されている電話番号に電話がかかります。

■ タブの種類を切り替える場合

▶α［機能］▶「タブ表示切替」

「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

50音タブ表示

メモリ番号タブ表示

グループタブ表示

2 目的の電話帳を選択

「電話帳詳細画面」が表示されます。

電話帳詳細画面

機能メニュー➡P.97

3 ⓒ または ✉ ［ TV電話 ］

ⓒ を押すと音声電話が、✉［ TV電話 ］を押すとテレビ電話が現在表示されている電話番号にかかります。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

◎ で電話番号の表示を切り替えることができます。

おしらせ

- 複数の電話番号を登録している場合は、1番目に登録されている電話番号を入れ替えることができます。→P.98
- 通話中に ◎ を押した場合はグループ検索画面が表示され、◎ を押した場合は行検索画面が表示されます。

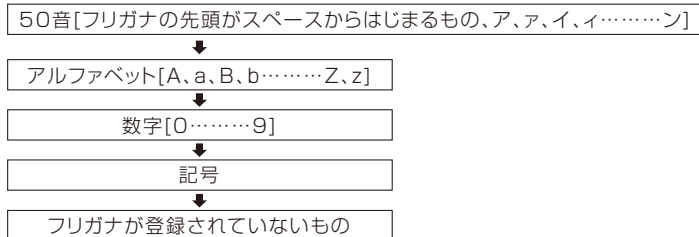
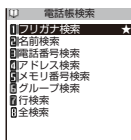
検索方法を指定して電話帳を呼び出す

目的に応じて、フリガナ、名前、電話番号、メールアドレス、メモリ番号、グループ、行（アカサタナ順）、全件の８とおりの検索方法から選んで、電話帳を検索できます。

■ 検索結果の表示について

メモリ番号検索以外は電話帳を登録するときに入力したフリガナによって、以下の順で検索してその結果を表示します。

1 待受画面表示中▶◎▶検索する方法を選択

電話帳検索
1 フリガナ検索 ★
2 名前検索
3 電話番号検索
4 アドレス検索
5 メモリ番号検索
6 グループ検索
7 行検索
8 全検索

■ 優先して表示する検索方法を設定する場合

▶優先して表示したい検索方法を反転▶✉［優先］▶「OK」

優先に設定した検索方法には「★」が付きます。

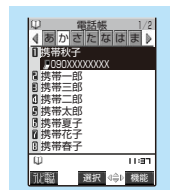
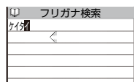
次回検索するときに、待受画面表示中に ◎ を押すと優先に設定した検索方法画面が表示されます。

■ 検索方法の優先設定を解除する場合

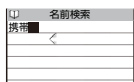
▶待受画面表示中▶◎▶CLR▶「★」が付いている検索方法を反転▶✉［解除］

2 電話帳を検索

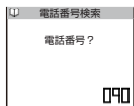
検索が終了すると、検索条件を満たした「電話帳一覧画面」が表示されます。FOMAカードに登録されている電話帳は、検索結果の一覧画面で「▦」が表示されます。

電話帳一覧画面

機能メニュー➡P.97

■フリガナ検索の場合

▶フリガナの一部を入力▶□または□

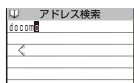
フリガナを先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

■名前検索の場合

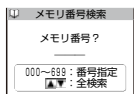
▶名前の一部を入力▶□

名前を先頭から入力します。すべてを入力しなくても構いません。

■電話番号検索の場合

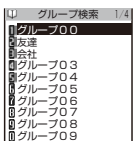
▶電話番号の一部を入力▶□または□

最初の数桁または途中の数桁を入力します。

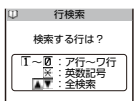
「電話番号入力画面」（P.52）で電話番号の一部を入力し□でも検索できます。

■アドレス検索の場合

▶メールアドレスの一部を入力▶□または□

■メモリ番号検索の場合

▶3桁のメモリ番号を入力

FOMAカードの電話帳はメモリ番号で検索できません。

■グループ検索の場合

▶目的のグループを選択

FOMAカードの電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のグループとは別グループになります。

■行検索の場合

▶検索したい行（タブ）のボタンを押す

1：「あ行」タブ　　7：「ま行」タブ
2：「か行」タブ　　8：「や行」タブ
3：「さ行」タブ　　9：「ら行」タブ
4：「た行」タブ　　0：「わ行」タブ
5：「な行」タブ　　＊：「他行」タブ
6：「は行」タブ

■全検索の場合

登録されているすべての電話帳を50音タブ表示します。

おしらせ

●電話帳検索画面では、最後に選択した検索方法が反転表示されます。

リダイヤルや発信履歴などから電話帳を呼び出す

「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」、「受信アドレス一覧」、「送信アドレス一覧」の各画面から登録済みの電話帳詳細画面を呼び出して、電話をかけたり、メールを送信します。

＜例：音声電話の「着信履歴」から電話帳参照する場合＞

着信履歴画面（P.58）▶α［機能］▶「電話帳参照」

「電話帳詳細画面」が表示されます。

機能 電話帳一覧画面

● 検索方法、タブの選択状態など、表示のしかたによって利用できる機能が異なります。

電話帳一覧画面（P.95）▶α［機能］▶以下の項目から選択

電話帳登録……「電話帳に登録する」→P.91

お預りセンターに接続……電話帳データをドコモのお預かりセンターに預けます。→P.104
▶端末暗証番号を入力▶「YES」▶✉［完了］

ソート※1……指定した条件に従って電話帳一覧を並び替えます。

タブ表示切替……タブ表示を切り替えます。「50音タブ表示／メモリ番号タブ表示／グループタブ表示」から選択します。

発着信識別機能……「発着信識別機能の設定状況を確認する」→P.101

電話帳指定設定……「電話帳指定設定の設定状況を確認する」→P.150

グループ設定……「グループ名を変更する」→P.93

microSDへコピー※2……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280
・「全コピー」を選択した場合、電話帳データ以外に、マイプロフィールのデータをコピーするかしないかを選択できます。

赤外線送信※2※3……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信※2……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

電話帳登録件数……「電話帳の登録状況を確認する」→P.100

メール添付※2※3……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。

microSD参照⇔本体参照……microSDメモリーカード内、FOMA端末（本体）の電話帳を参照します。

電話帳削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40
・「全削除」を行うと、FOMAカードの電話帳、直デンも削除されます。

※1：タブ表示のときは利用できません。
※2：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。
※3：タブ表示のとき、タブを選択している場合は利用できません。

機能 電話帳詳細画面

電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶以下の項目から選択

電話帳編集……「電話帳を修正する」→P.99

発番号設定……「電話をかけるときに通知／非通知を選択する」→P.62

着もじ……「着もじを付けて電話をかける」→P.60

発信設定

- **プレフィックス**……「プレフィックス番号を付加して電話をかける」→P.64
- **国際電話発信**……「国際電話発信機能を利用して国際電話をかける」→P.66
- **マルチナンバー**……「マルチナンバー」→P.335
- **テレビ電話画像選択**……テレビ電話中に送信する画像を「自画像／キャラ電」から選択します。設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。
- **通信速度設定**……テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K／32K」から選択します。

発着信識別機能※1……「電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える」→P.100

電話帳指定設定※1……「指定した電話番号の着信や発信を制限する」→P.149

先頭へ移動※1……電話番号／メールアドレスが複数登録されている場合、表示している電話番号／メールアドレスを1番目に移動します。

直デン登録※1……「直デンに登録する」→P.102

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

iモードメール作成……「iモードメールを作成して送信する」→P.205

メール添付※1……電話帳に登録されているデータを添付した新規メール画面を表示します。

SMS作成……「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.237

赤外線送信※1……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信※1……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

オート表示※1……「オート表示させる電話番号を指定する」→P.104

microSDへコピー※1 ……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

コピー

- **名前**……名前をコピーします。コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。「文字を貼り付ける」→P.351
- **電話番号**※2……電話番号をコピーします。コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。「文字を貼り付ける」→P.351

シークレットコード※1 ……▶**端末暗証番号を入力**▶**以下の項目から選択**
「シークレットコードについて」→P.99

- **コード設定**……シークレットコードを設定します。
  ▶**4桁のシークレットコードを入力**▶**「YES」**
- **コード参照**……設定したシークレットコードを確認します。
- **設定解除**……設定したシークレットコードを解除します。

シークレット設定※1※3……「電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする」→P.139

FOMAカードへコピー※4……「電話帳詳細画面から電話帳をコピーする」→P.286

拡大表示⇔標準表示……表示する文字サイズの「拡大／標準」を切り替えます。

電話帳削除……「電話帳を削除する」→P.99

※1：FOMAカードに登録されている電話帳の場合は利用できません。
※2：選択している項目によって機能名は「メールアドレス／住所／誕生日／メモ」と表示されます。
※3：シークレットデータの電話帳を参照しているときは「シークレット解除」になります。
※4：FOMAカードの電話帳を参照しているときは「本体へコピー」になります。

おしらせ

＜直デン登録＞
- 直デンに登録すると機能メニューに「★」が表示されます。

＜拡大表示⇔標準表示＞
- 「拡大表示」に設定しても、電話帳詳細画面では名前のみが拡大表示されます。

● シークレットコードについて

相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」で、その相手がシークレットコードを登録している場合（P.203）、メールの宛先には「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」を指定する必要があります。
このような相手にメールを送信するには、次の2とおりの方法があります。
①電話帳詳細画面の機能メニューから電話帳にシークレットコードを設定する（メールアドレス参照時に、電話帳のメールアドレスにシークレットコードが自動的に付加されます）。
②電話帳のメールアドレスにシークレットコードを付加して登録する。

おしらせ

- シークレットコードの設定が有効なのは、「電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレスまたは「電話番号」だけです。
- FOMAカードの電話帳にはシークレットコードを設定できません。
- 上記②の場合は、本機能でシークレットコードを設定しないでください。

〈電話帳修正〉

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶「電話帳編集」▶それぞれの項目を修正

「電話帳登録」と同じ操作で、必要な項目を修正します。
電話帳の登録のしかた→P.91

■ 新しいメモリ番号に登録する場合

▶「No」を選択▶電話帳が登録されていないメモリ番号（000～699）を入力
修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容が別のメモリ番号で新しく登録されます。

2 修正が終わったら✉［完了］▶「YES」

■ FOMAカードの場合

▶✉［完了］▶「上書き登録」または「追加登録」
「上書き登録」を選択すると、修正した内容で登録します。
「追加登録」を選択すると、修正前の電話帳は元の内容のまま残り、修正後の電話帳の内容は新しい電話帳として登録されます。

おしらせ

- 直デンに登録している電話帳の名前、電話番号、メールアドレスを変更すると、直デンの登録内容も変更されます。

〈電話帳削除〉

電話帳を削除する

1 電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶「電話帳削除」▶以下の項目から選択

電話番号削除※……選択した電話番号（またはメールアドレス、住所、誕生日、メモ、静止画、キャラ電）を削除します。

1件削除……電話帳を削除します。

※：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除／キャラ電削除」と表示されます。

おしらせ

- 直デンに登録している電話帳を削除すると、直デンも削除されます。
- 複数の電話番号、メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号、メールアドレスを削除すると、削除した以降の電話番号、メールアドレスの順番が繰り上がって登録されます。

〈電話帳登録件数〉

電話帳の登録状況を確認する

MENU 2 2

■ 本体（FOMA端末に登録されている電話帳）

電話帳　　　：電話帳の登録件数を表示
　　　　　　　登録されている件数／700（登録できる件数）
シークレット：シークレットデータとして登録されている件数を表示（「シークレットモード」または「シークレット専用モード」のときのみ表示）
静止画　　　：電話帳に登録されている静止画の件数を表示
　　　　　　　登録されている件数／100（登録できる件数）
キャラ電　　：電話帳に登録されているキャラ電の件数を表示
　　　　　　　登録されている件数／100（登録できる件数）

■ FOMAカード（FOMAカードに登録されている電話帳）

電話帳　　　：電話帳の登録件数を表示
　　　　　　　登録されている件数／50（登録できる件数）

〈発着信識別機能／グループ識別機能〉

電話番号やメールアドレスごとに発着信の設定を変える

お買い上げ時 すべて解除

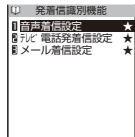
電話帳の電話番号やメールアドレスごと、またはグループごとに着信音や伝言メモの応答メッセージなどを設定します。音だけで誰からの着信なのかを区別したいときなどに便利です。

- FOMA端末（本体）の「グループ00」、FOMAカードの電話帳とグループには設定できません。
- シークレットデータとして登録された電話帳には設定できません。
- 「イルミネーション設定」と「マイシグナル設定」を同時に設定することはできません。
- 相手が電話番号を通知してこない場合、発着信識別機能およびグループ識別機能は無効となります。「番号通知お願いサービス」を設定しておくと便利です。

1 電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶「発着信識別機能」

「発着信識別機能設定画面」が表示されます。
設定されている機能には「★」が付きます。
電話帳詳細画面にて選択されている項目によって、利用できる機能が異なります。

■ グループごとに発着信の設定を変える場合

▶「グループ設定画面」（P.93）▶α［機能］▶「グループ識別機能」

発着信識別機能設定画面

2 着信を識別する項目を選択

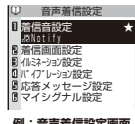
「音声着信設定／テレビ電話発着信設定／メール着信設定」から選択します。
・「メール着信設定」を選択すると、iモードメールのほか、SMSの着信も対象になります。

3 以下の項目から選択

設定されている機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」が付いている機能を反転▶✉［解除］
機能が解除されて「★」が消えます。

音声着信設定
1 着信音設定 ★
Notify
2 着信画面設定
3 イルミネーション設定
4 バイブレーション設定
5 応答メッセージ設定
6 マイシグナル設定

例：音声着信設定画面

着信音設定※1……誰からの電話／メールかを、着信音で区別します。
「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.108

着信画面設定※1※2……誰からの電話かを、着信画像で区別します。
「画面の表示を変える」→P.116

キャラ電設定※3……テレビ電話の代替画像として表示されるキャラ電を選択します。

イルミネーション設定※1※4……誰からの電話／メールかを、着信イルミネーションの点滅で区別します。
「着信時の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する」→P.122

バイブレーション設定※1……誰からの電話／メールかを、バイブレーションで区別します。
「着信を振動で知らせる」→P.110

応答メッセージ設定※2……伝言メモ※5、クイック伝言メモが起動したときの応答メッセージを、相手によって変えます。「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.78

通信速度設定※3……テレビ電話をかけるときの通信速度を「64K／32K」から選択します。

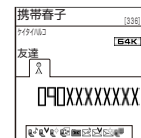
マイシグナル設定※6……誰からの電話／メールかを、マイシグナルのアニメーションで区別します。
▶「INBOX」または「プリインストール」▶アニメーションデータを選択
選択中のアニメーションは、マイシグナルで確認できます（FOMA端末を開いていてもマイシグナルの表示向きは変わりません）。

※1：64Kデータ通信の着信時も区別できます。
※2：「音声着信設定」または「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ表示されます。
※3：「テレビ電話発着信設定」を選択したときのみ表示されます。
※4：「マイシグナル設定」（P.122）を「OFF」に設定しておく必要があります。
※5：「伝言メモ」を「ON」に設定しておく必要があります。
※6：「マイシグナル設定」（P.122）を「ON」に設定しておく必要があります。

■発着信識別機能を設定すると

電話帳の詳細画面に設定されていることを示すアイコンが表示されます。

例：テレビ電話発着信設定

：着信音（音声／テレビ電話）
：着信音（メール）
：イルミネーション（音声／テレビ電話）
：イルミネーション（メール）
：バイブレーション（音声／テレビ電話）
：バイブレーション（メール）
：着信画面（音声／テレビ電話）
：応答メッセージ（音声／テレビ電話）
：マイシグナル（音声／テレビ電話）
：マイシグナル（メール）
：キャラ電（テレビ電話）
64K：通信速度・64K（テレビ電話）
32K：通信速度・32K（テレビ電話）

おしらせ

- 電話番号に対して設定する「メール着信設定」の「着信音設定」、「イルミネーション設定」、「バイブレーション設定」、「マイシグナル設定」は、SMSや相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」からのメールを受信したときに動作します。
- シークレットデータとして登録された電話帳と普通の電話帳が混在して登録されているグループや、シークレットデータのみが登録されているグループにも本機能を設定することができます。ただし、シークレットデータとして登録している相手からの着信では、本機能の設定は無効になります。
- 発着信識別機能／グループ識別機能の着信設定と、ほかの機能の着信設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - 着信音の優先順位→P.110
  - バイブレータの優先順位→P.111
  - 着信画像の優先順位→P.116
  - 着信イルミネーションの優先順位→P.123

＜通信速度設定の優先順位＞

- 通信速度の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①通信速度設定　②発着信識別機能の通信速度設定
  ③グループ識別機能の通信速度設定

＜マイシグナルの優先順位＞

- マイシグナルの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①発着信識別機能のマイシグナル設定　②グループ識別機能のマイシグナル設定
  ③マイシグナル設定

発着信識別機能の設定状況を確認する

「発着信識別機能」を設定している電話帳およびグループを各機能または項目ごとに確認します。

MENU 6 2

「発着信識別機能確認画面」が表示されます。
本機能が設定されている項目には「★」が付いています。

「★」が付いている機能または項目を選択▶「★」が付いている機能または項目を反転▶α［機能］▶以下の項目から選択

設定確認……識別機能の設定状態を確認します。
▶「★」が付いている機能または項目を選択※▶設定されている電話帳およびグループを確認

設定解除……「★」が付いている機能の設定をまとめて解除します。

※：設定している機能または項目によって選択項目の数（◉を押す回数）が変わります。

直デンを利用する

よく使う電話帳を直デンに登録し、すばやく電話をかけたり、メール送信をできるようにします。

- 直デンは、FOMA端末（本体）の電話帳の登録データ（電話番号など）を引用し、最大5件まで登録できます。
- 直デンにメールアドレスが登録されていると、すべてのメンバーを宛先にしたｉモードメールやチャットメールを簡単に作成することもできます。
- シークレット専用モード中は利用できません。
- シークレットモード中は利用できますが、シークレットデータとして登録している電話帳を直デンに登録することはできません。

直デンに登録する

- 待受画面で[□]を押すと、1番目に登録されている直デン詳細画面が表示されますので、使う頻度が最も高い電話帳は1番目に登録すると便利です。

1 [MENU]▶「OWN DATA」▶「直デン」

「直デン一覧画面」が表示されます。

■ はじめて登録するとき

待受画面で[□]を押しても「直デン一覧画面」が表示されます。

直デン一覧画面

機能メニュー➡P.103

2 「<未登録>」を反転▶[✉]［登録］▶電話帳を検索

電話帳の検索のしかた→P.95

3 [●]［選択］

「電話帳引用画面」が表示されます。

電話帳引用画面

4 [◯]で□（チェックボックス）を選択

電話帳に複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合は登録するものを1つだけ選択します。

5 [✉]［完了］

電話帳の名前、選択した電話番号やメールアドレスが直デンに登録されます。

直デンから電話をかける／メールを作成する

＜例：電話をかける場合＞

1 待受画面表示中▶[□]

1番目の「直デン詳細画面」が表示されます。

直デン未登録時には、直デン一覧画面が表示されます。「直デンに登録する」→P.102

直デン詳細画面

機能メニュー➡P.103

2 で電話をかける直デン詳細画面を表示

3 で「電話する」を選択状態にする

■ メールを作成する場合
▶で「メールする」を選択状態にする▶［選択］
宛先にメールアドレスが入力された新規メール画面が表示されます。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

4 （音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

機能 直デン一覧画面

1 直デン一覧画面（P.102）▶［機能］▶以下の項目から選択

登録……「直デンに登録する」→P.102

編集……電話帳引用画面を表示し、別の電話番号やメールアドレスを引用します。

ｉモードメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスを宛先に設定し、新規メール画面を表示します。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

チャットメール一斉送信……直デンに登録したすべてのメールアドレスをチャットメンバーに設定し、チャット画面を表示します。「チャットメールを送受信する」→P.232

1件削除・全削除……直デンを1件または全削除します。

おしらせ

- 直デンを削除しても、FOMA端末（本体）の電話帳は削除されません。

機能 直デン詳細画面

1 直デン詳細画面（P.102）▶［機能］▶以下の項目から選択

編集……電話帳引用画面を表示し、別の電話番号やメールアドレスを引用します。

画像変更……「マイピクチャ」から画像を選択し、直デンに表示されている画像を変更します。

おしらせ

- 直デンの画像は直デン詳細画面でのみ登録、表示できます。

〈ツータッチダイヤル〉

少ないボタン操作で電話をかける

電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録すると、0から9（メモリ番号の下1桁）とを押すだけで電話をかけることができます。

1 0～9▶（音声電話）／［テレビ電話］（テレビ電話）

おしらせ

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。
- シークレットモード、シークレット専用モード時は、シークレット登録された電話帳でも利用できます。

〈オート表示〉

いつもかける相手にワンタッチで電話をかける

お買い上げ時 OFF

待受画面表示中に折り畳んだFOMA端末を開くと、指定した電話番号を自動的に表示するように設定します。
[発信]や[メール]［TV電話］を押すだけで、表示された電話番号に音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- オート表示に指定できる電話番号は1件です。メールアドレスは指定できません。
- FOMAカードの電話帳、直デンは指定できません。

オート表示機能を有効にする

[MENU][4][7]▶「ON」

■ オート表示機能を無効にする場合

▶「OFF」

オート表示させる電話番号を指定する

1 **電話帳詳細画面（P.95）▶[α]［機能］▶「オート表示」**

電話帳詳細画面の機能メニューで「オート表示」に「★」が付きます。

■ 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合

▶[◀▶]でオート表示させる電話番号を表示

■ オート表示の指定を解除する場合

▶操作1を再度行う

指定が解除されて「★」が消えます。

おしらせ

- オート表示の電話番号表示中に[●]、[終話]、[CLR]、[ ]［戻る］を押すと待受画面に戻ります。

〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳データをセンターに保存する

FOMA端末（本体）の電話帳をドコモのお預かりセンターに保存します。保存した電話帳はお預かりセンターに接続して、FOMA端末に復元・更新することができます。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 「圏外」のときは電話帳お預かりサービスを利用できません。
- 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

1 **[MENU]▶「LIFEKIT」▶「電話帳お預りサービス」▶「お預りセンターに接続」**

■ 電話帳内の画像送信について設定する場合

▶「電話帳内画像送信設定」▶「する」（お買い上げ時：しない）

電話帳に登録されている画像もお預かりセンターに保存されます。

2 **端末暗証番号を入力▶「YES」**

お預かりセンターに接続して電話帳の保存を開始します。

3 **[メール]［完了］**

おしらせ

- FOMAカードに登録されている電話帳はお預かりセンターに保存できません。
- 100Kバイトを超える画像が登録されている電話帳は、保存・更新することはできませんのでご注意ください。

● 電話帳を復元／更新する

お預かりセンターに保存した電話帳データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存することができます。
また、お預かりセンターに預けている電話帳データをパソコンなどから編集することもできます。
ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

- 電話帳お預かりサービスの設定により、お預かりセンターからFOMA端末電話帳の更新が行えます。ただし、自動更新時に他の機能を実行していると自動更新は実行されません。
- お預かりセンターに預けている電話帳データを FOMA 端末に復元すると、電話番号やメールに登録されているアイコンが「 」や「 」に置き換わることがあります。

● お預かりセンターとの通信履歴を確認する

- 通信履歴は30件まで記憶できます。履歴が最大件数を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。
- 通信履歴詳細画面では通信結果、日付、通信内容、通信データサイズ、お預かりセンターへの送信結果、携帯電話の受信結果、お預かりセンター残件数が表示されます。

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「電話帳お預りサービス」▶「通信履歴表示」

「通信履歴一覧画面」が表示されます。

通信履歴一覧画面

機能メニュー ➡P.105

2 通信履歴項目を選択

機能 通信履歴一覧画面

1 通信履歴一覧画面（P.105）▶α［機能］▶以下の項目から選択

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.40

●音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

〈着信音選択〉

携帯電話から鳴る着信音を変える

お買い上げ時	電話・テレビ電話：Ease メール・チャットメール：Signal メッセージR・メッセージF：Notify

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR／Fを受けたときのそれぞれの着信音を設定します。また、特定の電話番号やメールアドレス、電話帳のグループを指定してそれぞれに着信音を設定することもできます。→P.100

● メロディ一覧の見かた→P.272

[MENU][1][3]▶着信音を設定する項目を選択

「電話／テレビ電話／メール／チャットメール／メッセージR／メッセージF」から選択します。

・「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信の着信音が設定されます。

・「メール」を選択すると、ｉモードメールやSMS、パケット通信の着信音が設定されます。

「着信音」▶以下の項目から選択

メロディ……お買い上げ時に登録されている着信音やメロディは「プリインストール」から選択します。ｉモードのサイトなどからダウンロードしたメロディは「INBOX」またはお客様が作成したフォルダから選択します。

ｉモーション……FOMA端末に取得したｉモーションやカメラで撮影した動画（ｉモーション）は「INBOX」「カメラ」「移行可能コンテンツ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
着信時には、選択したｉモーションに応じて映像や音声が再生されます（着モーション機能）。

ミュージック……お買い上げ時に登録されている着うたフル®は「プリインストール」から選択します。FOMA端末にダウンロードした着うたフル®は「INBOX」「移行可能コンテンツ」またはお客様が作成したフォルダから選択します。
着うたフル®に配信元が指定した着信音設定部分がある場合は、以下の項目から設定します。

まるごと設定……1曲すべてを着信音に設定します。

オススメ設定……曲の一部を着信音に設定します。

■「移行可能コンテンツ」以外のフォルダを選択した場合
▶[←→]で着信音に設定する部分（黄色で表示）を指定▶[●]［確定］

■「移行可能コンテンツ」フォルダを選択した場合
▶[←→]で着信音に設定する部分（黄色で表示）を指定▶[●]［確定］▶「YES」▶フォルダを選択

おしゃべり……「おしゃべり機能」で録音した音声を選択します。
「アラーム音や応答保留音を録音／再生する」→P.315

ランダムメロディ……メロディが保存されているフォルダを選択します。着信時にはフォルダに保存されているメロディがランダムで選曲され、再生されます。

OFF……着信音を鳴らしません。

3 着信音を選択

メロディを選択すると、そのメロディが鳴ります。
[☎]、[＊]、[＃]、[✉]、[α]、[ch]、[MENU]、[0]のいずれかのボタンを押すと、メロディは止まります。

■ 設定を確認する場合
▶[✉]［デモ］

■お買い上げ時に登録されている着信音・メロディ・アラーム音一覧

表示	曲名	作曲者
着信音１～４	—	—
Ease	Ease	—
Optics	Optics	—
Surface	Surface	—
Let's Toast!	Let's Toast!	—
Sandstorm	Sandstorm	—
A Gentle Breeze	A Gentle Breeze	—
Dreamscape	Dreamscape	—
Summertime	Summertime	GERSHWIN GEORGE
Something New	Something New	—
Polovestsian Dance	Polovestsian Dance	ALEKSANDR PORFIR'EVICH BORODIN
Signal	—	—
Piano Mood	—	—
Engine Tone	—	—
Cyber Jingle	—	—
Jazz Jingle	—	—
Hiphop Jingle	—	—
Notify	—	—
Breeze	—	—

■お買い上げ時に登録されている着うたフル®

Blue Paradise

おしらせ

- 映像のみのｉモーション、テロップ付きｉモーションは着信音に設定できません。
- ｉモーションによっては設定できないものがあります。
- 着信音に設定できるメロディをmicroSDメモリーカードへコピーした場合、コピーしたメロディは着信音に設定できません（FOMA端末へコピーした場合は設定できます）。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／ｉモーションでも、以下の場合は着モーションや着信画像に設定できません。
  - ・赤外線通信機能やドコモケータイdatalink（P.342）などを使用してパソコンやほかのFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - ・microSDメモリーカードからFOMA端末本体にコピーした場合（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーしてから、もう一度FOMA端末本体にコピーした場合を含む）
- 移行可能コンテンツフォルダ内のｉモーションを選択すると、選択したｉモーションが「ｉモーション」のINBOXフォルダに移動されます。
- 移行可能コンテンツフォルダ内の着うたフル®を選択すると、「まるごと設定」のときは選択した着うたフル®が「ミュージック」のINBOXフォルダに移動されます。「オススメ設定」のときは選択した部分をｉモーションとして切り出し、「ｉモーション」のフォルダに保存されます。
- FOMA端末本体に保存されている着うたフル®を「オススメ設定」で着信音に設定した場合は、ｉモーションとしての切り出しは行われずに選択した部分がそのまま着信音に設定されます。
- 着信音選択中に再生される着信音の音量は、「着信音量」で設定した音量で鳴ります。「着信音量」を「SILENT」に設定している場合は鳴りません。
- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。→P.272
- 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信音に設定されたｉモーションが再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるｉモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるｉモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたｉモーションが再生されます。
- 相手が電話番号を通知してこない音声電話の着信音は、「非通知着信設定」で設定できます。相手が電話番号を通知してこないテレビ電話の着信音は、本機能の「テレビ電話」の設定に従います。
- メールの着信音にｉモーションを設定している場合、パケット通信の着信音は「Signal」になります。また、着信画面の設定にかかわらず、パケット通信の着信時には専用の着信画面が表示されます。
- 着うたフル®を着信音に設定した場合、着うたフル®にジャケット画像が含まれていても、着信時に表示されません。

おしらせ

●複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信音の動作は以下のとおりです。

受信内容	着信音の動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信音が鳴ります。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信音が鳴ります。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている着信音が鳴ります。チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

<電話着信音の優先順位>

●電話着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

①マルチナンバー（付加番号1、2）の着信音
②発着信識別機能の音声／テレビ電話着信音
③グループ識別機能の音声／テレビ電話着信音
④着信音選択の着信音／スタイルモードの着信音

※ 上記②発着信識別機能、③グループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。

①音声／テレビ電話着信音のｉモーション
②着信画面設定のｉモーション
③音声／テレビ電話着信音のｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディ

<メール（SMSを含む）着信音の優先順位>

●メール着信音の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

①発着信識別機能のメール着信音
②グループ識別機能のメール着信音
③着信音選択の着信音／スタイルモードの着信音

〈SRS_WOW設定〉

ｉモーションの再生音に音響効果を加える

お買い上げ時 OFF

音響効果ありのｉモーションを再生したときに、スピーカから聞こえる再生音には「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が加わり、イヤホンから聞こえてくる再生音には「自然な立体感」、「豊かな低音」、「楽器や声の輪郭がはっきりしたサウンド」といった音響効果が同時に加わります。

● 音響効果ありのｉモーションは、動画一覧画面のアイコンで確認できます。→P.256

MENU 6 4 ▶「ON」

■ 解除する場合

▶［OFF］

〈バイブレータ〉

着信を振動で知らせる

お買い上げ時 すべてOFF

音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR／Fを受けたときのそれぞれの振動パターンを設定します。

MENU 5 4 ▶ バイブレータを設定する項目を選択

「電話」を選択すると、音声電話や64Kデータ通信のバイブレータが設定されます。
「メール」を選択すると、ｉモードメールやSMS、パケット通信のバイブレータが設定されます。

2 振動パターンを選択

パターン1～パターン3……それぞれのパターンで振動します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンでFOMA端末が振動します。

メロディ連動……着信音に設定されているメロディのパターンに合わせてFOMA端末が振動します。

OFF……振動しません。

■バイブレータ設定時の待受画面のアイコン表示

：音声電話、テレビ電話のいずれかの着信で振動
：メール／チャットメール／メッセージR／メッセージFのいずれかの着信で振動
：「」と「」の両方の状態

おしらせ

- 「バイブレータ」の「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」のそれぞれの設定は、「メール／メッセージ鳴動」のそれぞれの設定を「ON」にしなければ着信時に鳴動しないため、バイブレータも振動しません。
- バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。
- バイブレータの振動は、着信音量にかかわらず、一定の強さとなります。
- 「メロディ連動」を選択しても、必ずしも主旋律に連動するわけではありません。またメロディにバイブレータのパターンが指定されていない場合、着信音をｉモーションに設定している場合は、パターン2で振動します。

<バイブレータの優先順位>

- バイブレータの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①発着信識別機能の着信・メールのバイブレーション設定　②グループ識別機能の着信・メールのバイブレーション設定
  ③バイブレータの設定

〈ボタン確認音〉

ボタンを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時 ON

- 本機能を「OFF」に設定した場合、以下の音も鳴りません。
  - ・各種警告音
  - ・受話音量の調節を開始したときの音
  - ・電池残量表示の音
  - ・アラームのスヌーズ解除音
- ボタン確認音の音量は、通話中の場合には「受話音量」で設定した音量、通話していない場合には一定の音量になります。

MENU 3 0 ▶「ON」

■ **鳴らさない場合**

▶「OFF」

〈充電確認音〉

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時 ON

充電開始、終了時に「ピッピッ」と確認音を鳴らします。

- 本機能の設定にかかわらず、以下の場合は確認音が鳴りません。
  - ・待受画面以外の画面を表示中
  - ・着信中
  - ・マナーモード設定中
  - ・待受中音声メモ録音中
  - ・データ通信中
  - ・発信中
  - ・音声通話中
  - ・公共モード（ドライブモード）設定中
  - ・おしゃべり機能録音中
  - ・電源が切れている場合

MENU ▶「SETTINGS」▶「その他」▶「充電確認音」▶「ON」

■ **鳴らさない場合**

▶「OFF」

〈時刻アラーム音設定〉

時刻アラーム音を設定する

お買い上げ時 アラーム音

アラーム、スケジュール、To Doリストで設定できる時刻アラーム音を変更します。

MENU ▶「SETTINGS」▶「時計」▶「時刻アラーム音設定」▶アラーム音を選択

アラーム音は「メロディ／ｉモーション／ミュージック／おしゃべり」から選択します。

■ **アラーム音を鳴らさない場合**

▶「OFF」

〈通話品質アラーム〉
通話が切れそうなときはアラームで知らせる

お買い上げ時
アラーム高音

電波の状態が悪くなって途中で通話が切れそうな場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。
- 急に電波の状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 MENU 7 5 ▶ **アラーム音を選択**

アラーム音は「アラーム高音／アラーム低音」から選択します。

■ アラーム音を鳴らさない場合
▶「アラームなし」

〈メール／メッセージ鳴動〉
メールの着信音を鳴らす時間を設定する

お買い上げ時
すべて5秒

メールやチャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信音を鳴らす時間を設定します。

1 MENU 6 8 ▶ **時間を設定する項目を選択**

「メール」を選択すると、ｉモードメールやSMSの鳴動時間が設定されます。

2 **「ON」▶ 鳴動時間（01～30秒の2桁）を入力**

■ 着信音を鳴らさない場合
▶「OFF」

「メール」、「チャットメール」、「メッセージR」、「メッセージF」のいずれかを「OFF」に設定すると待受画面に「」が表示されます。

〈通知音出力切替〉
イヤホンとスピーカから着信音を鳴らす

お買い上げ時
イヤホン（イヤホンのみ）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、イヤホンとスピーカから着信音やアラーム通知音などが鳴るように設定します。
- 本機能の設定対象は、音声電話・テレビ電話・メールの着信時やアラーム通知時に鳴る音です（データBOXから再生したメロディはスピーカからは鳴りません）。

1 MENU 5 1 ▶ **項目を選択**

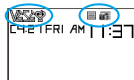
動作を「イヤホン+スピーカ／イヤホン（20秒後スピーカ）／イヤホン（イヤホンのみ）」から選択します。
「イヤホン（20秒後スピーカ）」に設定した場合、着信音やアラーム通知音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカの両方から鳴ります。ただし、ミュージックプレイヤーなどを利用しているときは、約20秒たってもスピーカから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。

おしらせ
- イヤホンマイクを接続していない場合はスピーカから音が鳴ります。また、イヤホンマイクを接続していてもカメラのシャッター音などはスピーカから音が鳴ります。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。また、通話中にイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

〈マナーモード〉
電話から鳴る音を消す

FOMA端末のスピーカから出る着信音やボタン確認音などを、ボタン1つの操作で鳴らさないように設定します。

●「マナーモードに設定すると」→P.115
● マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー」の3種類から選択することができます。

待受画面表示中または通話中▶#（1秒以上）

マナーモードが設定されて「」が表示され、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。

：「バイブレータ」で通知
、、：「着信音量」を「SILENT」に設定
～ 、～ ：「伝言メモ」「テレビ電話伝言メモ」で録音／録画するように設定（数字は録音／録画されている伝言メモの件数）

通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードに設定したことを通知するメッセージが表示されます。

■ マナーモードを解除する場合

▶待受画面表示中または通話中▶#（1秒以上）
マナーモードが解除されて「」の表示が消えます。
通話中は「ピッピッ」という音が鳴り、マナーモードを解除したことを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ

● マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。
● バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。

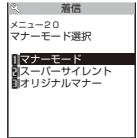
〈マナーモード選択〉

マナーモードを変更する

お買い上げ時 マナーモード

マナーモード設定中の動作を選択します。

1 2 0

「マナーモード選択画面」が表示されます。

マナーモード選択画面

2 **以下の項目から選択**

マナーモード……スピーカから出るすべての音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。ただし、受話口から鳴る確認音（音声メモやメモの再生／消去で［MEMO／CHECK］を押したときの確認音）は消去しません。

スーパーサイレント……スピーカから出るすべての音と、受話口から鳴る確認音を消去し、着信などをバイブレータ（振動）でお知らせします。

オリジナルマナー……お客様のお好みによってマナーモード設定中の動作を設定します。
「オリジナルマナーを設定する」→P.114

オリジナルマナーを設定する

● お買い上げ時の「オリジナルマナー」の動作は以下のように設定されています。

・伝言メモ：OFF
・バイブレータ：ON
・電話着信音量：SILENT
・メール着信音量：SILENT
・アラーム音量：SILENT
・ｉアプリ音量：SILENT
・メモ確認音：ON
・ボタン確認音：OFF
・通話中マイク感度：アップ
・低電圧アラーム：OFF

1 **マナーモード選択画面（P.114）▶「オリジナルマナー」▶以下の項目から選択**

伝言メモ……伝言メモを設定します。「電話に出られないときに用件を録音／録画する」→P.78

バイブレータ……バイブレータを設定します。「着信を振動で知らせる」→P.110

電話着信音量……音声電話とテレビ電話、64Kデータ通信の着信音量を設定します。
「着信音の音量を調節する」→P.73

メール着信音量……メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／Fの着信音量を設定します。
「着信音の音量を調節する」→P.73

アラーム音量……アラームの音量を設定します。「アラーム機能を利用する」→P.305

ｉアプリ音量……ｉアプリの音量を設定します。ただし、「STEP」は設定できません。
「ｉアプリ実行時の音量を調節する」→P.246

メモ確認音……「伝言メモ」や「音声メモ」などの確認音を設定します。

ボタン確認音……ボタン確認音を設定します。「ボタンを押したときに鳴る音を設定する」→P.111

通話中マイク感度……通話中のマイク感度を「標準／アップ」から選択します。

低電圧アラーム……電池切れアラームを設定します。「電池が切れたときは？」→P.47

2 **それぞれの項目を設定▶［完了］**

■マナーモードに設定すると

各マナーモードは以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
伝言メモの起動	OFF		「伝言メモ」の設定値
バイブレータ	ON		「バイブレータ」の設定値
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信音量	SILENT		「電話着信音量」の設定値
メール、チャットメール、パケット通信、メッセージR／Fの着信音量	SILENT		「メール着信音量」の設定値
アラームの音量（スヌーズ機能を含む）	SILENT		「アラーム音量」の設定値
iアプリの音量	SILENT		「iアプリ音量」の設定値
スケジュール／To Doリスト／料金通知のアラーム音量	SILENT		「電話着信音量」の設定値
音声メモや伝言メモなどの確認音、起動音、終了音	ON	OFF	「メモ確認音」の設定値
ボタン確認音	OFF		「ボタン確認音」の設定値
通話中のマイクの感度	アップ		「通話中マイク感度」の設定値
通話中保留音	SILENT		「電話着信音量」の設定値 「SILENT」以外に設定している場合は「LEVEL1」
応答保留音	SILENT		「電話着信音量」の設定値 「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」
電池切れアラーム	OFF		「低電圧アラーム」の設定値 「電話着信音量」を「SILENT」に設定していても、「低電圧アラーム」を「ON」に設定すると、電池切れアラームは「LEVEL1」
FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	SILENT		「電話着信音量」の設定値 「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」

■イヤホン接続時は

イヤホン接続時は以下のような設定になります。

項目	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー（オリジナルマナーの設定項目を示します）
ボイスクロック（待受中、スヌーズ中）、FOMA端末を折り畳んでいるときの不在着信／新着メールの確認音	「着信音量」の「電話」の設定値 「SILENT」、「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」		「電話着信音量」の設定値 「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」
ミュージックプレイヤーの音量	ミュージックプレイヤーでの音量設定値（P.297）		

おしらせ

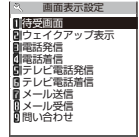
- 「オリジナルマナー」で設定した伝言メモは、「伝言メモ」で設定した呼出時間で伝言メモを開始します（「OFF」に設定している場合は13秒後に開始）。
- 通話中のマイクの感度がアップの状態になっていると、小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。また、マイクの感度は「カメラ」の動画撮影時には「標準」になります。

画面の表示を変える

お買い上げ時	待受画面：W.O.R.L.D（本体色RED）、EXTREME SPORTS（本体色GREEN）、FORMULA（本体色BROWN） ウェイクアップ表示：W.E.L.C.O.M.E 電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信・問い合わせ：D.O.T.S

撮影した静止画やダウンロードした画像などを、待受画面や発着信画面などに設定することもできます。

1

「画面表示設定画面」が表示されます。

画面表示設定画面

2 **以下の項目から選択**

待受画面……「待受画面のイメージを変える」→P.117

ウェイクアップ表示……FOMA端末の電源を入れたときに表示されるメッセージや画像を設定します。

OFF……画像などを表示しません。

メッセージ……メッセージを入力します。全角50文字、半角100文字まで入力できます。

マイピクチャ……表示される画像を、マイピクチャから選択します。

電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信……音声電話、テレビ電話、メール（iモードメール、SMS）の発信時・送信時や着信時・受信時に表示される画像を設定します。

■発信画面の設定

発信時・送信時に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

■着信画面の設定

「着信画面」を選択してから、着信時・受信時に表示される画像を、マイピクチャ、iモーション※から選択します。

・メールの受信画面ではiモーションを選択できません。

問い合わせ……「iモード問い合わせ」（iモードメール、メッセージ）や「SMS問い合わせ」のときに表示される画像を、マイピクチャから選択します。

※：iモーションを移行可能コンテンツフォルダから選択した場合、コンテンツはFOMA端末のINBOXフォルダに移動後、設定されます。

おしらせ

- 音声のみのiモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）は着信画面に設定できません。
- iモーションによっては設定できないものがあります。
- Flash画像を着信画面／メール着信画面に設定することができますが、着信音は「着信音」で設定した音が鳴ります。
- 着モーションや着信画像に設定できる動画／iモーションでも、パソコンや、ほかのFOMA端末、microSDメモリーカードからFOMA端末本体に転送／コピーしたもの（FOMA端末本体から一度外に出したものを含む）は設定できなくなります。
- 着信音と着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信音に設定されたiモーションが再生されます。
- 着信音に映像と音声が含まれるiモーション以外を設定し、着信画面に映像と音声が含まれるiモーションを設定した場合は、着信画面に設定されたiモーションが再生されます。

<着信画像の優先順位>

- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

①発着信識別機能の着信画面設定　②グループ識別機能の着信画面設定

③電話帳登録の静止画　④着信音選択のiモーション

⑤画面表示設定／スタイルモード

※ 上記①発着信識別機能、②グループ識別機能での優先順位は以下のとおりです。

①音声／テレビ電話着信音のiモーション　②着信画面設定のiモーション、静止画・画像

<待受画面の優先順位>

- 待受画面の設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。

①オート表示　②待受iアプリ　③画面表示設定／スタイルモード

待受画面のイメージを変える

● お買い上げ時に登録されている「待受画面」については、P.365をご覧ください。

1 画面表示設定画面（P.116）▶「待受画面」▶以下の項目から選択

OFF※1……画像などを表示しません。

カレンダー……カレンダーを設定します。

背景画像あり……カレンダーの背景に表示される画像を、マイピクチャから選択します。

背景画像なし※1……カレンダーのみを表示します。

マイピクチャ……待受画面に表示される画像を選択します。

iモーション※1※2……待受画面に表示されるｉモーションを選択します。

iアプリ待受画面※1……ｉアプリ待受画面を設定します。ｉアプリ待受画面が設定されているときは、「★」が表示されます。「ｉアプリ待受画面を設定する」→P.250

※1：操作2は不要です。
※2：ｉモーションを移行可能コンテンツフォルダから選択した場合、コンテンツはFOMA端末のINBOXフォルダに移動後、設定されます。

2 画像の表示方法を以下の項目から選択

センタリング表示……画面中央に表示します。

画面サイズで表示……縦横どちらかが画面サイズになるまで拡大／縮小して表示します。

全画面表示……画面サイズいっぱいに拡大／縮小または切り出して表示します。

3 画像を確認▶[●]［確定］

おしらせ

- 動画やｉモーションを待受画面に設定した場合、FOMA端末を開くと動画やｉモーションが再生されます。[☎]、[CLR]、[☎]、[▣]、[α]、[✉]、[●]、[▯]のいずれかのボタンを押すと再生は終了します。再生が終了すると動画やｉモーションの1コマ目が待受画面に表示されます。
- Flash画像やアニメーションGIF形式の画像を待受画面に設定した場合、以下の操作を行うと再生されます（メロディは再生されません）。
  ・FOMA端末を開く　・待受画面表示中に[CLR]を押す　・ほかの画面から待受画面に戻る
- Flash画像の再生が終了すると最後の1コマが待受画面に表示されます。Flash画像再生中に[CLR]または[☎]を押すと再生が終了し、その時点での画像が待受画面に表示されます。
- アニメーションGIF形式の画像の再生が終了すると最初の1コマが待受画面に表示されます。アニメーション再生中に[CLR]または[☎]を押すと再生が終了し、最初の1コマが待受画面に表示されます。
- 「待受時計表示」で「さらに大きく表示」を設定しているときに、カレンダーを設定した場合、「大きく表示」に変更されます。
- 待受画面などに設定している画像、動画やｉモーションを削除すると、その設定は解除されてお買い上げ時の状態に戻ります。

● 待受画面にカレンダーを設定すると

待受画面にカレンダーが表示されます。簡単な操作で前後のカレンダーを確認したり、スケジュールを起動できます。

■前後の月のカレンダーを確認する場合

待受画面表示中に[●]を押すと、デスクトップアイコンやカレンダーが選択できるようになります。[▯]でカレンダーを反転させて[●]［選択］を押すと、デスクトップアイコンの表示が消え、[▯]で前の月や次の月のカレンダーが確認できます。

■スケジュール機能を起動する場合

[▯]または[▯]で前の月、次の月のカレンダーが表示される状態で[●]［選択］を押すと、スケジュール機能が起動して表示している月のスケジュールを登録できます。

〈電話帳画像着信設定〉

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

お買い上げ時 ON

静止画を登録している電話帳の相手から音声電話やテレビ電話がかかってきた場合、着信時に静止画を表示します。

MENU ▶「SETTINGS」▶「着信」▶「電話帳画像着信設定」▶「ON」

■ 表示しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- 着信画像の設定が重なった場合の優先順位については、P.116をご覧ください。
- 着信画面と着信音の組み合わせまたは優先順位により、着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、画像は表示されません。

〈プライバシーアングル〉

周りから画面が見えないようにする

お買い上げ時 OFF

周りからディスプレイの表示内容を見えにくくします。

待受画面表示中▶8（1秒以上）

プライバシーアングルが設定されて「」が表示されます。

■ 解除する場合
▶8（1秒以上）
プライバシーアングルが解除されて「」が消えます。

〈照明設定〉

ディスプレイとボタンの照明を設定する

お買い上げ時	通常時：ON（点灯）＋省電（待ち時間3分）　充電時：標準　範囲：液晶＋ボタン　明るさ：自動

MENU 7 0 ▶以下の項目から選択

通常時……▶**バックライトの動作「ON」または「OFF」▶省電力モード「ON」または「OFF」**
省電力モードを「ON」に設定する場合、省電力モードに移るまでの待ち時間（01～20分の2桁）も入力します。
・バックライトの動作のON／OFFは5（1秒以上）でも切り替えられます。
・バックライトの動作を「OFF」に設定すると待受画面に「」が表示されます。
・省電力モードを「ON」に設定すると、設定した待ち時間経過後、待受画面の表示が消えます（省電力モード）。

充電時……▶**「標準」または「常時点灯」**
「標準」の場合は、通常時のONの設定で点灯します（省電力モードにはなりません）。
「常時点灯」の場合は、ディスプレイのバックライトを点灯し続けます（約15秒間操作がないとレベル1の明るさになります）。

範囲……バックライトの点灯範囲を選択します。
▶**「液晶＋ボタン」または「液晶」**

明るさ……「レベル3／レベル2／レベル1／自動」から選択します。
自動に設定すると、背面にある照度センサーが周囲の明るさを検知し、自動で明るさを調整します。

おしらせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときにバックライトを約15秒間点灯します。カメラ起動中、動画／ｉモーション再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると、バックライトは点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定にかかわらず、常時点灯します。
- メールやメッセージR／Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 省電力モード中にボタン操作などを行うと省電力モードは解除されます。
- 省電力モードを「ON」に設定していると、音声通話開始後しばらくして（「待ち時間」の設定に関わらず）、ディスプレイの表示が消えます。
- 照度センサーを指などでおおったり、光源の種類などによっては明るさを正しく検知できない場合があります。

〈画面デザイン〉
ディスプレイのデザインを変更する

お買い上げ時	配色パターン：BLACK（本体色：RED）、GREEN（本体色：GREEN）、GRAY（本体色：BROWN） 背景パターン1：OFF 背景パターン2：背景色1 電池アイコン・アンテナアイコン：GRAY

文字や背景、ディスプレイ上下部やソフトキーの背景などを変更します。

MENU 8 6 ▶以下の項目から選択

配色パターン……配色パターンを「BLACK／GRAY／GREEN／LIGHT GRAY／BROWN」から選択します。※

背景パターン1……ディスプレイ上部のアイコン表示エリア、下部のソフトキー表示エリアの背景パターンを「OFF（表示しない）／CHECK／BAR-CODE／DIAMOND 1／DIAMOND 2／STEEL／BRASS／METALIC MESH 1／METALIC MESH 2」から選択します。※

背景パターン2……ソフトキーの背景パターンを「背景色1／背景色2／背景色3」から選択します。※

電池アイコン・アンテナアイコン……それぞれのアイコンデザインを「GRAY／GREEN／BROWN」から選択します。

※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのパターンがディスプレイに表示されます。

おしらせ

- アイコンや画像は本機能を変更しても色は変わりません。またｉモードのサイト画面など、本機能の設定を変更しても配色の変わらない画面や機能があります。

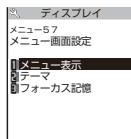
メニュー表示を変更する

メニュー表示のしかたを設定する<メニュー画面設定>

お買い上げ時	メニュー表示：一覧表示　テーマ：D.O.T.S　フォーカス記憶：ON

「各種設定」のメニュー小項目（機能）の表示方法や、メインメニューのデザインを変更します。また、メインメニューやシンプルメニューのラストワン機能を設定します。

MENU 5 7

「メニュー画面設定画面」が表示されます。

メニュー画面設定画面

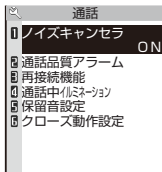
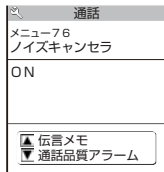
2 以下の項目から選択

メニュー表示……小項目の表示のしかたを「一覧表示／詳細表示」から選択します。

テーマ……大項目の選択画面の背景やアイコンを「D.O.T.S／DECODING／METER／STANDARD／オリジナルテーマ」から選択します。オリジナルテーマについては「メインメニューの画面を変更する」（P.120）を参照してください。

フォーカス記憶……メインメニューやシンプルメニューを再表示した際、前回選択した項目を反転表示するかどうかを設定します（ラストワン機能）。

次ページにつづく

■ メニュー表示について

「一覧表示」の場合

「詳細表示」の場合

■ テーマについて

「D.O.T.S」の場合

「DECODING」の場合※

「METER」の場合

「STANDARD」の場合

※： 表示タイミングによりイメージが変わります。

メインメニューの画面を変更する

大項目の選択画面（メインメニュー）の各アイコンと背景のイメージを変更します。

1 メニュー画面設定画面（P.119）▶「テーマ」▶「オリジナルテーマ」

「オリジナルテーマ画面」が表示されます。

オリジナルテーマ画面

機能メニュー➡P.121

2 以下の項目から選択

メール・iモード・iアプリ・各種設定・データBOX・LifeKit・サービス・電話帳・ユーザデータ……メインメニューの各アイコンをマイピクチャから選択します。

背景イメージ……メインメニューの背景イメージをマイピクチャから選択します。

■ 項目の内容を確認する場合
▶✉［デモ］

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能の対象となる画像がメニューアイコンおよび背景イメージに1つでも設定されていると、ほかのFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを抜いた場合にオリジナルテーマはお買い上げ時の表示になります。
- 以下の画像は設定できません。
  - ・横または縦が690ドットより大きな画像
  - ・横352×縦288、横288×縦352ドットより大きなプログレッシブJPEG画像
  - ・ファイル容量が100Kバイトを超える画像

  画像表示エリアより大きい場合は、縦横が同じ比率で縮小表示され、小さい場合は中央に表示されます。
- メニューアイコンに設定したアニメーションGIF形式の画像は、あらかじめ設定されている繰り返し回数の情報にかかわらず、アニメーション動作回数は1回となります。また、背景イメージにアニメーションGIF形式の画像を設定してもアニメーションは動作しません。

機能 オリジナルテーマ画面

● オリジナルテーマの設定を変更した場合のみ表示されます。

オリジナルテーマ画面（P.120）▶α［機能］▶以下の項目から選択

1件リセット……変更した大項目のアイコンまたは背景イメージをお買い上げ時の設定に戻します。

全リセット……メインメニューのアイコンと背景イメージをすべてお買い上げ時の設定に戻します。

オリジナルメニューを作成する<オリジナルメニュー>

お買い上げ時	マイプロフィール、iモード問い合わせ、着信音量、バイブレータ、アラーム、端末暗証番号変更

よく使う機能を「オリジナルメニュー」として登録しておくと、簡単に機能を呼び出すことができます。
→P.36

● オリジナルメニューは最大10件まで登録できます。
● オリジナルメニューに登録できる機能は、「メール」、「iモード」、「iアプリ」の大項目と「データBOX」、「LifeKit」、「電話帳」、「ユーザデータ」、「各種設定」、「サービス」の各中項目および小項目です。
● 同じ機能を登録することはできません。

MENU▶MENU

「オリジナルメニュー画面」が表示されます。

■ **MENUを押したときにシンプルメニューが表示された場合**
　✉［アイコン］を押してメインメニューを表示してから、MENUを押します。

オリジナルメニュー画面

機能メニュー➡P.121

2 「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶✥で機能を選択

■ **すでに登録されている機能を変更する場合**
　▶機能が登録されている項目を反転

機能 オリジナルメニュー画面

オリジナルメニュー画面（P.121）▶α［機能］▶以下の項目から選択

メニュー登録……オリジナルメニューを登録します。

並び替え……オリジナルメニューを並び替えます。
▶✥で並び替える位置まで移動▶●［確定］

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

オリジナルメニュー初期化……お買い上げ時の設定に戻します。

解除……機能をオリジナルメニューから解除します。

全解除……登録されているすべての機能をオリジナルメニューから解除します。

〈マイシグナル設定〉
マイシグナルの表示のしかたを設定する

お買い上げ時	設定：ON　クローズ表示：LINEAR　通話中表示：AROUND　時計表示：パターン1

マイシグナルの時計や通話中などの表示のしかたを設定します。
- アニメーションデータは、「みんなNらんど」からダウンロードできます。→P.177
- 「マイシグナルの見かた」→P.32

1 MENU 9 3 ▶「ON」

■ マイシグナルに何も表示しない場合
▶「OFF」

2 以下の項目から選択

クローズ表示……FOMA端末を閉じたときに表示するアニメーションを選択します。

通話中表示……通話中に表示するアニメーションを選択します。

時計表示……表示する時計のパターンを「パターン1～4」から選択します。

選択中のアニメーション、時計パターンはマイシグナルに表示されます（FOMA端末を開いていてもマイシグナルの表示向きは変わりません）。

3 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

■マイシグナル設定について
- 「マイシグナル設定」が「ON」に設定されているとき、着信イルミネーションの以下の機能は無効となります。
  ・「着信イルミネーション」（P.122）ただし、「不在お知らせ」は動作します。
  ・「通話中イルミネーション」（P.123）
  ・「発着信識別機能／グループ識別機能」の「イルミネーション設定」（P.100）
  ・「確認機能設定」の「着信イルミネーション」（P.77）
- 「マイシグナル設定」を「OFF」に設定すると、アラーム通知やミュージックプレイヤー再生中の状態なども表示されません。また、着信イルミネーションが「着信イルミネーション」、「通話中イルミネーション」の設定で動作します。

〈着信イルミネーション〉
着信時の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時	電話：色5　テレビ電話：色5　メール：色1　チャットメール：色3 メッセージR／F：色1　パターン設定：固定パターン　不在お知らせ：ON

音声電話やテレビ電話がかかってきたときや、メール（SMS）、チャットメール、メッセージR／Fを受信したときの着信イルミネーションの点滅色や点滅のしかた（点滅パターン）を設定します。
- 指定した電話番号やメールアドレス、グループからの着信それぞれに点滅色を設定することもできます。→P.100
- 「マイシグナル設定」（P.122）を「ON」に設定すると、着信イルミネーションは「不在お知らせ」のみ動作します。

1 MENU 8 9 ▶以下の項目から選択

着信イルミネーション選択……「電話（音声電話）／テレビ電話／メール／チャットメール／メッセージR／メッセージF」の着信イルミネーションの点滅色を選択します。
項目選択のとき、反転表示を移動すると、その色で着信イルミネーションが点灯します。
色1～色12　　：それぞれの色で点滅します。
グラデーション：色1～色12が順番に点滅します。

パターン設定※……着信イルミネーションの点滅パターンを「固定パターン／メロディ連動」から選択します。

不在お知らせ……ディスプレイに不在着信または新着メール（iモードメール、チャットメール、SMS）のアイコンが表示されているときに、着信イルミネーションを点滅させ続けるか点滅させないかを設定します（省電力モード時は点滅の間隔が長くなります）。

※：✉とαも着信イルミネーションと同じパターンで点滅します。

■不在お知らせ時の点滅について

● 不在着信、新着メール、新着チャットメールなどがあると、「着信イルミネーション」のそれぞれの設定色に従って点滅し続けます。ただし、テレビ電話の不在着信は「電話」の設定色に従います。
● 不在着信、新着メール、新着チャットメールのうち、1つある場合は「ピカッ」と光り、2つある場合は「ピカピカッ」と光り、3つある場合は「ピカピカピカッ」と光ります。

＜点滅色・点滅条件について＞

・「着信イルミネーション」の「不在のお知らせ」を「OFF」に設定すると、点滅しません。
・「着信イルミネーション」でグラデーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定色で点滅します。
・公共モード（ドライブモード）中は点滅しません。

＜消灯するときは＞

・ディスプレイに表示されている「不在着信あり」「新着メールあり」「新着チャットメールあり」のアイコンを選択して内容を確認するか、CLR（1秒以上）を押します。

おしらせ

● 着信音に「着信音1～4」を設定している場合は、本機能の設定にかかわらず着信音に合わせて点滅します。
●「メロディ連動」に設定していても、着信音にメロディ連動対応の点滅パターンが登録されていない場合、着モーションや着うたフル®の場合は「固定パターン」で点滅します。
● 複数のメールやメッセージR／Fを同時に受信した場合の着信イルミネーションの動作は以下のとおりです。

受信内容	着信イルミネーションの動作
メールを複数受信	最後に受信したメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。
メッセージR／Fを同時に受信	メッセージRに設定されている着信イルミネーションで動作します。
メールとメッセージR／Fを同時に受信	最後に受信したメールに設定されている着信イルミネーションで動作します。

＜着信イルミネーションの優先順位＞

● 着信イルミネーションの設定が重なった場合の優先順位は以下のとおりです。
①発着信識別機能のイルミネーション設定
②グループ識別機能のイルミネーション設定
③着信イルミネーションの設定

〈通話中イルミネーション〉

通話中の着信イルミネーションの点滅のしかたを設定する

お買い上げ時 OFF

音声通話中やテレビ電話中のイルミネーションの点滅のしかたを設定します。

●「マイシグナル設定」（P.122）を「ON」に設定すると、本機能は動作しません。

MENU ▶「SETTINGS」▶「通話」▶「通話中イルミネーション」▶以下の項目から選択

OFF……点滅しません。

色1～色7……それぞれの色で点滅します。

グラデーション1……点滅しながら色が変化します。

グラデーション2……点灯したまま色が変化します。

グラデーション3……すばやく色が変化する点滅パターンを繰り返します。

おしらせ

●「伝言メモ」の録音／録画中、応答メッセージの再生中、応答保留中なども通話中と同じパターンで着信イルミネーションが点滅します。

〈通話中時間表示〉

通話中の通話時間表示を設定する

お買い上げ時 ON

音声通話中やテレビ電話中に通話時間を表示するかしないかを設定します。

- 通話時間が「19時間59分59秒」を超えた場合は、「0秒」から再カウントされます。
- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、正確なものではありません。
- ｉモード中およびパケット通信中の通信時間はカウントされません。

m 4 8 ▶「ON」

■ 表示しない場合

▶「OFF」

おしらせ

- 表示される通話時間は音声電話やテレビ電話の通話中に切り替えの操作をするたびに0秒にリセットされます。ただし、切り替え操作を行った後、テレビ電話で通話を終了した場合は、表示される通話時間は音声電話とテレビ電話の合計となります。

〈フォント設定〉

文字のフォントを変える

お買い上げ時	文字パターン：フォント1　太さ：太字　文字サイズ：ふつう

ディスプレイに表示される文字をお好みのフォント（書体）に切り替えます。

m 6 6 ▶**以下の項目から選択**

文字パターン……文字パターンを「フォント1／フォント2」から選択します。選択したフォントの文字例が画面の下部に表示されます。

太さ……太さを「細字／太字」から選択します。選択した太さの文字例が画面の下部に表示されます。

文字サイズ……以下の画面の文字サイズを設定します。
文字入力（編集）画面、メール詳細画面、メッセージR／Fの詳細画面、サイトのページ、画面メモ、電話帳一覧画面、電話帳詳細画面、マイプロフィール画面

ふつう・大きい……各種画面の文字サイズを「ふつうサイズ」または「大きいサイズ」に設定します。

個別設定……文字入力、メール、ｉモード、電話帳（マイプロフィール）の各画面の文字サイズを個別に設定します。
▶**設定する画面を選択**▶**文字サイズを選択**▶l［完了］
選択したサイズの文字例が画面の下部に表示されます。

おしらせ

- 電話番号入力画面などの文字は、本機能の設定対象外です。
- 「フォント2」に切り替わるのは、英字（全角、半角）、数字（全角、半角）、ひらがな、カタカナ（全角、半角）と一部の記号、ギリシャ文字、ロシア文字だけです。漢字などほかの文字はすべて「フォント1」で表示されます。

〈待受時計表示〉
待受画面の時計表示を設定する

お買い上げ時	表示形式：12時間形式　表示サイズ：大きく表示 文字色：ホワイト（本体色：RED／BROWN）、ブラック（本体色：GREEN）

待受画面の時計表示について、形式（12時間形式／24時間形式）やサイズ、文字色を設定します。また、日付、時刻を表示しないように設定することもできます。
● 待受画面以外の画面では、本設定にかかわらず時刻のみを画面下に小さく表示します。

MENU 3 9 ▶以下の項目から選択

表示形式……「12時間形式／24時間形式」から選択します。

表示サイズ

- **さらに大きく表示**……日付、時刻を画面いっぱいに表示します。
- **大きく表示**……日付を小さく表示して時刻を大きく表示します。
- **小さく表示**……日付、時刻を小さく表示します。
- **下に小さく表示**……時刻のみを画面下に小さく表示します。
- **OFF**……日付、時刻を表示しません。

文字色……「ブラック／ホワイト」から選択します。

おしらせ

- ●「表示形式」で「12時間形式」を選択しても、画面下の時刻表示に「AM／PM」は表示されません。
- ●待受画面にカレンダーを設定しているときに「さらに大きく表示」を選択すると、カレンダーが表示されなくなります。
- ●「表示サイズ」を「下に小さく表示」を選んだ場合、ｉチャネルのテロップ表示設定を「表示する」または「受信時のみ表示する」に設定していると、テロップ表示中は時計表示が見えなくなります。

〈バイリンガル〉
画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時 Japanese

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージなどを日本語表示／英語表示に切り替えます。

MENU 1 5

■ 日本語表示から英語表示に切り替える場合
▶「English」

日本語表示のとき

■ 英語表示から日本語表示に切り替える場合
▶「日本語」

英語表示のとき

おしらせ

- ●FOMAカードを挿入している場合、バイリンガルの設定はFOMAカードに記憶されます。
- ●「バイリンガル」の設定が「English」のときは、「確認機能設定」の選択肢が「ON／OFF」の2項目になります。

デスクトップアイコンを利用する

よくかける電話番号やよく使う機能をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けると、簡単な操作で電話番号を表示したり機能を呼び出したりできます。

● デスクトップに貼り付けられるアイコンは以下のとおりです。

分類	表示されるアイコン（種類）	アイコンのタイトル※1
データを呼び出す	（電話番号）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）
	（メールアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合はメールアドレス）※2
	（SMSアドレス）	電話帳に登録されている名前（ない場合は電話番号）※2
	（URL）	ページのタイトル（ない場合は「http://」または「https://」を除いたURLの表示）
	（メロディ）※3	メロディのタイトル（ない場合は「メロディ」）
	（画像）※3	画像のタイトル（ない場合は「イメージ」）
	（動画またはｉモーション）※3	動画またはｉモーションのタイトル（ない場合は「ｉモーション」）
	（キャラ電）	キャラ電のタイトル（ない場合は「キャラ電」）
	（ｉアプリのソフト）	ソフト名
機能を呼び出す※4	（フォトモード）（ムービーモード） （ボイスモード）（To Doリスト） （スケジュール）（テキストメモ） （バーコードリーダー）（ｉチャネル） （赤外線受信）（辞典） （オリジナルメニュー）	それぞれの機能名（左記「種類」と同じ）
フォルダを呼び出す	（受信BOXのフォルダ）	フォルダのタイトル（ない場合は「フォルダ」）

※1：デスクトップアイコンを選んだときに表示されるタイトルは、いずれの場合も先頭から全角11文字、半角22文字までです。
※2：メール詳細画面から貼り付けた場合、名前は表示されません。
※3：お買い上げ時に登録されているメロディや画像、または自作アニメをデスクトップに貼り付けることはできません。
※4：同じ機能のデスクトップアイコンを複数貼り付けることはできません。

デスクトップアイコンを貼り付ける

貼り付けたい機能の画面、データの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択します。

● デスクトップアイコンは15件まで貼り付けることができます。

＜例：電話帳の電話番号を貼り付ける場合＞

電話帳詳細画面の機能メニューの「デスクトップ貼付」→ P.98

デスクトップアイコンからデータや機能を呼び出す

1 待受画面表示中▶[●]

「デスクトップアイコン画面」が表示され、デスクトップアイコンが選択できる状態になります。
反転表示されたデスクトップアイコンには吹き出しタイトルが表示されます。

2 [◎]でデスクトップアイコンを選択

■ デスクトップアイコンが6件以上登録されている場合
画面の左右に「◁▷」が表示されます。[◎]でデスクトップアイコンをスクロールできます。

デスクトップアイコン画面

機能メニュー➡P.127

デスクトップアイコンの情報を確認する

1
「デスクトップ画面」が表示されます。

2 **タイトルを選択**

デスクトップ画面

機能メニュー➡P.127

機能 デスクトップアイコン画面／デスクトップ画面

1 **デスクトップアイコン画面（P.126）／デスクトップ画面（P.127）▶α［機能］▶以下の項目から選択**

デスクトップ表示設定※……デスクトップアイコンの表示方法を「常に表示／使用時のみ表示」から選択します。「使用時のみ表示」を選択すると、待受画面で◉を押したときのみ表示されます。

タイトル編集……タイトルは全角16文字、半角32文字まで入力できます。

並び替え……デスクトップアイコンの位置を変更します。
▶「YES」▶◎または◎で並び替える位置まで移動▶◉［配置］

アイコン情報※……アイコンのタイトル、種別、内容などを表示します。

デスクトップ初期化……お買い上げ時の状態（「フォトモード」のみ）に戻します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

※：デスクトップアイコン画面でのみ利用できる機能です。

情報を通知するデスクトップアイコン

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
メール	新着メールの着信があったことを通知します。アイコンを選ぶと、メールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンを表示し、「新着メールあり」を表示します。	最新の受信メール詳細画面を表示します。
チャット	新着チャットメールがあったことを通知します。アイコンを選ぶと、チャットメールの内容に合わせた感情お知らせメールのアイコンを表示し、「チャットメールあり」を表示します。	チャット画面を表示します。
不在	不在着信があったことを通知します。アイコンを選ぶと、不在着信の件数を表示します。	「不在着信履歴」を表示します。
伝言	音声電話の伝言メモがあることを通知します。	「メモの再生／消去」を起動します。
伝言	テレビ電話伝言メモがあることを通知します。	「動画メモの再生／消去」を起動します。
留守	留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることを通知します。	「留守番電話」を起動します。
アラーム	アラーム、スケジュール、To Doリストのアラーム通知ができなかったことを通知します。	通知できなかった最新のアラームの情報を表示します。
ソフト	iアプリのソフトが自動起動できなかったことを通知します。	自動起動情報画面を表示します。
アプリ	iアプリ待受画面が異常終了したことを通知します。	セキュリティエラー履歴を表示します。
更新	ソフトウェア更新が終了したことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、更新結果表示画面を表示します。
上限	積算料金が設定した通知金額を超えたことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、「通話料金通知」のアラーム情報を表示します。

アイコン	通知内容	操作後の表示／起動内容
	スキャン機能のパターンデータ自動更新が終了したことを通知します。または、スキャン機能の新規パターンデータがリリースされたことを通知します。	スキャン機能のパターンデータ自動更新結果を表示します。更新が正常に行えなかった場合や新規パターンデータがリリースされた場合は、スキャン機能のパターンデータ更新実行を推奨する画面を表示します。
	電話帳お預かりサービスの更新ができなかったことを通知します。	端末暗証番号を入力した後、電話帳お預かりセンターへの接続を選択する画面を表示します。

おしらせ

- 情報を通知するデスクトップアイコンは、各機能を呼び出したり実行すると消えます。
- 情報を通知するデスクトップアイコンの表示を消したい場合はCLRを1秒以上押します（「」／「」／「」のアイコンは消えません）。
- 「呼出時間表示設定」の「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定しているとき、「無音時間設定」で設定した時間より呼出時間が短い着信を受けた場合は、「」のアイコンは表示されません。ただし、電話帳に登録されている電話番号からの着信は通知します。
- 保存先の受信BOXがセキュリティ設定中のときに受信した新着メール、新着チャットメールは、デスクトップアイコンを選択しても感情お知らせメールのアイコンが表示されません。

〈表示アイコン設定〉

待受画面の表示アイコンを選択できるようにする

お買い上げ時 ON

待受画面上のアイコンや日付表示、時刻表示を で選択できるようにします。

1

■ 選択できないようにする場合
▶「OFF」

マルチファンクションボタン（ ）で表示アイコンを選択する

1 待受画面表示中▶ ▶ でアイコンを反転

日付表示、時計表示を反転することもできます。
反転したアイコンのタイトルが表示されます。

2 ［選択］

選択したアイコンの設定画面などが表示されます。

■選択できるアイコン／表示と、選択後の表示内容

選択できるアイコン／表示	選択後の表示内容
	「画面デザイン」を表示
	「ロック機能選択画面」を表示
	「受信BOX」を表示
(赤色) (赤色)	未読メールの一覧を表示
(赤色) (赤色)	「メッセージR」「メッセージF」を表示
(R、F：赤色) (R：赤色) (F：赤色)	「メッセージR」「メッセージF」を選択する画面を表示
(赤色) (赤色) (赤色)	「iモード問い合わせ」を実行
	「画面デザイン」を表示
self	「セルフモード」を解除する画面を表示
	「バイブレータ」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	・通常のとき（マナーモードでないとき） 「着信音量」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示 ・マナーモード、スーパーサイレントのとき 設定できないことを通知するメッセージを表示 ・オリジナルマナーのとき 「オリジナルマナー」と「メール／メッセージ鳴動」の選択画面を表示
	「マナーモード選択」を表示
	「遠隔監視設定」を表示
	「アラーム設定」を表示
～	「留守番電話」を表示 留守番電話の伝言メッセージが11件以上の場合でも「留守番電話 10件」と表示
、～	録音されていないことを通知するメッセージを表示。または「メモの再生／消去」を表示
、	録画されていないことを通知するメッセージを表示。または「動画メモの再生／消去」を表示
	「照明設定」を表示
	「キー操作ロック」を設定する画面を表示
	「外部ボタン操作」を表示
	「プライバシーアングル」を設定する画面を表示
日付	「スケジュール」を表示 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示
時計	「アラーム」を表示 時計設定をしていないときは「時計設定」を表示
	中断しているサイト画面やiアプリ画面、BGM再生中のミュージックプレイヤー再生画面を表示
	「USBモード設定」を表示

〈スタイルモード〉

スタイルモードを設定する

画面や着信音など、FOMA端末のさまざまなデザインを一括設定します。

● 一括設定できる対象項目は以下のとおりです。
- ・「画面表示設定」
- ・「着信音選択」
- ・「時刻アラーム音設定」
- ・「メニュー画面設定」の「テーマ」
- ・「待受時計表示」
- ・「マイシグナル設定」（P.122）の「時計表示」
- ・「画面デザイン」
- ・ｉチャネルの「テロップカラー設定」
- ・ミュージックプレイヤーの「プレイヤー画面変更」

● お買い上げ時には、本体色（RED／GREEN／BROWN）に合わせたデザインがあらかじめ一括設定されています。

スタイルモードを一括設定する

スタイルモード一覧画面に表示された項目を選んで一括設定します。

● 一括設定する前に、現在の設定内容を「お気に入り」に保存しておくと、後でその設定に戻すことができます。お買い上げ時、「お気に入り」は未登録です。→P.131

MENU▶「SETTINGS」▶「スタイルモード」

「スタイルモード一覧画面」が表示されます。

スタイルモード一覧画面

機能メニュー➡P.130

2 項目を選択▶「YES」

■ 設定内容の詳細を確認する場合

▶項目を反転▶✉［詳細］▶項目を反転

一部の項目は、反転表示を移動すると、ディスプレイやマイシグナルに自動的にデモ表示されます。自動的にデモ表示されない項目では、反転表示移動後に✉［デモ］を押して確認します。

おしらせ

- ●スタイルモードの設定と、ほかの機能の設定が重なった場合の優先順位については、以下のページをご覧ください。
  - ・着信音の優先順位→P.110
  - ・着信画像／待受画面の優先順位→P.116
- ●スタイルモードを設定した後に、一括設定された対象項目の設定を個別に行った場合は、個別の設定が優先されます。

機能 スタイルモード一覧画面

スタイルモード一覧画面（P.130）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……タイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

設定情報リセット……現在、「お気に入り」に保存されている内容を消去し、すべて「設定なし」にします。

現在の設定をお気に入りに保存する

コンテンツ設定確認画面

機能メニュー ➡P.131

1 スタイルモード一覧画面（P.130）▶「お気に入り」を反転▶✉［詳細］

お気に入りの「コンテンツ設定確認画面」が表示されます。
お買い上げ時には「設定なし」と表示されますが、すでに「お気に入り」に保存してある場合は、現在の保存内容が一覧で表示されます。

■ 設定内容の詳細を確認する場合
▶項目を反転▶✉［デモ］

■ 項目の保存内容を個別に変更する場合
▶項目を選択▶設定を変更

2 α［機能］▶「現在の設定情報取得」▶「YES」

おしらせ

- サイトからダウンロードしたり、メールに添付されていた画像やｉモーション、メロディなどは、「お気に入り」に保存したり、一括設定できない場合があります。
- 「待受画面」に「ｉアプリ待受画面」を設定している場合は、「お気に入り」の「待受画像」に保存されません。
- 「お気に入り」に保存された画像やｉモーション、メロディなどが削除された場合、「お気に入り」の保存内容から消去され「設定なし」と表示されます。
- お買い上げ時に登録されているスタイルモードは、個別に設定を変更することはできません。

機能 コンテンツ設定確認画面

1 コンテンツ設定確認画面（P.131）▶α［機能］▶以下の項目から選択

設定を反映……現在の表示内容で一括設定します。

現在の設定情報取得……現在の設定情報を取得し、「お気に入り」に保存します。

設定情報リセット……現在、「お気に入り」に保存されている内容を消去し、すべて「設定なし」にします。

●あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

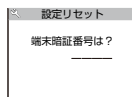
各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.135

端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、[確定]を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されます。

■ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

■iモードパスワード

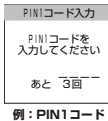
マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)。
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
iモードから変更される場合は、Menu▶料金＆お申込・設定▶オプション設定▶iモードパスワード変更から変更ができます。

■PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」(数字のゼロ4つ)に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P.135
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号(コード)です。PIN1コード入力設定を「ON」にした場合、PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。
※新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コードまたはPIN2コードの入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、[●]［確定］を押します。

● 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
● 3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります（入力可能な残りの回数が画面に表示されます）。正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると入力可能な回数が3回に戻ります。

PIN1コード入力
PIN1コードを入力してください
あと 3回

例：PIN1コード

■PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

● PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

〈端末暗証番号変更〉

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000（数字のゼロ4つ）

1 [MENU][2][9]▶現在の端末暗証番号を入力▶新しい4～8桁の端末暗証番号を入力▶「YES」

〈PIN設定〉

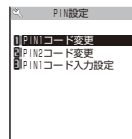
PINコードを設定する

ご契約時	PIN1コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN2コード：0000（数字のゼロ4つ） PIN1コード入力設定：OFF

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを設定します。PIN1コード・PIN2コードについて→P.134

● PIN1コード、PIN2コード、およびPIN1コード入力設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1コード、PIN2コードをそのままご利用になれます。
● PIN1コードを変更する場合は、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておいてください。

1 [MENU]▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「PIN設定」▶端末暗証番号を入力

「PIN設定画面」が表示されます。

PIN設定画面

2 以下の項目から選択

PIN1コード変更……▶現在設定されている4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

PIN2コード変更……▶現在設定されている4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを入力▶新しい4～8桁のPIN2コードを再度入力

PIN1コード入力設定……電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうか（ON／OFF）を設定します。

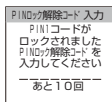
PINロックを解除する

PIN1コード、PIN2コードの入力を続けて3回誤った場合は、PIN1コード、PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード、PIN2コードを設定する必要があります。

＜例：PIN1コードのロックを解除する場合＞

1

8桁のPINロック解除コードを入力

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN1コードが
ロックされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください
あと10回

2

4～8桁の新しいPIN1コードを入力▶新しい4～8桁のPIN1コードを再度入力

各種ロック機能について

目的	機能名
ほかの人にFOMA端末を使われるのを防ぐ	ダイヤルロック／おまかせロック
ほかの人に知られたくない「電話帳」や「スケジュール」のデータを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットモード／シークレット専用モード
ほかの人に見られたくない画像やメールなどを表示できないようにし、見られることを防ぐ	シークレットフォルダ
ほかの人に個人情報を見られたり、書き換えられたりするのを防ぐ	オリジナルロック
電話やメールの操作をできないようにする	
ほかの人に発着信の履歴を見られるのを防ぐ	
ボタン操作を自動的にロックする	キー操作ロック
外部ボタンの誤操作を防ぐ	外部ボタン操作
メールを無断で見られることを防ぐ	メールセキュリティ
音声電話やテレビ電話の着信を気にしないでFOMA端末を操作する	セルフモード

〈ダイヤルロック／おまかせロック〉
ほかの人が使用できないようにする

ほかの人が使用できないようにロックを設定する方法は、FOMA端末を操作して行う「ダイヤルロック」と遠隔操作で行う「おまかせロック」があります。
- ダイヤルロック、おまかせロックは電源を切っても解除されません。

● ダイヤルロック／おまかせロック設定中に利用できる操作や機能

機能	ダイヤルロック	おまかせロック
電源を入れる／切る	○	○
緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける	○	×
ダイヤルロックを設定／解除する	○	×
おまかせロックを設定／解除する	○	○
音声電話、テレビ電話の着信を受ける※	○	○
遠隔監視の着信を受ける	○	○
電話帳お預かりサービスの更新を受ける	○	×
上記以外の機能を利用する	×	×

○： 利用できます。×：利用できません。
※： 音声電話、テレビ電話を発信することはできません。着もじが付いた着信を受けると着信中画面に着もじを表示します。
公共モード（ドライブモード）設定中は着信を受けることができません。

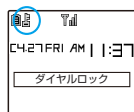
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」で設定した時刻になってもアラームは通知されません。ダイヤルロック／おまかせロックを解除後、「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロックを設定すると、デスクトップに貼り付けられているアイコンは表示されなくなります。ダイヤルロック／おまかせロック解除後、アイコンが再び表示されます。
- 電話帳に登録されている相手からの着信でもダイヤルロック／おまかせロック設定中は電話番号だけが表示されます。
- ダイヤルロック／おまかせロック設定中の着信は「着信履歴」に記憶されます。

FOMA端末を操作してダイヤルロックを設定する

お買い上げ時 解除

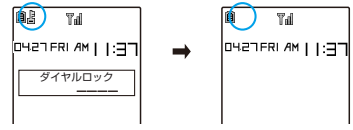
1 **MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤルロック」**

● ダイヤルロック設定中の動作について

- ディスプレイに「ダイヤルロック」と「 」が表示されます。
- ダイヤルロック設定中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、チャットメールの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。ダイヤルロック解除後、受信したことを示すアイコンが待受画面に表示されます。

ダイヤルロックを解除する

● ダイヤルロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度電源を入れることはできます。

ダイヤルロック設定中の画面で端末暗証番号を入力▶[●]

ダイヤルロックが解除されて「[icon]」の表示が消えます。

おしらせ

●ダイヤルロックを解除するときに、間違った端末暗証番号を入力してもエラーメッセージは表示されません。[☎]を押し、再度正しい端末暗証番号を入力してください。

おまかせロックを利用する

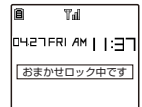
お買い上げ時 解除

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により、遠隔操作でFOMA端末にロックをかけることができるサービスです。お客様の大切なプライバシーを守ります。お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

> おまかせロックの設定／解除
> 0120-524-360 受付時間24時間
> ※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

※ おまかせロックのご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編)』をご覧いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● おまかせロック設定中の動作について

● ディスプレイに「おまかせロック中です」と表示します。
● おまかせロックはお客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
● おまかせロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答と電源を入れる／切るの操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。
● おまかせロック設定中に受信したメールはメールセンターに保管されます。
● FOMAカードやmicroSDメモリーカードにはロックがかかりません。

おしらせ

●ほかの機能が動作中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます（編集中のデータがある場合は編集中のデータを破棄して終了することがあります)。
●ほかのロック機能が設定中でも、おまかせロックをかけることができます。この場合、おまかせロックを解除すると、おまかせロック設定前のロック状態に戻ります（ただしシークレットモード／シークレット専用モードは解除されます)。
●以下の場合はロックがかかりません。
・ FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にあるとき
・ セルフモード設定中、赤外線通信／ケーブル接続によるデータ送受信中などの理由でFOMA端末に「圏外」が表示されているとき
●「デュアルネットワークサービス」をご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックがかかりません。
●おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者の方からのお申し出によりロックをかけるサービスです。ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
●ロックの解除は、ロックをかけたときと同じFOMAカードを挿入している場合にのみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
●おまかせロックを解除しようとしたときにFOMA端末が音声通話中またはテレビ電話中の場合は、通話終了後にロックが解除されます。

電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする

お買い上げ時	シークレットモード：解除　シークレット専用モード：解除

シークレットモードまたはシークレット専用モードで電話帳やスケジュールを登録すると、シークレットデータになり、通常のモードでは表示されなくなります。表示するときは、シークレットモード（シークレットデータも含めたすべてのデータを表示）か、シークレット専用モード（シークレットデータのみを表示）にします。

● ほかの人に見られたくない「マイピクチャ」や「ｉモーション」、「受信メール」、「送信メール」、「Bookmark」の各データを、シークレットフォルダに保管することもできます。→P.141

シークレットモード／シークレット専用モードにする

1 **MENU 4 0（シークレットモード）／MENU 4 1（シークレット専用モード）▶端末暗証番号を入力**

シークレットモードに設定すると「S」が表示されます。ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.29

シークレット専用モードに設定すると、シークレットデータ登録件数が約2秒間表示された後、「S」が点滅表示されます。

● シークレットデータの登録・表示と、通常のデータへの戻しかた

● FOMAカードにはシークレットデータとして電話帳を登録できません。

● シークレットモード中／シークレット専用モード中に、音声電話やテレビ電話をかけたり受けたりすると、設定中のモードは解除されます。

● シークレットモード中／シークレット専用モード中の「電話帳」、「スケジュール」の操作方法は、シークレットモードおよびシークレット専用モードが設定されていない場合と同じです。

■電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにして登録します。
電話帳の登録のしかた→P.91
スケジュールの登録のしかた→P.306

■登録済みの電話帳をシークレットデータにするには

電話帳詳細画面の機能メニューから「シークレット設定」を選択します。
※ 直デンに登録されている電話帳を、シークレットデータにすると、直デンから削除されます。

■シークレットデータを表示するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにし、電話帳やスケジュールを表示します。
電話帳の検索のしかた→P.95
スケジュールの確認のしかた→P.308

■シークレットデータを通常のデータに戻すには

シークレットモードまたはシークレット専用モードにしてから、通常のデータに戻す「電話帳詳細画面」（P.95）または「スケジュール一覧画面」（P.308）を表示し、機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

シークレットモード／シークレット専用モードを解除する

シークレットモード／シークレット専用モード中に

シークレットモード／シークレット専用モードが解除され、「 」の表示が消えます。
MENU 4 0 や MENU 4 1 を押しても解除できます。

おしらせ

- シークレットモード中やシークレット専用モード中に電話をかけたり受けたりすると、電話に出なくても設定中のモードは解除されます。
- シークレットモード中に、一覧画面でシークレットデータを反転したとき、またはシークレットデータを詳細表示したときは、点灯している「 」が点滅に変わります。
- シークレットデータとして登録した「電話帳」や「スケジュール」は、シークレットモードおよびシークレット専用モードにしないと、呼び出し、修正、削除、参照ができません。また、「スケジュール」は通常のモードでもアラーム通知は行いますが、アラームメッセージは表示されません。
- シークレットデータとして「電話帳」をメモリ番号「000」～「009」に登録した場合は、シークレットモードやシークレット専用モードにしないと、「ツータッチダイヤル」で電話をかけることはできません。
- シークレットデータとして登録した相手が電話番号を通知して電話をかけてきた場合、登録されている名前や画像は表示されず電話番号が表示されます。また「着信履歴」にも電話番号のみが表示されます。シークレットモードまたはシークレット専用モードにすると、「着信履歴」に登録されている名前が表示されます。
- シークレットデータとして登録した相手がメールを送ってきたときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードを解除していると、登録されている名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。また「受信アドレス一覧」にメールアドレスは記憶されません。
- シークレットデータの「電話帳」には以下の機能を設定できません。
  ・オート表示　・電話帳指定設定　・発着信識別機能
- シークレットモード中に「電話帳」や「スケジュール」を修正した場合、修正したデータはシークレットデータになります。なお、電話帳を修正した場合は、修正したメモリ番号に登録されているすべての情報がシークレットデータになります。
- 「ダイヤルロック／おまかせロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合は、「ダイヤルロック／おまかせロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。
- 電話帳やスケジュールの編集中などに、着信などでシークレットモードまたはシークレット専用モードが解除されると、再度電話帳やスケジュールの画面に戻ったときに、操作を続けると端末暗証番号を入力する画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると再びシークレットモードまたはシークレット専用モードに設定され、操作を続けることができます。
- シークレットデータとして登録された電話帳を呼び出して電話をかけたりメールを送信した場合は、「リダイヤル」や「発信履歴」、「送信アドレス一覧」には記憶されません。

各種データを表示できないようにする

ほかの人に見られたくない画像、動画・ｉモーション、受信メール、送信メール、Bookmarkの各データを、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されるシークレットフォルダに保管します。

- FOMA端末に保存されているデータのみ保管できます。
- 各フォルダ内のシークレットフォルダに保管できるデータの最大件数は次のとおりです。

マイピクチャ	ｉモーション	受信メール	送信メール	Bookmark
約100件 （約2Mバイト）	約10件 （約2Mバイト）	約100件 （約1.2Mバイト）	約100件 （約1.2Mバイト）	約10件 （約3Kバイト）

※ 1件あたりのデータ容量によって最大件数まで登録できない場合があります。

<例：マイピクチャの画像をシークレットフォルダに保管する場合>

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

「電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする」→P.139

2 画像一覧画面（P.255）▶ で画像の囲み枠を移動▶α［機能］▶「シークレットに保管」

おしらせ

- シークレットフォルダはFOMA端末にあらかじめ用意されています。シークレットフォルダの追加や削除、フォルダ名の変更はできません。
- プリインストールフォルダに保存されている画像、未読メール、FOMAカードに保存したSMS、SMS送達通知は、シークレットフォルダに保管できません。
- シークレットフォルダ内のデータを表示していたとき、電話の着信などでシークレットモードやシークレット専用モードが解除されると、各フォルダの一覧画面に戻ります。

<マイピクチャ><ｉモーション>
- 待受画面、電話帳、チャット画像などに設定されている場合は、その設定が解除されます。
- ｉモーションからのWeb To／Phone To（AV Phone To）／Mail To機能は使用できません。

<受信メール><送信メール>
- シークレットフォルダに保管されているメールは、フォルダが満杯状態のときにメールの送受信を行っても自動削除されません。
- シークレットフォルダに保管されているメールの添付ファイルは、画像とメロディのみ表示／再生が可能です。その他の種類の添付ファイルを表示、再生する場合は、メールをシークレットフォルダから出してから行ってください。
- Web To／Phone To（AV Phone To）／Mail To／ｉアプリTo機能は使用できません。また、メール本文からｉアプリを起動することを示す「α」は、「α×」に変わります。
- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード／シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。
- シークレットフォルダに保管されているSMSの送達通知を受信した場合、一覧画面やSMSの詳細画面で「 」が表示されていても、SMSの詳細画面の機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択できません。メールをシークレットフォルダから出すと機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択してSMS送達通知内容を確認できるようになります。

<Bookmark>
- シークレットフォルダ内のBookmarkからサイト閲覧を行った場合、ラストURLには登録されません。

<デスクトップアイコン>
- デスクトップアイコンとして貼り付けた画像、動画、ｉモーションをシークレットフォルダに保管すると、デスクトップアイコンを選択しても表示されなくなります。
- デスクトップアイコンとして貼り付けたBookmark、受信メール、送信メールをシークレットフォルダに保管しても、デスクトップアイコンを選択したときは通常の動作となります。

● シークレットフォルダの機能メニューについて

シークレットフォルダでは、フォルダやフォルダ内のデータに対して、行える機能は制限されています。フォルダ一覧画面、データ一覧画面、データ詳細画面の各画面で操作できる機能は以下のとおりです。「シークレットから出す」については「シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す」（P.142）をご覧ください。

■ フォルダ一覧画面でシークレットフォルダが反転しているときの機能メニュー

マイピクチャ (P.285)	iモーション (P.285)	受信メール／送信メール (P.224)	Bookmark (P.183)
フォルダ追加 画像全削除※1	フォルダ追加 動画全削除※1	フォルダ追加 保存件数確認※1 フォルダ内表示 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 既読メール全削除※1※2 受信メール全削除※1※3	フォルダ追加 登録件数確認※1 赤外線全送信※1 microSDへ全コピー※1 Bookmark全削除※1

※1：シークレットフォルダ内のデータは対象となりません。
※2：受信メールフォルダ一覧画面のみ表示されます。
※3：送信メールフォルダ一覧画面のときは「送信メール全削除」になります。

■ データ一覧画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.257)	iモーション (P.264)	受信メール／送信メール (P.226)	Bookmark (P.183)
イメージ表示 イメージ情報 保存容量確認 タイトル名一覧※1 削除 シークレットから出す	iモーション情報 保存容量確認 一覧表示切替 削除 シークレットから出す	色分け 一覧表示切替 保護※2 保護解除※2 保護／保護解除※3 全保護解除※3 メール情報※2 保存件数確認 削除 シークレットから出す	登録件数確認 削除 シークレットから出す

※1：タイトル名一覧のときは「ピクチャ一覧」になります。お買い上げ時はピクチャ一覧です。
※2：受信メール一覧画面のみ表示されます。
※3：送信メール一覧画面のみ表示されます。

■ データ詳細表示画面の機能メニュー

マイピクチャ (P.257)	iモーション (P.267)	受信メール／送信メール (P.228)
イメージ情報 画像表示設定 リトライ 1件削除	通常再生 スロー再生 早送り再生 停止 iモーション情報 画像表示設定	保護／保護解除 スクロール設定 文字サイズ設定 削除 シークレットから出す

シークレットフォルダのデータを通常のデータに戻す

シークレットデータを通常のデータに戻すにはシークレットフォルダから別のフォルダに移動します。

＜例：マイピクチャのシークレットフォルダの画像を通常のデータに戻す場合＞

1 シークレットモードまたはシークレット専用モードにする

「電話帳やスケジュールのデータを表示できないようにする」→P.139

2 フォルダ一覧画面（P.255）▶「シークレット」▶画像に囲み枠を移動▶α［機能］▶「シークレットから出す」

3 保存するフォルダを選択

おしらせ

- シークレットフォルダ内のメールをシークレットフォルダから出すと通常のメールに戻りますので、日付の古いメールは他のメールを受信時／送信時などに削除される場合があります。メールを保護状態にしてからシークレットフォルダから出すことをおすすめします。

〈オリジナルロック〉

個人情報の表示や電話・メールの操作をできないようにする

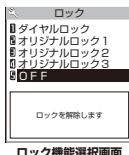
お買い上げ時（オリジナルロック1～3）	解除 （詳細項目 データ閲覧・編集・削除：すべて選択 発信・メール送信：すべて解除 着信・メール受信表示：すべて解除）

メールや電話帳などの個人情報を利用する機能にロックをかけて、ほかの人にそれらの情報を見られたり、不正に書き換えられたりすることを防ぎます。また、音声電話やテレビ電話の発着信を制限したり、ｉモードメールやSMSの送信を制限します。

● ロック対象の機能やデータはオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途･目的に応じて使い分けることができます。
● ロックは電源を切っても解除されません。

オリジナルロックを有効にする

1 MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「ロック」▶端末暗証番号を入力

「ロック機能選択画面」が表示されます。

ロック機能選択画面

2 オリジナルロック1～3を選択

ロックが有効になり、ロック対象の機能やデータにロックがかかります。
画面には「[icon]」が表示されます。
ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコンの表示について→P.29

■ ロックする機能やデータを変更する場合
「ロックする機能やデータをカスタマイズする」→P.146

■ タイトルを編集する場合
▶オリジナルロック1～3を反転▶α［機能］▶「タイトル編集」▶タイトルを入力

■ オリジナルロックを解除する場合
▶「OFF」

● オリジナルロック設定中の操作について

オリジナルロック設定中にロック対象の機能やデータを利用しようとすると、端末暗証番号の入力が求められます。

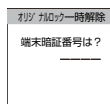
● 端末暗証番号を入力すると一時的にロックが無効になり、ロック対象の機能やデータを利用できるようになります（「発信・メール送信」と「着信・メール受信表示」の機能は一時解除して利用することはできません）。起動中の機能を終了して待受画面に戻ると、再度ロックが有効になります。

<例：オリジナルロック設定中にｉモードメールを閲覧する場合>

1 待受画面表示中▶✉［MAIL］

オリジナルロック一時解除
端末暗証番号は？

2 端末暗証番号を入力

オリジナルロックが一時的に解除され、メールメニューが表示されます。

3 ｉモードメールを読む

4 メールメニューを終了し、待受画面に戻る

オリジナルロックが有効になり、画面に「[icon]」が表示されます。

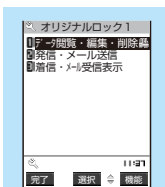
おしらせ

● オリジナルロック設定中は、以下の機能を利用できません。
・設定リセット　・端末初期化
・ソフトウェア更新　・スキャン機能の「パターンデータ更新」と「自動更新設定」

● ロック対象の機能やデータについて

● オリジナルロックの対象となる機能や項目、データは以下のとおりです。各グループごと、項目ごとにロック対象とするかどうかを設定（カスタマイズ）できます。→P.146

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除	メール	メール	メール機能をロックします。 ・メールBOXの表示などはできません。 ・メール作成や送信はできません。
		メールメンバー	各機能の起動をロックします。
		チャットグループ	
	iモード	iモード	iモード機能をロックします。 ・iモード、iチャネルなどが利用できません。 ・iチャネルのテロップ表示も行われません。
		Bookmark	ブックマーク一覧の表示をロックします。
	iアプリ	iアプリ	iアプリメニューの表示をロックします。また、すべてのiアプリ（お買い上げ時に登録されているiアプリを含む）を実行できません。 ・iアプリ待受画面を設定している場合、ロック中はiアプリ待受画面が無効になり、カメラで撮影した画像やダウンロードした画像を直前に設定していた場合はその画像が表示されます。ただし、直前に設定していた画像がロック対象になっているときはお買い上げ時の画像が表示されます。お買い上げ時に登録されている画像を直前に設定していた場合はその画像が表示されます。
	マルチメディア	マイピクチャ	各機能の起動をロックします。また、ほかの機能からデータを呼び出すこともできません。 ・ロック対象となるデータを着信音や着信画面、待受画面などに設定している場合、ロック中はお買い上げ時の設定で動作します。 ・「マイピクチャ」または「キャラ電」がロック対象になっている場合、ロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。 ・「マイピクチャ」がロック対象になっていても、メール作成画面でおまかせデコメやデコメ絵文字は利用できます。
		iモーション	
		メロディ	
		キャラ電	
		ミュージック	
		バーコードリーダー	各機能の起動をロックします。
		カメラ	
		おしゃべり機能	
	スケジュール	スケジュール	各機能の起動をロックします。また、設定した時刻になってもアラーム通知を行いません。 ・ロック中はアラーム通知を行わず「未通知アラームあり」のデスクトップアイコンが表示されます。 ・「スケジュール」がロック対象になっており待受画面にカレンダーを設定している場合、ロック中は待受画面のカレンダーからスケジュール機能を起動できません。
		アラーム	
		To Doリスト	
	メモ	メモの再生／消去	各機能の起動をロックします。 FOMA端末を閉じた状態で［MEMO／CHECK］を押しても「伝言メモあり」、「テレビ電話伝言メモあり」の確認はできません。
		動画メモの再生／消去	
		待受中音声メモ	各機能の起動をロックします。
		通話中音声メモ	
	電話帳	電話帳／直デン	電話帳の起動をロックします。また、直デンをはじめあらゆる場面で電話帳参照が行われなくなります（電話帳を利用する多くの機能に影響があります）。 ・電話帳に登録されている相手であっても音声電話、テレビ電話の発信中画面や着信中画面に電話番号だけが表示されます。 ・「着もじ」の「メッセージ表示設定」が「電話帳登録番号のみ」に設定されている場合は、着信中画面に着もじは表示されません。 ・電話帳に登録されている相手であっても着信や発信に対する「着信履歴」、「発信履歴」、「リダイヤル」には電話番号だけが表示されます。 ・メール一覧画面や詳細画面には、電話帳に登録されている名前の表示は行われず、代わりにメールアドレスが表示されます。 ・「登録外着信拒否」と同時に設定することはできません。 ・「指定着信拒否」、「指定着信許可」、「指定転送でんわ」、「指定留守番電話」の設定は無効になります。

カテゴリー	グループ	機能	ロック中の動作／注意事項
データ閲覧・編集・削除	電話帳	マイプロフィール	「マイプロフィール」の起動をロックします。
		発信履歴	「発信履歴」、「リダイヤル」、「送信アドレス一覧」の起動をロックします。
		着信履歴	「着信履歴」、「受信アドレス一覧」の起動をロックします。 ・FOMA端末を閉じた状態で[MEMO／CHECK]を押しても不在着信の確認はできません。
	その他	テキストメモ	テキストメモの起動をロックします。
		通話料金通知	設定した上限料金を超えてもアラームを通知しません。 ・ロック解除後、「通話料金通知」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 ・「通話料金通知」の設定操作は本機能でロックされませんので設定することはできます。
		着もじ	「着もじ」の利用をロックします。 ・着もじの着信動作は本機能でロックされません（「着もじ」の「メッセージ表示設定」に従って表示動作を行います）。 ・機能メニューの「メッセージ作成」から着もじを付けて発信することはできます。
発信・メール送信	ダイヤル発信	ダイヤル発信	電話番号の直接ダイヤルや着信履歴による音声電話やテレビ電話の発信はできません（電話帳、リダイヤル／発信履歴からのみ発信できます）。 ・電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作やmicroSDからのコピーはできません。 ・緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
	メール送信	メールアドレス直接入力	宛先の直接入力によるｉモードメールやSMSの送信はできません(宛先には、電話帳、リダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧のみ利用できます)。 ・電話帳の新規登録、編集、FOMAカード（UIM）操作やmicroSDからのコピーはできません。 ・「自分」を除くチャットメンバーはすべて削除されます。 ・保存BOX内のメールの宛先はすべて削除されます。また、宛先のみ入力された保存BOX内のメールはすべて削除されます。
		メール送信	ｉモードメール、SMSの送信はできません。 ・チャットメールは利用できません。
着信・メール受信表示	着信		音声電話、テレビ電話、パケット通信の着信を拒否します。着信動作は行わず不在着信履歴として記憶されます。 ・ロック解除後、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
	メール／メッセージ受信表示		メッセージR／F、ｉモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。 ・ロック解除後、「新着メールあり」、「チャットメールあり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。 ・チャットメールは利用できません。

おしらせ

- ロック対象となるデータを「デスクトップアイコン」として待受画面に貼り付けている場合、ロック中はそのデスクトップアイコンは表示されません。

ロックする機能やデータをカスタマイズする

● たとえば「電話帳だけをロックする」、「電話とメール発信だけを制限したい」といった設定をオリジナルロック1～3に個別に登録できますので用途・目的に応じて使い分けることができます。
● ロック対象の設定（カスタマイズ）は、カテゴリー、グループ、機能ごとに行います。→P.144
● ロック対象の設定（カスタマイズ）内容は、オリジナルロックの有効／無効を切り替えても保持されます。

1 ロック機能選択画面（P.143）▶オリジナルロック1～3を反転▶[✉]［詳細］

「カテゴリー一覧画面」が表示されます。
カテゴリー内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「[鍵]」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「[ALL鍵]」が付いて表示されます。

カテゴリー一覧画面

機能メニュー➡P.146

2 設定変更したいカテゴリーを選択

「グループ一覧画面」が表示されます。
グループ内のいずれかの項目がロック対象になっている場合は「[鍵]」が、すべての項目がロック対象になっている場合は「[ALL鍵]」が付いて表示されます。

3 設定変更したいグループを選択

「機能一覧画面」が表示されます。

グループ一覧画面

機能メニュー➡P.146

4 [✥]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］

チェックを付けた（☑にした）項目が、ロック対象となります。
ロック対象外にしたい項目はチェックを外します。

5 [✉]［完了］▶[✉]［完了］▶[●]［確定］

カテゴリーによっては[✉]［完了］を押す回数が異なります。

機能一覧画面

機能メニュー➡P.146

機能 カテゴリー一覧画面／グループ一覧画面

1 カテゴリー一覧画面（P.146）／グループ一覧画面（P.146）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

グループ選択……反転表示している項目より下の階層の項目をすべて選択します。

グループ解除……反転表示している項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。

全グループ選択……表示されている項目より下の階層の項目をすべて選択します。

全グループ解除……表示されている項目より下の階層で選択されている項目をすべて解除します。

機能 機能一覧画面

1 機能一覧画面（P.146）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

全選択……表示されている項目をすべて選択します。

全選択解除……表示されている項目の選択をすべて解除します。

ボタン操作を自動的にロックする

お買い上げ時	閉じたとき：OFF　タイマー：OFF

FOMA端末を閉じたときや、FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間経ったときに、ボタン操作できないように自動的にロックをかけます。

- キー操作ロック時に、着信イルミネーションが青色で点滅します。
- キー操作ロックは電源を切っても解除されません。

キー操作ロックを設定する

MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「キー操作ロック」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

閉じたとき

ON……FOMA端末を閉じたときに自動的にロックがかかります。

OFF……FOMA端末を閉じてもロックはかかりません。

タイマー……「OFF／1分後ON／5分後ON／15分後ON／30分後ON」から選択します。
たとえば、「5分後ON」に設定すると、FOMA端末を何も操作しない状態が5分間続くと、自動的にロックがかかります。「OFF」を選択するとタイマーは無効になり、ロックはかかりません。

2 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

おしらせ

- キー操作ロックがかかるまでのタイマーのカウントは、ボタン操作をしたり、FOMA端末を開くとリセットされます。

● キー操作ロック中の動作について

- キー操作ロック中はディスプレイに「キー操作ロック」と「 」、「 」が表示されます。
  ほかのロック機能が同時に設定されているときのアイコン表示について→P.29
- キー操作ロック中は、音声電話、テレビ電話の着信に対する応答、電源を入れる／切るの操作を除くすべてのボタン操作ができなくなります。
- キー操作ロック中にメッセージR／F、iモードメール、SMS、チャットメールの着信動作は行われますが、内容を閲覧することはできません。
- キー操作ロック中でも、「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームは通知されます。

おしらせ

- キー操作ロック中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には直接ダイヤルして音声電話をかけることができます。
- 通話中やデータの通信中（iモード中など）、メロディ／iモーション／ミュージックの再生中、カメラ起動中などロックがかからない場合もあります。

キー操作ロックを一時解除する

キー操作ロック中の画面で端末暗証番号を入力▶●

おしらせ

- キー操作ロックを一時解除してもキー操作ロックの設定は解除されません。キー操作ロックの設定を完全に解除したい場合は、「閉じたとき」と「タイマー」の設定をいずれも「OFF」に設定してください。

〈外部ボタン操作〉

外部ボタンの誤操作を防止する

お買い上げ時 閉じた時有効

FOMA端末を閉じたときに、外部ボタン（、[]、[MEMO／CHECK]）の機能を無効にします。

● 以下のような場合は、本機能の設定にかかわらず外部ボタンの機能は有効になります。
　・FOMA端末を開いているとき
　・平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき
　・外部接続端子にパソコンなどを接続し、画面に「」、「」が表示されているとき

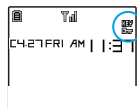
1 **MENU▶（1秒以上）**

外部ボタンの操作が無効（閉じた時無効）になり「」が表示されます。

■ **閉じた時有効にする場合**

▶操作1を再度行う

「」の表示が消えます。

〈メールセキュリティ設定〉

メールを無断で表示できないようにする

お買い上げ時 セキュリティなし

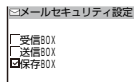
ほかの人にメールの内容を無断で見られないように受信BOX、送信BOX、保存BOXやそれぞれのフォルダにセキュリティをかけます。セキュリティをかけたBOXやフォルダは、端末暗証番号を入力しないと開けなくなります。

● 端末暗証番号を入力するとメールメニューに戻るまでは、セキュリティがかかっていても端末暗証番号を入力せずに開くことができます。
● セキュリティをかけたBOXには、「」のアイコンが表示されます。
● セキュリティをかけたフォルダは、フォルダ一覧画面で先頭に表示されるアイコンが「」、「」などの表示になります。
● BOXやフォルダにメールセキュリティを設定すると、セキュリティ対象のメールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

BOX別にセキュリティを設定する

1 **[MAIL]▶「メール設定」▶「メールセキュリティ設定」▶端末暗証番号を入力**

2 **で□（チェックボックス）を選択**

メールセキュリティ設定
□受信BOX
□送信BOX
☑保存BOX

選択したBOXがチェックされます。
チェックされたBOXをもう一度選択すると、選択を解除します。

3 **[完了]**

フォルダ別にセキュリティを設定する

1 **メールフォルダ一覧画面（P.221）▶セキュリティを設定するフォルダを反転▶α［機能］▶「メールセキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「YES」**

■ **解除する場合**

▶操作1を再度行う

指定した電話番号の着信や発信を制限する

私用電話を防止したり、迷惑電話を防止するために、電話帳に登録されている電話番号ごとに電話の発信や着信を制限します。

- 電話番号はそれぞれ20件まで指定できます。
- FOMAカードの電話帳には設定できません。
- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 同じ電話番号に対して指定着信拒否と指定着信許可、または指定転送でんわと指定留守番電話を同時に設定することはできません。
- 「シークレットモード」、「シークレット専用モード」で登録した電話帳には設定できません。
- 指定した電話帳の電話番号を変更したり削除すると、電話帳指定設定の各機能は解除されます（ただし、「指定発信制限」を設定した場合は電話帳の編集や削除ができません）。

電話番号に発信／着信制限機能を設定する

1 電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶「電話帳指定設定」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

指定発信制限……指定した電話番号以外への電話をかけられないようにします。指定した電話番号に電話をかけるときは、電話帳から発信します。

指定着信拒否……指定した電話番号からの電話を受けないようにします。

指定着信許可……指定した電話番号からの電話だけを受けるようにします。

指定転送でんわ……指定した電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定にかかわらず、自動的に転送するようにします。

指定留守番電話……指定した電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定にかかわらず、留守番電話サービスセンターに自動的に接続するようにします。

設定した機能には「★」が付きます。

■ 設定されている機能を解除する場合

▶「★」が付いている機能を選択

機能が解除されて「★」が消えます。

■ 複数の電話番号に発信制限／着信制限の各機能を設定したい場合

▶CLRを2回押して電話帳一覧画面に戻る▶✥で設定したい電話番号を表示▶操作1を行う

指定発信制限を設定した後に☎を押して待受画面に戻ると、電話帳指定設定が続けて登録できなくなります。追加設定をする場合は、すでに設定されている電話番号の電話帳指定設定を解除し、解除した電話番号も含めてもう一度設定し直してください。

● 指定発信制限を設定すると

- 指定した電話番号を含むすべてのダイヤル発信、着信履歴からの発信ができなくなります。また、指定した電話番号以外の呼び出しと、電話帳の登録、修正、削除、FOMA端末（本体）とFOMAカード間でのコピー、「FOMAカード（UIM）操作」での電話帳の操作もできません。
- 設定前に記録されていたリダイヤル／発信履歴、送信アドレス一覧は削除されます。ただし、指定発信制限の設定後に記録されたリダイヤル／発信履歴からの発信や、送信アドレス一覧からのメール送信は行えます。

おしらせ

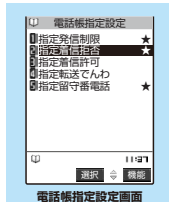
＜指定発信制限＞
- 指定発信制限設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には電話をかけることができます。
- 指定発信制限と同時に「オート表示」をご利用になる場合は、「オート表示」に指定している電話帳に本機能を設定してください。
- 電話帳には、指定した電話番号のデータしか表示されません。

＜指定着信拒否＞＜指定着信許可＞
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 指定着信拒否を設定した電話番号および指定着信許可を設定した以外の電話番号から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合やサービスエリア外、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- 「電話帳」項目に「オリジナルロック」を設定中は、本機能が無効になります。指定着信拒否を設定した電話番号からの着信および指定着信許可を設定した以外の電話番号からの着信も行います。
- 指定着信拒否および指定着信許可を設定していても、電話をかけることはできます。

＜指定転送でんわ＞＜指定留守番電話＞
- 指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから転送先に転送または留守番電話サービスセンターに接続します。
- 転送先が未設定の場合、「転送でんわサービス」または「留守番電話サービス」が未契約の場合は、指定した電話番号からかかってきた電話は不在着信となります。
- 「電話帳」項目に「オリジナルロック」を設定中は、本機能が無効になります。

電話帳指定設定の設定状況を確認する

MENU 1 2 ▶端末暗証番号を入力

「電話帳指定設定画面」が表示されます。

電話帳指定設定画面

機能メニュー➡P.150

機能 電話帳指定設定画面

電話帳指定設定画面（P.150）▶「★」が付いている項目を反転▶α［機能］▶以下の項目から選択

設定確認……機能が設定されている電話帳の一覧画面が表示されます。

設定解除……機能が解除されて「★」が消えます。

〈非通知着信設定〉

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時
すべて許可／通常着信音と同じ

電話番号を通知してこない音声電話やテレビ電話の着信許可／拒否を、非通知理由ごとに設定します。

MENU 1 0 ▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

通知不可能……海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。
経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。

公衆電話……公衆電話などから発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

非通知設定……発信者側の設定により発信者番号を通知しないで発信してきた場合の着信許可／拒否を設定します。

「許可」または「拒否」

■「許可」を選択した場合

▶「着信音」または「着信画面」

・「着信音」は「通常着信音と同じ／メロディ／ｉモーション／ミュージック／おしゃべり／ランダムメロディ／OFF」から選択します（「通常着信音と同じ」を選択したときは、「着信音選択」の「電話」の設定で着信します）。
・「着信画面」は「通常着信画面と同じ／マイピクチャ／ｉモーション」から選択します（「通常着信画面と同じ」を選択したときは、「画面表示設定」の「電話着信」の設定で着信します）。

■「拒否」を選択した場合

着信を拒否し、相手に話中音が流れます。

おしらせ

- 本機能で選択する着信音や着信画像は非通知の音声電話の設定です。非通知のテレビ電話がかかってきたときは、「着信音選択」の「テレビ電話」や「画面表示設定」の「テレビ電話着信」と同じになります。
- 「拒否」に設定した相手から電話がかかってきた場合、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても着信を拒否します。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定している場合や「圏外」時、電源が入っていない場合は、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

〈呼出時間表示設定〉

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	無音時間設定：OFF　時間内不在着信表示：表示する

FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号から音声電話やテレビ電話の着信があった場合、呼出動作が開始されるまでの時間を設定します（無音時間設定）。呼出動作が短い迷惑電話などに対し、着信履歴からの誤った発信を防ぐことができます。

- 非通知の音声電話、テレビ電話から着信があった場合や音声通話中、テレビ電話中に電話がかかってきた場合にも無音時間設定は動作します。
- 「登録外着信拒否」が「拒否」に設定されている場合は、「無音時間設定」を設定できません。

MENU 9 0 ▶以下の項目から選択

無音時間設定

ON……呼出動作を開始するまでの時間（01～99秒）を入力します。表示されている時間をそのまま設定するときは◉［確定］を押します。

OFF……呼出動作を開始するまでの時間を0秒に設定します。

時間内不在着信表示……呼出動作を開始しなかった着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定します。

おしらせ

- 呼出動作とは、着信音やバイブレータが動作し、マイシグナルに着信中のアニメーションが表示される、または着信イルミネーションが点滅している動作のことです。
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能で設定した動作になります。
- 無音時間が伝言メモの呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信の呼出時間でも同様です。

〈登録外着信拒否〉

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時 許可

FOMA端末（本体）およびFOMAカードの電話帳に登録されていない電話番号からの着信を拒否するように設定します。

- 相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」および「非通知着信設定」もあわせて設定することをおすすめします。
- 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」が「ON」に設定されている場合は、「登録外着信拒否」を設定できません。

MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「登録外着信拒否」▶端末暗証番号を入力▶「拒否」

■ 電話帳未登録の相手からの電話を受ける場合

▶「許可」

おしらせ

- 本機能を「拒否」に設定しても、「非通知着信設定」で公衆電話や電話番号を通知してこない着信を許可している場合は、「非通知着信設定」の設定に従って着信を受けます。
- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、本機能の設定にかかわらず、着信は拒否されません。
- 本機能を「許可」に設定しても、「電話帳指定設定」の「指定着信許可」を設定している場合は、「指定着信許可」にて指定した電話番号以外からの着信を受けられません。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源が入っていない場合は、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」が有効になります。この場合、かかってきた電話番号は「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されませんのでご注意ください。
- ｉモードメールやSMSは、本機能に関係なく受信されます。

〈セルフモード〉

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 解除

音声電話、テレビ電話の発着信、ｉモードの利用、メールの送受信ができないように設定します。音声電話、テレビ電話の着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

- セルフモード設定中でも、緊急通報番号（110番、119番、118番）には音声電話をかけることができます。緊急通報番号に音声電話をかけると、セルフモードは解除されます。

MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「セルフモード」▶「YES」

セルフモードが設定されて「self」が表示されます。

■ セルフモードを解除する場合

▶再度操作1を行う

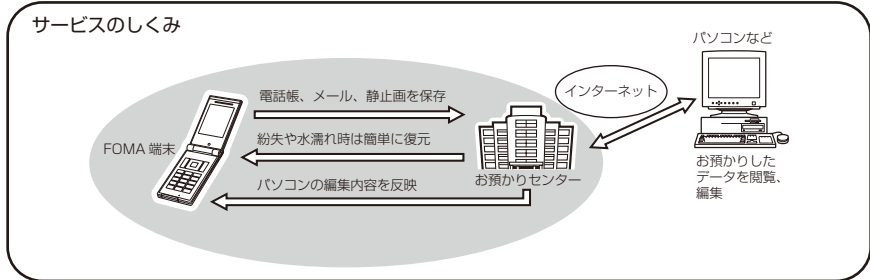
セルフモードが解除されて「self」の表示が消えます。

● セルフモードを設定すると

- 音声電話やテレビ電話の着信は着信履歴には記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも待受画面に表示されません。
- 送られてきたメッセージR／Fやｉモードメールはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。
- 音声電話やテレビ電話をかけてきた相手には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスやメッセージで通知します。「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」をご利用の場合は、FOMA端末の電源を切っているときと同じサービスをご利用になれます。
- 赤外線通信機能またはOBEXによるデータの送受信、パソコンなどと接続してのパケット通信、64Kデータ通信もできません。

電話帳お預かりサービスとは

お申し込み必要

電話帳お預かりサービスとは、お客様のFOMA端末に保存されている電話帳・静止画・メール（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。
万一の紛失や水濡れなどで保存データが消失しても、iモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている電話帳などのデータを新しいFOMA端末に復元させることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのページで編集したり、編集した保存データをFOMA端末内に保存させることができます。
※ 電話帳お預かりサービスのご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには、iモード契約が必要です）。
● お預かりセンターへの保存操作については以下のページをご覧ください。
・「電話帳データをセンターに保存する」→P.104
・「メールをお預かりセンターに保存する」→P.227
・「画像をお預かりセンターに保存する」→P.259

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P.331
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	P.331
電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※FirstPass対応サイトに限ります	FirstPass	P.193
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.390
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.394
ｉモードメールを受信する際に、必要なメールのみを受信したい	メール選択受信	P.216
災害が発生した際にｉモードを利用して安否情報を登録／確認したい	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください
メールアドレスを変更／確認したい	アドレス変更／確認	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策 （受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード対応携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否したい	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信したくない	未承諾広告※メール拒否	
受信するメールのサイズを制限したい	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認したい	設定状況確認	
メール機能を一時的に停止したい	メール機能停止	

おしらせ

- 見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。とくに、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

＜迷惑電話防止機能の優先順位＞

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は以下のとおりです。
  ①迷惑電話ストップサービス
  ②登録外着信拒否または呼出時間表示設定／非通知着信設定／指定着信拒否

カメラ

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

- FOMA端末を閉じた状態ではカメラ機能の起動や撮影はできません。

カメラの使いかた

● カメラモードにするには

次の3とおりの方法があります。

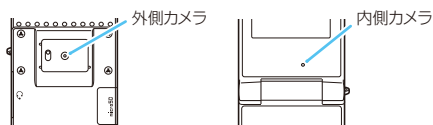
①待受画面のデスクトップアイコン（ ）を選択する
②待受画面表示中に［ ］（1秒以上）を押す
③メインメニューの「LIFEKIT」、またはシンプルメニューから「カメラ」を選択する

- 約3分以上ボタン操作をしなかったときは、自動的にカメラモードを終了します。

おしらせ

- デスクトップアイコンを削除した後に再度貼り付ける場合は、上記③の操作で「カメラ」を選択後、α［機能］を押して「デスクトップ貼付」を選択します。

● 外側カメラと内側カメラを切り替えるには

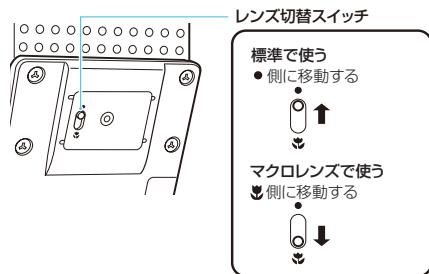
撮影画面でα［機能］を押し、機能メニューから「内側カメラ」または「外側カメラ」を選択します。

■外側カメラ

ほかの人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。画面には、自分が見たとおりに表示されます（正像表示：画面に表示された向きで撮影されます）。外側カメラでは、レンズ切替スイッチや接写の機能を利用して近くのものを撮影することが可能です。→P.158、162

■内側カメラ

自分を撮影するときに使うと便利です。画面には鏡と同じ向きに表示（鏡像表示）され、撮影結果は表示と逆向き（正像）に保存されます。

● レンズ切替スイッチについて

- ごく近くにある被写体を撮影したいときは、レンズ切替スイッチを（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにします。接写モードにすると、外側カメラとの距離が約7～9cmの被写体にピントが合います。
- バーコードリーダーを利用するときは（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにします。
- レンズ切替スイッチを切り替えるときは、●（標準レンズ）または（マクロレンズ）それぞれの位置までしっかりとスライドさせ、途中で止めないでください。

画像サイズと登録件数について

- FOMA N703iμで撮影できる画像サイズは次のとおりです。画像サイズは目的に合わせて使い分けてください。

※ 画像サイズを表す枠は目安です。実際のサイズとは異なります。

① SXGA（横1,280×縦960ドット）
内側カメラのときは選択できません。
② VGA（横640×縦480ドット）
③ CIF（横352×縦288ドット）
④ フルスクリーン（横240×縦345ドット）
FOMA端末のディスプレイの大きさと同じサイズです。
⑤ 待受（横240×縦320ドット）
待受画面と同じサイズです。
⑥ QCIF（横176×縦144ドット）
⑦ SubQCIF（横128×縦96ドット）

- 静止画の最大登録容量は約3.6Mバイトです。
おおよその登録件数は**別表1**（P.159）のとおりです。
- 動画の最大登録容量は約4Mバイトです。
おおよその撮影時間、登録件数は**別表2**（P.159）のとおりです。

カメラ利用にあたって

■撮影するときのご注意

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、とくに光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていた後は、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- シャッター音、セルフタイマーの開始音の音量を変更することや消去することはできません。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。シャッター音が鳴った後、取り込みが完了するまで、FOMA端末が動かないように撮影してください。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。この画像のちらつきを抑制するために、「画像チューニング」をあらかじめ設定しておくことをおすすめします。
- 撮影画面を表示したりカメラを切り替えたりカメラの設定を変更した直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

■着信イルミネーションの点滅について

- 撮影時などには以下のように点灯または点滅します。
  - ・静止画撮影、連続撮影：赤色で点灯（約3秒間）
  - ・動画撮影、ボイスモード録音：赤色で点滅（約1秒周期）
  - ・セルフタイマー動作中：青色で点滅→P.170

■撮影した静止画・動画などの保存について

- 撮影した静止画や動画などは「画像保存先選択」や「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定すると、静止画や動画などを撮影後、自動的に保存できます。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。

[別表1] 静止画の保存先別登録件数の目安

保存先	SXGA	VGA	CIF	フルスクリーン	待受	QCIF	SubQCIF
N703iμ（本体）	約14件	約72件	約130件	約130件	約130件	約360件	約360件
microSD(64MB)	約118件	約542件	約948件	約948件	約948件	約1,897件	約1,897件

・登録件数は撮影環境などにより異なります。

[別表2] 動画の保存先別撮影時間、登録件数の目安

保存先	ファイルサイズ設定	撮影種別設定	品質設定				登録件数
			長時間	標準	高品質	最高品質	
N703iμ（本体）	500KB以下	通常	約176秒	約91秒	約67秒	約29秒	約8件
		映像のみ	約255秒	約127秒	約85秒	約32秒	
		音声のみ	約316秒				
	2MB以下	通常	約12分	約374秒	約276秒	約119秒	約2件
		映像のみ	約17分	約524秒	約349秒	約131秒	
		音声のみ	約21分				
microSD（64MB）	500KB以下	通常	約176秒	約91秒	約67秒	約29秒	約128件
		映像のみ	約255秒	約127秒	約85秒	約32秒	
		音声のみ	約316秒				
	2MB以下	通常	約12分	約374秒	約276秒	約119秒	約32件
		映像のみ	約17分	約524秒	約349秒	約131秒	
		音声のみ	約21分				
	長時間※	通常	約385分	約199分	約91分	約39分	―
		映像のみ	約558分	約279分	約115分	約43分	
		音声のみ	約691分				

・時間はそのファイルサイズ設定で撮影できるおおよその時間です。
・件数はそのファイルサイズ設定でいっぱいまで撮影したときに登録できるおおよその件数です。
・登録できる撮影時間、登録件数は撮影環境などにより異なります。

※：登録できる合計撮影時間を記載しています。1件あたりの最大撮影時間は120分です。

● ファイル保存中に電源を切ったり、電池パックを取り外したときなど、不完全なファイルが保存される場合があります。

■撮影が中断されるとき

● 着信（音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信）やアラーム通知（アラーム、スケジュール、To Doリスト）があったときには、撮影が中断されます。
  ・連続撮影中や動画撮影中は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させると、カメラの画面に戻りますので、着信やアラーム通知などの前に撮影したデータを保存できます。
  ・カメラのズームや明るさを調節中は、調節中の設定が確定され、カメラメニューに戻ります。
  ・セルフタイマーは中止されます。
● 以下の場合は中断されません。
  ・カメラ撮影中（撮影画面表示時含む）にメールやメッセージR／Fを受信した場合は、「受信表示設定」の設定にかかわらず、受信結果画面は表示されずにカメラの撮影が継続して行われます。
  ・「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定しておくと、アラームを設定した時刻になっても、カメラの撮影や設定、セルフタイマーは中止されずに継続して行うことができます。

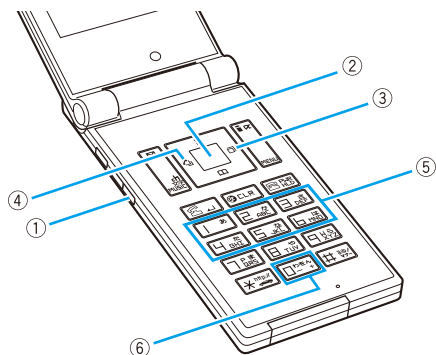
■ microSDメモリーカードを使用するとき

● microSDメモリーカードへ保存中は「」が点滅します。このときは絶対にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」でmicroSDを選択したときにmicroSDメモリーカードにフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。
●「画像保存先選択」や、「動画保存先選択」で選択したmicroSDフォルダのファイル数が最大件数のときは、そのフォルダに設定できません。

■著作権について

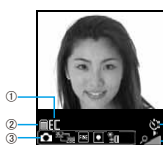
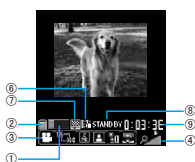
● FOMA端末を利用して撮影または録音等したものを複製、編集等する場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラモードのボタン操作

①[ ]：シャッター
②：シャッター
③：ズーム（望遠）
④：ズーム（広角）
⑤1～6：それぞれ以下の撮影メニューを表示
  1：カメラモード切替
  2：画像サイズ選択
  3：品質設定またはファイルサイズ設定
  4：撮影モード選択
  5：明るさ調節
  6：ホワイトバランス設定
  ※ カメラモードによっては表示されない撮影メニューがあります。
⑥0：ボタン操作の説明を表示

撮影画面の見かた

撮影画面にはカメラの設定状態がアイコンで表示されます。各アイコンの意味は以下のとおりです。

フォトモードの撮影画面

ムービーモードの撮影画面

①保存可能枚数／保存容量表示※1

……保存可能枚数

・白文字：11枚以上
・黄文字：10枚以下
・赤文字：空きメモリなし

……全体容量に対する保存可能容量

・青：残り500Kバイト以上
・黄：残り500Kバイト未満
・赤：空きメモリなし※2

※1：枚数および容量表示は目安です。また、保存先がmicroSDに設定されていて、microSDメモリーカードが挿入されていない場合は表示されません。

※2：「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定して動画撮影するとき以外は、撮影可能です。撮影後に本体／microSDメモリーカードの空き容量に保存、または上書き保存します。

②画像／動画保存先選択（P.163、168）

……保存先の設定状態（本体／microSDメモリーカード）

③ 撮影メニュー（P.161）

……撮影メニューの各種設定状態

④ ズーム状態表示（P.170）

～～……ズームの設定状態

⑤ セルフタイマー（P.170）

……セルフタイマー設定中

⑥ 撮影種別設定（P.167）

……通常（映像＋音声）
……映像のみ
……音声のみ

⑦品質設定（P.167）

……長時間
……標準
……高品質
……最高品質

⑧撮影状態表示（P.167）

●REC ……動画撮影中
STAND BY ……動画撮影待機中

⑨撮影時間（P.167）

0:00:44……動画撮影の残り時間（時：分：秒）

撮影メニューの選択方法

撮影メニューをディスプレイに表示すると、アイコンを選択するだけでさまざまな撮影条件を設定することができます。

撮影画面で1～6を押すと、各ボタンに対応した撮影メニューが直接表示されます。
※本章での操作説明はこの方法で記載しています。

[選択]を押し、反転したアイコン機能に設定します。

● 撮影メニューのアイコンと設定内容

● カメラモードによって選択できる撮影メニューの項目が異なります。
● メールなど他の機能から呼び出したときや内側カメラを使用しているときなど、撮影条件によっては利用できないメニューがあります。

①カメラモード切替

ムービーモード……P.167
チャンスキャプチャ……P.169
ピクチャボイス（フォトモード）……P.169
フォトモード……P.162
オート連続撮影……P.164
マニュアル連続撮影……P.164
ボイスモード……P.170

②画像サイズ選択
フォトモード（お買い上げ時：フルスクリーン）
1280×960～128×96……SXGA（1,280×960）～SubQCIF（128×96）
ムービーモード（お買い上げ時：QCIF）
176×144／128×96……QCIF（176×144）／SubQCIF（128×96）

③品質設定／ファイルサイズ設定
フォトモード（品質設定）（お買い上げ時：ファイン）
S FINE スーパーファイン……最高画質（ファイル容量：大）
FINE ファイン……高画質（ファイル容量：中）
NOR ノーマル……標準画質（ファイル容量：小）
ムービーモード（ファイルサイズ設定）（お買い上げ時：2MB以下）
500KB 500KB以下……500Kバイトまで
2MB 2MB以下……2Mバイトまで
∞FILE 長時間……長時間（microSDのみ）

④撮影モード選択
フォトモード（お買い上げ時：オート）
ムービーモード（お買い上げ時：ポートレート）
オート……自動調整モード
ポートレート……人物などの撮影に適したモード
風景……景色（夜景を含む）などの撮影に適したモード
接写……近くのものの撮影に適したモード
ナイトモード……暗い所で人物などを撮影するのに適したモード
OFF 効果OFF……撮影効果を無効に設定。
※ムービーモードでは、「ポートレート」「風景」「接写」のみ設定できます。
※フォトモードの内側カメラでは「ポートレート」「ナイトモード」「効果OFF」のみ設定できます。
※ムービーモード、連続撮影の内側カメラでは「ポートレート」に固定されます。

⑤明るさ調節（カメラ起動時：±0）
+2／+1／±0／−1／−2……画像の明るさ（+2 ／ +1 ／ ±0／－１／－2）

⑥ホワイトバランス設定（お買い上げ時：オート）
フォトモードでは、撮影モード選択で「効果OFF」を選択したときのみ設定できます。
AWB オート……自動的に色あいを補正
晴天……晴れた屋外での撮影に適した設定
曇天……曇った屋外や日陰の撮影に適した設定
電球……白熱電球の明かりの下での撮影に適した設定
蛍光灯……蛍光灯の明かりの下での撮影に適した設定

〈フォトモード〉
静止画を撮影する

1 待受画面表示中▶ [●] ▶「📷」を選択
「フォトモード撮影画面」が表示されます。

フォトモード撮影画面
機能メニュー➡P.163

2 カメラを被写体に向ける▶[●]［撮影］
「フォトモード確認画面」が表示されます。

フォトモード確認画面
機能メニュー➡P.164

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

3 [●]［保存］

おしらせ
● 画像サイズによっては画質が粗くなる場合があります。また、「表示サイズ設定」を「画面サイズで表示」に設定してQCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）で撮影した場合、フォトモード確認画面では拡大して表示されるため、画質が粗く見える場合があります。

機能 フォトモード撮影画面／連続撮影画面

1 フォトモード撮影画面（P.162）／連続撮影画面（P.164）▶α［機能］▶以下の項目から選択

内側カメラ⇔外側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・品質設定……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。

データ閲覧……マイピクチャのフォルダ一覧を表示します。

撮影間隔／枚数※1……連続撮影時の撮影間隔と枚数を設定します。→P.165

画質調整

- **撮影モード選択**……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。
- **明るさ調節**……撮影する明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調整します。
  ▶ で明るさを調節▶ ［確定］
  2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
  カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
- **ホワイトバランス設定**……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。
- **色調切替**……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。
- **画像チューニング**……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。
  内側カメラのときは選択できません。

シャッター音選択（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定……セルフタイマーを設定します。→P.170

フレーム選択※2……重ねて撮影するフレームを設定します。→P.166

自動保存設定

- **ON**……撮影時に確認画面は表示されず、「画像保存先選択」で設定されているフォルダに自動保存されます。
- **OFF**（お買い上げ時）……撮影時に確認画面を表示します。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

表示サイズ設定……画像サイズがQCIF（176×144）以下の画像の表示方法を設定します。

- **等倍表示**（お買い上げ時）……実際のサイズで画面に表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

保存容量確認……FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている画像のデータ容量と空きデータ容量を表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

※1：連続撮影画面でのみ利用できる機能です。
※2：フォトモード撮影画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

<撮影モード選択>
- フォトモードの「ナイトモード」での撮影時に手ブレしてしまう場合は、「ナイトモード」以外に設定してください。
- 「オート」、「風景」、「接写」のときに内側カメラに切り替えた場合は、「ポートレート」に戻ります。
- フォトモードの「ナイトモード」のときに連続撮影に切り替えた場合は、「オート」に戻ります。

<ホワイトバランス設定>
- 設定内容はカメラ機能終了後も保持され、テレビ電話の映像にも反映されます。→P.54

<画像チューニング>
- 薄暗いところや極端に明るいところでの撮影、および被写体の色合いなどによっては、ちらつきが完全に消えない場合があります。

<シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

● ファイル制限について

撮影した静止画や動画またはメロディをメールに添付して送信したとき、受信者のFOMA端末から再配布（添付、転送）できるかどうかを設定します。「なし」に設定すると、受信者は自由に再配布できますが、「あり」に設定すると、再配布はできなくなります。

- 保存後もファイル制限の設定を変更することができます。

機能 フォトモード確認画面

❶ フォトモード確認画面（P.162）▶α［機能］▶以下の項目から選択

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

ｉモードメール作成……「撮影した静止画を利用してｉモードメールやデコメールを作成する」→P.166

画像編集……撮影した静止画にフレームを付けたり、効果を付けます。「静止画を編集する」→P.261

イメージ貼付……撮影した静止画を待受画面などに設定します。

■ **待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合**
▶**画面を選択**
待受画面の場合はさらに表示方法を選択します。

■ **テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合**
▶**画面を選択**▶**画像を確認**▶◉［確定］▶「YES」

フレーム取替え……「フレームを重ねて撮影する」→P.166

鏡像表示⇔**正像表示**……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

表示サイズ設定……画像サイズがQCIF（176×144）以下の画像の表示方法を設定します。

- **等倍表示**（お買い上げ時）……実際のサイズで画面に表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

取り消し……撮影した静止画を削除してフォトモード撮影画面に戻ります。

おしらせ

<画像編集>
- 「画像編集」を選択すると正像表示になります。
- SXGA（1,280×960）画像は編集できません。

<イメージ貼付>
- SXGA（1,280 ×960）画像は貼り付けできません。また、データ容量が100Kバイトを超える場合は待受画面、ウェイクアップ表示以外には貼り付けできません。
- 待受画面などに設定する静止画は「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

おしらせ

<鏡像表示>
- 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

連続撮影する<連続撮影>

お買い上げ時	画像サイズ：フルスクリーン（240×345） 撮影間隔：0.5秒　撮影枚数：5枚

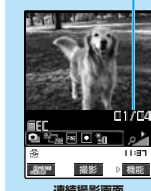
最大20枚までの静止画を連続撮影します。連続撮影には、オート連続撮影とマニュアル連続撮影があります。

- オート連続撮影は、撮影したい枚数と撮影する間隔を設定してシャッターを切ると、設定した間隔で設定した枚数を自動的に撮影する機能です。
- マニュアル連続撮影は、１枚ずつシャッターを切りながら設定した枚数を撮影する機能です。
- CIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影できます。
- 連続撮影した静止画を、自作アニメに登録してアニメーションとして楽しむこともできます。
- 連続撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。

❶ フォトモード撮影画面（P.162）▶1 ▶「AUTO」または「　」

「連続撮影画面」が表示されます。

撮影枚数／撮影可能枚数

連続撮影画面
（例：マニュアル）

機能メニュー ➡P.163

❷ カメラを被写体に向ける▶◉［連写／撮影］

連続撮影確認画面

機能メニュー ➡P.165

■ **連続撮影を中止する場合**

オート連続撮影　　：▶☎▶「NO」
マニュアル連続撮影：▶CLR
撮影を終了して連続撮影確認画面が表示されます。

■ 保存する静止画を選択する場合
操作3の前に、あらかじめ保存する画像を選択しておきます。
▶で囲み枠を保存する画像に移動▶[選択]
選択された静止画にはが表示されます。
操作を繰り返して静止画を選択します。
選択を解除するときは、解除したい静止画を選択します。の表示が消えます。

■ 詳細表示で確認する場合
▶で囲み枠を確認する画像に移動▶［詳細］
で確認する静止画を切り替えることができます。

■ 詳細表示した静止画を1件のみ保存する場合
▶［保存］

詳細表示確認画面

機能メニュー➡P.166

3 ［機能］▶保存する方法を選択

「選択保存」「全保存」「全保存＆自作アニメ」のいずれかを選択します。→P.165
「画像保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。
「選択保存」を選択した場合、画像の保存が終了すると、保存した画像を除いた「連続撮影確認画面」が表示されます。

おしらせ

- 強い光源や動きが大きいものを被写体としてオートで撮影する場合、撮影間隔が設定した時間よりも長くなることがあります。

● 撮影間隔と撮影枚数を設定する

1 連続撮影画面（P.164）▶［機能］▶「撮影間隔／枚数」▶以下の項目から選択

撮影間隔（お買い上げ時：0.5秒）……撮影する間隔を「0.5秒／1.0秒／2.0秒」から選択します。
マニュアル連続撮影のときは設定できません。

撮影枚数（お買い上げ時：5枚）……撮影する枚数（05〜20枚の2桁）を入力します。
最大撮影枚数は画像サイズによって変わります。画像サイズがCIF（352×288）の場合、撮影枚数は自動的に4枚となり、撮影枚数は設定できません。また、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）サイズの場合は5〜10枚までしか設定できません。

2 設定が終わったら CLR ▶ CLR

連続撮影画面に戻ります。

機能 連続撮影確認画面

1 連続撮影確認画面（P.164）▶［機能］▶以下の項目から選択

選択保存……を付けた静止画を保存します。
▶「保存」または「鏡像保存」

全保存……撮影したすべての静止画を保存します。
▶「保存」または「鏡像保存」

全保存＆自作アニメ……撮影したすべての静止画を保存し、自作アニメにも登録します。
▶「保存」または「鏡像保存」▶自作アニメの番号を選択

1件選択……囲み枠のある静止画にを表示して選択状態にします。

全選択……撮影したすべての静止画にを表示して選択状態にします。

1件解除……囲み枠のある静止画のが消えて選択状態を解除します。

全解除……すべての静止画のが消えて選択状態を解除します。

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を、鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

画像保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した画像の保存先を設定します。

選択ファイル制限（お買い上げ時：なし）……を付けた静止画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

全ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影したすべての静止画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.163

取り消し……撮影した静止画をすべて削除して連続撮影画面に戻ります。

おしらせ

<全保存＆自作アニメ>
- 1枚だけ撮影した場合や、撮影した静止画をすでに1枚以上保存している場合、「全保存＆自作アニメ」は選択できません。
- 「画像保存先選択」で「microSD」に設定している場合は、本体のマイピクチャのカメラフォルダに保存されます（microSDメモリーカードには保存されません）。

<鏡像表示>
- 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

機能 連続撮影詳細表示確認画面

1 連続撮影詳細表示確認画面（P.165）▶α［機能］▶以下の項目から選択

保存……「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

鏡像保存……撮影した静止画を、左右を反転させて「画像保存先選択」で設定したフォルダに保存します。

iモードメール作成……「撮影した静止画を利用してiモードメールやデコメールを作成する」→P.166

鏡像表示⇔正像表示……確認画面の画像を鏡像表示にするか正像表示にするかを切り替えます。

表示サイズ設定……画像サイズがQCIF（176×144）以下の画像の表示方法を設定します。

- **等倍表示**（お買い上げ時）……実際のサイズで画面に表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した静止画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

おしらせ

<鏡像表示>
- 内側カメラで撮影した場合、左右が反転した鏡像表示になっています。「正像表示」を選択すると実際に撮影された画像の表示にすることができます。

フレームを重ねて撮影する<フレーム撮影>

- 画像サイズがCIF（352×288）、フルスクリーン（240×345）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、SubQCIF（128×96）のときに利用できます。
- 内蔵されているフレームのほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。
- お買い上げ時に登録されている「フレーム」については、P.365をご覧ください。

1 フォトモード撮影画面（P.162）▶α［機能］▶「フレーム選択」▶フレームを選択

■ **フレームの内容を確認する場合**
▶フレーム選択画面で✉［デモ］

■ **フレーム撮影を解除する場合**
▶「OFF」

2 カメラを被写体に向ける▶◉［撮影］

「フレーム撮影確認画面」が表示されます。

■ **登録する前にフレームを変更する場合**
▶α［機能］▶「フレーム取替え」

3 ◉［保存］

おしらせ

- 内側カメラでフレーム撮影した静止画は鏡像表示になっています。保存するときは自動的に正像で保存されます。このとき、正像に変換するときにフレームの左右も反転されます。
- 横長の画像サイズに縦長のフレームを選択した場合は、フレームを左に90度、縦長の画像サイズに横長のフレームを選択した場合は、フレームを右に90度回転します。
- カメラ機能を終了するとフレームの設定は解除されます。

撮影した静止画を利用してiモードメールやデコメールを作成する

撮影した静止画をiモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入することができます。

1 フォトモード確認画面（P.162）▶✉［✉MAIL］▶以下の項目から選択

画像添付※1

- **そのまま添付**……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。
- **QVGA縮小添付**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して添付します。

画像挿入※2

- **そのまま挿入**※3……画像サイズを変更しないで、そのまま挿入します。
- **SubQCIF縮小挿入**……画像の横と縦の比率を保持したまま、画像サイズとファイル容量を変更して挿入します。

※1：待受（240×320）以下の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま添付／QVGA縮小添付」の選択画面は表示されません。
※2：SubQCIF（128×96）の画像サイズで撮影した場合は、「そのまま挿入／SubQCIF縮小挿入」の選択画面は表示されません。
※3：QCIF（176×144）以外のときは選択できません。

2 メールを作成

iモードメールの作成／送信のしかた→P.205
デコメールの作成／送信のしかた→P.207

おしらせ

- 保存メールがいっぱいのときは、iモードメールを作成できません。

〈ムービーモード〉
動画を撮影する

- 「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定した場合は、動画撮影後、microSDメモリーカードに保存して撮影を終了します。
- 撮影時間は撮影条件によって異なります。
- 通話中は動画撮影できません。
- 動画撮影中にFOMA端末を折り畳むと、撮影が終了します。

1 フォトモード撮影画面（P.162）▶1 ▶「（ムービーアイコン）」

「ムービーモード撮影画面」が表示されます。

ムービーモード撮影画面

機能メニュー ➡P.167

2 カメラを被写体に向ける▶ ［撮影］

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。

■ ファイルサイズ設定で設定した容量になった場合
▶「OK」
ムービーモード確認画面が表示されます。

3 ［終了］

撮影が終了して「ムービーモード確認画面」が表示されます。

ムービーモード確認画面

機能メニュー ➡P.168

■ 撮影した動画を再生して確認する場合
▶α［機能］▶「再生」

■ 撮影し直す場合
▶CLR▶「YES」

4 ［保存］

おしらせ

- 動画撮影中にズーム調節などのボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。

機能 ムービーモード撮影画面

1 ムービーモード撮影画面（P.167）▶α［機能］▶以下の項目から選択

内側カメラ⇔外側カメラ……内側カメラと外側カメラを切り替えます。

カメラモード切替……カメラモードを切り替えます。

画像サイズ選択・ファイルサイズ設定……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。

品質設定（お買い上げ時：標準）……動画撮影時の画質・時間を「長時間／標準／高品質／最高品質」から選択します。
「長時間」は、撮影時間は最も長くなりますが、画質は最も低くなります。これに対し「最高品質」は、画質は最も高くなりますが、撮影時間は最も短くなります。

データ閲覧……ｉモーションのフォルダ一覧を表示します。

画質調整

- **撮影モード選択**……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。
- **明るさ調節**……撮影する明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調整します。
  ▶で明るさを調節▶［確定］
  2秒間ボタン操作をしないと自動的に設定されます。
  カメラ機能を起動したときは「±0」に設定されています。
- **ホワイトバランス設定**……撮影メニュー（P.162）と同じ設定ができます。
- **色調切替**……撮影する画像の効果を、「通常／セピア／白黒」から選択します。
- **画像チューニング**……撮影画面のちらつきを抑えます。「自動／モード1（50Hz地域）／モード2（60Hz地域）」から選択します。
  内側カメラのときは選択できません。

動画シャッター音選択（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

セルフタイマー設定……セルフタイマーを設定します。
→P.170

撮影種別設定

- **通常**（カメラ起動時）……動画と音声を録画します。
- **映像のみ**……映像のみの動画として録画します。
- **音声のみ**……音声のみの動画として録音します。

自動保存設定

- **ON**……撮影時に確認画面は表示されず、「動画保存先選択」で設定されているフォルダに自動保存されます。
- **OFF**（お買い上げ時）……撮影時に確認画面を表示します。

動画保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

表示サイズ設定

- **等倍表示**（お買い上げ時）……実際のサイズで画面に表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

保存容量確認……FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている動画のデータ容量と空きデータ容量を表示します。

ヘルプ……撮影についての説明を表示します。

おしらせ

<撮影モード選択>
- 「風景」、「接写」のときに内側カメラに切り替えた場合は、「ポートレート」に戻ります。

<ホワイトバランス設定>
- 設定内容はカメラ機能終了後も保持され、テレビ電話の映像にも反映されます。→P.54

<画像チューニング>
- 薄暗いところや極端に明るいところでの撮影、および被写体の色合いなどによっては、ちらつきが完全に消えない場合があります。

<動画シャッター音選択>
- マナーモード設定中（「メモ確認音」が「OFF」）は、確認のためのシャッター音は鳴りません。
- ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定できません。またシャッター音の音量は変更できません。

<撮影種別設定>
- ボイスモードの場合は設定できません。

<自動保存設定><ファイル制限>
- ファイルサイズ設定を「長時間」に設定しているときは設定できません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

機能 ムービーモード確認画面

1 ムービーモード確認画面（P.167）▶α［機能］▶以下の項目から選択

再生……撮影した動画を再生します。

保存……撮影した動画が「動画保存先選択」で設定されているフォルダに保存されます。

ｉモードメール作成……撮影した動画を添付したｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205
ムービーモード確認画面で✉［MAIL］を押しても動画を添付したｉモードメールを作成することができます。

待受画面設定……撮影した動画を待受画面に設定します。

表示サイズ設定……画像の表示方法を設定します。

- **等倍表示**（お買い上げ時）……実際のサイズで表示します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して表示します。

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。

動画保存先選択（お買い上げ時：本体の「カメラ」）……撮影した動画や、音声のみの動画の保存先を設定します。
microSDメモリーカードに保存する場合、映像つきの動画は「SDビデオフォルダ」内に、音声のみの動画は「マルチメディアフォルダ」内に保存されます。

ファイル制限（お買い上げ時：なし）……撮影した動画を再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

取り消し……撮影した動画を削除してムービーモード撮影画面に戻ります。

おしらせ

<ｉモードメール作成>
- 500Kバイトを超えるｉモーションメールに対応していない機種に送る場合は「ファイルサイズ設定」を「500Kバイト以下」に設定してください。

<待受画面設定>
- 待受画面に設定する動画は、「動画保存先選択」で設定したフォルダに保存されます。ただし、「microSD」に設定している場合は、本体のｉモーションのカメラフォルダに保存されます。
- 音声のみの動画の場合は設定できません。

〈チャンスキャプチャ〉
大切な場面をのがさず撮影する

動画撮影時に、撮影可能時間を過ぎても撮りたい場面まで撮影を続けることができます。

● 撮影した動画は、撮影を終了した時点から撮影可能な時間分（お買い上げ時の設定では約5分17秒）までさかのぼって保存されます。それ以前に撮影した部分は保存されません。

1 **フォトモード撮影画面（P.162）▶1▶「」**

2 **カメラを被写体に向ける▶[撮影]**

撮影が開始されます。
撮影中にズームの調節をすることができます。
撮影可能時間を過ぎると、残り撮影時間の表示が点滅します。

3 **[終了]**

撮影が終了します。

4 **[保存]**

〈ピクチャボイス〉
静止画に音声を入れる

QCIF（176×144）またはSubQCIF（128×96）の静止画を使い、その静止画に音声を付けた動画を作ることができます。

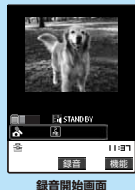
<例：静止画を撮影してピクチャボイスにする場合>

1 **フォトモード撮影画面（P.162）▶1▶「」**

■ 保存済みの静止画でピクチャボイスを作成する場合

▶α［機能］▶「カメラモード切替」▶「ピクチャボイス」▶「マイピクチャ」▶フォルダを選択▶静止画を選択▶操作3以降を行う

2 **カメラを被写体に向ける▶[撮影]**

静止画を撮影します。
静止画の撮影について→P.162
「録音開始画面」が表示されます。
音声録音前に、機能メニューから「ファイルサイズ設定」を選択することで、録音後のファイル容量を設定できます。

録音開始画面

機能メニュー➡P.169

3 **[録音]**

録音が開始されます。

4 **[停止]**

録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。
ムービーモード確認画面の機能メニュー→P.168

5 **[保存]**

機能 録音開始画面

1 **録音開始画面（P.169）▶α［機能］▶以下の項目から選択**

ファイルサイズ設定（カメラ起動時：2MB以下）……録音するときのファイル容量を「500KB以下／2MB以下」から選択します。

動画シャッター音選択（お買い上げ時：シャッター音1）……シャッター音を選択します。

〈ボイスモード〉

ボイスモードを使う

音声のみの動画として、音声を録音します。

1 フォトモード撮影画面（P.162）▶1▶「（マイク）」

「録音開始画面」が表示されます。
ムービーモード撮影画面の機能メニュー→P.167

2 ◉［録音］

録音が開始されます。

3 ◉［終了］

録音が終了すると「録音確認画面」が表示されます。
ムービーモード確認画面の機能メニュー→P.168

4 ◉［保存］

おしらせ

- 「ファイルサイズ設定」を「長時間」に設定している場合は最大約120分まで録音可能です。
- ボイスモードで録音できる音声のみの動画はMP4（Mobile MP4）形式です。

撮影時の設定を変える

ズームやセルフタイマーの設定などを行います。

ズームを使う

ズーム機能を使って、撮影する画像を写したい大きさに調節します。

- 外側カメラのときは静止画撮影、連続撮影、動画撮影で1倍〜約5倍まで16段階に調節できます。ただし、画像サイズがSXGA（1,280×960）のときは調節できません。

画面サイズ	最大倍率
VGA（640×480）	2倍
CIF（352×288）	1.78倍
フルスクリーン（240×345）	1.47倍
待受（240×320）	1.6倍
JAVA（240×240）※	2.13倍
QCIF（176×144）	3.56倍
SubQCIF（128×96）	5倍

※：ｉアプリからカメラを起動したときのみ表示されます。

- 内側カメラのときは2段階で調節できます。ただし、画像サイズが以下の場合のみ調節できます。

画面サイズ	最大倍率
CIF（352×288）	1.8倍
QCIF（176×144）	2倍
SubQCIF（128×96）	

1 各撮影画面▶（上下キー）でズームを調節

（上）：押すたびに1段階ずつ拡大します。
（下）：押すたびに1段階ずつ1倍（標準）に戻ります。
（上下）を押し続けると連続的に変化します。

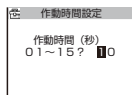
おしらせ

- カメラ機能を起動したときは「1倍」になっています。また、画像サイズやカメラモードを切り替えたときも「1倍」になります。
- ズームを調節すると画質が多少変化する場合があります。

セルフタイマーを使う

- 撮影終了後、セルフタイマーは「OFF」に戻ります。

1 各撮影画面▶α［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「ON」▶セルフタイマーの時間（01〜15秒の2桁）を入力

お買い上げ時は「10秒」に設定されています。

● セルフタイマーを設定すると

ディスプレイに「（セルフタイマー）」が表示され、セルフタイマーが設定されていることを示します。

◉［撮影］を押すと、セルフタイマーの開始音が鳴ってセルフタイマーが動作をはじめます。

着信イルミネーションが青色で点滅し、ディスプレイの「（セルフタイマー）」も点滅します。

撮影される約5秒前からカウント音が鳴り、着信イルミネーションの点滅が速くなります。

■ セルフタイマーの設定を解除する場合

▶α［機能］▶「セルフタイマー設定」▶「OFF」

■ タイマーの動作を止める場合

▶✉［中止］またはCLR

おしらせ

- セルフタイマーのカウント中に◉［撮影］を押して手動で撮影することもできます。
- マニュアル連続撮影では、セルフタイマーを利用できません。

〈バーコードリーダー〉
バーコードリーダーを利用する

外側カメラを利用しJANコード、QRコードを読み取ります。とくにQRコードの場合、読み取りデータからPhone To/AV Phone To、Mail To、Web To、iアプリTo、ブックマーク登録、電話帳登録、文字表示、文字のコピーを行うことができます。また、画像やメロディのデータを読み取り、再生や保存をすることもできます。
- 読み取りデータは5件まで登録できます。
- FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- バーコードを読み取るときは、外側カメラをバーコードから約7～9cm離してください。

■JANコード、QRコードについて
- JANコードとは
  太さや間隔の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。8桁(JAN8)および13桁(JAN13)のバーコードを読み取ることができます。

※ 右上のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113068」と表示されます。

- QRコードとは
  縦・横方向の模様で数字、英字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。

※ 右上のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

- 読み取る前に、レンズ切替スイッチを🌷(マクロレンズ)に切り替え、接写モードにしてください。
  →P.158

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「バーコードリーダー」

2 JANコードまたはQRコードを認識範囲に表示

自動的に読み取りが開始されます。
認識範囲は画面の四隅に“┏、┓、┗、┛”で示されています。ピントが合った状態で、JANコードまたはQRコード全体が認識範囲の中にできるだけ大きく入るようにします。

読み取り画面

機能メニュー➡P.171

■ 読み取りを中止する場合
▶◉［中止］▶「OK」

■ ズームを調節する場合
◨：拡大されます。
◧：標準に戻ります。

■ 複数のQRコードに分かれているデータを読み取る場合
▶「OK」▶◉［読取］▶QRコードを認識範囲に表示
最大16枚に分割された複数のQRコードを読み取ることができます。

3 読み取ったデータを確認

読み取りに時間がかかる場合があります。

■ 読み取ったデータを破棄する場合
▶CLR▶「YES」

4 α［機能］▶「登録」▶「YES」▶「OK」

読み取ったデータが保存されます。

おしらせ
- JANコード、QRコード以外のバーコードは読み取れません。また、バーコードのサイズによっては、読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては正しく認識できない場合があります。
- 文字編集画面からバーコードリーダーを起動することができます。このとき、読み取ったデータは文字編集画面に入力されます。ただし、登録済みの情報の表示や、読み取った情報の保存を行うことはできません。また、画像やメロディの情報は正しく読み取りできません。なお、文字編集画面で入力できない文字はスペース（空白）に置き換わります。
- 読み取った以下の画像データは登録できません。
  - 横2,304×縦1,728、横1,728×縦2,304ドットより大きな画像
  - 横690×縦480、横480×縦690ドットより大きなプログレッシブJPEG画像、GIF画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- 読み取ったデータをmicroSDメモリーカードに登録することはできません。

機能 読み取り画面

1 読み取り画面（P.171）▶α［機能］▶以下の項目から選択

読み取りデータ一覧……「読み取りデータを利用する」→P.172

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

読み取りデータを利用する

● 利用できる読み取りデータは、以下のとおりです。

項目	説明
電話帳登録	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、郵便番号、住所、メモを電話帳に一括登録→P.91
メール作成	宛先、題名、本文が一括入力されたｉモードメールを作成→P.205
Bookmark登録	URLとタイトル名をブックマークに登録→P.182
ｉアプリ起動	指定されているｉアプリを起動→P.244
メロディのアイコン	そのメロディを再生→P.271
電話番号	Phone To（AV Phone To）機能を利用して電話をかける→P.188
メールアドレス	Mail To機能を利用してｉモードメールを作成→P.188
URL	Web To機能を利用してサイトに接続→P.188

1 読み取り画面（P.171）▶α［機能］▶「読み取りデータ一覧」

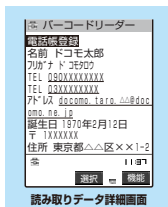
「読み取りデータ一覧画面」が表示されます。

読み取りデータ一覧画面

機能メニュー➡P.172

2 読み取りデータを選択

「読み取りデータ詳細画面」が表示されます。

読み取りデータ詳細画面

機能メニュー➡P.172

3 表示されている項目を選択

おしらせ

- 読み取りデータにバーコードリーダーで扱えない文字が含まれている場合、その文字はスペース（空白）に変換されます。
- 読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
  - ・タイトル：yyyymmdd_hhmm_xxxx（年月日_時刻_4桁の数字）
    同じ時刻で複数保存したときは、4桁の数字が登録した順に増えます。

機能 読み取りデータ一覧画面

1 読み取りデータ一覧画面（P.172）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……読み取りデータのタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます。

結果表示……読み取りデータ詳細画面を表示します。

1件削除・全削除……読み取りデータを1件または全削除します。

機能 読み取りデータ詳細画面

1 読み取りデータ詳細画面（P.172）▶α［機能］▶以下の項目から選択

登録……読み取ったデータを登録します。

一覧表示……読み取りデータ一覧画面を表示します。表示しているデータが未登録の場合、データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

Internet……URLを反転している場合、そのURLのサイトに接続します。「Web To機能」→P.188

ｉモードメール作成……「メール作成」を反転している場合、読み取りデータが入力されたｉモードメールを作成します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスが宛先に入力されたｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

電話発信……電話番号を反転している場合、その電話番号に電話をかけます。「Phone To機能」→P.188

電話帳登録……「電話帳登録」を反転している場合、読み取りデータを電話帳に登録します。
電話番号を反転している場合、その電話番号を電話帳に登録します。
メールアドレスを反転している場合、そのメールアドレスを電話帳に登録します。
「電話帳に登録する」→P.91

Bookmark登録……「Bookmark登録」を反転している場合、読み取りデータをBookmarkに登録します。
URLを反転している場合、そのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」→P.182

画像保存……▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

メロディ保存……▶「YES」▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択
着信音などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

ｉアプリ起動……「ｉアプリ起動」を反転している場合、読み取りデータで指定されているｉアプリを起動します。

コピー……読み取りデータに入力されている文字をコピーします。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

おしらせ

＜Internet＞＜Bookmark登録＞
- URLに使用できない文字が含まれている場合、Web To機能の利用やBookmark登録はできません。

＜ｉモードメール作成＞
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

＜電話発信＞
- 電話をかけることができる文字は、全角／半角の数字と全角／半角の記号（＃＊＋Ｐｐ）です。これら以外の文字が含まれている場合、電話をかけることはできません。
- テレビ電話画像の設定は発信や通話が終了しても保持されませんので発信ごとに設定してください。

＜ｉアプリ起動＞
- 「ｉアプリTo設定」の「バーコードからｉアプリTo」のチェックが外れていると、読み取ったデータからｉアプリを起動することはできません。
- 指定されているソフトがない場合、ｉアプリは起動できません。

● i モード／ i モーション／ i チャネル

ｉモードとは

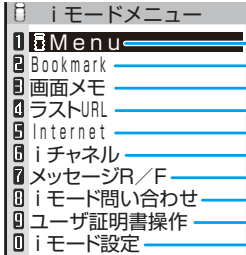
ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。
- ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ ｉモードのご使用にあたって

- ・サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ・ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR／F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れた場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、動画、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示、再生できません。
- ・FOMAカードにより表示、再生が制限されているファイルが待受画面や着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れると、お買い上げ時の設定内容で動作します。

■お願い

- ブックマークに登録した内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。ブックマークの内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290

〈ｉモードメニュー〉

ｉモードメニューを表示する

ｉモードを開始する

1 α［ｉmode］

「ｉモードメニュー画面」が表示されます。

■「圏外」が表示されている場合

サービスエリア外または電波が届かないところにいます。

「Y.ıl」など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

■「⇔」が点滅している場合

ｉモードセンターとの通信中に点滅します。

■「ｉ」が点滅している場合

ｉモードのサービスを受けているとき（ｉモード中）に点滅します。

おしらせ

- ｉモードのサービスエリアはFOMAのサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。
- 圏外でもｉモードメニュー画面を表示できます。ただし、圏外ではサイトやインターネットで情報の送受信などはできません。

ｉMenu画面を表示する

1 α［ｉmode］▶「ｉMenu」

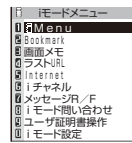
ｉモードセンターに接続して、「ｉMenu画面」が表示されます。

■ページの取得を中止する場合

▶CLRまたは✉［中止］

ｉモードメニュー画面

➡

ｉMenu画面

ｉモードを終了する

1 ｉモード中に[☎]▶「終了する」

「[icon]」が点滅した後、「[icon]」が消灯します。

■終了しない場合
▶「終了しない」

■ｉモードを中断する場合
▶「中断する」
待受画面が表示され、他の操作が行えるようになります（一部利用できない機能があります）。
ｉアプリやミュージック、音声通話などを起動していた場合は、それぞれの画面に戻ります。

おしらせ

- [☎]を2秒以上押したときは、電源が切れます。

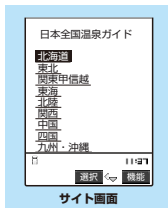
サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます（別途申し込みが必要なことがあります）。

1 [α]［imode］▶「ｉMenu」

2 「メニュー／検索」▶サイトの項目を選択し、目的のサイト画面を表示

「サイト画面」が表示されます。

サイト画面

機能メニュー➡P.178

おしらせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。
- サイトによっては、画像を表示できない場合があります。
- 画像を取得できなかった場合、「[icon]」が表示されます。ただし、背景画像を取得できなかった場合「[icon]」は表示されません。
- サイトに接続中でも、電話の発着信やメールの送受信ができます（P.304）。
- 表示したサイトの画面で下線が表示されている項目があるときは、その項目を選択することにより関連するページ（リンク先）へ進むことができます。
- 表示中のサイト画面は情報が自動的に更新されませんので、最新の情報を表示するには機能メニューから「再読み込み」を行ってください。
- サイトによっては、サイトの画面の表示色数がFOMA端末の最大表示色数を超えるため、実際のサイト画面と表示が異なることがあります。
- ｉモード対応のサイトやインターネットホームページによっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。

●スクロール機能について

サイトのページで文章や一覧が画面内におさまらずに続きがあるときは、スクロールすることにより続きを見ることができます。

[▽]：下方向にスクロール
[△]：上方向にスクロール
[▽][MEMO／CHECK]：画面単位で下方向にスクロール
[△][⮌]：画面単位で上方向にスクロール
・スクロール設定について→P.189

●「みんなＮらんど」について

ｉMenuの中のサイト「みんなNらんど」から、FOMA端末で利用できるｉアプリ、辞書、デコメールのテンプレート、マイシグナルのアニメーションなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。
「みんなＮらんど」への接続のしかたには以下の2とおりの方法があります。

・「ｉMenu」→「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなＮらんど」の順に選択
・右のQRコードを読み取り、表示されたURLを選択→P.171

●携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号について

サイトやインターネットホームページの画面を表示しているときに項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信することを示すメッセージが表示されることがあります。

- 携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信される前には必ず、送信することを示すメッセージが表示されます。自動的に送信されることはありません。

おしらせ

- 送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IPの提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
- 送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

機能 サイト画面

1 サイト画面（P.177）▶α［機能］▶以下の項目から選択

Bookmark登録……「ブックマークに登録する」→P.182

Bookmark一覧……「ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する」→P.183

画面メモ保存……「画面メモを保存する」→P.184

画面メモ一覧……「画面メモを表示する」→P.184

画像保存……「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.185

iモードメール作成……ページのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成します。

- **URL貼付**……ページのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。
  「iモードメールを作成して送信する」→P.205
- **画像添付**……画像を添付してiモードメールを作成します。
  ▶画像を選択
  「iモードメールを作成して送信する」→P.205
- **画像挿入**……画像を本文中に挿入してデコメールを作成します。
  ▶画像を選択
  「デコメールを作成して送信する」→P.207

URL入力……URLを入力してインターネットホームページに接続します。
▶◉［選択］▶URLを入力▶「OK」▶「OK」

電話帳登録……「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」→P.180

デスクトップ貼付……表示中のページのURLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。
「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

スケジュール参照登録……ページを参照しながらスケジュールを登録します。
「スケジュールを登録する」→P.306

辞典検索……辞典を起動します。
「辞典を利用する」→P.319

ホーム登録／表示

- **ホーム登録**……表示中のページのURLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。
- **ホーム表示**……ホームURLに登録されているページを表示します。

文字コード変換……ページが正しく表示されていない場合に文字コードを変えて表示し直します。

再読み込み……ページを新しい情報に更新します。

リトライ……ページのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

i Menu……i Menu画面を表示します。

iモードメニュー……iモードメニューを表示します。

サイト情報表示

- **タイトル表示**……ページのタイトルを表示し、確認します。
- **URL表示**……ページのURLを表示し、確認します。すべてのURLが表示されない場合は、◉［選択］を押し、Ⓠでカーソルを移動して確認します。もう一度◉［選択］を押すとカーソルが消えます。
- **証明書表示**……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

サイト設定

- **画像表示設定**……ページの画像表示をするかしないかを設定します。「表示しない」を選択したときは、表示されない画像の代わりに「🖼」が表示されます。
- **iモーションタイプ設定**……「取得するiモーションのタイプを設定する」→P.197
- **効果音設定**……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（ON／OFF）を設定します。

おしらせ

<iモードメール作成>
- 本文に貼り付けできるURLの文字数は半角256文字までです。半角256文字を超えるときは貼り付けできません。

<ホーム表示>
- 「ホームURL設定」が無効に設定されているときは、「ホーム表示」は利用できません。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続している場合は、待受画面でスイッチを押してもホーム登録したサイトが表示されます。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作をすると、元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。
- 「文字コード変換」は表示中のサイトに対してのみ有効です。

<リトライ>
- 再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

<タイトル表示>
- タイトルは全角64文字、半角128文字まで表示されます。

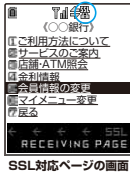
<証明書表示>
- 証明書は最大5枚まで表示され、証明書が複数枚あるときは、Ⓗで前後の証明書を確認できます。
- 証明書が表示されているときは、「スクロール設定」の設定にかかわらず一定の速度でスクロールします。

SSL対応ページを表示する

SSL対応ページを表示するには、以下の証明書が必要です。

● CA証明書：認証会社が発行した証明書が、お買い上げ時にFOMA端末内に保存されています。
● ドコモ証明書：FirstPassセンターへ接続するために必要な証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。
● ユーザ証明書：iモードメニューの「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書が、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

1 SSL対応ページを表示

SSL対応ページの画面が表示され、「SSL」が表示されます。

SSL対応ページの画面

■ 認証中に中止する場合
▶「Cancel」

■ 認証後のページを取得中に中止する場合
▶✉［中止］

2 SSL対応ページから通常のページを表示▶「YES」

SSL通信が終了し、「SSL」の表示が消えます。

おしらせ

● SSL対応ページを表示するときに「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」などのメッセージが表示されることがあります。このようなメッセージは、ページのSSL証明書が期限切れになっている場合や、サポートしていない場合などに表示されます。「YES」を選択すると、続けてページを表示できますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

最後に表示したページに再接続する ＜ラストURL＞

ページを表示するたびに、表示中のURLが「ラストURL」に記憶され、iモードを終了した際には、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。「ラストURL」を使って、最後に表示したページに再接続します。

1 α［imode］▶「ラストURL」▶「YES」

おしらせ

● シークレットフォルダのBookmarkからサイトに接続した場合は、ラストURLにその履歴は保存されません。

サイトの見かたと操作

サイトを見るときに使う操作について説明します。

画像の表示について

● FOMA N703iμでは、GIF形式、JPEG形式の各画像と、Flash画像（P.181）が表示できます。ただし、画像によってはそれらの形式であっても表示できない場合があります。
● Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示とは異なることがあります。
● 画像を表示するかしないかを「画像表示設定」で設定できます。

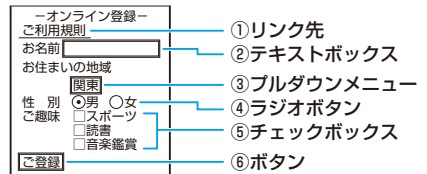
■ 表示される画像のアイコンについて

（カラー）：画像を取得中、または「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合に表示

：画像を取得できなかった場合に表示

（白黒）：取得できない画像の場合に表示

リンク先や項目を選択する

iモード接続中に、サイトによっては以下の操作が必要となる場合があります。

①リンク先
項目を選択するとリンク先のページに移動します。

②テキストボックス
文字を直接入力します。選択すると文字入力画面が表示されます。

③プルダウンメニュー
選択肢の一覧から項目を選択します。選択肢の一部だけが見えている状態で表示され、選択すると隠れている複数の選択肢が一覧で表示されます。

④ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択します。⦿が選択された状態です。

⑤チェックボックス
選択肢の中から複数の項目を選択できます。☑が選択された状態です。

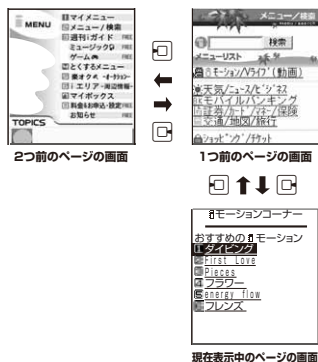
⑥ボタン
選択すると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。

前のページに戻る／進む

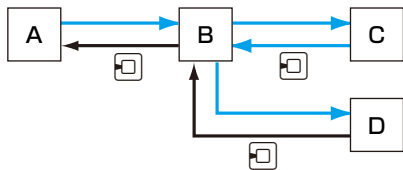
最大30ページまでキャッシュに取得済みの前のページに戻ったり、キャッシュに取得済みのページへ進むことができます。

1 前のページに戻るときは□、次のページに進むときは□

2つ前のページの画面　1つ前のページの画面

現在表示中のページの画面

おしらせ

- □を続けて押すことにより、これまで表示したページをさかのぼって表示できます。ただし、途中で□を押して前のページに戻り（「C」から「B」に戻る）、そのページからほかのページ（「B」から「D」）を表示させたときは、「D」から□を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページを表示します。

■画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合

■キャッシュに記憶されたページを表示するときは

- キャッシュとは、表示したサイトやインターネットホームページなどのデータを一時的に記憶する端末内の場所です。サイトやインターネットホームページなどを表示中に□を押してページを移動すると、通信を行わずにキャッシュとして記憶されたページを表示します。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示するときは、□を押した場合でも通信を行います。また、ページがキャッシュに記憶されていても、そのページの日付時刻情報が更新されている場合は通信を行って最新情報を表示します。
- キャッシュから読み込んだ場合でも、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュはクリアされます。
- SSL対応のページをキャッシュから読み込んだときは、SSLページを表示するという内容のメッセージが表示されます。

情報を再読み込みする

表示中のページを新しい情報に更新します。

1 サイト画面（P.177）▶α［機能］▶「再読み込み」

おしらせ

- アンケートの回答などの送信完了画面で「再読み込み」をした場合、再度送信するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、一度送信した内容と同じものが再び送信されますのでご注意ください。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する＜電話帳登録＞

サイトのページや画面メモなどに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。

＜例：サイトに表示されている電話番号を登録する場合＞

1 サイト画面（P.177）▶α［機能］▶「電話帳登録」▶「YES」▶電話帳に登録

電話帳の登録のしかた→P.91

電話番号に名前やフリガナ、メールアドレスの情報が付加されている場合は、電話番号とともに入力されます。残りの必要な項目を入力して電話帳に登録します。

Flash画像の操作について

絵や音によるアニメーション技術を用いたFlash画像に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存することができません。
- バイブレータ振動が設定されているFlash画像を再生した場合、「バイブレータ」の設定にかかわらず振動しますのでご注意ください。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- 画面下部に「◁⇕▷」が表示されていなくても、Flash画像の操作ができる場合があります。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像も表示されません。
- 「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定した場合は、端末情報データ（時刻、日付、受信レベル、電池残量、着信音量、使用言語、機種種別、機種情報）を利用することができます。

おしらせ

- Flash画像を再度動作させたい場合は、機能メニューから「リトライ」を選択してください。
- Flash画像によっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「効果音設定」を選択して「効果音OFF」に設定してください。なお、「バイブレータ」が「メロディ連動」に設定されていても、Flash画像の効果音には連動しません。
- 「画面表示設定」でFlash画像を待受画面などに設定した場合、Flash画像に設定されている効果音やバイブレータ振動は動作しません。また、「リトライ」による再度動作もできません。
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなど、サイトでの見え方と異なる場合があります。

〈マイメニュー〉

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは最大45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- インターネットホームページに簡単に接続するには、「ブックマーク」をご利用ください。

1 サイト画面（P.177）▶「マイメニュー登録」▶「ｉモードパスワード入力」のボックスを選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

ｉモードパスワードについて→P.181

おしらせ

- ｉMenu のメニュー／検索内の有料サイトに申し込まれると自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューに登録したサイトを表示する

1 α［imode］▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶サイトを選択

おしらせ

- マイメニューからサイトに接続するためには、あらかじめマイメニューに登録しておく必要があります。
- デュアルネットワークサービスをご利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、またFOMA端末で登録したマイメニューをmova端末でご利用になれない場合があります。

〈ｉモードパスワード変更〉

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などをするときは、4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。

- ｉモードパスワードが変更されるまでは、「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されています。お客様のお好みで、FOMA端末から自由にｉモードパスワードを変更してください。
- ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただき、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただくことになります。

1 α［imode］▶「ｉMenu」▶「料金&お申込・設定」▶「オプション設定」▶「ｉモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のボックスを選択▶現在のｉモードパスワードを入力

入力した数字は「*」で表示されます。

3 「新パスワード」のボックスを選択▶新しく設定するｉモードパスワードを入力

ｉモードパスワードは4桁の数字で入力してください。

4 「新パスワード確認」のボックスを選択▶新しく設定するｉモードパスワードを再度入力

操作3で入力した数字と同じものを入力します。

5 「決定」

■「現在のパスワード」が間違っている場合

ｉモードパスワードが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

■「新パスワード」と「新パスワード確認」が一致しない場合

ｉモードパスワードが一致しないことを通知するメッセージが表示されます。

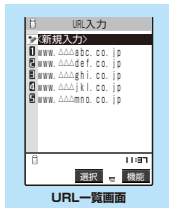
〈インターネット接続〉

インターネットホームページを表示する

任意のURLを入力してインターネットホームページを表示します。
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。

1 **α［iモード］▶「Internet」▶「URL入力」**

「URL一覧画面」が表示されます。

URL一覧画面

機能メニュー➡P.182

2 **「<新規入力>」▶URLを入力▶「OK」▶「OK」**

■「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない場合

URLが間違っていることを通知するメッセージが表示されます。

おしらせ
- 接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。
- 受信したデータが取得可能な１ページの最大サイズを超えたときは、受信を中断します。◉［選択］を押すと、取得したところまでのデータが表示される場合があります。
- URLに入力できる文字数は、「http://」または「https://」を含めて半角256文字までです。

URL履歴を使って表示する

これまでに入力したURLをURL履歴として10件まで記録します。

1 **α［iモード］▶「Internet」▶「URL入力」**

2 **URLを選択▶「OK」▶「OK」**

■選択したURLを編集する場合

▶「Internetアドレス」のボックスを選択▶URLを編集

おしらせ
- 履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを入力して接続したときは、同じURLでも別の履歴として記録されます。
- URL履歴は「http://」または「https://」を除いた半角22文字までが表示されます。

機能 URL一覧画面

1 **URL一覧画面（P.182）▶α［機能］▶以下の項目から選択**

デスクトップ貼付……URLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。
「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

ｉモードメール作成……URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは１件です。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

〈ブックマーク〉

インターネットホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るインターネットホームページやサイトをすぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。
- 登録したブックマークは、タイトルを変更したり、フォルダごとに分けて管理することができます。

ブックマークに登録する

- ブックマークは、100件まで登録できます。
- 登録できる１件あたりのURLの文字数は、半角256文字までです。
- サイトによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

<例：サイト表示中の場合>

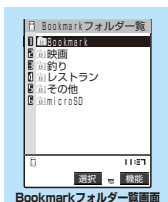
1 **サイト画面（P.177）▶α［機能］▶「Bookmark登録」▶「YES」▶フォルダを選択**

おしらせ
- ブックマークのタイトルは、全角12文字、半角24文字まで登録され、超えた部分は削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが表示されます。

ブックマークからインターネットホームページやサイトを表示する

1 α［ｉmode］▶「Bookmark」

「Bookmarkフォルダ一覧画面」が表示されます。

シークレットモード、シークレット専用モードのときには、シークレットフォルダも表示されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.183

2 フォルダを選択

「Bookmark一覧画面」が表示されます。

Bookmark一覧画面

機能メニュー ➡P.183

3 ブックマークを選択

おしらせ

- ブックマークの一覧から表示したページのタイトルは、利用した順に表示されます。

機能 Bookmarkフォルダ一覧画面

- お買い上げ時にすでにあるBookmarkフォルダは、削除やフォルダ名の変更はできません。

1 Bookmarkフォルダ一覧画面（P.183）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。追加作成できるフォルダは9個までです。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ並び替え……フォルダを並び替えます。
▶移動先を選択

登録件数確認……すべてのフォルダ内のブックマークの件数を表示します。

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

microSDへ全コピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

フォルダ削除……フォルダとそのフォルダ内のブックマークを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

Bookmark全削除……ブックマークをすべて削除します。ただし、ブックマークのフォルダは削除されません。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

<フォルダ名編集><フォルダ並び替え><フォルダ削除>
- Bookmarkフォルダ、microSDフォルダ、シークレットフォルダはフォルダ名編集や並び替え、削除はできません。

<登録件数確認>
- microSDフォルダ、シークレットフォルダ内の件数は表示されません。

<Bookmark全削除>
- microSDフォルダ、シークレットフォルダ内のブックマークは削除されません。

機能 Bookmark一覧画面

1 Bookmark一覧画面（P.183）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ移動

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶✥で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

全移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

タイトル編集……タイトルを編集します。全角12文字、半角24文字まで入力できます。

デスクトップ貼付……URLをデスクトップアイコンとして貼り付けます。
「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

ｉモードメール作成……URLを本文に貼り付け、ｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

メール添付……ブックマークを添付したｉモードメールを作成します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

ホーム登録……URLをホームURLに登録します。ホームURLに登録できるURLは1件です。

URLコピー……ブックマークのURLをコピーします。
▶✥でコピーする部分の先頭の文字を反転▶◉［始点］▶✥でコピーする部分の最後の文字を反転▶◉［終点］
コピーしたURLは文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。→P.351

登録件数確認……フォルダ内のブックマークの件数を表示します。

次ページにつづく

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1……「各種データを表示できないようにする」→P.141

Bookmark情報表示※2……ブックマークの情報を表示します。

※1：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されているブックマークのときのみ表示されます。

おしらせ

<フォルダ移動>
- microSDフォルダ、シークレットフォルダへ移動することはできません。

<タイトル編集>
- タイトルを削除した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。

<全削除>
- 「全削除」で削除されるのは表示しているフォルダ内のブックマークです。ほかのフォルダのブックマークは削除されません。

〈画面メモ〉
サイトの内容を保存する

乗り換え案内の検索結果など、一度表示したページを画面メモとしてFOMA端末に保存します。
- 画面メモは最大100件まで保存できます。保存可能件数は、保存するページのデータ量などにより変動します。

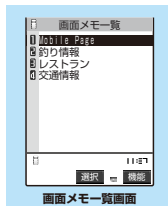
画面メモを保存する

1 サイト画面（P.177）▶α［機能］▶「画面メモ保存」▶「YES」

おしらせ
- SSL対応ページの画面を保存すると、そのページのSSL証明書も保存されます。
- 画面メモのタイトルは全角11文字、半角22文字までが保存され、超えた部分は削除されます。
- 同じページを保存したときは、上書きされずに別の画面メモとして保存されます。
- サイト画面を画面メモに保存するときにラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニュー、セレクトボックスに項目を入力していても、登録した画面メモには入力されていません。
- データ取得完了画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。ただし、再生期限付きのｉモーションや着うたフル®のデータ取得完了画面は、画面メモとして保存できません。
- データ取得完了画面以外は、そのページのURLを半角256文字まで保存します。

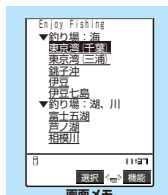
画面メモを表示する

1 α［imode］▶「画面メモ」

「画面メモ一覧画面」が表示されます。

画面メモ一覧画面

機能メニュー➡P.184

2 画面メモを選択

「画面メモ詳細画面」が表示されます。

画面メモ
（画面メモ詳細画面）

機能メニュー➡P.185

おしらせ
- 画面メモの情報は、保存したときの情報のため、最新の情報とは異なる場合があります。
- 保存したページにタイトルがないときは、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

機能 画面メモ一覧画面

1 画面メモ一覧画面（P.184）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……タイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「🔑」が表示されます。保護解除すると、「🔑」の表示が消えます。

保存件数確認……保存されている画面メモの件数と、その内、保護されている画面メモの件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

<タイトル編集>
- タイトルを削除した場合は、「無題」と登録されます。

<保護／保護解除>
- 保護できる画面メモは最大50件までです。保護できる最大件数は画面メモのデータ量により変動します。

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

機能 画面メモ詳細画面

1 画面メモ詳細画面（P.184）▶α［機能］▶以下の項目から選択

画像保存……画面メモに表示されている画像を保存します。
「サイトやメッセージから画像を取得する」→P.185

電話帳登録……画面メモに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
「電話帳に登録する」→P.91

タイトル編集……画面メモのタイトルを編集します。全角11文字、半角22文字まで入力できます。

保護／保護解除……画面メモを保護／保護解除します。保護をすると、タイトルに「」が表示されます。保護解除すると、「」の表示が消えます。

iモードメール作成……画面メモのURLを本文に貼り付けたり、画像を添付、挿入してiモードメールやデコメールを作成することができます。

- **URL貼付**……画面メモのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。
「iモードメールを作成して送信する」→P.205
- **画像添付**……画面メモの画像を添付してiモードメールを作成します。
▶画像を選択
「iモードメールを作成して送信する」→P.205
- **画像挿入**……画面メモの画像を本文中に挿入してデコメールを作成します。
▶画像を選択
「デコメールを作成して送信する」→P.207

スケジュール参照登録……画面メモを参照しながらスケジュールを登録します。
「スケジュールを登録する」→P.306

辞典検索……辞典を起動します。
「辞典を利用する」→P.319

URL表示……画面メモのURLを表示し、確認します。

証明書表示……画面メモがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

効果音設定……Flash画像の効果音を鳴らすか鳴らさないか（ON／OFF）を設定します。

リトライ……画面メモのFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

削除……画面メモを削除します。

おしらせ

<URL表示>
- 表示されたURLの編集はできません。

<リトライ>
- 再生中に選択すると、画像を最初から再生します。

<削除>
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

有料コンテンツのダウンロードについて

サイトからダウンロードできる各種コンテンツ（画像やメロディ、着うたフル®など）の中には、有料のものがあります。有料コンテンツをダウンロードしようとしたときには、購入確認のメッセージおよびiモードパスワード入力画面が表示されます。

おしらせ
- 不正なデータをダウンロードしようとした場合などは、その旨を通知するメッセージが表示されます。
- iモードパスワードを入力してから、ダウンロードを開始するまでに2分以上経過していると、そのコンテンツのダウンロードはできません。再度iモードパスワードを入力してください。
- iモード設定の「画像表示設定」が「表示しない」に設定されていると、画像コンテンツのダウンロードはできません。

〈画像保存〉
サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイトや画面メモ、iモードメール、メッセージR／Fに表示または添付されている画像や背景画像、アニメーションを保存すると、待受画面やウェイクアップ表示などに設定できます。
- 画像はデコメールピクチャやデコメ絵文字など、撮影した静止画などと合わせて最大720件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトに表示されている通常画像を保存する場合>

1 サイト画面（P.177）▶α［機能］▶「画像保存」▶「通常画像」▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択

保存する画像に □ を合わせます。

■ **背景画像を保存する場合**
▶「画像保存」▶「背景画像」▶「YES」▶フォルダを選択

2 「YES」▶項目を選択

■ **待受画面などに設定しない場合**
▶「NO」

おしらせ
- 以下の画像は保存できません。
  - 横2,304×縦1,728、横1,728×縦2,304ドットより大きな画像
  - 横690×縦480、横480×縦690ドットより大きなプログレッシブJPEG画像、GIF画像
  - ファイル容量が100Kバイトを超える画像
- デコメ絵文字は、マイピクチャのデコメ絵文字フォルダに保存されます。
- おまかせデコメールピクチャの対象画像の場合、保存先としておまかせデコメフォルダを選択できます。

おしらせ

- 保存された画像のファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「imageXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定しているときは保存できません。また、「 」が表示されている場合も保存できません。
- アニメーションGIFファイルではない透過GIFファイルで、ファイルの拡張子が「ifm」の画像は、以下の画像サイズによって、フレームまたはスタンプとして保存されます。
  - ・フレームは画像サイズがCIF（352×288）、CIF縦（288×352）、QVGA（320×240）、フルスクリーン（240×345、345×240）、待受（240×320）、QCIF（176×144）、QCIF縦（144×176）、Sub-QCIF（128×96）、Sub-QCIF縦（96×128）の画像
  - ・スタンプはフレーム画像以外の240×240ドット以下の画像

■お願い

- 保存した画像は、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに転送して保管することもできます（メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像は、パソコンに転送することはできません）。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■プログレッシブJPEG形式の画像とは

プログレッシブJPEG形式の画像とは、サイトやインターネットホームページなどの画像に利用されているJPEG形式のひとつです。最初は画像全体が粗く表示され、徐々に鮮明に表示されます。

〈iメロディ〉

サイトからiメロディをダウンロードする

サイトから保存した最新のメロディやお好みのメロディ、またiモードメールに添付されているメロディを保存すると、着信音などに設定できます。

- メロディは最大200件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

<例：サイトからメロディを保存する場合>

1 サイト画面（P.177）▶メロディを選択

2 「保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■メロディを再生する場合
▶「再生」

■メロディの情報を表示する場合
▶「情報表示」

3 「YES」▶項目を選択

■着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

- 接続するサイトやメロディのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディでは、再生するときにはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。
- 保存されたメロディのファイル名が半角英数字のみの場合は、そのファイル名で半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合は、ダウンロードしたURLの最後の「/」から「.」の間の文字がファイル名になります。ただし「/」から「.」の間がない場合などは、「melodyXXX」（XXXは数字）のファイル名で保存されます。
- ダウンロードしたメロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定された音量で再生されます。

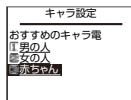
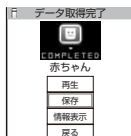
■お願い

- 保存したメロディは、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます（メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディは、パソコンに転送することはできません）。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからお好みのキャラ電をダウンロードして保存します。

● お買い上げ時に登録されているデータを含めて10件まで保存できます。

1 サイト画面(P.177)▶キャラ電を選択

2 「保存」▶「YES」

■ キャラ電を再生する場合

▶「再生」

キャラ電の操作方法について→P.270

■ キャラ電の情報を表示する場合

▶「情報表示」

おしらせ

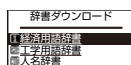
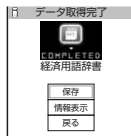
- 1件につき100Kバイトまでのキャラ電をダウンロードすることができます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した後、元に戻すときは「みんなNらんど」からダウンロードしてください。→P.177

サイトからデータファイルをダウンロードする

サイトから辞書、デコメールピクチャ、おまかせデコメールピクチャ、デコメールのテンプレート、マイシグナルのアニメーションデータなどのデータファイルをダウンロードして保存し、いろいろな用途に利用することができます。

● 辞書は最大5件まで、デコメールピクチャ、おまかせデコメールピクチャなどの画像は撮影した静止画などと合わせて最大720件まで、デコメールテンプレートはお買い上げ時に登録されているデータと合わせて最大45件まで、マイシグナルのアニメーションデータは10件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されているデータのデータ量により少なくなる場合があります）。

<例：サイトから辞書ファイルをダウンロードする場合>

1 サイト画面（P.177）▶データファイルを選択

2 「保存」▶「YES」

■ 辞書の情報を表示する場合

▶「情報表示」

■ 保存されている辞書がいっぱいの場合

▶削除する辞書を選択▶「YES」

選択した辞書に上書きされて、辞書が登録されます。

おしらせ

- テンプレートのファイル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。
- 接続するサイトやデータファイルのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。

Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイトのページやメールなどに表示されている情報（電話番号、メールアドレス、URL）を利用して、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示します。

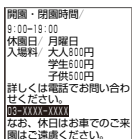
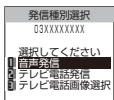
● パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。

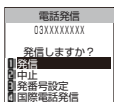
Phone To機能

サイトのページやメールに表示されている電話番号に電話をかけます。

● テレビ電話でのPhone To機能のことをAV Phone To機能と呼びます。
● サイトによっては、Phone To機能をご利用になれない場合があります。
● 電話番号として使える桁数は26桁までです。

＜例：サイトの画面で音声電話をかける場合＞

1 サイト画面（P.177）▶電話番号を選択

2 「音声発信」

■ テレビ電話をかける場合
▶「テレビ電話発信」

3 「発信」

■「発信者番号通知設定」が「通知する」のときに電話番号を通知しないでかける場合
▶「発番号設定」▶「通知しない」

■「発信者番号通知設定」が「通知しない」のときに電話番号を通知してかける場合
▶「発番号設定」▶「通知する」

■「発信者番号通知設定」の設定に従ってかける場合
▶「発番号設定」▶「発番号設定消去」

おしらせ

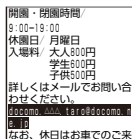
● 電話番号を表す数字列以外でも、電話番号が登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってPhone To機能を利用できる場合もあります。
● 受信メールの送信元や送信メールの宛先が電話番号や「電話番号@･･･」の場合、その送信元や宛先を選択して電話をかけることができます。

Mail To機能

サイトのページやメールに表示されているメールアドレスにメールを送信します。

● サイトによっては、Mail To機能をご利用になれない場合があります。
● 保存メールがいっぱいのときは、Mail To機能を利用できません。
● メールアドレスが2つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
● メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。

＜例：サイトの画面からメールを送信する場合＞

1 サイト画面（P.177）▶メールアドレスを選択

2 iモードメールを作成して送信

「iモードメールを作成して送信する」→P.205

おしらせ

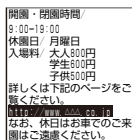
● メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。
● メールアドレス以外でも、メールアドレスが登録された項目（「ご連絡先はこちら」など）を使ってMail To機能を利用できる場合もあります。

Web To機能

サイトのページやメールに表示されているURLのインターネットホームページを表示します。

● サイトによっては、Web To機能をご利用になれない場合があります。
● URLとして使える文字数は半角512文字までです。

＜例：サイトの画面から別のページを表示する場合＞

1 サイト画面（P.177）▶URLを選択

おしらせ

● URL以外でも、URLが登録された項目（「詳しくはこちら」など）を使ってWeb To機能を利用できる場合もあります。

位置情報を利用する

サイトなどで、位置情報が付加されているリンク先を選択し、その位置情報を利用します。

<例：サイトから利用する場合>

1 サイト画面（P.177）▶位置情報が付加されているリンク先を選択▶以下の項目を選択

地図を見る……ｉモードサイトに接続し、位置情報から周辺地図などを表示します。

メール貼り付け……位置情報URLをｉモードメール本文に貼り付け、新規メールを作成します。

対応ｉアプリを利用……位置情報利用に対応したｉアプリ（位置情報を利用できるｉアプリ）の一覧を表示します。

おしらせ

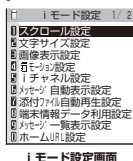
- 位置情報利用に対応したｉアプリは、サイトなどからダウンロードしてご利用ください。

ｉモードの設定を行う

1 α［ｉmode］▶「ｉモード設定」

「ｉモード設定画面」が表示されます。

ｉモード設定 1/2
1 スクロール設定
2 文字サイズ設定
3 画像表示設定
4 ｉモーション設定
5 ｉチャネル設定
6 メッセージ自動表示設定
7 添付ファイル自動再生設定
8 端末情報データ利用設定
9 メッセージ一覧表示設定
0 ホームURL設定

ｉモード設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの詳細画面のスクロールの速度やリンク先の表示を設定します。

- **速度設定**（お買い上げ時：高速）……スクロール速度を「高速／低速」から選択します。
- **スクロール中のフォーカス表示**（お買い上げ時：表示しない）……スクロール中にリンク先を反転させるかどうかを設定します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：標準表示）……サイトのページ、画面メモ、メッセージR／Fの詳細画面の文字サイズを「標準表示／縮小表示／拡大表示」から選択します。

画像表示設定（お買い上げ時：表示する）……サイトのページ、画面メモの詳細画面の画像を表示するかしないかを設定します。「表示しない」を設定した場合は、表示されない画像の代わりに「 」のアイコンが表示されます。また、Flash画像は表示されません。

ｉモーション設定……「ｉモーションについて設定する」→P.197

ｉチャネル設定……「ｉチャネルの設定を行う」→P.199

メッセージ自動表示設定（お買い上げ時：メッセージR優先）……メッセージR／Fの自動表示のしかたを設定します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……メッセージR／Fを開いたときに、添付されているメロディや貼り付けられているメロディがある場合に自動再生するかどうかを設定します。

端末情報データ利用設定（お買い上げ時：利用する）……「Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する」→P.190

メッセージ一覧表示設定（お買い上げ時：2行表示）……メッセージ一覧画面の表示行数を設定します。

ホームURL設定……ホーム表示を利用するための設定をします。「有効」に設定した場合、待受画面で［ ］を押すと、登録したURLの画面が表示されます。半角256文字まで入力できます。

- **無効**（お買い上げ時）……ホーム表示設定を無効にします。
- **有効**……ホーム表示設定を有効にします。ホームURL欄を選択して、登録したいURLを入力します。

効果音設定（お買い上げ時：効果音ON）……サイトのページや画面メモのFlash画像の効果音を鳴らすかどうかを設定します。

ｉモード設定確認……「ｉモード設定」で設定した内容を表示します。

ラストURL初期化……記憶されているラストURLを初期化します。初期化するとラストURLはｉMenu画面のURLになります。

ｉモード設定リセット……「ｉモード設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

<スクロール設定>
- 証明書表示時は、本機能の対象外です。

<画像表示設定>
- 「表示する」に設定していても、画像を取得できなかった場合は、「 」が表示されます。

<効果音設定>
- 「効果音ON」に設定していても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

<ラストURL初期化>
- お買い上げ時、または「ｉモード設定リセット」をした後やラストURLを初期化した後に「ラストURL」を選択すると、ｉMenu画面が表示されます。

接続待ち時間を設定する＜接続待ち時間設定＞

お買い上げ時 60秒間

サイトなどが混み合っていて応答がなかったときに、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 **MENU▶「SETTINGS」▶「アプリケーション通信設定」▶「接続待ち時間設定」▶以下の項目から選択**

60秒間……60秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

90秒間……90秒間応答がない場合、自動的に接続を中止します。

無制限……自動的に接続を中止しません。

おしらせ

- 「無制限」に設定したときでも、電波状況によっては通信が切断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）＜接続先選択＞

お買い上げ時 ｉモード

※通常は設定を変更する必要はありません。

ｉモード以外のサービスを受けるときに使う接続先の設定をします。「ｉモード」以外の接続先に変更すると、ｉモードやｉモードメールをご利用できなくなります。

- 接続先は「ｉモード」のほかに10件まで登録できます。

1 **MENU 8 1▶「＜未登録＞」を反転▶✉［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

接続先名称……接続先名称を設定します。全角9文字、半角18文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

接続先アドレス……接続先アドレスを設定します。半角30文字まで入力できます。

接続先アドレス２……接続先アドレス２を設定します。半角30文字まで入力できます。

2 **それぞれの項目を設定▶✉［完了］**

おしらせ

- ｉモード中は、接続先を変更することはできません。ｉモードを終了してから接続先を変更してください。
- 「ｉモード」以外の接続先に接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、削除する接続先を選択して、機能メニューから「削除」を選択し、端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。接続先に設定されていた場合は、接続先は「ｉモード」に戻ります。
- 接続先を登録したときと異なるFOMAカードを入れた場合は、接続先が「ｉモード」に戻ることがあります。
- 接続先変更をした場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 接続先変更後、ｉチャネルの情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、chを押してチャネル一覧を表示してください。

Flash画像で端末情報データを利用するかどうかを設定する＜端末情報データ利用設定＞

Flash画像を動作させるときに端末情報データを利用するかどうかを設定します。

- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを画像が利用するためには、「ｉモード設定」の「端末情報データ利用設定」を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する端末情報データには以下のものがあります。
  - ・電池残量　　・着信音量設定
  - ・受信レベル　・バイリンガル設定
  - ・日付時刻情報　・機種情報

1 **ｉモード設定画面（P.189）▶「端末情報データ利用設定」▶「利用する」または「利用しない」**

〈メッセージ受信〉

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／FがｉモードセンターFOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR／Fがｉモードセンターから自動的に送られてきます。

- メッセージR／Fは、FOMA端末にそれぞれ最大100件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

受信時の自動表示動作

- メッセージR／Fの詳細画面の自動表示は、「メッセージ自動表示設定」で設定することができます。

［1］メッセージ受信中は「メッセージ受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

●受信中は「R」または「F」が点滅します。

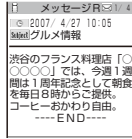
■ 受信を中止する場合

▶α［中止］またはCLR（1秒以上）

ただし、中止したタイミングによりメッセージを受信することがあります。

[2] 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。

●受信結果画面で「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージ一覧画面（P.192）が表示されます。

[3] 受信結果画面表示中に、何も操作しないで約15秒間経過すると、メッセージR／Fの「詳細画面」が表示されます。

●受信結果画面が表示される時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。

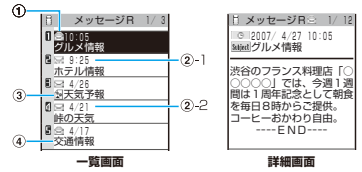
●メッセージR／Fの「詳細画面」が自動表示されるのは、待受画面表示中に受信した場合です。

●詳細画面表示中に何も操作しないで約15秒間経過すると、待受画面に戻ります。ただし、スクロールなどの操作をすると、詳細画面は表示され続けます。

おしらせ

- 新しいメッセージR／Fが届いたときは、ｉモードメールセンターに保管されているメッセージR／Fやｉモードメールも合わせて受信します。
- メッセージの保存領域がいっぱいになると、メッセージを受信したとき、既読の古いメッセージから順に削除されます（未読または保護されているメッセージは削除されません）。
- FOMA端末がこれ以上メッセージを受信できない（未読または保護されているメッセージでいっぱい）場合、R（赤色）／F（赤色）が表示されます（R/F（赤色）、R/F（R：赤色）、R/F（F：赤色）のように2種類の状態を同時に表示する場合もあります）。未読のメッセージを読むか、いらないメッセージの保護を解除してください。
- ｉモードセンターにメッセージが保管されていると、R／Fが表示されます。「ｉモード問い合わせ」を行ってメッセージを受信してください。また、ｉモードセンターに保管されているメッセージがいっぱいのときは、R（赤色）／F（赤色）が表示されます。
- 待受画面以外を表示中、ｉアプリ起動中、公共モード（ドライブモード）設定中、ダイヤルロック設定中、「ｉモード」または「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロックを設定中は、メッセージR／Fを受信しても自動表示しません。
- 自動表示後も、メッセージR／F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中に画面スクロールなどの操作を行ったときは、メッセージR/F一覧画面では既読となります。
- 複数のｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、マイシグナルにアニメーションを表示するか、または着信イルミネーションが点滅します。

メッセージR／F画面の見かた

一覧画面　　詳細画面

①メッセージの状態

アイコン	説明
	未読メッセージ
	既読メッセージ
	保護されている既読メッセージ

：保護されているとき

②受信した時刻や日付

②-1 当日受信したメッセージは時刻表示

②-2 前日までに受信したメッセージは日付表示

③添付ファイル情報

<一覧画面>

アイコン	説明
	メロディ添付メッセージ
	画像添付メッセージ
	複数データ添付メッセージ

：一部のデータが正しくないもの

：データが正しくないもの

<詳細画面>

アイコン	説明
	添付メロディ

：データが正しくないもの

④題名

〈iモード問い合わせ〉
メッセージがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR／F）問い合わせする

FOMA端末が受信できなかったメッセージは、iモードセンターに保管されます。iモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージを受信することができます。

- iモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - ・FOMA端末の電源が入っていないとき
  - ・「圏外」が表示されているとき
  - ・メッセージBOXが満杯のとき
  - ・テレビ電話中／遠隔監視中
  - ・セルフモード設定中
  - ・FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「iモード問い合わせ設定」で設定します。

1 ✉［MAIL］（1秒以上）

メール問い合わせ画面が表示されます。

iモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。

・α［iモード］▶「iモード問い合わせ」

・✉［MAIL］▶「iモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。

問い合わせ中は「✉」「R」「F」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、iモードメールやメッセージR／Fを受信します。

新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数が表示されます。

■問い合わせを中止する場合

▶問い合わせ中にα［中止］またはCLR（1秒以上）

問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりiモードメールやメッセージR／Fを受信することがあります。

2 新しく受信したiモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」

おしらせ

- 「R」または「F」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR／Fが保管されています。iモードセンターに保管されているメッセージR／Fがいっぱいになると「R（赤色）」または「F（赤色）」のアイコンの表示になります。
- iモードセンターでのメッセージR／Fの保管件数、保管期間は以下のとおりです。

種類	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

最大保管件数を超えた場合は、各メッセージの最も古いものから順に削除されます。

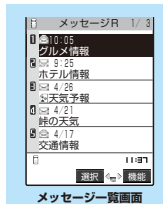
おしらせ

- iモードセンターにメッセージR／Fが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「R」または「F」のアイコンが表示されないことがあります。

〈メッセージR／F〉
メッセージBOXのメッセージを表示する

- iモードセンターからFOMA端末にメッセージR／Fが届くと画面の上部に「R」や「F」が表示されます。

1 α［iモード］▶「メッセージR／F」▶「メッセージR」または「メッセージF」

「メッセージ一覧画面」が表示されます。

メッセージ一覧画面

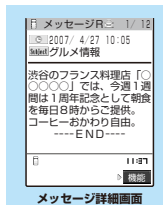
機能メニュー➡P.192

2 メッセージを選択

「メッセージ詳細画面」が表示されます。

メッセージ詳細画面で前または次のメッセージを表示させるときは⊡を押します。

メッセージ詳細画面でCLRを押すと、メッセージ一覧画面に戻ります。

メッセージ詳細画面

機能メニュー➡P.193

おしらせ

- メッセージR／Fに「OK」や「Cancel」などのボタンが表示されることがあります。表示されたときは、サイトなどと同じ操作を行ってください。

機能 メッセージ一覧画面

1 メッセージ一覧画面（P.192）▶α［機能］▶以下の項目から選択

全表示……ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメッセージを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメッセージのみを表示します。

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

保護全解除……保護されているすべてのメッセージR／Fの保護を解除します。

保存件数確認……保存されているメッセージR／Fの件数および未読件数、保護件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／既読削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40
・「既読削除」を選択すると、既読メッセージのみを一括削除できます。

おしらせ

<ソート><フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば未読メッセージだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- メッセージR／F一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<削除>
- 保護されているメッセージR／Fは削除できません。
- フィルタ機能でメッセージR／Fを表示させた後に「既読削除」や「全削除」を選択した場合、フィルタ表示されたメッセージR／Fが削除対象となります。

機能 メッセージ詳細画面

1 メッセージ詳細画面(P.192)▶α［機能］▶以下の項目から選択

電話帳登録……メッセージR／Fに表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
「電話帳に登録する」→P.91

メロディ保存……メッセージR／Fに添付されているメロディを保存します。

画像保存……メッセージR／Fに添付されている画像を保存します。

保護／保護解除……メッセージR／Fを保護／保護解除します。

削除……メッセージR／Fを削除します。

おしらせ

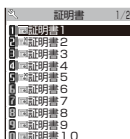
<メロディ保存>
- 添付されているメロディを選択すると、指定したメロディを再生できます。
- メロディ保存時には、ファイル名ではなくタイトルが登録されます。メロディにタイトルが設定されていない場合は、ファイル名が登録されます。
- 保存したメロディは正しく再生されない場合があります。

<削除>
- 保護されているメッセージR／Fは削除できません。

SSL証明書を操作する

お買い上げ時 すべて有効

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効の設定をします。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書」

2 証明書を選択▶証明書を確認

■ SSL証明書を有効または無効に設定する場合
▶証明書を反転▶α［機能］▶「有効／無効設定」

おしらせ

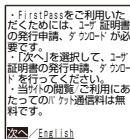
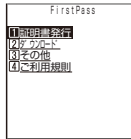
- 「有効」に設定すると、「」のアイコンが表示されます。「無効」に設定すると、「」のアイコンが表示されます。
- 「無効」に設定すると、そのSSL証明書を持っているSSL対応ページが表示できなくなります。
- ドコモ証明書2は常に「有効」のため、「無効」に設定することはできません。

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスを契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

FirstPassセンターに接続する

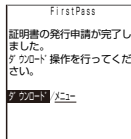
ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。
- FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。
- FOMAカード(青色)ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。→P.49
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。

1 α［iモード］▶「ユーザ証明書操作」▶内容を確認▶「次へ」

2「証明書発行」

■ はじめてFirstPassをご利用になる場合
「ご利用規則」を選択し、内容をよくお読みください。

■ 失効申請をする場合
「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作してください。

3 内容を確認▶「実行」

4 PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.134

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」▶「メニュー」

確認のメッセージが表示されます。
ダウンロードが完了したら、FirstPassのメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターへ接続中は、以下の機能が利用できません。
  - ｉモードメールの送受信（SMSの送受信は利用可）
  - ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせは利用可）
  - メッセージR／Fの受信
  - メールの添付ファイルを手動で取得
  - Web To機能
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。
- 失効が完了した後にFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードをしてください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を確認する場合は、「SSL証明書を操作する」（P.193）をご覧ください。

ユーザ証明書を使ってサイトに接続する

1 サイト画面（P.177）▶ユーザ証明書の送信を確認▶「YES」▶PIN2コードを入力

おしらせ

- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応サイトに接続した場合や、ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、そのことを通知するメッセージが表示されます。接続を継続する場合は「YES」を選択すると続けてページを表示できる場合がありますが、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。接続を切断する場合は「NO」を選択し、FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードした後、再度接続してください。

■ FirstPassご利用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側がFOMA端末側を認証するクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のFOMA N703iμ用CD-ROMに収録されているFirstPass PCソフトが必要です。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。
  お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照願います。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、FirstPassについて画面に表示される「ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コード（P.134）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。

・FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時 ドコモ

※通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先の設定をします。

1 **MENU▶「SETTINGS」▶「アプリケーション通信設定」▶「証明書センター接続設定」**

2 **「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択**

初期画面URL……接続先の初期画面のURLを設定します。半角100文字まで入力できます。

接続先番号……接続先番号を設定します。半角99文字まで入力できます。

3 **それぞれの項目を設定▶✉［完了］**

おしらせ

- 登録した「ユーザ指定接続先」を変更するときは、登録と同じ操作で変更します。
- 登録した「ユーザ指定接続先」を削除するときは、機能メニューから「削除」を選択します。

ｉモーションとは

ｉモーションは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーション対応サイトからFOMA端末に取得します。また、ｉモーションを着信音に設定することもできます。着モーション→P.108

●ｉモーションのタイプ

ｉモーションには、大きく分けて以下の2つのタイプがあります。取得したｉモーションがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生の種類	
標準タイプ（保存可※）	データ取得後に再生（最大500Kバイトまで）	ｉモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	データ取得中に再生（最大500Kバイトまで）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データ取得中に再生（最大2Mバイトまで）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生し終わったデータは破棄されるので、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※：ｉモーションによっては、保存できない場合があります。

おしらせ

- 再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。
- ASF形式のｉモーションは取得することができません。

〈ｉモーション取得〉

サイトからｉモーションを取得する

1 **サイト画面（P.177）▶ｉモーションを選択**

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

■ **取得を中止する場合**

▶✉［中止］

■ **標準タイプのｉモーションの場合**

「ｉモーション設定」の「自動再生設定」で取得しながら自動再生するかどうかを設定できます。ただし、ｉモーションによっては取得後に再生される場合があります。

■ストリーミングタイプのｉモーションの場合
「ｉモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されている場合は取得することができません。
「このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください」と表示されたとき
・「ｉモーション設定」の「ｉモーションタイプ設定」が「標準タイプ」に設定されています。機能メニューから「サイト設定」→「ｉモーションタイプ設定」を選択して「標準・ストリーミング」に設定を変更してから、再度ｉモーションを取得してください。
「ストリーミング再生しますか？」と表示されたとき
・「YES」を選択すると再生がはじまります。「NO」を選択するとサイトの画面に戻ります。
・「YES」を選択した後、再生中に中止したい場合は、✉［中止］を押します。

2 「再生」

取得したｉモーションを再生します。
「ｉモーション再生中の操作について」→P.266

データ取得完了画面
機能メニュー➡P.196

おしらせ

- タイトルが付いていないｉモーションは、データ取得完了画面で「無題」と表示されます。
- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができないことがあります。
- 標準タイプの場合は、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。
- 「自動再生設定」が「自動再生する」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得した後に自動再生はされません。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕒」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーションについては、再生することができません。「ｉモーション情報について」→P.266
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できないことがあります。
- 標準タイプのｉモーションを取得しながら再生している場合（初回再生時のみ）は、早送り・コマ送り・スロー再生の操作はできません。ストリーミング再生の場合は、これらの操作のほかに一時停止の操作もできません。
- 電波状況により、データ取得を中断した場合や、最大サイズを超えてデータを取得した場合は、データ取得完了画面の「再生」、「保存」、「情報表示」のいずれかが表示可能であれば、データを取得できなかったことを示すメッセージを表示した後、データ取得完了画面が表示されます。
- 電波状況により、データ取得中の再生が途中でとまったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのｉモーションはデータ取得完了後に繰り返し再生することができますが、ストリーミングタイプのｉモーションは再生できません。

機能 データ取得完了画面

1 データ取得完了画面（P.196）▶α［機能］▶以下の項目から選択

画面メモ保存……データ取得完了画面を画面メモに保存します。「画面メモを保存する」→P.184

証明書表示……ページがSSL対応の場合にSSL証明書の内容を表示します。

おしらせ

- ｉモーションは、データ取得完了画面を「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
ただし、以下のｉモーションのデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
・再生制限が設定されているｉモーション
・ストリーミングタイプのｉモーション
・データが不完全なｉモーション
- 画面メモに保存したｉモーションは、データBOXにあるｉモーションのフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プログラム再生や待受画面設定などの機能は利用できません。

ｉモーションを保存する

データ取得完了画面で「保存」を選択できるｉモーションは、FOMA端末に保存し、着信音や待受画面に設定できます。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションはカメラでの撮影動画とあわせて最大100件まで保存できます。ｉモーションの保存可能件数は、ｉモーションのデータ量によって変動します。
- ｉモーションのフォルダについて→P.254

1 データ取得完了画面（P.196）▶「保存」▶「YES」

■保存を中止する場合
▶「NO」
保存せずにデータ取得完了画面に戻ります。

2 フォルダを選択

3 「YES」

■待受画面に設定しない場合
▶「NO」

4 「YES」▶項目を選択

■着信音に設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

- タイトルが付いていないｉモーションは一覧で「movieXXX」（XXXは数字）と表示されます。
- 待受画面に設定したｉモーションからPhone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。

ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションのタイトル、再生制限の有無、ファイルサイズなどの詳しい情報を確認します。

1 データ取得完了画面（P.196）▶「情報表示」

ｉモーション情報画面が表示されます。[↕]で画面をスクロールし、再生できる残りの回数、再生期限、再生期間制限などの情報を確認します。

ｉモーションについて設定する

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する<自動再生設定>

お買い上げ時 自動再生する

● 以下のときに、ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。
・サイト画面からｉモーションを取得したとき
・ｉモーション取得完了画面の画面メモを表示したとき

●「自動再生設定」は、標準タイプの ｉモーションのみ、設定が有効になります。ストリーミングタイプのｉモーションは、本設定にかかわらず自動再生されます。
ｉモーションのタイプについて→P.195

1 ｉモード設定画面（P.189）▶「ｉモーション設定」▶「自動再生設定」▶以下の項目から選択

自動再生する……ｉモーションを取得した後、自動再生します。一部のｉモーションは、データを取得しながら再生します。

自動再生しない……ｉモーションを取得しても、自動再生せずにｉモーション取得完了画面を表示します。

取得するｉモーションのタイプを設定する＜ｉモーションタイプ設定＞

お買い上げ時 標準タイプ

サイトから新しいｉモーションを取得するとき、取得するｉモーションのタイプを設定します。

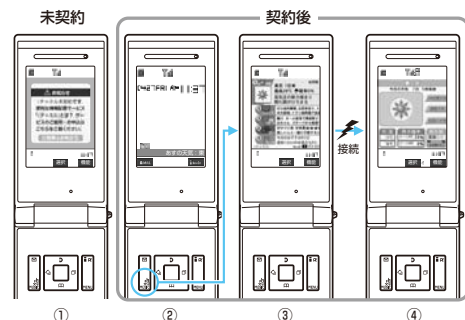
1 ｉモード設定画面（P.189）▶「ｉモーション設定」▶「ｉモーションタイプ設定」▶以下の項目から選択

標準タイプ……標準タイプのｉモーションだけを取得します。

標準・ストリーミングタイプ……標準タイプおよびストリーミングタイプのｉモーションを取得します。

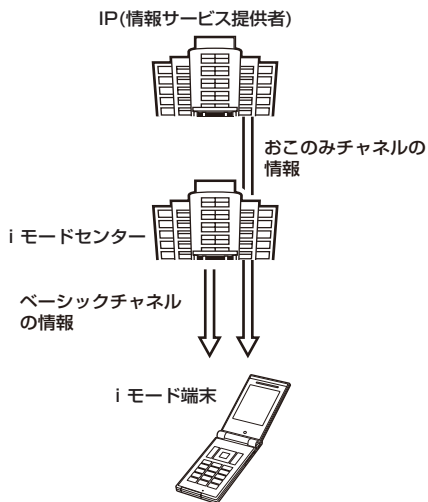
ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応ボタン（[ch]）を押すことでチャネル一覧に表示されます（P.199）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

● ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

① ｉチャネルをご契約いただいていない場合。
② ｉチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
③ 待受画面表示中に[ch]を押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
④ 各チャネルを選択するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

■チャネルの種類

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、お買い上げ時に登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」の情報ともに、待受画面にテロップとして流すことができます。

※ i チャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みには i モード契約が必要です)。

・操作方法は→P.199

おしらせ

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP(情報サービス提供者)に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、i チャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

■おためしサービス

i モードをご契約のうえ、i チャネル対応端末を利用しているお客様で、i チャネル対応端末を利用している契約者回線について i チャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

・おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)』をご覧ください。

おしらせ

- おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入して i チャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ch を押すことで開始できます。
- おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。
- おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック(i モード<FOMA>編)』をご覧ください。

● 待受画面のテロップ表示について

i チャネルをご契約された場合、情報を受信したタイミングで待受画面に情報がテロップ表示されます。

- i チャネル情報を受信中は「⇆」が点滅します。
- 「i チャネル設定」でテロップ表示の設定ができます。

おしらせ

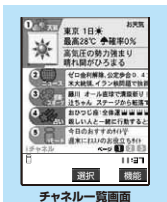
- 待受画面に i モーションや i アプリ待受画面を設定していても、テロップは表示されます。
- FOMAカード未挿入時、公共モード(ドライブモード)設定中、省電力モード時は、テロップは表示されません。

チャネル一覧からサイトを表示する

チャネル一覧を表示し、ｉチャネルの情報サイトにアクセスします。
チャネル一覧には「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」を合わせて最大15件まで表示することができます。

1 待受画面表示中▶ch

「チャネル一覧画面」が表示されます。
ｉモードメニューで「ｉチャネル」を選択しても、チャネル一覧画面を表示することができます。

チャネル一覧画面

機能メニュー➡P.199

2 チャネル項目を選択

おしらせ

- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、マイシグナルのアニメーション表示や着信イルミネーションも点滅しません。
- 「接続先選択」を変更すると、ｉチャネルの接続先も変更されます。→P.190
- 以下の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - ・FOMA端末を初期化したとき
  - ・FOMAカードを差し替えたとき
  - ・接続先選択を変更したとき
  - ・ｉチャネル初期化を行ったとき

機能 チャネル一覧画面

1 チャネル一覧画面（P.199）▶α［機能］▶以下の項目から選択

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

リトライ……チャネル一覧画面を最初から表示します。

効果音設定……チャネル一覧画面の効果音を鳴らすかどうか（ON／OFF）を設定します。

おしらせ

- チャネル一覧画面で設定した「効果音設定」は、「ｉモード設定」の「効果音設定」に反映されます。

〈ｉチャネル設定〉

ｉチャネルの設定を行う

お買い上げ時	テロップ表示設定：表示する テロップ速度設定：標準 テロップカラー設定：RED（本体色：RED）、GREEN（本体色：GREEN）、WHITE（本体色：BROWN）

待受画面にｉチャネル情報をテロップ表示するかしないかを設定します。また、待受画面にテロップ表示するときのスクロール速度やテロップ色を設定します。

- テロップ表示設定を「表示する」に設定した場合、待受画面にはテロップが表示され続けます。「受信時のみ表示する」に設定した場合、待受画面には新しい情報を受信したときにテロップが2回表示されます。

1 α［ｉmode］▶「ｉモード設定」▶「ｉチャネル設定」▶以下の項目から選択

テロップ表示設定……待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかしないか（表示する／受信時のみ表示する／表示しない）を設定します。

テロップ速度設定……待受画面にテロップ表示するときのスクロール速度を「標準／高速／低速」から選択します。

テロップカラー設定……テロップ色を「RED／GREEN／WHITE／CYAN／BLOND」から選択します。※

ｉチャネル初期化……ｉチャネル設定をお買い上げ時の設定に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

※：項目選択のとき、反転表示を移動すると、そのテロップ色がディスプレイに表示されます。

おしらせ

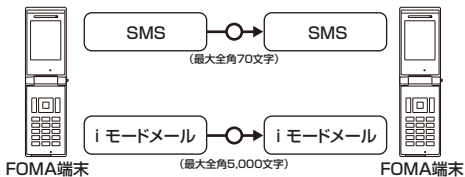
- FOMAカード未挿入時、公共モード（ドライブモード）設定中の場合は、ｉチャネルの設定を変更できません。

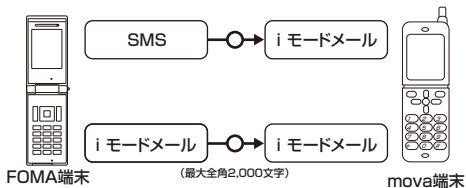
<テロップ表示設定>
- ｉチャネル解約前にｉモード解約を行った場合や、ｉチャネル解約後は、テロップ表示設定はそのままになりますが、テロップは自動的に表示されなくなります。

<ｉチャネル初期化>
- ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、chを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

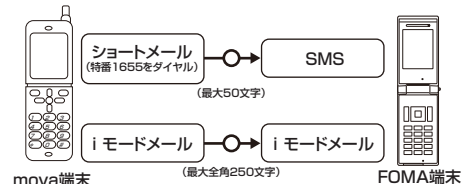
●メール

3種類のメール機能の送受信について

FOMA端末 ⇒ FOMA端末へ

FOMA端末 ⇒ mova端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、mova端末ではｉモードメールとして受信されます。

※「SMS送達通知設定」（P.238）を「要求する」に設定した場合は、mova端末へ送ることはできません。

mova端末 ⇒ FOMA端末へ

mova端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。

※：ショートメールとは、mova端末で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールとは

FOMA端末はｉモードメールとSMSを送受信できるメール機能を持っています。
ｉモードメールをご利用いただくには「ｉモード」のご契約が必要です。
ｉモードメールの送信、受信方法について
→P.205、215

● ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。
SMSの送信、受信方法について→P.237、238

● ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail（電子メール）とのメールのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（JPEG形式の画像など）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんお買い上げ時に登録されているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは以下のようになります。

■新規にｉモードをご契約の場合

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)　abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
<お客様のメールアドレスの確認方法>
Menu▶料金＆お申込・設定▶メール設定▶アドレス確認

・ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりするときは、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
・パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、「@docomo.ne.jp」も含めたアドレス全体を使用します。
・ｉモードメールの送信方法は→P.205
・ｉモードメールの受信方法は→P.215
・ｉモードのサービスの詳細な内容については、最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。→P.216

■メール設定を行う
以下の各種設定を行うことができます。

<設定方法>
iMenu▶料金＆お申込・設定▶メール設定▶【各設定】

※詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの＠マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。

■メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】
現在設定されているメールアドレスを確認することができます。

■シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号＠docomo.ne.jp」にすることができます。

■迷惑メール対策
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。

① 受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶受信／拒否設定】
・ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます。そして、インターネットからの携帯・PHSドメインになりすましたメールを拒否することもできます。

② SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）▶SMS拒否設定】
・受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか1つを選択いただけます。また設定の状況を確認することができます。

③ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）▶ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のｉモード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。

■設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。

■迷惑メールを防ぐために
メールアドレス変更や、アドレス指定受信／拒否などの利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

● SMS（ショートメッセージ）の宛先

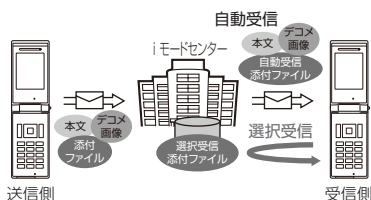
SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

● メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、ｉモードセンターで保管され、電源を入れた時や、メールが届くまで一定の間隔で再送をし続けます。
また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選択して受信することができます。

● こんなこともできます

■ファイル送受信

ｉモードメール（2Mバイト対応）では、添付可能なファイル種別に制限はありません。最大10個、合計2Mバイトまでのファイルをメールに添付し、送信することができます。ｉモードメール（2Mバイト対応）として受信する場合は、すべてのファイルを受け取ることが可能で、100Kバイトまで自動受信し（自動受信添付ファイル）、100Kバイトを超えた2Mバイトまでの添付ファイルは必要なものを選択して受信することができます（選択受信添付ファイル）。また、端末の添付ファイル優先受信設定により100Kバイト以下の添付ファイルでも、サイズによらず選択して受信することができます。
その他の機種で受信する場合は、その端末のメール受信容量内で対応ファイル種別のみを受信します。

■デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。また、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんお買い上げ時に登録されているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末および10,000バイトまでのデコメール対応端末へ送信した場合は、URLの記載されたメールとして受信される場合があります。その場合、受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。

- デコメールを作成して送信する→P.207
- デコメ絵文字の入力について→P.347
- 対応機種：デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

おしらせ

<ファイル送信>
- カメラで撮影した静止画の場合、「ファイル制限」を「あり」に設定していても送信できます。
- mova端末へｉモードメールを送信した場合、添付できる画像はJPEG形式の画像で1ファイルのみ送信できます。
- ｉモーションメールのｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。
「動画再生ソフトのご紹介」→P.378

■お願い

- 受信メール、送信メール、保存メールの内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。受信メール、送信メール、保存メールの内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、受信メール、送信メール、保存メールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

〈メールメニュー〉

メールメニューを表示する

1 ✉［✉MAIL］
「メールメニュー画面」が表示されます。

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを新規に作成して送信します。

- メール本文の文字色やサイズを変更したり、本文に動きを付けたり、画像やラインを挿入して装飾できます。デコメールについて→P.207
- 送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

1 ✉［MAIL］▶✉［NEW］

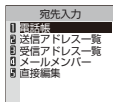
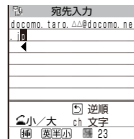
「新規メール画面」が表示されます。

メールメニューで「新規メール作成」を選択しても「新規メール画面」を表示できます。

新規メール画面

機能メニュー ➡P.206

2「To ＜宛先参照／入力＞」

宛先参照／入力の選択メニューが表示されます。

3 宛先を入力

宛先入力画面（直接編集）

■ 電話帳から参照する場合

▶「電話帳」▶参照先を検索（P.95）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ アドレス一覧から参照する場合

▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ メールメンバーから参照する場合

▶「メールメンバー」▶メールメンバーを選択

メールメンバーについて→P.214

■ 宛先を直接入力する場合

▶「直接編集」▶宛先を入力

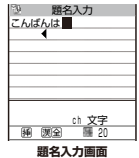
宛先は半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。

宛先を入力すると、入力した宛先欄の下に新たな宛先欄が追加されます。追加された宛先欄に別の宛先を入力し、一度に複数の宛先にメールを送信することができます（同報送信）。宛先は5件まで入力できます。

4「Subject」

「題名入力画面」が表示されます。

5 題名を入力

全角15文字、半角30文字まで入力できます。

題名入力画面

6「 ＜新規入力＞」

「本文入力画面」が表示されます。

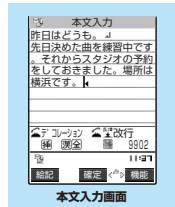
7 本文を入力

全角5,000文字まで入力できます。

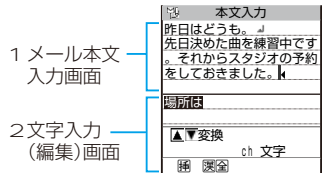
本文編集中に改行することができます。文末では を押しても改行できます。改行したときは「↲」も全角1文字分としてカウントされます。スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

デコメールを作成して送信することもできます。

→P.207

テンプレートを利用してデコメールを作成し送信することもできます。→P.211

本文入力画面

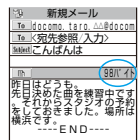
機能メニュー ➡P.207、348

■ ｉモードメール本文入力中の画面について

メール本文入力画面：入力を確定したメール本文が表示されます。

文字入力（編集）画面：文字入力エリア、操作ガイダンスエリア、情報表示エリアが表示されます。入力確定前の文字はここに表示されます。

8 内容を確認▶✉［送信］

本文を入力すると、本文欄右上に本文のバイト数が表示されます。

メール送信中はアニメーション画面が表示されます。送信後、「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。

■ 送信を途中で中止する場合

▶α［中止］またはCLR（1秒以上）

ただし、タイミングによりｉモードメールが送信されることもあります。

■ 再度送信の要求がある場合

▶「YES」

● 電話帳の画面から、iモードメールを作成する

電話帳に登録されているメールアドレスを検索して表示し、[◉]（[✉MAIL]）を押します。

電話帳の検索のしかた→P.95

表示されていたメールアドレスが新規メール画面の宛先に貼り付けられます。

● デコメ絵文字について

N703iμでは、メールの本文入力時に絵文字と同様の方法でデコメ絵文字を入力することができます。デコメ絵文字とは、動く絵文字をはじめ一定の条件を満たす画像のことで、お買い上げ時に登録（P.372）されているものだけでなく、サイトからダウンロードする（P.185、248）こともできます。

● デコメ絵文字を入力したメールは、デコメールとして扱われます。

おしらせ

- 送信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- 本文入力時に、絵文字入力からデコメ絵文字を入力すると、デコメールになります。→P.207、372
- 題名や本文に絵文字を使用して他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると「184」または「186」を削除して送信することを確認するメッセージが表示されます。
- 宛先に「,（カンマ）」やスペース（空白）が入力されている場合は送信できません。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できていても「送信できませんでした」と表示される場合があります。
- 「シークレットコード」が設定されている電話帳の宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先にシークレットコードは表示されません。

機能 新規メール画面

1 新規メール画面（P.205）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

送信……iモードメールを送信します。

送信プレビュー……送信する前にメールの宛先や内容を確認します。

保存……編集中のメールを保存BOXに保存します。「iモードメールを保存する」→P.213

宛先削除……追加した宛先を削除します。削除した宛先の後に宛先が入力されているときは、宛先はつめて表示されます。宛先が1件しか入力されていないときは、宛先を削除できません。

宛先タイプ変更……宛先を反転した状態で宛先のタイプを変更します。

- **To**……送信相手の宛先です。Toの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。
- **Cc**……同報の宛先です。Ccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手に表示されます。Toの宛先に送信するメールのコピーとしてほかの宛先に送信する場合に選択します。
- **Bcc**……同報の宛先です。Bccの宛先に入力したメールアドレスは、ほかの送信相手には表示されません。

テンプレート……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.211

添付ファイル追加……iモードメールにメロディ、画像、iモーションなどの各種ファイルを添付します。「ファイルを添付する」→P.212

カメラ起動

- **フォトモード**……カメラ機能を起動して静止画を撮影します。「静止画を撮影する」→P.162
- **ムービーモード**……カメラ機能を起動して動画を撮影します。「動画を撮影する」→P.167

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件または全削除します。

冒頭文貼付……メールの本文に冒頭文を貼り付けます。

署名貼付……メールの本文に署名を貼り付けます。

本文消去……編集中のメールの本文を消去します。

メール削除……編集中のメールを削除します。

おしらせ

<宛先タイプ変更>

- 宛先に「To」設定がないiモードメールは送信できません。
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

<冒頭文貼付><署名貼付>

- 「冒頭文／署名設定」で「自動貼付」のチェックボックスを選択していると、iモードメール作成時に自動的に冒頭文や署名が貼り付けられます。

機能 本文入力画面

● 下記の項目以外については、「文字入力（編集）画面」の機能メニュー（P.348）を参照してください。

1 本文入力画面（P.205、237）▶α［機能］▶以下の項目から選択

受信メール参照……受信メールを参照します。
・ 返信メール／転送メール作成時は、返信元または転送元メールの詳細画面を表示します。
・ その他の場合は受信BOXのフォルダ一覧画面を表示します。
■データを引用する場合
メール詳細画面の機能メニューから「コピー」を選択すると、「本文／題名／アドレス」をコピーできます。
■参照を終了する場合
▶✉［終了］

デコレーション……「デコレーションの基本操作」、「デコレーションメニューの種類」→P.208、209

範囲選択……範囲選択した文字の装飾やコピー、切り取りができます。→P.351

テンプレート読込み……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.211

カメラ起動……挿入する画像をカメラで撮影します。→P.162

プロパティ……本文に挿入した画像の左にカーソルがあるときに、ファイル名、ファイルサイズを表示します。

元に戻す……入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

プレビュー……本文のプレビュー画面を表示します。

おしらせ

<受信メール参照>
● 受信メール参照時には、機能メニューから以下の機能が実行できます。
・ 受信メール一覧画面：「メール検索」「全表示」「ソート」「フィルタ」「一覧表示切替」
・ 受信メール一覧画面（シークレットフォルダ）：「一覧表示切替」
・ 受信メール詳細画面：「コピー」

<カメラ起動>
● カメラ機能で撮影した静止画の画像サイズはSubQCIF（128×96）です。

<元に戻す>
●「元に戻す」で1つ前の状態に戻した後、「元に戻す」の取り消しはできません。
● 本文入力画面から新規メール画面に戻ると、再度本文入力画面を表示しても「元に戻す」で1つ前の状態には戻せません（本文入力画面で「プレビュー」を選択してプレビューを表示後の場合は戻すことができます）。

<プレビュー>
● プレビュー画面でメール本文に電話番号やメールアドレス、URLやｉアプリへのリンクが入力されている場合は、アンダーラインで表示されますが、Phone To（AV Phone To）機能、Mail To機能、Web To機能を利用することはできません。

〈デコメール〉
デコメールを作成して送信する

デコメールは、ｉモードメール（テキストメール）本文の文字色、文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きを付けたり、ライン（本文中の区切り線）や画像を本文内に挿入して表現力豊かなメールにしたものです。
● メール本文をデコレーション（装飾）すると、装飾していないｉモードメール（テキストメール）に比べて、入力できる文字数が少なくなります。
● お買い上げ時に登録されている「デコメールピクチャ」については、P.366をご覧ください。

1 新規メール画面（P.205）で宛先、題名を入力▶「📄＜新規入力＞」

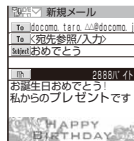
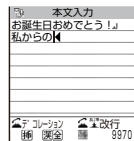
「本文入力画面」が表示されます。
お買い上げ時に登録されているテンプレート（雛形）の記載内容やデコレーション（装飾）を変更してデコメールを作成することもできます。→P.211

2 デコメールを作成

デコレーション（装飾）の方法には、デコレーションメニューを選択した後に文字を入力する方法と、すでに入力した文字に対し範囲を指定してデコレーションメニューを選択する方法があります。
「デコレーションの基本操作」→P.208
「デコレーションメニューの種類」→P.209

■ 装飾内容の確認について
本文入力画面では、装飾内容が確認できないものがあります。その場合、α［機能］を押し「プレビュー」を選択すると確認することができます。

3 内容を確認▶✉［送信］

作成したデコメールは、テンプレート（雛形）として保存しておくこともできます。→P.212

おしらせ

● パソコンなど、デコメール対応ｉモード端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
● 受信したデコメールを引用返信、転送した場合は、装飾と挿入した画像は引用された状態で本文が表示されます。
● メール送信できない画像が含まれたデコメールを引用返信、転送した場合は、画像が削除されます。
● デコメール非対応機種や下記機種※以外のデコメール対応機種に10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によっては本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
※：903iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）

デコレーションの基本操作

以下の［A］、［B］どちらかの方法で行います。
［A］の方法では、現在のカーソル位置以降に入力した文字に装飾が行われます。［B］の方法では、装飾範囲を指定した文字に対して装飾が行われます。

- 背景色の変更（カーソル位置に関係のない装飾）、および画像挿入／ライン挿入（装飾範囲を指定する必要のない装飾）は、［A］の方法でのみ行えます。
- 装飾の変更、追加、解除は［B］の方法でのみ行えます。
- 複数の装飾を組み合わせて装飾することもできます（例：文字色と文字サイズを変更して点滅させるなど）。

［A］デコレーション内容を選択した後に文字を入力する場合＜文字サイズの変更例＞

▶［☎］

▶［🔲］で囲み枠を移動し［AA］を選択

▶［🔲］で囲み枠を移動し、変更するサイズを選択

▶装飾する文字を入力

［デコメアイコン］：装飾したメール（デコメール）には、タイトルの左にこのアイコンが表示されます。

［装飾アイコン］：現在のカーソル位置の装飾内容に応じて、タイトルの右にさまざまなアイコンが表示されます。複数の装飾を組み合わせて設定しているときには、複数のアイコンが表示されます。アイコンの種類については、デコレーションメニューに表示されているもの（［AAA］など）とほぼ同じですので、参考にしてください。「デコレーションメニューの種類」→P.209

［B］入力済みの文字に対してデコレーションする場合＜文字サイズの変更例＞

▶［☎］

▶［🔲］で囲み枠を移動し［変更］を選択

▶［🔲］でカーソルを装飾する文字の始点に移動し［●］［始点］

▶［🔲］でカーソルを装飾する文字の終点に移動し［●］［終点］

▶［🔲］で囲み枠を移動し［AA］を選択

▶［🔲］で囲み枠を移動し、変更するサイズを選択

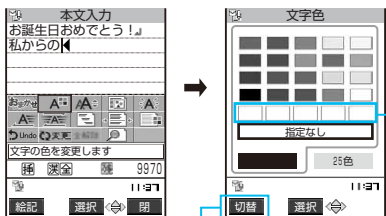
範囲を指定した文字のサイズが変更されます。
▶［α］［閉］

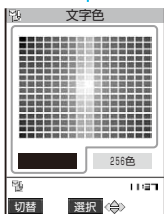
※1：ここで［α］［全選択］を押すと、すべての範囲を選択することができます。
※2：ここで別のデコレーションメニューを選択すると、選択した範囲に別の装飾をすることができます。

以下の画面および操作は、基本操作[A]の場合のもので示しています。

文字色／背景色の変更（）

➡

文字色
指定なし
25色
切替
選択

▶ または を選択

▶変更する色を選択

パレットは[切替]を押すごとに、25色と256色が切り替わります。

256色パレットで選択した最新の5色が最下段に表示されます。

文字サイズの変更（ ）

➡

▶ を選択

▶変更するサイズを選択

選択できる文字サイズ

画像挿入（ ）

▶ を選択▶マイピクチャのフォルダから、挿入する画像を選択

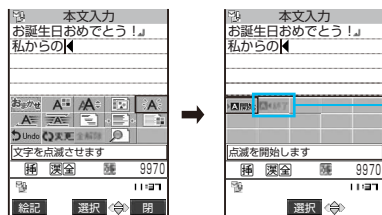
デコメールピクチャ→P.366
絵文字一覧（デコメ絵文字）→P.372

文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示

（ ／ ／ ）

●テロップ表示とは右から左へ流れる文字のこと、スウィング表示とは左右を往復する文字のことです。

●テロップ表示やスウィング表示は行単位で行われるため、開始位置や終了位置を設定すると、カーソル位置で自動的に改行されます。

➡

▶ のいずれかを選択

▶ を選択

装飾する文字を入力後、装飾範囲を終了するときにはこのメニューを選択します。

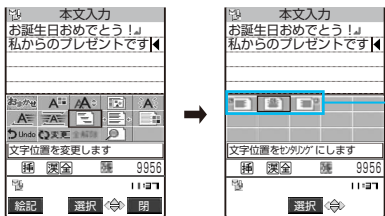
■操作方法［B］の場合

「始点」と「終点」を設定した後に装飾方法を選択すると、右のようなメニューが表示されます。

設定：指定した範囲が装飾されます。

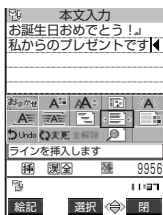
解除：指定した範囲の装飾が解除されます。

文字位置の変更（ ）

●文字位置の変更は行単位で行われるため、カーソル位置で自動的に改行されます。

▶ を選択

▶変更する文字位置を選択

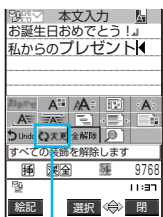
選択できる文字位置

ライン挿入（ ）

▶ を選択

●ライン挿入は行単位で行われるため、挿入すると、カーソル位置で自動的に改行されます。

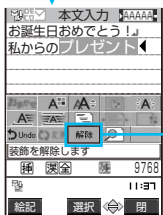
●挿入したラインを削除するときは、本文入力画面でラインの行にカーソルを移動しCLRを押します。

その他の機能

（おまかせ／Undo／全解除／ ／解除）

おまかせ：「おまかせデコメールを作成する」→P.211

Undo：入力した文字や本文の装飾を1つ前の状態に戻します。

全解除：すべての装飾を解除します。

：設定した装飾をプレビュー画面に表示します。

解除：範囲指定した文字の装飾を解除します。

おしらせ

<文字色／背景色の変更>

- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。元の色に戻したいときは「 」を選択し、戻す範囲を指定して「解除」を選択してください。
- 背景色の設定を変更すると、カーソルの色も設定した色に応じて変わります。

<文字サイズの変更>

- デコメ絵文字のサイズは変更できません。

<画像挿入>

- メール本文のバイト数や添付ファイルのファイルサイズに関係なく、最大20件、90KバイトまでのJPEG形式またはGIF形式の画像やデコメ絵文字を挿入することができます（ファイルサイズによって、最大件数は変動します）。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入件数は1件として扱われます。ただし、一度保存や送信をした後で再編集して挿入した場合は、別途1件として扱われます。
- 新規メール画面や送信プレビューで表示されるメール本文のバイト数には、挿入画像のファイルサイズも含まれます。
- アニメーションを挿入した場合、一定の時間が経過すると停止します。

<文字の点滅／テロップ表示／スウィング表示>

- 点滅、テロップ、スウィングの動作は、一定の時間が経過すると停止します。

<本文編集>

- 装飾を設定している範囲内に新たに文字を入力した場合、その文字にも同様の装飾が施されます。
- メール作成画面の「冒頭文貼付」や「署名貼付」で、装飾されていないテキストのみの冒頭文や署名を貼り付けると、冒頭文は本文先頭の、署名は本文末の文字色、文字サイズの装飾を引き継いだ状態で貼り付けられます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力できる文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押した場合は、装飾データも含めてすべての文字が削除されます。

〈おまかせデコメール〉
おまかせデコメールを作成する

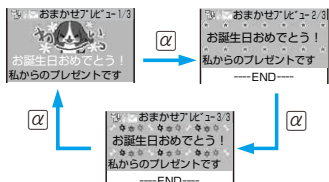
入力したメールの文面から感情を理解し、最適なデコレーションを加えたデコメールに自動変換します。

- 理解する感情の種類と優先順位は以下のとおりです。
  ① 急ぎ
  ② 好き／嫌い／喜び／怒り／哀しみ／楽しい／驚き
  ③ 質問／アドバイス／ファイト／お誘い・募集／感想／お願い／通知／ＯＫ
  ④その他
- サイトからおまかせデコメールピクチャをダウンロードすると（P.187）、そのピクチャも自動変換の対象になります。

1 新規メール画面（P.205）で宛先、題名を入力▶「 ＜新規入力＞」
「本文入力画面」が表示されます。

2 本文を入力▶

3 で囲み枠を移動し を選択
デコレーションが３パターン作成されます。

4 いずれかのデコレーションを表示▶［確定］▶［送信］
デコレーションパターンは［次候補］を押すたびに切り替わります。

■ デコレーションを編集する場合
［編集］を押すと、デコレーションを編集することができます。→P.208

おしらせ

- 本文のみで1,000バイト以上ある場合、おまかせデコメールは作成できません。
- おまかせデコメールのデコメール案のプレビュー表示中に、不正な終了があった場合は、表示中のデコメール案のメールデータを保存します。
- おまかせデコメール画面から本文入力画面に戻った直後は、機能メニューの「元に戻す」は選択できません。
- すでに本文が装飾されている状態でおまかせデコメールを実行した場合、装飾をすべて解除する旨のメッセージが表示されます。
- メールの文面によっては、内容に合わないデコメールイメージが表示される場合があります。

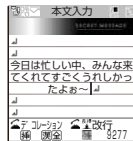
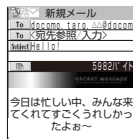
テンプレートを利用してデコメールを作成する

お買い上げ時に登録されているテンプレートを利用して、デコメールを作成します。テンプレートとは、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形です。テンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。

- お買い上げ時に登録されている「テンプレート」については、P.367をご覧ください。
- テンプレートは、サイトからダウンロードすることができます。
  「サイトからデータファイルをダウンロードする」→P.187
- テンプレートは、テンプレートプレビュー画面の機能メニューから編集することができます。→P.212
- テンプレートにはあらかじめ装飾情報が含まれています。このため、テキストメールより入力できる文字数が少なくなります。
- 以下のような場合にテンプレートを使用しようとすると本文の編集内容を破棄するか確認するメッセージが表示されます。
  ・すでにメール本文が入力されている場合
  ・冒頭文・署名が自動挿入されている場合
  ・添付ファイルがある場合

1 新規メール画面（P.205）▶宛先と題名を入力▶［機能］▶「テンプレート」▶「テンプレート読込み」▶テンプレートを選択

■ テンプレートをプレビュー表示する場合
▶テンプレートを反転▶［デモ］
・テンプレートがプレビュー表示されます。→P.212
・プレビュー表示中はを押してほかのテンプレートに表示を切り替えることができます。
・テンプレートが１画面に収まらない場合はでスクロールできます。
・プレビュー表示中にも、［選択］を押してテンプレートを選択できます。

2 ［選択］▶本文を編集
テンプレートを適用した後も、本文を編集できます。また「デコレーション」（P.207）を使い、さまざまな装飾を追加できます。

3 内容を確認▶［送信］

テンプレートを保存する

作成中のデコメールをテンプレートとして保存します。

- テンプレートは最大45件まで保存することができます。
- 挿入画像以外の添付ファイルがある場合、そのファイルは削除され、テンプレートとして保存されます。
- テキストメールのみの場合は、テンプレートとして保存することができません。
- テンプレートは、メールメニューの「テンプレート」に保存されます。

1 デコメールを作成（P.207）▶α［機能］▶「テンプレート」▶「テンプレート保存」▶「YES」

おしらせ

- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。

テンプレートのプレビューを表示する

1 ✉［✉MAIL］▶「テンプレート」

「テンプレート一覧画面」が表示されます。

テンプレート 1/2
1 D.O.T.S
2 DECODING
3 METER
4 I LOVE YOU
5 REQUEST
6 HURRY UP
7 DJ-MIX
8 METAL SOUND
9 SPACE RADER
0 HIP HOP STREET

テンプレート一覧画面

機能メニュー ➡P.212

2 テンプレートを選択

「テンプレートプレビュー画面」が表示されます。

テンプレートプレビュー画面

機能メニュー ➡P.212

機能 テンプレート一覧画面

1 テンプレート一覧画面（P.212）▶α［機能］▶以下の項目から選択

iモードメール作成……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.211

ソート……選択した条件に従ってテンプレートを並び替えます。

タイトル編集……テンプレートのタイトルを編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

情報表示……テンプレートのサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。

保存件数確認……テンプレートの保存件数を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

機能 テンプレートプレビュー画面

1 テンプレートプレビュー画面（P.212）▶α［機能］▶以下の項目から選択

iモードメール作成……「テンプレートを利用してデコメールを作成する」→P.211

編集……テンプレートを編集します。

挿入画像保存……テンプレートに挿入されている画像を保存します。
▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択
■待受画面などに設定できる画像の場合
▶「YES」▶項目を選択
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

おしらせ

<iモードメール作成>

- 「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。

<編集>

- 別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分）。
- 編集後、装飾が1つもなくなった場合は保存できません。

〈添付ファイル〉

ファイルを添付する

iモードメールにファイルを添付して送信します。

- 以下のファイルを添付できます。
  - ・静止画、画像
  - ・動画、iモーション
  - ・メロディ
  - ・電話帳のデータ
  - ・マイプロフィールの登録データ
  - ・スケジュールまたはTo Doリストの登録データ
  - ・Bookmark
  - ・microSDメモリーカード内のその他ファイル

1 新規メール画面（P.205）▶α［機能］▶「添付ファイル追加」▶以下の項目から選択

イメージ・iモーション・メロディ……**▶フォルダを選択▶添付するデータを選択**

電話帳……**▶「本体」または「microSD」を選択▶電話帳を検索※▶電話帳を選択▶◉［選択］**
※：microSDの場合は、フォルダを選択します。

マイプロフィール……▶端末暗証番号を入力▶◉［確定］

スケジュール……▶「スケジュール」または「To Doリスト」▶登録データを選択▶◉［選択］

Bookmark……▶「ｉモード」または「microSD」▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択▶◉［選択］

その他ファイル……microSDメモリーカード内のその他ファイル（?）を添付します。
▶フォルダを選択▶ファイルを選択

■ mova端末へ画像をｉショットとして送信する場合

画像を添付したメールをmova端末へｉショットとして送信できます。
mova端末へ送信する場合、添付できるファイルはJPEG形式の画像1つだけです。また、サイトなどからダウンロードしたGIF形式の画像を添付した場合は、添付したファイルが削除されて本文だけが相手に届きます。
mova端末へ送信する場合、相手側が受信文字数設定をしていないときは、相手が受信できる本文は最大全角184文字（369バイト）になります。相手側が受信文字数設定をしているときは、相手が受信できる本文はｉショットのURL（画像の保管先）を含み全角2,000文字までになります。

2 ｉモードメールを作成して送信

■ 添付したファイルを確認する場合

▶ファイルを選択
100Kバイトを超えるメロディは再生できません。

■ 添付したファイルを削除する場合

▶ファイルを反転▶α［機能］▶「添付ファイル削除」▶「YES」
複数のファイルが添付されているときに、すべての添付ファイルを削除する場合は、「添付ファイル全削除」を選択します。

これ以降の詳しい操作手順については、「ｉモードメールを作成して送信する」（P.205）をご覧ください。

おしらせ

- ｉモードメールには、メール本文のバイト数や挿入画像のファイルサイズに関係なく、最大10件、2Mバイトまでのファイルを添付することができます（ファイルの大きさによって、最大ファイル数は変動します）。
- 添付ファイルのファイルサイズによっては送信に時間がかかることがあります。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは、添付することができません。
- カメラで撮影した静止画や動画の場合、「ファイル制限」が「あり」に設定されていても添付することができます。
- 受信側の端末が対応していない添付ファイルを送信した場合、添付ファイルがｉモードセンターで自動的に削除される場合があります。その場合、メール本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- 添付されたメロディやGIF形式の画像はmova端末では受信できません。
- 「イメージ」で横320×縦240、横240×縦320ドットを超える画像を選択した場合は、「画像添付」が表示され、「そのまま添付」、「QVGA縮小添付」から選択することができます。
- 画像を送信した場合は、送信相手の機種によっては、画像が正しく表示されなかったり、表示できない場合があります。また、画像が粗く表示されることもあります。

おしらせ

- カメラで撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末およびパソコンや他社携帯電話へ送信できます。ただし、mova端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
- ｉモーションメール（ｉモーションを添付したｉモードメール）に対応していない端末にｉモーションメールを送信した場合、受信側にはｉモーション閲覧用URL付メールが送信され、その閲覧用URLを選択することによりｉモーションを閲覧することができます。
- ｉモーションメールを送信した場合、送信相手の機種によっては、正しく受信や表示がされなかったり、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。なお、下記機種※以外に送信する場合は、動画撮影時の「ファイルサイズ設定」を「500Kバイト以下」、「画像サイズ選択」を「QCIF（176×144）」、「品質設定」を「高品質」に設定することをおすすめします。
  ※：903iシリーズ、703iシリーズ（P703iμを除く）
  動画の再生について→P.263
- 受信側がFOMA N703iμ以外の場合、送信したメロディが正しく再生できない場合があります。

〈ｉモードメール保存〉

ｉモードメールを保存しておき、後で送信する

作成中のメールを、FOMA端末に一時保存しておき、後で保存しているメールを編集して送信します。

ｉモードメールを保存する

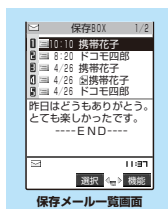
- SMSと合わせて最大20件まで保存できます。
- 保存メールがいっぱいのときは、メールを作成することができません。

1 新規メール画面（P.205）▶α［機能］▶［保存］

宛先、題名、本文のいずれかに文字が入力されていないと保存できません。ただし、添付ファイルがあるときは、文字が入力されていなくても保存できます。

保存したｉモードメールを送信する

1 ✉［✉MAIL］▶「保存BOX」

「保存メール一覧画面」が表示されます。

保存メール一覧画面

機能メニュー➡P.214

2 メールを選択▶宛先、題名、本文を編集して送信

機能 保存メール一覧画面

1 保存メール一覧画面(P.213)▶α［機能］▶以下の項目から選択

一覧表示切替……メールの一覧表示のしかたを「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

保存件数確認……保存BOX内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存……「メールをお預かりセンターに保存する」→P.227

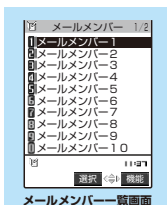
削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

宛先をメールメンバーに登録する お買い上げ時 未登録

複数の宛先をFOMA端末のメールメンバーに登録することにより、iモードメール作成時に、宛先にメールメンバーを指定するだけで複数の宛先を簡単に入力できます。

● メールメンバーは20件まで登録でき、1件あたりメールアドレスを5件まで登録できます。

1 MENU 9 7

「メールメンバー一覧画面」が表示されます。

メールメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.214

2 メールメンバーを選択

「メールメンバー詳細画面」が表示されます。

メールメンバー詳細画面

機能メニュー➡P.214

3 「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶メールアドレスを入力

半角50文字まで入力できます。
メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

機能 メールメンバー一覧画面

1 メールメンバー一覧画面(P.214)▶α［機能］▶以下の項目から選択

iモードメール作成……メールメンバーを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。
「iモードメールを作成して送信する」→P.205

メンバー名編集……メールメンバー名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

メンバー名初期化……メールメンバー名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 メールメンバー詳細画面

1 メールメンバー詳細画面(P.214)▶α［機能］▶以下の項目から選択

アドレス編集……メールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

アドレス参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してメールアドレスを入力します。

1件削除・全削除……メールメンバーを1件または全削除します。

〈メール自動受信〉

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

● 受信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大1,000件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。

受信時の自動表示動作

[1] メールの受信がはじまると「メール受信中画面」が表示され、受信が終了すると「受信結果画面」が表示されます。

●受信中は「　」が点滅し、受信が終了すると、「　」が点灯表示に変わります。

●着信音の音量は「着信音量」の「メール」で設定した音量になります。

[2] 受信結果画面には、受信したメール、メッセージR／Fの件数が表示されます。

●メールの件数には、SMSの件数も含まれて表示されます。

●受信結果画面で「メール」を選択すると、受信メール一覧画面（P.221）が表示されます。

●何も操作しないで約15秒間経過すると元の画面に戻ります。表示時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わる場合があります。

■ ｉショットサービスのメールを受信した場合

mova端末から送信されたｉショットサービスのメールを受信した場合、画像は添付ファイルとして受信します。

■ 100Kバイトを超えたメールを受信した場合

ｉモードメール１件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトを超えるときは自動で受信することはできません。

100Kバイトを超える添付ファイルは、ｉモードセンターから手動で取得できます。→P.219

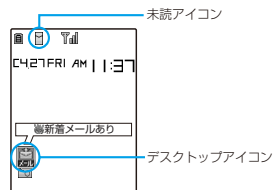
おしらせ

- 受信メールの保存領域がいっぱいになると、メールを受信したとき、ゴミ箱のメール、既読の古い受信メールの順に削除されます（未読または保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- FOMA端末がこれ以上メールを受信できない（未読または保護されているメールでいっぱい）場合、　（赤色）／　（赤色）が表示されます。未読のメールを読むか、いらないメールの保護を解除してください。
- 極端に容量の大きいメールが送られてきたときは、ｉモードセンターで受け付けないことがあります。
- FOMA端末がｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。
- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されているほかのｉモードメールやメッセージR／Fも合わせて受信します。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からｉモードメールを受信した場合、自分がTo、Cc、Bccのうちどの宛先タイプで受信したかは、メール詳細画面で確認できます。→P.224

おしらせ

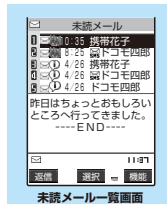
- あらかじめ、受信するｉモードメールのサイズを制限できます。→P.203
- 複数のｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、チャットメールに設定されている条件で着信音が鳴り、マイシグナルにアニメーションを表示するか、または着信イルミネーションが点滅します。
- 待受画面以外を表示しているときにｉモードメールを受信した場合で、「受信表示設定」を「操作優先」に設定しているときは、着信音は鳴りません。「通知優先」に設定しているときは、着信音が鳴り、受信結果画面が表示されます。

新着ｉモードメールを表示する

1 待受画面表示中▶[●]▶「　」を選択

■ 未読メールの一覧を表示する場合

▶待受画面表示中▶[●]▶[✣]で「　」を選択

「未読メール一覧画面」が表示されます。

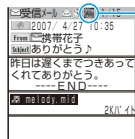
未読メール一覧画面

機能メニュー➡P.227

おしらせ

- 表示できない文字はスペースで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- 受信するｉモードメールのサイズが「メールサイズ制限」で設定したサイズ（データ量）を超えた場合、貼り付けデータはｉモードセンターで削除され、再取得はできません。
- ｉモードメールに添付された画像ファイルは正しく表示できない場合があります。横240ドットを超えた場合は、縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール（HTMLメール）を受信した場合、その装飾が正しく表示されないことがあります。
- パソコンなどから受信したメールの場合、そのメール本文中のPhone To機能、AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能が使用できないことがあります。

● 感情お知らせメールについて

メールを受信したとき、そのメールの内容に合った感情を、アイコンでお知らせします。
また、受信したメールにあらかじめ指定したキーワードが含まれているときにもアイコンでお知らせします。

感情お知らせメールのアイコン

● 表示される感情お知らせメールのアイコンには次の種類があります。

アイコン	意味	アイコン	意味	アイコン	意味
	急ぎ		アドバイス		OK
	好き		ファイト		返事
	嫌い		質問		お知らせ
	喜び		お誘い・募集		怒り
	感想		哀しみ		お願い
	楽しい		通知	―	アイコン通知対象外※
	驚き				

※：「アイコン通知対象外」は、以下のようなメールなどで表示されます。
- ・赤外線通信などにより転送されたメール
- ・お預かりセンターから復元したメール
- ・FOMAカードからコピーまたは移動したSMS
- ・FOMAカードのSMS
- ・microSDメモリーカードからコピーしたメール

● アイコンは、「感情／キーワード通知設定」で表示するかどうかを設定できます。

● 表示されるキーワード通知のアイコンは次の3種類です。「キーワード通知」の内容は、「感情／キーワード通知設定」で設定できます。

● 受信したメールに複数の感情お知らせメールのアイコンや、キーワード通知で指定したアイコンが表示される内容が含まれる場合は、以下の優先順位でアイコンが表示されます。
①キーワード通知1　②キーワード通知2
③キーワード通知3　④感情通知

● フィルタ機能を使うと、指定した感情お知らせアイコンのメールだけを表示できます。→ P.226

おしらせ

- ● 受信したメールによっては、内容に合わない感情お知らせメールのアイコンが表示される場合があります。
- ● メッセージR／Fに対しては、感情お知らせメールのアイコンは表示されません。
- ● 受信したメールに合った感情やキーワードの検出は、感情お知らせメールのアイコンの場合、メールの受信日時、題名、本文の先頭から1,000バイト（全角500文字）までが対象となり、キーワード通知のアイコンの場合、題名と本文のすべてが対象となります。
- ● 複数のメールを同時に受信した場合は、日時が最も新しいメールのアイコンだけが、受信結果画面およびデスクトップ上のメールアイコンのポップアップに表示されます。

〈メール選択受信〉

i モードメールを選択して受信する

i モードセンターに保管されている i モードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前に i モードセンターでメールを削除できます。

● メール選択受信をご利用になるためには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。なお、「ON」に設定した場合は、自動的に i モードメールを受信できません。

メールが届いたときは

i モードセンターからメールを受信したことを通知されたときは、「」や「」は表示されず、 i モードセンターにメールが保管されている旨のメッセージと、「」アイコンが画面上部に表示されます。メッセージを確認し、いずれかのボタンを押すとメッセージとアイコンが消えます。

メールを選択受信する

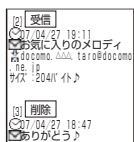
1 **[MAIL]▶「メール選択受信」**

メールの選択受信は、以下の手順でも行えます。
・[imode]▶「i Menu」▶「メニュー／検索」▶「メール選択受信」

■「メール選択受信設定」が「OFF」に設定されている場合

メール選択受信を設定するかどうかのメッセージが表示され、「メール選択受信設定へ」を選択すると「メール選択受信」を設定できます。選択受信を「ON」に設定すると、メールメニュー画面に戻ります。

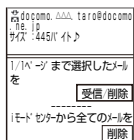
2 メールごとに項目を選択して設定

受信：選択したメールを受信します。
削除：選択したメールを削除します。
保留：選択したメールはそのままｉモードセンターに保管されます。
「ｉモード問い合わせ」などで受信してください。

■ メールをすべて削除する場合
▶ページの一番下にある「削除」▶「決定」

■ ページが複数ある場合
▶「前ページ」または「次ページ」▶ページを前後に移動して選択受信
2ページ目を表示した場合、1ページ目の選択内容はそのまま有効となります。
「サイズ：XXXバイト」の後に表示されているアイコンの意味は以下のとおりです。

- ：画像ファイルが添付
- ：メロディファイルが添付
- ：ｉモーションが添付
- ：その他ファイルが添付

3「受信／削除」▶「決定」

完了画面が表示され、メールの受信がはじまります。

■ 選択受信を中止する場合
▶「キャンセル」

■ ページが複数ある場合
ページの途中で「受信／削除」を選択すると、選択したページまで選択受信（保留、受信、削除）を行い、それ以降のページのメールについては、ｉモードセンターにすべて保管されます。

おしらせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも「ｉモード問い合わせ」をすると、すべてのメールを受信します。受信したくない場合は、「ｉモード問い合わせ設定」で「メール」のチェックを外してご利用ください。
- メール選択受信画面を表示すると、メールを受信、削除しなくても「」のアイコンは消灯します。
また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「」のアイコンは消灯します。

〈ｉモード問い合わせ〉

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

お買い上げ時	すべて（メール、メッセージR／F）問い合わせする

FOMA端末が受信できなかったｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているｉモードメールを受信することができます。

- ｉモードセンターに保管されるのは、以下の場合です。
  - ・FOMA端末の電源が入っていないとき
  - ・「圏外」が表示されているとき
  - ・受信BOXが満杯のとき
  - ・「メール選択受信設定」が「ON」のとき
  - ・テレビ電話中／遠隔監視中
  - ・セルフモード設定中
  - ・FirstPassセンター接続中
- 問い合わせる項目は「ｉモード問い合わせ設定」で設定します。

1 [MAIL]（1秒以上）

メール問い合わせ画面が表示されます。
ｉモード問い合わせは、以下の手順でも行えます。

・α［ｉmode］▶「ｉモード問い合わせ」
・✉［MAIL］▶「ｉモード問い合わせ」

問い合わせは「メール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順で行います。
問い合わせ中は「」「R」「F」が点滅して「問い合わせ中…」と表示され、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信します。

■ 問い合わせを中止する場合
▶問い合わせ中にα［中止］またはCLR（1秒以上）
問い合わせを中止したときでも、中止したタイミングによりｉモードメールやメッセージR／Fを受信することがあります。

2 新しく受信したｉモードメールとメッセージR／Fの件数を確認▶「戻る」

おしらせ

- 電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
- 「」のアイコンが表示されたときは、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されています。ｉモードセンターに保管されているｉモードメールがいっぱいになると「（赤色）」のアイコンの表示になります。
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときや「圏外」が表示されているときにセンターに届いた場合などは、「」のアイコンが表示されないことがあります。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

〈iモードメール返信〉

iモードメールに返事を出す

iモードメールの送信元に返信します。返信には、新たに本文を入力する方法と受信したiモードメールの本文を引用する方法があります。

● 返信するiモードメールの題名には「Re:」が追加されます。題名の文字数が「Re:」と合わせて全角15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

新たに本文を入力して返信する

1 受信メール一覧画面（P.223）／受信メール詳細画面（P.224）▶✉［返信］▶題名、本文を編集して送信

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ返信する場合

▶「返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶「返信」▶「すべてへ」

送信元が返信不可の場合、ほかの同報の宛先を含めすべての宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

同報の宛先に返信不可の宛先が含まれている場合、返信不可の宛先が削除されたメール返信画面が表示されます。

送信が終了すると「✉」が「↩」に変わります。

おしらせ

- 返信できない送信元（メールアドレスが半角50文字を超えているときなど）には「Fm×↩」が表示されます。
- 題名に「Re:」（すべて半角文字）がついたiモードメールに返信する場合、返信するiモードメールの題名に「Re:」の代わりに「Re2:」が追加されます。以降、「Re2:」が付いているときは「Re3:」、「Re3:」が付いているときは「Re4:」というように、「Re99:」まで追加されます。「Re:」に全角文字が含まれていたり、「RE:」（「E」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Re:」が追加されます。
- 送信元が「photo-server@docomo-camera.ne.jp」のiショットメールには返信できません。

本文を引用して返信する

受信したiモードメールの本文を引用して返信します。

1 受信メール詳細画面（P.224）▶α［機能］▶「引用返信」▶題名、本文を編集して送信

■ 複数の宛先があるメールの送信元へ引用返信する場合

▶「引用返信」▶「送信元へ」

■ 複数の宛先があるメールの送信元とすべての宛先に返信する場合

▶「引用返信」▶「すべてへ」

返信メールの本文に受信したメールの本文が引用されて表示されます。

引用符（お買い上げ時は「>」）は、引用返信するメールの本文の先頭に1つだけ付きます。本文の行頭のすべてには付きません。

引用符を編集するには→P.231

送信が終了すると「✉」が「↩」に変わります。

おしらせ

- 引用するiモードメールにファイルが添付されているときは、添付ファイルは削除されます。
- メール本文にメロディやiアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.219

〈iモードメール転送〉

iモードメールをほかの宛先に転送する

受信したiモードメールをほかの人に転送します。

● 転送するiモードメールの題名には「Fw:」が追加されます。題名の文字数が「Fw:」と合わせて全角15文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。

1 受信メール詳細画面（P.224）▶α［機能］▶「転送」▶「To <宛先参照／入力>」▶宛先を入力

宛先の詳しい入力操作について→P.205

題名、本文を編集できます。受信したメールの本文、追加した文、冒頭文、署名を合わせて全角5,000文字分まで転送できます。

2 ✉［送信］

送信が終了すると「✉」が「⬆」に変わります。

おしらせ

- 題名に「Fw:」（すべて半角文字）が付いたiモードメールを転送する場合、転送するiモードメールの題名に「Fw:」の代わりに「Fw2:」が追加されます。以降「Fw2:」が付いているときは「Fw3:」、「Fw3:」が付いているときは「Fw4:」というように、「Fw99:」まで追加されます。「Fw:」に全角文字が含まれていたり、「FW:」（「W」が大文字）となっている場合は、題名の先頭に新たに「Fw:」が追加されます。

おしらせ

- メールへの添付が禁止されているファイルや、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- メール本文にメロディやｉアプリの起動指定などの貼付データがある場合、貼付データは削除されます。
- 取得が完了していない添付ファイルが存在する場合、そのファイルは添付されません。→P.219

メールアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録します。

- 受信SMSの場合は、送信元の電話番号が電話帳の電話番号に登録されます。

＜例：送信元のメールアドレスを電話帳に登録する場合＞

1 受信メール詳細画面（P.224）▶α［機能］▶「アドレス登録」

■ 登録候補として複数のメールアドレスが存在する場合

▶メールアドレスを選択する画面で登録したいメールアドレスを選択

■ 送信したメールの宛先のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合

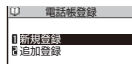
▶送信メール詳細画面▶α［機能］▶「アドレス登録」

複数の宛先に送信したｉモードメールの場合は、表示されるメールアドレスのリストから登録するメールアドレスを選択します。

■ 送信または受信したメールの本文のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する場合

▶送信メール詳細画面／受信メール詳細画面▶登録するメールアドレスまたは電話番号を反転▶α［機能］▶「電話帳登録」

2 「YES」▶「本体」▶「新規登録」

電話帳新規登録画面に、入力された項目の内容が表示されます。必要な項目を入力して電話帳に登録します。

■ FOMAカードの電話帳に登録する場合

▶「YES」▶「FOMAカード(UIM)」

FOMAカードの電話帳に登録するときは、登録方法の「追加登録」の代わりに「上書き登録」と表示されます。

電話帳の登録のしかた→P.91

選択受信添付ファイルを取得する

メール本文と挿入画像と添付ファイルの容量の合計が100Kバイトを超えるときは、メール受信時に添付ファイルを自動で受信することができません。この場合、後から手動で取得する必要があります。

- 「添付ファイル優先受信設定」で、チェックを外している種類のファイルについても、同様に手動で取得する必要があります。
- 受信メール詳細画面で、添付ファイルの取得を行っていない場合は「 」のアイコンが、途中まで添付ファイルの取得を行っている場合は「 」のアイコンが表示されます。

1 受信メール詳細画面（P.224）▶「 」または「 」のアイコンが表示されている添付ファイルを選択

データの取得が開始されます。

データの取得が完了すると、完了したことを示す画面が表示されます。

■ 取得を途中で中止する場合

▶α［中止］

途中まで取得したデータを保存します。この場合、再度操作1を行うことで、部分的に取得した添付ファイルの残りのデータを取得することができます。

2 データ取得後、添付ファイルのファイル種別に合わせ、ファイルの内容が表示される

おしらせ

- 取得が完了していない添付ファイルが１つでも存在する場合は、「受信メール詳細画面」（P.224）で、添付ファイルの保存期限が表示されます。すべての添付ファイルの取得が完了すると、保存期限の表示は消えます。なお、保存期限を過ぎた添付ファイルは取得できません。
- 「受信メール詳細画面」で、取得が完了していない添付ファイルに対して表示されるファイルサイズは、取得後（取得した場合）のファイルサイズです。
- 添付ファイルを受信した際、受信BOXの保存容量を超えた場合は、添付ファイルのサイズに従い受信メールが自動的に削除されます（添付ファイルのサイズによっては大量に受信メールが削除されることがあります）。なお、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内の受信メールは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。→P.226

ｉモードメールに添付されているファイルを確認・保存する

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたデータを確認・保存します。

● 受信が完了していない添付ファイルを選択した場合、受信動作を開始します。
● 受信が完了していない添付ファイルは、保存することができません。保存する場合は、あらかじめ受信を完了しておく必要があります。→P.219

メロディを保存する<メロディ保存>

受信したｉモードメールに添付または貼り付けられたメロディ（ 、 ）をFOMA端末に保存します。

● 通話中はメロディの再生ができません。
● 送信元がFOMA N703iμ以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

1 受信メール詳細画面（P.224）▶メロディを反転▶α［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ メロディを止める場合
▶ 、0～9、*、#、ch、MENU、

2 「YES」▶項目を選択

■ 着信音などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

● 複数のデータが貼り付けされている場合は、貼付データ自体が表示されないことがあります。
● メールを開いたときにメロディを自動再生させたくない場合は、「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生しない」に設定してください。
● 100Kバイトを超えるメロディは、microSDメモリーカードにのみ保存できます。

画像を保存する<画像保存>

受信したｉモードメールに添付または挿入された画像（ ）を保存します。
挿入画像を保存するには→P.228

1 受信メール詳細画面（P.224）▶画像に囲み枠を移動▶α［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ 画像表示をファイル名表示に切り替える場合
▶画像を選択
再度画像表示に戻すには、ファイル名を選択します。

2 「YES」▶項目を選択

■ 待受画面などに設定しない場合
▶「NO」

おしらせ

● 画像によっては受信メール詳細画面で画像表示されないものがあります。この場合、ファイル名を選択すると画像を確認することができます。

おしらせ

● 画像のサイズがディスプレイより大きい場合は縮小して表示します。ただし、大きすぎる画像は表示されないことがあります。
● ｉモードメールでの画像表示とマイピクチャでの画像表示は異なる場合があります。画像を正しく表示するには、INBOXフォルダに保存した画像をマイピクチャで表示する必要があります。
● デコメ絵文字は「マイピクチャ」のデコメ絵文字フォルダに保存されます。

ｉモーションを保存する<ｉモーション保存>

受信したｉモードメールに添付されたｉモーション（ ）を保存します。

● 通話中はｉモーションの再生ができません。

1 受信メール詳細画面（P.224）▶ｉモーションを反転▶α［機能］▶「データ保存」▶「YES」▶フォルダを選択

■ ｉモーションを再生する場合
▶ｉモーションを選択

2 「YES」

■ 待受画面に設定しない場合
▶「NO」

ツールデータを保存する

受信したｉモードメールに添付されたツールデータ(電話帳、スケジュールまたはBookmark)( )を保存します。

<例：スケジュールを保存する場合>

1 受信メール詳細画面（P.224）▶ファイルを選択

スケジュールの情報が表示されます。
機能メニューから「データ保存」を選択しても、同じ動作となります。

2 ［保存］

■ 電話帳の場合

▶［保存］▶登録先を選択

「本体」、「FOMAカード（UIM）」を選択した場合の詳しい操作手順については、「電話帳に登録する」（P.91）を参照してください。

■ Bookmarkの場合

▶［選択］▶登録先を選択

おしらせ

- スケジュールは microSD メモリーカードには保存できません。
- ファイルに複数件の情報が存在している場合、そのファイルを表示するときに、先頭の1件のみを表示するというメッセージが表示されます。また、このファイルをFOMA端末内に保存した場合、保存されるのは先頭の１件のみです（microSDメモリーカードに保存した場合は、すべての情報が保存されます）。

その他ファイルを保存する

受信したｉモードメールに添付されたその他ファイル（ ）を保存します。

- その他ファイルは自動的にmicroSDメモリーカードの「OTHER」フォルダに保存されます。なお、保存するとファイル名が変更されます。→P.276

1 受信メール詳細画面（P.224）▶その他ファイルを反転▶α［機能］▶「データ保存」▶「YES」

おしらせ

- ｉモードメールにトルカが添付されていた場合、添付ファイルは「その他のファイル」になります。そのファイルをトルカ対応のFOMA端末に転送した場合、受信したFOMA端末では「トルカ」として扱われます。

〈送信メールBOX／受信メールBOX〉

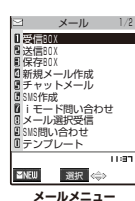
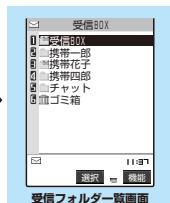
送信／受信メールBOXのメールを表示する

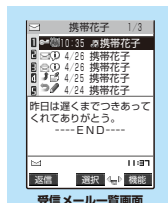
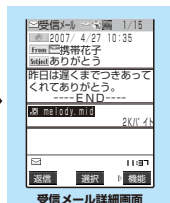
- 受信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大1,000件、送信メールはｉモードメールとSMSを合わせて最大400件まで保存されます。
- 受信メールは最大1,000件、送信メールは最大200件まで保護することができます。
- 保存および保護できるメールの件数は、データ量により変動します。ファイルサイズが大きいデータを保存したときは、保存および保護できる件数が少なくなります。
- お買い上げ時は、「ドコモからのお知らせ 」のメールが保存されています。

ｉモードメールの本文を読む

<例：受信メールの本文を読む場合>

1 ［MAIL］▶「受信BOX」▶フォルダを選択▶メールを選択

シークレットモード、シークレット専用モードのときには、フォルダ一覧画面にシークレットフォルダも表示されます。

メールメニュー　受信フォルダ一覧画面

機能メニュー ➡P.224

受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

機能メニュー ➡P.226　機能メニュー ➡P.228

■ 前後のメールを表示する場合

▶メール詳細画面▶

CLRを押すと、メール一覧画面に戻ります。

おしらせ

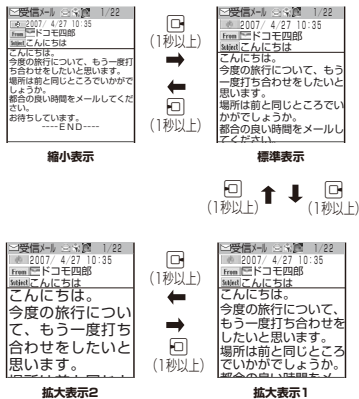
- 受信メールの送信元や同報者の宛先、送信メールの宛先（SMSは電話番号、ｉモードメールはメールアドレス）をデスクトップアイコンとして待受画面に貼り付けることができます。貼り付けたアイコンから、そのメールアドレスを宛先とする新規ｉモードメールを作成できます。ただし、「Fm」「To」「Cc」の付いたメールアドレスは、デスクトップアイコンとして貼り付けることができません。また同報メールの場合でも、１回の操作で貼り付けられるメールアドレスは１件だけです。
- 「ドコモからのお知らせ 」の中でご案内しているｉアプリを起動すると、通信料がかかります。

メールの文字サイズや一覧表示方法などを切り替える

● メールの本文の文字サイズを変えるとき

● メール詳細画面を表示しているときに、本文の文字の大きさを変更できます。

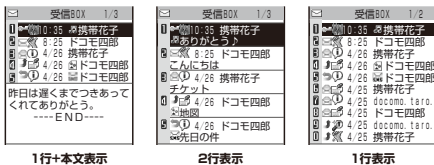
縮小表示　標準表示

拡大表示2　拡大表示1

おしらせ

- 上記のボタン操作により表示を切り替えたときは、「フォント設定」の「文字サイズ」の「メール」、および「文字サイズ設定」の設定も変更されます。

● メール一覧画面の表示切替（1行＋本文表示／1行表示／2行表示）

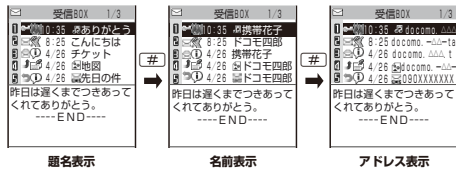
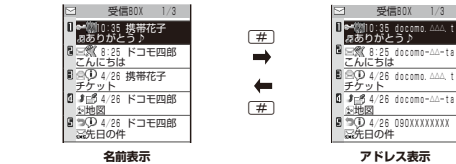
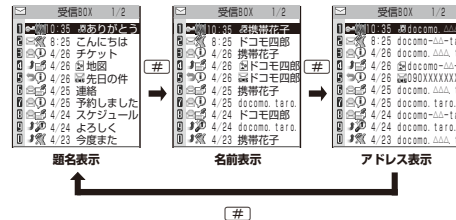
● メールメニューで「メール設定」の「メール一覧表示設定」を選択すると、1行＋本文表示で表示するか、2行で表示するか、1行で表示するかを切り替えることができます。

1行+本文表示　2行表示　1行表示

● メール一覧画面の表示切替（名前表示／アドレス表示／題名表示）

● メール一覧画面で、メールを宛先や送信元の名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するか、題名で表示するかを切り替えられます。
● 宛先や送信元の名前が電話帳に登録されている場合、その名前を表示できます。

● メール一覧画面（1行＋本文表示）

題名表示　名前表示　アドレス表示

● メール一覧画面（2行表示）

名前表示　アドレス表示

● メール一覧画面（1行表示）

題名表示　名前表示　アドレス表示

おしらせ

- メール一覧画面の機能メニューから「一覧表示切替」を選択して「題名表示」、「名前表示」、「アドレス表示」から項目を選択しても表示の切り替えができます。

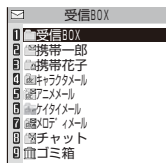
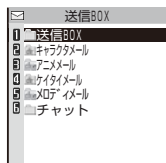
● 受信メール／送信メールの保存件数を確認する

● すべてのフォルダの保存件数を確認するときは、フォルダ一覧画面で機能メニューから「保存件数確認」を選択します。
● フォルダごとの保存件数を確認するときは、確認したいフォルダ内のメール一覧画面を表示した後、機能メニューから、「保存件数確認」を選択します。

● バックライト機能について

● FOMA端末を開いたときやボタンを押したとき、ｉモードメールやSMSを送受信したときなどにバックライトを約15秒間点灯します（点灯時間は「メール／メッセージ鳴動」の設定によって変わります）。ただしｉモードメールやSMSの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
●「照明設定」の「通常時」を「OFF」に設定しているときは点灯しません。

フォルダ一覧画面の見かた

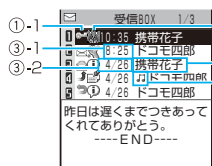
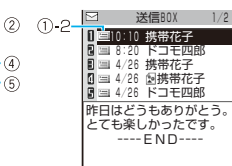
受信フォルダ一覧画面

送信フォルダ一覧画面

アイコン	説明
	通常のフォルダ
	メール連動型ｉアプリのフォルダ
	ゴミ箱フォルダ
	シークレットフォルダ

：未読メールがあるとき
：メールセキュリティが設定されているとき
：自動振分け設定（P.225）がされているとき

おしらせ

- 受信BOXや送信BOXには自由にフォルダを追加できます。→P.224
- お買い上げ時には、メール連動型ｉアプリのフォルダはありません。メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、自動的に作成されます。→P.243
- シークレットフォルダは、シークレットモードおよびシークレット専用モードでのみ表示されます。→P.141

メール一覧画面の見かた

受信メール一覧画面　送信メール一覧画面

① メールの状態
①-1 受信

アイコン	説明
	未読メール
	既読メール
	保護されている既読メール
	転送済みメール
	返信済みメール

：保護されているとき

①-2 送信

アイコン	説明
	宛先が1件のメール
	宛先が複数のメール（同報メール）

：保護されているとき
：一部送信が失敗したもの
：送信が失敗したもの

② メールの内容

アイコン	説明
など	感情お知らせメール→P.216

③ 送受信した時刻や日付
③-1 当日送受信したメールは時刻表示
③-2 前日までに送受信したメールは日付表示

④ 送信元／宛先または題名
題名がない場合は「無題」と表示
SMSの場合は本文の冒頭が表示（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」と表示）
留守番着信通知の場合は「留守番　着信通知」と表示

⑤ メール種別、添付ファイル情報
<2行表示の場合>

アイコン	説明
	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS 送達通知受信済みのSMS
	メロディ添付メール
	画像添付メール
	ｉモーション添付メール
	ツールデータ（電話帳、スケジュールまたはBookmark）添付メール
	その他ファイル添付メール
	メール本文からｉアプリが起動可
	メール本文からｉアプリが起動不可（メールをシークレットフォルダに移動）
	メール連動型ｉアプリで送受信したメール
	未取得ファイル添付メール→P.219
	未完成ファイル添付メール→P.219
	取得不可ファイル添付メール
	複数ファイルが添付されている、または添付ファイルと貼付ファイルが混在しているメール
	複数データが貼り付けられているメール（データがｉアプリToと一緒に貼り付けられている場合にも表示）

アイコン	説明
(icon)	FOMAカード動作制限機能がかかっているメール（メールを送受信したときとは違うFOMAカードを使用）

（icon）：添付ファイルが削除されているもの

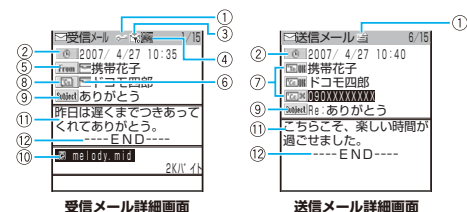
（icon）：複数ファイルのうち、一部のファイルが削除されているもの

（icon）：複数ファイルで、すべてのファイルが削除されているもの

おしらせ

- 画像が添付されたｉモードメールは、受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で画像に囲み枠を移動し、◉［選択］を押すごとに画像表示とファイル名表示が切り替わります。

メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面　　送信メール詳細画面

① メールの状態
「メール一覧画面の見かた」（P.223）の①参照

② 送受信した時刻と日付

③ 宛先のタイプ（受信メール）

アイコン	説明
(icons)	送信元の宛先のタイプ→P.206

④ メールの内容（受信メール）

アイコン	説明
(icon) など	感情お知らせメール→P.216

⑤ 送信元（受信メール）

アイコン	説明
From　Fm	送信元の名前またはメールアドレス

（icon）：返信不可のもの

⑥ 電話帳に登録されているアイコン
メールアドレスや電話番号が電話帳に登録されている場合、電話帳に登録されているアイコンを表示

⑦ 宛先と宛先のタイプ（送信メール）

アイコン	説明
To OK　To ✕ Cc OK　Cc ✕ Bcc OK　Bcc ✕	宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.206

（icon）：送信失敗のもの

⑧ 同報メールの宛先と宛先のタイプ（受信メール）
最大4件まで表示

アイコン	説明
To　To Cc　Cc	同報メールで、自分以外の宛先の名前またはメールアドレス、および宛先のタイプ→P.206

（icon）：返信不可のもの

⑨ 題名
題名がないときは「無題」と表示
受信したSMSには「（icon）」（SMSがFOMAカード内にあるときは「（icon）」）が表示され、タイトルは「SMS」（SMS送達通知の場合は「SMS送達通知」）と表示
SMS送達通知を受信済みの場合は、「（icon）」も合わせて表示

⑩ 添付ファイル情報
ファイル名、ファイルサイズも表示

アイコン	説明
(icon)	貼り付けられたメロディ（不正なメロディは本文にテキスト表示）
(icon)	正しくない挿入画像

※ 上記以外に一覧画面と同じアイコンが表示される場合があります。それらについては、P.223の⑤の説明をご覧ください。

⑪ メール本文

⑫ 本文の終わりに表示

おしらせ

- 以下の場合は、電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されていても「名前」が表示されず、メールアドレスのままの表示となります。
  - ・「指定発信制限」が設定中で、「指定発信制限」に指定されていない電話番号のとき
  - ・シークレット専用モードで、シークレット登録されていない電話番号またはメールアドレスのとき
  - ・シークレットモードまたはシークレット専用モード以外で、シークレット登録された電話番号またはメールアドレスのとき

機能 メールフォルダ一覧画面

- 追加できるフォルダは22個までです。
- お買い上げ時にすでにある受信BOX、送信BOX、チャット、ゴミ箱、シークレットの各フォルダは、削除や並び替え、フォルダ名の変更はできません。また各フォルダに自動振分けを設定することもできません。

1 メールフォルダ一覧画面（P.223）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。

自動振分け設定……「自動振り分けを設定する」→P.225

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

メールセキュリティ……フォルダのセキュリティを設定／解除します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」
「フォルダ別にセキュリティを設定する」→P.148

フォルダ並び替え……フォルダを並び替えます。
▶移動先を選択

保存件数確認……シークレットフォルダ以外のすべてのフォルダ内のメールの件数および未読件数、保護件数を表示します。

フォルダ内表示……フォルダ内のメール一覧画面を表示します。

デスクトップ貼付※……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

microSDへ全コピー……「FOMA 端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

フォルダ削除……▶端末暗証番号を入力▶「YES」

既読メール全削除※……すべての既読メールを削除します。

受信メール全削除（送信メール全削除）……すべてのメールを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

※：受信メールフォルダ一覧画面でのみ利用できる機能です。

おしらせ

＜フォルダ追加＞
- メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、ｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます（最大5件）。

＜フォルダ名編集＞
- メール連動型ｉアプリのフォルダ名の編集はできません。

＜メールセキュリティ＞
- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名の編集はできません。

＜フォルダ並び替え＞
- 追加したフォルダが1つしかない場合は並び替えできません。

＜フォルダ削除＞
- フォルダ内のメールが保護されているときやメールセキュリティが設定されているときは、フォルダを削除できません。保護またはメールセキュリティを解除してから削除してください。
- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信メールフォルダ一覧画面、受信メールフォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。
- 「自動振分け設定」が設定されていたフォルダを削除すると、そのフォルダに設定されていた自動振分け設定は解除されます。

＜既読メール全削除＞
- 保護されている既読のｉモードメールやSMS、シークレットフォルダ内のメールは削除されません。

おしらせ

＜送信メール全削除＞
- 保護されているｉモードメールやSMS、シークレットフォルダ内のメールは削除されません。

＜受信メール全削除＞
- 未読のメールも削除されます。ただし、保護されているｉモードメールやSMS、シークレットフォルダ内のメールは削除されません。

● 自動振り分けを設定する

受信メールの送信元や送信メールの送信先のメールアドレス、題名、返信不可のメールなど、あらかじめ指定した条件で、指定したフォルダにメールを自動的に振り分けます。

- 自動振り分けをするメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーは、受信BOXと送信BOXの全フォルダを合わせて700件まで登録することができます。1つのフォルダに複数のメールアドレスや電話番号、電話帳のグループ、メールメンバーを登録することもできます。題名はそれぞれのフォルダに1つだけ登録できます。
- 受信または送信したメールが複数の振り分け条件に該当する場合、自動振分け設定の優先順位は以下のとおりです。ただし、メール連動型ｉアプリのメールは自動振分け設定にかかわらず専用のフォルダに振り分けられます。チャットメールは、「すべて振分け」が設定されていない場合は、自動振分け設定にかかわらずチャットフォルダに振り分けられます。
  ①すべて振分け　②題名振分け　③返信不可振分け／送信失敗振分け　④メールアドレス／電話番号　⑤メールメンバー　⑥電話帳グループ
- 自動振分け設定を設定する前に受信または送信したメールは、設定前に保存されているフォルダに残ります。

1 メールフォルダ一覧画面（P.223）▶振り分け先のフォルダを反転▶α［機能］▶「自動振分け設定」

2 以下の項目から自動振り分けを設定

すでに振り分け条件を設定している場合は設定中の条件が表示されますので、さらにα［機能］を押します。

■ **オリジナルロックを電話帳やメールメンバーに設定している場合**
グループ名は「グループ」、メールメンバーは「メールメンバー」と表示されます。

アドレス振分け……自動振り分けをするメールアドレスを設定します。

アドレス参照入力……電話帳や受信アドレス一覧、送信アドレス一覧を参照してメールアドレスを設定します。

グループ参照……電話帳のグループを設定します。

メールメンバー参照……メールメンバーを設定します。

直接入力……1文字ずつ入力してメールアドレスを直接入力して設定します。

題名振分け……自動振り分けをするメールの題名を入力し、設定します。

返信不可振分け（送信失敗振分け）……返信不可のメールアドレス（または送信が失敗したメールアドレス）を設定します。

すべて振分け……メール連動型ｉアプリのフォルダだけに設定することができます。すべてのメールをメール連動型ｉアプリのフォルダに振り分けます。

アドレス／題名編集……設定済みのメールアドレスやメールの題名を編集します。

一覧表示切替……自動振り分けをするメールアドレスの一覧の表示方法を「名前表示／アドレス表示」から選択します。

解除……「1件解除／選択解除／全解除」から選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- 同報送信した送信メールは、1番目、2番目と入力した宛先の順番で振り分け条件を検索します。
- メールセキュリティが設定されているフォルダの場合は、受信メールフォルダ／送信メールフォルダ一覧画面の機能メニューから「自動振分け設定」を選択した後に端末暗証番号の入力が必要になります。

<アドレス振分け（グループ参照）>
- 「グループ00」やFOMAカード内のグループを設定することはできません。
- シークレットデータとして登録されたメールアドレスをグループ参照でフォルダ登録した場合、その相手からメールを受信すると、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中でないときは受信BOXフォルダに振り分けられ、シークレットモード設定中またはシークレット専用モード設定中には振り分け設定したフォルダに振り分けられます。

<アドレス振分け（直接入力）>
- メールアドレスはドメイン（@マークより後ろの部分）まで正しく入力してください。ただし、「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。

<題名振分け>
- 題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、受信BOX、送信BOXの各フォルダに最も近いフォルダに振り分けられます。
- 1つのフォルダに設定できる題名は1件のみです。
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。
- SMSは題名振り分けできません。

<返信不可振分け>
- SMS送達通知は振り分けされません。
- 「返信不可振分け」は受信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<送信失敗振分け>
- 「送信失敗振分け」は送信BOXの1つのフォルダにしか設定できません。

<すべて振分け>
- SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。
- 「すべて振分け」は、受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにしか設定できません。

<一覧表示切替>
- 自動振分け設定画面で [#] を押しても、「名前一覧表示」と「アドレス一覧表示」を切り替えることができます。

機能 メール一覧画面

1 メール一覧画面（P.221）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

返信※1……「新たに本文を入力して返信する」→P.218

再編集※2……メールを再編集します。
▶宛先、題名、本文を編集▶[✉]［送信］

フォルダ移動……メールをほかのフォルダへ移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶[✥]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］▶「YES」

メール検索……送信元／宛先や題名を指定してメールを検索します。

送信元検索／宛先検索……電話帳や受信メールアドレス一覧、送信メールアドレス一覧を参照してメールアドレスを指定したり、1文字ずつメールアドレスを直接入力して検索します。

題名検索……題名を入力して検索します。

全表示……検索、ソート表示またはフィルタ機能による表示を元の表示（すべてを新しい順）に戻します。

ソート……選択した条件に従ってメールを並び替えます。

フィルタ……選択した条件に一致するメールのみを表示します。

色分け……メールを「指定なし（黒）／赤／青」から選択して色分けします。

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

すべて既読※1……フォルダ内のすべての未読メールを既読メールにします。

保護※1……「1件保護／選択保護／全保護」から選択します。「複数選択について」→P.40

保護解除※1……「1件保護解除／選択保護解除／全保護解除」から選択します。「複数選択について」→P.40

保護／保護解除※2……メールを保護／保護解除します。

全保護解除※2……保護されているすべてのメールの保護を解除します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

FOMAカード操作……「メール画面からSMS（ショートメッセージ）を移動またはコピーする」→P.286

メール情報※1……メールを開かずに送信元などの情報を表示します。

保存件数確認……フォルダ内のメールの件数を表示します。

お預りセンターに保存……「メールをお預かりセンターに保存する」→P.227

ゴミ箱へ捨てる※1……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。
▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］▶「YES」

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40
・受信メールでは「既読削除／SMS送達通知全削除」を選択して、既読メールやSMS送達通知のみを一括削除することもできます。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※3……「1件保管／選択保管／全保管」から選択します。
「複数選択について」→P.40
「各種データを表示できないようにする」→P.141

※1：受信メール一覧画面でのみ利用できます。
※2：送信メール一覧画面でのみ利用できます。
※3：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

機能 未読メール一覧画面

1 未読メール一覧画面（P.215）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

返信……「新たに本文を入力して返信する」→P.218

一覧表示切替……メール一覧の表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

1件削除……メールを1件削除します。

おしらせ

<フォルダ移動>
- ゴミ箱、シークレットの各フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<メール検索>
- 検索結果をさらに検索することができます。
- フィルタ機能やソート表示を併用することができます。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- 題名検索で「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

<ソート><フィルタ>
- ソート表示とフィルタ機能を併用することができます。たとえば受信メール一覧画面で未読メールだけを古い順に表示させたいときは、ソートメニューの「古い順」を選択した後、フィルタメニューの「未読のみ」を選択します。
- 元に戻すには「全表示」を選択します。
- メール一覧画面を終了するとソートとフィルタは解除されます。

<色分け>
- メール一覧画面で[＊]を押しても色を切り替えることができます。

おしらせ

<一覧表示切替>
- メール一覧画面で[＃]を押しても、「題名表示」、「名前表示」と「アドレス表示」を切り替えることができます。

<すべて既読>
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「すべて既読」を選択すると、表示されているメールのみ既読メールになります。

<保護／保護解除>
- FOMAカードのSMSは保護できません。
- ゴミ箱フォルダにあるメールは保護できません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 削除したいメールはゴミ箱フォルダに捨てます。ゴミ箱フォルダに捨てたメールはすぐには削除されず、削除されるまではゴミ箱フォルダからほかのフォルダに戻すことができます。ゴミ箱フォルダに捨てられたメールは、「受信BOX」がいっぱいになった場合、優先的に削除されます。
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知はゴミ箱フォルダに捨てることはできません。
- 未読メールをゴミ箱フォルダに捨てると、既読メールになります。

<削除>
- 保護されているｉモードメールやSMS、SMS送達通知は削除できません。
- フィルタ機能でメールを表示させた後に「既読削除」や「全削除」を選択した場合、フィルタ表示されたメールが削除対象となります。

● メールをお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されているｉモードメールやSMSをお預かりセンターに保存します。
- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 メール一覧画面（P.213、221）▶[α]［機能］▶「お預りセンターに保存」▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］
メールは最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」
お預かりセンターに接続してメールの保存を開始します。

3 [メール]［完了］

おしらせ
- FOMAカードに保存されているSMSはお預かりセンターに保存できません。
- ｉモードメールに添付されているファイルは削除して保存されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像が受信メールに挿入されている場合は、削除して保存されます。
- メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は保存されません。

■ メールを復元する
お預かりセンターに預けているメールデータは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

機能 メール詳細画面

1 メール詳細画面（P.221）▶α［機能］▶以下の項目から選択

返信※1……「新たに本文を入力して返信する」→P.218

引用返信※1……「本文を引用して返信する」→P.218

転送※1……「iモードメールをほかの宛先に転送する」→P.218

再編集※2……メールを再編集します。
▶宛先、題名、本文を編集▶✉［送信］

再送信※2……メールを再送信します。

保護／保護解除……メールを保護／保護解除します。

フォルダ移動……移動先のフォルダを選択し、メールを移動します。

コピー……メールの本文、題名、メールアドレスをコピーします。コピーした文字は文字入力（編集）画面に貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

アドレス登録・電話帳登録……「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.219

データ保存……「iモードメールに添付されているファイルを確認・保存する」→P.220

挿入画像保存……デコメールの本文に挿入した画像を保存します。
▶画像を選択▶「YES」▶フォルダを選択▶「YES」▶項目を選択
待受画面などに設定しない場合は、フォルダを選択した後に「NO」を選択します。

デスクトップ貼付……送信元／宛先のアドレスをデスクトップアイコンとして貼り付けます。
「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

テンプレート保存……メールをテンプレートとして保存します。「テンプレートを保存する」→P.212

辞典検索……辞典を起動します。
「辞典を利用する」→P.319

プロパティ……画像を選択し、デコメールの本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。

電話発信※1……メールの送信元が電話帳に登録されている場合、「音声発信／テレビ電話発信」から選択して電話をかけます。

チャット起動※1……チャットメールを起動します。
→P.232

SMS送達通知表示※2……SMS送達通知を表示します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

FOMAカード操作……「メール画面からSMS（ショートメッセージ）を移動またはコピーする」→P.286

スクロール設定……画面のスクロール行数を「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定……表示される文字サイズを「標準表示／縮小表示／拡大表示1／拡大表示2」から選択します。

添付ファイル削除・添付ファイル全削除……添付ファイルを1件または全削除します。

ゴミ箱へ捨てる※1……メールをゴミ箱フォルダへ移動します。

削除……メールを削除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※3……「各種データを表示できないようにする」→P.141

※1：受信メール詳細画面でのみ利用できます。
※2：送信メール詳細画面でのみ利用できます。
※3：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。

おしらせ

<再送信>
- 「再送信」を選択すると、メールを再編集しないで再送信します。送信に失敗したメールなどを簡単に再送信することができます。
- 送信に失敗したメールを再送信すると、再送信したメールが送信メールとして保存されます。すべての宛先に失敗した同報メールの場合も同様です。

<フォルダ移動>
- ゴミ箱フォルダへ移動することはできません。
- FOMAカードのSMSやSMS送達通知はフォルダ移動できません。

<挿入画像保存>
- デコメ絵文字はマイピクチャのデコメ絵文字フォルダに保存されます。

<電話発信>
- 送信元の電話番号が電話帳に複数登録されている場合、先頭の電話番号で発信を行います。

<SMS送達通知表示>
- 選択しているメールに対応するSMS送達通知がない場合は、この機能は利用できません。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定していても、メールが送信できなかった場合は、SMS送達通知は付きません。

<添付ファイル削除><添付ファイル全削除>
- メール本文に貼り付けられたデータや取得不可ファイル（ ）は削除できません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 保護されたメール、FOMAカードのSMS、SMS送達通知はゴミ箱フォルダに捨てることはできません。

〈送信アドレス一覧／受信アドレス一覧〉
メールの履歴を利用する

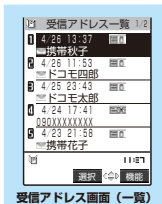
メールを送信または受信すると、送信アドレス一覧に送信先アドレス、受信アドレス一覧に送信元アドレスが記録されます。アドレス一覧からメールアドレスを選択してメールを送信することができます。アドレス一覧は、iモードメールとSMSをアイコンで区別するので、履歴の種類がわかります。

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧は、iモードメールのメールアドレスやSMSの電話番号などをそれぞれ30件まで記録されます。
- 受信BOX、送信BOXにメールセキュリティを設定していると、メールアドレスはアドレス一覧に記録されません。

アドレス一覧を確認する

<例：受信アドレス画面を表示する場合>

1 待受画面表示中▶□（1秒以上）

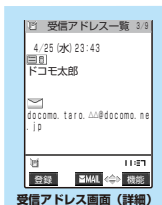
「受信アドレス画面（一覧）」が表示されます。

受信アドレス画面（一覧）

機能メニュー➡P.229

■ 送信アドレス画面（一覧）を表示する場合

□（1秒以上）

2 送信元を選択

「受信アドレス画面（詳細）」が表示されます。

受信アドレス画面（詳細）

機能メニュー➡P.229

3 内容を確認

おしらせ

- 送信アドレス画面（一覧・詳細）で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ・□: iモードメールの送信に成功
  - ・□: iモードメールの送信に失敗
  - ・□: SMSの送信に成功
  - ・□: SMSの送信に失敗

おしらせ

- 受信アドレス画面（一覧・詳細）で表示されるアイコンは以下のとおりです。
  - ・□: iモードメールを受信
  - ・□: SMSを受信
- 電源を切ったり、送受信メールを削除してもアドレス一覧は削除されません。ほかの人に見られたくないときは、アドレス一覧を削除してください。

機能 アドレス画面（一覧・詳細）

1 アドレス画面（P.229）▶α［機能］▶以下の項目から選択

電話帳登録……「メールアドレスを電話帳に登録する」→P.219

電話帳参照……メールアドレスが登録されている電話帳の詳細画面を表示します。

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

iモードメール作成※1……メールアドレスを宛先に貼り付けたiモードメールを作成します。
「iモードメールを作成して送信する」→P.205

電話発信……メールアドレスが登録されている電話帳の電話番号にPhone To／AV Phone To機能で電話をかけます。→P.188

着信履歴表示※2……着信履歴画面に切り替えます。→P.58

リダイヤル表示／発信履歴表示※3……リダイヤル画面／発信履歴画面に切り替えます。→P.58

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

※1：SMSを選択したときは「SMS作成」になります。電話番号を宛先に貼り付けたSMSを作成します。「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」→P.237
※2：受信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。
※3：送信アドレス画面（一覧・詳細）でのみ利用できる機能です。

おしらせ

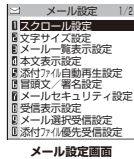
<着信履歴表示>
- 表示される着信履歴画面は「全着信」（すべての着信履歴を表示）です。

〈メール設定〉

FOMA端末のメール機能を設定する

1 ✉［✉MAIL］▶「メール設定」

「メール設定画面」が表示されます。

メール設定画面

2 以下の項目から選択

スクロール設定（お買い上げ時：1行スクロール）……メール詳細画面で◎を押したときに画面が何行分送られて（スクロールされて）表示されるかを「1行スクロール／3行スクロール／5行スクロール」から選択します。

文字サイズ設定（お買い上げ時：標準表示）……メール詳細画面で表示される文字サイズを「標準表示／縮小表示／拡大表示1／拡大表示2」から選択します。

メール一覧表示設定（お買い上げ時：1行＋本文表示）……メール一覧画面の表示行数と表示内容を設定します。表示行数を「2行表示／1行表示／1行＋本文表示」から選択し、表示方法を「題名表示／名前表示／アドレス表示」から選択します。

本文表示設定……メール本文を表示するときの表示開始位置を設定します。

- **通常表示**（お買い上げ時）……メールの先頭（受信日時／送信日時）から表示します。
- **本文から表示**……メールの本文から表示します。

添付ファイル自動再生設定（お買い上げ時：自動再生する）……受信したｉモードメールを開いたときに、添付または貼り付けられているメロディを自動再生するかどうかを設定します。

冒頭文／署名設定……「冒頭文／署名／引用符を編集する」→P.231

メールセキュリティ設定……「BOX別にセキュリティを設定する」→P.148

受信表示設定……FOMA端末の操作中にメール、メッセージR／Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

- **通知優先**（お買い上げ時）……受信中画面および受信結果画面を表示します。
- **操作優先**……受信中画面および受信結果画面を表示せず、操作中の画面の表示を優先します。

メール選択受信設定……メールの選択受信をするかどうかを設定します。

- **ON**……メールを自動受信しません。
- **OFF**（お買い上げ時）……メールを自動受信します。

添付ファイル優先受信設定（お買い上げ時：すべて「受信する」）……メールを受信したときに、同時に受信する添付ファイルの種類を「イメージ／ｉモーション／メロディ／ツールデータ／その他ファイル」から選択します。
▶◎で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

チャット設定……「チャットの各種設定をする」→P.236

感情／キーワード通知設定……「感情お知らせメールの通知方法を設定する」→P.231

SMS設定

- **SMS送達通知設定**（お買い上げ時：要求しない）……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
- **SMS有効期間設定**（お買い上げ時：3日）……送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を設定すると、SMSセンターに保管されません。
- **SMS本文入力設定**（お買い上げ時：日本語入力（70文字））……SMSの本文の入力方法を設定します。日本語入力は、全角／半角問わず、すべての文字を70文字まで入力できます。半角英数入力は、半角の英数文字を160文字まで入力できます。

メール設定確認……「メール設定」で設定した内容を確認します。

メール設定リセット……「メール設定」の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

<スクロール設定>
- スクロール行数は、メール詳細画面で機能メニューから「スクロール設定」を選択しても設定できます。この場合、本設定も変更されます。

<文字サイズ設定>
- メール詳細画面で◎または◎を1秒以上押しても文字サイズを変更することができます。また、メール詳細画面の機能メニューや、「フォント設定」の「文字サイズ」でも変更することができます。いずれの方法で変更した場合も、本設定も変更されます。
- メール詳細画面以外に移ったときは、縮小表示や拡大表示になっていても自動的に標準表示になります。メール詳細画面に戻ったときは、再度、縮小表示や拡大表示になります。

<本文表示設定>
- メールの本文が1ページ以内に表示できる場合は、「本文から表示」を選択しても、メールの先頭（受信日時／送信日時）の全部または一部と本文が表示されます。

<添付ファイル自動再生設定>
- 「自動再生する」に設定していても、FOMA N703iμ以外から送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。

<受信表示設定>
- 音声電話の着信中や発信中、音声通話中、またｉアプリやカメラなどの機能を利用しているときは、「通知優先」に設定していても、メール、メッセージR／Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面が表示されない場合があります。

<メール選択受信設定>
- 本設定は、ｉモードメールのみ適用されます。SMS、メッセージR／Fは、この設定にかかわらず自動受信します。

おしらせ

<添付ファイル優先受信設定>
- ファイルの内容を確認するには、後から手動で取得する必要があります。→P.219
- 「イメージ」のチェックを外しても、デコメール本文に挿入されている画像は受信します。
- 「ツールデータ」のチェックを外した場合、電話帳、スケジュール、Bookmarkを受信しません。

<SMS送達通知設定>
- 受信した SMS 送達通知は受信 BOX フォルダで確認できます。また、送信したSMSの詳細画面から機能メニュー「SMS送達通知表示」を選択しても確認できます。

冒頭文／署名／引用符を編集する

お買い上げ時	冒頭文／署名（未登録）：自動貼付する 引用符：>

本文の先頭に書く文章（冒頭文）や、本文の最後に書く自分の名前など（署名）をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でｉモードメールの本文に貼り付けることができます。また、受信メールを引用返信するときに引用するメールの本文の先頭に付ける記号や文章（引用符）を編集することもできます。

1 メール設定画面（P.230）▶「冒頭文／署名設定」

2 「冒頭文編集」または「署名編集」▶◉［編集］

■ 引用符を編集する場合
▶「引用符編集」

3 冒頭文、署名を入力▶✉［完了］

冒頭文、署名に入力できる文字数は全角5,000文字、半角10,000文字、引用符に入力できる文字数は全角10文字、半角20文字までです。

■ 引用符を入力する場合
▶引用符を入力

■ 冒頭文または署名を装飾する場合
冒頭文または署名を装飾することができます。
→P.207

4 「自動貼付設定」▶「冒頭文自動貼付」または「署名自動貼付」のチェックボックスを選択▶✉［完了］

■ 冒頭文または署名を自動貼り付けしない場合
▶冒頭文または署名の「自動貼付」のチェックボックスのチェックを外す

おしらせ

- 「自動貼付」のチェックボックスを選択しても、テンプレート、チャット画面、メール連動型ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。
- 冒頭文および署名を装飾する場合、背景色の設定はできません。冒頭文および署名の背景色は、貼り付けるメールの背景色に変わります。
- ｉモードメール（テキストメール）に、装飾した冒頭文または署名を貼り付けるとデコメールになります。

ｉモードセンターへ問い合わせをする内容を設定する ＜ｉモード問い合わせ設定＞

お買い上げ時
すべて「問い合わせをする」

「ｉモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目を設定します。「メール」（ｉモードメール）、「メッセージR」、「メッセージF」それぞれについて、問い合わせるかどうかを設定します。
- 「□」（チェックを外した状態）に設定すると、その項目は問い合わせません。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「アプリケーション通信設定」▶「ｉモード問い合わせ設定」

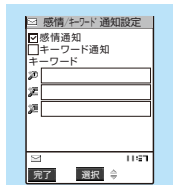
2 ◘で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

感情お知らせメールの通知方法を設定する ＜感情／キーワード通知設定＞

お買い上げ時	感情通知：ON　キーワード通知：OFF

ｉモードメールやチャットメール、SMS を受信したときに感情お知らせメールのアイコンを表示するかどうかを設定します。また、受信したメールに指定したキーワードが含まれているときにアイコンでお知らせするように設定することもできます。
- 「感情お知らせメールについて」→P.216

1 メール設定画面（P.230）▶「感情／キーワード通知設定」

「感情／キーワード通知設定画面」が表示されます。

感情／キーワード通知設定画面

機能メニュー➡P.232

■「感情通知」を利用する場合
▶「感情通知」の□（チェックボックス）を選択
「☑」にすると、メール受信時に感情お知らせメールのアイコンが表示されます。

■「キーワード通知」を利用する場合
▶「キーワード通知」の□（チェックボックス）を選択▶キーワードを1つ以上入力
「☑」にすると、「キーワード」に入力した文字列が含まれているメールを受信したときに、対応するキーワード通知のアイコン（）が表示されます。なお、「キーワード」は最低1つは入力してください（全角15文字、半角30文字で3つまで入力できます）。

2 ✉［完了］

機能 感情／キーワード通知設定画面

1 感情／キーワード通知設定画面（P.231）▶ α［機能］▶ 以下の項目から選択

キーワード削除・キーワード全削除……キーワードを1件または全削除します。

おしらせ

- キーワードを変更または削除した場合は、メール一覧画面などでそのキーワードに対応して表示されていたキーワード通知アイコンの表示も削除されます。

〈チャットメール送受信〉

チャットメールを送受信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 以下のような場合はチャットメールを起動することができません。
  - ・メール選択受信を「ON」に設定しているとき
  - ・受信BOXに保存されているメールが満杯のとき
- 複数の相手にチャットメールを送信した場合の通信料は、同報メールの送信の場合と同じです。
- チャットメールに着信音を設定することができます。同時に複数のメールを受信した場合でチャットメールが含まれているときは、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。

1 ✉［MAIL］▶「チャットメール」

「チャット画面」が表示されます。

チャットメンバーには前回終了時のメンバーが設定されます。

チャット画面

機能メニュー ➡P.233

■ チャットメンバーを設定するとき

お買い上げ後、はじめてチャットを起動したとき、また前回終了時とは異なるメンバーとチャットをはじめるときにはチャットメンバーを設定する必要があります。

「チャットメンバーを設定する」→P.234

■ チャットグループ一覧画面から起動すると

チャットグループのメンバーをチャットメンバーに設定して、チャットが起動されます。

▶チャットグループ一覧画面（P.235）▶ α［機能］▶「チャット起動」

2 ◉［選択］▶ 発言文を入力

チャット画面から送信できる文字数は全角250文字、半角500文字までです。

3 入力が終わったら ◉［確定］

入力した発言文が、発言文表示エリアに表示されます。

■ 送信先選択について

機能メニューで「送信先選択」を選択すると、送信するメンバーと送信しないメンバーを選択することができます。

4 ✉［送信］

送信が完了すると、発言文表示エリアの発言文は消去され、最新発言エリアに移行します。

■ 送信に失敗した場合

最新発言エリアの発言文がグレー表示になります。発言文表示エリアの発言文は削除されないので、送信に失敗したチャットメールだけを再送信することができます。

5 チャットメールを交換する

送信したメールに対する返信があると、最新発言エリアに表示され、それまで最新発言エリアに表示されていた発言文は発言履歴エリアに移行します。

■ 自分の発言を送信する場合

操作②〜④を繰り返します。

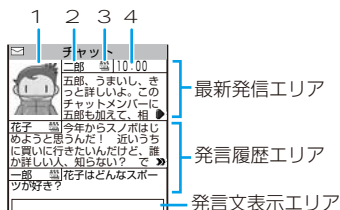
6 チャットを終了するときは ☎

既読のチャットメールを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

おしらせ

- 添付ファイルや貼付データは表示されません。
- 送受信したチャットメールはチャットフォルダに保存されます。再送信する場合は、チャットフォルダから送信してください。
- 送信したチャットメールの題名は「チャットメール」（半角）となります。
- チャット画面で表示したチャットメールは、チャットフォルダにおいて既読となります。
- チャットメールを起動中に通常のｉモードメールを受信しても、受信結果画面は表示されません。
- シークレットフォルダに保管されているチャットメールは、シークレットモード／シークレット専用モード中でも、チャット画面には表示されません。

チャットの基礎知識

■チャット画面

最新発言エリア
自分を含めて最新の発言を表示します。発言が長く表示しきれない場合は、「▶」などが表示されるので、[←→]でページを切り替えて発言内容を確認することができます。

① 画像：表示／非表示（有効／無効）を設定したり、メンバーの写真などを設定することができます。
② メンバー名：グループメンバー一覧画面の機能メニューでメンバー名を編集することができます。
③ 同報アイコン：複数のメンバーに送信されたチャットメールのときに表示されます。
[アイコン]……すべてチャットメンバーのとき
[アイコン]……一部がチャットメンバーのとき
④ 送受信日時

発言履歴エリア
古い発言ほど下に送られます。発言が長く表示しきれない場合は、「»」が表示されます。[↑↓]で最新発言エリアにスクロールさせると、発言内容を確認することができます。

発言文表示エリア
入力済みの発言が表示されます。[●]［選択］を押すと、文字入力（編集）画面が表示され、文字編集モードになります。

■チャット用語

チャットメンバー：チャットを実行するメンバー。直接、設定したり、チャットグループからグループごと入れ替えたり、メールメンバーからメンバーごと入れ替えることができます。

チャットグループ：チャットを実行する候補者を分類したグループ。チャットメンバーを、すべてのグループから選択して入れ替えることもできます。

グループメンバー：チャットグループに登録してあるメンバー。

機能 チャット画面

1 チャット画面（P.232）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

送信……チャットメールを送信します。

送信先選択……▶[↑↓]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］

チャットメンバー……「チャットメンバーを設定する」→P.234

同報宛先確認……「同報メールの宛先をチャットメンバーに追加する」→P.234

更新……ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信します。

先頭表示……最新発言エリアに最新の発言を表示します。

最終表示……最新発言エリアに一番古い発言を表示します。

チャット終了……チャットを終了します。

既読削除……保護されていない既読の送受信チャットメールを削除します。

おしらせ

<チャット終了>
- チャットメールを終了すると、未送信のチャットメールは削除されます。
- チャットメールを削除しないでチャットメールを終了するときは、「チャット終了」を選択した後に「NO」を選択します。
- 削除しないで終了した場合は、送受信したチャットメールはそれぞれ、「送信BOX」および「受信BOX」のチャットフォルダに保存されます。
- 送信に失敗したチャットメールは「送信BOX」のチャットフォルダに保存されます。
- 削除しないで終了した場合は、次回のチャットメール起動時にチャット画面の発言履歴エリアに日付が新しい順に表示されます。
- チャット画面終了時に、チャットメールを一括削除することができます。この場合、チャットフォルダからも削除されます。ただし、保護されているチャットメールは削除されません。

<既読削除>
- 送信に失敗したチャットメールも削除されます。

● 同報メールの宛先をチャットメンバーに追加する

受信したチャットメールに宛先が複数あった場合（同報メール）、他の宛先をチャットメンバーに追加することができます。

- 本機能は、チャットメールに対応したFOMA端末からの同報メールの場合のみ利用することができます。

1 チャット画面（P.232）▶α［機能］▶「同報宛先確認」▶「YES」▶でチェックボックスを選択▶✉［完了］

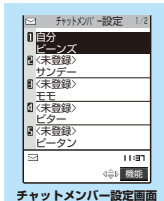
■ 宛先がすべてチャットメンバーの場合
▶「同報宛先確認」▶「OK」

チャットメンバーを設定する <チャットメンバー設定>

チャットメールをやりとりする相手を設定します。

- チャットメンバーは自分以外に5人まで登録できます。

1 ✉［MAIL］▶「チャットメール」▶α［機能］▶「チャットメンバー」

「チャットメンバー設定画面」が表示されます。

チャットメンバー設定画面

機能メニュー➡P.234

2 チャットメンバーの入力

■ メールアドレスを直接入力する場合
▶チャットメンバーを反転▶α［機能］▶「編集」

■ 参照入力する場合
▶チャットメンバーを反転▶α［機能］▶「メンバー参照入力」

機能 チャットメンバー設定画面

1 チャットメンバー設定画面（P.234）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……自分以外のチャットメンバーのメールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してチャットメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え……「チャットメンバーやグループメンバーを入れ替える」→P.234

チャットグループ登録……現在のチャットメンバーを一括してチャットグループに登録します。

詳細設定確認……チャットメンバーの設定の詳細を確認します。

削除・全削除……自分以外のチャットメンバーを1件または全削除します。

おしらせ

<編集>

- 同じメールアドレスがチャットグループに登録されている場合は、メンバー名が表示されます。チャットグループに登録されていない場合は、電話帳登録されているかいないかで表示内容が異なります。登録されているときは登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが、登録されていないときはメールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。

<メンバー参照入力（電話帳）>

- 登録済みのチャットメンバーのメールアドレスを変更した場合は、メンバー名と画像も変更されます（画像が未登録の場合は変更されません）。

<詳細設定確認>

- ユーザ（自分）の詳細設定確認を表示した場合は、メールアドレスは表示されません。

<削除><全削除>

- チャットメンバーからユーザ（自分）は削除できません。

● チャットメンバーやグループメンバーを入れ替える

1 チャットメンバー設定画面（P.234）／グループメンバー一覧画面（P.236）▶α［機能］▶「メンバー入れ替え」▶以下の項目から選択

チャットグループ※

グループ一覧……チャットグループを選択し、チャットメンバーをチャットグループごと入れ替えます。

メンバー一覧……すべてのチャットグループの中から、チャットメンバーを選択して入れ替えます。
▶でチェックボックス（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

メールメンバー……メールメンバーを選択し、チャットメンバーやグループメンバーをメールメンバーごと入れ替えます。

※：チャットメンバーの入れ替えでのみ利用できる機能です。

おしらせ

- すでにチャットメンバーやグループメンバーが登録されていた場合は、メンバーをすべて入れ替えるかどうか確認のメッセージが表示されます。
- すでに登録されているグループメンバーと同じメールアドレスがメールメンバーに含まれている場合、そのメールメンバーの入れ替えはできません。

待受中にチャットメールを受信したときは <チャットメール受信>

チャットメールを起動していないときにチャットメールを受信すると、待受画面に「」が表示されます。アイコンを選択するとチャットメールが起動します。

● FOMA端末は、以下の条件が一致するかどうかでチャットメールを識別します。
- ・題名に「チャットメール」(すべて全角またはすべて半角)が含まれている。
- ・送信元や宛先のメールアドレスがチャットメンバーまたはチャットグループに登録されている。
- ・デコメール、SMS、メール連動型 i アプリのメールではない。

● チャットメールの表示可能文字数は全角250文字です。
● 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合、チャットメール画面では本文のみ表示されます。

1 待受画面表示中▶◉▶「」を選択

待受画面

■ **送信元がチャットメンバーに登録されていない場合**
▶「YES」
チャットメンバーを削除してチャットメールを起動するかどうかのメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、現在設定されているチャットメンバーの設定を変更してチャットメールを起動します。

■ **現在設定されているチャットメンバーを変更しない場合**
▶「NO」
現在設定されているチャットメンバーの設定をそのままにして、メールメニュー画面が表示されます。

2 チャットの開始

受信したチャットメールが最新発言エリアに表示されます。削除していないチャットメールがある場合は、発言履歴エリアに日時が新しい順に表示されます。

おしらせ

● チャット画面では、Phone To/AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。受信BOXから表示した場合は、Phone To/AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できます。

チャットメンバーが変更されるとき

待受画面から「」を選択した場合や、受信メール詳細画面の機能メニューから「チャット起動」を選択した場合は、以下の条件でチャットメンバーや送信先が変更されます。

■ **送信元がチャットメンバーに設定されているとき**
前回終了時のチャットメンバーがそのまま設定されます。
ただし、起動方法によって「送信先選択」の設定は次のようになります。
- ・受信メール詳細画面から起動した場合は、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- ・「」を選択した場合は、「送信先選択」の設定に従い、送信元が送信先から外れているときは、送信先に追加されます。

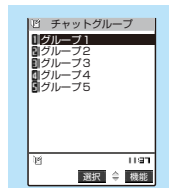
■ **送信元がチャットメンバーに設定されていないとき**
- ・チャットグループに登録されているときは、送信元が登録されているチャットグループのメンバーすべてが、チャットメンバーに設定されます。ただし、送信元以外のメンバーは送信先から外れます。
- ・チャットグループにも登録されていないときは、送信元だけが、チャットメンバーに設定されます。

チャットグループにメンバーを登録する

チャットグループにあらかじめメンバーを登録しておくことにより、簡単な操作でチャットメンバーに設定することができます。

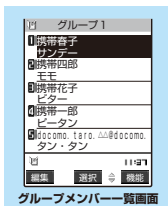
● 1件のチャットグループにメンバーを5人まで登録できます。自分を登録する必要はありません。
● チャットグループは5件まで登録できます。
● 1人のメンバーを別々のチャットグループに重複して登録することはできません。
● チャットグループにメンバーを登録すると、メンバー名を編集したり、画像を設定することができます。

1 MENU▶「OWN DATA」▶「チャットグループ」

「チャットグループ一覧画面」が表示されます。

チャットグループ一覧画面

機能メニュー➡P.236

❷ チャットグループを選択

「グループメンバー一覧画面」が表示されます。

グループメンバー一覧画面

機能メニュー➡P.236

❸「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶メールアドレスを入力

半角50文字まで入力できます。
メールアドレスを追加登録するときは、操作3を繰り返します。

■ 電話帳を引用してメールアドレスを入力する場合

▶「〈未登録〉」を選択▶「電話帳」▶検索する方法を選択▶引用するメールアドレスを選択
電話帳の検索のしかた→P.95

おしらせ

- チャットメンバーに登録するメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。
- 登録したメールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名として設定されます。登録したメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前の先頭から全角4文字、半角8文字までが表示されます。電話帳に画像も登録されている場合は、画像も設定されます。

機能 チャットグループ一覧画面

❶ チャットグループ一覧画面（P.235）▶α［機能］▶以下の項目から選択

チャット起動……チャットグループのメンバーをチャットメンバーとして、チャットメールを起動します。

グループ名編集……グループ名を編集します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

グループ名初期化……グループ名をお買い上げ時の状態に戻します。

機能 グループメンバー一覧画面

❶ グループメンバー一覧画面（P.236）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……グループメンバーのメールアドレスを編集します。半角50文字まで入力できます。

メンバー参照入力……電話帳や送信アドレス一覧、受信アドレス一覧を参照してグループメンバーのメールアドレスを入力します。

メンバー入れ替え……「チャットメンバーやグループメンバーを入れ替える」→P.234

メンバー詳細設定

メンバー名……メンバー名を編集します。全角4文字、半角8文字まで入力できます。

画像……チャット画面に表示する各メンバーの画像をマイピクチャから選択します。

1件削除・全削除……グループメンバーを1件または全削除します。

おしらせ

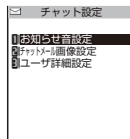
<メンバー詳細設定>

- メンバー名に何も入力しないと、電話帳に登録された名前の先頭から全角4文字、半角8文字までがメンバー名になります。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までがメンバー名になります。
- 背景色は変更できません。

〈チャット設定〉

チャットの各種設定をする

❶ メール設定画面（P.230）▶「チャット設定」

「チャット設定画面」が表示されます。

チャット設定画面

❷ 以下の項目から選択

お知らせ音設定……チャット画面を表示中に、新しいチャットメールを受信したときや送信したときに鳴らすお知らせ音をメロディから選択します。
お知らせ音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

チャットメール画像設定（お買い上げ時：有効）……チャット画面の最新発言エリアに画像を表示するかしないかを設定します。

ユーザ詳細設定

ユーザ名……ユーザ名を入力します。全角4文字、半角8文字まで入力できます。

画像……チャット画面に表示する自分の画像をマイピクチャから選択します。

おしらせ

<お知らせ音設定>

- チャットメンバーに登録されていないメンバーからチャットメールを受信した場合は、お知らせ音は鳴りません。

<ユーザ詳細設定>

- ユーザ名に何も入力しなかったり、空白のみを入力した場合は、「自分」になります。
- 背景色は変更できません。

〈SMS作成・送信〉

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

- 送信メール（ｉモードメールとSMS）は、最大400件まで保存できます（データ量によって実際に保存できる件数が少なくなる場合があります）。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国および海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA端末から送信したSMSは、mova端末ではｉモードメールとして受信されます。なお「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定している場合には、mova端末へ送信することはできません。

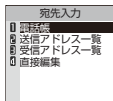
1 ✉［MAIL］▶「SMS作成」

「新規SMS画面」が表示されます。

新規SMS画面

機能メニュー➡P.238

2「To ＜宛先参照／入力＞」

宛先参照／入力の選択メニューが表示されます。

3 宛先を入力

SMSの宛先は1件のみ入力できます。

宛先入力画面

■ 電話帳から参照する場合

▶「電話帳」▶参照先を検索（P.95）▶電話帳詳細画面で宛先を選択

■ アドレス一覧から参照する場合

▶「送信アドレス一覧」または「受信アドレス一覧」▶宛先を選択

■ 宛先を直接入力する場合

▶「直接編集」▶宛先を入力

宛先は半角21文字まで入力できます。

■ 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合

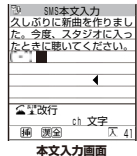
▶＋（0（1秒以上））、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力

携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。

また、「010」、国番号、相手先の携帯電話番号の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。

4「📄」

「本文入力画面」が表示されます。

本文入力画面

5 本文を入力

入力できる文字の種類と文字数は「SMS本文入力設定」の設定に従います。「日本語入力」に設定されている場合は、全角／半角問わずすべての文字を70文字まで、「半角英数入力」に設定されている場合は、半角の英数字や記号を160文字まで入力できます。

スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。

6 ✉［送信］

メール送信中のアニメーション画面が表示され、SMSが送信されます。「OK」を選択するとメールメニュー画面に戻ります。

送信済み、未送信のSMSを再編集するには

→P.226、228

おしらせ

- 以下の場合は、入力した宛先にSMSを送信することはできません。
  - ・宛先に数字、「＊」、「＃」以外の文字が含まれているとき
  - ・宛先の先頭以外に「＋」が含まれているとき
  - ・宛先にスペースが含まれているとき
- 送信メールの保存領域がいっぱいになると、SMSを送信したとき、古い送信メールから順に削除されます（保護されているメール、シークレットフォルダ内のメールは削除されません）。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手側の端末によっては文字が正しく表示されない場合があります。
- 発信者番号通知を「通知しない」に設定しても、SMS送信時は受信側に発信者番号が通知されます。
- 本文編集中に改行することができます。改行は「日本語入力」の場合は2文字、「半角英数入力」の場合は1文字としてカウントされます。
- マルチナンバーの付加番号からはSMSの送信ができません。通常発信者番号を基本契約番号に設定してください。

SMS（ショートメッセージ）送達通知について＜SMS送達通知表示＞

「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定した場合、SMS送信後にSMS送達通知が送られてきます。SMS送達通知は受信BOXに保存されますが、送信したSMSにもSMS送達通知が保存され、送信したSMSが相手に届いたかどうかを確認できます。

SMS送達通知（📄）があるSMSを表示し、機能メニューから「SMS送達通知表示」を選択します。

SMS送達通知は、受信メール一覧画面でSMS送達通知を選択しても表示できます。SMS送達通知は題名に「SMSSMS送達通知」と表示されます。

機能 新規SMS（ショートメッセージ）画面

1 新規SMS画面（P.237）▶α［機能］▶以下の項目から選択

送信……SMSを送信します。

送信プレビュー……送信する前にSMSの宛先や内容を確認します。

保存……編集中のSMS を保存BOX に保存します。ｉモードメールと合わせて最大20件まで保存できます。保存したSMSはあとで送信できます。

SMS送達通知設定……SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。

- **要求する**……SMSの送信後にSMS送達通知が届きます。
- **要求しない**（お買い上げ時）……SMSを送信してもSMS送達通知は届きません。

SMS有効期間設定（お買い上げ時：3日）……送信したSMSが圏外などで届かなかった場合に、SMSセンターに保管する期間を「0日／1日／2日／3日」から選択します。「0日」を選択すると一定時間後、再送した後にSMSセンターから削除します。

SMS本文入力設定……SMSの本文の入力方法を設定します。

- **日本語入力**（お買い上げ時）……全角／半角問わずすべての文字を70文字まで入力できます。
- **半角英数入力**……半角の英数字を160文字まで入力できます。

本文消去……本文だけを消去します。

SMS削除……編集中のSMS を削除します。

おしらせ

- メール設定画面で「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、電源を切った後でも設定は保持されますが、機能メニューで「SMS本文入力設定」、「SMS送達通知設定」、または「SMS有効期間設定」を設定した場合は、設定中のSMS1件に限り有効です。

〈SMS受信〉

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、SMSセンターから自動的にSMSが送られてきます。

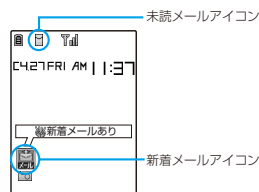
- SMSはｉモードメールと一緒に受信されるため、受信時の動作はｉモードメールを受信したときと同じになります。また、最大保存件数や、受信メールの保存領域がいっぱいになったときの動作も同じになります。
→P.215

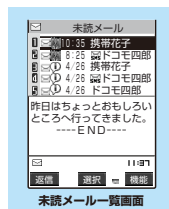
おしらせ

- mova端末などからショートメールを受信した場合は､送信元の電話番号が表示されます。ただし、発信者番号が通知されないときは、通知されない理由が表示されます。
- ｉモーションの再生中にSMSを受信した場合は､映像や音声が途切れることがあります。

新着SMS（ショートメッセージ）を表示する

- 受信したSMSは、受信メール一覧画面の題名には本文の先頭が表示されます。
- 受信したSMS送達通知の題名は「SMS送達通知」と表示されます。
- 留守番着信通知の場合は、「留守番　着信通知」と表示されます。

1 待受画面表示中▶◉▶「メール」を選択

■ **未読メールの一覧を表示する場合**
▶待受画面表示中▶◉▶✥で「✉」を選択
「未読メール一覧画面」が表示されます。

未読メール一覧画面

機能メニュー ➡P.227

おしらせ

- 受信したSMSに区点コード一覧表にない全角文字が含まれている場合はスペース（空白）で表示されます。区点コード一覧表は、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
- 表示したSMSの送信元の電話番号は反転表示されます。反転表示した状態で◉［選択］を押すと、表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけられます（Phone To機能／AV Phone To機能）。また、送信元の電話番号が電話帳に登録されているときは、登録されている「名前」が反転表示されます。この場合も同じ操作で電話をかけられます。

受信したSMS（ショートメッセージ）に返信／転送する

SMSの送信元に返信／転送します。
● 題名の入力はできません。
「新たに本文を入力して返信する」→P.218

おしらせ

- SMSでは引用返信はできません。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能の SMS には返信できません。
- SMS送達通知は返信／転送することはできません。
- 留守番着信通知は返信することはできません。
- FOMAカード内のSMSを返信／転送した場合、受信メール一覧画面、受信メール詳細画面で「 」／「 」のアイコンは表示されず「 」のアイコンの表示のままとなります。

〈SMS問い合わせ〉

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

FOMA端末が受信できなかったSMSは、SMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信することができます。
● SMSセンターに保管されるのは、以下の場合です。
・FOMA端末の電源が入っていないとき
・「圏外」が表示されているとき
・受信BOXが満杯のとき
・セルフモード設定中

1 [MAIL] ▶「SMS問い合わせ」

問い合わせ中は、「SMS問い合わせ中…」と表示されます。問い合わせが終わると問い合わせを行ったというメッセージが表示されるので、[選択］を押します。センターにSMSが保管されていれば、自動受信がはじまります。
問い合わせを行った後、自動受信がすぐにはじまらない場合があります。

おしらせ

- 電波状態によっては、問い合わせできなかったり問い合わせが中断される場合があります。
- 本機能でｉモードメール、メッセージR／Fを受信することはできません。ｉモードメール、メッセージR／Fを受信するには、「ｉモード問い合わせ」をして受信してください。

〈SMS設定〉

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

SMS（ショートメッセージ）センターについて設定する

お買い上げ時 ドコモ

※通常は設定を変更する必要はありません。

ドコモのSMSセンターを利用するか、他社のSMSセンターを利用するかを設定します。

＜例：他社のSMSセンターを利用する場合＞

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「アプリケーション通信設定」▶「SMS center 設定」▶以下の項目から選択

ドコモ……ドコモのSMSセンターを利用します。

ユーザ設定……他社のSMSセンターを利用します。
▶SMSセンターのアドレスを入力▶「International」または「Unknown」

リセット……「ユーザ設定」の内容を削除し、「ドコモ」に設定します。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

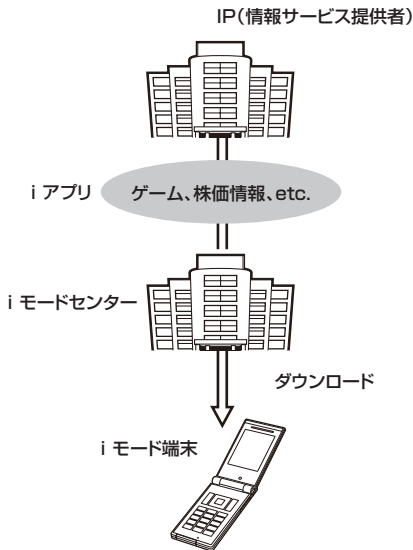
- 入力したSMSセンターのアドレスに「#」や「＊」が含まれている場合は、「International」を選択することはできません。

その他のSMS（ショートメッセージ）の設定について

その他のSMS設定については、P.230をご覧ください。
・SMS送達通知設定
・SMS有効期間設定
・SMS本文入力設定

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

● ｉアプリをダウンロードするには→P.243
● ｉアプリを起動するには→P.244
● ｉアプリを自動起動するには→P.248

おしらせ

- ソフトによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

■ 端末情報データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の端末情報データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。端末情報データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・ｉモーション保存
・ｉモーション参照
・アラームの設定変更
・マイピクチャへのフォルダ追加

● ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳のデータなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■ 端末情報データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる端末情報データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、発信履歴、着信履歴、着信音などの端末情報データを参照、登録、操作できるものがあります。端末情報データを利用してできることは以下のとおりです。

・電話帳登録
・電話帳参照
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・メールメニューの利用
・ｉモードメール作成画面利用
・最新の発信履歴参照
・最新の着信履歴参照
・最新の未読メール参照
・メロディ保存
・着信音変更（電話、テレビ電話、メール、メッセージR／F、チャットメール）
・データBOXからの画像取得
・データBOXへの画像保存
・画面設定の変更（メニューアイコン、待受画面、電話発着信、テレビ電話着信、メール送受信、メッセージR／F受信）
・キャラ電保存
・キャラ電参照
・テレビ電話代替画像の設定変更
・アラームの設定変更
・ｉモーション保存
・ｉモーション参照
・受信BOX／送信BOX参照
・マイピクチャへのフォルダ追加

おしらせ

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。

● メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。

・メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

● こんなこともできます

■ i アプリ待受画面

i アプリ待受画面では i アプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P.250

・ i アプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ i アプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P.248

■ カメラ撮影

ソフトから i モード端末のカメラを使って撮影できます。→P.158

・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P.287

・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。→P.291

たとえばお買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。

・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトから i アプリをダウンロードする

i モードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで（メール連動型 i アプリは5件まで）保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量によって変動します。なお、部分的に取得した i アプリも保存可能件数に含まれます。
- メール連動型 i アプリをダウンロードした場合、送信メールフォルダおよび受信メールフォルダ一覧に i アプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型 i アプリ名が付き、変更できません。ただし、i アプリにオリジナルロック設定中はフォルダ名が「i アプリ」になります。
- メール連動型 i アプリ専用のフォルダが5件ある場合、すでに保存されているメール連動型 i アプリ専用のフォルダを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。
- 同じ受信メールフォルダ、送信メールフォルダを利用するメール連動型 i アプリがすでに保存されている場合は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。
- メールセキュリティの設定中は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。メールセキュリティを解除してください。
- メール連動型 i アプリを利用して送受信したメールは、メール連動型 i アプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型 i アプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用できます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。
- 有料 i アプリをダウンロードしようとしたときには、確認のメッセージが表示されます。→P.185

1 ソフトを選択

ダウンロードが完了し、「完了しました」というメッセージが表示されたら◉［選択］を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合

▶ダウンロード中▶◉［Cancel］またはCLR

■ ソフト設定画面が表示された場合

▶ソフトを設定▶「YES」

ソフトの設定について→P.245

2 「YES」

ソフトを起動すると画面下に「 」が表示されます。

i アプリDXを起動した場合は「 」が表示されます。

■ ソフトを起動しない場合

▶「NO」

● 部分的に取得したｉアプリの残りのデータを取得する

「ソフト一覧画面」（P.244）で、部分的に取得したｉアプリ（ ）を選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

- ● 残りのデータが正しくない場合などは、データの取得ができません。この場合、取得操作を行うと部分的に保存されていたデータは削除されます。

おしらせ

- ●接続するサイトやｉアプリのソフトのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ●ｉアプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- ●SSL対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「 」が表示されます。→P.179
- ●端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用するｉアプリ、またはｉアプリDXをダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- ●通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定した後、ｉアプリを起動するか選択してください（CLRを押した場合、設定が破棄されます）。
- ●ダウンロード済みのソフトを、異なるFOMAカードで再ダウンロードする場合は、ソフトを上書きするかどうか確認のメッセージが表示されます。
- ●「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信したメールや、メール連動型ｉアプリ用として送られてきたメールのことです。ｉアプリメールには、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されるようにｉアプリ利用データが設定されています。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時　表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「ｉアプリ設定」▶「ソフト情報表示設定」▶「表示する」

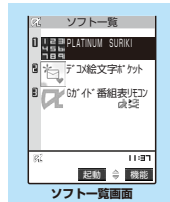
■ 確認しない場合
▶「表示しない」

ｉアプリを起動する

ｉアプリを起動する

1 α［ｉmode］（1秒以上）

「ソフト一覧画面」が表示されます。

ソフト一覧画面

機能メニュー➡P.245

2 ソフトを選択

ｉアプリを終了する

1 CLR（1秒以上）または ☎ ▶「終了する」

■ 終了しない場合
▶「終了しない」

■ ｉアプリを中断する場合
▶「中断する」
待受画面が表示され、他の操作が行えるようになります（一部利用できない機能があります）。
ｉモードなどを起動していた場合は、それぞれの画面に戻ります。

■ソフトを作成される方へ

ｉアプリのソフトを作成して正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。

MENU▶「i-αPPLI」▶「ｉアプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に操作します。ソフトのトレース情報が、発生した順に表示されます。機能メニューから「情報コピー」を選択すると、トレース情報をコピーできます。機能メニューから「情報削除」を選択すると、トレース情報を削除できます。

おしらせ

- 「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。
- ソフトの起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、ｉアプリの通信中は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトの起動中は電池パックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されない場合があります。
- ソフトによってはmicroSDメモリーカードに、利用するデータ（ｉアプリデータ（microSD））を保存することができます。
- ソフトによっては利用中にmicroSDメモリーカードにデータをコピーなどすると、利用できないことを通知するメッセージが表示される場合があります。
- ソフトによっては、ｉアプリからPhone To（AV Phone To）機能やWeb To機能を利用することができます。ただし、ｉアプリ待受画面からはご利用になれません（ｉアプリ実行中は利用可能です）。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- ｉアプリのソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、ソフトによって画像サイズや画質、フレームなどが設定されることがあります。
- ｉアプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「⇔」が点滅します。この際、通信料はかかりません。

機能 ソフト一覧画面

1 ソフト一覧画面（P.244）▶α［機能］▶以下の項目から選択

ｉアプリTo設定……「ｉアプリToで起動するかどうかを設定する」→P.249

自動起動時刻設定……「起動日時を設定する」→P.248

ソフト設定……ソフトの各種設定を行います。

待受画面設定……「ｉアプリ待受画面を設定する」→P.250

通信設定……ｉアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。
▶✉［完了］

待受画面通信……待受画面に設定したｉアプリが通信するかしないかを設定します。
▶✉［完了］

アイコン情報……ｉアプリを起動したときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。
▶✉［完了］

着信音／画像変更……ｉアプリDXを起動したときに電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「許可する」に設定した場合は、自動的に着信音、画像、メニューアイコンが変更されます。「変更ごとに確認」を設定した場合は、ｉアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。
▶✉［完了］

電話帳／履歴参照……ｉアプリDXを起動したときに電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。
「許可する」に設定した場合は、自動的に電話帳や履歴を参照します。
▶✉［完了］

省電力設定……ｉアプリ実行中に端末を閉じたとき、ｉアプリを一時停止させるかどうかを設定します。
▶✉［完了］

ソフト情報……「ｉアプリの情報を確認する」→P.246

バージョンアップ……「ｉアプリをバージョンアップする」→P.251

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

保存容量確認……ｉアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>

- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>

- 本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはｉアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（省電力設定）>

- 本機能を設定すると、端末を閉じたときにタイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<削除>

- ｉアプリ待受画面に設定されているソフト（「」の付いているソフト）や自動起動するように設定されているソフト（「」の付いているソフト）、ｉアプリ待受画面および自動起動するように設定されているソフト（「」の付いているソフト）を削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型ｉアプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- メール連動型ｉアプリを削除すると、削除するソフトを選択している間に受信したｉアプリに対応している新着メールが削除されることがあります。

ｉアプリ実行時の音量を調節する〈ｉアプリ音量〉

ｉアプリの音量を調節します。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「ｉアプリ設定」▶「ｉアプリ音量」

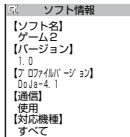
2 音量を設定

おしらせ

- ｉアプリ音量は、「SILENT／LEVEL 1〜6」の範囲で設定することができます（お買い上げ時：LEVEL4）。
- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「ｉアプリ音量」を「SILENT」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード設定中のｉアプリ音量は、マナーモード設定に従います。またオリジナルマナー設定時のｉアプリ音量は、マナーモード設定の「ｉアプリ音量」で再生されます。

ｉアプリの情報を確認する

1 ソフト一覧画面（P.244）▶α［機能］▶「ソフト情報」▶ソフト情報を確認

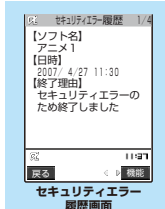
ソフト情報
【ソフト名】
ゲーム2
【バージョン】
1.0
【プロファイルバージョン】
DoJa-4.1
【通信】
使用
【対応機種】
すべて

おしらせ

- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。
- ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。
  - ：ｉアプリDX→P.242
  - ：メール連動型ｉアプリ→P.242
  - ：「自動起動時刻設定」を設定済み
  - ：「ｉアプリ待受画面設定」を設定済み
  - ：「自動起動時刻設定」と「ｉ アプリ待受画面設定」を設定済み
  - ：「ｉアプリ To 設定」が設定可
  - ：「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
  - ：「ｉアプリTo設定」と「ｉアプリ待受画面設定」が設定可
  - ：SSL対応ページからダウンロードしたソフト
  - ：microSDメモリーカードにデータを保存できるソフト→P.251
  - ：部分的に取得したｉアプリ

セキュリティエラー履歴を確認する

ｉアプリやｉアプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

1 MENU▶「i-αPPLI」▶「ｉアプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」

「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。

セキュリティエラー履歴画面

機能メニュー➡P.247

2 セキュリティエラーの内容を確認

機能 セキュリティエラー履歴画面

1 セキュリティエラー履歴画面(P.246) ▶α［機能］▶以下の項目から選択

情報コピー……セキュリティエラーの内容をコピーします。

情報削除……セキュリティエラーの内容を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

1 ソフトを起動する項目を選択

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には「PLATINUM SURIKI」をはじめ、3種類のソフトがあらかじめ登録されています。

- ソフトの種類、および「ソフト設定」の内容は別表1のとおりです。
- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフトを削除した後に元に戻すときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなＮらんど」からダウンロードしてください。
  「みんなＮらんど」への接続のしかた→P.177
  ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。

● PLATINUM SURIKI

空いているマス（ブロック）に1～9の数字を入れるナンバープレースゲームです。縦横に並んだブロックの各列と、太枠で囲まれた3×3のグリッドに同じ数字が入らないようにします。

1 ソフト一覧画面（P.244）▶「PLATINUM SURIKI」▶α［YES］

■ サウンドを鳴らさない場合
▶✉［NO］

2「数力をプレイ」

■ その他の機能

チュートリアル……解説つきでお試しプレイができます。

続ける……前回セーブしたところから再開できます。

解答モード……雑誌などに載っている問題を入力して解くことができます。

カスタム問題……ご自分で問題を作成できます。作った問題が解けるかどうかのチェックもできます。

オプション……操作のしかたの確認やゲームの設定などができます。

成績……プレイしたゲームの成績が表示されます。

クレジット……ゲームの情報が表示されます。

終了……ゲームを終了します。

3 難易度を選択

ゲームがはじまります。

［別表1］ソフトの種類とソフト設定の内容

ソフト設定項目	PLATINUM SURIKI	デコメ絵文字ポケット	Gガイド番組リモコン
待受画面設定	なし	なし	なし
通信設定	通信する	通信する	通信する
待受画面通信	なし	なし	なし
アイコン情報	なし	なし	なし
着信音／画像変更	－	－	なし
電話帳／履歴参照	－	－	なし
省電力設定	しない	しない	しない

● デコメ絵文字ポケット

ｉモードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用のｉアプリです。
情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリ」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単にFOMA端末に保存することができます。
また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報料は無料です。IP（情報サービス提供者）が提供するサイトをご覧になる場合には別途ｉモード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。
気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。
さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

■リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定方法
  ①DVDレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。
  ②次に本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法
  初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したＤＶＤレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
  ※すでに同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表に表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おしらせ

- 「初期設定」およびｉアプリの「主なメニュー」の機能など、ｉモード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。
- ｉアプリの通信設定で「通信しない」に設定した場合は、ｉモード通信を行えず、「初期設定」およびｉアプリの「主なメニュー」内の機能はご利用いただけませんのでご注意ください。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動するかどうかを設定する ＜自動起動設定＞

お買い上げ時 許可しない

- 自動起動時刻は3件まで設定することができます。

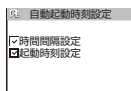
1 MENU▶「i-αPPLI」▶「自動起動設定」▶「許可する」または「許可しない」

起動日時を設定する ＜自動起動時刻設定＞

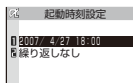
お買い上げ時 すべてOFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
  - ・電源を切っている場合
  - ・ほかの機能が起動している場合
  - ・通話中
  - ・ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム、スケジュール、To Doリストの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分未満で起動時刻が設定されていた場合

1 ソフト一覧画面（P.244）▶α［機能］▶「自動起動時刻設定」▶○で□（チェックボックス）を選択

■ ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合
▶「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

■ 起動日時を設定する場合
▶「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

2 **[完了]▶起動日時を設定**

■ 起動日時を設定する場合
▶日時を選択▶起動日時を入力

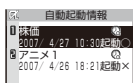
■ 自動起動の繰り返しを設定する場合
▶繰り返し設定を選択▶「毎日」または「曜日指定」
「曜日指定」を選択したときは、で□（チェックボックス）を選択し［完了］を押します。

3 **[完了]**

ｉアプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。

1 **▶「i-αPPLI」▶「ｉアプリ実行情報」▶「自動起動情報」**

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。

おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「」（未起動ソフトあり）というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。起動するソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。情報を通知するデスクトップアイコンについて→P.127
- ｉモード中やほかのソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。
- 自動起動情報には、お客様が起動を認識しなかったソフトの自動起動情報が含まれる場合があります。

〈ｉアプリTo機能〉

サイトやメールからｉアプリを起動する

ｉモードのサイトやメールなど、ｉアプリ以外の機能からｉアプリを起動します。

ｉアプリToで起動するかどうかを設定する＜ｉアプリTo設定＞

お買い上げ時 すべて起動する

ｉモードのサイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからｉアプリのソフトを起動するかどうかを設定します。

- ソフトごとに設定することができます。

1 **ソフト一覧画面（P.244）▶［機能］▶「ｉアプリTo設定」**

2 **で□(チェックボックス)を選択▶［完了］**

サイトからｉアプリを起動する

ｉモードのサイトにｉアプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。

- 一部ご利用になれないサイトがあります。

1 **サイト画面（P.177）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」**

おしらせ

- 通常のｉアプリのソフトとは異なり、ｉモードのサイトからすぐに起動するｉアプリのソフトがあります。
  - ・ｉモードのサイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されていません。ソフト一覧画面にも表示されません。
  - ・ソフト起動後に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
  - ・ソフト終了後、保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
  - ・FOMA端末に保存できないソフトもあります。

メールからｉアプリを起動する

受信したｉモードメールにｉアプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、ｉモードメールからソフトを起動することができます。

1 **受信メール詳細画面（P.224）▶ソフトを起動する項目を選択▶「YES」**

おしらせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- ｉモードメールを引用返信や転送をしても、ｉアプリの起動指定は引用できません。また、赤外線通信機能やドコモケータイdatalink（P.342）などを使ってメールを転送した場合も、ｉアプリの起動指定は引用できません。

その他の機能からｉアプリを起動する

赤外線通信機能、バーコードリーダーなど、さまざまな機能からｉアプリを起動します。

■赤外線通信機能

赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信すると、ｉアプリのソフトが起動します。

■バーコードリーダー

バーコードリーダーで読み取ったデータにｉアプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

〈ｉアプリ待受画面設定〉

ｉアプリ待受画面を設定する

選択したｉアプリのソフトを待受画面として設定します。ｉアプリ待受画面の表示中は、画面下に「α」または「α」が表示されます。

● 待受画面に設定できないソフトもあります。

1 ソフト一覧画面（P.244）▶α［機能］▶「ソフト設定」▶「待受画面設定」▶「設定する」▶✉［完了］

おしらせ

- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。
- 待受画面に設定したソフトには「α」が表示されます。
- 通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像は待受画面に表示されません。
- ｉアプリ待受画面を設定している状態で電源を入れ直した場合、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかのメッセージが表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中に「ダイヤルロック」または「オリジナルロック」を設定すると、ｉアプリ待受画面は終了します。

ｉアプリ待受画面を実行する

ｉアプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

1 ｉアプリ待受画面表示中▶CLR

ｉアプリが実行中になり、画面下の「α」または「α」が、「α」または「α」の点滅表示に変わります。

■ ｉアプリ待受画面実行中のメニュー

ｉアプリ待受画面実行中にCLR（1秒以上）または☎を押すと、以下のような操作が行えます。

キャンセル……ｉアプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する……ｉアプリ待受画面に戻ります。

解除する……ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

中断する……待受画面が表示され、他の操作が行えるようになります（一部利用できない機能があります）。ｉモードなどを起動していた場合は、それぞれの画面に戻ります。

ｉアプリ待受画面を解除する ＜ｉアプリ待受画面解除＞

1 MENU▶「SETTINGS」▶「ｉアプリ設定」▶「待受画面終了」

2 「設定解除」▶「YES」

■解除を中止する場合

▶「終了」

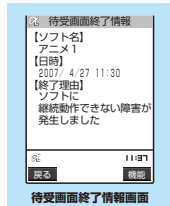
おしらせ

- ｉアプリ待受画面を解除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が待受画面に表示されます。

ｉアプリ待受画面の終了情報を確認する

ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発生理由が記憶され、その内容を確認できます。

1 MENU▶「i-αPPLI」▶「ｉアプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」

「待受画面終了情報画面」が表示されます。

待受画面終了情報画面

機能メニュー➡P.250

機能 待受画面終了情報画面

1 待受画面終了情報画面（P.250）▶α［機能］▶以下の項目から選択

情報コピー……待受画面終了情報の内容をコピーします。

情報削除……待受画面終了情報の情報を削除します。

おしらせ

- ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする<バージョンアップ>

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

1 ソフト一覧画面（P.244）▶α［機能］▶「バージョンアップ」▶「YES」

おしらせ

- 以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
  - ・メールセキュリティの設定中
  - ・フォルダセキュリティの設定中

microSDメモリーカード内のｉアプリデータを表示する<microSD保存データ>

microSDメモリーカードに保存されているｉアプリデータ（microSD）をフォルダ名で一覧表示します。

1 MENU▶「i-αPPLI」▶「microSD保存データ」

「microSD保存データ一覧画面」が表示されます。
以下の機能メニューから、データ情報の表示とデータの削除が行えます。

機能 microSD保存データ一覧画面

1 microSD保存データ一覧画面▶α［機能］▶以下の項目から選択

データ情報……「データ情報について」→P.251

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- ソフトからmicroSDメモリーカードに保存するｉアプリデータは、ほかのFOMA端末で利用できない場合があります。
- ソフトからmicroSDメモリーカードにｉアプリデータを保存するかどうかは、「ソフト情報」（P.246）で確認できます。

● データ情報について

項目	情報内容	
作成者	ｉアプリの作成者情報を表示 （情報がないときは「無し」を表示）	
利用可能ソフト	microSDメモリーカードを利用できるｉアプリのソフト名を表示 （情報がないときは「無し」を表示）	
フォルダ利用	ｉアプリがmicroSDメモリーカードを利用できない原因があるかを表示 「利用不可原因」が1つでもある場合は「不可」、すべてない場合は「可能」を表示	
利用不可原因	ソフト動作制限	利用できるｉアプリがないときに表示※
	FOMAカード動作制限	利用したときのFOMAカードと違うときに表示※
	機種制限	FOMA N703iμ以外で利用したｉアプリデータのときに表示※
	シリーズ制限	703iシリーズ以外で利用したｉアプリデータのときに表示※

※：ｉアプリがmicroSDメモリーカードを利用できない原因がない場合はグレー表示となります。

●データ表示／編集／管理

データBOXについて

データBOXにはカメラで撮影した静止画や動画、メールやサイトからダウンロードしたデータなどが保存されます。

■データの最大保存件数

マイピクチャ	ミュージック	iモーション
約720件※1 （約3.6Mバイト）	約100件 （約64Mバイト）	約100件※1 （約4Mバイト）
メロディ	**キャラ電**	**マイシグナル**
約200件 （約1Mバイト）	10件※2 （約1Mバイト）	10件 （約50Kバイト）

※1：別にシークレットフォルダにマイピクチャは最大100件、iモーションは最大10件まで保存可能です。

※2：内蔵のキャラ電を含みます。

■フォルダの内容

● 以下のような項目とフォルダが用意されており、データの種類に合わせてフォルダに振り分けられます。

フォルダ		フォルダ説明
マイピクチャ		
INBOX		カメラで撮影した静止画やバーコードリーダーで読み取った画像、サイトやメールから取得した画像の保存先として選択可能です。 赤外線通信などで転送された画像は自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ		INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。
デコメピクチャ		内蔵のデコメール用の画像が保存されています。 サイトやメールから取得した画像の保存先として選択可能です。
デコメ絵文字※1		サイトやメールから取得したデコメ絵文字、microSDメモリーカードからコピーしたデコメ絵文字が保存されます。
おまかせデコメ		サイトから取得したデコメール用の画像が感情の分類別のフォルダに保存されます。
プリインストール		内蔵の待受画面やウェイクアップなどの画像、アニメーションが保存されています。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない画像を保管します。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の画像の保存先として選択可能です。 「フォルダ追加」で20個まで作成できます。
自作アニメ		連続撮影で登録したアニメーションや自作のアニメーションが保存されます。
microSD	ピクチャ	撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたJPEG・GIF形式の画像、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG・GIF形式の画像が保存されます。
	デコメ絵文字※1	FOMA端末からコピーしたデコメ絵文字、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したデコメ絵文字が保存されます。
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したJPEG形式の画像とGIF形式のアニメーションが保存されます。
フレーム		内蔵のフレームが保存されています。 サイトから取得したフレームは自動的にこのフォルダに保存されます。
スタンプ		内蔵のマーカースタンプが保存されています。 サイトから取得したスタンプは自動的にこのフォルダに保存されます。
ミュージック		
プレイリスト		FOMA端末で作成したプレイリストが保存されます。
INBOX		音楽データの保存先として選択可能です。
プリインストール		内蔵の音楽データが保存されています。
SD-Audio		パソコンなどからmicroSDメモリーカードに転送した音楽データが保存されます。
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した音楽データが保存されます（microSDメモリーカード内のデータです）。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の音楽データの保存先として選択可能です。 「フォルダ追加」で20個まで作成できます。
iモーション		
INBOX		カメラで撮影した動画、サイトやメールから取得した動画・iモーションの保存先として選択可能です。 赤外線通信などで転送された動画・iモーションは自動的にこのフォルダに保存されます。
カメラ		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。
シークレット※2		ほかの人に見られたくない動画・iモーションを保管します。
ユーザ作成フォルダ※3		INBOXと同様の動画・iモーションの保存先として選択可能です。 「フォルダ追加」で20個まで作成できます。
microSD	SDビデオ※4・マルチメディア※5	撮影した動画、FOMA端末からコピーした動画・iモーション、パソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存した動画が保存されます。
移行可能コンテンツ		FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動した動画・iモーションが保存されます（microSDメモリーカード内のデータです）。
プログラム		動画プログラム再生に利用するフォルダです。→P.268

フォルダ	フォルダ説明
メロディ	
INBOX	サイトやメールから取得したメロディ、バーコードリーダーで読み取ったメロディの保存先として選択可能です。 赤外線通信などで転送されたメロディは自動的にこのフォルダに保存されます。
プリインストール	内蔵のメロディや効果音が保存されています。
ユーザ作成フォルダ※3	INBOXと同様のメロディの保存先として選択可能です。 「フォルダ追加」で20個まで作成できます。
おしゃべり	「おしゃべり機能」で録音した音声は自動的にこのフォルダに保存されます。
microSD	FOMA端末からコピーしたメロディやパソコンなどからmicroSDメモリーカードに保存したメロディが保存されます。
プログラム	メロディプログラム再生に利用するフォルダです。→P.273
キャラ電	
内蔵のキャラ電が保存されています。 サイトから取得したキャラ電は自動的にこの項目に保存されます。	
マイシグナル	
INBOX	サイトから取得したアニメーションデータが保存されます。
プリインストール	内蔵のアニメーションデータが保存されています。

※1：デコメ絵文字（横20×縦20ドット、ファイル制限なし）のみ保存できるフォルダです。
※2：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※3：「フォルダ追加」時にフォルダ名を入力します。あとで「フォルダ名編集」で変更することもできます。
※4：映像付きの動画・iモーションが保存されます。
※5：映像のない音声のみの動画・iモーションが保存されます。

■お願い

- データBOXに登録したデータの内容は、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます（メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像や動画、メロディは、microSDメモリーカードに保管したりパソコンに転送できません）。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

〈マイピクチャ〉

保存した画像を表示する

撮影した静止画やダウンロードした画像などは、データBOXのマイピクチャで表示します。

1 MENU 4 6

「フォルダ一覧画面」が表示されます。

マイピクチャのフォルダ内容について→P.254

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.285

2 **フォルダを選択**

「画像一覧画面」（ピクチャ一覧）が表示されます。

画像一覧画面の見かた→P.256

画像一覧画面

機能メニュー➡P.257

3 **画像を選択**

「マイピクチャ画面」が表示されます。

で前または次の画像を表示することができます。

マイピクチャ画面

機能メニュー➡P.257

■等倍／拡大表示を切り替える場合

▶◉［等倍／拡大］を押す

画像の大きさによって等倍／拡大表示できます。

等倍／拡大表示のときは、で画像をスクロールできます。

おしらせ

- 以下の画像は表示できません。
  - ・2Mバイトを超える画像
  - ・横2,304×縦1,728、横1,728×縦2,304ドットより大きな画像
  - ・横690×縦480、横480×縦690ドットより大きなプログレッシブJPEG画像、GIF画像
- 等倍／拡大表示をしているとき、で前または次の画像の切り替えや、機能メニューの表示はできません。
- 自作アニメ、GIF形式のアニメーション、Flash画像は等倍／拡大表示できません。

おしらせ

- データが多い場合、表示に時間がかかる場合があります。
- Flash画像を再生する際の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります（「STEP」に設定している場合は「LEVEL2」の音量になります）。

ピクチャ一覧／タイトル名一覧の見かた

● 画像一覧の表示のしかたを設定する ＜ピクチャ表示設定＞

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「ディスプレイ」▶「ピクチャ表示設定」▶以下の項目から選択

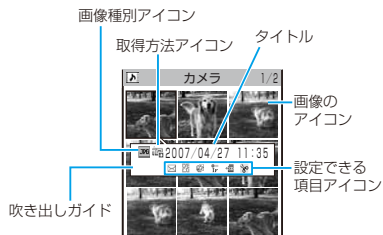
ピクチャ一覧（お買い上げ時）……ピクチャ一覧に切り替えます。

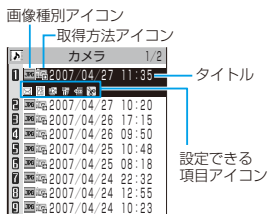
タイトル名一覧……タイトル名一覧に切り替えます。

■ ピクチャ一覧

保存されている画像は画面に9枚の画像がアイコンで表示され、選択されている画像のタイトルが吹き出しガイドに表示されます。また、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目がアイコンで確認できます。

※ microSDメモリーカード（ピクチャ）に保存されている画像は4枚ずつ表示されます。

※ 自作アニメ、microSDメモリーカード（イメージボックス）は、常にタイトル名一覧で表示されます。

■ タイトル名一覧

9件の画像がタイトル名一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その画像が設定できる項目をアイコンで確認できます。

■ 画像種別アイコン

アイコン	説明
JPG	JPEG形式の画像
GIF	GIF形式の画像
	GIF（IFM）形式のフレーム、マーカースタンプ
	SWF形式のFlash画像
	MP4形式の動画、ｉモーション
（青色の音符）	音響効果のあるMP4形式のｉモーション
（オレンジ色の音符）	ASF形式のｉモーション
	MP4形式の再生制限ありのｉモーション
	音響効果があり、再生制限ありのＭＰ４形式のｉモーション
（緑色の音符）	FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
（青色の音符）	音響効果があり、FOMA端末（本体）に移動可能なｉモーション
	FOMA端末（本体）への移動が禁止されているｉモーション
	AFD形式のキャラ電
	FOMAカード動作制限に該当している画像

：ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

：再生制限付きのｉモーション（再生回数・期間・期限を過ぎると「」が「」になります）

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■ 取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	プリインストールデータ
	サイトやメールなどからダウンロードしたり、ｉアプリから取得したデータ
	カメラで撮影したデータ
	赤外線通信やmicroSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したデータ
	ダウンロードしたフレーム、マーカースタンプ

■ 設定できる項目アイコン

microSDメモリーカード（イメージボックス）では表示されません。

アイコン	説明
	ｉモードメールに添付できるデータ（2Mバイト以下）
	デコメールに挿入できるデータ
	画面などに設定できるデータ
	着信音に設定できるデータ
	赤外線送信が可能なデータ
	microSDメモリーカードにコピー可能なデータ
	編集可能なデータ
	microSDメモリーカードに移動可能なｉモーションデータ
	2Mバイト超(2Mバイトは含みません)のデータ。microSDフォルダでのみ表示されます。

：ｉモーション保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

：ｉモーション保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ移動可

■ ファイル形式について

フォルダ	ファイル形式
マイピクチャ	
INBOX	JPEG、GIF、SWF
カメラ	
デコメピクチャ	
デコメ絵文字	JPEG、GIF
おまかせデコメ	
プリインストール	JPEG、SWF
シークレット	JPEG、GIF、SWF
ユーザ作成フォルダ	
自作アニメ	－
microSD	JPEG、GIF
フレーム	IFM
スタンプ	
ミュージック	
プレイリスト	—
INBOX	3GP
プリインストール	
SD-Audio	SA1
移行可能コンテンツ	SB2
ユーザ作成フォルダ	3GP
ｉモーション	
INBOX	MP4
カメラ	
シークレット	
ユーザ作成フォルダ	
microSD	MP4、ASF（ASF形式は再生のみ可能）
移行可能コンテンツ	SB1
プログラム	－
メロディ	
INBOX	SMF、MFi
プリインストール	MFi
ユーザ作成フォルダ	SMF、MFi
おしゃべり	－
microSD	SMF、MFi
プログラム	－
キャラ電	
—	AFD
マイシグナル	
INBOX	－
プリインストール	

■ タイトル、ファイル名について

・撮影した静止画や動画には自動的にタイトルとファイル名が付きます。
　タイトル　：yyyy/mm/dd　hh:mm（年／月／日　時刻※）
　ファイル名：yyyymmddhhmmxxx
　　　　　　　└──────年月日時刻※
　（静止画の場合、xxxの部分に3桁の数字が付きます）
　※：静止画は保存を完了した時刻、動画は撮影を終了した時刻になります。ただし、「自動保存設定」が「OFF」の場合は、動画を保存した時刻になります。
・ダウンロードしたｉモーションやキャラ電にはオリジナルのタイトルが付きます。
・ダウンロードした画像にはファイル名と同じタイトルが付きます。
・タイトルはFOMA端末の画像一覧画面に表示される名前です。
・ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示される画像データの名前です。
・ファイル名に不正な文字があるときは、ファイル名は「imagexxx」あるいは「moviexxx」となります。

機能 画像一覧画面／マイピクチャ画面

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

1 画像一覧画面(P.255)／マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶以下の項目から選択

イメージ編集……「静止画を編集する」→P.261

タイトル編集※1……画像のタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカード（ピクチャ）の場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

イメージ表示※1……画像を表示します（マイピクチャ画面を表示します）。

イメージ貼付……画像を待受画面などに設定します。

■ 待受画面、電話発信、電話着信などの画面に設定する場合
▶項目を選択
待受画面の場合はさらに表示方法を選択します。

■ テレビ電話関係（テレビ電話発信、テレビ電話着信を除く）の画面に設定する場合
▶項目を選択▶画像を確認▶◉［確定］▶「YES」
設定した項目には「★」が表示されます。

イメージ情報……「イメージ情報について」→P.259

iモードメール作成……静止画を添付するか本文内に挿入するかを選択してiモードメールを作成します。「画像サイズを変更してiモードメールやデコメールを作成する」→P.259

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

画像表示設定※2……イメージ表示エリアより小さな画像の表示方法を設定します。

標準（お買い上げ時）……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示……画面のサイズに拡大して表示します。

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

電話帳イメージ登録……画像を電話帳に登録します。→P.91

ファイル名編集※1……画像のファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（"-"、"_"のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限※1……保存した静止画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.163

フォルダ移動※1

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶[十字キー]で囲み枠を移動し[決定]［選択］（移動する画像すべてに[チェック]を付ける）▶[メール]［完了］▶「YES」

全移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

保存容量確認※1……FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている画像の保存データ容量と空きデータ容量を表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート※1……選択した条件に従って画像を並び替えます。

タイトル名一覧⇔ピクチャ一覧※1……タイトル名一覧／ピクチャ一覧を切り替えます。

4枚画像合成※1……「4枚の画像を1枚の静止画に合成する」→P.260

リトライ※2……アニメーションを表示しているとき、そのアニメーションを最初から再生します。

お預りセンターに保存※1……「画像をお預かりセンターに保存する」→P.259

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

1件削除※2……画像を1件解除します。

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1※3……「各種データを表示できないようにする」→P.141

本体へコピー※4……「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

DPOF設定※4……「microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する」→P.284

コピー※1※4……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.282

※1：画像一覧画面でのみ利用できます。
※2：マイピクチャ画面でのみ利用できます。
※3：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※4：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。

おしらせ

<タイトル編集>
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、タイトル編集できない場合があります。
- 内蔵されている画像はタイトル編集できません。

<イメージ貼付>
- INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの画像の場合は、以下の画面に設定できます。
  - ・待受画面、ウェイクアップ表示
  - ・電話・テレビ電話の発信／着信
  - ・メールの送信／受信／問い合わせ
  - ・テレビ電話の応答保留／通話中保留／代替画像／伝言メモ／伝言準備／音声メモ
- プリインストールフォルダの画像の場合は、待受画面、ウェイクアップ表示の画面に設定できます。
- 以下の画像はイメージ貼付できません。
  - ・横または縦が690ドットより大きな画像
  - ・ファイル容量が100Kバイトを超える画像（待受画面、ウェイクアップ表示を除く）
  - ・横352×縦288、横288×縦352ドットより大きなプログレッシブJPEG画像（待受画面のみ）
- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと異なる場合があります。
- 画像によってはイメージ貼付できない場合があります。

<電話帳イメージ登録>
- ファイル容量が100Kバイト以下で、横または縦が690ドット以下の画像が登録できます。
- JPEG形式、GIF形式以外の画像は登録できません。

<ファイル名編集>
- 以下の画像はファイル名編集できません。
  - ・内蔵されている画像
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像
- ファイル名に半角スペースを使用することはできません。

<ファイル制限>
- JPEG形式、GIF形式以外の画像はファイル制限を設定できません。

<削除>
- 内蔵されている画像は削除できません。
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像を削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示され、削除した場合、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - ・設定されていた画面はお買い上げ時の設定に戻ります。
  - ・自作アニメは解除されます。
  - ・スケジュールのアラーム通知画面は「[時計]」を設定したときの画面に変わります。

おしらせ

- メールに添付されていた静止画を削除しても、削除されるのはデータBOXの静止画のみです。メールに添付されている静止画は削除されません。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。ただし、フォルダによっては順序が異なる場合があります。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得した画像
  ②カメラで撮影した静止画
  ③赤外線通信やmicroSDメモリーカードなどで取得した画像
  ④お買い上げ時に登録されている画像

● 画像をお預かりセンターに保存する

FOMA端末内に保存されている静止画などをお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスは、お申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。

1 画像一覧画面（P.255）▶α［機能］▶「お預りセンターに保存」▶✥で画像を選択▶✉［完了］

画像は最大10件まで選択できます。

2 端末暗証番号を入力▶「YES」

お預かりセンターに接続して画像の保存を開始します。

3 ✉［完了］

おしらせ

- 1件あたりのファイル容量が100Kバイトを超える画像、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャやデコメ絵文字は保存できません。

■ 画像を復元する

お預かりセンターに預けている画像データは、お預かりセンターのサイトからFOMA端末に保存できます。ご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイド（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● イメージ情報について

項目	情報内容	
ファイル名	ファイル名を表示	
ファイル種別	ファイル形式を表示（Flash画像のときは非表示）	
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示	
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示	
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示	
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示	
取得元	ファイルの取得元を表示	
microSDへの移動※1	microSDメモリーカードへのコピーの「可／不可」を表示	
本体への移動※2	FOMA端末本体へのコピーの「可／不可」を表示	
イメージ貼付※1	イメージ貼付の設定先を表示（設定されていないときは「設定なし」を表示）	
DPOF設定※3	枚数	設定されているプリント枚数を表示（設定されていないときは「設定なし」、100枚以上設定されているときは「＊＊」を表示）
	日付	日付設定の「あり／なし」を表示

※1：FOMA端末本体に保存されている画像のときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されている画像のときのみ表示されます。
※3：microSDメモリーカード（ピクチャ）に保存されている画像のときのみ表示されます。

● 画像サイズを変更してｉモードメールやデコメールを作成する

保存した静止画をｉモードメールに添付したり、デコメールの本文に挿入します。

1 画像一覧画面（P.255）▶α［機能］▶「ｉモードメール作成」▶以下の項目から選択

画像添付……横240×縦320、横320×縦240ドット以下の画像はそのままｉモードメールに添付します。これより大きな画像は添付方法を以下の項目から選択します。

そのまま添付……画像サイズを変更しないで、そのまま添付します。

QVGA縮小添付……画像の縦横の比率を保持したまま、横240×縦320、横320×縦240ドット以下のサイズに縮小して添付します。

画像挿入……横96×縦128、横128×縦96ドット以下の画像、ファイル容量が90Kバイト以下の画像はそのままデコメールの本文に挿入します。これより大きな画像は挿入方法を以下の項目から選択します。

そのまま挿入……画像サイズを変更しないで、ファイル容量を90Kバイト以下に変換して挿入します。

Sub-QCIF縮小挿入……画像の縦横の比率を保持したまま、横96×縦128、横128×縦96ドット以下のサイズに縮小して挿入します。ファイル容量が最大容量を超える場合は、ファイル容量も変更します。

2 処理された画像を確認▶◉［確定］▶メールを作成

■ そのまま添付／そのまま挿入を選択した場合
画像の確認操作はありません。
「iモードメールを作成して送信する」→P.205
「デコメールを作成して送信する」→P.207

おしらせ

- 画像のサイズ／ファイル容量によっては「画像添付」「画像挿入」が表示されません。

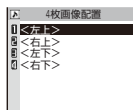
<画像添付>
- 以下の場合はiモードメールが作成できません。
  - ・ファイル容量が2Mバイトを超える画像
  - ・保存メールがいっぱいのとき
  - ・Flash画像のとき
  - ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

<画像挿入>
- 以下の場合はデコメールが作成できません。
  - ・保存メールがいっぱいのとき
  - ・90Kバイトを超えるGIF形式の画像のとき
  - ・Flash画像のとき
  - ・メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像

● 4枚の画像を1枚の静止画に合成する

- 横640×縦480、横480×縦640ドットより大きな画像は設定できません。

1 画像一覧画面（P.255）▶α［機能］▶「4枚画像合成」

2 配置する位置を選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して4枚の画像を選択

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除する画像を選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

3 ✉［完了］▶◉［保存］

■ 4枚合成をし直す場合
▶✉［取消］

おしらせ

- 合成した画像は、4枚画像合成をはじめたときのフォルダに保存されます。
- 画像は縦横の比率を保持したまま4枚合成されます。なお、合成に使用した元の画像はリサイズされません。
- 画像選択画面で✉［デモ］を押すと、囲み枠のある画像の内容を確認することができますが、等倍表示はできません。

アニメーションを作成する<自作アニメ>

登録されている画像を使って20フレームまでのアニメーションを作成します。

- 画像サイズが横690×縦690ドット以下のJPEG形式の静止画や画像を自作アニメに設定できます。
- 20件まで作成できます。

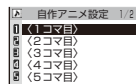
1 MENU 4 6 ▶「自作アニメ」

「自作アニメ一覧画面」が表示されます。

自作アニメ一覧画面

機能メニュー➡P.260

2 「<未登録>」

3 フレームを選択▶フォルダを選択▶画像を選択▶操作を繰り返して画像を設定

■ 設定した画像を解除する場合
▶解除するフレームを選択▶フォルダの選択画面で「イメージ解除」

4 ✉［完了］

おしらせ

- 画像選択画面で✉［デモ］を押すと、囲み枠のある画像の内容を確認することができます。
- 静止画が設定されていないコマがある場合、設定されているコマのみ順番に再生されます。

機能 自作アニメ一覧画面

1 自作アニメ一覧画面（P.260）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……自作アニメのタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます。

自作アニメ設定……「<未登録>」を反転しているときは、自作アニメを新規登録します。
作成した自作アニメを反転しているときは、その自作アニメを編集します。

イメージ表示……自作アニメを再生します（自作アニメ再生画面を表示します）。

イメージ貼付……自作アニメを設定する項目を選択します。

イメージ情報……イメージ貼付で設定した自作アニメの設定先を確認します。
設定されていないときは「設定なし」の表示になります。

自作アニメ解除……自作アニメを解除します。

おしらせ

<イメージ貼付>
- 以下の画面に設定できます。
  - ・待受画面、ウェイクアップ表示
  - ・電話・テレビ電話の発信／着信
  - ・メールの送信／受信／問い合わせ

自作アニメを表示する

1 自作アニメ一覧画面（P.260）▶自作アニメを選択

「自作アニメ再生画面」が表示されます。
自作アニメを２つ以上登録しているときは、[←→]で前または次の自作アニメを再生できます。

自作アニメ再生画面

機能メニュー➡P.261

機能 自作アニメ再生画面

1 自作アニメ再生画面（P.261）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

イメージ貼付……画像を設定する項目を選択します。

画像表示設定……イメージ表示エリアより小さな画像の表示方法を設定します。

標準（お買い上げ時）……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示……画面のサイズに拡大して表示します。

リトライ……アニメーションを最初から再生します。

おしらせ

<イメージ貼付>
- 以下の画面に設定できます。
  - ・待受画面、ウェイクアップ表示
  - ・電話・テレビ電話の発信／着信
  - ・メールの送信／受信／問い合わせ

〈イメージ編集〉
静止画を編集する

撮影した静止画などを編集します。
- 編集内容と画像サイズは以下のとおりです。

編集の内容	画像サイズ（編集前）
フレーム合成 ・フレーム付きの画像にします。→P.262	横352×縦288ドットまで※1 横288×縦352ドットまで※1
フォトレタッチ ・セピア調の画像にするなど、画像に効果を付けます。→P.262	横690×縦480ドット以下 横480×縦690ドット以下
マーカースタンプ ・ハートなどのマーカースタンプを画像に貼り付けます。→P.262	横2,304×縦1,728ドット※2 横1,728×縦2,304ドット※2 横2,048×縦1,536ドット※2 横1,536×縦2,048ドット※2 横1,616×縦1,212ドット※2 横1,212×縦1,616ドット※2 横 1,280 × 縦 960 ドット※2 横 960 × 縦 1,280 ドット※2 横690×縦480ドット 横480×縦690ドット 横640×縦480ドット以下※3 横480×縦640ドット以下※3
文字スタンプ ・入力した文字のスタンプを画像に貼り付けます。→P.263	
トリミング ・お好みのサイズに画像を切り抜きます。→P.263	
明るさ ・画像の明るさを調節します。→P.262	
回転 ・画像を左右90度または180度回転します。→P.262	
サイズ変更 ・画像サイズを変更します。→P.262	
逆光補正 ・逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。→P.262	横690×縦480ドット以下 横480×縦690ドット以下
肌色補正 ・肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。→P.262	

※１：横352×縦288ドット、横288×縦352ドット、横240×縦320ドット、横320×縦240ドット、横240×縦345ドット、横345×縦240ドット、横176×縦144ドット、横144×縦176ドット、横128×縦96 ドット、横96×縦128ドット以外の画像はフレーム合成できません。
※２：横640×縦480ドット、または横480×縦640ドットに縮小してからの編集となります。
※３：編集項目によって画像サイズ（編集前）との関係で編集できない場合があります。

- フォトモード確認画面の機能メニューで「画像編集」を選択した場合、編集できるのは「フレーム合成」、「フォトレタッチ」、「肌色補正」、「逆光補正」のみです。
- 「✂」の付いた画像のみ編集できます。

1 マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶「イメージ編集」▶以下の項目から選択

フレーム合成……「フレームを重ねる」→P.262

フォトレタッチ……画像に効果を付けます。

- **シャープ**……よりシャープな感じの画像にします。
- **ソフト**……よりソフトな感じの画像にします。
- **セピア**……セピア調の画像にします。
- **浮き彫り**……レリーフのような浮き彫り効果のある画像にします。
- **ネガ**……ネガ画像にします。
- **ミラー**……左右を反転した画像にします。

マーカースタンプ……「マーカースタンプを貼り付ける」→P.262

文字スタンプ……「文字スタンプを貼り付ける」→P.263

トリミング……「トリミングする」→P.263

明るさ……画像の明るさを「－2～±0～＋2」の5段階で調節します。
▶で明るさを調節▶［確定］

回転……画像を回転させる角度を、「右90度／左90度／180度」から選択します。

サイズ変更……変更する画像サイズを選択します。縦横の比率を保ち、選択したサイズを超えない最大のサイズに拡大／縮小されます。メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

逆光補正……逆光により暗くなっている部分をはっきりとした画像にします。

肌色補正……肌色の部分を補正し、きれいな画像にします。

ｉモードメール作成※……「画像サイズを変更してｉモードメールやデコメールを作成する」→P.259

保存※……編集した画像を保存します。

※： 画像編集後に利用できる機能です。

2 編集後の画像を確認▶［確定］

3 ［保存］▶「YES」または「NO」

「YES」を選択したときは、編集元の画像に上書きされます。
「NO」を選択したときは、編集元の画像と同じフォルダに新規保存されます。

おしらせ

- 編集を繰り返して行うと、画質が劣化したり、ファイル容量が増える場合があります。
- 画像によっては、編集効果が表れにくい場合があります。

● フレームを重ねる

- 内蔵されているフレーム（P.365）のほかに、ダウンロードしたフレームを利用することもできます。

1 マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶「イメージ編集」▶「フレーム合成」▶フレームを選択

フレームが重なった画像が表示されます。
でほかのフレームに変更することができます。

■ フレームを180°回転する場合
▶［回転］

■ 設定したフレームを取り消す場合
▶α［機能］▶「取消」

おしらせ

- トリミングやサイズ変更した画像がフレームと同じサイズのときはフレーム合成できます。このとき、サイズ変更してフレーム合成した画像は、画質が劣化する場合があります。

● マーカースタンプを貼り付ける

- 内蔵されているマーカースタンプ（P.367）のほかに、ダウンロードしたスタンプを利用することもできます。
- マーカースタンプを回転したり、拡大／縮小することができます。

1 マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶「イメージ編集」▶「マーカースタンプ」▶マーカースタンプを選択

■ マーカースタンプを編集する場合
▶α［機能］▶以下の項目から選択

右90度……時計回りに90度回転します。

左90度……反時計回りに90度回転します。

180度……180度回転します。

拡大……2倍のサイズに拡大します。

縮小……1／2のサイズに縮小します。

2 でマーカースタンプの位置を調整▶［配置］

■ ほかのマーカースタンプを貼り付ける場合
▶［追加］▶操作1～2を繰り返す

おしらせ

- ダウンロードして使用できるスタンプのサイズは横240×縦240ドット以下の画像となります。それ以外はGIF画像として扱われます。
- マーカースタンプの拡大や縮小は繰り返して操作できます。
- 編集する静止画のサイズよりマーカースタンプを拡大することはできません。また、1ドット未満に縮小することはできません。

● 文字スタンプを貼り付ける

お買い上げ時	文字色：黒　フォント：ゴシック体 文字サイズ：通常サイズ

● 一度に入力できる最大文字数は全角1～15文字、半角3～30文字です。入力できる文字数は画像サイズ、文字サイズによって変わります。
● 文字スタンプの色、フォント、文字サイズを変更することができます。

1 マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶「イメージ編集」▶「文字スタンプ」▶文字を入力

■ 文字スタンプを編集する場合
▶α［機能］▶以下の項目から選択

文字入力……文字を入力します。

文字色……色を設定します。
▶✣で色を選択
色パレットを切り替えるときは✉［切替］を押します。

フォント……フォントを「ゴシック体／ポップ体」から選択します。

文字サイズ……大きさを「拡大サイズ／通常サイズ／縮小サイズ」から選択します。

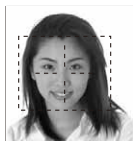
2 ✣で文字スタンプの位置を調整▶●［配置］

おしらせ
● フォントの太さは「フォント設定」で設定した太さになります。

● トリミングする

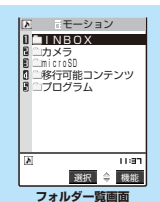
1 マイピクチャ画面（P.255）▶α［機能］▶「イメージ編集」▶「トリミング」▶切り抜く画像サイズを選択

メニューに表示される（）内の数字は横×縦のドット数です。

2 ✣で切り抜き枠の位置を調整▶●［確定］

〈ｉモーション〉
撮影した動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、ｉモードのサイトやインターネットホームページから取得したｉモーションなどは、データBOXのｉモーションで再生します。

1 MENU▶「DATA BOX」▶「ｉモーション」

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
ｉモーションのフォルダ内容について→P.254

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.285

2 フォルダを選択

「動画一覧画面」（プレビュー表示）が表示されます。
動画一覧画面の見かた→P.264

動画一覧画面（プレビュー表示）

機能メニュー➡P.264

3 動画を選択

縦画面で再生する場合は●［再生］を、横画面で再生する場合は✉［横再生］を押します。
「ｉモーション画面」が表示され、動画の再生がはじまります。
「ｉモーション再生中の操作について」→P.266

ｉモーション画面（縦画面）

■「続きを再生しますか？ YES/NO」と表示された場合

・「YES」を選択すると、前回停止位置から再生を開始します。

・「NO」を選択すると最初から再生します。

再生が終わると、「ｉモーション停止画面」になります。

ｉモーション停止画面

機能メニュー➡P.267

おしらせ

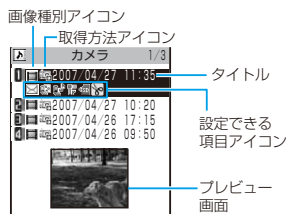
- マナーモードに設定中、音声のある動画またはｉモーションを再生しようとしたときは、音声再生するかどうかの確認メッセージが表示されます。「NO」を選択すると音声なしで映像のみが再生されます。
- 動画やｉモーションの再生中にメールやメッセージR／Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れる場合があります。
- FOMA N703iμ以外で撮影した動画は正しく再生できない場合があります。
- 再生中に着信などがあった場合やCLR、☎によって再生を終了した場合は、前回終了位置から再生可能です。ただし、正確な前回終了位置から再生できない場合があります。

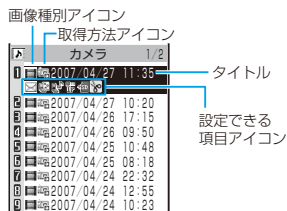
プレビュー表示／タイトル一覧の見かた

- 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.256
- タイトル、ファイル名について→P.257

■ プレビュー表示

画面に4件の動画がタイトル一覧で表示され、選択されている動画のプレビュー画面がタイトル一覧の下に表示されます。また、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。

音声のみのｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）などは、プレビュー画面は表示されません。

■ タイトル一覧

画面に9件の動画がタイトル一覧で表示され、画像種別とその取得方法、その動画が設定できる項目がアイコンで確認できます。

機能 動画一覧画面

- 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

1 動画一覧画面（P.263）▶α［機能］▶以下の項目から選択

ｉモーション編集……「動画を編集する」→P.268

タイトル編集……動画のタイトルを編集します。
全角9文字、半角18文字まで入力できます（microSDメモリーカードの場合、全角18文字、半角36文字まで入力できます）。

着信音設定……動画の音声を音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージFの着信音に設定します。→P.108

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

ｉモーション情報……「ｉモーション情報について」→P.266

ｉモードメール作成……動画を添付してｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

microSDへ移動……「FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する」→P.269

フォルダ移動

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶[十字キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］▶「YES」

全移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

ファイル名編集……動画のファイル名を編集します。半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で36文字まで入力できます。

ファイル制限……保存した動画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.163

タイトル初期化……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

保存容量確認……FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている動画の保存データ容量と空きデータ容量を表示します（FOMA端末の容量にシークレットの容量は含まれません）。

ソート……選択した条件に従って動画を並び替えます。

一覧表示切替……動画の一覧表示のしかたを選択します。表示されるメニューはFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは異なります。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

シークレットに保管⇔シークレットから出す※1……「各種データを表示できないようにする」→P.141

本体へコピー※2……「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

本体へ移動※3……「microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する」→P.269

コピー※2……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.282

※1：シークレットモード、シークレット専用モードのときのみ表示されます。
※2：microSDメモリーカードに保存されている動画のときのみ表示されます。
※3：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画のときのみ表示されます。

おしらせ

<着信音設定>
- 着信音設定が「可」の動画やｉモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「ｉモーション情報」で確認できます。
- 以下の場合は着信音に設定できません。
  - ・音声がない動画やｉモーション
  - ・再生制限ありのｉモーション
  - ・テロップ付きの動画やｉモーション

<待受画面設定>
- 以下の場合は待受画面に設定できません。
  - ・音声だけの動画やｉモーション、テキストだけのｉモーション
  - ・再生制限ありのｉモーション
- 動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

<ｉモードメール作成>
- 以下の場合はｉモードメール作成できません。
  - ・保存メールがいっぱいのとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているｉモーション
  - ・再生制限ありのｉモーション

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<ソート>
- 「ファイル取得元順」を選択した場合、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンの動画やｉモーションは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したｉモーション
  ②カメラで撮影した動画
  ③赤外線通信やmicroSDメモリーカードなどで取得した動画

● ｉモーション情報について

項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
フォーマット	ファイル形式を表示
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
作成者	ファイルの作成者情報を表示 （情報がないときは「不明」を表示）
コピーライト	ファイルの著作権情報を表示 （情報がないときは「不明」を表示）
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
説明	ファイルの説明を表示（情報がないときは「不明」を表示）
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
再生制限	再生制限の「あり／なし」を表示 再生制限（回数、期間、期限）がある場合、制限内容を表示
ビデオ	映像の「あり／なし／再生不可」を表示
オーディオ	音声の情報「AMR／AAC／なし／再生可／再生不可（MP4）／再生不可（ASF）／Enhanced aacPlus／HE-AAC」を表示
テキスト	テキストの「あり／なし／再生不可」を表示
microSDへの移動・本体への移動	microSDメモリーカード／本体への移動またはコピーの「可／不可」を表示※1 （同じ機種間での移動のみ可能なときは「可（同一機種間）」と表示）
着信音設定※2	着信音設定の「可／不可」を表示（着信音に設定されているときは、設定先を表示）
着信画面設定	着信画面設定の「可／不可」を表示（着信画面に設定されているときは、設定先を表示）

※1：実行中のｉアプリからみた場合は目安になります。
※2：移行可能コンテンツフォルダに保存されている動画またはｉモーションは、「不可」固定表示となりますが、着信音に設定できるものもあります。

ｉモーション再生中の操作について

ｉモーション再生中には以下の操作を行うことができます。

再生中の場合

テロップ表示の場合

音量調節の場合

操作ボタン	動作
●	一時停止／再生を再開※1
▲（▲[⮌]）、▼（▼[MEMO／CHECK]）	音量調節
◆	前後の動画やｉモーションの再生※1
✉	早送り再生※1※2
α	消音（ミュート）（音声や音楽がないときは無効になります）※2
◀（1秒以上）	巻戻し※1
▶（1秒以上）	早送り※1
●で再生一時停止後、✉	コマ送り（押すごとにコマが進みます）※1※2
●で再生一時停止後、機能メニューから「スロー再生」	スロー再生※1※2
CLR	終了

※1：ｉモーションによっては利用できない場合があります。
※2：横画面で再生時は操作できません。

おしらせ

- お買い上げ時のｉモーションの音量は「LEVEL10」に設定されています。音量は「LEVEL0」～「LEVEL20」まで設定でき、次回も設定した音量で再生されます。
- ｉモーションで設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。
- シーク（巻戻し、早送り）は、動画の再生中（スロー再生、早送り再生も含む）または一時停止中に実行できます。
- シーク（巻戻し、早送り）中は無音です。
- 以下の場合はシーク（巻戻し、早送り）ができません。
  - ・データを取得しながら再生できるｉモーションを再生中のとき
  - ・シークポイントがないｉモーションのとき
  - ・シークポイントの間隔が広いｉモーションのとき
  - ・シークポイントが先頭にしかないｉモーションのとき
  - ・ストリーミングタイプのｉモーションを再生中のとき
  - ・音声のみのASFファイルでシーク情報がないｉモーションのとき
- シーク（巻戻し、早送り）やコマ送り中にテロップは表示されません。

● Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用する

● 再生が終わった後、画面に下線のついた電話番号やメールアドレス、URLが表示された場合は、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用できます。
● Phone To／AV Phone To機能やMail To機能を利用できる場合、再生が終わった後「電話帳登録」を選択して電話帳に登録できます。→P.91

Phone To機能の場合

Mail To機能の場合

Web To機能の場合

機能 iモーション停止（一時停止）画面

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

1 iモーション停止画面（P.264）▶α［機能］▶以下の項目から選択

通常再生……一時停止のときは、一時停止した位置から再生を再開します。

スロー再生……スロー再生をします。通常の再生に戻るときは、☒［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。

早送り再生……早送り再生をします。通常の再生に戻るときは、☒［再生］を押すか、一時停止させて機能メニューから「通常再生」を選択します。

停止……iモーションを終了して動画一覧画面に戻ります。

再生位置選択……位置を指定して再生をはじめます。
▶◎で再生したい位置を選択

リンク選択……動画再生中のテロップに電話番号やメールアドレス、URLが表示されたとき、Phone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用できます。

iモーション編集……「動画を編集する」→P.268

iモードメール作成……動画を添付したiモードメールを作成します。
「iモードメールを作成して送信する」→P.205

着信音設定……動画の音声を音声電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージFの着信音に設定します。→P.108

待受画面設定……動画を待受画面に設定します。

連続再生設定……フォルダ内のファイル順にiモーションを連続再生するかどうかを設定します（FOMA端末ではリピート再生となります）。

- **ON**……フォルダ内のファイル順にiモーションを連続再生します。
- **OFF**（お買い上げ時）……選択したiモーションのみ再生します。

iモーション情報……「iモーション情報について」→P.266

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

本体へコピー※……「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

画像表示設定……画像の表示方法を設定します。

- **標準**（お買い上げ時）……実際のサイズで再生します。
- **画面サイズで表示**……画面のサイズに拡大して再生します。
- **横再生**……画像を横向きにして再生します。

※：microSDメモリーカードに保存されている動画のときのみ表示されます。

おしらせ

<スロー再生>
● スロー再生中は無音です。
● ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、スロー再生できません。

<早送り再生>
● 早送り再生中は無音です。
● ストリーミングタイプのiモーションやデータを取得しながら再生しているiモーションは、早送り再生できません。

<再生位置選択>
● 動画やiモーションによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<iモードメール作成>
● 以下の場合はiモードメール作成できません。
・保存メールがいっぱいのとき
・再生制限ありのiモーション
・FOMA端末外への出力が禁止されているiモーション

<着信音設定>
● 着信音設定が「可」の動画やiモーションのみ設定できます。着信音設定の「可／不可」は、「iモーション情報」で確認できます。
● 以下の場合は着信音に設定できません。
・音声がない動画やiモーション
・再生制限ありのiモーション
・テロップ付きの動画やiモーション

<待受画面設定>
● 以下の場合は待受画面に設定できません。
・音声だけの動画やiモーション、テキストだけのiモーション
・再生制限ありのiモーション
● 動画によっては、待受画面で正しく表示されない場合があります。

次ページにつづく

おしらせ

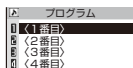
- 待受画面に設定したｉモーションからWeb To機能、Mail To機能、Phone To／AV Phone To機能は利用できません。

<連続再生設定>

- ｉモーションを終了した後も連続再生設定の設定は保持されます。
- 連続再生設定を「ON」に設定している場合、再生できないデータは自動的にスキップして連続再生します。また、ｉモーションからのPhone To／AV Phone To機能、Mail To機能、Web To機能は利用できません。
- 再生制限が設定されているｉモーションなどを再生しようとすると、その制限についてのメッセージ画面が表示され連続再生が停止する場合があります。

● 動画を好きな順に再生する <動画プログラム再生>

お好きな動画を10件まで選んで登録しておき、複数の動画を連続して再生します。

1 フォルダー覧画面（P.263）▶「プログラム」を反転▶α［機能］▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶動画を選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録した動画を解除する場合

▶解除したい動画を選択▶フォルダ選択画面で「ムービー解除」▶「YES」

2 ✉［完了］

ｉモーションのフォルダー覧画面が表示されます。プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録した動画が繰り返し再生されます。

おしらせ

- プログラム再生で登録したｉモーションや動画を削除した場合、削除したファイルはプログラム再生からも削除されます。

〈ｉモーション編集〉

動画を編集する

●「✂」の付いた動画のみ編集できます。

<例：INBOX、カメラ、ユーザ作成フォルダの動画一覧画面>

1 動画一覧画面（P.263）▶α［機能］▶「ｉモーション編集」

「ｉモーション編集画面」が表示されます。

ｉモーション編集画面

2 α［機能］▶以下の項目から選択

ｉモーション切り出し……「動画の一部を切り出す」→P.268

ｉモードメール作成……動画を添付したｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

ファイル制限……「ｉモーション切り出し」した動画を再配布できるかどうかを設定します。「ファイル制限について」→P.163

おしらせ

- 編集によって画質が劣化する場合があります。
- 編集後の確認画面で電話がかかってきたり、電池がなくなった場合、FOMA端末を折り畳んだ場合は、確定している編集内容で保存されます。ただし、保存されている動画がいっぱいのときは保存されません。
- 編集中に表示されるファイル容量は目安です。

<ｉモードメール作成>

- 保存メールがいっぱいのときはｉモードメール作成できません。

● 動画の一部を切り出す

1 ｉモーション編集画面（P.268）▶α［機能］▶「ｉモーション切り出し」▶✉［始点］

切り出しが開始されます。

■ 途中の場面から切り出す場合

▶◉［再生］▶切り出しをはじめたい場面で◉［停止］▶✉［始点］

2 切り出したい最後の場面で◉［停止］▶✉［終点］

切り出した動画が再生され、再生が終わったら自動的に停止します。

■ もう一度確認する場合

▶✉［デモ］

3 ◉［確定］▶◉［保存］▶「YES」

〈コンテンツ移行対応〉

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で動画／iモーションを移動する

● FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する

● 移動したiモーションは、iモーションの「移行可能コンテンツ」フォルダ（P.254）内に保存されます。

1 動画一覧画面（P.263）▶ α［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

● microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する

● 移動した iモーションは、iモーションのINBOXフォルダに保存されます。

1 フォルダ一覧画面（P.263）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

「動画一覧画面」（P.263）が表示されます。

2 α［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動・選択移動・全移動……いずれかの移動方法を選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- 移動処理中は microSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 再生制限が切れたiモーションは、移動できません。
- iモーションの移動可否は「iモーション情報」や「画像種別アイコン」「設定できる項目アイコン」（P.256）で確認できます。
- microSDメモリーカードに移動中、 ［中止］を押しても、タイミングによっては中止されないことがあります。

キャラ電とは

テレビ電話をお使いのときに、相手のFOMA端末に自分側のカメラ映像を送る代わりにキャラクタを代替画像として送信します。

キャラ電を表示する

お買い上げ時	画像表示設定：画面サイズで表示 代替画像設定：Dimo

● キャラ電をダウンロードする→P.187
● 内蔵されているキャラ電は以下のとおりです。

Dimo

ビーンズ（Beans）

サンデー（Sunday）

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「キャラ電」

「キャラ電一覧画面」が表示されます。

キャラ電一覧画面

機能メニュー➡P.270

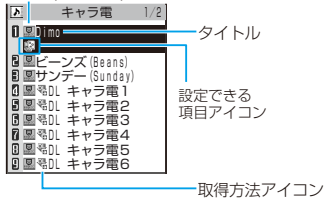
2 キャラ電を選択

「キャラ電画面」が表示されます。

キャラ電画面

機能メニュー➡P.270

キャラ電一覧の見かた

● 画像種別アイコン、取得方法アイコン、設定できる項目アイコンについて→P.256
● タイトル、ファイル名について→P.257

キャラ電を操作する

用意されているいろいろなアクションから選択して再生できます。

1 キャラ電画面（P.269）▶キャラ電を操作する

■ アクション一覧を確認する場合
▶[＊]
一覧表示されるアクションは、キャラ電の種類によって異なります。
アクション一覧でアクション名の右にある「1」や「#1」などは、キャラ電表示中にそのダイヤルボタンを押すと、対応するアクションを再生することを示しています。

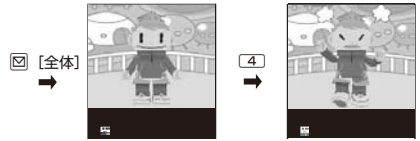
アクション一覧 1/2	
笑う	:1
バンザイ	:2
泣き	:3
怒る	:4
驚く	:5
悩む	:6
首を傾げる	:7
寝る	:8
照れる	:9
YES	:#1

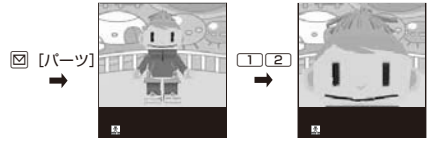
<アクションの詳細を確認する場合>
▶アクションを反転▶[✉]［詳細］▶詳細を確認▶[α]［閉］

■ アクションモードを切り替える場合
▶[✉]［パーツ／全体］
[アイコン]が表示されているときはパーツアクションモードに、[アイコン]が表示されているときは全体アクションモードに切り替わります。
[アイコン]（全体アクション）：感情などキャラ電全体の動きを表現するアクションモードです。
[アイコン]（パーツアクション）：頭や手足などのキャラ電の部分的な動きを表現するアクションモードです。

■ キャラ電表示中にダイヤルボタンでアクションを選択する場合
キャラ電表示中の画面で以下のダイヤルボタンを押してアクションを再生します。
「全体アクション」：アクション一覧でアクション名の右にある1桁の数字（[1]～[9]）または[#][1]～[#][9]
「パーツアクション」：アクション一覧でアクション名の右にある2桁の数字（[1][1]～[9][9]）

<例：全体アクション「怒る」を選択する場合>
※キャラ電は正像表示です。

[✉]［全体］➡ [4]➡

<例：パーツアクション「顔アップ」を選択する場合>

[✉]［パーツ］➡ [1][2]➡

■ 音声に合わせてキャラ電の口の動きに変化を付ける場合
キャラ電によっては、送話口からの音声に合わせてキャラ電も一緒に話しているような口の動きを与えることができるものもあります。

機能メニューやダイヤルボタンを押してアクションの再生が行われた場合は、送話口からの音声よりも選択したアクションの動きが優先されます。

機能 キャラ電一覧画面／キャラ電画面

1 キャラ電一覧画面（P.269）／キャラ電画面（P.269）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

キャラ電発信……キャラ電を代替画像としてテレビ電話をかけます。
▶電話番号を入力▶[☎]または[✉]［TV電話］
キャラ電発信画面で[✥]を押すと、着信履歴、リダイヤル、電話帳から電話番号を検索できます。

代替画像設定……キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

タイトル編集※1……キャラ電のタイトルを編集します。
全角18文字、半角36文字まで入力できます。

キャラ電切替※2……表示するキャラ電を選択します。

アクション一覧※2……アクション一覧を表示します。

アクション切替※2……アクションモードを切り替えます。

キャラ電情報……「キャラ電情報について」→P.271

保存容量確認※1……キャラ電の保存データ容量と空きデータ容量を表示します。

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

画像表示設定……画像の表示方法を設定します。

等倍表示……実際のサイズで表示します。

画面サイズで表示（お買い上げ時）……画面のサイズに拡大して表示します。

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

※1：キャラ電一覧画面でのみ利用できます。
※2：キャラ電画面でのみ利用できます。

おしらせ

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
- テレビ電話の代替画像に設定されているキャラ電を削除した場合は、内蔵されているキャラ電「Dimo」が代替画像に設定されます。「Dimo」が削除されている場合は内蔵されている静止画の代替画像を送信します。
- 電話帳に登録されているキャラ電を削除した場合は電話帳に登録されているキャラ電も削除されます。

● キャラ電情報について

項目	情報内容
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル制限	ファイル制限を「あり」と表示（ファイル制限なしのキャラ電でも、ダウンロードするとファイル制限ありに変更）
表示サイズ	ファイルの表示サイズ（横×縦ドット）を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをKバイト表示
取得元	ファイルの取得元を表示（内蔵されているキャラ電のときは空白）
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
microSDへの移動	「不可」固定表示
代替画像設定	代替画像の設定先を表示（設定されていないときは「設定なし」を表示）

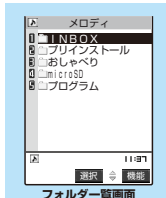
〈メロディ〉

メロディを再生する

内蔵メロディや効果音、サイトなどからダウンロードしたメロディは、データBOXのメロディで再生します。

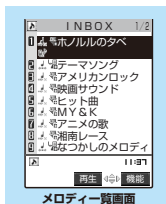
1 MENU 1 6

「フォルダ一覧画面」が表示されます。
メロディのフォルダ内容について→P.254

フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.285

2 **フォルダを選択**

「メロディ一覧画面」が表示されます。
メロディ一覧の見かた→P.272

メロディ一覧画面

機能メニュー➡P.272

3 **メロディを選択**

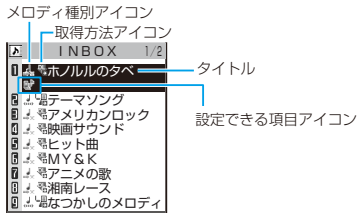
「メロディ画面」が表示され、メロディの再生がはじまります。
「メロディ再生中の操作について」→P.272

メロディ画面

機能メニュー➡P.272

おしらせ

- 再生中の音量は、着信音量の「電話」で設定した音量になります（「SILENT」または「STEP」に設定されているときは「LEVEL2」で再生します）。

メロディ一覧の見かた

■ メロディ種別アイコン

アイコン	アイコンの内容
	MFi／SMFのメロディ

: ファイル制限が設定されていたり、メールへの添付、FOMA端末外への出力が禁止されているデータ

■ 取得方法アイコン

アイコン	アイコンの内容
アイコンなし	プリインストールされているメロディ
	サイトなどから取得したメロディ
	赤外線通信やmicroSDメモリーカード、バーコードリーダー、パソコンなどから取得したメロディ

■ 設定できる項目アイコン

アイコン	アイコンの内容
	ｉモードメールに添付できるメロディ（2Mバイト以下）
	着信音に設定できるメロディ
	赤外線通信で送信可能なメロディ
	microSDメモリーカードにコピー可能なメロディ

■ タイトル、ファイル名について

サイトなどから取得したメロディにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のメロディ一覧画面に表示される名前です。
ファイル名はパソコンなどに送ったときに表示されるメロディデータの名前です。
ファイル名に不正な文字があるときのファイル名は「melodyxxx」（xxx：3桁の数字）になります。
ファイル名の末尾3桁の数字は同一ファイル名を区別するためのシリアル番号として付けられます。

メロディ再生中の操作について

メロディを再生中には以下の操作を行うことができます。

操作ボタン	動　作
	前後の曲の再生
（[ ]）、（[MEMO／CHECK]）	音量調節※1※2
0～9、＊、＃、、、	再生の停止
CLR	終了

※1：音量を調節した後、［確定］を押すか、約2秒間待つとメロディ画面に戻ります。
※2：再生中に音量を変更しても、メロディを終了すると「着信音量」で設定されている音量に戻ります。

機能 メロディ一覧画面／メロディ画面

● 機能メニューはメロディが保存されているフォルダによって変わります。

1 メロディ一覧画面（P.271）／メロディ画面（P.271）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集※1……メロディのタイトルを編集します。
全角25文字、半角50文字まで入力できます。

ファイル名編集※1……メロディのファイル名を編集します。
半角の英字、数字と記号（“-”、“_”のみ）で36文字まで入力できます。

メロディ再生※1……メロディを再生します（メロディ画面を表示します）。

着信音設定……メロディを設定する項目を選択します。

ファイル制限※1……保存したメロディを再配布できるかどうかを設定します。
「ファイル制限について」→P.163

連続再生設定※2……同じフォルダ内のメロディを続けて再生します。

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

ｉモードメール作成……メロディを添付したｉモードメールを作成します。
「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

赤外線送信※1……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

本体へコピー※3……「microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

メロディ情報……「メロディ情報について」→P.273

保存容量確認※1……メロディの保存データ容量と空きデータ容量を表示します。

コピー※3……「microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする」→P.282

タイトル初期化※1……変更したタイトルを取得したときのタイトルに戻します。

ソート※1……選択した条件に従ってメロディを並び替えます。

フォルダ移動※1

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶[方向キー]で□(チェックボックス)を選択▶[メールキー][完了]▶「YES」

全移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

削除※1……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

※1：メロディ一覧画面でのみ利用できます。
※2：メロディ画面でのみ利用できます。
※3：microSDメモリーカードに保存されているメロディのときのみ表示されます。

おしらせ

<ファイル名編集>
- ファイル制限が「あり」に設定されているメロディは、ファイル名編集できません。ただし、赤外線通信やOBEXで受信したメロディはファイル名編集できます。

<着信音設定>
- メロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。そのため着信音などに設定したときは指定部分のみが再生されます。データBOXのメロディで再生を行うと、すべてのメロディを再生できます。

<ｉモードメール作成>
- ファイル容量が2Mバイトを超えるメロディを添付することはできません。

<メロディ情報>
- メロディ情報の「ファイル制限」が「なし」になっていても、ｉモードメールに添付できない場合があります。

<保存容量確認>
- 表示される容量はおおよその目安です。

<削除>
- 着信音やアラーム音などに設定されているメロディを削除すると、設定されていた着信音やアラーム音はお買い上げ時の状態に戻ります。

<ソート>
- メロディ一覧画面を終了すると、ソートは解除されます。
- 「ファイル取得元順」は、以下の順にソートされます。また、同じ取得元アイコンのメロディは、「ファイル取得元順」を選択する前の順番でソートされます。
  ①ダウンロードしたり、ｉアプリから取得したメロディ
  ②赤外線通信やmicroSDメモリーカードなどで取得したメロディ

● メロディ情報について

項目	情報内容
初期タイトル	オリジナルタイトル名を表示
ファイル名	ファイル名を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをKバイト表示
ファイル制限	ファイル制限の「あり／なし」を表示
ファイル種別	メロディのファイル種別「MFi／SMF」を表示
取得元	ファイルの取得元を表示
保存日時	ファイルの保存日時(年／月／日　時:分)を表示
microSDへの移動・本体への移動	microSDメモリーカード／本体へのコピーの「可／不可」を表示
バイブレータ連動	バイブレータ連動の「あり／なし」を表示
着信イルミネーション連動	着信イルミネーション連動の「あり／なし」を表示
着信音設定	着信音設定の設定先を表示(設定されていないときは「設定なし」を表示)

● メロディを好きな順に再生する ＜メロディプログラム再生＞

お好きな曲を10曲まで選んで登録しておき、複数の曲を連続して再生します。

1 フォルダ一覧画面(P.271)▶「プログラム」を反転▶[α][機能]▶「プログラム編集」▶登録する番号を選択▶フォルダを選択▶メロディを選択▶操作を繰り返して登録

■ 登録したメロディを解除する場合
▶解除したいメロディを選択▶フォルダ選択画面で「メロディ解除」

2 [メールキー][完了]

メロディのフォルダ一覧画面が表示されます。
プログラムフォルダを選択するとプログラム再生がはじまり、登録したメロディが繰り返し再生されます。

おしらせ

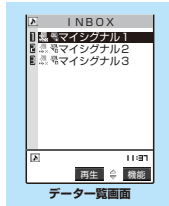
- プログラムに登録されているメロディのタイトルおよびファイル名を変更、またはデータを削除すると、プログラム再生が解除されます。

〈マイシグナル〉
マイシグナルのアニメーションを確認する

マイシグナルの内蔵アニメーションデータ、サイトなどからダウンロードしたアニメーションデータは、データBOXのマイシグナルでアニメーションを確認できます。

● アニメーションデータは、「みんなN らんど」からダウンロードできます。→P.177

1 MENU ▶「DATA BOX」▶「マイシグナル」▶「INBOX」または「プリインストール」

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面

機能メニュー ➡P.274

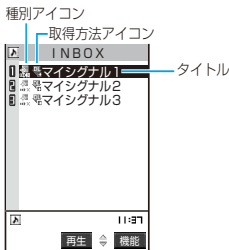
2 アニメーションデータを選択

マイシグナルにアニメーションが約15秒間表示されます（FOMA端末を開いていてもマイシグナルの表示向きは変わりません）。

■ 停止する場合
▶◉［停止］

■ マイシグナルに設定する場合
▶✉［設定］

アニメーションデータを「クローズ表示」、「通話中表示」に設定します。プリインストールのデータは「クローズ表示」に設定します。INBOXのデータの場合、設定先には「★」が付きます。

データ一覧画面の見かた

■ 種別アイコン

アイコン	アイコンの内容
（アイコン）	マイシグナルのアニメーションデータ

■ 設定できる項目アイコン

アイコン	アイコンの内容
アイコンなし	プリインストールデータ
（アイコン）	サイトからダウンロードしたアニメーションデータ

■ タイトル名について

ダウンロードしたアニメーションデータにはオリジナルのタイトルが付きます。
タイトルはFOMA端末のアニメーションデータ一覧画面に表示されるアニメーションデータの名前です。

機能 データ一覧画面

● 機能メニューはアニメーションデータが保存されているフォルダによって変わります。

1 データ一覧画面（P.274）▶ α［機能］▶以下の項目から選択

マイシグナル設定……アニメーションデータを「クローズ表示」、「通話中表示」に設定します。プリインストールのデータは「クローズ表示」に設定します。INBOXのデータの場合、設定先には「★」が付きます。

マイシグナル情報※1……「マイシグナル情報について」→P.274

1件削除・全削除※1……アニメーションデータを1件または全削除します。

※1：INBOXのデータ一覧画面でのみ表示されます。

● マイシグナル情報について

項目	情報内容
タイトル名	タイトルを表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをバイトで表示
保存日時	ファイルの保存日時（年／月／日　時：分）を表示
ファイル制限	ファイル制限を「あり」と表示

microSDメモリーカードについて

FOMA端末では、microSDメモリーカードを外部メモリとして利用できます。また、microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードアダプタに装着して、パソコンなどSDメモリーカード対応機器で利用することもできます。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- FOMA端末で撮影した静止画や動画、電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDメモリーカードにコピーしたり、microSDメモリーカードに保存されているデータをFOMA端末にコピーできます。また、microSDメモリーカードに保存されている画像や動画のデータなどをFOMA端末で再生することもできます。
- ｉモードメールに添付されていたFOMA端末本体で利用できないファイル（その他ファイル）を、パソコンなどから利用することもできます。
- ダウンロードした動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに保存できます。ただし、データの提供者が許可していない場合は保存できません。
- N703iμでは市販の2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2007年1月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。

  ｉモード：

  「ｉMenu」→「メニュー／検索」→「ケータイ電話メーカー」→「みんなNらんど」

  パソコンなど：http://www.n-keitai.com/

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

取扱い上のご注意

※フォーマットは必ずFOMA N703iμで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。→P.283

- microSDメモリーカードは、FOMA端末の電源を切った状態で取り付けや取り外しを行ってください。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。

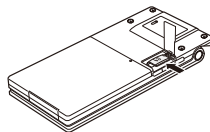
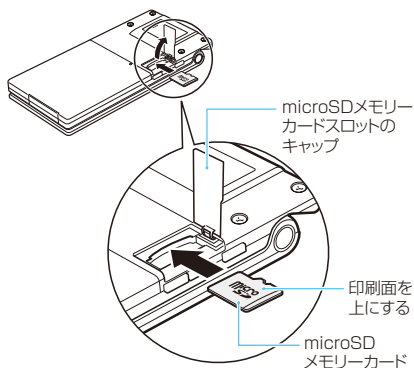
microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

● 取り付けかた

FOMA端末の電源を切った状態で取り付けてください。

1 microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 microSDメモリーカードスロットにmicroSDメモリーカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

microSDメモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。
完全に奥まで押し込むとロックされます。

3 microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

microSDメモリーカードを取り付け後、電源を入れると、ディスプレイに「SD」が表示されます。

おしらせ

- microSDメモリーカードに不具合のある場合や、正常にフォーマットできなかった場合には「SD」が表示されます。

● 取り外しかた

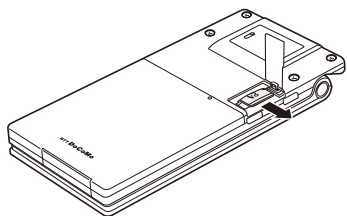
FOMA端末の電源を切った状態で取り外してください。

1 microSDメモリーカードスロットのキャップを開ける

2 microSDメモリーカードを軽く押し込む

microSDメモリーカードを押し込んで手を放すと、microSDメモリーカードが少し出てきます。
このとき、microSDメモリーカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

3 microSDメモリーカードをゆっくりと引き抜いて取り外す

microSDメモリーカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜いてください。

4 microSDメモリーカードスロットのキャップを閉じる

おしらせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDメモリーカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDメモリーカードを取り付けたり取り外したりするときは、microSDメモリーカードが飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDメモリーカードを取り外した後は、必ず付属の保護ケースに入れて保管してください。ほかの保護ケースで保管すると、microSDメモリーカードが使用できなくなる場合があります。
- microSDメモリーカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください（斜めに差し込むとカードが破損する恐れがあります）。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータをコピーすると、別表1（P.277）のようなフォルダが作成され、データが対応するフォルダに保存されます。また、配下のフォルダ名およびファイル名も別表1のように自動的に付与されます。

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを書き込む場合も、**別表1**のようなフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。

おしらせ

- SD_PIMフォルダは、電話帳などのPIMデータをコピーしないと表示されません。
- SD_PIMフォルダに複数のデータをコピーした場合は、タイトル名に年月日時分（yyyy/mm/dd hh:mm）が自動的に付与されます。
- パソコンなどからMMFILEフォルダに映像付きの動画を保存することはできますが、FOMA端末で再生できません。
- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンなどで編集したファイルをmicroSDメモリーカードに保存するとき、P.277のフォルダ名、ファイル名とは異なる文字を使用すると、FOMA N703iμでは正しく表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードのフォーマットなどを行い、SAVEDIRフォルダ内の保存先設定保持ファイルが削除された場合、microSDメモリーカード内の保存先フォルダの設定は解除されます。その際は「画像保存先選択」または「動画保存先選択」で設定し直してください。FOMA端末の電源を切ったり、microSDメモリーカードの取り外し／取り付けでは解除されません。
- microSDメモリーカードのフォルダをパソコンなどで削除したり、移動したりしないでください。
FOMA N703iμでmicroSDメモリーカードが読めなくなる場合があります。
- FOMA N703iμに対応していないデータをmicroSDメモリーカードに保存しても、FOMA N703iμでは認識できません。
- ほかの機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードリーダー／ライターおよびPCカードアダプタについては、FOMA N703iμで対応しているmicroSDメモリーカードとの動作を各メーカーにご確認の上お買い求めください。
- FOMA N703iμ以外の機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードを使用すると、正常に動作しない場合があります。

[別表1] microSDメモリーカードのフォルダ構成

microSDメモリーカード

- DCIM ……… FOMA端末の「マイピクチャ」で「ピクチャ」と表示されます。
  - aaaNECDT[※1]
    - NEC_bbbb[※2].hhh[※8] ……… 静止画ファイル（JPEG、GIFファイル）
- SD_VIDEO ……… FOMA端末の「ｉモーション」で「SDビデオ」と表示されます。動画やｉモーション(音楽データ含む）が保存されているフォルダです。
  - PRLccc[※3]
    - MOLccc[※3].iii[※9] ……… 動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
- SD_PIM ……… 電話帳、スケジュール、メールなどPIMデータが保存されているフォルダです。
  - PIMddddd[※4].VCS ……… スケジュール、To Doリストファイル（vCalendarファイル）
  - PIMddddd[※4].VCF ……… 電話帳ファイル（vCardファイル）
  - PIMddddd[※4].VMG ……… メールファイル（vMessageファイル）
  - PIMddddd[※4].VNT ……… テキストメモファイル（vNoteファイル）
  - PIMddddd[※4].VBM ……… ブックマークファイル（vBookmarkファイル）
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - STILL ……… FOMA端末の「マイピクチャ」で「イメージボックス」と表示されます。
      - SUDeee[※5]
        - STILffff[※6].hhh[※8] ……… アニメーションファイル（GIFファイル)、画像ファイル(JPEGファイル)
      - STILffff[※6].hhh[※8] ……… アニメーションファイル（GIFファイル)、画像ファイル(JPEGファイル)
    - MMFILE ……… FOMA端末の「ｉモーション」で「マルチメディア」と表示されます。
      - MMFffff[※6].iii[※9] ……… 動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
      - MUDeee[※5]
        - MMFffff[※6].iii[※9] ……… 動画ファイル（3GP、SDV、MP4、ASFファイル）
    - DECOIMG ……… デコメ絵文字ファイルが保存されているフォルダです。
      - DUDeee[※5]
        - DIMGffff[※6].hhh[※8] ……… デコメ絵文字ファイル（JPEG、GIFファイル）
      - DIMGffff[※6].hhh[※8] ……… デコメ絵文字ファイル（JPEG、GIFファイル）
    - OTHER ……… FOMA端末で「SDその他」と表示されます。ｉモードメールに添付されたFOMA端末のデータBOXで扱えないファイルが保存されているフォルダです。
      - OUDeee[※5]
        - OTHEReee[※5].jjj[※10] ……… 画像ファイル（PNG、BMPファイル）
        - OTHEReee[※5].kkk[※11] ……… その他のファイル
      - OTHEReee[※5].jjj[※10] ……… 画像ファイル（PNG、BMPファイル）
      - OTHEReee[※5].kkk[※11] ……… その他のファイル
    - RINGER ……… メロディファイルが保存されているフォルダです。
      - RUDeee[※5]
        - RINGffff[※6].ggg[※7] ……… メロディファイル（SMF、MFiファイル）
      - RINGffff[※6].ggg[※7] ……… メロディファイル（SMF、MFiファイル）
  - NEC
    - SAVEDIR ……… 静止画、動画などの保存先設定保持ファイルが保存されているフォルダです。
- SD_BIND ……… 移動可能なｉモーションや着うたフル®、ｉアプリで使用するデータが保存されているフォルダです。
- SD_AUDIO ……… ミュージックプレイヤーのデータ（SDオーディオ）が保存されているフォルダです。

※1 ：「aaa」は100～999の3桁の半角数字になります。「NECDT」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
※2 ：「bbbb」は0001～9999の4桁の半角数字になります。「NEC_」の部分は任意の半角英数字にすることもできます。
※3 ：「ccc」は、0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いた、001～FFFの16進数の文字になります。
※4 ：「ddddd」は、00001～65535の5桁の半角数字になります。
※5 ：「eee」は、001～999の3桁の半角数字になります。
※6 ：「ffff」は、0001～9999の4桁の半角数字になります。
※7 ：「ggg」は、ファイル拡張子です。MLDまたはMIDとなります。
※8 ：「hhh」は、ファイル拡張子です。JPGまたはGIFとなります。
※9 ：「iii」は、ファイル拡張子です。3GPまたはSDV、MP4、ASFとなります。
※10：「jjj」は、ファイル拡張子です。PNGまたはBMPとなります。
※11：「kkk」は、ファイル拡張子です。

● microSDメモリーカードに保存できる件数について

microSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDメモリーカードのメモリ容量によって変わります。1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数および追加できるフォルダの最大件数は以下のとおりです。

フォルダ名	フォルダ最大件数	1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数
DCIM	900件	9,999件
SD_VIDEO	4,095件	4,095件
SD_PIM	1件	65,535件
STILL	999件	9,999件
MMFILE	999件	9,999件
DECOIMG	999件	9,999件
OTHER	999件	999件
RINGER	999件	9,999件

- フォルダを追加して、コピーする場所を変えたりすることによって、より多くのファイルを保存できます。ただし、ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDメモリーカードのメモリ容量とメモリ空き容量は「分類一覧表示画面」の機能メニューで確認できますが、表示されるメモリ容量は、ご使用のmicroSDメモリーカードに記載されているメモリ容量より少なくなります。
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が不足していると、データをコピーしたり移動することはできません。ほかのmicroSDメモリーカードに交換するか、不要なデータを削除してください。
- microSDメモリーカード内の容量がいっぱいの場合、静止画や画像、動画やｉモーションのフォルダ追加やタイトル編集などはできません。不要なデータを削除してから操作を行ってください。
- 音楽データをFOMA端末からmicroSDメモリーカード（SD-AUDIOフォルダ）にコピーすることはできません。
- コピー先／保存先のフォルダ内のファイルが最大件数になっているときは以下のようになります。
  - ・SD-PIM以外にコピーする場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに保存されます。ただし、カメラで静止画を撮影後、直接microSDメモリーカードに保存する場合は、自動的にフォルダ作成されません。
  - ・SD-PIMにコピーする場合、件数がいっぱいというメッセージが表示され、microSDメモリーカードにコピーできません。

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でコピーできるデータについて

■電話帳、メールなどのPIMデータの場合

データの種類	詳細
電話帳	名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモ、住所、誕生日、静止画、メモリ番号※1、シークレット属性※2、グループ番号※3、グループ名※3
スケジュール	開始日時、終了日時、要約、内容、シークレット属性※2、分類※4、アラーム設定、繰り返し設定
To Doリスト	内容、分類※5、完了日、期限、状態、優先順位、アラーム設定
テキストメモ	作成日時、最終更新日時、分類、内容
受信メール※6、送信メール※6、保存メール、SMS	未読／既読、メッセージタイプ、メッセージボックス、差出人、宛先、タイトル、受信／送信日時、本文、添付
ブックマーク※6※7	URL、タイトル

※1：「追加1件コピー」の場合、FOMA端末に同じメモリ番号が登録されているとコピーできません。
※2：シークレット属性は、シークレットデータとして登録されているかどうかを示すものです。
※3：「全コピー」の場合にコピーできます。
※4：分類は、スケジュールの内容で設定したアイコン情報です。
※5：分類は、To Doリストの用件で設定したカテゴリーです。
※6：受信メール、送信メール、ブックマークの全コピーでは、フォルダ（フォルダ名）の転送が可能です。
※7：microSDメモリーカードからFOMA端末へコピーした場合、ブックマークは、「ｉモードメニュー」の「Bookmark」フォルダに登録されます。

■データBOX内のデータの場合

データの種類	詳細
静止画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、おまかせデコメフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内のJPEGおよびGIF形式のデータ
動画	INBOXフォルダ、カメラフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMP4形式のデータ
メロディ	INBOXフォルダ、microSDフォルダ、ユーザ作成フォルダ内にあるMFi／SMF形式のメロディ

おしらせ

- ユーザアイコンを設定したスケジュールをコピーした場合、「分類」の情報は転送されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されたデータはコピーできません。ただしFOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータはコピーできます。

microSDメモリーカードを利用する

microSDメモリーカードのSD-PIMデータを表示する<SD-PIM>

microSDメモリーカードに保存してある電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークなどのSD-PIMデータを表示します。

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「SD-PIM」

「分類一覧表示画面」が表示されます。

分類一覧表示画面

機能メニュー ➡P.279

2 項目を選択

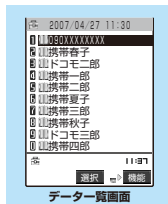
「ファイル一覧画面」が表示されます。

ファイル一覧画面

機能メニュー ➡P.280

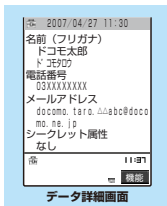
3 ファイルを選択

「データ一覧画面」が表示されます。

データ一覧画面

機能メニュー ➡P.280

4 データを選択

「データ詳細画面」が表示されます。

データ詳細画面

機能メニュー ➡P.280

おしらせ

- デコメールは、デコレーションが設定されていない状態で表示されます。

機能 分類一覧表示画面

1 分類一覧表示画面（P.279）▶ α［機能］▶以下の項目から選択

microSD情報表示……「microSDメモリーカードの使用状況を確認する」→P.283

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。

▶端末暗証番号を入力▶「YES」

・「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択する操作があります。

microSDフォーマット……「microSDメモリーカードをフォーマットする」→P.283

microSDチェックディスク……microSDメモリーカードをチェックします。
チェックすることによってmicroSDメモリーカードの不具合を修復できる場合もあります。

おしらせ

<microSDチェックディスク>

- microSDチェックディスク中にmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- フォーマットされていないmicroSDメモリーカードや、未対応のメモリーカードはmicroSDチェックディスクできません。
- microSDチェックディスク中に ✉［中止］や ☎ を押した場合は、microSDチェックディスクは中止され、「SD」が表示されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDメモリーカード内のデータ量によっては、microSDチェックディスクに時間がかかる場合があります。
- microSDメモリーカードによっては修復できない場合があります。
- microSDチェックディスクを行うと、microSDに保存されているデータのタイトルはファイル名に変更されます。
タイトル、ファイル名について→P.257

機能 ファイル一覧画面

1 ファイル一覧画面（P.279）▶ α ［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……ファイルのタイトルを編集します。全角15文字、半角31文字まで入力できます。

追加コピー・上書コピー……「SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

本体からコピー……項目データをmicroSDメモリーカードに全コピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」
・「スケジュール」では「スケジュール／To Doリスト／全て」の項目を選択する操作があります。

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

＜削除＞
- パソコンなどで読み取り専用に設定されている場合、削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

機能 データ一覧画面／データ詳細画面

1 データ一覧画面（P.279）／データ詳細画面（P.279）▶ α ［機能］▶以下の項目から選択

追加1件コピー・追加全コピー・上書全コピー※……
・「追加1件コピー」は、1件のデータを追加コピーする機能です。
・「追加全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「追加1件コピー」と同機能です。
・「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の機能メニューの「上書1件コピー」と同機能です。
「SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする」→P.281

microSD情報表示……microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を確認します。

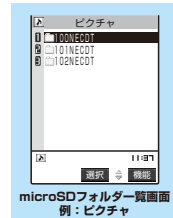
※：「追加全コピー」「上書全コピー」は、データ一覧画面でのみ利用できる機能です。

microSDメモリーカードのその他のデータを表示する

microSDメモリーカードに保存してある画像、iモーション、メロディなど、データBOX内のデータを表示します。

＜例：マイピクチャの画像を表示する場合＞

1 フォルダー覧画面（P.255）▶「microSD」▶「ピクチャ」または「イメージボックス」

「microSDフォルダ一覧画面」が表示されます。

microSDフォルダ一覧画面
例：ピクチャ

機能メニュー ➡P.285

2 フォルダを選択▶画像を選択

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

● 電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークをmicroSDメモリーカードに保存します。

1 各データの一覧画面（電話帳一覧画面など）▶ α ［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー※……いずれかのコピー方法を選択します。「複数選択について」→P.40

※：受信メール、送信メール、ブックマークでは、フォルダ内のデータのみが全コピーされます。すべてのデータをコピーする場合は、フォルダ一覧画面の機能メニューから「microSDへ全コピー」を選択します。

■詳細画面の機能メニューについて

詳細画面の「microSDへコピー」は、一覧画面の「1件コピー」と同機能です。

■分類一覧表示画面の機能メニューについて

分類一覧表示画面の機能メニュー（P.279）の「本体からコピー」は、電話帳、スケジュール、To Doリスト、保存メール、テキストメモの一覧画面の「全コピー」と同機能です。同じく受信メール、送信メール、ブックマークのフォルダ一覧画面の「microSDへ全コピー」とも同機能です。

おしらせ

- ｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- シークレットデータ（電話帳、スケジュール）を1件コピー／選択コピーした場合、シークレットは解除されて保存されます。
- データをmicroSDメモリーカードへ全コピーした場合、シークレットで登録されているデータ（電話帳、スケジュール）もコピーされます。ただし、シークレットフォルダのデータはコピーされません。
- 電話帳データを全コピーした場合、「マイプロフィール」の内容もコピーされます。
- 電話帳詳細画面、メール詳細画面からは全コピーはできません。
- メールをコピーしたとき、メールに添付されているファイルは種類によっては削除される場合があります。
- 「全データ表示」を行わずに「マイプロフィール」のデータを1件コピーしたときは、名前、フリガナ、自局番号、1件目に登録されているメールアドレスのみが電話帳として保存されます。「全データ表示」を行って1件コピーしたときは、登録されているすべてのデータが電話帳として保存されます。

● 画像などのデータをmicroSDメモリーカードにコピーする

INBOXフォルダ、カメラフォルダ、ユーザ作成フォルダなどに保存されているデータをmicroSDメモリーカードにコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶α［機能］▶「microSDへコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー……▶コピー先のフォルダを選択

選択コピー……▶コピー先のフォルダを選択▶コピーするデータを選択▶✉［完了］▶「YES」

全コピー……▶端末暗証番号を入力▶コピー先のフォルダを選択▶「YES」

おしらせ

- データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。コピーが終了するまではmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- 以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
  - ・お買い上げ時に登録されているデータのとき
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているデータのとき
  - ・microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないとき
  - ・対応microSDメモリーカード以外のとき
  - ・microSDメモリーカードにエラーが発生したとき
  - ・microSDメモリーカードが挿入処理中のとき

おしらせ

- 静止画や動画をmicroSDメモリーカードへコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、microSDメモリーカードへのコピーは中断されます。
- 保存先フォルダのファイル件数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されその中に保存されます。

<画像のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ・ファイル名：NEC_mmmm（mmmm＝0001～9999）
- 以下の場合はmicroSDメモリーカードへコピーできません。
  - ・JPEG形式、GIF形式の画像以外のとき
  - ・コピーするとファイル容量が2Mバイトを超えるとき
- microSDメモリーカードへコピーすると、ファイル容量が大きくなる場合があります。

<動画のコピー>

- コピー後のファイル名は以下のようになります。
  - ・ファイル名：MOLxxx（xxx＝001～FFF：16進数）

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピーする

● SD-PIMデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存している電話帳、スケジュール、To Doリスト、テキストメモ、メール、ブックマークを、FOMA端末に追加コピー／上書きコピーします。

- スケジュールを上書きコピーする場合、To Doリストのデータも対象となります（どちらか一方のデータのみ登録されている場合は、登録されているデータのみ上書きされます）。
- 上書コピー（上書1件コピー／上書選択コピー／上書全コピー）を行うと、コピー前にあったFOMA端末内の登録データは消去され、選択したmicroSDメモリーカード内のデータにまるごと入れ替わりますのでご注意ください。
  上書コピーを行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ファイル一覧画面（P.279）▶α［機能］▶「追加コピー」または「上書コピー」▶以下の項目から選択

追加1件コピー／上書1件コピー……1件のファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

追加選択コピー／上書選択コピー……選択したファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。
▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶端末暗証番号を入力▶「YES」

追加全コピー／上書全コピー……すべてのファイル内の全データを追加コピーまたは上書コピーします。
▶端末暗証番号を入力▶「YES」

※ 上記操作中の「YES」の数は、操作するデータ、操作状況によって異なる場合があります。メッセージに従って操作してください。

■データ一覧画面／データ詳細画面の機能メニューについて

● データ一覧画面（P.279）の「追加全コピー」「上書全コピー」は、ファイル一覧画面の「追加1件コピー」「上書1件コピー」と同機能です。
● データ一覧画面／データ詳細画面（P.279）の「追加1件コピー」は、選択した1件のデータを追加コピーします。

おしらせ

- 「指定発信制限」を設定中は、電話帳のデータをコピーすることはできません。
- microSDメモリーカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。取り込み済みのデータは登録されます。
- ファイル一覧画面やデータ一覧画面／データ詳細画面から追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）を選択した場合、microSDメモリーカードに登録されているグループ名がFOMA端末に登録されているグループ名と異なるときは、電話帳のグループ00に登録されます。
- 以下のデータは、ファイル一覧画面やデータ一覧画面／データ詳細画面から追加コピー（追加1件コピー／追加選択コピー／追加全コピー）できません。
  - ・同じ日付時刻で同じ繰り返し設定（なし／あり）のスケジュール
  - ・同じURLのブックマーク
- 送信BOXがいっぱいのとき、送信メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古いメールに上書きされます。
- 受信BOXがいっぱいのとき、受信メールをデータ一覧画面／データ詳細画面から追加1件コピーすると、保護されていない最も古い既読メールに上書きされます。

● 画像などのデータをFOMA端末にコピーする

microSDメモリーカードに保存されている画像などのデータをFOMA端末のINBOXフォルダ（デコメ絵文字はデコメ絵文字フォルダ）にコピーします。

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶α［機能］▶「本体へコピー」▶以下の項目から選択

1件コピー・選択コピー・全コピー……いずれかのコピー方法を選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- データ量によってはコピーに時間がかかる場合があります。コピーが終了するまではmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
- 静止画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合、コピーは継続されます。動画のコピー中に着信やメール受信、アラーム通知などがあった場合は、コピーは中断されます。

おしらせ

<画像のコピー>
- 以下の画像はコピーできません。
  - ・Flash画像
  - ・2Mバイトを超える画像
  - ・横2,304×縦1,728、横1,728×縦2,304ドットより大きな画像
  - ・横690×縦480、横480×縦690ドットより大きなプログレッシブJPEG画像、GIF画像
- コピーした画像のファイル名は、microSDメモリーカードに保存されている画像のファイル名になります。

<動画のコピー>
- 以下の場合はコピーできません。
  - ・MP4形式以外の動画のとき
  - ・再生できないMP4形式の動画のとき

  ※上記の条件以外でも動画によってはコピーできない場合があります。
- 2Mバイトを超える動画は、先頭から2Mバイト以下に切り出してコピーします。ただし、2Mバイトを超えるQCIF（176×144）より大きいサイズの動画の場合は切り出しができないためコピーできません。

microSDメモリーカード内の別のフォルダにデータをコピーする

microSDメモリーカード内のデータを、microSDメモリーカード内の別のフォルダにコピーします。

● コピー先のフォルダは、あらかじめ作成しておく必要があります。→P.285

1 各データの一覧画面（画像一覧画面など）▶α［機能］▶「コピー」▶以下の項目から選択

1件コピー……▶コピー先のフォルダを選択

選択コピー……▶コピー先のフォルダを選択▶コピーするデータを選択▶✉［完了］▶「YES」

全コピー……▶コピー先のフォルダを選択

microSDメモリーカードの管理について

microSDメモリーカードをフォーマットしてFOMA端末で使用できるようにしたり、データの使用状況を確認することができます。

microSDメモリーカードをフォーマットする

※フォーマットは必ずFOMA N703iμで行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できないことがあります。

● microSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているデータはすべて削除されます。フォーマットをするときは、大切なデータが保存されていないことを確認してください。

1 分類一覧表示画面（P.279）▶α［機能］▶「microSDフォーマット」▶端末暗証番号を入力▶「YES」

おしらせ

● フォーマット中に microSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因になります。
● フォーマットを中止したmicroSDメモリーカードに対し保存されるデータの保証はいたしかねます。
● フォーマット中に ✉［中止］や ☎ を押した場合はフォーマットが中止され、「SD」が表示されます。そのときは、もう一度フォーマットしてください。

microSDメモリーカードの使用状況を確認する

microSDメモリーカードの空きデータ容量および保存データ容量を表示します。

● microSDメモリーカードに保存できる件数について
→P.278

1 分類一覧表示画面（P.279）▶α［機能］▶「microSD情報表示」

microSDリーダー／ライターとして使う

microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

● FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして利用するためには、以下の機器が必要です。

項目	説明
接続ケーブル	FOMA USB接続ケーブル（別売）
パソコン	FOMA USB接続ケーブル（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、 Windows XP（各日本語版）

1 USBモード設定画面（P.284）▶「microSDモード」

2 FOMA端末とパソコンを、FOMA USB接続ケーブルで接続する

microSDモード中にmicroSDメモリーカードが挿入され、FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合は、「SD」が表示されます。
パソコンのマイコンピュータに、microSDメモリーカードがストレージメモリ（データを保存する外部記憶領域）として表示されます。
パソコンからFOMA USB接続ケーブルを取り外すときは、各OSの安全に取り外す方法を用いてください。

おしらせ

● パソコンとmicroSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中の場合、USBモード設定を変更したり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードにアクセスすることはできません。また、FOMA端末とmicroSDメモリーカード間でデータの読み込み／書き込み中の場合、パソコンからmicroSDメモリーカードにアクセスすることはできません。

■お願い

● FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
● FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
● パソコンから FOMA端末へデータをコピー中の着信イルミネーションが点滅している状態では、FOMA USB接続ケーブルを抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

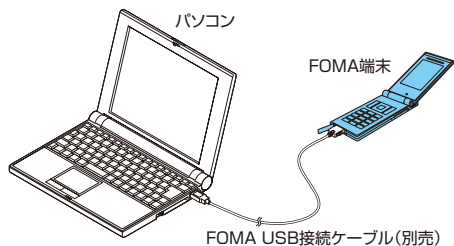
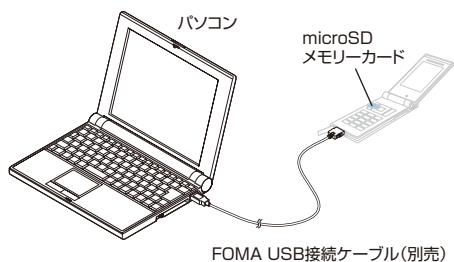
USBモードを設定する〈USBモード設定〉

お買い上げ時 通信モード

パソコンとFOMA端末を接続してさまざまな機能を利用するためにUSBモードを設定します。

- USBモードには、「通信モード」と「microSDモード」があります。

<通信モード>

<microSDモード>

1 MENU▶「SETTINGS」▶「外部接続」▶「USBモード設定」

「USBモード設定画面」が表示されます。

USBモード設定画面

2 以下の項目から選択

通信モード……外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信、ケーブル接続によるデータ転送用に使います。

・ FOMA USB接続ケーブルが接続され、パソコンとの間でデータ通信やデータ転送を行う準備ができている場合、「 」が表示されます。

microSDモード……外部接続端子をmicroSDメモリーカードのリーダー／ライターとして使います。

・ FOMA USB接続ケーブルが接続されている場合、「 」が表示されます。

※ FOMA端末とmicroSDメモリーカード間のコピー、メモリ内のデータ表示、フォーマットなどはできません。

〈DPOF設定〉

microSDメモリーカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

microSDメモリーカードに保存されている画像をDPOF(Digital Print Order Format)設定します。

- DPOF（ディーポフ）とは、デジタルカメラで撮影した静止画を印刷するときの指定方式です。
- FOMA端末で撮影した静止画をmicroSDメモリーカードに保存し、印刷したい静止画とその枚数などを指定しておくと、DPOFに対応したプリンタやプリントサービスのお店で、指定した情報にそって印刷できます。

1 フォルダ一覧画面（P.255）▶「microSD」▶「ピクチャ」▶フォルダを選択▶ で囲み枠を印刷設定する画像に移動▶α［機能］▶「DPOF設定」▶以下の項目から選択

1件DPOF設定……画像の印刷方法を設定します。

選択DPOF設定……複数の画像を選択して印刷方法を設定します。

2 「プリント指定」▶「プリント枚数」(01～99の2桁）を入力、「日付」（日付印刷のあり／なし）を選択▶ ［完了］

■表示している画像に設定されているプリント指定を解除する場合

▶「プリント指定解除」

■保存されている画像すべてのプリント指定を解除する場合

▶「プリント指定全解除」

おしらせ

- DPOF設定できる画像は999件までです。ただし、プリンタによっては設定した件数まで印刷できないことがあります。
- 横または縦が2,304ドットより大きいか、総ドット数が2,304×1,728ドットより大きい画像、ファイルサイズが2Mバイトより大きい画像には設定できません。
- microSDメモリーカードの空きデータ容量が少ないときは、DPOF設定できない場合があります。
- FOMA端末本体に保存されている画像にDPOF設定をすることはできません。
- 設定されている印刷枚数は「イメージ情報」で確認できます。

フォルダとデータを操作する

マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディのフォルダ一覧画面や、microSDフォルダ一覧画面にフォルダを追加して、それぞれのデータを整理することができます。

- ミュージックの移行可能コンテンツフォルダ（P.254）の場合、以下の「機能 フォルダ一覧画面」の「フォルダ追加」「フォルダ名編集」「フォルダ削除」の機能メニューを利用できます。
- ｉモーションの移行可能コンテンツフォルダ（P.254）の場合、以下の「機能 microSDフォルダ一覧画面」と同様の機能メニューを利用できます。

フォルダを作成／編集／削除する

機能 フォルダ一覧画面

1 各データのフォルダ一覧画面（マイピクチャなど）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ追加……フォルダ名を入力してフォルダを追加します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名編集……追加したフォルダのフォルダ名を編集します。
全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ削除……▶端末暗証番号を入力▶「YES」
データが保存されているフォルダも削除できます。
・ミュージックでは端末暗証番号入力後に、削除の方法を選択します。

全削除※1……▶端末暗証番号を入力▶「YES」
保存したすべてのデータを削除します。ただし、シークレットフォルダに保管したデータは削除されません。

プログラム編集※2……プログラム編集を開始します。
すでにプログラムされているときは、プログラムを編集することができます。
「動画を好きな順に再生する」→P.268
「メロディを好きな順に再生する」→P.273

プログラム解除※2……プログラムを解除します。

※1：マイピクチャでは「画像全削除」、ｉモーションでは「動画全削除」、メロディでは「メロディ全削除」と表示されます。ミュージックでは表示されません。
※2：ｉモーション、メロディのプログラムフォルダでのみ利用できる機能です。

おしらせ

<フォルダ名編集>
- ユーザ作成フォルダのみフォルダ名編集ができます。

<フォルダ削除／画像全削除／動画全削除／メロディ全削除>
- ユーザ作成フォルダのみフォルダ削除ができます。
- 画面や自作アニメ、スケジュールのユーザアイコンなどに設定されている画像や動画を「フォルダ削除」または「画像全削除」、「動画全削除」で削除しようとしたときや、着信音、アラーム、プログラムやランダムメロディなどに設定されているメロディを「フォルダ削除」または「メロディ全削除」で削除すると、設定されていた画面などは以下のようになります。
  - ・設定されていた画面、着信音、アラームはお買い上げ時の設定に戻ります。
  - ・自作アニメ、プログラムは解除されます。
  - ・スケジュールのアラーム通知画面は「🕒」を設定したときの画面になります。

機能 microSDフォルダ一覧画面

1 microSDフォルダ一覧画面（P.280）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダタイトル編集……フォルダのタイトルを編集します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※1

フォルダ作成……タイトルを入力してフォルダを作成します。
全角31文字、半角63文字まで入力できます。※1

フォルダ削除※2……▶端末暗証番号を入力▶「YES」

※1：「メロディ」、ｉモーションの移行可能コンテンツフォルダのときには全角10文字、半角20文字までの入力となります。
※2：「イメージボックス」、「デコメ絵文字」では、この機能のみ利用できます。

おしらせ

<フォルダ作成>
- 「イメージボックス」、「デコメ絵文字」内のフォルダは、FOMA端末では作成できません。パソコンなどで作成可能です。
- 移行可能コンテンツフォルダのフォルダ最大件数は65,535件、1つのフォルダに保存できるファイルの最大件数は65,535件です。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

撮影した静止画や動画、ダウンロードした各種データなどを保存しようとしたときに、不要なデータを削除して保存するかどうかの確認メッセージが表示されます。保存するときには不要なデータを削除します。

1 確認メッセージで、「YES」

■保存しない場合
▶「NO」

2 フォルダを選択▶削除するデータを選択

3 ✉［完了］▶「YES」

データを登録するためのメモリ容量が確保できるまで✉［完了］は表示されません。

おしらせ

- 画面などに設定されている画像、動画、または着信音に設定されているメロディを削除しようとしたときは、削除するかどうかの確認メッセージが表示され、削除すると設定されていた画面や着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

〈FOMAカード（UIM）操作〉

FOMAカードで電話帳やSMS（ショートメッセージ）を管理する

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末（本体）やFOMAカードに登録されている電話帳やSMSのデータを削除することもできます。

- データのコピー中、削除中は、音声電話やテレビ電話の発着信、メールの送受信はできません。
- FOMAカードの電話帳に登録できない項目はコピーできません。
  コピーできる項目や登録件数について→P.90
- FOMAカードには、受信SMSと送信SMSを合計20件まで保存できます。

メインメニューから電話帳やSMS（ショートメッセージ）をコピーまたは削除する

<例：電話帳やSMSをコピーする場合>

1 MENU ▶「LIFEKIT」▶「FOMAカード（UIM）操作」▶端末暗証番号を入力

端末暗証番号を入力すると、着信などの通信動作ができなくなり「圏外」が表示されます。端末暗証番号入力前に着信などの通信動作があった場合は、FOMAカード（UIM）操作を終了します。

2「コピー」

■ 削除する場合
▶「削除」

3「本体→FOMAカード（UIM）」または「FOMAカード（UIM）→本体」

■ 削除する場合
▶「本体」または「FOMAカード（UIM）」

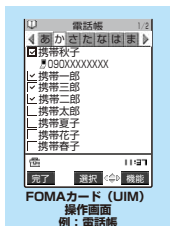
4 以下の項目から選択

電話帳……電話帳を検索し、一覧画面を表示します。
電話帳の検索のしかた→P.95

SMS……SMSのデータを選択します。

- **受信BOX**……受信BOXの一覧画面を表示します。
- **送信BOX**……送信BOXの一覧画面を表示します。

5 ✥で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」

FOMAカード（UIM）操作画面
例：電話帳

機能メニュー➡P.286

機能 FOMAカード（UIM）操作画面

- 電話帳の場合、タブの選択状態などによって利用できる機能が異なります。

1 FOMAカード（UIM）操作画面（P.286）▶α［機能］▶以下の項目から選択

コピー開始※1……コピー操作を開始します。

削除開始※2……削除操作を開始します。

1件選択……データを選択します。

全選択……すべてのデータを選択します。

1件解除……データの選択を解除します。

全解除……すべてのデータの選択を解除します。

詳細表示……データを詳細表示します。

※1：コピー画面でのみ利用できる機能です。
※2：削除画面でのみ利用できる機能です。

電話帳詳細画面から電話帳をコピーする

1 電話帳詳細画面（P.95）▶α［機能］▶「FOMAカードへコピー」または「本体へコピー」▶「YES」

電話帳の保存先（本体またはFOMAカード）によって、α［機能］を押したときに表示されるメニューは異なります。

メール画面からSMS（ショートメッセージ）を移動またはコピーする

- メール画面でのFOMAカード操作は、受信メール一覧画面・詳細画面、送信メール一覧画面・詳細画面の各画面の機能メニューで行えます。

<例：本体の受信SMSをFOMAカードに移動またはコピーする場合>

1 受信メール一覧画面（P.223）▶SMSを反転

2 α［機能］▶「FOMAカード操作」▶「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」▶「YES」

■ FOMAカード内の受信SMSを移動またはコピーする場合
▶「FOMAカードから移動」または「FOMAカードからコピー」

おしらせ

- FOMAカードに異常があるときは、FOMAカードとのデータのやりとりはできません。

＜電話帳＞
- FOMA端末（本体）からFOMAカードへ電話帳をコピーすると名前とフリガナに含まれる「カタカナ」は全角に変換されます。名前は全角10文字、半角21文字までがコピーされ、フリガナは全角12文字、半角25文字までコピーされますが、残りの文字はコピーされません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された2番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の文字がスペースや違う文字に変換される場合があります。
- 電話帳のデータは、グループ単位でのコピーはできません。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、「シークレットモード」または「シークレット専用モード」にしても、本機能でコピーはできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードに同じグループ名が設定されている場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。同じグループ名がない場合は、グループ00に登録されます。

＜SMS＞
- SMS送達通知のみのコピーはできません。ただし、送信SMSのSMS送達通知を受信している場合は、送信SMSをコピーすると送信SMSに保存されたSMS送達通知もコピーできます。
- SMSのデータはBOX単位、フォルダ単位でのコピーはできません。
- FOMAカードへ移動またはコピーしたSMSは保護できません。保護されているSMSをFOMAカードへ移動またはコピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMAカードに保存したSMSは、移動またはコピーする前のフォルダにかかわらず受信BOXフォルダ／送信BOXフォルダに表示されます。
- 「」、「」または「（赤色）」のアイコンが表示されている場合は、SMSの移動、コピーはできません。
- 電池パックを外すと、FOMAカードの送信SMSの日付・時刻が消去され、一覧の最後に表示されます。ただし、SMS送達通知が一緒に保存されている送信SMSの場合、日付・時刻は消去されません。

赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載したほかの機器との間で電話帳や受信メールなどのデータを転送します。

- FOMA端末の赤外線によるデータ転送機能はIrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器やアプリケーションの種類によっては、IrMC1.1に準拠していても転送できないデータがあります。
- データの転送方法には、1件ずつ転送する方法と全件をまとめて転送する方法があります。
- 転送できるデータは次のとおりです。
  - ・電話帳
  - ・マイプロフィール
  - ・スケジュール
  - ・To Doリスト
  - ・送信メール、受信メール、保存メール
  - ・テキストメモ
  - ・メロディ※
  - ・静止画※
  - ・動画（ｉモーション）※
  - ・ブックマーク
  - ・ユーザ辞書
  - ・定型文

※：全送信はできません。

データ転送するときのご注意

- ダイヤルロック設定中、セルフモード設定中、おまかせロック設定中、キー操作ロック中は、データ転送できません。
- 指定発信制限設定中は、電話帳データを受信できません。ただし、電話帳データの送信の際には、「指定発信制限」を設定した電話帳データ、マイプロフィールの個人データを送信できます。
- 相手側の機器の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- データ転送中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメール、パケット通信、64Kデータ通信などはできません。また、データ転送終了後、しばらく圏外の状態が続くことがあります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 通信状況を表すバー表示は送信した件数を目安としてお知らせします。転送するデータのサイズによっては、データが正しく転送されていてもバー表示の進み具合が遅くなることや、通信の相手側と異なって見えることがあります。

送受信されるデータについて

● FOMA端末で受信したデータは、次のように登録されます。

データ	保存場所／保存順	
静止画、画像、動画・ｉモーション、メロディ	INBOXフォルダの1番目に登録されます。	
電話帳、マイプロフィール	電話帳の「010」～「699」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。すべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。	
スケジュール	受信したスケジュールの開始日時に従って登録されます。	
To Doリスト	To Doリストの1番目に登録されます。	
受信メール、送信メール※1	（1件受信）	受信BOX／送信BOXフォルダに、メールの日付の順に登録されます。
	（全受信）	転送元のフォルダ構成に合わせて、ユーザ作成フォルダやごみ箱フォルダに格納されます。
保存メール	保存BOXに、メールの日付の順に登録されます。	
テキストメモ	<未登録>の1番目に登録されます。	
定型文	（1件受信）	<未登録>の1番目に登録されます。※2
	（全受信）	送信元と同じ順番、内容で登録されます。
ユーザ辞書	（1件受信）	ユーザ辞書の1番目に登録されます。
	（全受信）	送信元と同じ順番で登録されます。
ブックマーク	（1件受信）	Bookmarkフォルダの1番目に登録されます。
	（全受信）	Bookmarkフォルダの送信元と同じ順番で登録されます。※3

※1：赤外線通信の場合、2Mバイトを超えるメールは正しく送信できないことがあります。
※2：定型文を受信したときに、自作の定型文がフォルダ3～5すべてに登録済みで、フォルダ1～2の固定定型文がお買い上げ時の状態のままのときは、フォルダ1～2に受信した定型文が上書きされます。
※3：送信元の機種によっては、同じ順番で登録されない場合があります。

・静止画を全受信すると、電話帳に登録された静止画もすべて削除されます。
・電話帳を受信すると、受信した電話帳に登録されていた静止画は「マイピクチャ」のINBOXフォルダに登録されます。ただし「マイピクチャ」の保存可能容量を超えた場合は、超えた静止画を削除して電話帳が登録されます。
・静止画や動画、ｉモーションのタイトルは全角9文字、半角18文字、メロディのタイトルは全角25文字、半角50文字まで送受信できます。タイトルが最大文字数を超えた場合、超えた分の文字が削除されます。
・メールや電話帳などに入力されている絵文字や一部の記号は、正しく受信できない場合があります。
・FOMA　N703iμ以外の機種との間で送受信を行うと、スケジュールに登録されている一部のアイコンが削除される場合があります。

● 次のデータは、送受信できません。
・FOMAカードの電話帳、SMS
・フレーム、スタンプのデータ（受信のみ可能）やFlash画像
・FOMAカード動作制限が設定されたメロディ、静止画、動画やｉモーション
・シークレットフォルダのデータ

● 次のデータは、受信できません。
・JPEG、GIF形式以外の静止画
・MP4、3GP形式以外の動画
・FOMA　N703iμで扱うことのできないサイズや容量の静止画、動画、ｉモーション、メロディ

● 電話帳のデータを転送するときは、次のことに注意してください。
・電話帳のシークレットコードは転送できません。
・シークレットデータとして登録された電話帳を1件送信すると、シークレットが解除されて転送されます。
・電話帳を全送信すると、「マイプロフィール」のデータが一緒に送信されます。受信側では、「マイプロフィール」に登録されているデータ（電話番号を除く）が上書きされます。

● メールのデータを転送するときは、次のことに注意してください。
・ｉアプリの起動指定、メール連動型ｉアプリの貼付情報が貼り付けられているメールは、貼り付けられているデータを削除して送信します。メールに添付されているデータのファイル制限が「あり」の場合、そのデータも削除されて送信されます。また、静止画の形式によっては削除されて送信されるものがあります。ただし、送信メールと保存メールの場合で、ケーブル接続で受信したデータ、microSDメモリーカードからコピーしたデータは、ファイル制限を「あり」に設定していても送信されます。
・データの取得が完了してない添付ファイルが存在する場合は、その添付ファイルは削除されて送信されます。
・受信メールの1件受信で受信BOXフォルダの空き容量が不足しているときは、ゴミ箱のメール、古い受信メールから順に自動的に削除されます。ただし、未読のメールと保護されている受信メール、シークレットフォルダ内のｉモードメールやSMSは削除されません。必要なメールは保護することをおすすめします。
・送信メールの1件受信で送信BOXフォルダの空き容量がないときは、送信BOXフォルダの保護されていない最も古い送信メールに上書きされます。
・メールの全受信の場合は既存の全メールおよび全ユーザフォルダを削除してから受信します。
・メール連動型ｉアプリの受信メールフォルダ、送信メールフォルダは転送できません。フォルダ内のメールはすべて受信BOXフォルダまたは送信BOXフォルダに登録されます。
・受信メール一覧画面や送信メール一覧画面で設定した「色分け」の設定は転送できません。

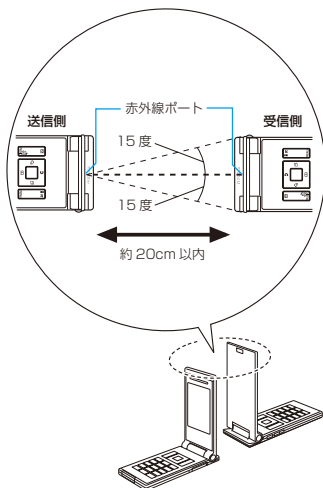
認証パスワードについて

● 「全送信／全受信」では、送信側と受信側の機器を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信、受信をはじめる前にお好きな4桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

〈赤外線通信〉

赤外線通信でデータを転送する

赤外線通信でデータ転送するときは

● 受信側の機器を先に受信状態にして、30秒以内に送信を開始してください。
● 赤外線ポートが平行に向き合うようにしてください。
● 通信終了を通知するメッセージが表示されるまで動かさないでください。また、機器の間にものを置いたり、赤外線ポートをふさいだりしないでください。
● 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。

赤外線通信でデータを1件ずつ転送する ＜赤外線送信／赤外線受信＞

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータを1件ずつ転送します。

● データを1件送信する

送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線送信」を選択します。

＜例：電話帳のデータを1件送信する場合＞

1 電話帳詳細画面（P.95）▶ α［機能］▶「赤外線送信」

2 相手側の機器を受信状態にする

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける ▶「YES」

データの送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶ ✉［中止］

● データを1件受信する

1 MENU 7 9

「赤外線受信画面」が表示されます。

赤外線受信画面

機能メニュー➡P.289

2 「受信」▶赤外線ポートを相手側の機器に向ける ▶ 相手側の機器からデータを受信

データの受信がはじまります。

3 「YES」

受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。
受信後、約30秒間操作しないときは受信したデータが破棄されます。

■ 受信したデータを登録しない場合
▶「NO」

おしらせ

● 相手の機器から全送信された場合、全受信の操作になり、操作を続けることにより全受信されます。

機能 赤外線受信画面

1 赤外線受信画面（P.289）▶ α［機能］▶ 以下の項目から選択

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

赤外線通信でデータをまとめて転送する ＜赤外線全送信／赤外線全受信＞

赤外線通信機能を使って、ほかの機器との間でデータをまとめて転送します。

● 全受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メール、電話帳やスケジュールのシークレットデータも含めてすべて削除されます。ただし、フレームやFlash画像、シークレットフォルダ内のシークレットデータは消去されません。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことをお確かめください。

● データをまとめて転送すると、受信側ではデータの並び順が変わる場合があります。

● データをまとめて送信する

全送信したいデータの一覧画面または詳細画面で機能メニューから「赤外線全送信」を選択します。

<例：電話帳のデータを全送信する場合>

1 電話帳一覧画面（P.95）▶α［機能］▶「赤外線全送信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.289

3 相手側の機器を受信状態にする

4 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

データの全送信がはじまります。
送信が完了すると、通信終了を通知するメッセージが表示されます。

■ 全送信を中止する場合
▶「NO」

■ 送信中に中止する場合
▶✉［中止］

● データをまとめて受信する

1 赤外線受信画面（P.289）▶「全受信」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

「認証パスワードについて」→P.289

3 赤外線ポートを相手側の機器に向ける▶「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

4 上書き確認画面が表示されたら「YES」

■ 全受信を中止する場合
▶「NO」

5 相手側の機器からデータを全受信

データの全受信がはじまります。
受信したデータの登録が完了すると、登録完了を通知するメッセージが表示されます。

■ 受信中に中止する場合
▶✉［中止］

〈OBEX〉

ケーブル接続によるデータ転送について

パソコンとFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すると、電話帳や画像などの各種データのデータ転送が行えます。

● FOMA USB接続ケーブルを使ってデータ転送（OBEX）を行うときには、ドコモケータイdatalink（P.342）、および付属のCD-ROM内の「N703iμ通信設定ファイル」をインストールする必要があります。
● ドコモケータイdatalinkのインストール方法などの詳細については、同ソフトのダウンロードページをご覧ください。なお、データの転送方法の詳細については、同ソフトのヘルプをご覧ください。
● 「N703iμ通信設定ファイル」のインストール方法、およびパソコンの動作環境については、「データ通信」、および付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

■ お願い

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データを転送できないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池レベルがほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データ転送ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末の電池が十分残っていることを確認してください。また、パソコンの電源についても確認してください。
- パソコンからFOMA端末への全送信の途中で送信エラーが起こると、FOMA端末内の書き込み対象のデータがすべて消去されることがあります。全送信の前にケーブルの接続、FOMA端末の電池レベル、パソコンの電源の状態を確認してください。

〈電話帳画像転送〉

電話帳の画像を転送しないように設定する

お買い上げ時 する

赤外線通信機能やmicroSDメモリーカードへのコピー、データ転送（OBEX）機能で電話帳のデータを送信するとき、電話帳に登録されている静止画を転送しないように設定します。

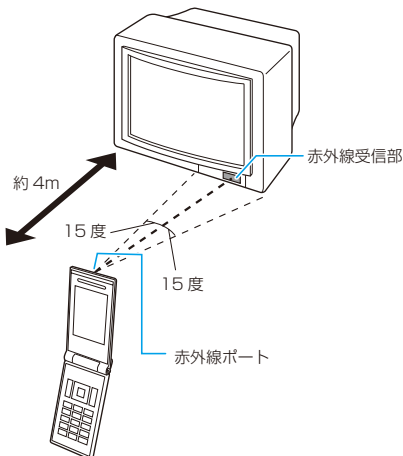
1 MENU▶「LIFEKIT」▶「電話帳画像転送」▶「しない」

■ 転送する場合
▶「する」

赤外線リモコン機能を利用する

● リモコン機能を利用する場合は、ご使用になる機器に対応したソフトをダウンロードしてください（リモコンのボタン操作はソフトにより異なります）。
● お買い上げ時には「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。→P.248
● 機器によってはリモコン操作ができない場合があります。
● セルフモード設定中は、赤外線リモコン機能を利用できません。

リモコン操作について

● FOMA端末の赤外線ポートを、テレビなどのリモコン受信部の正面に向けてリモコン操作をしてください。操作できる範囲は正面で約4mですが、周囲の明るさによって変わります。

●音楽再生

音楽の再生方法について

ｉモードサイトや音楽CDなどから取り込んだ音楽データは、ファイル形式により再生方法が以下のように異なります。

● お買い上げ時に登録されている着うたフル®やｉモードサイトから取得した着うたフル®、音楽CDから取り込んだ音楽データ（AAC形式のファイル）はミュージックプレイヤーで再生します。
「サイトから着うたフル®を取得する」→P.294
「microSDメモリーカードにSD-Audioデータを登録する」→P.301

● ｉモードサイトから取得した音楽データ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、ｉモーションで再生します。→P.263

● ミュージックプレイヤーを利用する

ミュージックプレイヤーではサイトから取得した着うたフル®やmicroSDメモリーカードに登録した楽曲を再生します。

● お好みの楽曲をプレイリストに登録して、お好みの順序で再生することもできます。→P.299
● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続すると、ステレオサウンドで音楽を楽しむことができます。
● イヤホンを接続しているときは、「通知音出力切替」の設定にかかわらず、イヤホンからのみ音が聞こえます。

■ BGM再生（バックグラウンド再生）について
ミュージックプレイヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます。
「音楽を再生しながら他の機能を利用する」→P.298

■ お願い
FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、保存された着うたフル®のデータが消失することがあります。当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

サイトから着うたフル®を取得する

着うたフル®を取得して再生する

1 サイト画面（P.177）▶着うたフル®を選択

データの取得が完了すると、「データ取得完了画面」が表示されます。

データ取得完了画面

■ 取得を中止する場合
▶✉［中止］またはCLR

2 「再生」

取得した着うたフル®を再生します。再生中の操作について→P.297

■ 着うたフル®の情報を表示する場合
▶「情報表示」

おしらせ

● 5Mバイトを超える着うたフル®やサイズが不明の着うたフル®は取得できません。
● データ取得完了画面（P.196）の機能メニューの「画面メモ保存」で「画面メモ」として保存し、画面メモから再生することもできます。
ただし、以下の着うたフル®のデータ取得完了画面は「画面メモ」に保存することができません。
・再生制限付きの着うたフル®
・データが不完全な着うたフル®
● 画面メモに保存した着うたフル®は、データBOXにあるミュージックのフォルダ内の一覧には含まれません。そのため、プレイリストへの登録や着信音設定などの機能は利用できません。

取得した着うたフル®を保存する

● 着うたフル®はFOMA端末本体に最大100件まで保存できます（実際に保存できる件数は、保存されている着うたフル®のデータ量により少なくなる場合があります）。

1 データ取得完了画面（P.294）▶「保存」▶「YES」

■ データの一部のみ保存できる場合
電波状況により取得が中断された場合や取得を中止した場合は、データ取得完了画面に「部分保存」というメニューが表示されることがあります。このようなときは、取得した部分のみを保存することができます。

■ 保存を中止する場合
▶「NO」

2 保存先のフォルダを選択

保存したことを通知するメッセージが表示されます。

■ 着信音に設定できる着うたフル®の場合
着うたフル®の保存後、着信音に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。
着信音設定について→P.108

● 部分的に取得した着うたフル®の残りのデータを取得する

部分的に取得した着うたフル®を保存先から選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、サイトに接続し、残りのデータを取得します。
すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

● データの取得状態は、「楽曲一覧画面」のアイコン表示で識別できます。→P.295
● 部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際に、部分的に保存されていたデータを削除できます。

〈ミュージックプレイヤー〉
曲を再生する

1 MENU▶「DATA BOX」▶「ミュージック」

「フォルダー一覧画面」が表示されます。

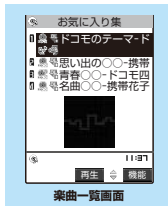
フォルダー一覧画面

機能メニュー ➡P.285

・ 前回終了時に再生していた楽曲の再生を開始することもあります。
・ 待受画面でchを1秒以上押しても楽曲を再生することができます。ただしマナーモード設定中は再生できません。
・ 他の機能を起動中でもミュージックプレイヤー再生画面に切り替えて、楽曲を再生することができます（マナーモード設定中や、一部機能では再生しない場合があります）。

2 フォルダを選択

「楽曲一覧画面」が表示されます。
「楽曲一覧の見かた」→P.295

楽曲一覧画面

機能メニュー ➡P.296

3 楽曲を選択

「ミュージックプレイヤー再生画面」が表示され、楽曲の再生がはじまります。
再生中の操作について
→P.297

ミュージックプレイヤー再生画面

機能メニュー ➡P.298

■ 部分的に取得した着うたフル®の場合

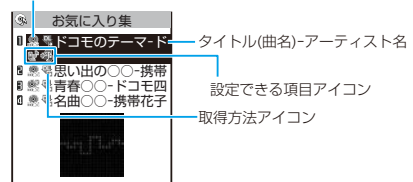
残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。「YES」を選択すると、残りのデータを取得します。→P.294

おしらせ

- イヤホンを接続しているときは、マナーモード設定中でもイヤホンからは音が聞こえます。マナーモード設定中にイヤホンを抜くと、曲の再生を一時停止します。
- ハンズフリー対応機器を接続しているときは、ハンズフリー対応機器からのみ音が聞こえます。
- 楽曲の再生中にFOMA端末を閉じても、再生を継続します。このとき、マイシグナルには再生中の楽曲のトラック番号やミュージックプレイヤーの状態が表示されます。→P.299
- 電話着信時、メール受信時、アラーム通知などの動作によって楽曲が一時停止する場合があります。
- 電池残量が少なくなってくると楽曲が一時停止します。
- ミュージックプレイヤーで再生できないファイルの場合、スキップして再生を続けます。

おしらせ

- 再生制限付きの楽曲もあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限がある楽曲は、タイトルの先頭に「◷」が表示されます。再生できる期間が制限されている楽曲は、期間前や期間後には再生できません。

● 楽曲一覧の見かた

■ファイル種別アイコン

アイコン	説明
(アイコン)	FOMA端末本体に保存されている楽曲
(アイコン)	microSDメモリーカードに保存されておりFOMA端末(本体)に移動可能な楽曲
(アイコン)	microSDメモリーカードに保存されておりFOMA端末（本体）への移動が禁止されている楽曲 FOMA端末本体のプレイリスト楽曲一覧画面で、プレイリストに登録されている楽曲の保存されているmicroSDメモリーカードが本体に挿入されていない場合にも表示されます。
SD Audio	SD-Audio形式の楽曲
(アイコン)	部分的に取得した楽曲
(アイコン)	FOMAカード動作制限に該当している楽曲

(アイコン)：ファイル制限が設定されている楽曲
(アイコン)：再生制限付きの楽曲（再生回数・期間・期限を過ぎると「◷」が「◷」になります）
(アイコン)：楽曲保存時と同FOMAカードを使用しているときのみ再生可
(アイコン)：楽曲保存時と同機種、同FOMAカードを使用しているときのみ再生可

■取得方法アイコン

アイコン	説明
アイコンなし	お買い上げ時に登録されている楽曲
(アイコン)	サイトなどから取得した楽曲
(アイコン)	microSDメモリーカードやパソコンなどから取得した楽曲

■設定できる項目アイコン

アイコン	説明
(アイコン)	着信音に設定できる楽曲
(アイコン)	microSDメモリーカードに移動可能な楽曲
WEB	Web To機能を利用できる楽曲

機能 楽曲一覧画面

● 選択したフォルダによって利用できる機能が異なるため、機能メニューに表示される項目が異なります。

1 楽曲一覧画面（P.295）▶α［機能］▶以下の項目から選択

楽曲情報編集……タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、トラック番号、年、コメントを編集します。
▶項目を選択▶情報を編集

プレイリスト作成……「プレイリストを作成する」→P.299

プレイリストへ追加……▶プレイリストを選択
楽曲がプレイリストの最後に追加されます。

着信音設定……楽曲を着信音に設定します。→P.108

まるごと設定……楽曲すべてを着信音に設定します。
▶設定先を選択

オススメ設定……楽曲の一部分だけを着信音に設定します。
▶で着信音に設定する部分を指定▶［確定］
▶設定先を選択

フォルダ移動

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶で□（チェックボックス）を選択▶［完了］▶「YES」

全移動……▶移動先のフォルダを選択▶「YES」

本体へ移動※1……「microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する」→P.301

microSDへ移動※2……「FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する」→P.301

ミュージック情報……楽曲の情報を表示します。→P.296

保存容量確認……FOMA端末とmicroSDメモリーカードに保存されている楽曲の保存データ容量と空きデータ容量を表示します。

楽曲情報初期化……「ミュージック情報」を取得したときの状態に戻します。

検索※2……指定した条件に従って楽曲を検索します。

ソート※2……指定した条件に従って楽曲を並び替えます。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能を利用できます。

一覧表示切替……楽曲一覧画面の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

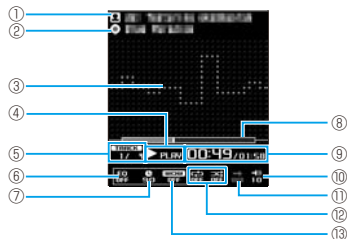
削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

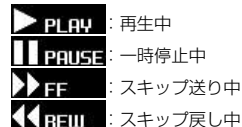
※1：移行可能コンテンツフォルダのときのみ利用できます。
※2：SD-Audioフォルダや移行可能コンテンツフォルダの楽曲一覧画面では利用できません。

● ミュージック情報について

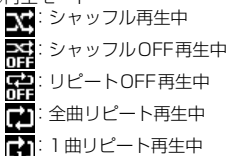
項目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
ファイル種別	楽曲のファイル種別を表示→P.295
ファイル制限	ファイル制限を「あり」と表示
再生制限	再生制限（回数、期間、期限）がある場合、制限内容を表示
まるごと着信音設定※	まるごと着信音設定の「可／不可」を表示
オススメ着信音設定※	オススメ着信音設定の「可／不可」を表示
保存可能ジャケット画像・保存可能画像・保存可能歌詞	マイピクチャに保存できるジャケット画像／画像／歌詞情報の「あり／なし」を表示
タイトル・アーティスト・アルバム・年・ジャンル・コメント・トラック番号・作曲者・作詞者・権利者・販売元・権利情報・レーベル	楽曲の情報や権利情報を表示
サイト接続	Web To機能用のURL、または接続先のページタイトルを表示
オーディオ	音声の情報「AAC ／ Enhanced aacPlus／HE-AAC／SD-Audio／再生不可」を表示
ビットレート	ビットレートをKbpsで表示
再生時間	再生時間を「分：秒」で表示
ファイルサイズ	ファイルサイズをキロバイト（Kバイト）で表示
取得元	楽曲の取得元（ｉモード／データ交換）を表示
保存日時	楽曲の保存日時（年／月／日　時：分）を表示
microSDへの移動・本体への移動	microSDメモリーカード／本体への移動の「可／可（同一機種間）／不可」を表示

※：移行可能コンテンツフォルダに保存されている着うたフル®は、「不可」固定表示となりますが、着信音に設定できるものもあります。

ミュージックプレイヤー再生画面の見かた

①アーティスト名
②タイトル（曲名）
③ジャケット画像
④再生状態

：再生中
：一時停止中
：スキップ送り中
：スキップ戻し中

⑤再生中のトラック番号／全トラック番号
⑥音質
「イコライザ設定」で設定した音質を表示します。
EQ OFF：イコライザOFF
Bass：低音強調　Treble：高音強調
Treble Reducer：音漏れ低減
Pop／Jazz／Rock／Techno／Classical：各ジャンル向け
Speech：音声再生向け
⑦オフタイマー
設定した時間を表示します。
⑧再生位置表示
<再生中、一時停止中>

現在の再生位置をグレーのマーカーで表示します。
一時停止中に[左右]でマーカーを移動して[●]［再生］を押すと、その位置から再生できます。
<「指定位置再生」選択時>

機能メニューから「指定位置再生」を選択したときは、[左右]で再生する部分（黄色で表示）を指定します。
⑨再生経過時間（分：秒）／曲の長さ（分：秒）
⑩音量
ボリュームのLEVELを1～20で表示します。消音のときは MUTE と表示します。
⑪Web To対応
楽曲データに含まれているURLに接続できます。
⑫再生モード
：シャッフル再生中
OFF：シャッフルOFF再生中
OFF：リピートOFF再生中
：全曲リピート再生中
：1曲リピート再生中
⑬音響効果
「SRS_WOW設定」の設定内容を表示します。

ミュージックプレイヤー再生画面の操作について

操作ボタン	動作
[●]	一時停止／再生を再開
[上下] または[上]［↩］／[下]［MEMO／CHECK］	音量調節
[左] または[上]［↩］ （1秒以上）	楽曲の先頭から再生 楽曲の先頭から1秒以内に押した場合は、フォルダまたはプレイリスト内の前の曲を再生※1 シャッフル再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、前の楽曲を再生します。
[右] または [下]［MEMO／CHECK］ （1秒以上）	フォルダまたはプレイリスト内の次の楽曲を再生※2 シャッフル再生時は、フォルダまたはプレイリスト内の順序に関係なく、次の楽曲を再生します。
[左]（1秒以上）	スキップ戻し
[右]（1秒以上）	スキップ送り
一時停止中に[左右]	再生位置表示のマーカーを移動 移動後に[●]［再生］を押すと、その位置から再生できます。
[#]または[*]	ジャケット画像が複数登録されている場合、画像の切り替え
[CLR]	再生を終了

※1：[上]［↩］を押し続けると、連続して前の楽曲に戻ります。
※2：[下]［MEMO／CHECK］を押し続けると、連続して次の楽曲へ送ります。

おしらせ

- ミュージックプレイヤー再生画面で設定した音量は、「着信音量」で設定されている着信音量などには反映されません。

● 平型ステレオイヤホンセット（別売）などを接続した場合

スイッチを使って以下の操作を行うことができます。

動作	スイッチ操作
再生／一時停止	1回押すごとに再生と一時停止が切り替わります。
次の楽曲を再生	再生中に連続2回押します。
前の楽曲を再生	再生中に連続3回押します。再生時間が3秒以上の場合は頭出しになります。 ※「シャッフル」「シャッフルリピート再生」時は前の曲を再生できません。

機能 ミュージックプレイヤー再生画面

● 再生中でも設定を変更できます。

1 ミュージックプレイヤー再生画面(P.295)▶α［機能］▶以下の項目から選択

楽曲変更……▶フォルダを選択▶楽曲を選択
選択できる楽曲は、FOMA端末本体に保存されている楽曲のみです。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。1ページ以内に表示できない場合は、で画面を切り替えることができます。

ジャケット画像表示……再生中の楽曲のジャケット画像を切り替えます。
▶で画像を切り替え▶［選択］

イコライザ設定……楽曲を再生するときの音質を設定します。

- **OFF**（お買い上げ時）……イコライザ設定を無効にします。
- **低音強調・高音強調**……低音／高音を強調します。
- **音漏れ低減**……イヤホンからの音漏れを低減します。
- **ポップ・ジャズ・ロック・テクノ・クラシック・スピーチ**……それぞれのジャンルにあった音質にします。

オフタイマー設定（お買い上げ時：90分）……楽曲の再生を開始してから一定時間経過すると再生を停止します。

SRS_WOW設定（お買い上げ時：OFF）……低音補正やサラウンドなど、楽曲を再生するときの音響効果を設定します。

リピート設定

- **OFF**（お買い上げ時）……リピート再生しません。
- **リピート**……フォルダ内の楽曲を全曲リピート再生します。
- **1曲リピート**……再生中（一時停止中）の楽曲をリピート再生します。

シャッフル設定（お買い上げ時：OFF）……シャッフル再生のON／OFFを設定します。

指定位置再生……楽曲の一部分だけを、選択した位置から再生します。
▶で再生する部分を指定▶［再生］
楽曲によっては、できないことがあります。

着信音設定……楽曲を着信音に設定します。→P.108

- **まるごと設定**……楽曲すべてを着信音に設定します。
▶設定先を選択
- **オススメ設定**……楽曲の一部分だけを着信音に設定します。
▶で着信音に設定する部分を指定▶［確定］
▶設定先を選択

ミュージック情報……楽曲の情報を表示します。
→P.296

プレイヤー画面変更（お買い上げ時：D.O.T.S）……再生画面の背景画像とジャケット画像を変更します。「D.O.T.S／DECODING／METER」から選択します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能を利用できます。

BGM再生……「音楽を再生しながら他の機能を利用する」→P.298

おしらせ

<歌詞表示><ジャケット画像表示>
● 歌詞やジャケット画像表示中の機能メニューから「画像保存」を選択すると、歌詞やジャケット画像を保存できます。また、「イメージ情報」を選択すると、歌詞やジャケット画像の情報を表示できます。

<SRS_WOW設定>
● ミュージックプレイヤー画面で設定した「SRS_WOW設定」は、ｉモーション再生の「SRS_WOW設定」には反映されません。

<プレイヤー画面変更>
●「プレイヤー画面変更」で変更したジャケット画像は、再生する楽曲にジャケット画像がない場合に表示されます。

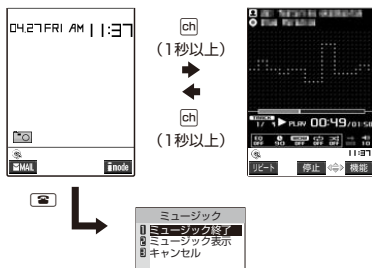
音楽を再生しながら他の機能を利用する <BGM再生（バックグラウンド再生）>

1 ミュージックプレイヤー再生画面(P.295)▶α［機能］▶「BGM再生」

待受画面が表示され、他の機能を利用できるようになります。

● BGM再生中の操作

操作ボタン	動作
ch（1秒以上）	待受画面とミュージックプレイヤー再生画面の切り替え※
☎	ミュージックメニューの表示

※：ｉモードなどを起動していた場合はそれぞれの画面に戻ります（一部切り替えできない機能があります）。

■ミュージックメニューの機能

ミュージック終了……ミュージックプレイヤーを終了します。

ミュージック表示……ミュージックプレイヤーの再生画面を表示します。

キャンセル……メニューを消し、待受画面に戻ります。

● BGM再生中に利用できる機能

機能	可否
電話／テレビ電話	×
メール	○※
ｉモード	○
ｉアプリ	×
データBOX	△
LifeKit	△
電話帳	○
ユーザデータ	○
各種設定	△
サービス	△

○：利用可　△：一部利用可　×：利用不可

※：メール設定の受信表示設定を通知優先に設定しているとメール受信時に楽曲を一時停止します（操作優先に設定していても待受画面表示中にメールを受信すると一時停止します）。
ｉモードメール作成時は「カメラ起動」や「縮小添付」、「縮小挿入」など一部ご利用になれない機能もあります。

音楽再生／一時停止キーで操作する

音楽再生／一時停止キー（）を使うと、FOMA端末を閉じたままでもミュージックプレイヤーを操作することができます。

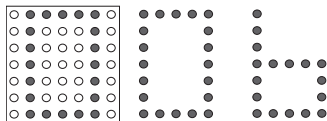
ボタン操作	動作
	■再生中 一時停止 ■一時停止中 再生を再開 ■楽曲一覧画面表示中 再生を開始
（1秒以上）	■ミュージックプレイヤー未起動時 ミュージックプレイヤーを起動し、再生を開始 ■再生中 ミュージックプレイヤーを終了 ■楽曲／プレイリスト一覧画面表示中 前回再生を終了した楽曲から再生を開始※

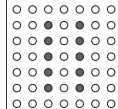
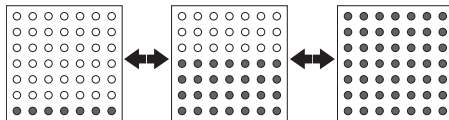
※：前回再生時にシャッフル再生していたときは、シャッフル再生となります。

おしらせ

- マナーモード設定中や電池残量が少ないときは を1秒以上押しても、ミュージックプレイヤーの起動はできません。ただし、マナーモード設定中の場合、イヤホンなどを接続しているときは起動できます。

● 再生中のマイシグナルの見かた

■演奏開始時

演奏開始時や前の楽曲、次の楽曲を再生したときにトラック番号をスクロール表示します。

■一時停止時

■音量調整時

音量レベル 1～3　　音量レベル 10～12　　音量レベル 19～20

おしらせ

- FOMA端末を閉じたときもミュージックプレイヤーの状態を表示します。ただし、常に表示することはできません。

プレイリストを利用する

プレイリストに楽曲を登録し、お好みの楽曲をお好みの順番で再生します。

- FOMA端末本体に登録可能な曲数とプレイリスト数は以下のとおりです。

登録可能曲数	最大100曲
プレイリスト数※	最大21件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

- FOMA端末本体に保存されている楽曲（着うたフル®）とmicroSDメモリーカードの楽曲（着うたフル®）、SD-Audioデータを同じプレイリストに登録できます。

プレイリストを作成する

1 楽曲一覧画面（P.295）▶α［機能］▶「プレイリスト作成」▶以下の項目から選択

1件設定……1件の楽曲をプレイリストに登録します。

選択設定……複数の楽曲をプレイリストに登録します。
▶ で□（チェックボックス）を選択▶ ［完了］

全設定……フォルダ内のすべての楽曲をプレイリストに登録します。

2 プレイリスト名を入力

プレイリストが作成され、プレイリスト楽曲一覧画面が表示されます。

■ 再生する場合
▶◉［再生］

プレイリストを再生する

1 フォルダー覧画面（P.295）▶「プレイリスト」

「プレイリスト一覧画面」が表示されます。

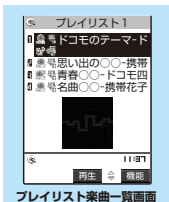
プレイリスト一覧画面

機能メニュー ➡P.300

■ プレイリストをすぐに再生する場合
▶再生するプレイリストを反転▶✉［再生］

2 プレイリストを選択

「プレイリスト楽曲一覧画面」が表示されます。

プレイリスト楽曲一覧画面

機能メニュー ➡P.300

■「全曲リスト（本体）」を選択した場合
FOMA端末（本体）に保存されているすべての楽曲（再生可能な楽曲）が含まれたプレイリストが表示されます。

3 ◉［再生］

プレイリストの再生がはじまり、登録した順番で楽曲が再生されます。

おしらせ

- 全曲リスト（本体）には、プリインストールフォルダの楽曲は含まれません。
- プレイリストに登録されている楽曲をすべて削除した場合は、プレイリストも削除されます。

機能 プレイリスト一覧画面

1 プレイリスト一覧画面（P.300）▶α［機能］▶以下の項目から選択

プレイリスト名編集……プレイリスト名を編集します。
全角128文字、半角256文字まで入力できます。

プレイリスト複製……プレイリストのコピーをプレイリスト一覧に作成します。

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

プレイリスト情報……プレイリスト名、プレイリスト内の曲数、プレイリストの再生時間が表示されます。

プレイリスト削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

機能 プレイリスト楽曲一覧画面

1 プレイリスト楽曲一覧画面（P.300）▶α［機能］▶以下の項目から選択

プレイリスト作成……「プレイリストを作成する」→P.299

プレイリスト編集

- **並び替え**……▶✣で位置を移動▶◉［確定］
- **楽曲追加**……複数の楽曲をプレイリストの最後に追加します。
  ▶フォルダを選択▶✣で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］▶「YES」
- **解除**……「1件解除／選択解除／全解除」から選択します。「複数選択について」→P.40

ミュージック情報……楽曲の情報を表示します。→P.296

検索……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を検索します。

ソート……指定した条件に従ってプレイリスト内の楽曲を並び替えます。

歌詞表示……楽曲の歌詞を表示します。

ジャケット画像表示……楽曲のジャケット画像を表示します。

サイト接続……楽曲にURLが含まれている場合、Web To機能を利用できます。

一覧表示切替……一覧の表示方法を「タイトル」または「タイトル＋画像」から選択します。

おしらせ

<プレイリスト編集>
- プレイリストから楽曲を解除しても、もとのデータは削除されません。

〈コンテンツ移行対応〉

FOMA端末とmicroSDメモリーカード間で着うたフル®を移動する

● FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動する

● 移動した着うたフル®は、ミュージックの「移行可能コンテンツ」フォルダ（P.254）内に保存されます。

1 楽曲一覧画面（P.295）▶ α［機能］▶「microSDへ移動」▶以下の項目から選択

1件移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」

選択移動……▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶ ⊕で□（チェックボックス）を選択▶ ✉［完了］▶「YES」

全移動……▶端末暗証番号を入力▶移動先のフォルダを選択▶「このフォルダを選択」▶「YES」

● microSDメモリーカードからFOMA端末に移動する

● 移動した着うたフル®は、ミュージックのINBOXに保存されます。

1 フォルダ一覧画面（P.295）▶「移行可能コンテンツ」▶フォルダを選択▶「ファイルを表示」

「楽曲一覧画面」（P.295）が表示されます。

2 α［機能］▶「本体へ移動」▶以下の項目から選択

1件移動・選択移動・全移動……いずれかの移動方法を選択します。「複数選択について」→P.40

おしらせ

- 移動処理中はmicroSDメモリーカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDメモリーカードの故障の原因となります。
- 部分的に取得した着うたフル®や再生制限が切れた着うたフル®は、microSDメモリーカードに移動できません。
- 再生制限が切れた着うたフル®は、FOMA端末に移動できません。
- 着うたフル®の移動可否は「ミュージック情報」や「設定できる項目アイコン」（P.295）で確認できます。同じ機種間のみ移動可能な着うたフル®もあります。

microSDメモリーカードにSD-Audioデータを登録する

音楽CDの音楽データや音楽配信サービスなどで入手したパソコンの音楽データをSD-Audioデータに変換してmicroSDメモリーカードに登録します。

● FOMA端末で再生できるデータ形式、プレイリスト数、曲数は以下のとおりです。

ファイル形式	MPEG2-AAC（LC）／ADTS Stream
ビットレート	16～128kbps
登録可能曲数	最大999曲
プレイリスト数※	最大100件（全曲リスト含む）

※：1件のプレイリストには99曲まで登録できます（全曲リスト除く）。

● microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
※ microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内で使用することができます。ご利用にあたっては、著作権など第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。

1 以下のものを準備する

・「SD-Jukebox」（P.302）の動作環境を満たしたパソコン
・著作権保護機能対応のmicroSDメモリーカードのリーダー／ライター※
・microSDメモリーカード
※：パソコンからmicroSDメモリーカードにデータを書き込むのに必要です。FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って、FOMA端末をmicroSDリーダー／ライターとして使うこともできます。→P.283

2 SD-Audio対応音楽ソフト「SD-Jukebox」をパソコンにインストールする

インストール方法について→P.302

3 パソコンから「SD-Jukebox」を起動し、音楽CDなどの音楽データをAAC形式に変換する

「SD-Jukebox」の使用方法については、「SD-Jukebox」のヘルプをご覧ください。
変換済みの音楽データを書き込む場合は操作4へ進んでください。

4 「SD-Jukebox」を使ってSD-AudioデータをmicroSDメモリーカードに登録する

おしらせ

- 「SD-Jukebox」で登録したSD-Audioデータは、FOMA端末で再生したり、FOMA端末のプレイリストに登録できますが、「SD-Audio」フォルダのプレイリストをFOMA端末で編集することはできません。

SD-Audio対応音楽ソフト（SD-Jukebox）について

SD-Jukeboxは、音楽CDの音楽データをパソコンに取り込んだり、取り込んだ音楽データをSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードなどに録音してSD-Audio対応のプレイヤーで再生することができるソフトウェアです。

- SD-Jukebox を使ってmicroSDメモリーカードに音楽データを録音すれば、FOMA N703iμで再生することができます。
- SD-Jukebox の動作環境、インストール、アンインストール方法などの詳細については付属の「FOMA N703iμ用 CD-ROM」内の「SD-Jukebox」-「SD-JukeboxV6」-「External」-「JP」フォルダにある「sd-jukeboxV6.pdf」に記載しています。
- 「sd-jukeboxV6.pdf」およびSD-Jukeboxのヘルプ（取扱説明書）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0 以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Reader ヘルプを参照してください。

● SD-Jukeboxをインストールする

- 必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントでインストールを行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 Windowsを起動して、「FOMA N703iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

CD-ROMが自動再生され、メニュー画面が自動的に表示されます。
メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降です。
お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
①「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
② CD-ROM アイコンを右クリックし、「開く」を選択する
③「index.html」をダブルクリックする

2 「エンターテイメントツール」をクリックする

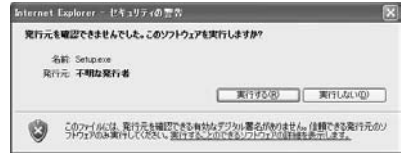
3 「SD-Jukeboxのインストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、以下のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

■「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合

「実行」をクリックしてください。

■「Internet Explorerーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合

「実行する」をクリックしてください。

あとは画面の指示に従ってインストールしてください。

おしらせ

- SD-Jukeboxをインストールする際は、CD-ROMのジャケットに記載されているシリアル番号を入力する必要があります。シリアル番号を入力しないとインストールできませんので、シリアル番号は大切に保存してください。

本ソフトウェアに関するお問い合わせ先
Panasonic ソフトウェアサポート窓口
365日／受付9時～20時
一般電話からは 0120-853-334
携帯電話からは 0570-087-555（有料）
※PHSからはご利用になれません。
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
- ホームページもご覧ください。

http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

●その他の便利な機能

〈マルチアクセス〉

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、iモード中に音声電話をかけたりできます。
「マルチアクセスの組み合わせについて」→P.376

同時に使用可能な通信回線

FOMA端末はマルチアクセス機能によって、以下の3回線を同時に使用できます。

通信の種類	使用する回線
音声電話	1回線
iモード、iアプリ、iモードメール	いずれか1回線
パソコンをつないだパケット通信	
SMS	1回線

おしらせ

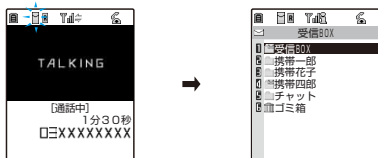
- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通信料金がかかります。
- テレビ電話中や64Kデータ通信中はマルチアクセスを使用できません。ただし、SMSの受信のみ同時に使用できます。
- 他の機能を起動しながら通話（着信中含む）をしていた場合、電話を切らずにメール閲覧や他の機能を利用することはできません（元の画面に戻ることもできません）。

通信中に着信があったとき

● 音声通話中のiモードメール受信

音声通話中にiモードメールを受信すると、音声通話中画面のままiモードメールを受信します。受信したiモードメールは音声電話を切らずに見ることができます。

1 MENU ▶「MAIL」▶「受信BOX」

➡

2 **iモードメールを確認**

iモードメールの見かた→P.221

3 **メール画面を終了**

音声通話中画面に切り替わります。

おしらせ

- 音声通話中にiモードメールやメッセージR／Fを受信した場合、着信音は鳴らずに「メール」、「メッセージR」、「メッセージF」アイコンのうち、対応したアイコンが点滅・点灯して受信をお知らせします。

● iモード中／パケット通信中の音声電話着信

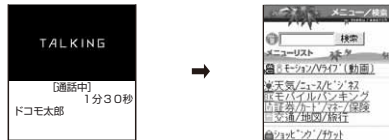
iモードの接続中やメールの送受信中、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信中に音声電話がかかってくると、音声電話着信画面に切り替わり、iモードやパケット通信を終了しないで音声電話に出ることができます。

1 📞

音声通話中画面に切り替わり、通話ができます。
電話を受ける→P.69

2 **通話が終了したら** 📞

通話が終了し、iモード画面に戻ります。

➡

通信中にほかの通信を使うとき

現在の通信を中断しないで、別の回線を使って同時に通信を行うことができます。

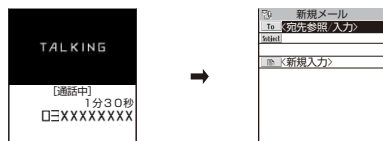
● 音声通話中のiモード接続

音声通話中にMENUを押して、メインメニューのiモードメニューからiモードに接続できます。
→P.176

● 音声通話中のiモードメール送信

音声通話中にMENUを押して、メインメニューのメールメニューからiモードメールを作成して送信できます。

1 MENU ▶「MAIL」▶ ✉ ［✉NEW］

➡

2 **iモードメールを作成▶送信**

iモードメールの作成／送信のしかた→P.205

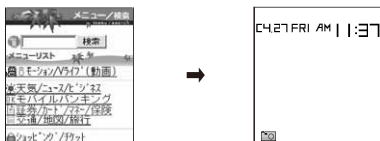
3 📞

メールメニューを終了し、音声通話中画面に戻ります。

● ｉモード中の音声電話発信

ｉモードの接続やｉアプリの実行を一時停止することで、音声電話をかけられます。

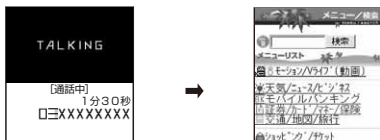
1 ｉモード中▶[☎]▶「中断する」

待受画面が表示されます。

2 音声電話をかける

音声電話のかけかた→P.52

3 通話が終了したら[☎]

通話が終了し、ｉモード画面に戻ります。

➡

おしらせ

- ｉモード中にテレビ電話をかけた場合は、「ｉモード通信終了」というメッセージが表示され、その後テレビ電話の発信を行います。テレビ電話を終了すると、ｉモード画面に戻ります。

〈アラーム〉

アラーム機能を利用する

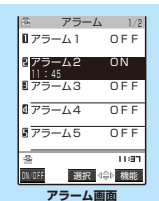
お買い上げ時 OFF

● アラームは10件まで登録できます。

1 [MENU][4][4]

「アラーム画面」が表示されます。

以前にアラームを設定したことがある場合は、前回の設定内容が表示されます。

アラーム画面

機能メニュー➡P.305

■ 前回の設定内容のままON／OFFを切り替える場合

▶設定項目を反転▶[✉]［ON/OFF］

[✉]を押すたびにON／OFFが切り替わります。

2 設定する項目を反転▶[α]［機能］▶「編集」

3 以下の項目から選択

タイトル……アラームのタイトルを入力します。全角6文字、半角12文字まで入力できます。

時刻入力……アラームを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し……アラームの繰り返しを設定します。

設定なし……1回だけアラームを鳴らします。

毎日（D）……毎日アラームを鳴らします。

曜日指定（W）……設定した曜日にアラームを鳴らします。

▶[○]で□（チェックボックス）を選択▶[✉]［完了］

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。

アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

アラーム音量……アラーム音量を設定します。

▶[○]で音量を調節

「着信音の音量を調節する」→P.73

スヌーズ通知……スヌーズ（繰り返し）で通知するかしないかを設定します。

スヌーズ通知する……**▶鳴動回数（01～10回の2桁）を入力▶鳴動間隔（01～10分の2桁）を入力**

アラーム音が約1分間、設定した鳴動間隔、設定した鳴動回数繰り返し鳴ります。

スヌーズ通知しない……**▶鳴動時間（01～10分の2桁）を入力**

自動電源ON……アラーム時刻に自動で電源を入れるか入れないかを設定します。

4 それぞれの項目を設定▶[✉]［完了］

おしらせ

- 自動的に電源を入れてアラームを通知する場合、サイトからダウンロードしたメロディやｉモーション、着うたフル®がアラーム音に設定されていると、FOMAカード動作制限機能により「アラーム音」で鳴ります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源を切ってください。

機能 アラーム画面

1 アラーム画面（P.305）▶[α]［機能］▶以下の項目から選択

編集……アラームを編集します。

完了（1件ON）……アラームを有効にします。

1件OFF……アラームを1件無効にします。

全件OFF……設定されているアラームをすべて無効にします。

〈スケジュール〉
スケジュールを管理する

スケジュールを登録しておくと、設定した日時にアラーム音が鳴り、アラームメッセージとアニメーションで登録した内容をお知らせします。また、休日や記念日も登録できます。登録したスケジュールや休日はカレンダーで一目で確認できます。また、カレンダーは1ヶ月表示と1週間表示に切り替えることができ、当日のスケジュールの件数や用件が表示されます。

● 2004年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

スケジュールを登録する

定例会議などの定期的なスケジュールを毎週決まった曜日に登録したり、スケジュールの内容に合わせたアラーム音やアニメーションを設定するなど、いろいろな方法で登録できます。

● 100件まで登録できます。また、1日に複数のスケジュールを登録することもできます。
● スケジュールのアラーム通知について→P.310

1

「スケジュール画面」が表示されます。

スケジュール画面

機能メニュー ➡P.307

2 ✉［新規］▶「スケジュール」

3 以下の項目から選択

内容……スケジュールの内容を入力し、アイコンを選択します。全角256文字、半角512文字まで入力できます。
入力した内容は通知時に表示されます。

開始日時設定……スケジュールの年月日と開始時刻を設定します。

終了日時設定……スケジュールの年月日と終了時刻を設定します。

繰り返し……スケジュールの繰り返しを設定します。

- **設定なし**……設定した日時のみの設定になります。
- **毎日**（D）……毎日の繰り返し設定になります。
- **曜日指定**（W）……選択した曜日の繰り返し設定になります。
  ▶ で□（チェックボックス）を選択▶✉［完了］

アラーム通知……開始日時になったときのアラームの通知について設定します。

- **通知する**……開始日時にアラーム通知します。
- **事前通知する**……開始日時の何分前にアラーム通知するか設定します。
  ▶事前通知時間（01～99分の2桁）を入力
- **通知しない**……開始日時になってもアラーム通知しません。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

要約……スケジュールの要約を入力します。全角20文字、半角40文字まで入力できます。
入力した要約は通知時に画面に表示されます。

4 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した日時（開始日時の01～99分前）のみです。スケジュールを設定した日時にはアラーム通知は行われません。
- 同じ日付の同じ時刻に2つのスケジュールを登録しようとした場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。
- アラーム通知をするタイミングを同じ日時で行うように登録できるのは、「繰り返し」（毎日／曜日指定）と「繰り返しなし」（設定なし）の組み合わせのみです。このような場合は「繰り返しなし」のスケジュールが優先されます。
- 開始日時で設定した日付の曜日と曜日指定繰り返しで指定した曜日が違う場合は、曜日指定繰り返しの曜日が優先され、スケジュールは開始日時以降の最初の曜日に登録されます。

■お願い

- 登録したスケジュールの内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。スケジュールの内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したスケジュールの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

機能 スケジュール画面

1 スケジュール画面（P.306）▶α［機能］▶以下の項目から選択

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.306
「休日・記念日を登録する」→P.307

1週間表示⇔1ヶ月表示……「スケジュールの表示を切り替える」→P.307

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（D または W）は1件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定……「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.308

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.309）に切り替えます。

登録件数確認……スケジュール登録件数、休日登録件数、記念日登録件数を確認します。なお、シークレットモード／シークレット専用モードでは、シークレットで登録された件数も確認することができます。

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

祝日リセット……国民の祝日をお買い上げ時の状態に戻します（自分で登録した休日は削除されません）。

削除……「選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.40
・「前日まで削除」を選択すると、スケジュール画面でカーソルのある日付より前の項目がすべて削除されます。
・「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

おしらせ
- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はリセットされてお買い上げ時の登録内容に戻ります。
- 「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げ時に登録されている祝日は削除されません。

● スケジュールの表示を切り替える

スケジュールには「1ヶ月表示」と「1週間表示」の2種類があります。✥を押して確認したい日付を反転させると、選択した日付に登録されているスケジュールの件数やアイコンを確認できます。

当日の午前と午後に登録されているスケジュールとTo Doリストの件数とアイコンを表示

日付、曜日、アイコン、登録内容を表示

青色の日付：土曜日
赤色の日付：日曜日・祝日・休日
ピンクの日付：記念日
＿：当日
□：午前のスケジュールが登録済み
■：午後のスケジュールが登録済み
T：To Doリストが登録済み

祝日は「国民の祝日に関する法律」（昭和23年法律第178号）及びその改正法（平成17年法律第43号までのもの）に基づいて作成しています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため、異なる場合があります（2007年1月現在）。

休日・記念日を登録する

- 休日・記念日はそれぞれ100件まで登録できます。ただし、お買い上げ時に登録されている国民の祝日は休日の登録件数に含まれません。
- 休日・記念日は1日に1件のみ登録できます。

<例：休日を登録する場合>

1 スケジュール画面（P.306）▶✉［新規］▶「休日」

■記念日を登録する場合
▶「記念日」

2 以下の項目から選択

年月日設定……休日･記念日を登録する年月日を入力します。

繰り返し……休日・記念日の繰り返しを設定します。

設定なし……登録した休日・記念日をその年のみ設定します。

毎年（Y）……登録した休日・記念日を毎年の休日・記念日として設定します。

内容……休日・記念日の内容を入力します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

3 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

おしらせ

- 設定した年月日にすでに休日・記念日が登録されている場合は、上書きするかどうかのメッセージが表示されます。

お好みの画像をユーザアイコンとして設定する

マイピクチャに登録されている画像やアニメーションをユーザアイコンとして設定します。設定したユーザアイコンは、アイコン選択の画面で「」〜「」と表示されます。ユーザアイコンを設定すると、アラーム通知時に設定した画像やアニメーションが表示されます。

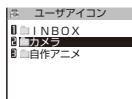
- ユーザアイコンは最大5件まで設定できます。

1 スケジュール画面（P.306）▶α［機能］▶「ユーザアイコン設定」▶「<未登録>」

■ すでに設定されているユーザアイコンを変更する場合
▶すでに設定されている項目を選択

■ ユーザアイコンの設定をすべて解除する場合
▶「全解除」▶「YES」
すでにユーザアイコンが設定されている場合のみ解除できます。

2 フォルダを選択

お客様が作成したフォルダがある場合は、そこから画像を選択することもできます。
画像の選択→P.255

■ スケジュールに登録されているアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」▶「YES」

■ スケジュールに登録されていないアイコンを解除する場合
▶「ユーザアイコン解除」

3 画像を選択

選択した画像がプレビュー表示され、しばらくするとユーザアイコン一覧に戻ります。

■ プレビュー表示する場合
▶表示したい画像に囲み枠を移動▶✉［デモ］

おしらせ

- スケジュールで使用されているユーザアイコンを変更または解除しようとしたときは、解除するかどうかのメッセージが表示されます。ユーザアイコンを変更または解除したり、マイピクチャから削除したりすると、スケジュールのアラーム通知画面は「」を設定したときの画面に変わります。

スケジュール・休日・記念日を確認する

登録したスケジュール・休日・記念日の内容を確認します。

1 スケジュール画面（P.306）▶スケジュール・休日・記念日が登録されている日付を選択

「スケジュール一覧画面」が表示されます。
一覧表示では登録内容や設定内容が以下のようなアイコンで表示されます。

- スケジュール（設定したスケジュールアイコンを表示）
- 休日
- 記念日
- To Doリスト
- アラーム通知
- D：毎日繰り返し
- W：曜日指定繰り返し
- Y：毎年繰り返し
- A：終日（0：00〜23：59）をまたぐスケジュール

スケジュール一覧画面

機能メニュー➡P.308

2 項目を選択

スケジュールの詳細画面　休日の詳細画面　記念日の詳細画面

機能 スケジュール一覧画面

1 スケジュール一覧画面（P.308）▶α［機能］▶以下の項目から選択

新規登録……「スケジュールを登録する」→P.306
「休日・記念日を登録する」→P.307

編集……スケジュール・休日・記念日を編集します。

コピー……スケジュール・休日・記念日をコピーします。コピー元に繰り返しの設定があっても、コピー先では解除されます。

アイコン別表示……アイコンを選択し、スケジュール・休日・記念日をアイコン別に表示します。繰り返しを設定しているスケジュール（Dまたは W）は1件の項目として表示されます。

ユーザアイコン設定……「お好みの画像をユーザアイコンとして設定する」→P.308

To Doリスト切替……To Doリスト画面（P.309）に切り替えます。

シークレット解除……シークレットモード／シークレット専用モードで登録したスケジュールを通常のデータに戻します。→P.139

ｉモードメール作成……「ｉモードメールを作成して送信する」→P.205

メール添付……スケジュールを添付したメールを作成します。→P.212

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

赤外線送信……「赤外線通信でデータを１件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

削除……「１件削除／選択削除／全削除／前日まで削除」から選択します。「複数選択について」→P.40
・「前日まで削除」を選択すると、表示中の日付より前の項目がすべて削除されます。
・「全削除／前日まで削除」では「スケジュール／休日／記念日／すべて」の項目を選択する操作があります。

おしらせ

- 「全削除」の「休日」や「すべて」を選択したときは、祝日はリセットされてお買い上げ時の登録内容に戻ります。
- 「前日まで削除」および「選択削除」では、お買い上げ時に登録されている祝日は削除されません。
- 繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールを１件削除または選択削除しようとした場合、繰り返しの予定を削除するかどうかのメッセージが表示されます。
- 前日まで削除を行った場合、繰り返し（毎日／曜日指定）が設定されているスケジュールは、選択した前日までのスケジュールが削除され、選択した日以降のスケジュールは残ります。

〈To Doリスト〉

To Doリストを登録する

To Doリストに用件を登録しておくと、予定の管理ができます。また、アラームでお知らせするように登録することもできます。
- 2004年1月1日から2037年12月31日まで登録できます。

用件を登録／編集する

- 100件まで登録できます。
- 「内容」は必ず入力してください。「内容」を入力していないTo Doリストは登録できません。
- To Doリストのアラーム通知について→P.310

＜例：用件を登録する場合＞

1 MENU 9 5

「To Doリスト画面」が表示されます。

To Doリスト画面

機能メニュー→P.310

2 α［機能］▶「新規登録」

■ **用件を編集する場合**
▶α［機能］▶「編集」
✉のソフトキーは、用件未登録時には［新規］が、用件登録時には［編集］が表示されます。

3 以下の項目から選択

内容……用件の内容を入力します。全角100文字、半角200文字まで入力できます。

期日……用件の期日を設定します。

直接入力……年月日と時刻を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択し、時刻を設定します。

なし……期日を設定しません。

優先度……用件の優先度を「高／低／なし」から選択します。

カテゴリー……用件のカテゴリーを「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択します。

アラーム通知……設定した期日になったときのアラーム通知について設定します。

通知する……期日にアラーム通知します。

事前通知する……期日の何分前にアラーム通知するか設定します。
▶**事前通知時間（01〜99分の2桁）を入力**

通知しない……期日になってもアラーム通知しません。

アラーム音選択……アラーム音を時刻アラーム音やメロディ、ｉモーション、ミュージックなどのフォルダから選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

完了日※……用件の完了日を設定します。

直接入力……年月日を設定します。

カレンダーから入力……カレンダーで年月日を選択します。

なし……完了日を設定しません。

※：登録済みの用件で、「状態」が「完了」になっている用件を編集したときにのみ表示されます。

4 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

おしらせ

- 「事前通知する」に設定した場合、アラーム通知されるのは事前通知に設定した時刻（To Doリストの01～99分前）のみです。To Doリストを設定した日付・時刻にはアラーム通知は行われません。

■お願い

- 登録したTo Doリストの内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。To Doリストの内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したTo Doリストの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

機能 To Doリスト画面／To Doリスト内容確認画面

1 To Doリスト画面(P.309)／To Doリスト内容確認画面(P.310)▶α［機能］▶以下の項目から選択

新規登録・編集……「用件を登録／編集する」→P.309

スケジュール切替……スケジュール画面（P.306）に切り替えます。

状態……用件の状態を「予定／承諾／依頼／暫定／確認／拒否／完了／代理」から選択します。
「完了」を選択した場合は、完了日を設定します。

カテゴリー別表示※……用件を「すべて／なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択してカテゴリー別に表示します。

ソート／フィルタ※……条件を選択して、ソート機能で用件を並び替えたり、フィルタ機能で特定の用件のみを表示します。

デスクトップ貼付※……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

メール添付……用件を添付したメールを作成します。→P.212

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信※……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

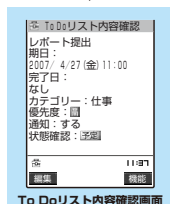
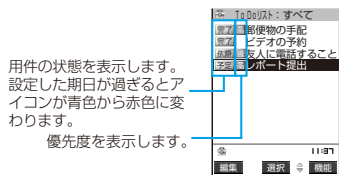
microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

削除……「1件削除／選択削除※／完了済み削除※／全削除※」から選択します。「複数選択について」→P.40
・「完了済み削除」を選択すると、完了した用件がすべて削除されます。

※：To Doリスト画面でのみ利用できる機能です。

用件を確認する

1 To Doリスト画面（P.309）▶用件を選択

「To Doリスト内容確認画面」が表示されます。

To Doリスト内容確認画面

機能メニュー➡P.310

〈アラーム通知設定〉

アラーム通知のしかたを設定する

お買い上げ時 通知優先

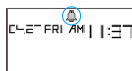
「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラームを通知するとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを設定します。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「時計」▶「アラーム通知設定」▶「操作優先」または「通知優先」

「操作優先」に設定した場合、待受画面表示中のときのみアラームを通知します。
「通知優先」に設定した場合、FOMA端末を操作しているときや通話中でもアラームを通知します。

アラーム通知の動作

● アラーム通知を設定すると

「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」でアラーム通知を設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

■当日の設定（過ぎた時刻の設定は除く）がある場合

「🔔」が表示されます。

■明日以降の設定がある場合

「🔔」が表示されます。

● 設定した時刻になると

各機能ごとに別表1（P.311）のような動作でアラームを通知します。

● アラーム音にｉモーションを設定すると、その映像や音声でアラーム通知を行います。

アラームの場合

スケジュールの場合※

To Doリストの場合※

※：アラーム通知時に表示されるアニメーションは、設定したアイコンやカテゴリーによって変わります。

おしらせ

● 「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム音の音量は、「着信音量」の「電話」で設定した音量になります。

おしらせ

● 通話中の時刻アラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
● 通話中のアラームでのアラーム通知では、「スヌーズ通知する」に設定していても、スヌーズで通知は行いません。
● 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定している場合は、アラーム音と振動でお知らせします。
● スケジュール・To Doリストを「通知しない」に設定して登録した場合は、待受画面にアイコンは表示されません。
● 「アラーム音選択」でｉモーションを設定しても、通話中などｉモーションを起動できないときはｉモーションは再生されず、「時刻アラーム音」と設定したアイコンやカテゴリーに応じたアニメーションでアラーム通知を行います。

<アラーム通知の優先順位>

● 「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されている場合、優先順位は以下のとおりです。
①アラーム　②To Doリスト　③スケジュール
アラーム通知できなかった場合は、待受画面に「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンを表示してお知らせします。

[別表1] アラーム通知動作

状態	機能名	
	アラーム	スケジュール・To Doリスト
待受画面表示中	「スヌーズ通知しない」に設定している場合は、アラーム音が設定した鳴動時間（01～10分）鳴ります。「スヌーズ通知する」に設定している場合は、アラーム音が約1分間、設定した鳴動間隔（01～10分の2桁）、設定した鳴動回数（01～10回の2桁）繰り返し鳴ります。	アラーム音が約5分間繰り返し鳴り、ディスプレイにはアニメーション／ｉモーションが表示されます。
電源が切れている	「自動電源ON」の設定で「電源ONする」に設定している場合は自動で電源が入りアラームを通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源は入らずアラームを通知しません。電源を入れた後も「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。	設定した時刻になってもアラームを通知しません。ただし設定はそのまま残ります。
通話中※	受話口から時刻アラーム音（ピッピピ…）が3回繰り返し鳴ります。ディスプレイにはアニメーションが表示されます。	
電話の着信中／発信中※	状態によりアラームを通知する場合と通知しない場合があります。アラーム通知する場合は、アラームが鳴り、ディスプレイにはアニメーションが表示されます。アラーム通知しなかった場合は、アラーム通知できる状態になってからアラーム通知します。	
ｉモード中／メール送受信中※	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。	
赤外線通信機能の操作中、OBEXによるデータ送受信中	設定した時刻になってもアラームを通知しません。データ通信終了後、待受画面に「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。→P.312	
イヤホンマイク接続中	「通知音出力切替」の設定に従って、イヤホンおよびスピーカからアラーム音が鳴ります。また、ディスプレイにはアニメーション／ｉモーションが表示されます。	
PIN1コード入力設定が「ON」に設定されていて、電源を入れた後のPIN1コード入力画面を表示しているとき※	「待受画面表示中」の場合と同じようにアラームを通知します。アラーム通知の画面表示を消すと、PIN1コード入力画面に戻ります。	正しいPIN1コードを入力した後にアラームを通知します。
ダイヤルロック設定中／おまかせロック設定中／オリジナルロック設定中	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。電源を切っている場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、ロック解除後も「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは表示されません。 オリジナルロック設定中は待受画面に「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック／おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。	「アラーム通知設定」の設定にかかわらず設定した時刻になってもアラームを通知しません。 オリジナルロック設定中は待受画面に「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されますが、ダイヤルロック／おまかせロック設定中の場合、設定解除後、表示されます。

※：「通知優先」に設定している場合の動作です。「操作優先」に設定している場合は、待受画面に「　」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。

● アラーム音を止めるには

■ アラームのアラーム音

「スヌーズ通知しない」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止します。もう一度いずれかのボタンを押すと、「ピピッ」という解除音が鳴り、表示を消すことができます。
「スヌーズ通知する」の場合
いずれかのボタンを押すとアラーム音、アニメーション／iモーションは停止し、アラームメッセージは「スヌーズ中・・・」と表示され、設定した鳴動間隔（分）で再度アラームを通知します。「スヌーズ中・・・」に☎を押すと、「ピピッ」という解除音が鳴りスヌーズが解除されます。

■ スケジュール、To Doリストのアラーム音

いずれかのボタンを押すとアラーム音は停止し、アニメーションやiモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたままになります。もう一度いずれかのボタンを押すと、アラームメッセージは消えます。ただし、FOMA端末を閉じた状態で外部ボタンを押した場合は、アラーム通知の画面は消えません。

■ アラーム通知中に電話がかかってきた場合

アラーム通知を停止して着信の動作になります。「アラーム」のスヌーズも解除されます。

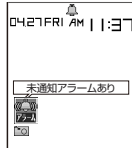
おしらせ

- 以下のようなときは、スヌーズが解除されます。
  - ・音声電話やテレビ電話の着信があったとき
  - ・「アラーム通知設定」を「通知優先」の場合にアラーム、スケジュール、To Doリストのアラームが通知されたとき
- 「ボタン確認音」を「OFF」に設定している場合、解除音は鳴りません。

通知できなかったアラームの内容を確認する

アラームを通知できなかった場合は、待受画面に「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンが表示されます。デスクトップアイコンから通知できなかったアラームの内容（未通知アラーム情報）を確認します。

1 待受画面表示中▶◉▶「 」（未通知アラームあり）を選択

「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」の未通知アラーム情報が表示されます。

■「 」を消す場合

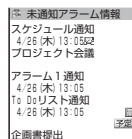
▶CLR（1秒以上）

「 」を消すと、未通知アラーム情報は確認できなくなります。

2 内容を確認▶CLR

待受画面に戻り、「 」（未通知アラームあり）のデスクトップアイコンは消えます。

おしらせ

- 「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラーム通知が同じ時刻に設定されていてアラームを通知できなかった場合は、それぞれの未通知アラーム情報が表示されます。

〈マイプロフィール〉
自分の名前や画像を登録する

お買い上げ時 自局番号のみ

名前や自宅の電話番号、メールアドレスなど、お客様の個人情報を登録します。個人情報を登録しておくと、FOMA端末の所有者を確認したり、文字入力（編集）画面で登録されている内容を引用できます。

- 自局番号を変更したり削除することはできません。
- 登録したデータはFOMA端末に記憶されます。ほかのFOMAカードを差し込んでも、FOMA端末に登録したデータが表示されます。

マイプロフィールを表示する

本機能を起動したときは名前、自局番号、1件目のメールアドレスのみ表示できます。

1 MENU 0

「マイプロフィール画面」が表示されます。

自宅の電話番号や住所などの個人データを登録している場合は、機能メニューから「全データ表示」を選択して端末暗証番号を入力すると、すべてのデータを表示できます。

マイプロフィール画面

機能メニュー ➡P.313

機能 マイプロフィール画面

1 **マイプロフィール画面（P.313）▶α［機能］▶以下の項目から選択**

マイプロフィール編集……「マイプロフィールを登録する」→P.313

全データ表示……▶**端末暗証番号を入力▶で内容を確認**

名前コピー……マイプロフィールに登録されている名前をコピーします。
コピーした名前は、入力画面などで貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

電話番号コピー※1……現在表示している電話番号をコピーします。
コピーした電話番号は、入力画面などで貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

メール添付※2……マイプロフィールのデータを添付したメールを作成します。→P.212

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

拡大表示⇔標準表示……表示する名前の文字サイズを切り替えます。

マイプロフィール初期化……自局番号以外のマイプロフィールを初期化（削除）して、お買い上げ時の状態に戻します。
▶**端末暗証番号を入力**▶「YES」
「全データ表示」でマイプロフィールを表示している場合は、端末暗証番号を入力する必要はありません。

電話番号削除※3……現在表示している電話番号を削除します。

※1：選択している項目によって機能名は「メールアドレスコピー／住所コピー／誕生日コピー／メモコピー」と表示されます。
※2：全データ表示中にのみ利用できます。
※3：選択している項目によって機能名は「メールアドレス削除／住所削除／誕生日削除／メモ削除／静止画削除」と表示されます。

マイプロフィールを登録する

1 **マイプロフィール画面（P.313）▶✉［編集］▶端末暗証番号を入力**

2 **以下の項目から選択**

姓 **姓**……お客様の名字を入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、名 と合わせて全角16文字、半角32文字まで入力できます。

カナ **フリガナ**……お客様の名字を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。半角のカタカナ、英字、数字、記号で名前のフリガナと合わせて32文字まで入力できます。

名 **名**……名字と同様、お客様の名前を入力します。

カナ **フリガナ**……名字と同様、お客様の名前を入力すると自動的に設定されますので必要に応じて変更してください。

電話番号……自局番号以外の電話番号を追加登録してアイコンを選択します。電話番号は26桁まで入力できます。
新しく電話番号を登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択すると電話番号を追加登録できます。

メールアドレス……メールアドレスを入力してアイコンを選択します。半角の英字、数字、記号で50文字まで入力できます。
メールアドレスが登録されていない場合は、「自動取得」を選択し、設定されているメールアドレスをｉモードセンターから自動で取得できます。
1件目のメールアドレスを登録すると、マイプロフィール編集画面に「<追加登録>」が表示されます。この項目を選択するとメールアドレスを追加登録できます。

住所……郵便番号および住所（都道府県名／市町村名／番地／マンション名など）を順番に入力します。郵便番号は7桁の半角数字で入力します。郵便番号以外の住所は漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角50文字、半角100文字まで入力できます。

誕生日……誕生日（西暦・月日）を入力します。設定できる西暦は、1800年から2099年までです。

メモ……メモを入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、絵文字などを、全角100文字、半角200文字まで入力できます。

静止画……マイプロフィールで表示される静止画をカメラで撮影するか、またはマイピクチャから選択して設定します。「静止画解除」を選択すると、設定中の静止画を解除できます。

3 それぞれの項目を設定▶✉［完了］

おしらせ

- 自分のメールアドレスを変更したりシークレットコードを登録した場合は、本機能のメールアドレスの登録内容も変更してください（自動的には変更されません）。

〈通話中音声メモ／待受中音声メモ〉

相手の声や自分の声を録音する

音声メモには、音声通話中またはテレビ電話中に相手の声を録音できる「通話中音声メモ」と、待受画面表示中に自分の声を録音できる「待受中音声メモ」の2種類があります。

- 録音できる件数は、通話中音声メモまたは待受中音声メモのどちらか1件で、録音するたびに上書きされます。
- 録音できる時間は約20秒です。
- 録音した音声メモの再生、消去について→P.80

通話中に相手の声を録音する

1 通話中▶［MEMO／CHECK］（1秒以上）

「ピッ」と鳴って録音がはじまります。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて通話中画面に戻ります。

音声通話中の場合

■録音を途中でやめる場合
▶［停止］、CLR、または［MEMO／CHECK］（1秒以上）
を押した場合は、通話も終了します。
ただし、テレビ電話中はCLRを押しても録音を中断することはできません。

■音声電話を通話中保留のときに録音する場合
▶MENU▶「LIFEKIT」▶「通話中音声メモ」

おしらせ

- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知された場合は、録音を停止します。
- 機能メニューの各項目の操作中、テレビ電話の保留中などは録音することはできません。

待受中に自分の声を録音する

1 MENU 4 3▶「YES」▶音声メモを録音

「ピッ」と鳴ったら送話口に向かってお話しください。録音時間（約20秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「音声メモ録音中」の表示が消えて「LifeKit」の一覧画面に戻ります。

■録音を途中でやめる場合
▶［停止］、CLRまたは
を押した場合は、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

■お願い

- 音声メモの内容は、別にメモを取ったりして保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、録音した音声メモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

〈おしゃべり機能〉

アラーム音や応答保留音を録音／再生する

音声を録音して、オリジナルの着信音や応答メッセージとして設定します。

- 録音できる音声は「おしゃべり1、2」の2件です。
- 録音できる時間は約15秒です。
- 本機能で録音した音声を設定できる機能は以下のとおりです。
  - ・音声電話／テレビ電話／マルチナンバーの着信音
  - ・メール着信音
  - ・チャットメール着信音
  - ・メッセージR／Fの着信音
  - ・非通知着信設定の着信音
  - ・応答保留音
  - ・通話中保留音
  - ・伝言メモの応答メッセージ
  - ・アラームのアラーム通知音
  - ・スケジュールのアラーム通知音
  - ・To Doリストのアラーム通知音
  - ・通話料金通知のアラーム通知音

音声を録音する

1 MENU 9 1 ▶項目を選択▶「YES」▶音声を録音

送話口に向かってお話しください。録音時間（約15秒間）が終了する5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終了すると「ピッピッ」という音が鳴り、「おしゃべり録音中」の表示が消えて元の画面に戻ります。

おしゃべり機能画面

機能メニュー➡P.315

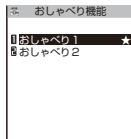
■ 録音を途中でやめる場合
▶◉［停止］、CLRまたは☎

録音中に☎を押した場合、待受画面に戻りますが録音した音声は保存されます。

おしらせ

- 録音済みの音声がある場合は、録音できません。録音済みのデータを消去すると、録音可能になります。
- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」、「スケジュール」、「To Doリスト」のアラームが通知された場合は、録音を停止します。

録音した音声を再生する

1 MENU 9 1 ▶項目を選択

■ 再生を途中でやめる場合
▶◉［停止］、CLRまたは☎

機能 おしゃべり機能画面

1 おしゃべり機能画面（P.315）▶α［機能］▶以下の項目から選択

録音……音声を録音します。	
再生……録音した音声を再生します。	
消去……録音した音声を消去します。	

〈通話時間／料金〉

通話時間・料金を確認する

音声通話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

- 音声電話とテレビ電話の通話を切り替えた場合、前回通話時間には音声電話とテレビ電話の合計の通話時間が表示され、前回通話料金には音声電話とテレビ電話の通話料金が個別に表示されます。なお、表示される通話料金は実際の通話料金と異なる場合があります。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間+64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「¥0」または「¥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が積算通話料金に表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積されますが表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間／料金
【前回通話時間】
1時間 6分 2秒
【前回通話料金】
音声通話 ¥**
デジタル ¥**
【積算通話時間】
音声通話 34時間23分48秒
デジタル 9時間13分32秒
【積算通話料金】
¥488

前回通話時間：直前の通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。
前回通話料金：直前の通話料金の目安を表示します。「音声通話」は音声電話の前回通話料金を表示します。「デジタル」はテレビ電話と64Kデータ通信の前回通話料金を表示します。
積算通話時間：前回リセットしたとき（「0秒」に戻したとき）から現在までの積算時間を表示します。「音声通話」は音声電話の積算通話時間を表示します。「デジタル」はテレビ電話と64Kデータ通信の積算通話時間を表示します。
積算通話料金：前回リセットしたときから現在までの積算通話料金の目安を表示します。積算通話料金は音声電話通話料金とデジタル通信通話料金（テレビ電話通話料金＋64Kデータ通信料金）の合計が表示されます。
前回積算時間リセット日時：積算時間リセットをした前回の日時を表示します。
前回積算料金リセット日時：積算通話料金リセットをした前回の日時を表示します。

おしらせ

- 前回および積算の音声電話通話時間やデジタル通信通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントします。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金、着もじの送信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 着信中や相手を呼び出している時間、音声電話とテレビ電話を切り替えている時間はカウントされません。
- 電源を切ると、前回通話時間は「0秒」、前回通話料金は「¥＊＊」に戻ります。
- 電源を切っても、積算通話時間、積算通話料金の情報は残ります。

積算通話時間と積算通話料金をリセットする<積算リセット>

「通話時間／料金」に表示される積算通話時間および積算通話料金をゼロに戻します。

1 MENU 6 0 ▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

積算通話時間リセット……積算時間をリセットします。

積算通話料金リセット……積算通話料金をリセットします。
▶「YES」▶PIN2コードを入力
PIN2コードについて→P.134

積算通話料金の自動リセットを設定する<積算料金自動リセット>

お買い上げ時 OFF

毎月1日のAM0:00になると、「通話時間／料金」に表示される積算通話料金が自動的にゼロに戻るように設定します。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「時間／料金」▶「積算料金自動リセット」▶端末暗証番号を入力

2 「自動リセット設定」▶「ON」▶PIN2コードを入力

PIN2コードについて→P.134

■設定しない場合
▶「OFF」

おしらせ

- パケット通信中でも積算通話料金は自動リセットされます。
- 通話中に自動リセットが行われる日時になった場合は、通話が終了したときに自動リセットが行われます。
- 電源を切っている間に自動リセットが行われる日時になった場合は、次回電源を入れたときにPIN2コードを入力後、自動リセットが行われます。
- 積算料金自動リセットを「ON」に設定し、「時計設定」で月を変更すると積算通話料金はリセットされます。
- 積算料金自動リセットを「ON」に設定すると、FOMA端末の電源を入れたときにPIN2コードの入力画面が表示されます。
- 次の場合は積算料金自動リセットは「OFF」に設定されます。
  ・FOMAカードを未挿入の状態で電源を入れたとき
  ・FOMA端末の電源を入れたときに表示されるPIN2コード入力画面でCLRを押したとき
  ・PIN2コードがロック中のとき→P.134
  ・FOMAカードに異常があるとき

〈通話料金通知〉

通話料金の上限を設定して知らせる

お買い上げ時	料金上限値：未設定 上限値通知設定：通知しない

「通話時間／料金」で表示される積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると待受画面やアラームなどでお知らせします。

- アラーム通知は、積算通話料金が設定した上限料金を超えたときに一度だけ行います。
- 上限料金を超えても通常どおり電話をかけることができます。

1 MENU▶「SETTINGS」▶「時間／料金」▶「通話料金通知」▶端末暗証番号を入力

2 以下の項目から選択

上限料金の設定……10～100,000円の範囲で10円単位で上限の料金を設定します。

通知設定

上限値通知設定……通話料金通知を行うかどうかを設定します。

アラーム音選択……アラーム音をメロディのフォルダから選択します。
アラーム音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。

アラーム音量……でアラーム音量を設定します。

3 それぞれの項目を設定▶［完了］

おしらせ

- オリジナルマナーモード設定中のアラーム音の音量は、「オリジナルマナー」の「電話着信音量」で設定した音量になります。
- ｉモード通信、パケット通信の通信料金、着もじの送信料金は本機能の対象外です。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

● アラーム通知の動作

通話終了後、積算通話料金が設定した上限料金を超えると次のような動作で通知します。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」以外に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、通話を終了して3秒後にアラーム音が約5分間鳴り、上限料金を超えたことを通知する画面が表示されます。アラーム音を止めるにはいずれかのボタンを押します。通知動作終了後、CLRまたはを押すと、待受画面に「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

■上限値通知設定を「通知する」、アラーム音選択を「OFF」に設定している場合

積算通話料金が本機能で設定した上限料金を超えると、待受画面に「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンが表示されます。

●「」（通話料金通知）の内容を確認する

待受画面に表示された「」（通話料金通知）のデスクトップアイコンを選択して、通話料金通知の内容を確認します。

1 待受画面表示中▶▶「」（通話料金通知）を選択▶端末暗証番号を入力

「通話料金通知」の内容が表示されます。

2 内容を確認▶［確認］

待受画面に戻り、「」（通話料金通知）が消えます。

おしらせ

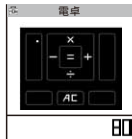
- アラーム通知をするとき、「操作優先」にするか「通知優先」にするかを「アラーム通知設定」で設定できます。

〈電卓〉

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）を行います。
● 数字は10桁まで表示できます。また、小数点以下は9桁まで表示できます。
● 計算結果が10桁を超えた場合は、「.E」と表示されます。

1 MENU 8 5 ▶ **計算する**

■「23＋57」を計算する場合
2 3 ＋ 5 7 ＝
2 3 ▶ 5 7 ●

■ 負の数を計算する場合
先頭の数字に「－」を付けた場合のみ、負の数の計算ができます。
－ 2 3 ＋ 5 7 ＝
◀ 2 3 ▶ 5 7 ●

おしらせ

● CLR（AC または C）は、次のようなときに使います。
・＋、－、×、÷、＝を押した後は AC の表示となり、CLR を押して計算を最初からやり直すことができます。
・数字や小数点の入力中は C の表示となり、CLR を押して間違えた数字や小数点を消去することができます。

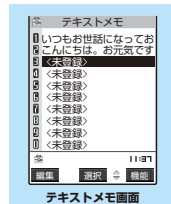
〈テキストメモ〉

テキストメモを作成する

簡単なメッセージなどをテキストメモとして作成します。作成したテキストメモはスケジュールの内容やメールの本文に貼り付けることができます。
● テキストメモは10件まで登録できます。
● テキストメモは全角256文字、半角512文字まで入力できます。

テキストメモを登録する

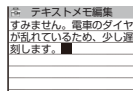
1 MENU 4 2

「テキストメモ画面」が表示されます。

テキストメモ画面

機能メニュー➡P.319

2 **「<未登録>」を反転 ▶ ✉［編集］**

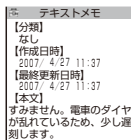
■ すでに登録されているテキストメモの内容を変更する場合
▶変更する項目を反転▶✉［編集］

3 **内容を入力**

■ お願い

● 登録したテキストメモの内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。
● FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したテキストメモの内容が消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

テキストメモの内容を確認する

1 テキストメモ画面（P.318）▶項目を選択▶内容を確認

テキストメモ
【分類】
なし
【作成日時】
2007/ 4/27 11:37
【最終更新日時】
2007/ 4/27 11:37
【本文】
すみません。電車のダイヤが乱れているため、少し遅刻します。

機能 テキストメモ画面

1 テキストメモ画面（P.318）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……テキストメモを編集します。

iモードメール作成……「iモードメールを作成して送信する」→P.205

スケジュール作成……「スケジュールを登録する」→P.306

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

microSDへコピー……「FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにコピーする」→P.280

テキストメモ情報……作成日時や分類を確認します。

分類……「なし／プライベート／休日／旅行／仕事／会議」から選択して分類します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

〈辞典〉

辞典を利用する

● 辞典は、以下のLIFEKITメニューから起動する方法だけではなく、各種文字編集画面の機能メニューからも利用できます。→P.320

辞典を起動する

1 MENU▶「LIFEKIT」▶「辞典」

「辞典画面」が表示されます。

辞典画面

機能メニュー➡P.320

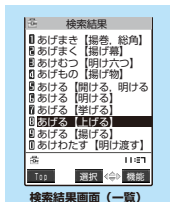
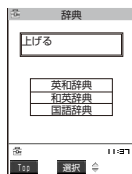
2 以下の項目から選択

直接入力……単語を入力します。全角32文字、半角64文字まで入力できます。

検索履歴……以前検索した単語の履歴から検索します。「検索履歴を使う」→P.320

3 辞典の種類を選択

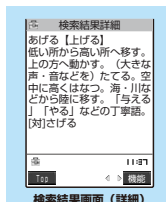
「検索結果画面（一覧）」が表示されます。
該当する単語がない場合は、入力した文字に近い単語にカーソルがあたって表示されます。

➡

検索結果画面（一覧）

機能メニュー➡P.320

■ 前後の一覧を表示する場合
▶検索結果画面（一覧）▶

4 単語を選択

「検索結果画面（詳細）」が表示されます。

検索結果画面（詳細）

機能メニュー➡P.320

■ 前後の単語を表示する場合
▶検索結果画面（詳細）▶

機能 辞典画面

1 辞典画面（P.319）▶α［機能］▶以下の項目から選択

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.126

検索履歴を使う

1 辞典画面（P.319）▶「検索履歴」

「検索履歴画面」が表示されます。

検索履歴画面

機能メニュー ➡P.320

2 単語を選択

機能 検索履歴画面

1 検索履歴画面（P.320）▶α［機能］▶以下の項目から選択

1件削除・全削除……検索履歴を1件または全削除します。

機能 検索結果画面（一覧・詳細）

1 検索結果画面（一覧・詳細）（P.319）▶α［機能］▶以下の項目から選択

コピー……文字をコピーします。
一覧画面：和英辞典と国語辞典は検索結果の【 】内の文字を、英和辞典は検索結果の単語をコピー
詳細画面：範囲を指定してコピー
コピーした文字は、入力画面などで貼り付けることができます。
「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

結果詳細から検索※……「検索結果の詳細画面から、さらに検索する」→P.320

別の辞典で検索……検索した単語を別の辞典で検索します。

参照編集※……検索結果を見ながら文字編集をすることができます。「分割画面について」→P.344
ｉモードメールの文字入力（編集）画面やｉモードのスケジュール参照登録画面などでは利用できません。

※：検索結果画面（詳細）でのみ利用できる機能です。

検索結果の詳細画面から、さらに検索する

1 検索結果画面（詳細）（P.319）▶α［機能］▶「結果詳細から検索」

2 ▶文字のはじめの位置で●［始点］

3 ▶文字の終わりの位置まで反転▶●［終点］

4 辞典の種類を選択

5 単語を選択

その他の機能から辞典を利用する

以下のそれぞれの画面で、機能メニューから「辞典検索」を選択します。
・文字編集画面を表示中
・送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面を表示中
・サイトのページまたは画面メモを表示中

■文字編集画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、文字編集画面から調べたい単語を範囲選択することができます。

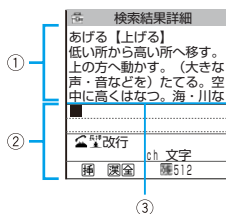
■送信メール、受信メールの詳細画面または新規メール作成の本文入力画面から辞典を起動すると

「直接入力」「範囲選択」「検索履歴」から選択することができます。
「範囲選択」を選択すると、送信メールまたは受信メールの本文、新規メール作成中のメールから調べたい単語を範囲選択することができます。

■サイトのページまたは画面メモから辞典を起動すると

「直接入力」「サイト参照入力」「検索履歴」から選択することができます。
「サイト参照入力」を選択すると、サイトのページや画面メモを見ながら調べたい単語を入力することができます。

● 辞典の参照画面について

「参照編集」または「サイト参照入力」を選択すると、上下2つに画面が分割されます。
機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択するごとに操作できる画面が①と②で切り替わります。

■ 検索結果詳細画面から「参照編集」を選択した場合
①辞典の詳細画面
②文字編集画面
③区切り線
辞典を終了するときは、機能メニューから「辞典終了」を選択するか、①の画面に切り替えて[終了]を押します。

■ サイトのページまたは画面メモから「サイト参照入力」を選択した場合
①サイトのページや画面メモの画面
②検索語入力画面
③区切り線
検索語を入力したら、[確定]を押します。検索語が入力された辞典選択の画面になります。

〈スイッチ付イヤホンマイク〉

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけたり、受けたりします。

● 平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子キャップを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P.27
● 「ボタン確認音」の設定にかかわらず、電話を受けたり電話を切ったりしたときのスイッチ音は鳴ります。
● 着信音が鳴っているときに平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。また、通話中に平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

● スイッチを使って電話をかける

1 待受画面表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「自動発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。
FOMA端末を折り畳んだ状態でもスイッチを1秒以上押すと「自動発信設定」で設定した電話番号に電話がかかります。

■ 電話帳一覧画面から電話をかける場合
▶電話帳一覧画面▶かけたい電話帳を反転▶スイッチを1秒以上押す
「ピッ」という音が鳴り、電話帳に登録されている1番目の電話番号に電話がかかります。
リダイヤル／発信履歴画面（一覧）、着信履歴画面（一覧）から電話をかけることもできます。

■ 電話帳詳細画面から電話をかける場合
▶電話帳詳細画面▶かけたい電話番号を表示▶スイッチを1秒以上押す
「ピッ」という音が鳴り、選んだ電話番号に電話がかかります。
リダイヤル／発信履歴画面（詳細）、着信履歴画面（詳細）から電話をかけることもできます。
電話番号入力画面でスイッチを1秒以上押して電話をかけることもできます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

● スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

FOMA端末を折り畳んだ状態でスイッチを押してもかかってきた電話を受けることができます。

■ 音声電話を受ける場合
「ピッ」という音が鳴り、音声電話に出ます。

■ テレビ電話を受ける場合
「ピッ」という音が鳴り、FOMA端末を折り畳んだ状態では代替画像で、開いた状態では自画像でテレビ電話に出ます。

2 通話が終了したら、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

● 「通知音出力切替」で平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときにイヤホンとスピーカから着信音などが鳴るように設定できます。
● 「着信音量」の「電話」、「テレビ電話」を「SILENT」に設定している場合やマナーモード設定中は、着信音は鳴りません。ただし、マナーモードが「オリジナルマナー」で「電話着信音量」を「SILENT」以外に設定している場合は着信音が鳴ります。
● 「キャッチホン」をご契約の場合は、通話中にかかってきた電話に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して出ることができます。また、スイッチを1秒以上押して通話中の電話を切り替えることができます。ただし、スイッチを押して通話を終わらせることはできません。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。

〈自動発信設定〉

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

お買い上げ時 OFF

通話する相手を設定しておけば、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを１秒以上押すだけで音声電話をかけることができます。

● 本機能には、FOMA端末（本体）の電話帳に登録されている電話番号を設定できます。
● FOMA端末を折り畳んだ状態でも、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して音声電話をかけることができます。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「発信」▶「自動発信設定」▶「ON」

■ 自動発信をしない場合
▶「OFF」

2 電話帳詳細画面で設定したい電話番号を表示 ▶ ◉［選択］

電話帳の検索のしかた→P.95

おしらせ

● 本機能に設定した電話帳を削除した場合は、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを使った発信ができなくなります。

〈オート着信〉

イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時　オート着信：OFF　呼出開始：6秒

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているとき、スイッチを押さなくてもかかってきた音声電話やテレビ電話を自動で受けるように設定します。

● 音声通話中、テレビ電話中、64Kデータ通信中は、本機能によって自動で電話を受けることはできません。
● FOMA端末を折り畳んだ状態でも自動で電話を受けることができます。

1 MENU 9 4 ▶「ON」▶呼出時間（001～120秒の3桁）を入力

■ 無効にする場合
▶「OFF」

おしらせ

● テレビ電話をオート着信した場合、相手側には代替画像が表示されます。機能メニューから「自画像切替」を選択するとカメラ映像に切り替えることができます。
●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定している場合に本機能を優先させるには、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間よりも本機能の呼出時間を短く設定してください。

おしらせ

●「呼出時間表示設定」で設定した無音時間がオート着信の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず、オート着信に移行します。呼出動作を行ってからオート着信に移行させるには、オート着信の呼出時間を無音時間よりも長く設定してください。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。

〈イヤホン接続時マイク切替〉

イヤホンマイクをつないだときに使うマイクを選ぶ

お買い上げ時　イヤホンマイク

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに使うマイクを、FOMA端末側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「外部接続」▶「イヤホン接続時マイク切替」▶「端末マイク」または「イヤホンマイク」

マイクのないイヤホンを接続する場合は、「端末マイク」を選択してください。

おしらせ

●「イヤホン接続時マイク切替」を「端末マイク」に設定するとハンズフリーをONに設定した場合と同じマイク感度になります。イヤホンマイクを接続した場合、送話口に近づけて通話する必要はありません。

〈ネットワークサーチ設定〉

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時 DoCoMo

※ ドコモをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

FOMAサービスを提供する通信事業者名を設定します。

● 2007年１月現在、DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「ネットワーク設定」▶「ネットワークサーチ設定」▶「マニュアル」▶通信事業者名を選択

〈設定リセット〉
各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

「端末初期化」と「設定リセット」は異なります。間違えないようにしてください。
間違えて「端末初期化」を行うと、ご購入後に登録したデータもすべて削除されます。→P.323

- 設定リセットされる機能について、詳しくは「メニュー機能一覧」（P.358）をご覧ください。
- パソコンなどの外部機器と接続している場合、「USBモード設定」はお買い上げ時の設定内容に戻りません。
- ｉモード機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、「ｉモード設定リセット」を行ってください。→P.189
- メール機能の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、「メール設定リセット」を行ってください。→P.230

1 MENU 2 3 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **「YES」**

■ リセットしない場合
▶「NO」

〈端末初期化〉
FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻す

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

「端末初期化」を行うと、電話帳やメールなどの個人データ、ダウンロードした画像やメロディ、ｉアプリ、カメラで撮影した写真（静止画）や動画など、お客様の大切なデータがすべて削除されます（保護されているデータも削除されます）。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- お買い上げ時に戻る設定については、「設定リセット」をご覧ください。
- 「設定リセット」の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。

・メールデータ
・メールのフォルダ
・テンプレート
・カラーパレットの履歴
・チャットメールのチャットメンバー
・ｉモード設定
・ホーム
・電話帳
・ソフト一覧
・ｉアプリの自動起動設定
・ｉアプリ実行情報
・通話時間／料金
・時計設定（日付・時刻）
・スタイルモード
・ポーズダイヤル
・端末暗証番号
・文字入力設定の学習履歴
・スケジュール
・音声メモ
・通信履歴表示（電話帳お預かりサービス）
・「ドコモからのお知らせ」メール
・お客様が追加したデータ※
・Bookmark
・画面メモ
・ラストURL
・Internet
・辞典
・着もじの送信メッセージ履歴
・追加サービス
・マルチナンバー（電話番号設定）
・チャネル一覧
・グループ設定
・着信履歴
・リダイヤル／発信履歴
・受信アドレス一覧
・送信アドレス一覧
・メールメンバー
・チャットグループ
・ユーザ辞書
・ダウンロード辞書
・To Doリスト
・テキストメモ
・キャラ電
・メモの再生／消去
・動画メモの再生／消去
・おしゃべり機能
・メール設定
・メッセージ
・バーコードリーダー

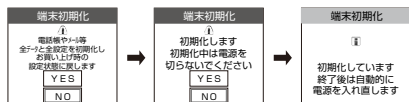
※：登録したデータ、ダウンロードしたデータ、ｉアプリのソフト、カメラで撮影した静止画や動画などです。

- お客様が編集したグループ名やフォルダ名などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- シークレットデータ、シークレットフォルダのデータも削除されます。
- 「端末初期化」を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 「端末初期化」を行っているときは、電源を切らないでください。

● 「端末初期化」を行っているときは、音声電話やテレビ電話の着信やメールの受信などはできません。

● 「端末初期化」を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。
FOMA端末に登録した内容は、必要に応じてメモを取ったり、ドコモケータイdatalink（P.342）やmicroSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「その他」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力

2 「YES」▶「YES」

端末の初期化が開始されます。
初期化が終了するまでに数分かかる場合があります。
端末の初期化が終了すると、自動的に再起動します。

■ 端末初期化が正常に終了しなかった場合
▶電源が入った後に「OK」
再度初期化が実行されます。

おしらせ

● 以下の場合、ｉアプリは「端末初期化」を行うと削除されます。
・お買い上げ時に登録されているｉアプリをバージョンアップした場合
・お買い上げ時に登録されているｉアプリを一度削除して再度ダウンロードした場合
・ご購入後にダウンロードしたｉアプリ
お買い上げ時に登録されているｉアプリは、「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」のサイトからダウンロードできます。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。→P.177
● 端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、ch を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
● FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
● パソコンを用いるデータ通信に関する設定は初期化されません。
● 「端末初期化」によって削除されるデータが多い場合は、初期化に時間がかかることがあります。

●ネットワークサービス

本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法などについては、以下の表の参照先をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.326
キャッチホン	必要	有料	P.328
転送でんわサービス	必要	無料	P.330
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P.331
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.50
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.331
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P.75
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P.76
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P.332
英語ガイダンス	不要	無料	P.332
マルチナンバー	必要	有料	P.335
OFFICEED	必要	有料	P.336
SMS（ショートメッセージ）	不要	無料	P.237

● ネットワークサービスセンターに接続して操作する場合、「圏外」のときは操作できません。
● ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます（追加サービス）。→P.336
● お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

● 「伝言メモ」（P.78）を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
● 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
● 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音／録画でき、最長72時間保存されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始に設定する

⬇

FOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

⬇

音声電話／テレビ電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

⬇

相手が伝言メッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに録音できる状態になります。

⬇

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っていることが通知される

⬇

伝言メッセージを再生する

おしらせ

- 「32K」の通信速度のテレビ電話による留守番電話接続はできません。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作が行えません。機能メニューよりDTMF送信モードに切り替えてください。→P.55

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「留守番電話」▶以下の項目から選択

留守番メッセージ再生……留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って伝言メッセージの再生をします。

留守番サービス開始……▶「YES」▶「YES」▶呼出時間（000～120秒）を入力
0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

留守番サービス停止……留守番電話サービスを停止します。

留守番呼出時間設定……呼出時間のみを変更します。
▶呼出時間（000～120秒）を入力

留守番設定確認……現在のサービスの設定内容を確認します。
- 表示される「留守番設定確認画面」の機能メニューについて→P.328

留守番サービス設定……音声ガイダンスで留守番電話サービスの設定を変更します。
留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問い合わせ……伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

件数増加鳴動設定※……留守番電話サービスセンターで預かっている伝言メッセージが増えたとき、専用のお知らせ音を鳴らします。

表示消去……待受画面に表示された「☎」（留守番電話アイコン）を消去します。

着信通知開始……電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内になったときにSMSでお知らせします。

　全着信……すべての着信を通知します。

　発番号あり……番号を通知している着信のみ通知します。

着信通知停止……着信通知を停止します。

着信通知開始設定確認……現在の着信通知の設定内容を確認します。

※：音声電話による伝言メッセージのときのみ有効です。

おしらせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作（0～9、*、#）を行った場合、☎を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はもう一度☎を押してください。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。

<留守番サービス開始>
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間設定が留守番電話サービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、留守番電話サービスに移行します。着信音鳴動を行ってから留守番電話サービスに移行させるには、留守番電話サービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

<メッセージ問い合わせ>
- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、音声電話による伝言メッセージは、待受画面に「1」（留守番電話アイコン）と「 」（「留守番電話あり」のデスクトップアイコン）を表示します。テレビ電話による伝言メッセージは、SMSによりお知らせします。
- 留守番電話アイコンはお預かりしている伝言メッセージの件数によって、「1」、「2」、「3」…「+」（10件以上）と表示が替わります。
  表示される伝言メッセージの件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。

<表示消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと再び留守番電話アイコンが表示されます。

<着信通知開始>
- 一通のSMSで、最大5件まで履歴が通知されます。
- 設定および通知（SMSの受信）にかかる料金は無料です。
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。

機能 留守番設定確認画面

1 留守番設定確認画面▶α［機能］▶以下の項目から選択

留守番サービス開始・留守番サービス停止……留守番電話サービスを開始または停止します。

呼出時間設定……呼出時間を変更します。

キャッチホン

お申し込み必要

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」（P.333）を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンを開始し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していれば、音声通話中にテレビ電話の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときに、あとからかかってきた着信に応答することができます。ただし、この場合は通話中の音声電話やテレビ電話を終了する必要があります（現在の通話を保留にすることはできません）。→P.333

キャッチホンを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「キャッチホン」▶以下の項目から選択

キャッチホンサービス開始・キャッチホンサービス停止……キャッチホンを開始または停止します。

キャッチホンサービス設定確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[通話キー]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた音声電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

▶[終話キー]▶[通話キー]

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

▶[通話キー]

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

[通話キー]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶[α]［機能］▶「保留呼切断」

おしらせ

- 「マルチ接続中」と画面に表示されているときに別の音声電話がかかってきた場合、保留か通話中の音声電話を終了すれば着信に応答することができます。

通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら[終話キー]

最初の相手との通話が切れ、着信音が鳴ります。

2 [通話キー]

あとからかかってきた音声電話を受けます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤル▶[通話キー]

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。

電話帳を検索することもできます。

電話帳の検索のしかた→P.95

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合

▶[終話キー]▶[通話キー]

新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合

▶[通話キー]

新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。

[通話キー]を押すたびに通話の相手が切り替わります。

■ 保留中の音声電話を終了する場合

▶[α]［機能］▶「保留呼切断」

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 「伝言メモ」（P.78）を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

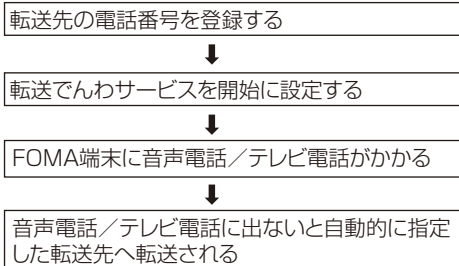
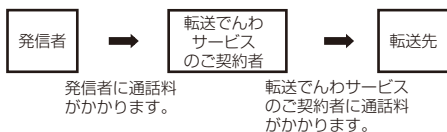
転送でんわサービスを開始に設定する

FOMA端末に音声電話／テレビ電話がかかる

音声電話／テレビ電話に出ないと自動的に指定した転送先へ転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送でんわサービスを利用する

1 MENU ▶「SERVICE」▶「転送でんわ」▶以下の項目から選択

転送サービス開始……転送先や呼出時間を設定し、「開始」を選択します。

転送先設定……▶**転送先の電話番号を入力**
設定すると「転送先設定」に「★」が付きます。
・ □ または □ を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.95

呼出時間設定……▶**呼出時間（000～120秒）を入力**
設定すると「呼出時間設定」に「★」が付きます。0秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。

開始……転送でんわサービスを開始します。

転送サービス停止……転送でんわサービスを停止します。

転送先変更……転送先の電話番号を入力し、転送でんわサービスを「開始」にしている場合は「転送先変更」を、「停止」にしている場合は「転送先変更＋転送開始」を選択します。

転送先通話中時設定……転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
※「留守番電話サービス」へのご契約が必要です。

転送サービス設定確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

おしらせ

<転送サービス開始>
- すでに転送先が設定されている場合は、「転送先設定」、「呼出時間設定」の操作を省略することができます。
- 「遠隔監視設定」を同時に設定しているときに転送でんわサービスを優先させるには、転送でんわサービスの呼出時間を「遠隔監視設定」の呼出時間よりも短く設定してください。
- 「呼出時間表示設定」で設定した無音時間設定が転送でんわサービスの呼出時間より長いと、着信音鳴動を行わず、転送でんわサービスに移行します。着信音鳴動を行ってから転送でんわサービスに移行させるには、転送でんわサービスの呼出時間を無音時間設定よりも長く設定してください。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 待受画面表示中 ▶ 1 4 2 9 ▶ 発信キー

・音声ガイダンスに従って設定してください。
・詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス　お申し込み必要

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「迷惑電話ストップ」▶以下の項目から選択

迷惑電話着信拒否登録……最後に着信応答した迷惑電話を拒否登録します。

電話番号指定拒否登録……電話番号を入力、もしくは電話帳や着信履歴などから引用して拒否登録します。
▶電話番号を入力または引用▶「YES」▶「OK」
・電話番号の一部を入力し □ または □ を押すと電話帳を検索して入力できます。
・□ または □ を押すと電話帳を検索して入力できます。
電話帳の検索のしかた→P.95
・□を押すと着信履歴、□を押すとリダイヤルを検索して入力できます。

迷惑電話１登録削除……最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

迷惑電話全登録削除……拒否登録した電話番号をすべて削除します。

拒否登録件数確認……拒否登録した件数を確認します。

番号通知お願いサービス　お申し込み不要

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

● 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「番号通知お願いサービス」▶以下の項目から選択

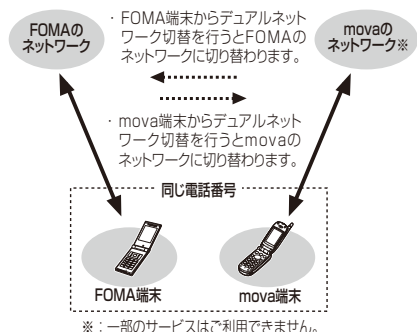
番号通知お願い開始・番号通知お願い停止……番号通知お願いサービスを開始または停止します。

番号通知お願い確認……現在のサービスの設定内容を確認します。

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。
- mova端末からの操作についてなど、詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスについて

デュアルネットワークサービスを利用する

1 **MENU ▶「SERVICE」▶「デュアルネットワーク」▶以下の項目から選択**

デュアルネットワーク切替……▶「YES」▶ネットワーク暗証番号を入力

デュアルネットワーク状態確認……FOMA端末の利用可能／不可能状態を確認します。

おしらせ

<デュアルネットワーク切替>
- ネットワークの切り替えを行う場合は、利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えの操作を行ってください。

英語ガイダンス

お申し込み不要

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

項目	言語	ガイダンス
発信時（各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを含む）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	英語	英語ガイダンスが流れます。
着信時（相手がかけてきたときに相手に流れるガイダンス）	日本語	日本語ガイダンスが流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。

英語ガイダンスを利用する

1 **MENU ▶「SERVICE」▶「英語ガイダンス」▶以下の項目から選択**

ガイダンス設定……設定内容を以下の項目から選択します。

発信時＋着信時……発信時の言語を「日本語」、「英語」から選択し、次に着信時の言語を「日本語」、「日本語＋英語」、「英語＋日本語」から選択します。

発信時……発信時の言語のみを「日本語」、「英語」から選択します。

着信時……着信時の言語のみを「日本語」、「日本語＋英語」、「英語＋日本語」から選択します。

ガイダンス設定確認……現在のガイダンスの設定内容を確認します。

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

● お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 MENU ▶「SERVICE」▶「サービスダイヤル」▶以下の項目から選択

ドコモ故障問合せ……故障の問い合わせ先へ電話をかけます。

ドコモ総合案内・受付……総合案内・受付へ電話をかけます。

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」をご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●「通話中の着信動作選択」を利用するには、「通話中着信設定」を「通話中着信設定開始」に設定してください。

通話中の着信動作を選択する <通話中の着信動作選択>

お買い上げ時 通常着信

1 MENU ▶「SERVICE」▶「通話中の着信動作選択」▶以下の項目から選択

留守番電話……「キャッチホン」や「留守番電話サービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

転送でんわ……「キャッチホン」や「転送でんわサービス」の設定にかかわらず、通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。

着信拒否……通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。

通常着信……音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中（「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき）、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。

・通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。

・通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。→P.334

・「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

「通話中の着信動作選択」で選択した機能設定を有効／無効にしたり、設定内容を確認します。

1 MENU ▶「SERVICE」▶「通話中着信設定」▶以下の項目から選択

通話中着信設定開始……「通話中の着信動作選択」の設定を有効にします。

通話中着信設定停止……「通話中の着信動作選択」の設定を無効にします。

通話中着信設定確認……現在の設定を確認します。

通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答する

● 通話中と着信が同じ種類の場合

＜例：通話中の音声電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら ☎

通話中の電話が切れ、着信音が鳴ります。

■ テレビ電話、64Kデータ通信の場合
着信中画面が表示されます。
▶ ☎

2 ☎

かかってきた音声電話を受けます。

■ 64Kデータ通信の場合
▶パソコン側で着信操作を行う

● 通話中と着信の種類が異なる場合

音声通話中にテレビ電話または64Kデータ通信の着信があったとき、テレビ電話中に音声電話または64Kデータ通信の着信があったとき、64Kデータ通信中に音声電話またはテレビ電話の着信があったときは次の操作をすれば通話中の電話や64Kデータ通信を終了して着信に応答できます。

＜例：通話中のテレビ電話を終了して、かかってきた音声電話に出る場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえ、音声電話着信中画面が表示される

64Kデータ通信の着信があった場合は「ププ・・ププ・・」という音は鳴りません。

2 ☎

■ 64Kデータ通信の場合
▶ ☎ ▶パソコン側で着信操作を行う

手動で着信拒否したり、転送でんわサービスや留守番電話サービスに接続する

＜例：通話中着信設定が「通話中着信設定開始」、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合＞

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら、α［機能］

■ 音声通話中に音声電話の着信以外の場合
▶ α［機能］

2 かかってきた電話の対応方法を選択

■ かかってきた電話を着信拒否する場合
▶「着信拒否」

■ かかってきた電話を転送先へ転送する場合
▶「転送でんわ」

■ かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続する場合
▶「留守番電話」

いずれの場合も最初の相手との通話に戻ることができます。

〈遠隔操作設定〉
遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 MENU▶「SERVICE」▶「遠隔操作設定」▶以下の項目から選択

遠隔操作開始・遠隔操作停止……遠隔操作を開始または停止します。

遠隔操作設定確認……現在の遠隔操作の設定内容を確認します。

マルチナンバー

お申し込み必要

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけます。

- FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発着信中画面には、マルチナンバー（基本契約番号、付加番号1、付加番号2）に対応した登録名が表示されます。
- リダイヤル／発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

マルチナンバーを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

通常発信番号設定……通常発信するときに使用する電話番号を設定します。

基本契約番号……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1・付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

※：登録名を変更している場合は、付加番号1・2には、それぞれの登録名が表示されます。

通常発信番号設定確認……通常発信番号の設定内容を確認します。

電話番号設定……マルチナンバーご契約時に通知された付加番号をFOMA端末に登録します。

▶付加番号を登録（または変更）する項目を反転▶✉［編集］▶登録名を入力▶付加番号を入力

登録名は全角8文字、半角16文字まで、付加番号は26桁まで入力できます。

- 「電話番号設定」を選択したときに表示される「マルチナンバー電話番号設定画面」の機能メニューについて→P.336

着信音設定……付加番号1または付加番号2に着信したときの着信音をそれぞれ設定します。

「携帯電話から鳴る着信音を変える」→P.108

おしらせ

<電話番号設定>

- 登録名は、マルチナンバーの各種設定操作を行うときや、通話ごとに使用する電話番号を選択したときなどに表示されます。

<着信音設定>

- 着信音の設定が重なった場合の優先順位については、P.110をご覧ください。

機能 マルチナンバー電話番号設定画面

1 マルチナンバー電話番号設定画面▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……付加番号を編集します。

1件削除・全削除……付加番号を1件または全削除します。

1回の通話ごとに電話番号を切り替えて発信する

電話をかけるたびに使用する電話番号を切り替えて発信します。

1 電話番号入力画面（P.52）▶α［機能］▶「マルチナンバー」▶以下の項目から選択

基本契約番号……ご契約の電話番号（基本契約番号）で発信するように設定します。

付加番号1・付加番号2※……付加番号で発信するように設定します。

※：登録名を変更している場合は、付加番号1・2には、それぞれの登録名が表示されます。

発番号設定消去……設定を解除し「通常発信番号設定」の設定した内容になります。

おしらせ

- 電話帳の詳細画面、リダイヤル／発信履歴／着信履歴の詳細画面などの機能メニューからも電話番号を切り替えて発信できます。

OFFICEED

お申し込み必要

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

〈追加サービス〉

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 「サービスコード」は追加サービス登録画面の「USSD」という項目に入力します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 MENU▶「SERVICE」▶「追加サービス」▶以下の項目から選択

追加サービス……新しいサービスを登録します。

▶「<未登録>」を反転▶α［機能］▶「設定追加」▶サービス名を入力▶以下の項目から選択

サービス名は、全角10文字、半角20文字まで入力できます。

特番……特番で接続します。

▶番号を入力▶「YES」

番号は20桁まで入力できます。

USSD……サービスコードで接続します。

▶番号を入力▶「YES」

番号は40桁まで入力できます。

- 「追加サービス」を選択したときに表示される「追加サービス画面」の機能メニューについて→P.337

応答メッセージ設定……登録したネットワークサービスを「サービスコード（USSD）」で利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。

▶「<未登録>」を反転▶α［機能］▶「設定追加」▶コマンドを入力▶応答メッセージを入力▶「YES」

コマンドは20桁まで、応答メッセージは全角10文字、半角20文字まで入力できます。

- 「応答メッセージ設定」を選択したときに表示される「応答メッセージ設定画面」の機能メニューについて→P.337

おしらせ

<追加サービス>

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード（USSD）」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

機能 追加サービス画面／応答メッセージ設定画面

1 追加サービス画面／応答メッセージ設定画面▶α［機能］▶以下の項目から選択

設定追加……設定を追加します。

設定変更……設定を変更します。

1件削除・全削除……追加サービス、応答メッセージを1件または全削除します。

登録したサービスを利用する

1 MENU▶「SERVICE」▶「追加サービス」▶「追加サービス」

2 サービスを選択▶●［送信］

●データ通信

データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「データ通信マニュアル」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプをご覧ください。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

利用できるデータ通信の種類

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。
FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※ データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金され、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信します。多くのデータ量をやりとりするのに適しています。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64K アクセスポイントを利用します。
FOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※ 長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブルを使ってデータを送受信します。FOMA USB接続ケーブルを使って、パソコンとデータ転送を行うときには、後で説明するN703iμ通信設定ファイル以外に、ドコモケータイdatalink（P.342）もインストールする必要があります。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
・DoPaのアクセスポイントには接続できません。
・PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

●データ通信の用語集

管理者権限
Windows 2000およびWindows XPのシステムでは、この権限を持たないユーザーはシステムへのアクセスが限定されているため、ドライバやソフトのインストール／アンインストールができません。

APN（Access Point Name）
パケット通信で、接続先のインターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列です。たとえばmopera Uの場合は「mopera.net」のように表します。

cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号のことです。電話帳のメモリ番号のようなもので、1～10までの10件が登録できます。

DNS（Domain Name System）
「nttdocomo.co.jp」のようなドメインネームを、コンピュータが管理しやすいように数字で表したIPアドレスに変換するシステムのことです。

OBEX（Object Exchange）
IrDAが規定したデータ通信についての国際規格（プロトコル）です。OBEX規格に対応した機器やソフトウェアを使うことで、携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどさまざまな情報機器間で、データ転送を行うことができます。

QoS（Quality of Service）
ネットワークの通信速度に関するサービス品質のことで、FOMA端末のQoS設定では、どんな速度でも接続するか、あるいは最高速度で接続するかを設定できます。

W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項 目	説 明
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	・Windows 2000、Windows XP（各日本語版）
必要メモリ	・Windows 2000：64Mバイト以上※2 ・Windows XP：128Mバイト以上※2
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2：必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

おしらせ

- FOMA N703iμをドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- FOMA N703iμは、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA N703iμは、FAX通信には対応していません。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）
・付属のCD-ROM「FOMA N703iμ用CD-ROM」

おしらせ

- USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA充電機能付USB接続ケーブル01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- 本書では「FOMA USB接続ケーブル」の場合で説明しています。

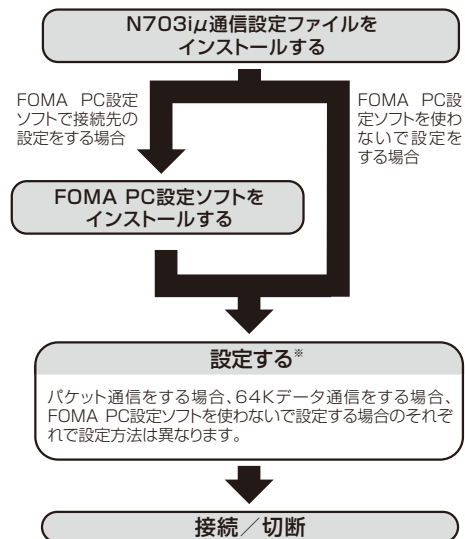
手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続します。

■付属の「FOMA N703iμ用CD-ROM」に収録されているソフトについて

- N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。
- N703iμ通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N703iμ通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

■パケット通信／64Kデータ通信の場合

設定する※

パケット通信をする場合、64Kデータ通信をする場合、FOMA PC設定ソフトを使わないで設定する場合のそれぞれで設定方法は異なります。

接続／切断

※：FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもあります。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

■データ転送（OBEX）の場合

N703iμ通信設定ファイルを インストールする

※ドコモケータイ detalink（P.342）もインストールしてください。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデムなどの制御に使われるコマンド体系の1つで、FOMA端末はATコマンドに準拠しています。さらにFOMA端末では拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「データ通信マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書（PDF）が収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

収録ソフトウェア／PDF

付属のCD-ROMに収録されているソフトウェア／PDFは以下のとおりです。

- N703iμ通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- SD-Jukebox
- PDF版「データ通信マニュアル」／「Manual for Data Communication」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader® 7.0
- mopera Uのご案内

CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。

※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記ホームページへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、「ドコモケータイdatalink」をご利用になるには、別途「FOMA USB接続ケーブル（別売）」の購入が必要となります。

●文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同 CD-ROM 内の Adobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、Adobe Readerヘルプをご覧ください。

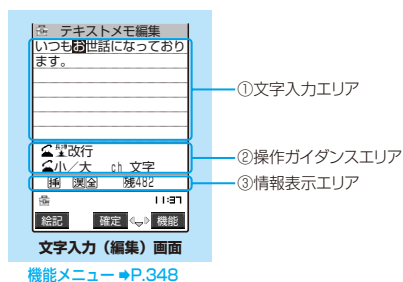
文字入力について

FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2 タッチ方式」「T9 入力方式」の3 方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

● 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
「文字入力方式を設定する」→ P.345
「かな方式で文字を入力する」→P.345
「2タッチ方式で文字を入力する」→P.353
「T9入力方式で文字を入力する」→P.354

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。

文字入力（編集）画面
機能メニュー ➡P.348

①文字入力エリア

アイコン	説明
■	カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

②操作ガイダンスエリア

アイコン	説明
▲ ▼ 変換	[↕] で変換できるときに表示
▲ ▼ 全件 ▲ ▼ 検索	[↕] で電話帳検索ができるときに表示
[✳] 固定入力 [✳] 固定終了	[✳] を押して固定入力モードの開始／終了ができるときに表示→P.355
◀ ▶ ▲ ▼ 領域	文字コピー（切り取り）の範囲指定時に表示
[☎] 長押 改行	[☎]（1 秒以上）で改行できるときに表示
[☎] 小／大	[☎] で入力した文字の小文字／大文字切り替えができるときに表示
[☎] AA→aa	[☎] を押してCapsLockモードを解除できるときに表示→P.347
[☎] aa→Aa	[☎] を押してShiftモードにできるときに表示→P.347
[☎] Aa→AA	[☎] を押してCapsLockモードにできるときに表示→P.347

アイコン	説明
[↶] 逆順	かな方式で文字を入力中に [ ] [↶] で前の読みに戻せるときに表示（例：え→う）
ch文字	[ch] で入力する文字種（[漢] [カナ] [英] [数]）が切り替えられるときに表示

③情報表示エリア

アイコン	説明
[2] [T9]	文字入力方式（2タッチ方式／T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
[固]	固定入力モード→P.355
[挿] [上]	挿入モード／上書きモード
[漢] [カナ] [英] [数]	入力できる文字種
[区]	区点入力モード→P.351
[全] [半]	全角モード／半角モード
[小]	小文字入力モード
[Shift] [CAPS LOCK]	「Shiftモード」または「CapsLockモード」のときに表示→P.347
[残]	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
[入]	FOMAカード電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

ガイダンス表示を設定する

お買い上げ時 ON

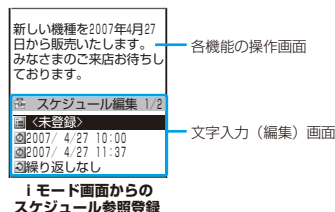
文字入力（編集）画面の操作ガイダンスエリア（P.344）を表示するかどうかを設定します。

1 [MENU] [3] [5] ▶「ガイダンス表示」▶「ON」

■ 表示しない場合
▶「OFF」

分割画面について

スケジュールの参照登録など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。

iモード画面からのスケジュール参照登録

● 以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
・ｉモード画面からのスケジュール参照登録
・ｉモード画面からの辞典検索によるサイト参照入力
・チャットメールのチャット画面
・文字編集から辞典検索を実行後の参照編集

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、機能メニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

おしらせ

- 操作する画面を切り替えても、入力した文字やカーソル位置は切り替える前の状態のまま保持されます。
- 読みの入力中は操作する画面を切り替えることはできません。ただし、英字入力モードで、[＊]を押して「http://」などを入力する場合は、操作する画面の切り替えが可能です。そのとき、入力中の文字列が自動確定されます。
- 編集画面の表示中に ｉモード画面の操作に切り替えた場合、操作できるのは画面のスクロールのみとなります。
- チャットメールのチャット画面では、画面の切り替えはできません。

文字入力方式を設定する

お買い上げ時	入力モード：モード１（かな方式）

３つの文字入力方式（かな方式／２タッチ方式／T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 [MENU][3][5]▶「入力モード」▶文字入力方式を選択

おしらせ

- 文字の入力中に文字入力方式を切り替えることもできます。[✉]［絵記］を１秒以上押すか、機能メニューから「入力モード切替」を選択します。

文字入力サイズを切り替える

お買い上げ時
標準

文字入力（編集）画面や、記号／顔文字／絵文字入力画面の文字サイズを「縮小／標準／拡大１／拡大2」の４種類から選択します。

1 [MENU][3][5]▶「入力サイズ切替」▶入力サイズを選択

ワード予測を設定する

お買い上げ時
ON

ワード予測を利用するかしないか（ON／OFF）を設定します。

● お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。

1 [MENU][3][5]▶「ワード予測」▶「ON」または「OFF」

〈モード１（かな方式）〉

かな方式で文字を入力する

１つのダイヤルボタンを何回か押し、１つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行」の「あいうえお」の３番目なので、[1]を３回押します。

● 文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.368）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナなど、目的の文字に変換します。

● ワード予測を利用して入力する

ワード予測には、１文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。

<例：「携帯電話」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶漢字ひらがな入力モードにする

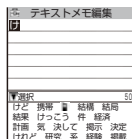
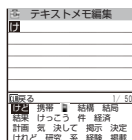
「漢字ひらがな入力モード（[漢][全]）」になっていない場合は、[ch]で切り替えます。

2 読みの一部を入力

[2]を4回

け

文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、１文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。

3 [□]

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。

■ 予測候補が表示されない、または入力したい文字が予測候補にない場合

そのまま読みを入力すると、予測候補も変更されます。または変換機能を利用します。

「入力したひらがなを変換する」→P.346

4 予測候補を選択

▶「携帯」を選択▶「電話」を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。

■ 予測候補の選択から読みの入力に戻る場合

▶CLR

■ 予測候補表示を閉じる場合

▶α［閉］

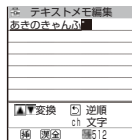
おしらせ

- 予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
- 漢字ひらがな入力モード以外では予測候補は表示されません。
- 学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます（お買い上げ時に登録されている予測候補は元の位置に戻ります）。
  すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」でワード予測の学習履歴をクリアします。

● 入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、ワード予測をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。

<例：「秋のキャンプ」と入力する場合>

1 ひらがなを入力

■ ボタンを押し間違えた場合

▶CLRで文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合

▶［↩］

同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ 続けて同じボタンに割り当てられている文字を入力する場合

▶またはもう一度そのボタンを1秒以上押す

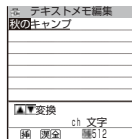
カーソルが移動して、次の文字が入力できるようになります。

■ ひらがなで確定する場合

▶●［確定］

2 入力した文字を編集する

▶α［変換］で漢字やカタカナなどに変換

最初の文節の変換候補が反転表示され、残りの未確定文字はアンダーライン（_）で表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合

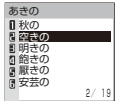
▶●［確定］

変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合

▶α［変換］で変換候補を表示▶変換する文字を選択

反転表示している文節の変換候補が一覧で表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。

変換範囲の読みがすべて「あ」段の文字の場合、数字も変換候補として表示されます。たとえば123と入力した場合、「123」という変換候補も表示されます。

■ 変換範囲を変更する場合

▶で変換範囲を変更

変換した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合

▶✉［英数］

入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば23✉［英数］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。

日付（10/19など）や時刻（10:19など）として表示可能な2～4桁の数字は、その変換候補も表示されます。

おしらせ

- 変換候補の一覧に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
  変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
  ・「記号・特殊文字一覧」→P.371
  ・「絵文字一覧」→P.372
  ・「顔文字一覧」→P.375
- 記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.347）および文字入力（編集）画面の機能メニュー（P.348）をご覧ください。
- 変換できる読み（ひらがな）は20文字まで、一括変換できるのは6文節までです。
- 希望の漢字に変換されない場合は、読みを音読みや訓読みに変更すると表示される場合があります。
- 一度に変換できない2文字以上の漢字は、1文字ずつ変換してください。
- 変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。
  →P.351

● 文字数とスクロールについて

■ 残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「゛」と半濁点「゜」は、1文字分としてカウントされます。

■ スクロールについて

文字入力（編集）画面では、で行単位、［MEMO／CHECK］、［↩］でページ単位のスクロールができます。

変換候補一覧では、で行単位、または［MEMO／CHECK］、［↩］でページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

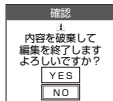
文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。

電話帳の再編集について→P.92

■☎を押した場合

文字の入力中に☎を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終了する場合>

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。

☎を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。

CLRを押しても文字入力(編集)画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、機能メニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
ch	●かな方式、T9入力方式ではchを押すたびに、入力する文字種が次のように切り替わります。 漢字ひらがな（漢全）→ カタカナ（ｶﾅ半）→ 英字（英半）→ 数字（数半） ※機能メニューから「全角切替」を選択すると、カタカナ・英字・数字は全角で切り替わります。 ●2タッチ方式ではchを押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角（全）→ 半角（半）
☎	●すでに入力した文字の「小文字／大文字」を切り替えます。 ●T9入力方式の英字入力では☎を押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 CapsLockモード→モード解除→Shiftモード ・CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ・モード解除：すべて小文字で入力されます。 ・Shiftモード：モードを切り替えた直後の1文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shiftモードが解除されます）。 ※操作ガイダンスエリアに以下のアイコンが表示されているときのみ有効です。 ☎Aa→AA／AA→aa／aa→Aa ※「英字（英全）」モードまたは「英字（英半）」モードにした直後は、CapsLockモードで起動します。
☎（1秒以上）	改行マーク「↵」を入力し、カーソルを次の行に移動します。
✉［絵記］	絵文字や記号を連続して入力します。絵文字・記号の一覧表示中は✉［絵記］を押すたびに、次のように切り替わります。 絵文字1入力 → 絵文字2入力 → 絵文字D入力※→ 全角記号入力 → 特殊記号入力 → 半角記号入力 ※：絵文字D（デコメ絵文字）の一覧は、iモードメール本文入力画面でのみ表示されます。 連続入力を終了するときはCLRを押します。 記号・特殊文字一覧→P.371 絵文字一覧→P.372
✉［絵記］（1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 ✉［絵記］（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式 → 2タッチ方式 → T9入力方式
◎	カーソルが文末にあるとき、◎を押すとスペースが入力され、◎を押すと改行マークが入力されます。
＊	区点入力モードになります。→P.351 ※文字入力方式が、かな方式、2タッチ方式の場合のみ有効です。

おしらせ

<✉［絵記］（絵文字記号連続入力）>

- 絵文字1、絵文字2、デコメ絵文字（絵文字D）、全角記号、特殊記号、半角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。機能メニューから「絵文字入力」や「記号入力」を選択したときも絵文字・記号は記憶されます。
- α［全画］を押すと、全画面表示に切り替わり、「絵文字入力」または「記号入力」に移行します。

機能 文字入力（編集）画面

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶以下の項目から選択

顔文字入力……顔文字一覧を表示します。
▶**顔文字を選択**
顔文字一覧では反転した顔文字が2行表示になり、読み（意味）も表示されます。

小文字切替⇔大文字切替……これから入力する文字の「小文字／大文字」を切り替えます。

半角切替⇔全角切替……半角／全角を切り替えます。

コピー・切り取り・貼り付け……「文字のコピー／切り取り／貼り付け」→P.351

定型文入力……「定型文を入力する」→P.349

スペース入力……スペース（空白）を入力します。
全角入力の場合は全角スペース、半角入力の場合は半角スペースが挿入され、ともに1文字分として文字数にカウントされます。

改行入力……改行マーク「↲」を入力し、カーソルを次の行に移動します。☎（1秒以上）を押したとき、および文末で▢を押したときと同じ機能です。
→P.347

記号入力……記号・特殊文字一覧を表示します。
▶**記号を選択**

絵文字入力……絵文字一覧を表示します。
▶**絵文字を選択**

区点入力……「区点コードで入力する」→P.351

上書きモード⇔挿入モード……「上書きモード」と「挿入モード」を切り替えます。
文字を入力すると、「挿入モード」ではカーソルの前に文字が挿入され、「上書きモード」ではカーソルの位置に文字が上書きされます。文字入力（編集）画面を表示したときは常に挿入モードになります。

データ引用……各種データを引用入力します。

電話帳引用・マイプロフィール引用……「電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する」→P.349

バーコードリーダー……「コードを読み取る」→P.171

辞典検索……辞典を起動します。→P.319

ワード予測OFF⇔ワード予測ON……ワード予測のOFF／ONを設定します。→P.345

入力モード切替……文字入力方式（かな方式／2タッチ方式／T9入力方式）を切り替えます。✉［絵記］（1秒以上）を押したときと同じ機能です。

T9かな変換モード⇔T9漢字変換モード……T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字をかなに変換するか、漢字に変換するかを設定します。

JUMP……カーソルを文頭または文末へ移動します。

UNDO……入力した文字を1つ前の状態に戻します。

ウィンドウ切替……分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.344

おしらせ

<顔文字入力>
- 選択した顔文字は、次回顔文字を一覧表示したときに最初に表示されます。

<半角切替・全角切替>
- 「漢字ひらがな入力モード」の場合は全角／半角を切り替えられません。

<改行入力>
- 改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。
- 改行マーク「↲」は、全角1文字分として文字数にカウントされます。ただし、SMS本文入力では改行のカウント方法が異なります。→P.237
- ｉモードのテキストボックスでは、改行マーク「↲」を入力できない場合があります。

<記号入力>
- メールアドレスの登録画面、ｉモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。
- 半角のみ入力できるときには、半角記号のみが表示されます。
- 記号・特殊文字一覧表示中でも絵文字を入力することができます。一覧表示中は✉を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 記号・特殊文字一覧を表示後でも、α［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

<絵文字入力>
- 絵文字1、絵文字2、デコメ絵文字（絵文字D）それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字が表示されます。
- 絵文字一覧表示中でも記号・特殊文字を入力することができます。一覧表示中は✉を押すたびに、一覧が切り替わります。
- 絵文字一覧を表示後でも、α［連続］を押すと「絵文字記号連続入力」に移行できます。

<入力モード切替>
- 文字入力方式の切り替えは現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、文字入力方式の設定値（P.345）に戻ります。
- 郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。

<T9かな変換モード／T9漢字変換モード>
- 設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「T9変換モード」で設定した変換モードに戻ります。

文字を削除する

[方向キー]で削除したい文字にカーソルを合わせ、CLRを短く（1秒未満）押します。カーソル上の文字が削除されます。

■ カーソル上に文字がない場合
カーソルの左側の1文字が削除されます。

■ CLRを1秒以上押した場合
カーソル上の文字とそれより右側にあるすべての文字が削除されます。

■ カーソルより右側に文字がないときにCLRを1秒以上押した場合
すべての文字が削除されます。

定型文を入力する

● お買い上げ時に登録されている「固定定型文」については、P.376をご覧ください。

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「定型文入力」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶●［選択］

おしらせ

● 定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
- テキストメモ
- ｉモードメールの題名
- 定型文
- ｉモードメールの本文
- 定型文のフォルダ名
- ｉモードメールの冒頭文
- 自動振分け設定の題名入力
- ｉモードメールの署名
- メール検索の題名入力
- ｉモードメールの引用符
- ｉモードのテキストボックスでの編集
- スケジュール
- ｉアプリでの文字編集
- アラーム
- 辞典
- To Doリスト
- ウェイクアップのメッセージ

● 固定定型文は文字入力方式によって表示される内容（表現）が以下のように異なります。なお、変更した固定定型文および自作定型文は文字入力方式にかかわらず登録された内容（表現）で表示されます。
- かな方式、T9入力方式：漢字ひらがな入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
漢字ひらがな入力モード以外のときは、半角カタカナで表示されます。
- 2タッチ方式：全角入力モードのときは、漢字ひらがなで表示されます。
半角入力モードのときは、半角カタカナで表示されます。

電話帳やマイプロフィールなどから引用して入力する

メール、サイト、テキストメモなどの文字入力（編集）画面で、「電話帳」および「マイプロフィール」に登録されている名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモを引用して入力します。
カメラを起動してバーコードを読み取り、引用することもできます。

● 一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶α［機能］▶「データ引用」▶以下の項目から選択

電話帳引用……▶「グループ検索」、「行検索」または「全検索」を選択▶引用したい電話帳を検索▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］

マイプロフィール引用……▶端末暗証番号を入力▶[方向キー]で□（チェックボックス）を選択▶[メール]［完了］

バーコードリーダー……「コードを読み取る」→P.171

おしらせ

● 住所を引用する場合は、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

<マイプロフィール引用>
● 住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
● 所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

〈定型文登録〉

定型文を修正／登録する

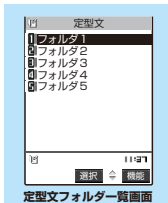
よく使う言葉をあらかじめ定型文として登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。

- 定型文は5つのフォルダに分けて保存されます。
  フォルダ1～2には、あらかじめ固定定型文がそれぞれ10件登録されています。→P.376
  フォルダ3～5には自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
- 固定定型文の内容は修正することもできます。
- フォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

新しい定型文を作成する

1 MENU 3 8

「定型文フォルダ一覧画面」が表示されます。

定型文フォルダ一覧画面

機能メニュー➡P.350

2 フォルダを選択

「定型文一覧画面」が表示されます。

定型文一覧画面

機能メニュー➡P.350

3 「<未登録>」を反転▶✉［編集］▶定型文を入力

全角64文字、半角128文字まで入力できます。

おしらせ

- メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。i モードメールを他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）の機器に送信すると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。ただし、送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
- 固定定型文は、文字入力方式がかな方式またはT9入力方式の「漢字ひらがな入力モード」、2タッチ方式の「全角入力モード」のときに「漢字ひらがな表現」で呼び出され、それ以外のときは「半角カタカナ表現」で呼び出されます。

機能 定型文フォルダ一覧画面

1 定型文フォルダ一覧画面（P.350）▶α［機能］▶以下の項目から選択

フォルダ名編集……フォルダ名を変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

フォルダ名初期化……お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

おしらせ

- フォルダ名を変更するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、お買い上げ時のフォルダ名になります。

機能 定型文一覧画面

1 定型文一覧画面（P.350）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……定型文を編集します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

1件削除・全削除……定型文を1件または全削除します。

おしらせ

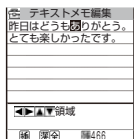
- 変更した固定定型文を削除した場合、お買い上げ時の内容に戻ります。なお、変更していない固定定型文は削除できません。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

● コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶[α]［機能］▶「コピー」または「切り取り」

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字にカーソルを移動▶[●]［始点］

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶[●]［終点］

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

文字を貼り付ける

● コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶[α]［機能］▶「貼り付け」

■ 貼り付け先の文字入力（編集）画面で入力できない文字が含まれている場合

スペースに置き換えたことを通知するメッセージが表示され、スペースが貼り付けられます。

〈区点入力〉

区点コードで入力する

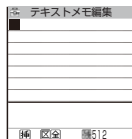
4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

● 区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

● 画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

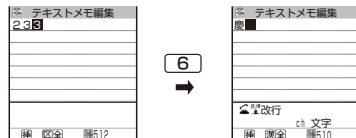
<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶[＊]

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「[区]」が表示されます。

■ T9入力方式の場合

▶文字入力（編集）画面▶[α]［機能］▶「区点入力」

2 区点コード[2][3][3][6]を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

おしらせ

● かな方式または2タッチ方式の場合でも、機能メニューから「区点入力」を選択して区点入力モードに切り替えることができます。

〈ユーザ辞書〉

よく使う単語を登録する

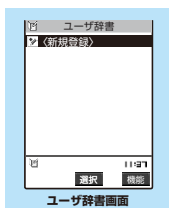
お買い上げ時 未登録

よく使う単語をお好きな読みでユーザ辞書に登録し、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換できるようにします。

- ユーザ辞書は100件まで登録できます。
- 単語は全角10文字、半角20文字まで入力できます。読みは全角ひらがなで10文字まで入力できます。

新しい単語を登録する

1. MENU 8 2

「ユーザ辞書画面」が表示されます。

ユーザ辞書画面

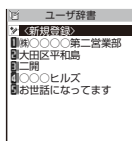
機能メニュー ➡P.352

2. 「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

おしらせ

- 改行、定型文は単語および読みに入力できません。スペースは自動的につめて登録されます。
- 読みに濁点、半濁点以外の記号（、。？！・）は登録できません。
- 登録した単語はワード予測でも入力できるようになります。ただし、読みによっては一度変換して入力しないと予測候補に表示されないものもあります。

単語の内容を確認する

1. MENU 8 2

2. 単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合
▶変更したい単語を反転▶✉［編集］

機能 ユーザ辞書画面

1. ユーザ辞書画面（P.352）▶α［機能］▶以下の項目から選択

編集……登録した単語を編集します。

赤外線送信……「赤外線通信でデータを1件ずつ転送する」→P.289

赤外線全送信……「赤外線通信でデータをまとめて転送する」→P.289

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.40

〈学習履歴クリア〉

学習履歴を初期状態に戻す

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習履歴）をクリア（お買い上げ時の初期状態に戻す）します。

1. MENU 3 5▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力▶以下の項目から選択

T9／ワード予測／絵文字記号……T9入力方式、「ワード予測」、「絵文字」および「記号」で蓄積した学習履歴をクリアします。

かな漢字変換／顔文字……かな漢字変換で蓄積した学習履歴および顔文字入力画面の並び順をクリアします。

〈ダウンロード辞書〉

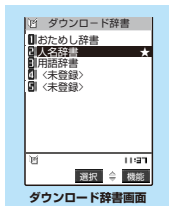
ダウンロードした辞書を使用する

お買い上げ時 未登録

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。

- ダウンロード辞書は5件まで登録できます。
- ダウンロード時は有効に設定されます。
- 辞書のダウンロードのしかたについて→P.187

1 MENU▶「OWN DATA」▶「ダウンロード辞書」

「ダウンロード辞書画面」が表示されます。

ダウンロード辞書画面

機能メニュー➡P.353

2 辞書を選択

有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ 無効に設定する場合

▶「★」が付いている辞書を選択

無効に設定されて「★」が消えます。

おしらせ

- 顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、その辞書の顔文字が機能メニューの「顔文字入力」を選択したときの画面に追加され、最大600件（内蔵100件を含む）まで一覧表示されます。
- 顔文字のダウンロード辞書を2件登録し、2件とも有効にした場合、最初に有効にしたダウンロード辞書の顔文字が一覧表示されます。

機能 ダウンロード辞書画面

1 ダウンロード辞書画面（P.353）▶α［機能］▶以下の項目から選択

タイトル編集……ダウンロード辞書のタイトルを変更します。全角10文字、半角20文字まで入力できます。

辞書ファイル設定……ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報……ダウンロード辞書の情報を表示します。

1件削除・全削除……ダウンロード辞書を1件または全削除します。

おしらせ

- ダウンロード辞書のタイトルを編集するときに何も文字を入力しないで確定した場合は、元のタイトルに戻ります。

〈モード2（2タッチ方式）〉

2タッチ方式で文字を入力する

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。

たとえば「う」は、「あ行」の「あいうえお」の3番目なので、13と押します。

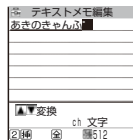
- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.369）をご覧ください。
- ワード予測で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.345

<例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶全角入力モードにする

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、chで切り替えます。

2 ひらがなを入力

〈モード3（T9入力方式）〉

T9入力方式で文字を入力する

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。
たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の6、「ら行」の9を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。

● T9入力方式の入力補助機能として、予測・変換候補に目的の文字がないときに読みを正しくする「読み編集機能」と、入力時に正しい読みを入力していく「固定入力機能」があります。
● 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.370）をご覧ください。
● T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな（漢全）」、「カタカナ（ｶﾅ全）」、「カタカナ（ｶﾅ半）」、「英字（英全）」、「英字（英半）」のときです。「数字（数全）」、「数字（数半）」では自動的に「かな方式」になります。

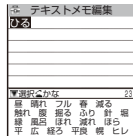
<例：「春」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.344）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢全）」になっていない場合は、chで切り替えます。

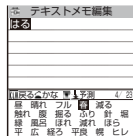
2 文字を入力

6（は行）　9（ら行）

「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。

■ 入力した文字が多すぎる場合
認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ 予測・変換候補の表示（漢字／かな／英字）を切り替える場合
▶

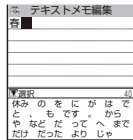
3

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

■ 文字の入力に戻る場合
▶CLR

■ 反転した読みに対する予測候補を表示する場合
予測・変換候補を反転し、（1秒以上）を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。
たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合
予測・変換候補を反転し、α［変換］を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。
たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

4 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。

おしらせ

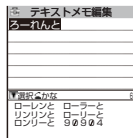
● T9入力方式の場合、学習した予測候補が表示されるのは1文字入力時のみです。

● 読みを編集する

<例：「らんらんと」と入力する場合>

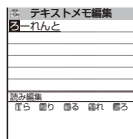
1 文字を入力

9（ら行）、0（わ行）、
9（ら行）、0（わ行）、
4（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

2 ［読み］

読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

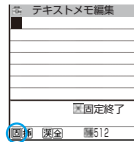
この場合1（ら）を押します。
文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

■ 読みを修正しない場合
▶で次に修正する文字にカーソルを移動

■ 途中で編集を終了する場合
▶［戻る］
終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

● 固定入力で読みを入力する

<例：「らんらんと」という読みを入力する場合>

1 **＊（固定入力）**

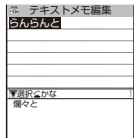
固定入力モードになり、情報表示エリアの「あ」が「固」に変わります。

2 **入力したい文字が割り当てられている行のボタンを押す**

この場合 9 を押します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 **入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す**

この場合 1 （ら）を押します。
同じように操作2～3を繰り返して続きの読みを入力します。

4 **＊（固定終了）**

＊（固定終了）を押すと変換候補が表示されます。

T9変換モードを設定する

お買い上げ時 T9漢字変換モード

T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字やカタカナに変換（T9漢字変換モード）するか、ひらがなに変換（T9かな変換モード）するかを設定します。

1 **MENU 3 5 ▶「T9変換モード」▶「T9漢字変換モード」または「T9かな変換モード」**

●付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー機能一覧

● ＿＿の項目は「設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。
● ①～⑨の設定リセット機能の詳細については、別表1（P.363）をご覧ください。

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
MAIL（メール）	受信BOX		–		–	P.221
	送信BOX		–		–	P.221
	保存BOX		–		–	P.213
	新規メール作成		✉✉		–	P.205
	チャットメール		–		–	P.232
	SMS作成		–		–	P.237
	ｉモード問い合わせ		✉（1秒以上）		–	P.217
	メール選択受信		–		–	P.216
	SMS問い合わせ		–		–	P.239
	テンプレート		–		–	P.211
	メール設定		–		–	P.230
i-MODE（ｉモード）	ｉMenu		–		–	P.176
	Bookmark		–		–	P.183
	画面メモ		–		–	P.184
	ラストURL		–		–	P.179
	Internet		–		–	P.182
	ｉチャネル		ch		–	P.199
	メッセージR／F		–		–	P.192
	ｉモード問い合わせ		✉（1秒以上）		–	P.192
	ユーザ証明書操作		–		–	P.193
	ｉモード設定		–		–	P.189
i-αPPLI（ｉアプリ）	ソフト一覧		α（1秒以上）		–	P.244
	microSD保存データ		–		–	P.251
	自動起動設定		–		–	P.248
	ｉアプリ実行情報		–		–	P.246
DATA BOX（データBOX）	マイピクチャ		MENU 4 6		①	P.255
	ミュージック		–		②	P.295
	ｉモーション		–		③	P.263
	メロディ		MENU 1 6		④	P.271
	キャラ電		–		⑤	P.269
	マイシグナル		–		–	P.274
LIFEKIT（LifeKit）	バーコードリーダー		–		–	P.171
	赤外線受信		MENU 7 9		–	P.289
	SD-PIM		–		–	P.279
	カメラ		📷（1秒以上）		⑥	P.158
	電話帳お預りサービス		–	電話帳内画像送信設定	しない	P.104
	スケジュール		MENU 4 5		⑦	P.306
	アラーム		MENU 4 4		すべてOFF	P.305
	To Doリスト		MENU 9 5		–	P.309
	テキストメモ		MENU 4 2		–	P.318
	電卓		MENU 8 5		–	P.318
	メモの再生／消去		［MEMO／CHECK］		–	P.80

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
LIFEKIT（LifeKit）	動画メモの再生／消去		－		－	P.80
	待受中音声メモ		MENU 4 3		－	P.314
	おしゃべり機能		MENU 9 1		－	P.315
	FOMAカード（UIM）操作		－		－	P.286
	マイプロフィール		MENU 0		⑧	P.50 P.313
	電話帳画像転送		－		する	P.291
	辞典		－		－	P.319
PHONEBOOK（電話帳）	－		－		⑨	P.91 P.94
OWN DATA（ユーザデータ）	着信履歴		MENU 2 4		－	P.58
	発信履歴		－		－	P.58
	メールメンバー		MENU 9 7		－	P.214
	チャットグループ		－		－	P.235
	直デン		－		－	P.102
	定型文		MENU 3 8		固定定型文初期状態（フォルダ名はフォルダ1、2）	P.350
	ユーザ辞書		MENU 8 2		－	P.352
	ダウンロード辞書		－		－	P.353
SETTINGS（各種設定）	スタイルモード		－		－	P.130
	着信	着信音量	MENU 5 0	電話～メッセージF	すべてLEVEL4	P.73
		着信音選択	MENU 1 3	電話／テレビ電話	Ease	P.108
				メール／チャットメール	Signal	
				メッセージR／メッセージF	Notify	
		SRS_WOW設定	MENU 6 4		OFF	P.110
		バイブレータ	MENU 5 4	電話～メッセージF	すべてOFF	P.110
		着信イルミネーション	MENU 8 9	着信イルミネーション選択	電話：色5 テレビ電話：色5 メール：色1 チャットメール：色3 メッセージR：色1 メッセージF：色1	P.122
				パターン設定	固定パターン	
				不在お知らせ	ON	
		マナーモード選択	MENU 2 0		マナーモード（オリジナルマナーの設定：初期値→P.115）	P.114
		電話帳画像着信設定	－		ON	P.118
		着信アンサー設定	MENU 5 8		エニーキーアンサー	P.72
		メール／メッセージ鳴動	MENU 6 8	メール～メッセージF	すべてON（鳴動時間：5秒）	P.112
		呼出時間表示設定	MENU 9 0	無音時間設定	OFF 無音時間：1秒 （無音時間設定「ON」設定時）	P.152
				時間内不在着信表示	表示する	
		確認機能設定	MENU 6 5		日本語表示のとき：ボイス 英語表示のとき：ON	P.77

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
SETTINGS（各種設定）	着信	伝言メモ	MENU 5 5		OFF 応答メッセージ：標準 （伝言メモ「ON」設定時） 呼出時間：13秒 （伝言メモ「ON」設定時）	P.78
	通話	ノイズキャンセラ	MENU 7 6		ON	P.68
		通話品質アラーム	MENU 7 5		アラーム高音	P.112
		再接続機能	MENU 7 7		アラーム高音	P.68
		通話中イルミネーション	−		OFF	P.123
		保留音設定	−	応答保留音	応答保留音1	P.74
				通話中保留音	エリーゼのために	
		クローズ動作設定	MENU 1 8		終話	P.72
	発信	ポーズダイヤル	MENU 8 4		−	P.63
		サブアドレス設定	−		ON	P.67
		プレフィックス設定	−		「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	P.64
		自動発信設定	−		OFF	P.322
		国際ダイヤルアシスト	−	自動変換機能設定	ON	P.66
				国番号設定	22件登録済み	
				国際プレフィックス設定	「WORLD CALL」 （009130010） ユーザ設定：未登録	
	テレビ電話	送信画質設定	−		標準	P.54
		画像選択	−	応答保留選択	内蔵	P.82
				通話保留選択	内蔵	
				代替画像選択	キャラ電（Dimo）	
				伝言メモ選択	内蔵	
				伝言メモ準備選択	内蔵	
				音声メモ選択	内蔵	
		音声自動再発信	−		OFF	P.82
		遠隔監視設定	−	対局番号登録	未登録	P.87
				応答時間設定	5秒	
				設定	OFF	
		テレビ電話画面設定	−	親画面表示	親画面相手画像表示	P.84
				内側カメラ反転表示	ON	
		テレビ電話切替通知	−		切替機能通知開始	P.85
		ハンズフリー切替	−		ON	P.84
		パケット通信中着信設定	−		テレビ電話優先	P.85
	ディスプレイ	画面表示設定	MENU 5 6	待受画面	W.O.R.L.D（本体色：RED） EXTREME SPORTS（本体色：GREEN） FORMULA（本体色：BROWN）	P.116
				ウェイクアップ表示	W.E.L.C.O.M.E	
				電話発信〜問い合わせ	D.O.T.S	
		照明設定	MENU 7 0	通常時	ON（点灯）＋省電（待ち時間3分）	P.118
				充電時	標準	
				範囲	液晶＋ボタン	
				明るさ	自動	

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
SETTINGS（各種設定）	ディスプレイ	画面デザイン	MENU 8 6	配色パターン	BLACK（本体色：RED） GREEN（本体色：GREEN） GRAY（本体色：BROWN）	P.119
				背景パターン1	OFF	
				背景パターン2	背景色1	
				電池アイコン	GRAY	
				アンテナアイコン	GRAY	
		マイシグナル設定	MENU 9 3		ON クローズ表示：LINEAR 通話中表示：AROUND 時計表示：パターン1	P.122
		フォント設定	MENU 6 6	文字パターン	フォント1	P.124
				太さ	太字	
				文字サイズ	ふつう	
		デスクトップ	MENU 6 3		フォトモード	P.126
		バイリンガル	MENU 1 5		Japanese	P.125
		メニュー画面設定	MENU 5 7	メニュー表示	一覧表示	P.119
				テーマ	D.O.T.S	
				フォーカス記憶	ON	
		ピクチャ表示設定	−		ピクチャ一覧	P.256
		オート表示	MENU 4 7		OFF	P.104
		表示アイコン説明	MENU 3 6		−	P.28
		表示アイコン設定	−		ON	P.128
		プライバシーアングル	−		OFF	P.118
	時間／料金	通話時間／料金	MENU 6 1		−	P.315
		通話料金通知	−	料金上限値	未設定	P.317
				上限値通知設定	通知しない	
				アラーム音選択	アラーム音	
				アラーム音量	LEVEL4	
		積算リセット	MENU 6 0		−	P.316
		積算料金自動リセット	−		OFF	P.316
		通話中時間表示	MENU 4 8		ON	P.124
	時計	時計設定	MENU 3 1		自動時刻補正する	P.49
		待受時計表示	MENU 3 9	表示形式	12時間形式	P.125
				表示サイズ	大きく表示	
				文字色	ホワイト(本体色：RED／BROWN) ブラック(本体色：GREEN)	
		アラーム通知設定	−		通知優先	P.310
		時刻アラーム音設定	−		アラーム音	P.111

次ページにつづく

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
SETTINGS（各種設定）	ロック／セキュリティ	ロック	－	ダイヤルロック	解除	P.137
			－	オリジナルロック	OFF	P.143
					グループや項目の選択設定 データ閲覧･編集･削除：すべて選択 発信・メール送信、着信・メール受信表示：すべて解除	
		キー操作ロック	－		閉じたとき：OFF タイマー：OFF	P.147
		セルフモード	－		解除	P.153
		シークレットモード	MENU 4 0		解除	P.139
		シークレット専用モード	MENU 4 1		解除	P.139
		登録外着信拒否	－		許可	P.153
		非通知着信設定	MENU 1 0	通知不可能～非通知設定	すべて許可 着信音：通常着信音と同じ 着信画面：通常着信画面と同じ	P.151
		端末暗証番号変更	MENU 2 9		0000（数字のゼロ4つ）	P.135
		PIN設定	－		PIN1コード入力設定：OFF	P.135
		スキャン機能	－	スキャン機能設定	スキャン機能：ON メッセージスキャン：ON	P.394
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	－		60秒	P.190
		ｉモード問い合わせ設定	－	メール～メッセージF	すべて「問い合わせをする」	P.231
		接続先選択	MENU 8 1		ｉモード ユーザ指定接続先：未登録	P.190
		SMS center設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.239
		証明書	－		すべて有効	P.193
		証明書センター接続設定	－		ドコモ ユーザ指定接続先：未登録	P.195
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定	－		表示しない	P.244
		待受画面終了	－		－	P.250
		ｉアプリ音量	－		LEVEL 4	P.246
	外部接続	USBモード設定	－		通信モード	P.284
		通知音出力切替	MENU 5 1		イヤホン（イヤホンのみ）	P.112
		イヤホン接続時マイク切替	－		イヤホンマイク	P.322
		オート着信	MENU 9 4		OFF 呼出時間：6秒 （オート着信「ON」設定時）	P.322
	ネットワーク設定	ネットワークサーチ設定	－		DoCoMo	P.322

大項目	中項目	小項目	メニュー番号（ボタン操作）	お買い上げ時の設定		参照ページ
SETTINGS（各種設定）	その他	ボタン確認音	MENU30		ON	P.111
		充電確認音	－		ON	P.111
		電池残量	MENU71		－	P.47
		外部ボタン操作	MENU*（1秒以上）		閉じた時有効	P.148
		文字入力設定	MENU35	入力モード	モード1（かな方式）	P.345
				ワード予測	ON	P.345
				ガイダンス表示	ON	P.344
				T9変換モード	T9漢字変換モード	P.354
				学習履歴クリア	－	P.352
				入力サイズ切替	標準	P.345
		設定リセット	MENU23		－	P.323
		端末初期化	－		－	P.323
		ソフトウェア更新	－		－	P.390
SERVICE（サービス）	着もじ		－	メッセージ作成	お買い上げ時に登録されているメッセージ5件	P.60
				メッセージ表示設定	番号通知ありのみ	
	発信者番号通知		MENU17		－	P.50
	留守番電話		－		－	P.326
	キャッチホン		－		－	P.328
	転送でんわ		－		－	P.330
	迷惑電話ストップ		－		－	P.331
	番号通知お願いサービス		－		－	P.331
	通話中の着信動作選択		－		通常着信	P.333
	通話中着信設定		－		－	P.334
	遠隔操作設定		－		－	P.335
	デュアルネットワーク		－		－	P.332
	英語ガイダンス		－		－	P.332
	追加サービス		－		－	P.336
	サービスダイヤル		－		－	P.333
	マルチナンバー		－	着信音設定	通常着信音と同じ	P.335

［別表1］その他の設定リセット機能

機能名	お買い上げ時の設定
①マイピクチャ	ソート：新しい順 画像表示設定：標準
②ミュージック	音量：LEVEL10 一覧表示切替：タイトル＋画像 イコライザ設定：OFF オフタイマー設定：90分 SRS_WOW設定：OFF リピート設定：OFF シャッフル設定：OFF プレイヤー画面変更：D.O.T.S
③ｉモーション	再生音量：LEVEL10 一覧表示切替：タイトル＋画像（FOMA端末本体）、名前＋画像（microSD） ソート：新しい順 連続再生設定：OFF 画像表示設定：標準
④メロディ	連続再生設定：OFF
⑤キャラ電	代替画像設定：Dimo 画像表示設定：画面サイズで表示
⑥カメラ	ムービーモード 画像サイズ選択：QCIF（176×144） ファイルサイズ設定：2MB以下 品質設定：標準 画質調整 撮影モード選択：ポートレート ホワイトバランス設定：オート 画像チューニング：自動 動画シャッター音選択：シャッター音1 動画保存先選択：本体（カメラフォルダ）

次ページにつづく

機能名	お買い上げ時の設定
⑥カメラ	フォトモード 画像サイズ選択：フルスクリーン（240×345） 品質設定：ファイン 画質調整 撮影モード選択：オート ホワイトバランス設定：オート 画像チューニング：自動 シャッター音選択：シャッター音1 画像保存先選択：本体（カメラフォルダ） ムービーモード／フォトモード共通 カメラ設定：外側カメラ セルフタイマー設定：OFF（時間：10秒） 自動保存設定：OFF ファイル制限：なし 表示サイズ設定：等倍表示 連続撮影の設定→P.164
⑦スケジュール	表示：1ヶ月表示 ユーザアイコン設定：未登録
⑧マイプロフィール	拡大表示⇔標準表示：標準表示
⑨電話帳	発着信識別機能：すべて解除 電話帳指定設定：すべて解除 拡大表示⇔標準表示：標準表示
その他の機能	テレビ電話中 テレビ電話設定：明るさ調節：0 照明設定：常時点灯 ラストワン機能※ メインメニュー：DATA BOX 電話帳検索：フリガナ検索 受話音量：LEVEL4 マナーモード：解除 公共モード（ドライブモード）：解除
オリジナルメニュー	マイプロフィール ｉモード問い合わせ 着信音量 バイブレータ アラーム 端末暗証番号変更

※：「ラストワン機能」とは、最後に操作したときに選択していた機能が、次の操作のときにあらかじめ選ばれている状態になる機能です。

シンプルメニュー機能一覧

大項目	中項目／小項目	参照ページ
電話	電話帳	P.90
	新規登録	P.91
	リダイヤル	P.58
	着信履歴	P.58
	マイプロフィール	P.313
	伝言メモ 確認（音声電話） 確認（テレビ電話） 設定	P.80 P.78
メール	受信メール	P.221
	送信メール	P.221
	保存メール	P.213
	新規作成	P.205
	メール問い合わせ	P.217
ｉモード	ｉMenu	P.176
	Bookmark	P.183
	画面メモ	P.184
	ラストURL	P.179
	ｉチャネル	P.199
カメラ	写真撮影	P.162
	動画撮影	P.167
	写真一覧	P.255
	動画一覧	P.263
設定	音 音量（電話） 音量（メール） 音選択（電話） 音選択（メール） マナーモード	P.73 P.108 P.113
	留守番電話 再生 開始 停止	P.327
	文字サイズ メール ｉモード 文字編集	P.124
	通話時間／料金	P.315
	スタイルモード	P.130
	待受画面設定	P.117
便利ツール	電卓	P.318
	アラーム	P.305
	スケジュール	P.306
	辞典	P.319
	赤外線	P.289
	バーコードリーダー	P.171

お買い上げ時に登録されているデータ

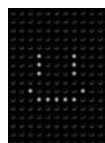
待受画面

W.O.R.L.D※

EXTREME SPORTS※

FORMULA※

DECODING※

METER※

FACE※

TAG-RED

TAG-GREEN

TAG-BROWN

W.E.L.C.O.M.E

※： 掲載している画像は一例で、表示タイミングによりイメージが変わります。

フレーム

フレームはサイズによって縦横比が異なります。

＜フルスクリーンの一例＞

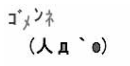
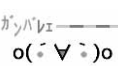
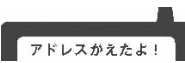
ARTISTIC

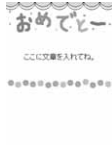
BAR-CODE

TOP NEWS

デコメールピクチャ

- デコメールピクチャは「マイピクチャ」のデコメピクチャフォルダに保存されています。
- デコメールピクチャは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

GOOD MORNING	GOOD NIGHT	THANK YOU	SORRY
GOOD JOB	I LOVE YOU	CHRISTMAS	CONGRATULATIONS
INVITATION	HAPPY BIRTHDAY	OK	DECODING
METER	HURRY UP	CHECK IT OUT	METAL SOUND
SECRET MESSAGE	ATTENTION	おはよう	こんにちは
ショック	さようなら	ごめんね	ありがとう
悩む	がんばれ	泣く	飲み会
疲れた	食事	ハート	すき
ごめん	チェック	アドレス変えたよ	登録よろしく
ダンディ1	ダンディ2	ダンディ3	ライン1
ライン2	ライン3	ライン4	やったー※
ごめんなさい※	いただきます※	しょんぼり※	おやすみ※
ガーデン※	クラッカー※		

テンプレート

● テンプレートは、実際の画面の表示と異なる場合があります。

マーカースタンプ

十字		ハート1		ハート2	
チュッ		涙		炎	
稲妻		ゴメン		音符	
花		LOVE	LOVE LOVE	怒り	
右		下		左	
上		ココ	ココ	1番	
2番		3番		飲み会	
マル		バツ		人	
車		スヤスヤ		ハテナ	
ビックリ		キラキラ		渦	
パンチ		鼻			

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

かな方式で入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	?!－/￥&＊()#゛゜ ♥☎※4	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをんーゎ	ワヲンーヮ※1	―――	0+※5
＊	―――※2	―――	.ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp ※6	＊ .ne.jp .co.jp .ac.jp www. .com .html http:// https:// @docomo.ne.jp ※6
#	゛ ゜ 、。？！・※3	゛ ゜ 、。？！・※3	.@/?!(),－_:' ~※7&￥	#.@/?!(),－_:' ~※7&￥

※1：「ワ」の小文字は全角入力のときに入力できます。

※2：「漢字ひらがな入力モード」で＊を押すと「区点入力モード」に切り替わります。

※3：「漢字ひらがな入力モード」と全角の「カナ入力モード」の場合は、その前の文字に「゛」「゜」を付けることができるときだけ「゛」「゜」が表示されます。ユーザ辞書の読み入力とFOMAカードへの電話帳登録のフリガナ入力のときは「、」「。」「？」「！」「・」は入力できません。

※4：SMS本文入力時のみ有効です。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「♥」「☎」は入力できます。また、記号は半角文字として表示されますが、「♥」「☎」は常に全角文字として表示されます。

※5：「+」は、待受画面（国際電話利用時）やSMS宛先入力時に1秒以上押して入力できます。

※6：「全角入力モード」の場合は表示されません（数字入力モードの「＊」は除く）。

※7：「全角入力モード」の場合は「￣」となります。

■：小文字は以下の2つの方法で入力できます。
- ・大文字で入力した後に☎で小文字に変換する。
- ・機能メニューで「小文字切替」を行った後に入力する。

2タッチ方式で入力できる文字

■ 全角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ ぁ	い ぃ	う ぅ	え ぇ	お ぉ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	か	き	く	け	こ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	さ	し	す	せ	そ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	た	ち	つ っ	て	と	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	な	に	ぬ	ね	の	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z z	？	！	—	／
	7	ま	み	む	め	も	￥	＆		※2 ☎	
	8	や ゃ	（	ゆ ゅ	）	よ ょ	＊	＃		※2 ♥	※1
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ ゎ	を	ん	※3 ゛ 、	※3 ゜ 。	6	7	8	9	0

■ 半角入力モード

ボタン		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ ｧ	ｲ ｨ	ｳ ｩ	ｴ ｪ	ｵ ｫ	A a	B b	C c	D d	E e
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F f	G g	H h	I i	J j
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K k	L l	M m	N n	O o
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ ｯ	ﾃ	ﾄ	P p	Q q	R r	S s	T t
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U u	V v	W w	X x	Y y
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z z	?	!	-	/
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		※2 ☎	
	8	ﾔ ｬ	(	ﾕ ｭ	)	ﾖ ｮ	*	#		※2 ♥	※1
	9	ﾗ @	ﾘ /	ﾙ -	ﾚ _	ﾛ :	1 .ne.jp	2 .co.jp	3 .ac.jp	4 @docomo.ne.jp	5
	0	ﾜ ~	ｦ '	ﾝ	ﾞ ,	ﾟ .	6 www.	7 .com	8 .html	9 http://	0 https://

・ FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力では、全角入力モードでもカタカナ入力になります。

※1：[8][0]を押すと大文字入力モード（上段）と小文字入力モード（下段）とが切り替わります。また、大文字を入力した後に[☎]を押して小文字に切り替えることもできます。

※2：「テキストメモ」や「定型文」の登録など、「絵文字入力」ができるときだけ使えます。また、常に全角文字として入力されます。SMS本文入力時、「絵文字入力」はできませんが「☎」「♥」は入力できます。

※3：「全角入力モード」の場合は、「゛」「゜」を付けることができる文字のときだけ「゛」「゜」が表示されます。そのほかの文字に「゛」「゜」を入力するとスペースが入力されます。

（網掛け）：スペースが入力されます。

T9入力方式で入力できる文字

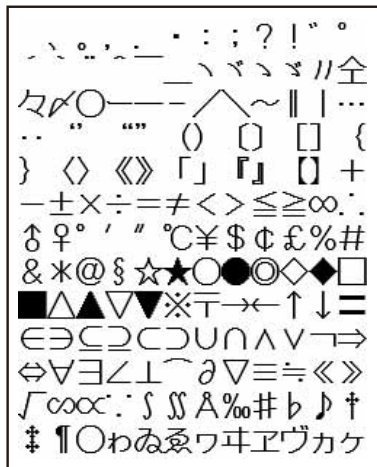
ボタン	漢字ひらがな入力モード	カナ入力モード	英字入力モード
1	あ行、1	ア行、1	1
2	か行、2	カ行、2	ABCabc2
3	さ行、3	サ行、3	DEFdef3
4	た行、4	タ行、4	GHIghi4
5	な行、5	ナ行、5	JKLjkl5
6	は行、6	ハ行、6	MNOmno6
7	ま行、7	マ行、7	PQRSpqrs7
8	や行、8	ヤ行、8	TUVtuv8
9	ら行、9	ラ行、9	WXYZwxyz9
0	わをんゎー、0	ワヲンヮ※3ー、0	0
#	※1、※2	※1、※2	※4

・「数字入力モード」の文字割り当てはかな方式の文字割り当てを参照してください。→P.368
・FOMAカードの電話帳登録時のフリガナ入力、「ユーザ辞書」の読み入力時には、数字候補は表示されません。
・「英字（英全）モード」または「英字（英半）モード」にした直後は、「CapsLockモード」で起動します。[*] を押すたびに次のように切り替わります。
　CapsLockモード → モード解除 → Shiftモード
・「CapsLockモード」ではすべて大文字入力となります。「Shiftモード」でははじめの1文字のみ大文字が入力され、以降は小文字入力となります。モード解除の状態ではすべて小文字入力となります。
・「Shiftモード」で文字確定後は、モード解除の状態に戻ります。

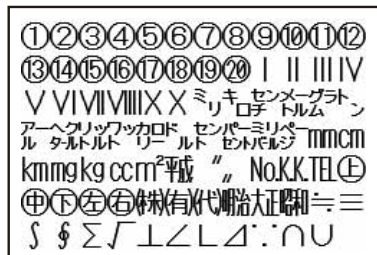
※1：読み入力中は、「゛」「゜」（濁点、半濁点）がついた変換候補の切り替えを行います。
※2：読みおよび文字の確定後は、かな方式と同じように「、」「。」「?」「!」「・」「゛」「゜」が表示されます。ただし、「゛」「゜」（濁点、半濁点）は、半角のカナ入力モードを除き、その前の文字に付けることができるときだけ表示されます。
※3：「ワ」の小文字は全角入力のみ入力できます。
※4：文字の確定後は、かな方式と同じように「.」「@」「/」「?」「!」「(」「)」「,」「−」「_」「:」「'」「~」「￣」「&」「¥」が表示されます。

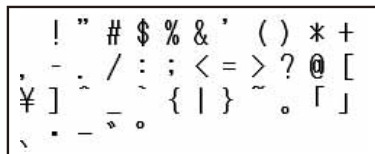
記号・特殊文字一覧

■ 全角記号

ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜ
ΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩ
αβγδεζηθικλμ
νξοπρστυφχψω
АБВГДЕЁЖЗИЙК
ЛМНОПРСТУФХЦ
ЧШЩЪЫЬЭЮЯабв
гдеёжзийклмн
опрстуфхцчшщ
ъыьэюя─│┌┐┘└
├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣
┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥
┸╂

※１文字目の空白は「全角スペース」です。

■ 特殊記号

■ 半角記号

※１文字目の空白は「半角スペース」です。

※SMS（ショートメッセージ）本文入力時は、一覧の最後に ♥ 、☎ が表示されます。

■ 変換記号読み一覧

以下の記号については、読みを入力して変換することもできます。なお、「きごう」と入力して変換すると、一部の記号が変換候補に表示されます。

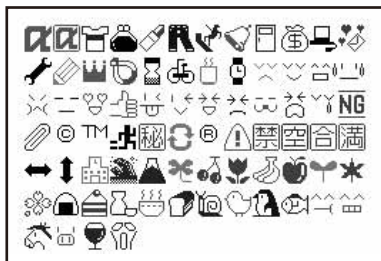
読み	記号
あっと、あっとまーく	＠
いこーる	＝
えん	￥
おす	♂
おなじ	々
おなじく	〃
おんぷ	♪
かける	×
かっこ	（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】“” ”() 〈〉[] {} 「」

読み	記号
から	～
こめ	※
ころん	：
こんま	，
さんかく	△▲▽▼
しゃせん	／＼
しかく	□■◇◆
しめ	〆
たす	＋
どう	ヽヾゝゞ〃々
ぱーせんと	％

読み	記号
ひく	－
ひしがた	◇◆
ほし	☆★
まる	○●◎
むげん	∞
めす	♀
やじるし	→←↑↓
ゆうびん	〒
るーと	√
わる	÷

絵文字一覧

■ 絵文字１

■ 絵文字２

■ デコメ絵文字（絵文字D）

：©Disney

■ 絵文字読み一覧

絵文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。

	読み
	はーと
	はーと
	しつれん・はーと
	はーと
	わーい・かお・うれしい
	いかり・かお
	がく・かお・かなしい
	やだ・かお・かなしい
	ふらふら・かお
	るんるん・おんぷ
	おんせん
	かわいい・はな
	きすまーく・きす・ちゅっ
	ぴかぴか・あたらしい・きら・ぴか
	ひらめき・きら・ぴか
	むかっ・いかり
	ぱんち・いかり・て
	ばくだん・ばくはつ・いかり
	むーど・おんぷ
	ねむい・すいみん・ねる・ぐー
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	びっくり・おどろき
	どんっ・しょうげき
	あせあせ・あせ
	あせ
	だっしゅ・にげろ
	ー
	ー
	ぐっど・やじるし・や・うえ
	ばっど・やじるし・や・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	やじるし・うえ
	やじるし・した
	はれ・てんき・たいよう
	くもり・てんき・くも
	あめ・てんき・かさ
	ゆき・てんき・ゆきだるま
	かみなり・てんき・ぴか
	たいふう・てんき・まる・ぐるぐる
	きり・てんき
	こさめ・てんき・かさ
	おひつじざ・せいざ
	おうしざ・せいざ
	ふたござ・せいざ
	かにざ・せいざ
	ししざ・せいざ
	おとめざ・せいざ

	読み
	てんびんざ・せいざ
	さそりざ・せいざ
	いてざ・せいざ
	やぎざ・せいざ
	みずがめざ・せいざ
	うおざ・せいざ
	すぽーつ・ふく
	やきゅう・すぽーつ・ぼーる
	ごるふ・すぽーつ
	てにす・すぽーつ
	さっかー・すぽーつ・ぼーる
	すきー・すぽーつ
	ばすけっとぼーる・すぽーつ・ばすけ・ばすけっと
	もーたーすぽーつ・はた・ふらっぐ・えふわん
	ぽけっとべる・ぽけべる・べる
	でんしゃ・のりもの
	ちかてつ・のりもの・めとろ
	しんかんせん・のりもの
	くるま・のりもの・せだん
	くるま・のりもの・あーるぶい
	ばす・のりもの
	ふね・のりもの
	ひこうき・のりもの
	いえ・たてもの・うち
	びる・たてもの・かいしゃ
	ゆうびんきょく・ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう・ばんく
	えーてぃーえむ・ばんく
	ほてる
	こんびに
	がそりんすたんど・がすすたんど・がす
	ちゅうしゃじょう・ぱーきんぐ・ぴー
	しんごう
	といれ・べんじょ
	れすとらん・しょくじ・ごはん・めし
	きっさてん・しょくじ・さてん・おちゃ
	ばー・しょくじ・さけ・かんぱい
	びーる・しょくじ・さけ・かんぱい
	ふぁーすとふーど・しょくじ・はんばーがー
	ぶてぃっく・くつ・ふく・はいひーる
	びよういん・はさみ・とこや
	からおけ・まいく・うた
	えいが・びでお
	ゆうえんち
	おんがく・きく・へっどほん
	あーと・かいが
	えんげき・しばい
	いべんと

	読み
	ちけっと・きっぷ
	きつえん・たばこ
	きんえん・たばこ
	かめら・しゃしん
	かばん・ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと・おめでとう
	ばーすでー・おめでとう・たんじょうび
	でんわ
	けいたいでんわ・けいたい・けーたい・でんわ
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー
	はーと・とらんぷ
	すぺーど・とらんぷ
	だいや・とらんぷ
	くらぶ・とらんぷ
	め・みる・みて
	みみ・きく
	て・ぐー
	て・ちょき
	て・ぱー
	あし・あしあと
	くつ
	めがね
	くるまいす
	しんげつ・つき・まる
	はんつき・つき
	はんつき・つき
	みかづき・つき
	まんげつ・つき・まる
	いぬ・どうぶつ
	ねこ・どうぶつ
	りぞーと・よっと・ふね
	くりすます・き
	かちんこ・かっと・かんとく
	ふくろ
	ぺん・めも
	ひとかげ
	いす
	よる・つき・おやすみ
	えんど・おわり
	とけい・じかん
	でんわ・でんわばんごう
	めーる・あどれす

次ページにつづく

	読み
FAX	ふぁっくす
	あいもーど・あい
	あいもーど・あい
	めーる・てがみ・あどれす
	どこも
	どこもぽいんと・どこも
	ゆうりょう・えん・かね
FREE	むりょう・ただ・ふりー
ID	あいでぃー
	ぱすわーど・かぎ
	つぎ・りたーん
CL	くりあ
	さーち・しらべる・むしめがね
NEW	にゅー・にゅう・あたらしい
	はた・ふらっぐ・いち
	ふりーだいやる
#	しゃーぷ
1	いち・すうじ
2	に・すうじ
3	さん・すうじ
4	し・よん・すうじ
5	ご・すうじ
6	ろく・すうじ
7	なな・しち・すうじ
8	はち・すうじ
9	きゅう・く・すうじ
0	ぜろ・れい・すうじ
OK	けってい・おーけー・おっけー
	あいあぷり・あぷり
	あいあぷり・あぷり
	てぃーしゃつ・しゃつ・ふく
	さいふ・かね・おかね
	けしょう・くちべに
	じーんず・ふく・ずぼん
	すのぼ・すのーぼーど・すぽーつ

	読み
	ちゃぺる・べる・かね
	どあ・とびら
	どるぶくろ・かね・おかね
	ぱそこん・ぴーしー
	らぶれたー・らぶめーる・てがみ・めーる
	れんち・しゅうり
	えんぴつ・めも
	おうかん・かんむり・おう
	ゆびわ
	すなどけい・じかん
	じてんしゃ・のりもの・ちゃり
	ゆのみ・おちゃ・ちゃ
	うでどけい・とけい・じかん
	かんがえる・かお・うーむ
	ほっ・かお
	ひやあせ・かお
	ひやあせ・かお
	いかり・かお・ぷー
	ぼけー・かお
	はーと・かお
	おーけー・て・おっけー
	あかんべ・かお・べー
	うぃんく・かお
	うれしい・かお・にこ
	がまん・かお
	ねこ・どうぶつ
	なみだ・かお・なき
	なみだ・かお・なき
NG	えぬじー・だめ
	くりっぷ・てんぷ
©	
TM	
	はしるひと・だっしゅ・はしる・にげる
	まるひ・ひみつ
	りさいくる
®	

	読み
	きけん・ちゅうい
禁	きんし
空	くうしつ・くうせき・くうしゃ・あき
合	ごうかく
満	まんしつ・まんせき・まんしゃ・いっぱい
	やじるし・や
	やじるし・や
	がっこう
	なみ・うぇーぶ・うみ
	ふじさん・やま
	くろーばー・はな
	さくらんぼ・はな・ちぇりー
	ちゅーりっぷ・はな
	ばなな・たべもの
	りんご・たべもの
	め・はな
	もみじ・はな
	さくら・はな
	おにぎり・おむすび・たべもの
	しょーとけーき・けーき・たべもの
	とっくり・おちょこ・さけ・かんぱい
	どんぶり・ごはん・たべもの・しょくじ
	ぱん・しょくじ・たべもの
	かたつむり・どうぶつ
	ひよこ・どうぶつ
	ぺんぎん・どうぶつ
	さかな・どうぶつ
	うまい・たべる・かお
	にやり・かお・わらい
	うま・どうぶつ・けいば
	ぶた・どうぶつ
	わいんぐらす・わいん・さけ・かんぱい
	げっそり・さけび・むんく・かお

※ 読みのない絵文字は、絵文字入力でのみ入力可能なものです。

おしらせ

- 絵文字をｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。なお、ｉモード端末であっても、相手の機種によっては正しく表示されないこともあります。

顔文字一覧

■ 顔文字読み一覧

顔文字は、以下の読みを入力して変換することもできます。なお、「かお」または「かおもじ」と入力して変換すると、以下の顔文字がすべて変換候補に表示されます。

読み	顔文字
ありがと(う)	m(__)m
ばんざい	＼(^O^)／
わーい	(^O^)
わーい	(´∀｀)
わーい	(*^□^*)
わーい	o(^▽^o)(o^▽^)o
わーい	(≧▼≦)
おーい	(^O^)／
ぶい	(^^)v
ぎゃはは	(^Q^)/^
あは	(o^o^o)
あは	^O^;
にこ	(^-^)
にこ	(*^_^*)
にこ	(o'∀'o)
にこ	(o^∀^o)
にこ	('∀'●)
にこ	(●^-^●)
にこ	(o^▽^o)
ちゅ	(^3^)/
ちゅ	(^ε^)-☆Chu!!
わくわく	o(^-^)o
ういんく	(^_-)
さよなら	(^_^)/~
さよなら	(´Д｀)ノ~~
がんば	p(^^)q
ね	(^.^)b
ぽりぽり	(^^ゞ
ひやあせ	(^o^;
あせあせ	(;^_^A
びくっ	(*_*)
どき	(◎-◎;)
え	(@_@;)
めがてん	(・・;)

読み	顔文字
はてな	(・・?)
きらーん	(☆。☆)
しくしく	(T_T)
さよなら	(T_T)/~
いたた	(>_<)
いたた	(＞＜)
えーん	(;_;)
えーん	(´Д｀)
えーん	ΩÅΩ;
えーん	(ノД<。)゜。
えーん	゜。(p>∧<q)。゜゜
えーん	(Tωヽ)
なぜ	(?_?)
がーん	(￣□￣;)!!
がーん	(___;)
がーん	Σ(￣□￣;)
えへん	(￣^￣)
む	(－_－メ)
む	o(￣^￣o)
いかり	(`´)
むか	(;-_-+
むか	(`へ´)
むか	(~へ~;)
こそこそ	(・_・｜
じーっ	(-_-)
きこえない	｜(-_-)｜
こまったもんだ	(￣～￣)ξ
ぶたー	)^o^(
こあら	(－Q－)
いっぷく	(^!^)y~
いっぷく	(^.^)y-~~~
ほし	☆彡
ねてる	(-_-)zz
ねむい	＼(~o~)／

読み	顔文字
ねむい	(ρ_-)ノ
めも	φ(..)
うん	(゜_゜)(。_。)
かんぱい	(^^)／▽☆▽＼(^^)
ども	＼(^_^)(^_^)／
がまん	(;´∩｀)
こんにちは	ヾ(=^▽^=)ノ
こんにちは	(・∀・)ノ
こんにちは	(●´∀｀●)/
いいな	(o>ω<o)
いいな	(@°▽°@)
いいな	(m'□'m)
うーん	(￣～￣;)
てれる	(／_＼;)
てれる	(*/ω＼*)
てれる	(//∀//)
てれる	(≧ω≦)
しあわせ	゜+。(*´▽｀)。+゜
しあわせ	ヽ(´▽｀)/
しあわせ	(*´∀｀*)
なかよし	^－^)人(^－^
ごめん	(*C*)
いじいじ	φ(..;)
いじわる	Ψ(`∀´#)
よろしく	☆ヽ(▽⌒*)
こまった	＞＜
やだ	(○>_<)
へこむ	(´`)
へこむ	(´ω`)
びっくり	(。Д○;)
びっくり	w(°o°)w
だっしゅ	ε=┏(・_・)┛

定型文一覧

■ フォルダ1（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	ごめんなさい	ｺﾞﾒﾝﾅｻｲ
2	ありがとう	ｱﾘｶﾞﾄｳ
3	おめでとう！	ｵﾒﾃﾞﾄｳ!
4	時間だよ！	ｼﾞｶﾝﾀﾞﾖ!
5	もう少し待ってて	ﾓｳｽｺｼﾏｯﾃﾃ
6	今着いた！	ｲﾏﾂｲﾀ!
7	予定変更！	ﾖﾃｲﾍﾝｺｳ!
8	どこにいるの？	ﾄﾞｺﾆｲﾙﾉ?
9	がんばってね	ｶﾞﾝﾊﾞｯﾃﾈ
0	なにしてるの？	ﾅﾆｼﾃﾙﾉ?

■ フォルダ2（固定定型文）

No.	漢字ひらがな表現	半角カタカナ表現
1	了解しました	ﾘｮｳｶｲｼﾏｼﾀ
2	いつも大変お世話になります	ｲﾂﾓﾀｲﾍﾝｵｾﾜﾆﾅﾘﾏｽ
3	お疲れさまです	ｵﾂｶﾚｻﾏﾃﾞｽ
4	至急確認ください	ｼｷｭｳｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ
5	いかがでしょうか？	ｲｶｶﾞﾃﾞｼｮｳｶ?
6	電話ください	ﾃﾞﾝﾜｸﾀﾞｻｲ
7	遅れます	ｵｸﾚﾏｽ
8	留守電にメッセージを入れてください	ﾙｽﾃﾞﾝﾆﾒｯｾｰｼﾞｦｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
9	ｉモードで連絡ください	iﾓｰﾄﾞﾃﾞﾚﾝﾗｸｸﾀﾞｻｲ
0	よろしくお願い致します	ﾖﾛｼｸｵﾈｶﾞｲｲﾀｼﾏｽ

マルチアクセスの組み合わせについて

現在の通信状態＼新たに発生した通信	音声電話		テレビ電話		ｉモードを利用※6	ｉアプリを利用	ｉモードメール	
	発信	着信	発信	着信			送信	受信
音声通話中	△※1	△※2	×	△※3	○	×	○	○
テレビ電話中	×	△※3	－	△※3	×	×	×	×※7
ｉモード中	○	○	△※4	△※5	－	○	○	○
パソコンなどと接続してのパケット通信中	×	○	×	×	×	×	×	×※7
64Kデータ通信中	×	△※3	×	△※3	×	×	×	×※7

現在の通信状態＼新たに発生した通信	SMS		パケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信
音声通話中	○	○	○	○	×	△※3
テレビ電話中	×	○	×	×※8	×	△※3
ｉモード中	○	○	×	×※8	×	×
パソコンなどと接続してのパケット通信中	×	○	－	－	×	×
64Kデータ通信中	○	○	×	×※8	×	△※3

○：起動できます。　×：起動できません。　△：条件により起動できます。　－：機能的に実現しない組み合わせです。

※1：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして発信することができます。
※2：「キャッチホン」をご契約されている場合、現在の音声電話を保留にして応答することができます。また、「留守番電話」や「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.333
※3：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」をご契約されている場合、現在の通信を終了してから新たに発生した着信に応答することができます。→P.333
※4：ｉモード接続を切断してからテレビ電話発信を行います。
※5：「パケット通信中着信設定」を「テレビ電話優先」に設定している場合、テレビ電話の着信に応答すると、ｉモード通信が切断されます。
※6：ｉチャネルの情報サイトの表示を含みます。
※7：ｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたｉモードメールやメッセージR／Fは通信終了後、「ｉモード問い合わせ」を行うと受信できます。
※8：不在着信履歴が残ります。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と１回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年1月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年1月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（ＮＴＴ営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・スイッチ付イヤホンマイク P001※1／P002※1
・ステレオイヤホンセット P001※1
・平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
・平型ステレオイヤホンセット P01
・骨伝導レシーバマイク 01
・FOMA USB接続ケーブル
・FOMA充電機能付 USB接続ケーブル 01
・FOMA ACアダプタ 01
・FOMA DCアダプタ 01
・電池パック N17
・リアカバー N18
・車内ホルダ 01※2
・キャリングケースS 01
・データ通信アダプタ N01
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※3
・FOMA室内用補助アンテナ
・FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
・FOMA乾電池アダプタ 01
・車載ハンズフリーキット01※4
・FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01

※1：FOMA N703iμと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※2：FOMA N703iμを車内ホルダに取り付ける際は、『車内ホルダ01 取扱説明書』の記載に従ってホルダの調節を行ってください（ネジの位置3段目に固定し、着脱がスムーズに行えるように確認して微調整を行う）。
※3：海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※4：FOMA N703iμとUSB接続／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

● パソコンで動画（MP4形式のファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime Player（無料）ver. 6.4以上（またはver. 6.3+3GPP）が必要です。
● QuickTimeは下記のホームページよりダウンロードできます。
http：//www.apple.com/jp/quicktime/download/
・ダウンロードには、インターネットと接続しているパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
・動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

● まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。
「ソフトウェアを更新する」→P.390

現象	チェックする箇所	参照ページ
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● 電池切れになっていませんか。	P.44 P.47
右のようなアニメーションが表示され、「ピーッピーッピーッ…」というアラーム音が鳴っている	● 電池が切れました。充電してください。 電池充電してください	P.46
「圏外」の表示が出て話中音（ツーツー音）が出る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。 04.27 FRI AM 11:37	P.48
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●「発信・メール送信」の「ダイヤル発信」にオリジナルロック中ではありませんか。 ● キー操作ロック中ではありませんか。 ● 指定発信制限設定中ではありませんか。	P.145 P.147 P.149
ダイヤルしたが話中音（ツーツー音）が出てつながらない	● 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。 ● 市外局番を忘れていませんか。 ●「圏外」の表示が出ていませんか。 ●「しばらくお待ちください」の表示が出ていませんか。	P.52 P.52 P.48 ―
着信できない または 着信音が鳴らない	● 以下の機能を設定していませんか。 電話帳指定設定 ・指定着信拒否　・指定着信許可 ・指定転送でんわ　・指定留守番電話 呼出時間表示設定 ・無音時間設定 登録外着信拒否 非通知着信設定 ・通知不可能拒否　・公衆電話拒否 ・非通知設定拒否 ● マナーモード設定中ではありませんか。 ● 公共モード（ドライブモード）設定中ではありませんか。 ●「着信・メール受信表示」の「着信」がオリジナルロック中ではありませんか。 ● セルフモード設定中ではありませんか。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの開始時間を「0秒」に設定していませんか。 ● 番号通知お願いサービスを開始に設定していませんか。 ● デュアルネットワークサービスでmovaを有効にしていませんか。 ● 着信音量を「SILENT」に設定していませんか。	P.149 P.152 P.153 P.151 P.113 P.75 P.145 P.153 P.327 P.330 P.331 P.332 P.73
メール着信音やアラーム音は鳴るのに、電話がかかってきたときの着信音が鳴らない	●「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を長い時間（99秒など）に設定していませんか。「無音時間設定」を短い時間に設定してください。	P.152
発信履歴、リダイヤル、送信アドレス一覧が勝手に消えてしまう	●「電話帳指定設定」の「指定発信制限」を設定しませんでしたか。	P.149
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。	P.110
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したイメージと違うイメージが表示される	● 各機能の着信の設定が重なった場合、画像は優先順位に従って動作します。	P.116
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定したアニメーションと違うアニメーションがマイシグナルに表示される	● 各機能のマイシグナル設定が重なった場合、マイシグナルは優先順位に従って動作します。	P.101

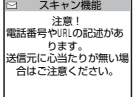
現象	チェックする箇所	参照ページ
音声電話、テレビ電話がかかってきたときに設定した色や点滅パターンと違う色や点滅パターンで着信イルミネーションが動作する	● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って動作します。	P.123
動画／ｉモーションや着うたフル®の表示、再生に時間がかかる	●「移行可能コンテンツ」フォルダに保存された動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。 「移行可能コンテンツ」フォルダに保存されたデータの場合、表示や再生に時間がかかることがあります。	―
動画／ｉモーションや着うたフル®をmicroSDメモリーカードにコピー、移動できない	● 部分的に保存された着うたフル®ではありませんか。 ● 再生制限（回数、期間、期限）の切れた動画／ｉモーションや着うたフル®ではありませんか。	P.295 P.256
着信画面や着信音がお買い上げ時の設定で動作する	● 着信画面と着信音の組み合わせ、優先順位によって着信画面か着信音のどちらかがお買い上げ時の設定で動作する場合があります。	―
メールを受信したときにメールに設定した着信音と違う着信音が鳴る	● 各機能の着信の設定が重なった場合、着信音は優先順位に従って動作します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されている着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信したとき、チャットメールが含まれている場合は、チャットメールに設定されている着信音が鳴ります。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号 @docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定してください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定の着信音設定で着信音を設定していますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定の着信音設定が有効となります。	P.110 P.110 P.110 P.92 P.100 P.110
画像やｉモーションの替わりに文字が表示される	● 以下の表示がされた場合は、利用している機能で選択できない画像やｉモーションです。以下の表示がされていない画像やｉモーションを選択してください。 「Not available」、「Expired file」、「No preview data」	P.255 P.263
メールを受信したときに、メールに設定したアニメーションと違うアニメーションがマイシグナルに表示される または 設定した色と違う色で着信イルミネーションが点滅する	● 各機能のマイシグナルの設定が重なった場合、マイシグナルは優先順位に従って動作します。 ● 各機能の着信イルミネーションの設定が重なった場合、着信イルミネーションは優先順位に従って動作します。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールのメールアドレスに設定されているメール着信設定のマイシグナル設定またはイルミネーション設定に従ってマイシグナルまたは着信イルミネーションが動作します。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号 @docomo.ne.jp」のときは、メールアドレスには電話番号のみを登録し、そのメールアドレスにメール着信設定のマイシグナル設定またはイルミネーション設定をしてください。 ● メールの送信元のメールアドレス（受信メールの詳細画面に表示されるメールアドレス）を電話帳に正しく登録し、そのアドレスにメール着信設定のマイシグナル設定またはイルミネーション設定をしていますか。 ● SMSを受信したときは、電話帳の電話番号に設定されたメール着信設定のマイシグナル設定またはイルミネーション設定が有効となります。	P.101 P.123 P.123 P.92 P.100 P.100
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない）	● FOMA端末に電池パックが正しく取り付けられていますか。 ● アダプタのプラグがコンセントまたはシガーライタソケットにしっかりと差し込まれていますか。 ● アダプタとFOMA端末が正しく取り付けられていますか（ACアダプタをお使いのとき、ACアダプタのコネクタがFOMA端末にしっかりと接続されていますか）。	P.44 P.46 P.46
電池の使用時間が短い	● 電池パックの寿命がきていませんか。また、使用環境などによっては電池パックの寿命が短くなることがあります。 ● FOMA端末の使い方によって電池の使用時間は変化します。 ● スクリーンやキーのある面にシールを貼っていると、FOMA端末を閉じたときにキーが押されるなどして使用時間が短くなることがあります。	P.45 P.45 ―
ボタン確認音が出ない	●「ボタン確認音」を「OFF」に設定していませんか。 ● マナーモード設定中ではありませんか。	P.111 P.113
エニーキーアンサーで音声電話、テレビ電話に出ることができない	●「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」または「OFF」に設定していませんか。 ● テレビ電話にエニーキーアンサーで出ることはできません。	P.72 ―

現象	チェックする箇所	参照ページ
通話中、相手の声が聞こえにくい	● 受話口と耳の位置がずれていませんか。 ● 受話口がシールなど何かでふさがれていませんか。 ● ハンズフリー中にスピーカが何かでふさがれていませんか。 ● 「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.26 － P.57 P.73
通話中、相手の声が大きすぎる	● 「受話音量」の設定を変更していませんか。 聞き取りやすい音量に変更してください。	P.73
FOMA端末を折り畳んでいるときに、外部ボタンを押しても操作できない	● キー操作ロック中ではありませんか。 ● 「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。 ● スクリーンやキーのある面にシールを貼っていると、FOMA端末を閉じたときにキーが押されるなどして誤作動することがあります。	P.147 P.148 －
FOMA端末を折り畳んでいるときに、［MEMO／CHECK］を押しても不在着信などの確認ができない を1秒以上押してもミュージックプレイヤーが起動しない	● 「確認機能設定」を「OFF」に設定していませんか。 ● キー操作ロック中ではありませんか。 ● 「外部ボタン操作」が「閉じた時無効」に設定されていませんか。	P.77 P.147 P.148
ディスプレイが見にくい	● バックライトの明るさの設定を「レベル1」に設定していませんか。 ● 「プライバシーアングル」を「ON」に設定していませんか。	P.118 P.118
ディスプレイ、ダイヤルボタンのバックライトが点灯しない	● バックライトの通常時の点灯を「OFF」に設定していませんか。 ● 照明設定の範囲を「液晶」に設定していませんか。 ● 照度センサーを指などでおおったり、光源の種類などによっては明るさを正しく検知できないことがあります。	P.118 P.118 P.118
電源を入れた直後に電話がかかってきたとき、電話帳に登録した名前が表示されず、電話番号が表示されてしまう	● 電源を入れた直後はFOMAカードを読み込んでいることがあり、すぐに電話帳機能を使えないことがあります。	－
を1秒以上押してから電源が入るまで時間がかかる	● 電話帳などのデータがいっぱいのときは、その確認に時間がかかるようになります。	P.100
ディスプレイに何も表示されない	● 省電力モードに設定していませんか。ボタンを押すと、省電力モードが解除されます。	P.118
着信イルミネーションが点滅しない	● 「マイシグナル設定」を「ON」に設定している場合、着信イルミネーションの機能は無効になり、点滅しません。	P.122
マイシグナルに何も表示されない	● 「マイシグナル設定」を「OFF」に設定していませんか。	P.122
着信があっても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、マイシグナルの表示）が行われない	● 「呼出時間表示設定」の「無音時間設定」を「ON」に設定している場合、電話帳に登録されていない電話番号や、電話番号を通知しない相手からの着信があると、設定した時間が経過するまで着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、マイシグナルの表示）が行われません。	P.152
積算通話料金が増えない	● 上限値に達していると増えません。「積算リセット」を行ってください。	P.316
SMSを受信したときに電話帳に登録した名前が表示されない	● 電話帳の電話番号欄（）に送信元の電話番号を正しく登録していますか。	P.91
メールが自動振り分けされない	● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」のときは、自動振分け設定には電話番号のみを登録してください。 ● 相手のメールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」以外のときは自動振分け設定にはドメインまですべて登録しないと振り分けされません。	P.225 P.225
メールを自動で受信しない	● メール設定の「メール選択受信設定」で「ON」を設定していませんか。「OFF」に設定してください。	P.216 P.230
N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）のインストールやデータ通信ができない	● USBモード設定を「microSDモード」に設定していませんか。「通信モード」に設定してください。	P.284
iモード、iモードメール、iアプリ、iチャネルに接続できない	● 「接続先選択」を「iモード」以外に設定していませんか。 ● iモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	P.190 －
メールを受信しても着信動作（着信音鳴動、バイブレータ、マイシグナルの表示）が行われない	● 「メール／メッセージ鳴動」を「OFF」に設定していませんか。 ● 「着信・メール受信表示」の「メール／メッセージ受信表示」にオリジナルロック中ではありませんか。 ● 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していませんか。	P.112 P.145 P.230
送信したメールが送信BOXに残らない	● メール連動型iアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。メール連動型iアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.225

次ページにつづく

現象	チェックする箇所	参照ページ
受信したメールが受信BOXに残らず、「」が消えない	● 受信BOXの中のメール連動型ｉアプリのフォルダに「」が表示されていませんか。またはメール連動型ｉアプリのフォルダに「すべて振分け」を設定していませんか。 該当するメール連動型ｉアプリのフォルダを反転表示して機能メニューから「フォルダ内表示」を選択して確認してください。	P.223 P.225
メール送信中に切断され、SMSを受信、もう一度操作しようとするとメッセージが表示される	● 一定時間内に著しく大量のデータ通信が多いと切断されSMSで通知されます。SMSの内容と表示されるメッセージに従ってください。	－
撮影すると画像がちらつく	● 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらつくことがあります。「画像チューニング」の設定を変更することにより、画面のちらつきを軽減することができる場合があります。	P.163
撮影した静止画や動画が白っぽくなる	● 「画像チューニング」の設定を「モード１（50Hz 地域）」または「モード２（60Hz地域）」に変更したまま屋外などの明るい場所で撮影していませんか。「画像チューニング」の設定を「自動」に戻してください。	P.163
撮影した静止画や動画がぼやけてしまう	● 外側レンズのレンズ切替スイッチを通常撮影時は●（標準レンズ）に、接写撮影時は（マクロレンズ）に切り替え、接写モードにしてください。 ● 撮影する場面に合ったモードを設定してください。	P.158 P.163
画像表示しようとすると「」が表示される または デモやプレビューで「」が表示される	● 画像データが壊れている場合は「」が表示されることがあります。	－
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	● FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、microSDリーダー／ライター機能で容量の大きいデータをやりとりしたときなどに起こる場合があります。	－
チャンスキャプチャで撮影したときに撮影時間が短くなる	● チャンスキャプチャの撮影時には、動画データとともに管理用データを保存するため、撮影可能な時間が短くなる場合があります。	－

こんな表示が出たら

● ｉモードエラーメッセージの中の（数字）については、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「FOMAカード（UIM）が異なるため起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを自動起動しようとした場合に表示されます。	P.42
「FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されているデータのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選択して実行しようとしたときに表示されます。	P.42 P.42
「FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」	● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。	P.42
「FOMAカード（UIM）読み込み中です　起動できません」	● FOMAカードを読み込み中にFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。しばらくたってから操作し直してください。	－
「FOMAカード（UIM）を挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.41
「ｉアプリTo設定されていません」	● サイト、メール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからソフトを起動しようとしたときに、指定されたソフトが連携許可されていないため、起動できない場合に表示されます。	P.249
「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」	● ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択し、通信を行わない場合は「通信しない」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。	－
「ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？」	● 「ｉアプリの通信回数が多くなっています　通信を継続しますか？」と表示されたときに「通信しない」または「ｉアプリ終了」を選択した場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は「通信する」を選択します。ｉアプリのご利用を中止する場合は「ｉアプリ終了」を選択します。	－

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています」	● 「ｉモード問い合わせ設定」がすべて「問い合わせしない」に設定されているためｉモード問い合わせができません。 「ｉモード問い合わせ設定」で問い合わせる項目を指定してください。	P.231
「microSDが挿入されていません」	● microSDメモリーカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。microSDメモリーカードがFOMA端末に正しく取り付けられているか確認してください。	P.275
「microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします」	● microSDメモリーカードのチェックディスクを行ってください。	P.279
「PIN1コードがロックされています」	● PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。■を押すとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、PINロック解除コードを正しく入力してロックを解除してください。	P.136
「PINロック解除コードがロックされています」	● PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.135
「SSL通信が切断されました」	● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。再度接続し直してください。	－
「SSL通信が無効です」	● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。	－
「SSL通信が無効に設定されています」	● 「証明書」の設定で「無効」にした証明書を受信したときに表示されます。証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再度接続し直してください。	P.193
「URLが長すぎて登録できません」	● URLが半角256文字を超えるため、ブックマークやホームURLへの登録ができません。	－
「URLに誤りがあります」	● 「URL入力」や「ホームURL設定」のホームURL入力のとき、「http://」または「https://」以外ではじまるURLを入力したり、何も入力されていない状態で「OK」を選択したときに表示されます。URLを入力し直してください。	P.182 P.189
「1件コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「応答がありませんでした(408)」	● サイトからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してください。	－
「おまかせロック中です」	● おまかせロックが設定されています。おまかせロック設定中は、音声電話／テレビ電話の着信、電源を入れる／切るの操作を除き、すべてのボタン操作がロックされます。	P.138
「該当するデータはありません」	● 電話帳検索を行ったとき、検索条件を満たす電話帳が登録されていない場合に表示されます。	P.95
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● 画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できなくなったときに表示されます。	－
「切替できません」	● 音声通話中にテレビ電話に切り替えようとしたとき、相手側がパケット通信中（ｉモード含む）などの理由で切り替えできない場合に表示されます。相手側の状況を確認して再度切り替え操作を行ってください。	P.56
「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信します」	● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「YES」を選択すると、携帯電話製造番号が送信されます。送信したくないときは「NO」を選択します。	P.177
「圏外です」	● サービスエリア外や電波が届かない場所で、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。「 」が表示される場所まで移動してｉモードのサービスをご利用ください。	P.176
「このｉモーションは再生可能回数が終了しました」	● 再生回数が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このｉモーションは再生期限が切れました」	● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションのデスクトップアイコンを選択して実行しようとしたときに表示されます。	－
「このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください」	● 「ｉモーションタイプ設定」を「標準タイプ」に設定しているときに、ストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとした場合に表示されます。	P.197
「このカードは使用できません」	● FOMA N703iμに対応していないmicroSDメモリーカードです。対応しているmicroSDメモリーカードを使用してください。	P.275

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「このカードは認識できません」	● FOMA N703iμで使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。	P.43
「このサイトとのSSL通信は無効です」	● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトとはSSL通信できません。	−
「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」	● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。	P.193
「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」	● 期限切れまたは有効期間前のSSLサーバ証明書を受信したときに表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● 「時計設定」が行われていない場合にSSL通信に対応したサイトやインターネットのホームページに接続しようとしたときに表示されます。「時計設定」を行ってください。	P.193 P.49
「このスケジュールは登録できません」	● すでに設定されている日付、時刻に対するスケジュールと同じ日付、時刻のスケジュールを「追加1件コピー」したときや、赤外線またはケーブル接続で受信したときに表示されます。	−
「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」	● 端末内のSSL証明書が期限切れの場合に表示されます。接続するときは「YES」を選択します。接続しないときには「NO」を選択します。 ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続中に、クライアント証明書の送付要求があったときに表示されます。	P.193 P.179
「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」	● FOMA端末内に保存されている証明書とサーバから送信された証明書で一致しないものがあるときに表示されます。	P.193
「このデータは再生できない可能性があります」	● MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取得したときに表示されます。	−
「サービス未契約です」	● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 ● ｉモードを途中からご契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	− −
「再生可能回数が終了しました　削除しますか？」	● 再生回数が終了したｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。	−
「再生可能期限が切れました　削除しますか？」	● 再生可能期限または再生可能期間が過ぎているｉモーションや着うたフル®を再生しようとしたときに表示されます。	−
「再生制限データに誤りがあるため取得できません」	● 部分的に取得した着うたフル®の再生可能期限または再生可能期間が過ぎているため、残りのデータが取得できません。部分的に保存されていたデータも削除されます。	−
「最大サイズを超えたので中断しました」	● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。 ● メロディやダウンロード辞書、キャラ電、マイシグナルなどをダウンロード中に最大サイズを超えた場合に表示されます。	− −
「最大サイズを超えています　受信できません（452）」	● 受信するデータが最大サイズを超えているため受信できない場合に表示されます。	−
「サイトが移動しました（301）」	● サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークやデスクトップアイコン、ホームURLに登録されている場合は登録し直してください。	P.126 P.182 P.189
「サイトに接続できませんでした（403）」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	−
「削除される添付ファイルがあります」	● 転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。◉を押すと、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが削除されます。	−
「作成可能サイズを超えるため一部削除されます」	● 宛先、題名、本文のいずれか、または複数のデータが最大サイズを超えているため、超えた部分が削除されて新規メール作成画面が表示されます。	−
「指定サイトがみつかりません（404）」	● サイトが見つかりませんでした。サイトが存在しない可能性があります。	−
「指定サイトに表示データがありません（204）」	● 接続したサイトなどに表示するデータがない場合に表示されます。	−
「指定されたソフトがありません」	● 削除されたｉアプリのソフトのデスクトップアイコンを選択して起動しようとしたときに表示されます。 ● メール、赤外線通信機能、バーコードリーダーからのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。	− −
「指定したサイトへは接続できませんでした（504）」	● 何らかの原因でサイトに接続できませんでした。もう一度接続してください。	−

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「指定の宛先には送信できません」	● 宛先に「,」が含まれているため送信できません。「,」を削除してください。 ● 受信したメールのメールアドレスが半角50文字を超えるため、メールを返信することができません。 ● 数字と「#」「＊」以外の文字およびスペースを含むためSMSを送信できません。数字または「#」「＊」以外の文字やスペースを削除してください。	－ － －
「指定発信制限設定中です」	● 指定発信制限設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.149
「しばらくお待ちください」	● 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから音声電話やテレビ電話、ｉモードをご利用ください。 なお、110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。	－
「しばらくお待ちください(パケット)」	● パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	－
「セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました」 「セキュリティエラーのため終了しました」	● 許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリやｉアプリ待受画面（ｉアプリDXを含む）が終了したときに表示されます。	P.246 P.250
(赤外線通信中に) 「接続相手が見つかりません　続けますか？」	● 接続相手を発見／認識できません。赤外線ポートを向かい合わせてください。	P.289
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「　」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトなどが非常に混み合っています。しばらくたってから接続してください。	P.176 －
「接続できません」	● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。アプリケーション通信設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。 ● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してください。	P.190 －
「設定時間内に接続できませんでした」	● 「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトへの接続、メールの送信などが中断されました。しばらくたってからサイトへの接続やメール送信などを行ってください。	P.190
「全コピーできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	－
「送信できない宛先があります」	● 複数の宛先にｉモードメールを返信するときに、返信できない宛先がある場合に表示されます。	－
「送信できなかった宛先があります（561）」	● 一部の宛先にメールが正しく送信できませんでした。	－
「ソフトに誤りがあります」 「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」	● ソフトのデータが不正のため、ダウンロードやバージョンアップができないときに表示されます。	－
「ソフトに継続動作できない障害が発生しました」	● ソフト起動中に動作を継続できないエラーが発生したときに表示されます。	－
「対応機種ではありません」	● 取得しようとしたソフトがFOMA N703iμに対応していないため、ダウンロードできないときに表示されます。	－
「対応していないコンテンツがあります」	● バーコードリーダーで読み取った情報に、FOMA N703iμで対応していないコンテンツが含まれているため認識できません。	－
「対応ソフトが削除されています　フォルダ内表示を参照してください」	● 選択したメールフォルダに対応するメール連動型ｉアプリが削除されているため、ソフトを起動できません。機能メニューからフォルダ内のメールを参照してください。	P.225
「ダウンロードできませんでした」	● メロディ、キャラ電、ダウンロード辞書をダウンロードしたときに、通信エラーが起きた場合やデータ不正の場合などに表示されます。	－
「ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい」	● ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。	－
「端末暗証番号が違います」 「端末暗証番号は4～8桁です」	● 端末暗証番号の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。正しい端末暗証番号を入力してください。	P.134

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「チャネル情報取得失敗のため表示できませんでした」	● お買い上げ後はじめてチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、またはｉチャネル初期化、ｉチャネルの接続先URLの変更、端末初期化、FOMAカードの差し替えの操作を行った後にチャネル一覧画面を表示しようとしたとき、ｉチャネルの情報が取得できなかった場合に表示されます。「 」が表示される場所まで移動して、もう一度チャネル一覧画面を表示してください。	P.199
「注意！　電話番号やURLの記述があります。　送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。」	● 「スキャン機能」の「メッセージスキャン」を「ON」に設定し、本文に電話番号やURLが含まれているSMSを表示しようとしたときに表示されます。送信元を確認後、SMSの本文を表示する場合は を押してください。 スキャン機能 注意！ 電話番号やURLの記述があります。 送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。	P.394
「通信回数が多くなっています クリアボタンを押して確認を行ってください」	● ｉアプリ待受画面からの通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。CLRを押すと、ｉアプリ待受画面からの通信を許可する、許可しない、あるいはｉアプリ待受画面を終了させるかを選択することができます。	P.250
「通話中です起動できません」 「通話中です操作できません」	● 通話中に行えない操作をしようとしたときに表示されます。	P.304 P.376
「データ取得できませんでした」	● 通信によりデータを取得しようとしたときに、データ不正や通信エラーが起きた場合などに表示されます。	－
「転送先番号を設定してください」	● 転送でんわサービスをご契約されていて、転送先が未設定の状態で着信中に機能メニューの「転送でんわ」を選択した場合に表示されます。	P.330
「添付ファイルが削除されます」	● 受信したｉモードメールを引用返信しようとしたときに、元のｉモードメールに添付ファイルがある場合に表示されます。また、転送するｉモードメールに、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのみ添付されている場合にも表示されます。 を押すと、添付ファイルが削除されます。	－
「添付ファイルを登録できません」	● 赤外線通信、ケーブル接続の通信、microSDメモリーカードからのコピーで登録できない添付ファイル付きメールを受信したときに表示されます。	－
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字や URL などの文字数が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	P.179
「入力データをご確認ください(205)」	● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に表示されます。 を押すと入力した文字や設定が取り消されます（設定・入力した内容は送信されています。送信を取り消す操作ではありません）。	－
「認証タイプに未対応です(401)」	● 認証できないときに表示されます。 を押すと元のページに戻ります。	－
「認証を中止しました（401）」	● 認証画面で「Cancel」ボタンを押したときに表示されます。	－
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。	P.134
「パスワードをご確認ください(401)」	● 「認証」や「再認証」の画面で認証できないときに表示されます。もう一度認証するときは、「YES」を選択します。	－
「発信／着信機能オリジナルロック設定中です」	● 「発信・メール送信」、「着信・メール受信表示」にオリジナルロック設定中に禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.145
「非対応データのため取得できません」	● ｉモーション以外のデータや非対応のｉモーションを取得しようとしたときに表示されます。	－
「編集中のため削除できません」	● 保存BOXに保存されているメールを編集中に、そのメールを削除しようとしたときに表示されます。	－
「本機で使用できるフォーマットがされていません」	● microSDメモリーカードが初期化されていないなどの異常です。microSDメモリーカードを初期化し直してください。	P.283
「無効なデータを受信しました」 「無効なデータを受信しました(XXX)」	● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。なお、“XXX”にエラーの内容を示す番号が表示されることがあります。	－
「メールセキュリティ設定中です 削除できません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリが利用しているフォルダを削除できません。メール連動型ｉアプリとメール連動型ｉアプリのフォルダを削除する場合は、メールのセキュリティを解除してください。 メール連動型ｉアプリのみ削除する場合は、ｉアプリ削除時に、対応するメール連動型ｉアプリ専用フォルダを削除するかどうかのメッセージが表示されたら「NO」を選択します。	P.148

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照ページ
「メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません」	● 受信BOX／送信BOX全体またはメール連動型ｉアプリで利用しているフォルダにセキュリティがかかっているため、メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップできません。メール連動型ｉアプリをダウンロードやバージョンアップする場合には、メールのセキュリティを解除してください。	P.148
「メモリ番号：ＸＸＸ書き換えできません」	● シークレットモードまたはシークレット専用モードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● オート表示に設定されている電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。[●]を押すと、再び電話帳編集画面に戻るので「[No]」を選択し、空いているメモリ番号を入力、または[□]を押して自動登録を選択してから登録し直してください。	P.139 P.99
「メモリ不足です」	● メモリが不足したため、ソフトを起動できないときに表示されます。	−
「メモリ不足です　ｉモードメニューに戻ります」	● メモリが不足したため処理を中断します。[●]を押すとｉモードメニューに戻ります。	−
「メモリ不足です　終了します」	● メモリが不足したため処理を中断します。ｉモードメール作成時の場合、文字の種類の組み合わせなどによっては全角5,000文字まで入力できないことがあります。	−
「文字数オーバーのため冒頭文／署名を貼り付けできません」	● ｉモードメール転送時に、冒頭文／署名を貼り付けると全角5,000文字を超えてしまうため、冒頭文／署名が自動貼り付けされなかったときに表示されます。	−
「文字数がオーバーします作成可能サイズまで本文を削除してください」	● 引用返信するｉモードメールの本文と引用符の合計が全角5,000文字を超えるため全角5,000文字以下になるまで本文を削除してください。	−
「文字数がオーバーするため署名を貼り付けできません」	● 本文と署名の合計が全角5,000文字を超えるため貼り付けできません。	−
「文字数がオーバーするため冒頭文を貼り付けできません」	● 本文と冒頭文の合計が全角5,000文字を超えるため貼り付けできません。	−
「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」	● ユーザ証明書がダウンロードされていません。「YES」を選択することでサイトを表示することができますがサイトによっては継続できないことがあります。	P.193
「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されましたが有効期限が切れています。「YES」を選択することで継続できる場合がありますが、新しくユーザ証明書をダウンロードすることをおすすめします。	P.193
「ユーザ証明書を送信します　よろしいですか？」	● サイトからユーザ証明書が要求されました。ユーザ証明書を送付する場合は「YES」を、しない場合は「NO」を選択してください。	−
「容量不足です　移動できません」	● シークレットフォルダのデータを出し入れした場合、移動先のフォルダの容量がいっぱいのときに表示されます。保存先のデータを消去してから移動し直してください。	P.142
「読み込みできませんでした」	● 何らかの原因でコピーすることができませんでした。新しいmicroSDメモリーカードと交換してコピーし直してください。	−
「“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555） Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily.」 ※ドメイン名は送信先により表示が異なります。	● 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。	−

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、ｉモーション、ｉアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコン（Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のドコモケータイdatalink（P.342）とFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

● 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

● お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- ・保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- ・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

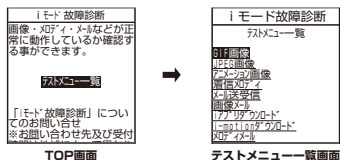
■お願い
- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - ・改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカ、受話口部、内側カメラ付近
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　テストメニュー一覧画面

- 「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
  ・「ｉMenu」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」
  ・サイト接続用QRコード

- ｉモード故障診断のパケット通信料は無料となります。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作をご確認いただく際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認いただいた結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新してください。
ソフトウェアの更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ」にてご案内いたします。

- ソフトウェア更新のパケット通信料は無料となります。
- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の2種類があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）へSSL通信を行います。あらかじめ証明書を有効にしておいてください（お買い上げ時：有効。設定方法は→P.193）。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定している場合にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書換え終了後の自動再起動時に、PIN1コードの入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・FOMAカードの未挿入
  - ・FOMAカードの不正
  - ・PINロック中
  - ・PINロック解除コードロック中
  - ・日付・時刻の未設定
  - ・着信中
  - ・メール／SMS／メッセージ受信中
  - ・音声通話中
  - ・テレビ電話中
  - ・ｉモード通信中
  - ・64Kデータ通信中
  - ・パケット通信中
  - ・ダイヤルロック設定中
  - ・おまかせロック設定中
  - ・キー操作ロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・オリジナルロック設定中
  - ・圏外
  - ・パケット発信規制中
  - ・デュアルネットワークサービスでmova端末利用中
  - ・microSDリーダー／ライター利用中
  - ・その他機能を利用中
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能を利用することはできません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。
- 必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

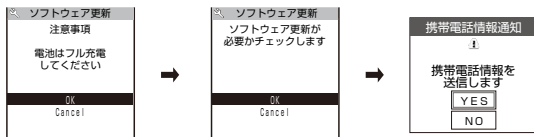
おしらせ

- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- お客様の確認操作なしでソフトウェアの更新が終了すると、待受画面に「」（ソフトウェア更新完了）のデスクトップアイコンが表示されます。「」を選択して端末暗証番号を入力すると、更新結果の内容が表示されます。

ソフトウェア更新が必要かチェックする

1 MENU ▶「SETTINGS」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

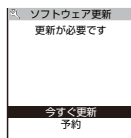
2 注意事項を確認▶ソフトウェア更新が必要かチェック

このとき、携帯電話端末固有の情報をサーバに送信する必要があります。

3 チェック結果画面が表示される

■「更新が必要です」と表示された場合

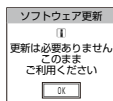
▶「今すぐ更新」または「予約」

すぐにソフトウェアを更新する場合は「今すぐ更新」を選択します。→P.391

あとから更新する場合は「予約」を選択します。→P.392

チェック結果画面

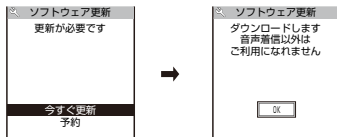
■「更新は必要ありません」と表示された場合

▶「OK」

ソフトウェア更新の必要はありませんので、そのままFOMA端末をご使用ください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

1 チェック結果画面(P.391)▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら「OK」

すぐにソフトウェアのダウンロードを開始します。

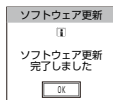
「OK」を選択しなくても、しばらくするとダウンロードが開始されます。

2 ダウンロードが終了し「ダウンロードしました　ソフトウェアを書換えます」と表示されたら「OK」

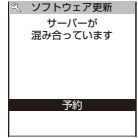
ソフトウェアの更新を開始します。

「OK」を選択しなくても、しばらくすると書換えが開始されます。書換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。

ソフトウェアの書換え中はすべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。

ソフトウェアの書換えが完了すると、自動的に再起動します。

再起動後、自動的にサーバに接続し、更新完了のチェックを行います。「ソフトウェア更新完了しました」と表示されたら「OK」を選択します。これでソフトウェアの更新は終了です。

おしらせ

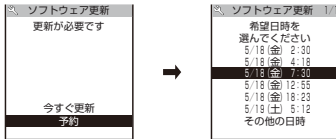
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても自動的に更新処理を実行します。
- サーバが混み合っている場合は、右の画面が表示される場合があります。
  その場合は、「予約」を選択し、予約更新を行ってください。

日時を予約してソフトウェアを更新する<予約更新>

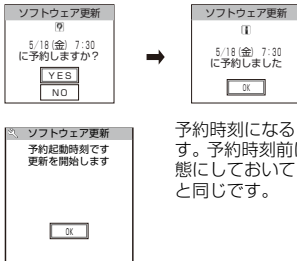
ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合は、あらかじめソフトウェア更新を実行する日時をサーバと通信して予約しておくことができます。

<例：5月18日（金）AM7：30に予約する場合>

チェック結果画面（P.391）▶「予約」▶希望日時を選択

■ 希望する日時が見つからない場合
▶「その他の日時」→P.393

➡

選択した日時を確認▶「YES」

➡

これでソフトウェア更新の予約は完了です。

■ 希望日時を選択し直す場合
▶「NO」

ソフトウェア更新
予約起動時刻です
更新を開始します
OK

予約時刻になると左の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェアの更新を開始します。予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受状態にしておいてください。以降の動作は「すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉」(P.391)と同じです。

おしらせ

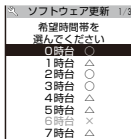
- 予約更新の希望日時には、サーバの時刻が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻とアラーム通知の時刻が同じ場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ほかの機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- 通話中、着信中やメールなどを受信しているときに予約時刻になった場合は、通話終了後やメール受信後にソフトウェア更新を起動します。
- 予約が完了した後に「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

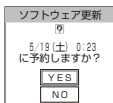
●「その他の日時」を選択した場合

P.392の希望日時の選択画面で「その他の日時」を選択すると、希望日と時間帯を選択することができます。

1 希望日を選択

希望日の選択画面には各希望日の予約空き状況が以下のように表示されます。
○　：空きあり
△　：空きわずか
無印：空きなし

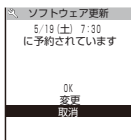
2 時間帯を選択

時間帯の選択画面には各時間帯の予約空き状況が以下のように表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか
×：空きなし
希望する時間帯を選択すると、再度サーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

3 ソフトウェア更新の希望日時を確認

選択した日時を確認して「YES」を選択すると、再度サーバと通信します。
これでソフトウェア更新の予約は完了です。

● 予約を確認する

＜例：予約を確認した後、予約を取り消す場合＞

1 MENU▶「SETTINGS」▶「その他」▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

2 「取消」

■ 予約した日時でよい場合
▶「OK」

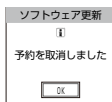
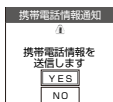
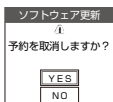
■ 予約した日時を変更する場合
▶「変更」
携帯電話端末固有の情報をサーバに送信した後、「その他の日時」を選択したときと同じ操作を行ってください。→P.393

3 「予約を取消しますか？」と表示されたら「YES」

このとき携帯電話端末固有の情報をサーバに送信します。
なお、当社に送信されたお客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）を第三者に公表・転用することはありません。
「予約を取消しました」と表示されたら、「OK」を選択します。これで予約の取り消しは完了です。

➡

➡

〈スキャン機能〉

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P.394
- スキャン機能は、サイトやインターネットホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後３年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 自動更新設定、パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- パターンデータの更新中に音声電話がかかってきたり、圏外になったりしたときにはパターンデータの更新が中断されます。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

お買い上げ時 すべてON

スキャン機能を「ON」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。
メッセージスキャンを「ON」に設定すると、SMSの本文を自動的にチェックします。

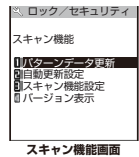
1 MENU▶「SETTINGS」▶「ロック／セキュリティ」▶「スキャン機能」

「スキャン機能画面」が表示されます。

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」▶「スキャン機能」または「メッセージスキャン」▶「ON」

■ 設定を変更するかどうかのメッセージが表示された場合
▶「YES」

※スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、５段階の警告レベルで表示されます。→P.395

おしらせ

- 「メッセージスキャン」を「ON」に設定しても、留守番着信通知はチェックの対象になりません。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 スキャン機能画面（P.394）▶「パターンデータ更新」▶「YES」▶「YES」

※パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

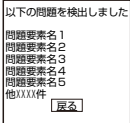
おしらせ

- 更新情報がネットワークから通知された場合、ほかの機能が起動しているときや、ｉモード中、パケット通信中のときはパターンデータを自動更新できません。

自動でパターンデータを更新する<自動更新設定>

1 スキャン機能画面（P.394）▶「自動更新設定」▶「有効」▶「YES」▶「YES」

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧がレベルの高いものから順に5件まで表示されます。問題要素が6件以上検出された場合は、6件目以降の問題要素名は省略されます。
問題要素名が省略された残りの件数（6件目以降の件数）は次のように表示されます。
1～9998件の場合：件数がそのまま表示されます。
9999件以上の場合：すべて「他9999件」と表示されます。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	警告レベル4
正常に動作できない場合があります	正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	正常に動作できない場合があるため終了します	正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	正常に動作できないためデータを削除します
[確定]･･･動作を継続します。	[中止]･･･動作を中止し、終了します。 [継続]･･･動作を継続します。	[確定]･･･動作を中止し、終了します。	[削除]･･･データを削除し、終了します。 [戻る]･･･動作を中止し、終了します。	[確定]･･･データを削除し、終了します。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

スキャン機能画面（P.394）▶「バージョン表示」

主な仕様

項目		仕様	
品名		FOMA N703iμ	
サイズ		高さ103mm×幅49mm×厚さ11.4mm（折り畳み時）	
質量		約90g（電池パック装着時）	
連続待受時間		静止時：約690時間　　移動時：約500時間	
連続通話時間		音声電話時：約200分　　テレビ電話時：約135分	
充電時間		ACアダプタ：約120分　　DCアダプタ：約120分	
液晶部	方式	ディスプレイ：TFT262,144色　　マイシグナル：LED1色	
	サイズ	ディスプレイ：約2.3inch	
	画素数	ディスプレイ：82,800画素（240×345ドット）　　マイシグナル：7×7ドット	
撮像素子	種類	内側カメラ：CMOS　　外側カメラ：CMOS	
	サイズ	内側カメラ：1/8inch　　外側カメラ：1/4inch	
	有効画素数	内側カメラ：約33万画素　　外側カメラ：約130万画素	
カメラ部	記録画素数	内側カメラ：約31万画素　　外側カメラ：約120万画素	
	ズーム（デジタル）	内側カメラ：最大2倍　　外側カメラ：最大5倍	
記録部	静止画記録枚数	約360枚※1	
	静止画連続撮影	4～20枚※2	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画録画時間	本体保存時：約374秒※3 microSDメモリーカード（64Mバイト）保存時：約120分※3	
	動画ファイル形式	MP4	
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション	約1,070分
		着うたフル®	約1,400分※4
		SD-Audio	約1,460分※4

※1：画像サイズ＝SubQCIF（128×96ドット）、品質設定＝ファイン（ファイルサイズ＝10Kバイト）の場合です。
※2：画像サイズによって異なります。
※3：以下の条件での1件あたりの録画時間です。
<本体>
画像サイズ＝SubQCIF（128×96ドット）　品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝2MB以下　撮影種別設定＝通常
<microSDメモリーカード（64Mバイト）>
画像サイズ＝SubQCIF（128×96ドット）　品質設定＝標準　ファイルサイズ設定＝長時間　撮影種別設定＝通常
※4：ファイル形式＝AAC形式（BGM再生対応）

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録可能件数	保護可能件数
電話帳		最大700※1	–
スケジュール	スケジュール	100	–
	休日	100	–
	記念日	100	–
To Doリスト		100	–
メール （SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大1,000※2※3※4	最大1,000※2
	送信メール	最大400※2※3※4	最大200※2
	保存メール	最大20※2	–
デコメールのテンプレート		最大45※2※5	–
メッセージ	メッセージR	最大100※2	最大50※2
	メッセージF	最大100※2	最大50※2
ブックマーク		100※6	–
画面メモ		最大100※2	最大50※2
ｉアプリ		最大200※2（メール連動型ｉアプリは5）	–
静止画／画像		最大720※2※4	–
動画／ｉモーション		最大100※2※6	–
キャラ電		10※5	–
メロディ		最大200※2	–
音楽データ		最大100※2	–
マイシグナルのアニメーションデータ		10	–

※1：50件までFOMAカードに保存できます。
※2：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※3：SMSの場合は、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。→P.286
※4：シークレットフォルダには別途最大100件保存できます。
※5：お買い上げ時に登録されているデータを含みます。
※6：シークレットフォルダには別途最大10件保存・登録できます。

■お願い

- 登録したデータの内容は、別にメモを取ったり、microSDメモリーカードに保管することをおすすめします。登録したデータの内容は、ドコモケータイdatalinkとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに転送して保管することもできます。→P.290
- FOMA端末の故障・修理やその他の取扱いによって、登録したデータが消失する場合があります。当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA N703iμの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA N703iμのSARの値は1.18W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
NECのホームページ http://www.n-keitai.com/lineup/

※： 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則14条の2）で規定されています。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は「五十音目次」としての機能もあわせ持っています。本書に記載されている用語だけでなく、記載内容を要約した用語も収録しています。知りたい事項が収録されていない場合は、別のキーワードで探してください。

<例1：外部ボタンの機能を無効にしたいとき>

外部ボタン操作. 148
顔文字一覧 375
顔文字入力 348

ロック機能
　オリジナルロック 143
　外部ボタン操作 148

<例2：すぐに電話に出られないとき>

応答保留 74
オート着信 322

保留（着信中、通話中）. 74
保留音設定 74

<例3：別の用語で収録しているとき>

初期化→リセット
初期設定 49

リセット
　オリジナルメニュー初期化. 121

●「五十音／英字／数字」索引の後に「機能メニュー」索引を収録しています。機能メニュー（P.39）の項目を検索したいときにご利用ください。

五十音／英字／数字

あ

い

て

と

ま

み

む

め

数字

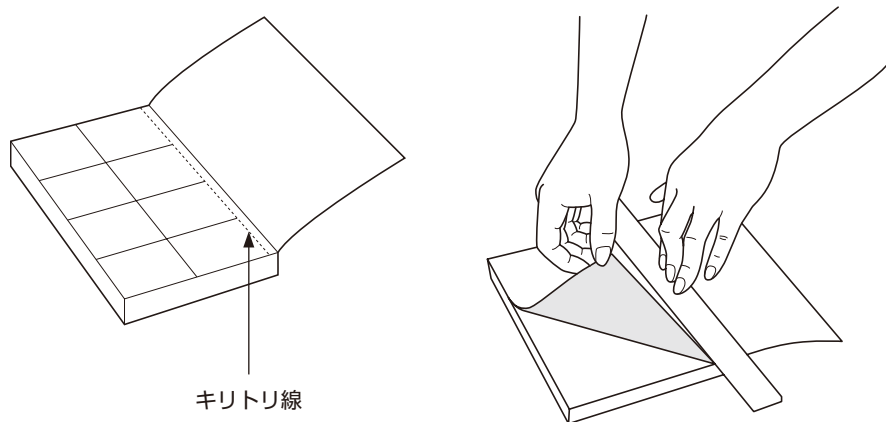
機能メニュー

クイックマニュアル

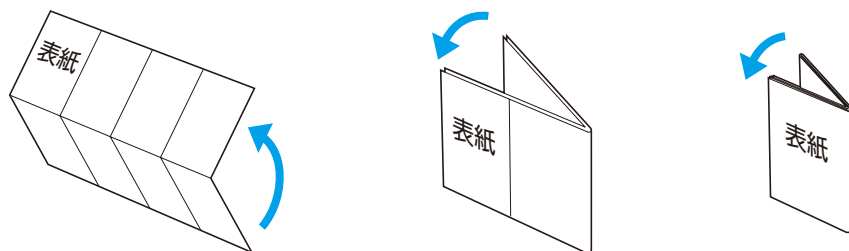
クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

■切り取りかた

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
下図のように定規などをキリトリ線に合わせて切り取れます。
※はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

NTT DoCoMo

FOMA® N703iμ クイックマニュアル

○総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

○故障お問い合わせ先
■ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

電話帳に登録する

電話帳登録 1/2
ドコモ太郎 — 名前
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ — フリガナ
〈未登録〉 — グループ
〈未登録〉 — 電話番号
〈未登録〉 — メールアドレス
〈未登録〉 — 住所
〈未登録〉 — 誕生日
〈未登録〉 — メモ
〈未登録〉 — 静止画
〈未登録〉 — キャラ電
完了　選択　機能

1 MENU→「PHONEBOOK」→α[機能]→「電話帳登録」

●着信履歴から登録する場合
待受画面表示中→着信履歴を選択→α[機能]→「電話帳登録」

●リダイヤルから登録する場合
待受画面表示中→リダイヤルを選択→α[機能]→「電話帳登録」

1

2 「本体」または「FOMA カード（UIM）」→（「着信履歴／リダイヤル」から登録する場合は「新規登録」または「追加登録」を選択）→名前を入力→名前のフリガナを確認→[確定]

3 項目を選択してそれぞれ入力

■グループの設定（00～19）
<未登録>→グループを選択

■電話番号の設定（4件まで）
<未登録>→電話番号を入力→アイコンを選択

■メールアドレスの設定（3件まで）
<未登録>→メールアドレスを入力→アイコンを選択

■住所の設定
<未登録>→郵便番号を入力→住所を入力

■誕生日の設定
<未登録>→誕生日を入力

2

■メモの設定
<未登録>→メモを入力

■静止画の設定
<未登録>→カメラ撮影または静止画を選択

■キャラ電の設定
<未登録>→キャラ電を選択

■メモリ番号の設定（000～699）
→メモリ番号を入力

4 [完了]
FOMAカードへの登録では、名前、フリガナ、グループ、電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

3

電話帳を修正・削除する

●電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面を表示する→α[機能]→「電話帳編集」→必要な項目を修正→[完了]

2 本体の場合→「YES」
FOMA カードの場合→「上書き登録」→「YES」

●電話帳を削除する
電話帳一覧画面を表示する→α[機能]→「電話帳削除」→「1件削除」→「YES」

4

文字入力

■文字入力画面

テキストメモ編集
いつもお世話になっております。 — 文字入力エリア
改行 / 小／大 ch 文字 — 操作ガイダンスエリア
漢全 482 — 情報表示エリア
絵記　確定　機能

■入力できる文字種

漢 … 漢字ひらがな　数 … 数字
カ … カタカナ　区 … 区点コード
英 … 英字

5

■文字入力方式の切り替え
[絵記]（1秒以上）
押すたびに次のように切り替わります。
かな方式→2タッチ方式→T9入力方式

■濁点、半濁点、句読点の入力
#（数回）

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切り替え
ch（数回）

6

■絵文字記号の連続入力
[絵記]→絵文字または記号を選択→入力が終わったらCLR

■文字の消去
で削除したい文字にカーソルを合わせる→CLR

■スペースの入力
α[機能]→「スペース入力」
（カーソルが文末の場合のみ）

■改行の入力
（1秒以上）
（カーソルが文末の場合のみ）

■入力した文字の大文字／小文字の切り替え

7

キリトリ線

テキストメモに「秋桜」を入力

■文字入力（編集）画面の表示

MENU 4 2 →✉［編集］→
ch で「漢字ひらがな入力モード」にする

■読みを入力

こ → 2 を5回
す → 3 を3回
も → 7 を5回
す → 3 を3回

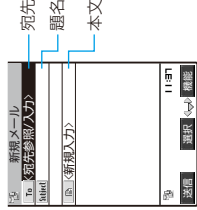
■予測候補から選択する場合

□→「秋桜」を選択

■変換候補から選択する場合

α［変換］→（●［確定］※）→
もう一度 α［変換］→
「秋桜」を選択
※:目的の文字に変換された場合

8

カメラ

■静止画撮影

MENU →「LIFEKIT」→「カメラ」→「フォトモード」→●
［撮影］または▯［📷］→●［保存］

■連続撮影

MENU →「LIFEKIT」→「カメラ」→
「フォトモード」→α［機能］→
「カメラモード切替」→「連続撮影」→
「オート」または「マニュアル」→
●［連写／撮影］または▯［📷］→
α［機能］→保存する方法を選択

■動画撮影

MENU →「LIFEKIT」→「カメラ」→
「ムービーモード」→●［撮影］または▯［📷］→
●［終了］または▯［📷］→●［保存］

9

静止画、動画やメロディを再生する

■静止画表示

MENU →「DATA BOX」→「マイピクチャ」→
フォルダを選択→静止画を選択

■動画再生

MENU →「DATA BOX」→「ｉモーション」→
フォルダを選択→動画を選択

■メロディ再生

MENU →「DATA BOX」→「メロディ」→
フォルダを選択→メロディを選択

ミュージックプレイヤーを利用する

■曲を再生する

MENU →「DATA BOX」→「ミュージック」→フォルダを選択→曲を選択

■▯で起動する

FOMA端末を閉じた状態で▯（1秒以上）

10

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力→✉［テレビ電話］→
通話が終了したら☎

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、マイシグナルに着信中のアニメーションが表示されたら☎または●［代替画像］→
通話が終了したら☎

☎：自分のカメラ映像を相手に送信する
●［代替画像］：代替画像を相手に送信する

■通話中の動作

✉：ハンズフリーの切り替えと解除
●［切替］：カメラの切り替え（内側カメラ／外側カメラ）

11

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

■作成画面を表示

✉［✉MAIL］→✉［✉NEW］

■宛先を入力

To →宛先を入力

12

■題名を入力

Subject →題名を入力

■本文を入力

📄→本文を入力

■メールを送信

✉［送信］→「OK」

ファイルの添付

■イメージ（画像）、ｉモーション、メロディの添付

新規メール画面を表示→α［機能］→「添付ファイル追加」→項目を選択→フォルダを選択→データを選択

■電話帳の添付

新規メール画面を表示→α［機能］→「添付ファイル追加」→「電話帳」→「本体」→電話帳を検索→電話帳を選択

13

■マイプロフィールの添付

新規メール画面を表示→α［機能］→「添付ファイル追加」→「マイプロフィール」→端末暗証番号を入力→●［確定］

■スケジュールの添付

新規メール画面を表示→α［機能］→「添付ファイル追加」→「スケジュール」→項目を選択→データを選択→●［選択］

■Bookmarkの添付

新規メール画面を表示→α［機能］→「添付ファイル追加」→「Bookmark」→項目を選択→フォルダを選択→データを選択→●［選択］

ｉモードメールの受信

「✉」が点滅→受信結果画面が表示→
「メール」を選択

14

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを表示→✉［返信］→
「📄」→本文を入力→✉［送信］→「OK」

■メールの転送

転送したいメールを表示→α［機能］→「転送」→
「 To 」→宛先を入力→✉［送信］→
「OK」

ｉモード問い合わせ

✉［MAIL］（1秒以上）

15

キリトリ線

メニュー機能一覧

大項目	中項目
MAIL（メール）	受信BOX
	送信BOX
	保存BOX
	新規メール作成
	チャットメール
	SMS作成
	ｉモード問い合わせ(✉(1秒以上))
	メール選択受信
	SMS問い合わせ
	テンプレート
	メール設定
i-MODE（ｉモード）	ｉMenu
	Bookmark
	画面メモ
	ラストURL
	Internet
	ｉチャネル(ch)
	メッセージR／F
	ｉモード問い合わせ(✉(1秒以上))
	ユーザ証明書操作
	ｉモード設定
i-αPPLI（ｉアプリ）	ソフト一覧(@(1秒以上))
	microSD保存データ
	自動起動設定
	ｉアプリ実行情報

大項目	中項目
DATA BOX（データ BOX）	マイピクチャ（MENU 4 6）
	ミュージック
	ｉモーション
	メロディ（MENU 1 6）
	キャラ電
	マイシグナル
LIFEKIT（LifeKit）	バーコードリーダー
	赤外線受信（MENU 7 9）
	SD-PIM
	カメラ（[MEMO／CHECK](1秒以上)）
	電話帳お預りサービス
	スケジュール（MENU 4 5）
	アラーム（MENU 4 4）
	To Doリスト（MENU 9 5）
	テキストメモ（MENU 4 2）
	電卓（MENU 8 5）
	メモの再生／消去（[MEMO／CHECK]）
	動画メモの再生／消去

大項目	中項目
LIFEKIT（LifeKit）	待受中音声メモ（MENU 4 3）
	おしゃべり機能（MENU 9 1）
	FOMAカード（UIM）操作
	マイプロフィール（MENU 0）
	電話帳画像転送
	辞典
PHONEBOOK（電話帳）	－
OWN DATA（ユーザデータ）	着信履歴（MENU 2 4）
	発信履歴
	メールメンバー（MENU 9 7）
	チャットグループ
	直デン
	定型文（MENU 3 8）
	ユーザ辞書（MENU 8 2）
	ダウンロード辞書

大項目	中項目	小項目
SETTINGS（各種設定）	スタイルモード	－
	着信	着信音量（MENU 5 0）
		着信音選択（MENU 1 3）
		SRS_WOW設定（MENU 6 4）
		バイブレータ（MENU 5 4）
		着信イルミネーション（MENU 8 9）
		マナーモード選択（MENU 2 0）
		電話帳画像着信設定
		着信アンサー設定（MENU 5 8）
		メール／メッセージ鳴動（MENU 6 8）
		呼出時間表示設定（MENU 9 0）
		確認機能設定（MENU 6 5）
		伝言メモ（MENU 5 5）
	通話	ノイズキャンセラ（MENU 7 6）
		通話品質アラーム（MENU 7 5）
		再接続機能（MENU 7 7）
		通話中イルミネーション
		保留音設定
		クローズ動作設定（MENU 1 8）
	発信	ポーズダイヤル（MENU 8 4）
		サブアドレス設定
		プレフィックス設定
		自動発信設定
		国際ダイヤルアシスト
	テレビ電話	送信画質設定
		画像選択

大項目	中項目	小項目
SETTINGS（各種設定）	テレビ電話	音声自動再発信
		遠隔監視設定
		テレビ電話画面設定
		テレビ電話切替通知
		ハンズフリー切替
		パケット通信中着信設定
	ディスプレイ	画面表示設定（MENU 5 6）
		照明設定（MENU 7 0）
		画面デザイン（MENU 8 6）
		マイシグナル設定（MENU 9 3）
		フォント設定（MENU 6 6）
		デスクトップ（MENU 6 3）
		バイリンガル（MENU 1 5）
		メニュー画面設定（MENU 5 7）
		ピクチャ表示設定
		オート表示（MENU 4 7）
		表示アイコン説明（MENU 3 6）
		表示アイコン設定
		プライバシーアングル
	時間／料金	通話時間／料金（MENU 6 1）
		通話料金通知
		積算リセット（MENU 6 0）
		積算料金自動リセット
		通話中時間表示（MENU 4 8）
	時計	時計設定（MENU 3 1）

大項目	中項目	小項目	
SETTINGS（各種設定）	時計	待受時計表示（MENU 3 9）	
		アラーム通知設定	
		時刻アラーム音設定	
	ロック／セキュリティ	ロック	ダイヤルロック
			オリジナルロック
		キー操作ロック	
		セルフモード	
		シークレットモード（MENU 4 0）	
		シークレット専用モード（MENU 4 1）	
		登録外着信拒否	
		非通知着信設定（MENU 1 0）	
		端末暗証番号変更（MENU 2 9）	
		PIN設定	
		スキャン機能	
	アプリケーション通信設定	接続待ち時間設定	
		ｉモード問い合わせ設定	
		接続先選択（MENU 8 1）	
		SMS center設定	
		証明書	
		証明書センター接続設定	
	ｉアプリ設定	ソフト情報表示設定	
		待受画面終了	
		ｉアプリ音量	

大項目	中項目	小項目
SETTINGS（各種設定）	外部接続	USBモード設定
		通知音出力切替（MENU 5 1）
		イヤホン接続時マイク切替
		オート着信（MENU 9 4）
	ネットワーク設定	ネットワークサーチ設定
	その他	ボタン確認音（MENU 3 0）
		充電確認音
		電池残量（MENU 7 1）
		外部ボタン操作（MENU＊(1秒以上)）
		文字入力設定（MENU 3 5）
		設定リセット（MENU 2 3）
		端末初期化
		ソフトウェア更新

大項目	中項目
SERVICE（サービス）	着もじ
	発信者番号通知（MENU 1 7）
	留守番電話
	キャッチホン
	転送でんわ
	迷惑電話ストップ
	番号通知お願いサービス
	通話中の着信動作選択
	通話中着信設定
	遠隔操作設定
	デュアルネットワーク
	英語ガイダンス
	追加サービス
	サービスダイヤル
	マルチナンバー

＜その他の機能＞

- ●マナーモード　：[#](1秒以上)(押すたびに設定／解除)
- ●公共モード（ドライブモード）：[＊](1秒以上)(押すたびに設定／解除)

キリトリ線

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番電話サービス開始

MENU→「SERVICE」→「留守番電話」→「留守番サービス開始」→「YES」→「YES」→呼出時間(秒)を入力

■留守番サービス停止

MENU→「SERVICE」→「留守番電話」→「留守番サービス停止」→「YES」

■留守番メッセージ再生

MENU→「SERVICE」→「留守番電話」→「留守番メッセージ再生」→「YES」→音声ガイダンスの指示に従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

MENU→「SERVICE」→「キャッチホン」→「キャッチホンサービス開始」→「YES」

■キャッチホンサービス停止

MENU→「SERVICE」→「キャッチホン」→「キャッチホンサービス停止」→「YES」

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中に着信があったら☎

☎を押すたびに通話する相手を切り替えることができます。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

MENU→「SERVICE」→「転送でんわ」→「転送サービス開始」→メニューから行いたい操作を選択

■転送サービス停止

MENU→「SERVICE」→「転送でんわ」→「転送サービス停止」→「YES」

番号通知お願いサービス

■番号通知お願いサービス開始

MENU→「SERVICE」→「番号通知お願いサービス」→「番号通知お願い開始」→「YES」→「OK」

■番号通知お願いサービス停止

MENU→「SERVICE」→「番号通知お願いサービス」→「番号通知お願い停止」→「YES」→「OK」

FOMA端末から利用できるサービス

サービス	番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)※1	(局番なし)104
電報の発信(有料)午前8時～午後10時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報※2	(局番なし)110
消防·救急への緊急通報※2	(局番なし)119
海上で事件·事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

※1: 電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。

※2: おかけになった地域により、管轄の消防署·警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

主なアイコン表示

04.27FRI AM 11:37

アイコン表示エリア

:電池残量表示

:ダイヤルロック設定中

:未読メールあり

:未読メッセージFあり

:ｉモードセンターにメールあり

:電波の受信レベル

:ｉモード中

:SSL対応ページを表示中

:通信モード中

:赤外線通信中

:microSDメモリーカード取り付け時

:音声通話中

:プライバシーアングル設定中

:バイブレータ設定中

:着信音量を「SILENT」に設定中

:マナーモード設定中

:公共モード(ドライブモード)設定中

:アラーム通知機能設定中

～ 、 :留守番電話の伝言メッセージあり

:伝言メモ設定中

:テレビ電話伝言メモ設定中

:バックライトを「OFF」に設定中

:キー操作ロック設定中／待機中

:外部ボタン操作を「閉じた時無効」に設定中

<紛失時などの緊急連絡先>

おまかせロック

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間24時間

※パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

その他の緊急連絡先

<連絡先：　　　　　>

<連絡先：　　　　　>

<連絡先：　　　　　>

※ダイヤル番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーを守りましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード／オリジナルマナーモード】→P.113、114

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード）。マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナーモード）。ただし、マナーモード／オリジナルマナーモードのどちらでも、カメラのシャッター音を消すことはできません。

【公共モード（ドライブモード／電源OFF)】→P.75、76

電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.110

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ機能】→P.78

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　i Menu ▶ 料金&お申込･設定 ▶ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)

※ i モードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ i モードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先 <DoCoMo インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 (局番なしの) 151 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

 (局番なしの) 113 (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 日本電気株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'07.2(2.1版)
MDT-000072-JAA0

FOMA® N703iμ
データ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA N703iμでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、付属のCD-ROM内の「N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
Windows XPの操作手順について
本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

利用できるデータ通信の種類

FOMA端末とパソコンを接続して利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。

パケット通信

送受信されたデータ量に応じて課金され、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータを送受信します。少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。
FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスすることもできます。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」など、FOMAパケット通信対応アクセスポイントを利用します。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、接続された時間に応じて課金され、64kbps の安定した通信速度でデータを送受信します。多くのデータ量をやりとりするのに適しています。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64K データ通信対応アクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用します。
FOMA USB接続ケーブルを使ってパソコンと接続したり、専用ケーブルでPDAと接続することにより通信を行います。
※長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

おしらせ

● 本FOMA端末はIP接続には対応しておりません。

データ転送（OBEX）

赤外線やFOMA USB接続ケーブルを使ってデータを送受信します。FOMA USB接続ケーブルを使って、パソコンとデータ転送を行うときには、後で説明するFOMA N703iμ通信設定ファイル以外に、ドコモケータイdatalink※もインストールする必要があります。
※：詳細については付属のCD-ROM内の「ドコモケータイdatalinkのご案内」をご覧ください。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要となる場合があります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用する時のアクセス認証では FirstPass（ユーザ証明書）が必要です。付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM内のAdobe Reader をインストールしてご覧ください。ご使用方法等の詳細につきましては、Adobe Readerヘルプを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件について

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用できるパソコンであること。
- FOMAサービスエリア内であること。
- パケット通信の場合は接続先がFOMAのパケット通信に対応していること。
- 64Kデータ通信の場合は接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること。

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

ご使用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨
OS※1	• Windows 2000（日本語版） • Windows XP（日本語版）
必要メモリ	• Windows 2000：64Mバイト以上※2 • Windows XP：128Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1 ： OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。
※2 ： 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、右のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。「はい」をクリックしてください。
※ 画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

おしらせ

- ●FOMA端末をドコモのPDA「musea」や「sigmarion Ⅱ」、「sigmarion Ⅲ」と接続してデータ通信を行うことができます。「musea」や「sigmarion Ⅱ」と接続する場合は、アップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ●FOMA N703iμは、Remote Wakeupには対応していません。
- ●FOMA N703iμは、FAX通信には対応していません。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）またはFOMA充電機能付 USB接続ケーブル 01（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA N703iμ用CD-ROM」

おしらせ

- ●USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA充電機能付USB接続ケーブル01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- ●本書では「FOMA USB接続ケーブル」の場合で説明しています。

手順を確認する

データ通信ではダイヤルアップ接続によって、FOMAデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダやLANに接続できます。

■「FOMA N703iμ用CD-ROM」について

● N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）、FOMA PC設定ソフト、FirstPass PCソフトが入っています。

● N703iμ通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送（OBEX）を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。N703iμ通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsに各ドライバが組み込まれます。
FOMA PC設定ソフトを使うと、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができます。

設定完了までの流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

※： FOMA端末とパソコンを接続してインターネットをするには、ブロードバンド接続などに対応した「mopera U」（お申し込み必要）が便利です。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、お申し込みが不要で今すぐインターネットに接続できる「mopera」もご利用いただけます。
詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

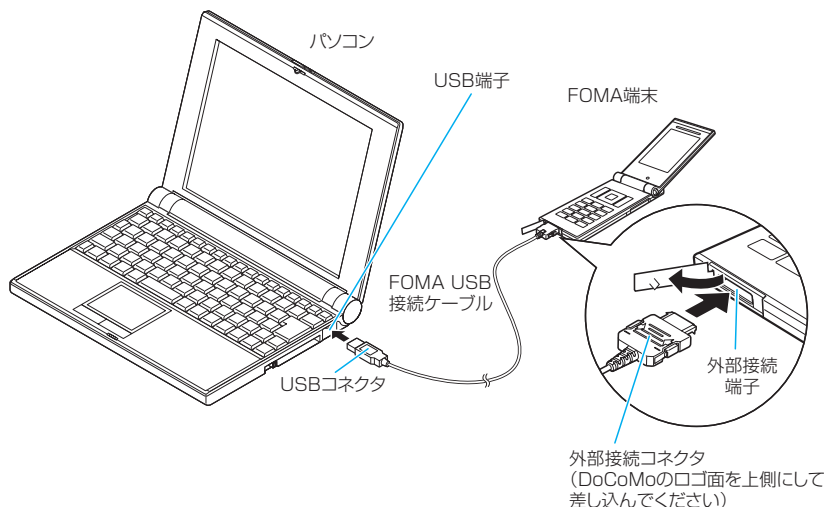
USBモード設定を「通信モード」にする

外部接続端子をパケット通信、64Kデータ通信によるデータ転送に使う準備をします。

● パソコンに取り付ける前に、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。

1 MENU ▶「SETTINGS」（各種設定）▶「外部接続」▶「USBモード設定」▶「通信モード」

取り付け方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタを水平に「カチッ」と音がするまで差し込む

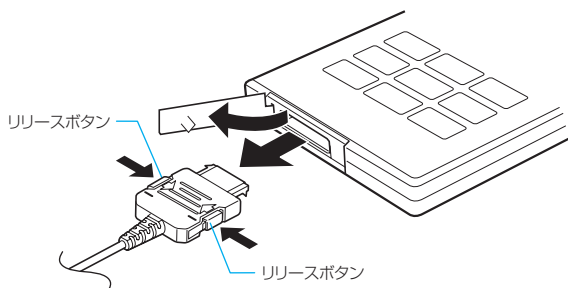
3 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する

FOMA USB接続ケーブルを接続するとFOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA端末に表示される「 」は、N703iμ通信設定ファイルのインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。

取り外し方法

FOMA USB接続ケーブル（別売）の取り外し方法について説明します。

1. パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く
2. FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、水平に引き抜く
3. FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる

おしらせ

- FOMA USB接続ケーブルの取り付け・取り外しを連続して行うと、FOMA端末がパソコンに正しく認識できなくなることがありますので間隔をおいて行ってください。
- 通信の切断・誤動作・データ消失の原因となるため、データ通信中にFOMA USB接続ケーブルの取り外しは行わないでください。
- FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタをFOMA端末の外部接続端子から引き抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

パソコンの設定をする

ここでは、パソコンとの接続から、N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールするまでの手順を説明します。

FOMA端末とパソコンを接続する

1. Windowsを起動して、「FOMA N703iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする

2. 「×」をクリックして画面を終了させる

この画面は、「FOMA N703iμ用CD-ROM」をパソコンにセットすると自動的に表示されます。表示されない場合は、そのまま操作3へ進みます。
N703iμ通信設定ファイルのインストール中にこの画面が表示された場合も「×」をクリックします。

3. FOMA端末の電源を入れて、FOMA USB接続ケーブル（別売）をFOMA端末に接続する

4. FOMA USB接続ケーブルをパソコンのUSB端子に接続する

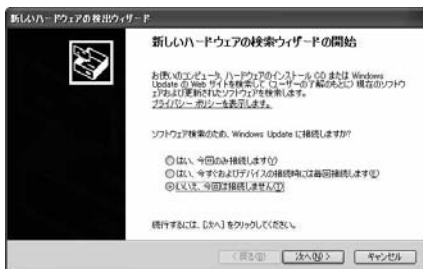
「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

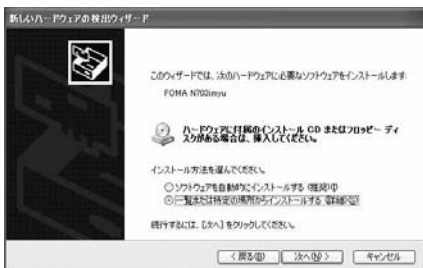
N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

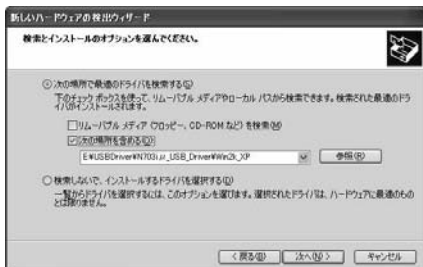
● N703iμ通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。
● N703iμ通信設定ファイルのインストール手順は、OSによって異なります。ご利用になるパソコンのOSに合った説明を参照してください。
Windows XPの場合は下記を参照してください。
Windows 2000の場合はP.9へ進みます。

● Windows XPの場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.7）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続すると、自動的に右の画面が表示されます。

2 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックを外し、「次の場所を含める」をチェックして検索するフォルダを指定し、「次へ」をクリックする

フォルダは、「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDriver¥N703iμ_USB_Driver¥Win2k_XP」を指定します。
CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。この画面ではCD-ROMドライブ名が「E」です。
ドライバはWindows 2000と共通です。

5 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

6 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～5を参考にして、残りの3つのドライバ（P.10）をすべてインストールします。操作5の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなればドライバのインストールは終了です。
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」というメッセージが数秒間表示されます。「インストールしたドライバを確認する」（P.10）に進みます。

● Windows 2000の場合

1 FOMA端末にFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

「FOMA端末とパソコンを接続する」（P.7）の操作4でFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続すると、自動的に右の画面が表示されます。

2 「次へ」をクリックする

3 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「場所を指定」をチェックして「次へ」をクリックする

5 検索するフォルダを指定し、「OK」をクリックする

フォルダは、「<CD-ROM ドライブ名>：¥USBDriver¥N703iμ_USB_Driver¥Win2k_XP」を指定します。
CD-ROM ドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

6 ドライバ名を確認し、「次へ」をクリックする

ここでは「FOMA N703iμ」と表示されます。

7 「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されたら、「完了」をクリックする

8 ほかのドライバもインストールする

引き続き、操作1～7を参考にして、残りの3つのドライバ（P.10）をすべてインストールします。操作7の終了後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が出なくなれば、ドライバのインストールは終了です。「インストールしたドライバを確認する」（P.10）に進みます。

インストールしたドライバを確認する

N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsのコントロールパネルを開く

Windows XPの場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択

Windows 2000の場合

「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を選択

2 「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

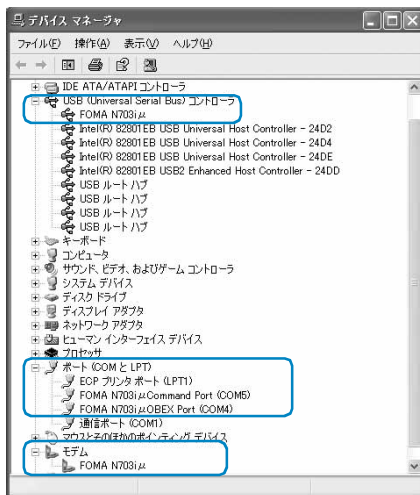
Windows 2000の場合

コントロールパネル内の「システム」を開く

3 デバイスマネージャを開く

「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

4 各デバイスをクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」、「ポート（COMとLPT）」、「モデム」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」（P.12）へ進みます。

デバイス名	ドライバ名
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA N703iμ
ポート（COMとLPT）	• FOMA N703iμ Command Port • FOMA N703iμ OBEX Port
モデム	• FOMA N703iμ

おしらせ

● 上記の確認を行った際、すべてのドライバ名が表示されない場合は、アンインストール（P.11）の手順に従ってN703iμ通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

ドライバのアンインストールが必要な場合（ドライバをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

- FOMA端末を接続している状態で「プログラムの追加と削除」を実行した場合は、アンインストールを実行できません。
- N703iμ通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 FOMA端末とパソコンがFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されている場合は、FOMA USB接続ケーブルを取り外す

2 Windowsの「プログラムの追加と削除」を起動する

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックする

3 「FOMA N703iμ USB」を選択して「変更と削除」をクリックする

4 「OK」をクリックしてアンインストールする

アンインストールを中止する場合は「キャンセル」をクリックします。

5 「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

おしらせ

- Windowsの「プログラムの追加と削除」に「FOMA N703iμ USB」が表示されていない場合は、次のように操作をしてください。
  ①「FOMA N703iμ用CD-ROM」をパソコンにセットする
  ②「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
  ③CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
  ④CD-ROM内の「USBDriver」→「N703iμ_USB_Driver」→「Win2k_XP」フォルダを開く
  ⑤「n703imun.exe」※をダブルクリックする
  ※：お使いのパソコンの設定によっては「n703imun」と表示されることがあります。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定ができます。

● FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P.30

FOMA端末とパソコンとの接続については、P.5を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを行います。

W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。
cid [Context Identifier]…FOMA端末に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

おしらせ

● FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1以前の古いバージョン（以後、旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

STEP 1
ソフトの
インストール

「FOMA PC設定ソフト」をインストールします

インストール方法は、P.14を参照してください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1」のインストールを行う前にアンインストールしてください。
「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフトVer 3.0.1」のインストールは行えません。
「旧W-TCP設定ソフト」および「旧APN設定ソフト」がインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

STEP 2
設定前の
準備

各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
「FOMA端末とパソコンの接続方法」については、P.5を参照してください。
「FOMA端末をパソコンに正しく認識させる方法」については、「パソコンの設定をする」（P.7）を参照してください。
FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。
その場合はP.8を参照して通信設定ファイルのインストールを行ってください。

ご利用の通信に対応した設定をします

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」は、P.18を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」は、P.20を参照してください。
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.22を参照してください。
かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」は、P.23を参照してください。
その他の設定は、P.27以降を参照してください。

STEP 4
接　続

インターネットに接続します

接続方法は、P.24を参照してください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

● インストールする前に動作環境を確認してください。→P.3
● 「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

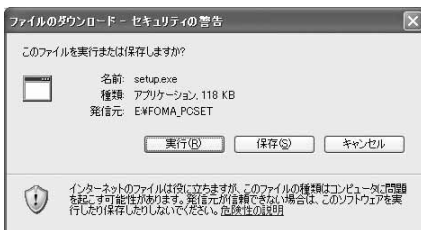
1 CD-ROMをパソコンにセットする

右の画面が自動的に表示されます。
メニューが動作する推奨環境は Microsoft Internet Explorer 6.0以降です。お使いのパソコンが推奨環境を満たさないときや、CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
① 「スタート」→「マイコンピュータ」を開く
② CD-ROMアイコンを右クリックし、「開く」を選択する
③ 「index.html」をダブルクリックする

2 「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする

3 「FOMA PC設定ソフト」の項目の「インストール」をクリックする

「インストール」をクリックすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
※画面はWindows® XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

「ファイルのダウンロードーセキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行」をクリックしてください。

「Internet Explorer －セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合
「実行する」をクリックしてください。

4 「次へ」をクリックする

セットアップを開始する前に、現在使用中または常駐しているほかのプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。
旧W-TCP設定ソフトまたは旧APN設定ソフトがインストールされているという画面が出た場合は、P.15を参照してください。

5 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする

「いいえ」をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールは中止されます。

6 「次へ」をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定･解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
とくに問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま「次へ」をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの「メニュー」、「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。
（参考）：「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。

デスクトップ右下のタスクトレイに表示されます。

7 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

8 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し､「次へ」をクリックします。

9 「完了」をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定をはじめられます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

＜旧W-TCP設定ソフトがインストールされている場合＞

- 「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧W-TCP設定ソフトを削除してください。

＜旧APN設定ソフトがインストールされている場合＞

- 「OK」をクリックすると、旧APN設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

＜FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合＞

- 「OK」をクリックすると、インストールが中止されます。すでにインストールされている「FOMA PC設定ソフト」を「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」からアンインストールして、インストールし直してください。
- 古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合も同様の操作を行ってください。

<インストール途中で「キャンセル」を押した場合>

- インストールを継続する場合は「いいえ」を、中止する場合は、「はい」をクリックしてください。

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報を確認する

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

2 ツールバーの「メニュー」→「バージョン情報」を開く

FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が表示されます。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

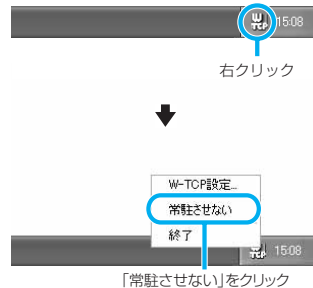
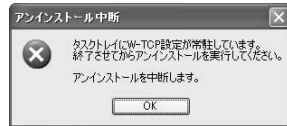
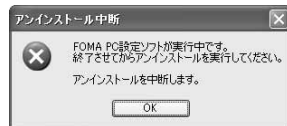
FOMA PC設定ソフトのアンインストールが必要な場合（FOMA PC設定ソフトをバージョンアップする場合など）は、以下の手順で行ってください。ここではWindows XPを例にしてアンインストールを説明します。

● 「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでアンインストールを行うとエラーとなります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカ、マイクロソフト社にお問い合わせください。

1 アンインストールを実行する前に

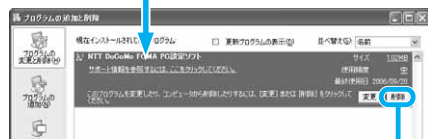
「FOMA PC設定ソフト」をアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

(1) タスクトレイに常駐している「W-TCP設定」を常駐させないようにする

デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックします。

(2) **起動中のプログラムを終了させる**
「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。

2 アンインストールを開始する

Windows XPの場合
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に開く

Windows 2000の場合
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」の順に開く

3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「削除」をクリックする

4 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする

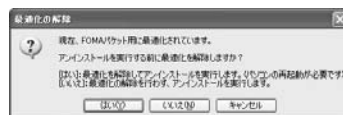
アンインストールが開始されます。

5 「完了」をクリックする

「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールが終了します。

おしらせ

●「W-TCP最適化」の解除
「W-TCP最適化」がされている場合は右の画面が表示されます。アンインストールする場合は、通常は「はい」をクリックして、最適化を解除してください。

W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。

各種設定の方法

通信設定をする前に、FOMA端末がFOMA USB接続ケーブル（別売）によりご利用のパソコンに接続され、かつパソコンのデバイス上にN703iμ通信設定ファイル（ドライバ）が正しく認識されている必要があります。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」の順に開く

FOMA PC設定ソフトを起動すると右の操作画面が表示されます。

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」の順に開く

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」

- 最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
  パケット通信：受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて課金されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。
- 「パケット通信」を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

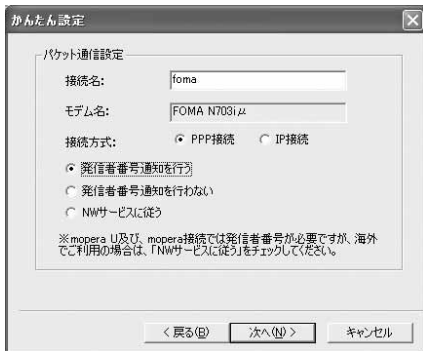
3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

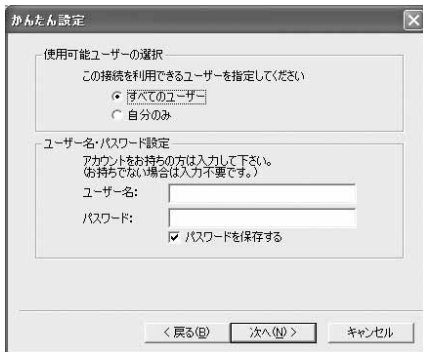
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.20を参照してください。

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

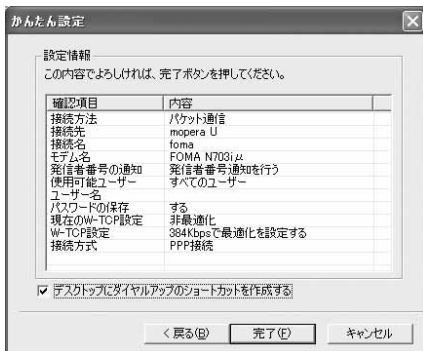
5 接続名の入力と接続方式（PPP接続）を選択し、「次へ」をクリックする

現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/: ＊?!<> | ”（半角のみ）は使用できません。
接続方式を選択してください。
mopera Uは、「PPP接続」･「IP接続」ともに対応しています。moperaは「PPP接続」のみに対応しています。ただし、本FOMA端末はIP接続には対応しておりません。
発信者番号の通知については「発信者番号通知を行う」を選択してください。

6 ユーザー名･パスワード･使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

7 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

9 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックします。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「OK」をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。
しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
入力禁止文字 ¥/: ＊ ?!<> | ”（半角のみ）は使用できません。
ダイヤルアップ時に発信者番号を通知するかどうかを選択してください。
「接続先（APN）の選択」欄には標準でmopera U に接続するための APN:mopera.net と moperaに接続するためのAPN:mopera.ne.jpが設定されています。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

6 「接続先（APN）設定」をクリックする

お買い上げ時、cid1 には mopera の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
「追加」をクリックして表示される「接続先（APN）の追加」画面で、接続方式を選択し、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

7 接続先を選択し、「OK」をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

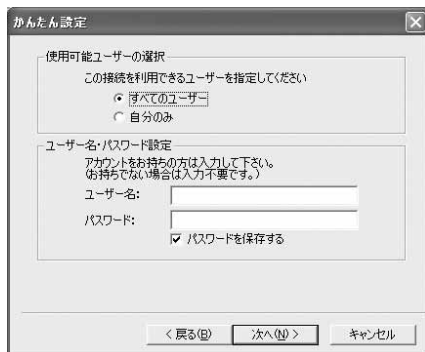
8 「接続先(APN)の選択」で接続先(APN)を確認し、「次へ」をクリックする

高度な設定(TCP/IPの設定)をする場合

「詳細情報の設定」をクリックすると、「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

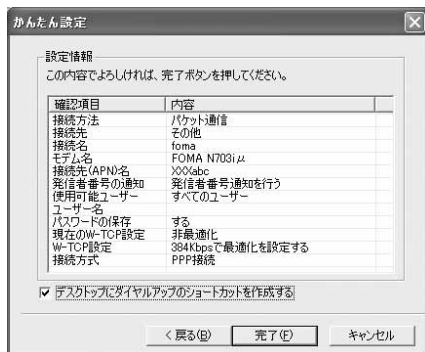
9 ユーザー名･パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

10 「最適化を行う」をチェックし、「次へ」をクリックする

「パケット通信」に必要な「W-TCP設定」を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作11に進みます。

11 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

12 「OK」をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は「はい」をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」

● 通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaを利用します。
● 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスが実現できます。
● 「64Kデータ通信」を利用して長時間通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダをご利用のお客様は、P.23を参照してください。

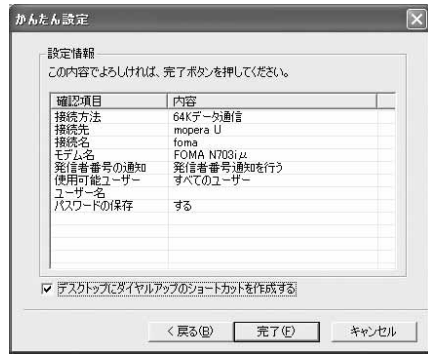
4 接続名の入力とモデムを選択し、「次へ」をクリックする

「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。
FOMA USB接続ケーブル（別売）を使う場合、モデム名は「FOMA N703iμ」を選択します。
発信者番号の通知については「発信者番号通知を行う」を選択してください。

5 ユーザー名・パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」

1 「かんたん設定」をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、「次へ」をクリックする

3 「その他」を選択し、「次へ」をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力し、「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つサービスプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、以下の項目を登録します。

- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA N703iμ）
- 電話番号
- ダイヤルアップ時の発信者番号の通知について

入力禁止文字 ¥/:＊?!<>｜”（半角のみ）は使用できません。

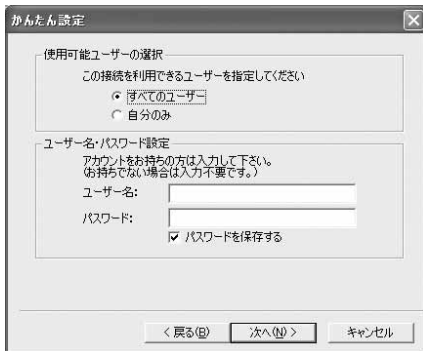
プロバイダ情報を元に正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字などに注意し、半角文字で正確に入力してください。
発信者番号通知の設定については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。

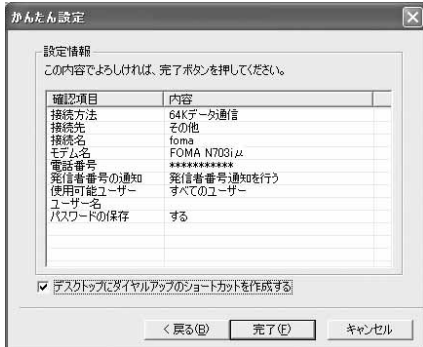
高度な設定（TCP／IPの設定）をする場合

「詳細情報の設定」をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

5 ユーザー名･パスワード・使用可能ユーザーの選択を設定し、「次へ」をクリックする

使用可能ユーザーの選択で、「すべてのユーザー」を選択するとWindowsに登録されているすべてのユーザーに対して接続が設定されます。

ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

6 設定情報を確認し、「完了」をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすれば自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックします。

7 「OK」をクリックする

設定した通信を実行します。→P.24

設定した通信を実行する

1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンがない場合は次の操作を行ってください。

Windows XPの場合

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」→接続先を開く

Windows 2000の場合

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」→接続先を開く

2 「ダイヤル」をクリックし、接続を実行する

mopera Uまたはmoperaの場合は、「ユーザー名」・「パスワード」については空欄のままでも接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックしてください。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

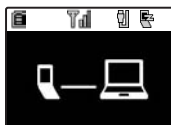
この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

<接続の完了>

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.30）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.37）を再度確認してください。

● パケット通信中には、通信状態によってFOMA端末にアイコンが表示されます。

（通信中、データ送信中）
（通信中、データ受信中）
（通信中、データ送受信なし）
（発信中、または切断中）
（着信中、または切断中）

● 64Kデータ通信中には、FOMA端末に「 」が表示されます。

おしらせ

● FOMA USB接続ケーブル（別売）でデータ通信をする場合、ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。
したがって、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要となります。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、以下の操作で確実に切断してください。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

こんなときは

● ネットワークに接続できない（ダイヤルアップ接続ができない）場合は、まず以下の項目について確認してください。

現　象	チェックする箇所
「FOMA N703iμ」がパソコン上で認識できない	・ お使いのパソコンが動作環境（P.3）を満たしているかを確認してください。 ・ N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）がインストールされているか確認してください。 ・ FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・ FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ USBモード設定（P.5）が「通信モード」になっているか確認してください。
相手先に接続できない	・ ID（ユーザー名）やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・ FOMA USB接続ケーブル（別売）がしっかりと接続されていることを確認してください。 ・ 接続先が発信者番号の通知を要求する場合は、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・ モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・ 接続先のAPNが正しいかどうかを確認してください。 ・ 上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

W-TCPの設定

「W-TCP設定」はFOMAネットワークで「パケット通信」を行う際に、TCP／IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

<Windows XPの場合>
Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1 プログラムを起動する

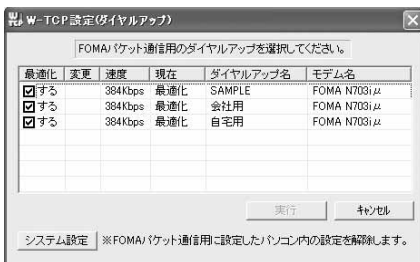
(1) 「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) タスクトレイから操作する場合
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

現在開いているすべてのプログラムを終了させ画面表示に従ってパソコンを再起動してください。再起動した後、システム設定の最適化が有効になります。

(1) システム設定が最適化されていない場合
「384Kbps」を選択し、「最適化を行う」をクリックする
「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

(2) システム設定が最適化されている場合
「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。
内容の変更などがある場合は、設定を行ってください。

(3) **最適化を解除する場合**
最適化を解除するダイヤルアップのチェックを外し、「システム設定」をクリックする
確認画面で「はい」をクリックし、「OK」をクリックすると、「W-TCP設定」画面が表示されます。
「最適化を解除する」をクリックする

<Windows 2000の場合>

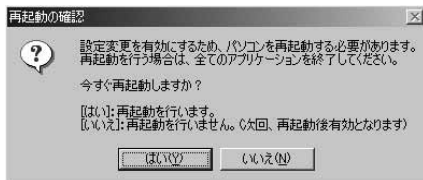
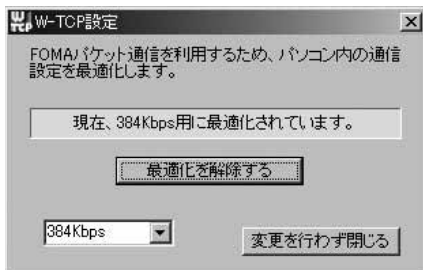
1 プログラムを起動する

(1) **「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合**
プログラム起動後、「マニュアル設定」の「W-TCP設定」をクリックする

(2) **タスクトレイから操作する場合**
デスクトップ右下のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、プログラムを起動する

2 以下の操作を行う

(1) **最適化されていない場合**
「W-TCP設定」画面で「384Kbps」を選択し、「最適化を行う」をクリックし、最適化設定を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

(2) **最適化されている場合**
「W-TCP設定」画面で「現在、384Kbps用に最適化されています。」と表示されます。
FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。最適化解除を有効にするために、現在開いているすべてのプログラムを終了させ再起動を実行してください。

接続先（APN）の設定

パケット通信の接続先（APN）を設定します。最大10件まで設定でき、cid（登録番号）の1～10に登録して管理します。

● お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先(APN)「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先(APN)「mopera.net」が登録されていますので、cid2 または4 ～10に接続先（APN）を設定します。

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、「接続先（APN）設定」をクリックする

2 FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先（APN）の設定をする

接続先（APN）の追加・編集・削除

- **接続先（APN）を追加する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、「追加」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を編集する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「編集」をクリックする
- **登録済みの接続先（APN）を削除する場合**
  「接続先（APN）設定」画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選択して「削除」をクリックする
  cid1とcid3に登録されている接続先は削除できません（cid3を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存する場合は、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、接続先（APN）設定の保存ができます。

ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりする場合には、ツールバーの「ファイル」メニューからの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

「接続先（APN）設定」画面で「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

ダイヤルアップ作成機能
「接続先（APN）設定」画面で追加・編集された接続先（APN）を選択して「ダイヤルアップ作成」をクリックします。
FOMA端末設定書き込み画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。FOMA端末への書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
任意の接続名を入力して「アカウント・パスワードの設定」をクリックしてください。ユーザー名とパスワードを入力し、使用可能ユーザーの選択をして、「OK」をクリックしてください。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも構いません。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録して、「OK」をクリックします。設定入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

おしらせ

- APN設定（FOMAパケット通信の接続先）は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度APN登録をする必要があります。
- パソコンで作成したダイヤルアップの設定を継続利用する場合は、同一APN設定（cid設定）番号を端末に登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。以下のような流れになります。

- 64Kデータ通信を行う場合は「ダイヤルアップネットワークの設定」は不要です。「ダイヤルアップの設定を行う」（P.37）に進んでください。

ATコマンドについて

- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

COMポートを確認する

- 接続先（APN）の設定を行う場合、N703iμ通信設定ファイル（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA N703iμ」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

● 準備

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

● Windows XPでCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「プリンタとその他のハードウェア」から、「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N703iμ」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

● Windows 2000でCOMポートを確認する場合

1 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く

2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブをクリックして「FOMA N703iμ」の「接続先」欄のCOMポートを確認し、「OK」をクリックする

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定（P.33）で使用します。

画面に表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net　cid2、4～10：設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

接続先について＜APN/cid＞

- パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりにAPNを設定して接続します。
- APN設定とは、パソコンからパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1から10の登録番号（cid）を付与して登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。お買い上げ時、cid1にはmoperaの接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3にはmopera Uの接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cid2または4～10に接続先（APN）を設定してください。※1
- APNは「cid（1～10までの管理番号）」によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊＜cid番号＞#」とするとcid番号の接続先に接続します。
- moperaに接続する場合は接続先番号を「＊99＊＊＊1#」に、mopera Uに接続する場合は、「＊99＊＊＊3#」にすると、簡単にmoperaまたはmopera Uを利用することができます。※2
- APN設定は、携帯電話に相手先情報（電話番号など）を登録するのと同じように接続先をFOMA端末に登録します。携帯電話の電話帳と比較すると以下のようになります。

		APN設定	携帯電話の電話帳
登録するデータ		APN	電話番号
		cid	電話帳のメモリ番号
		—	相手の名前
登録のしかた	パソコンを使って登録する	○(FOMA PC設定ソフトなどを使用)	○（専用ソフトが必要）
	携帯電話を使って登録する	×（確認もできません）	○
使いかた		cidを指定して接続	電話帳から検索してかける
		—	FOMA端末のダイヤルボタンから直接電話番号を入力してかける

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- mopera Uまたはmopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1：「ダイヤルアップネットワーク」の電話番号欄にAPNを入力して接続するのではなく、FOMA端末側に接続先（インターネットサービスプロバイダ）についてあらかじめAPN設定を行います。
※2：他のインターネットサービスプロバイダなどに接続する場合は、APNを設定し、cidの2番または4～10番に登録してください。

＜例：Windows XPの場合＞

1 FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続する

2 FOMA端末の電源を入れてFOMA端末と接続したFOMA USB接続ケーブルをパソコンに接続する

3 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」をクリックしてハイパーターミナルを起動する

Windows 2000の場合
「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に開く

4 「今後、このメッセージを表示しない」をチェックし、「はい」をクリックする

5 「名前」欄に任意の名前を入力し、「OK」をクリックする

ここでは例として「sample」と入力します。

6 「接続方法」から「FOMA N703iμ」を選択し、「OK」をクリックする

接続画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックする

「FOMA N703iμ」のCOMポートを選択できる場合

COMポートのプロパティが表示されるので「OK」をクリックする
ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA N703iμ」のCOMポート番号は、「COMポートを確認する」(P.30)を参照して確認してください。

「FOMA N703iμ」のCOM ポートを選択できない場合

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、以下の操作を行ってください。

(1) 「ファイル」→「プロパティ」を選択
(2) 「sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄で「FOMA N703iμ」を選択
(3) 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す
(4) 「OK」をクリックする

7 接続先(APN)を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=＜cid＞, “PPP”, “APN”の形式で入力する
＜cid＞：2、4～10までのうち任意の番号を入力する
すでにcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。
“PPP”：そのまま“PPP”と入力します。
“APN”：接続先（APN）を“ ”で囲んで入力します。
「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。
例：cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
↵と入力します。

8 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューを開き、「ハイパーターミナルの終了」をクリックしてハイパーターミナルを終了する

「“sample”と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されますが、とくに保存する必要はありません。

おしらせ

- P.35の操作7以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが表示されないことがあります。このようなときは、ATE1↵と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。
- ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットする場合
  - リセットを行った場合、cid=1の接続先（APN）設定が「mopera.ne.jp」（初期値）に、cid=3の接続先（APN）設定が「mopera.net」（初期値）に戻り、cid=2、4～10の設定は未登録となります。
    ＜入力方法＞
    AT＋CGDCONT=↵（すべてのcidをリセットする場合）
    AT＋CGDCONT=〈cid〉↵（特定のcidのみリセットする場合）
- ATコマンドで接続先（APN）設定を確認する場合
  - 現在の設定内容を表示させせます。
    ＜入力方法＞
    AT＋CGDCONT?↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

- パケット通信を行うときに、通知／非通知設定（接続先にお客様の発信者番号を通知する、しないの設定）を行うことができます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンドで設定できます。
- 発信者番号の通知／非通知、または「設定なし」（初期値）に戻すには＊DGPIRコマンド（P.46）で設定します。

1 「ハイパーターミナル」を起動する

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=＜*n*＞」の形式で入力します。

発信／着信応答のときに自動的に184（非通知）を付ける場合
AT＊DGPIR=1↵
と入力する

発信／着信応答のときに自動的に186（通知）を付ける場合
AT＊DGPIR=2↵
と入力する

❸「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」メニューの「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

おしらせ

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uまたはmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップネットワークでの186（通知）／184（非通知）設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186／184の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊1#	設定なし	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊1#	設定なし	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）
	非通知	
	通知	

ダイヤルアップの設定を行う

● ここではパケット通信でmopera Uに接続する場合を例に説明しています。
● パケット通信で接続する場合、mopera Uでは「＊99＊＊＊3#」、moperaでは「＊99＊＊＊1#」を接続先の電話番号に入力してください。64Kデータ通信で接続する場合、mopera Uでは「＊8701」、moperaでは「＊9601」を接続先の電話番号に入力してください。

Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「新しい接続ウィザード」の順に開く

2 「新しい接続ウィザード」画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA N703iμ(COMx)」のみを選択し、「次へ」をクリックする

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
(COMx) は、「COMポートを確認する」(P.30) で表示されるCOM ポートの番号です。

7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

9 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力してください。

10 「完了」をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

11 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択して、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA N703iμ」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

14 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択する

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

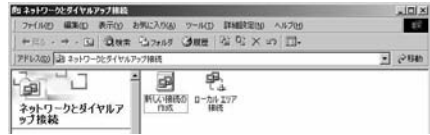
15 「設定」をクリックする

16 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

17 操作14の画面に戻るので「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の順に開く

2 ネットワークとダイヤルアップ接続内の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする

「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面が表示されてから、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されてから、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックする

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄が、「FOMA N703iμ」になっていることを確認し、「次へ」をクリックする

「FOMA N703iμ」になっていない場合は、「FOMA N703iμ」を選択する

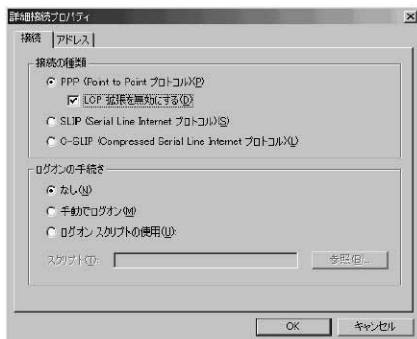
「FOMA N703iμ」以外のモデムがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。

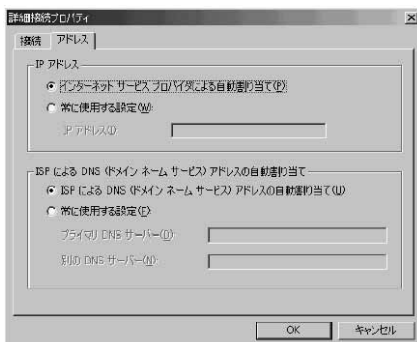
10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

11 「接続」タブの中を画面例のように設定し、「アドレス」タブをクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合は、「接続の種類」、「ログオンの手続き」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

12 「アドレス」タブのIPアドレスおよびDNS（ドメインネームサービス）アドレスを画面例のように設定し、「OK」をクリックする

mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、「IPアドレス」、「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

13 操作10の画面に戻るので、「次へ」をクリックする

14 「次へ」をクリックする

mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。
mopera Uまたはmopera以外のプロバイダに接続する場合、右の画面のように「ユーザー名」、「パスワード」欄については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックする

16「いいえ」を選択し、「次へ」をクリックする

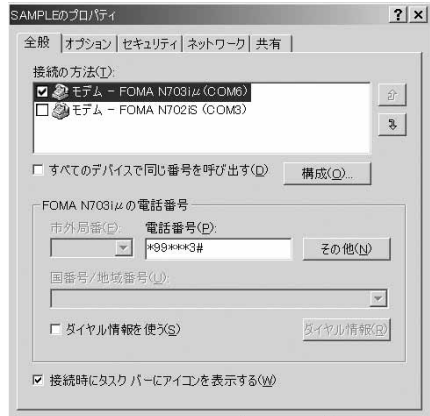
17「完了」をクリックする

18作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」メニューの「プロパティ」を開く

19「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－ FOMA N703iμ」のみにチェックが付いていることを確認し、チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。

「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合には、チェックを外します。

画面はパケット通信でmopera Uへ接続する場合の例です。

20「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択する

コンポーネントは「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。

21「設定」をクリックする

22 すべてのチェックを外し、「OK」をクリックする

23 操作20の画面に戻るので「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続を実行する

ここでは、設定したダイヤルアップを使って、パケット通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明しています。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA USB接続ケーブル（別売）でFOMA端末とパソコンを接続する

「取り付け方法」→P.5

2 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」を開く

3 接続先を開く

P.37の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して、「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックする

4 内容を確認し、「ダイヤル」をクリックする

右の画面はmopera Uに接続する場合の例です。mopera Uまたはmoperaの場合は、ユーザー名・パスワードについては空欄のままでも接続できます。

<接続中の状態を示す画面が表示されます>

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

＜接続の完了＞

接続が完了すると、デスクトップ右下のタスクバーのインジケータから、右の画面のようなメッセージが数秒間表示されます。
ブラウザソフトを起動してサイトやインターネットホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。
右の画面のようなメッセージが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワークの設定」（P.30）、「ダイヤルアップの設定を行う」（P.37）を再度確認してください。
通信状態については、P.25を参照してください。

切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。ここではWindows XPを例に説明します。

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

インターネット接続の状態画面が表示されます。

ダイヤルアップアイコン

2 「切断」をクリックする

おしらせ
●パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

FOMA端末から使用できるATコマンド

● ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。
[＆F] ：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
[＆W] ：AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。ATZコマンドで設定値を呼び戻すことができます。

モデムポートコマンド一覧

FOMA N703iμ（モデム）で使用できるコマンドです。

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	－	A/ OK
AT	－	本コマンドの後に本一覧表のコマンドを付加することで、FOMA端末のモデム機能を制御することができます。 ※ATのみ入力した場合でもOKが応答されます。	AT OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V Ver1.00 OK
AT&C*n* [&F] [&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	*n*＝0：CDは常にON *n*＝1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D*n* [&F] [&W]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選択します。	*n*＝0：ERの状態を無視する（常にONとみなす） *n*＝1：ERがONからOFFに変わると、オンラインコマンド状態になる *n*＝2：ERがONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインコマンド状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&E*n* [&F] [&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	*n*＝0：無線区間通信速度を表示する *n*＝1：DTE　シリアル通信速度を表示する（初期値）	AT&E0 OK
AT&F*n*	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	（オフラインモード時） AT&F OK AT&F? ERROR AT&F＝? ERROR （オンラインコマンドモード時） AT&F NO CARRIER （オフラインモードへ移行）
AT&S*n* [&F] [&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	*n*＝0：DRは常にON（初期値） *n*＝1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にON	AT&S0 OK
AT&W*n*	現在の設定値を記憶します。	*n*＝0のみ指定可能（省略可）	AT&W0 OK AT&W OK AT&W? ERROR AT&W＝? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT＊DANTE	FOMA端末の電波の受信レベルを表示します。	0：FOMA端末の電波の受信レベルが圏外と表示される状態 1：FOMA端末の電波の受信レベルが0本または1本の状態 2：FOMA端末の電波の受信レベルが2本の状態 3：FOMA端末の電波の受信レベルが3本の状態	AT＊DANTE ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE＝? ＊DANTE:(0-3) OK
AT＊DGANSM=*n*	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	*n*＝0：着信拒否設定（AT＊DGARL）および着信許可設定（AT＊DGAPL）を無効にする（初期値） *n*＝1：着信拒否設定を有効にする *n*＝2：着信許可設定を有効にする AT＊DGANSM? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGANSM=0 OK AT＊DGANSM? ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。APNの設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGAPL? ：着信許可リストを表示する	AT＊DGAPL =0,1 OK AT＊DGAPL? ＊DGAPL:1 OK AT＊DGAPL =1 OK AT＊DGAPL? OK
AT＊DGARL=*n*[,cid]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	*n*＝0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加する *n*＝1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除する <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用する AT＊DGARL? ：着信拒否リストを表示する	AT＊DGARL =0,1 OK AT＊DGARL? ＊DGARL:1 OK AT＊DGARL =1 OK AT＊DGARL? OK
AT＊DGPIR=*n*	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時、着信時の通知・非通知設定が有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます（P.35）。	*n*＝0：APNをそのまま使用する（初期値） *n*＝1：APNに“184”を付加して使用する（常に非通知） *n*＝2：APNに“186”を付加して使用する（常に通知） AT＊DGPIR? ：現在の設定値を表示する	AT＊DGPIR =0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW	FOMA端末の受信電力指標値を表示します。	−	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK AT＊DRPW=? ＊DRPW:(0-75) OK
AT+CAOC	現在の課金値の問い合わせを行います。	−	AT+CAOC +CAOC:"000014" OK
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を表示します。	リザルト：+CBC:<bcs>,<bcl> bcs： 0：電池パックから電源が供給されている 1：電池パックから電源が供給されていない 2：FOMA端末に電池パックが接続されていない 3：電源供給エラーによりFOMA端末からの発信不可 bcl： 0：電池残量なし、または電池パック未接続 1〜100：電池残量あり	AT+CBC +CBC:0,70 OK AT+CBC? ERROR AT+CBC=? +CBC:(0-3),(0-100) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CBST [&F] [&W]	利用するベアラサービスを切り替えます。	書式：AT+CBST=<*n*>,1,0 *n*=116：64,000 bps(bit transparent)（初期値） *n*=131：32,000 bps (multimedia) *n*=134：64,000 bps (multimedia)	AT+CBST=134,1,0 OK AT+CBST? +CBST:134,1,0 OK AT+CBST=? +CBST:(116,131,134),(1),(0) OK
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	リザルト：+CEER:<report> report：切断理由一覧（P.58）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.54	P.54
AT+CGEQMIN	PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS(サービス品質)を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	P.54	P.54
AT+CGEQREQ	PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P.55	P.55
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CGREG=*n* [&F] [&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。 応答される通知により圏内／圏外を表示します。	*n*＝0： 通知なし（初期値） *n*＝1： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CGREG? ：現在の設定値を表示する +CGREG:<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内	AT+CGREG=1 OK（通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK AT+CGREG=? +CGREG:（0,1） OK (圏外) (圏外から圏内に移動した場合) +CGREG:1
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 12345XXXXXXXXXXX OK
AT+CLIP=*n* [&F] [&W]	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示できます。	*n*＝0： リザルトを出さない(初期値) *n*＝1： リザルトを出す AT+CLIP? ：現在の設定値を表示する +CLIP:*n*,*m* *m*＝0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 *m*＝1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 *m*＝2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP=? +CLIP:(0,1) OK (+CLIP=1 設定時に着信) RING +CLIP:"090XXXXXXXX",177,"123",136

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIR=*n*	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	*n*=0： CLIRサービスの契約に従う *n*=1： 通話相手に番号発信しない *n*=2： 通話相手に番号発信する(初期値) AT+CLIR? ：現在の設定値を表示する +CLIR:*n*,*m* *m*=0：CLIRは起動していない（常時通知） *m*=1：CLIRは起動している（常時非通知） *m*=2：不明 *m*=3：CLIRテンポラリーモード(非通知デフォルト) *m*=4：CLIRテンポラリーモード (通知デフォルト)	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=*n* [&F] [&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	*n*=0： ERRORリザルトを用いる (初期値) *n*=1： +CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる *n*=2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE?：現在の設定値を表示する 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1：no connection to phone 10：SIM not inserted 15：SIM wrong 16：incorrect password 100：unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR:10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR:SIM not inserted
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	リザルト：+CNUM:,<number>,<type> number：電話番号 type ： 129または145 129 ： 国際アクセスコード+を含まない 145 ： 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM:,"+8190XXXXXXXX",145 OK
AT+COPS	接続する通信事業者を選択します。	書式：AT+COPS=<mode>,2,<oper> mode=0：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える） mode=1：マニュアル（<oper>に指定された通信事業者に接続する） mode=2：通信事業者との接続を解除（切断）する mode=3：マッピングを行わない mode=4：マニュアルオート（<oper>に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う） <oper>は国番号（MCC）とネットワーク番号（MNC）からなる16進数の値で示す。書式は以下の通り。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8.	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,,,"44F001"),,(0,1),(2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPAS	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	リザルト：+CPAS:＜pas＞ pas： 0：FOMA端末への制御信号の送受信が可能 1：FOMA 端末への制御信号の送受信が不可能 2：不明(制御信号の送受信は保証されない) 3：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ着信中 4：FOMA 端末への制御信号の送受信が可能、かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS? ERROR AT+CPAS=? +CPAS:(0-4)
AT+CPIN	FOMA端末にPINコードを入力します。	書式　：AT+CPIN="<pin>","<newpin>" 本コマンドはAT+CPIN?を入力して応答されるリザルトコードの状態によってFOMA端末のPIN 1 コード、PIN2 コードおよびPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。 画面にてPINコード入力やPINロック解除コードを要求されている場合でも、AT+CPIN?入力時のリザルトコードの状態によって本コマンドを利用してPIN入力ができない場合があります。PINコード変更を目的として本コマンドを使用しないでください。<pin>と<newpin>は" "で囲んでください。 AT+CPIN?のリザルト +CPIN：READY：PIN1コード、PIN2コード PIN1ロック解除コード、PIN2ロック解除コードが入力できない状態 +CPIN：SIM PIN：PIN1入力待ち状態 +CPIN:SIM PIN2：PIN2入力待ち状態 +CPIN：SIM PUK：PIN1ロック状態(PIN1ロック解除コード入力可) +CPIN：SIM PUK2：PIN2ロック状態(PIN2ロック解除コード入力可) 右記はPINコード「1234」、PINロック解除コード「12345678」の入力例です。	(+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:READYが応答される状態) AT+CPIN="12345678","1234" ERROR (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PINが応答される状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PUKが応答される状態:PIN1ロック状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK (+CPIN?入力時に、+CPIN:SIM PUK2が応答される状態:PIN2ロック状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:READY OK AT+CPIN=? OK
AT+CR=*n* [&F] [&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	*n*=0：表示しない（初期値） *n*=1：表示する <serv>：パケット通信を意味する“GPRS”のみ表示する （回線種別により“SYNC”,“AV32K”,“AV64K”を表示） AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR ：GPRS CONNECT
AT+CRC=*n* [&F] [&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	*n*=0：+CRINGを使用しない（初期値） *n*=1：+CRING.<type>を使用する +CRINGの書式は以下のとおり +CRING：SYNC +CRING：AV64K ：GPRS “PPP”,,,“<APN>” AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC ：0 OK (PPPoverUD着信時) +CRING：SYNC (AV64K着信時) +CRING：AV64K (PPPパケット着信時) +CRING ：GPRS “PPP”,,,”〈APN〉”

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CREG=*n* [&F] [&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。 ● OSによっては設定できない場合があります。	*n*=0： 通知なし（初期値） *n*=1： 通知あり 圏内・圏外が切り替わったときに通知する AT+CREG? ：現在の設定値を表示する +CREG ：<*n*>,<stat> *n* ：設定値 stat ： 0 ：音声圏外 1 ：音声圏内 4 ：不明 5 ：音声圏内	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG ：1,0 OK （圏外） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG ：1
AT+CUSD [&F] [&W]	付加サービスなどに関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式：AT+CUSD=<n>,"<str>"[,0] *n*=0： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない（初期値） *n*=1： 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト： *m*=0：設定完了 *m*=1：ネットワークから情報要求あり。 str ：0～9、#、＊のみ使用可能。 <str>は""で囲む	AT+CUSD=0, "xxxxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"＊148＊1＊0000#",0 +CUSD:0,"148＊7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD =? +CUSD:(0,1) OK
AT+FCLASS=*n* [&F] [&W]	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。	*n*=0： データのみサポート（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末のATコマンドのサポート範囲を表示します。	リザルト：+GCAP:<area>,<area>,<area> area： +CGSM ：GSMコマンドの一部またはすべてがサポートされている +FCLASS：+FCLASSコマンドがサポートされている +W ：+Wコマンドがサポートされている	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	メーカ名（NEC）を表示します。	－	AT+GMI NEC OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名（FOMA N703iμ）を表示します。	－	AT+GMM FOMA N703imyu OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=*n,m* [&F] [&W]	フロー制御方式を選択します。	*n* ：DCE by DTE *m*：DTE by DCE 0： フロー制御なし 1： XON／XOFFフロー制御 2： RS／CS（RTS/CTS）フロー制御 初期値は*n,m*=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC：2,2 OK AT+IFC=? +IFC：(0,1,2）,(0,1,2) OK
AT+WS46=*n* [&F] [&W]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	*n*=22：W- CDMA（Wideband CDMA ）のみ指定可能（初期値）	AT+WS46=22 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT¥S	現在設定されている各コマンド、S レジスタの内容を表示します。	−	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=001 S104=001 OK
AT¥V*n* [&F] [&W]	接続時の応答コード仕様を選択します。	*n*＝0：拡張リザルトコードを使用しない（初期値） *n*＝1：拡張リザルトコードを使用する	AT¥V0 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	−	RING ATA CONNECT
ATD	FOMA 端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD＊99＊＊＊<cid>#　：パケット通信 <cid>　1 〜 10：+ CGDCONT 設定したAPNを表す AT+CBST=116,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：64K通信 AT+CBST=131,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV32K通信 AT+CBST=134,1,0設定時 ATD＜電話番号＞　：AV64K通信	＜パケット通信＞ ATD＊99＊＊＊1# CONNECT ＜64K通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV32K通信＞ AT+CBST=131,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT ＜AV64K通信＞ AT+CBST=134,1,0 OK ATD090XXXXXXXX CONNECT
ATE*n* [&F] [&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	*n*＝0　：エコーバックなし *n*＝1　：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH*n*	FOMA 端末に対してオンフック動作を行います。	*n*＝0　：回線を切断する（省略可）	（パケット通信中） +++ OK ATH NO CARRIER
ATI*n*	認識コードを表示します。	*n*＝0：「NTT DoCoMo」を表示する *n*＝1：製品名を表示する（+GMMと同じ） *n*＝2：FOMA端末のバージョンを表示する（+GMRと同じ） *n*＝3：ACMP信号の各要素を表示する *n*＝4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMAN703imyu OK
ATO*n*	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	*n*＝0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATQ*n* [&F] [&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	*n*＝0 ：リザルトコードを表示する(初期値) *n*＝1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 (このとき、OKは応答されません)
ATS0=*n* [&F] [&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	*n*＝0 ：自動着信しない（初期値） *n*＝1-255： 指定したリング回数で自動着信する ATS0?：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=*n* [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	*n*＝43 ： 初期値 *n*＝127： エスケープ処理は無効 ATS2? ： 現在の設定値を表示する	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=*n* [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	*n*＝13 ：初期値（*n*=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=*n* [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	*n*＝10 ： 初期値（*n*=10のみ指定可） ATS4? ： 現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=*n* [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	*n*＝8 ： 初期値（*n*=8のみ指定可） ATS5? ： 現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS6=*n* [&F]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS6=5 OK ATS6? 005 OK ATS6＝? ERROR
ATS8=*n* [&F]	カンマダイヤルによるポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS8=3 OK ATS8? 003 OK ATS8＝? ERROR
ATS10=*n* [&F][&W]	自動切断遅延時間設定（1/10秒）	本コマンドは設定できますが、動作はいたしません。	ATS10=1 OK ATS10? 001 OK ATS10＝? ERROR
ATS30=*n* [&F]	ユーザデータの送受信がない場合、この時間で切断します。	*n*＝0： 不活動タイマオフ(初期値) *n*＝0～255 *n*は分単位で設定します。	ATS30=0 OK ATS30? 000 OK ATS30=? ERROR

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS103=*n* [&F]	着サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0： * *n*=1： /（初期値） *n*=2： ¥（¥マークあるいはバックスラッシュ）	ATS103=0 OK ATS103? 000 OK ATS103=? ERROR
ATS104=*n* [&F]	発サブアドレスキャラクタを設定します。	*n*=0： # *n*=1： %（初期値） *n*=2： &	ATS104=0 OK ATS104? 000 OK ATS104=? ERROR
ATV*n* [&F] [&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	*n*=0： リザルトコードを数値で返送する *n*=1： リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK
ATX*n* [&F] [&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	*n*=0： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし *n*=1： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=2： ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり *n*=3： ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり *n*=4： ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり（初期値）	ATX1 OK
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	－	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフラインコマンドモード時） ATZ OK
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移ります。	－	（オンラインデータモード） +++（表示は見えない） OK

● ATコマンドの補足説明

■ 動作しないコマンド

以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
・ATT（トーン設定）
・ATP（パルス設定）

■ コマンド名：+CGDCONT

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"PPP"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。
<cid>※：1～10
<APN>※：任意

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGDCONT=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

■ コマンド名：+CGEQMIN=[パラメータ]

・概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・書式

+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]

・パラメータ説明

<cid>※ ：1～10
<Maximum bitrate UL>※：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>※：なし（初期値）または384

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGEQMIN= ：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQMIN=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の4パターンのみ設定できます。（1）の設定が各cidに初期値として設定されています。

(1) 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK

(2) 上り64kbps/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64,384
OK

(3) 上り64kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,64
OK

(4) 上りすべての速度/下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,384
OK

■ コマンド名：+CGEQREQ=[パラメータ]

・**概要**

PPPパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

・**書式**

+CGEQREQ=[<cid>]

・**パラメータ説明**

<cid>※：1～10

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。
<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2または4～10に設定します。

・**パラメータを省略した場合の動作**

+CGEQREQ=：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGEQREQ=?：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。

・**コマンド実行例**

以下の1パターンのみ設定できます。各cidに初期値として設定されています。
上り64kbps/下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2
OK

モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT＋CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定（P.33）、AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL／AT＊DGARL／AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定およびAT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知／非通知の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。なお、［&W］がついているコマンドについては、設定後に

AT&W ↵

と入力することにより保存できます。このとき、［&W］がついているほかの設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF／ON後であっても、

ATZ ↵

と入力することにより、設定値を呼び戻すことができます。

リザルトコード

■ データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・&E0の時

数字表示	文字表示	意　味
121	CONNECT 32000	FOMA端末－基地局間速度32,000bpsで接続しました。
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間速度64,000bpsで接続しました。
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間速度384,000bpsで接続しました。

・&E1の時

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－PC間速度1,200bpsで接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA端末－PC間速度2,400bpsで接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA端末－PC間速度4,800bpsで接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA端末－PC間速度7,200bpsで接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA端末－PC間速度9,600bpsで接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA端末－PC間速度14,400bpsで接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA端末－PC間速度19,200bpsで接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA端末－PC間速度38,400bpsで接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA端末－PC間速度57,600bpsで接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA端末－PC間速度115,200bpsで接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA端末－PC間速度230,400bpsで接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA端末－PC間速度460,800bpsで接続しました。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K]で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K]で接続
5	PACKET	パケットで接続

おしらせ

- ATV*n*コマンド（P.53）が*n*=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、*n*=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字表示：100）が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

リザルトコードの表示例

■ ATX0が設定されている場合

AT¥V*n*コマンド（P.51）の設定に関係なく接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1

■ ATX1が設定されている場合

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下の書式で表示します。
CONNECT <FOMA端末－PC間の速度> PACKET <接続先APN> / <上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度> / <下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>
以下の例は、mopera.ne.jpに、送信最大64kbps、受信最大384kbpsで接続したことを表します。

文字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384

数字表示例： ATD＊99＊＊＊1#
1　21　5

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26 27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が通信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

FOMA® N703iμ
区点コード一覧

区点コード一覧

＜区点コード一覧の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

● 区点コード一覧の表示は、実際の見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
						さ				
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
						し				
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
						す				
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
						せ				
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
						そ				
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
						た				
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
						ち				
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
						つ				
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
						て				
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
						と				
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
						な				
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
						に				
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
						ぬ～の				
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
						は				
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
						ひ				
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
						ふ				
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
						へ				
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
						ほ				
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃

区点1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			